東京医科歯科大学全学共通科目

内容

人文社会科学概論 1
人文社会科学概論（1 講） 3
人文社会科学概論（2 講） 8
国際地域文化入門（1 講） 13
国際地域文化入門（2 講） 18
哲学 23
倫理学 25
心理学 27
宗教学 29
芸術（美術） 31
芸術（音楽） 33
歴史学（イスラームの歴史と文化） 35
歴史学（近代ヨーロッパ史） 38
科学史 40
文学 42
法学 44
政治学 46
経済学 51
社会学 53
社会思想史 55
文化人類学 57
Japanese Culture and Society 60
グローバル教養科目・Insider and Outsider Perspectives on Contemporary Japan 62
グローバル教養科目・Cultural Anthropology: Thinking Through Body and Nature 64
人文社会科学特論（現代社会とメディア） 66
人文社会科学特論（科学主義と「社会」） 69
人文社会科学特論（高齢者福祉論） 71
人文社会科学特論（グローバル社会とバイリンガリズム） 76
フィジカルウェルビーイング 78
フィットネスマネジメント 83
ドイツ語Ⅰ 87
ドイツ語Ⅰ 89
ドイツ語Ⅰ 91
ドイツ語Ⅰ 93
ドイツ語Ⅱ 95
フランス語Ⅰ 97
フランス語Ⅰ 99
フランス語Ⅱ 101
中国語Ⅰ 103
中国語Ⅰ 105
中国語Ⅰ 109
中国語Ⅰ 113
中国語Ⅰ 117

中国語Ⅱ 121
スペイン語Ⅰ 125
スペイン語Ⅰ 127
スペイン語Ⅱ 129
日本語Ⅰ 131
日本語Ⅱ 133
英語Ⅰ 135
英語ⅠA 136
英語ⅠA 139
英語ⅠA 142
英語ⅠA 145
英語ⅠA 148
英語ⅠA 151
英語ⅠA 153
英語ⅠA 156
英語ⅠA 159
英語ⅠA 162
英語ⅠB 165
英語ⅠB 168
英語ⅠA 171
英語ⅠB 174
英語ⅠB 177
英語ⅠA 180
英語ⅠB 182
英語ⅠB 185
英語ⅠB 188
英語ⅠB 191
英語ⅠB 194
英語ⅠB 197
英語ⅠB 200
英語ⅠB 203
英語ⅠC 206
英語ⅠC 209
英語ⅠC 212
英語ⅠC 215
英語ⅠC 218
英語ⅠC 220
英語ⅠC 223
英語ⅠC 226
英語ⅠC 229
英語ⅠC 232
英語ⅠC 235
英語ⅠC 237
英語ⅠC 240
英語ⅠC 243

生物学入門 246
化学入門 248
物理学入門 250
数学Ⅰ 252
数学ⅠM 254
数学ⅠD 256
数学ⅠT 258
物理学ⅠM 260
物理学ⅠD・T 262
数学Ⅱ（α） 264
数学Ⅱ（β） 266
数学Ⅱ（γ） 268
物理学ⅡM 270
物理学ⅡD・T 272
統計学 274
統計学（α） 276
統計学（β） 278
化学D 280
化学M 284
化学T 288
化学基礎 292
生物学M 294
生物学DT 296
生物学基礎 298
サイエンスPBL入門 301
科学基礎実験T 304
科学基礎実験N・O・K 307
自然科学実験（物理学実験） 310
自然科学実験（化学実験） 313
自然科学実験（生物学実験） 316
S・水の科学 318
S・数理生物学入門 320
S・実用統計学 322
S・生命分子スペクトル解析学演習 324
S・英語で学ぶ力学 326
S・海洋生物学実習 327
S・イギリス文学講読 329
S・タンパク質の科学 331
S・江戸市川文学散歩 333
S・彫刻（塑像） 335
S・動画コンテンツ制作 336
S・児童文学 338
S・ウェルビーイング向上のための数理モデリング 340
S・一般化学演習 342
S・ソーシャルウェルビーイング・コミュニケーション実践 344

S・社会福祉概論 347
S・糖の科学 350
S・現代パフォーミングアーツ入門 352
S・サイエンスフロンティア概論 354
教養基礎セミナー(心理療法の理論)前半１講　佐藤 356
教養基礎セミナー(心理療法の理論)前半２講　佐藤 358
教養基礎セミナー(心理支援の理論)後半１講　佐藤 360
教養基礎セミナー(心理支援の理論)後半２講　佐藤 362
教養基礎セミナー(倫理学を現実に照らして考える)前半１講　大賀 364
教養基礎セミナー(倫理学を現実に照らして考える)前半２講　大賀 366
教養基礎セミナー（哲学の原典を直接読む)後半１講　大賀 368
教養基礎セミナー（哲学の原典を直接読む)後半２講　大賀 370
教養基礎セミナー(現代社会と科学主義)前半１講　徳久 372
教養基礎セミナー(現代社会と科学主義)前半２講　徳久 374
教養基礎セミナー(平和な「社会」と科学主義)後半１講　徳久 376
教養基礎セミナー(平和な「社会」と科学主義)後半２講　徳久 378
教養基礎セミナー（子どもへの虐待と日本社会）前半１講　面 380
教養基礎セミナー（子どもへの虐待と日本社会）前半２講　面 382
教養基礎セミナー(G・オーウェル『動物農場』を通してデモクラシーを考える)後半１講　面 384
教養基礎セミナー(G・オーウェル『動物農場』を通してデモクラシーを考える)後半２講　面 386
教養基礎セミナー(憲法と人権)前半１講　飛田 388
教養基礎セミナー(憲法と人権）前半２講　飛田 390
教養基礎セミナー(憲法と政治）制度後半１講　飛田 392
教養基礎セミナー(憲法と政治）制度後半２講　飛田 394
教養基礎セミナー(子どもの権利：水と衛生)前半１講　三谷 396
教養基礎セミナー(子どもの権利：水と衛生)前半２講　三谷 398
教養基礎セミナー(子どもの権利：暴力からの子どもの保護)後半１講　三谷 400
教養基礎セミナー(子どもの権利：暴力からの子どもの保護)後半２講　三谷 402
教養基礎セミナー(異文化との出会い)前半１講　權 404
教養基礎セミナー(異文化との出会い)前半２講　權 406
教養基礎セミナー(移民、ダイバーシティ、社会的結束）後半１講　權 408
教養基礎セミナー（移民、ダイバーシティ、社会的結束）後半２講　權 410
教養基礎セミナー（近代の社会学）前半１講　大倉 412
教養基礎セミナー（近代の社会学）前半２講　大倉 414
教養基礎セミナー（現代の社会学）後半１講　大倉 416
教養基礎セミナー（現代の社会学）後半２講　大倉 418
教養基礎セミナー(スペイン語圏の人々と文化)前半１講　佐々木 420
教養基礎セミナー(スペイン語圏の人々と文化)前半２講　佐々木 422
教養基礎セミナー(スペイン語を解き明かす)後半１講　佐々木 424
教養基礎セミナー(スペイン語を解き明かす)後半２講　佐々木 426
教養基礎セミナー(「ラテンアメリカの言語と文化」)前半１講　諸隈 428
教養基礎セミナー(「ラテンアメリカの言語と文化」)前半２講　諸隈 431
教養基礎セミナー(「アンデスの言語と文化」)後半１講　諸隈 434
教養基礎セミナー(「アンデスの言語と文化」)後半２講　諸隈 437
教養基礎セミナー(言語科学とドイツ語)前半１講　藤井（俊） 440

教養基礎セミナー(言語科学とドイツ語)前半2講　藤井（俊）..... 442
教養基礎セミナー(生成文法研究におけるドイツ語)後半1講　藤井（俊）..... 444
教養基礎セミナー(生成文法研究におけるドイツ語)後半2講　藤井（俊）..... 445
教養基礎セミナー(フランス史)前半1講　竹下..... 446
教養基礎セミナー(フランス史)前半2講　竹下..... 448
教養基礎セミナー(フランス史)後半1講　竹下..... 450
教養基礎セミナー(フランス史)後半2講　竹下..... 452
教養基礎セミナー(中国語と中国文化)前半1講　包..... 454
教養基礎セミナー(中国語と中国文化)前半2講　包..... 457
教養基礎セミナー(中国社会の現在)後半1講　包..... 460
教養基礎セミナー(中国社会の現在)後半2講　包..... 463
教養基礎セミナー(『人新世の「資本論」』を手掛かりに、環境問題について考える)前半1講　藤井..... 466
教養基礎セミナー(『人新世の「資本論」』を手掛かりに、環境問題について考える)前半2講　藤井..... 469
教養基礎セミナー(科学技術の不確実性について考える)後半1講　藤井（達）..... 472
教養基礎セミナー(科学技術の不確実性について考える)後半2講　藤井（達）..... 475
教養基礎セミナー(科学と疑似科学の境界)前半1講　奈良..... 478
教養基礎セミナー(科学と疑似科学の境界)前半2講　奈良..... 480
教養基礎セミナー(生命科学の光と影)後半1講　奈良..... 482
教養基礎セミナー(生命科学の光と影)後半2講　奈良..... 484
教養基礎セミナー(医歯系の物理)前半2講　檜枝..... 486
教養基礎セミナー(人体・医療の物理)後半2講　檜枝..... 488
教養基礎セミナー(振動と波動)前半1講　越野..... 490
教養基礎セミナー(波動と振動)後半1講　越野..... 492
教養基礎セミナー(生活の中の化学)前半1講　勝又..... 494
教養基礎セミナー(化学実験と生活)後半１講　勝又..... 496
教養基礎セミナー（食の科学）前半2講　澤野..... 498
教養基礎セミナー（食の科学）後半2講　澤野..... 500
教養基礎セミナー(生命現象の制御機構)前半1講　伊藤..... 502
教養基礎セミナー(医療の基盤となる生物学)後半1講　伊藤..... 504
教養基礎セミナー(生物由来の薬と毒)前半2講　松本..... 506
教養基礎セミナー(バイオミメティクスの世界)後半2講　松本..... 508
教養基礎セミナー(生命科学における数理モデリング技法)前半1講　中林..... 510
教養基礎セミナー(様々な生命現象を記述する数理モデル技法)後半１講　中林..... 511
教養基礎セミナー(離散構造Ⅰ)前半2講　徳永..... 512
教養基礎セミナー(離散構造Ⅱ)後半2講　徳永..... 514
教養基礎セミナー（映像メディア構成分析）前半1講　辻..... 516
教養基礎セミナー（映像メディア構成分析）前半2講　辻..... 518
教養基礎セミナー（インターネット動画リテラシー）後半１講　辻..... 520
教養基礎セミナー（インターネット動画リテラシー）後半2講　辻..... 522
教養基礎セミナー（生命現象をとらえるための数理解析学)前半1講　中山..... 524
教養基礎セミナー（生命現象をとらえるための数理解析学)前半2講　中山..... 526
教養基礎セミナー(生物学と社会科学の現象数理解析)後半1講　中山..... 528
教養基礎セミナー（生物学と社会科学の現象数理解析)後半2講　中山..... 530
教養基礎セミナー（社会活動としての科学 － 生命科学研究の実際）前半１講　栗田..... 532
教養基礎セミナー（社会活動としての科学 － 生命科学研究の実際）前半2講　栗田..... 534

教養基礎セミナー（科学的な正しさとは何か－生命医科学研究の事例から考える）後半１講　栗田..... 536
教養基礎セミナー（科学的な正しさとは何か－生命医科学研究の事例から考える）後半2講　栗田..... 538
グローバル教養総合講座..... 540
情報科学..... 543
情報科学（α）..... 545
情報科学（β）..... 547
情報処理..... 549
情報処理D..... 551
情報処理M..... 553
旧カリ　化学（一般化学）D..... 555
旧カリ　化学実験..... 557

時間割番号	00100				
科目名	人文社会科学概論			**科目ID**	
担当教員	藤井　達夫, 柳下　和慶, 辻　泰明, 谷本　歩実, 熊川　大介[FUJII Tatsuo, YAGISHITA KAZUYOSHI, TSUJI Yasuaki, TANIMOTO Ayumi, KUMAGAWA Daisuke]				
開講時期	2024 年度前期	**対象年次**	1～	**単位数**	2
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:水曜 1・2 講

対象学科:　全学科

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表 1-2)社会制度や仕組みについての基本を理解する

別表 1-3)人間の歴史的営みを理解する

別表 1-8)自己の心と体を管理する能力を獲得する

主な講義場所

1 番教室

授業の目的、概要等

この授業では、全 1 年生を対象に、担当教員がそれぞれの専門分野から、人文社会科学に関する導入的な講義を行う。

授業の到達目標

授業明細を参照。

授業方法

アクティブラーニングを活用した、講義形式で実施される。

授業内容

授業明細を参照。

成績評価の方法

各教員の評点が 60 点以上であることを合格の条件とする。

最終の成績評価は各教員の評点を合算して行う。

(柳下)出席点 20%＋レポート 70%＋授業内の発言 10%

(辻)レポート 60%＋その他(授業内での課題や質疑応答)40%

(藤井)レポート 70%＋その他(出欠・リアクションペーパーなど授業参加度)30%

再評価:有(レポートなど)

成績評価の基準

各教員が提示する、到達目標の到達度合いによる。

準備学習等についての具体的な指示

各教員が授業内で適宜指示する。

試験の受験資格

担当教員の各授業において、2/3 以上の出席があること。

教科書

使用しない。

参考書

コーピングのやさしい教科書／伊藤絵美:金剛出版

各教員が授業内で適宜指示する。

他科目との関連

人文社会科学・フィジカルウェルビーイング選択科目群　教養基礎セミナーなど

連絡先(メールアドレス)

藤井　達夫:fujii.las@tmd.ac.jp

柳下　和慶:yagishita.orth@tmd.ac.jp

辻　泰明:tsuji.yasuaki@tmd.ac.jp

オフィスアワー

藤井　達夫:毎週月曜日 12:00―13:00(管理棟 2 階)

柳下　和慶:前期　毎週火曜日 12:30-13:00 管理研究棟 2 階　研究室

後期　毎週木曜日 12:30-13:00 管理研究棟 2 階　研究室

辻　泰明:前期:金　14:30～15:00　後期:水　12:30～13:00

管理研究棟 2 階

時間割番号	001001				
科目名	人文社会科学概論(1 講)			**科目 ID**	
担当教員	藤井 達夫, 柳下 和慶, 辻 泰明[FUJII Tatsuo, YAGISHITA KAZUYOSHI, TSUJI Yasuaki]				
開講時期	2024 年度前期	**対象年次**	1		
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:水曜 1・2 講

対象学科: 全学科

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表 1-2)社会制度や仕組みについての基本を理解する

別表 1-3)人間の歴史的営みを理解する

別表 1-8)自己の心と体を管理する能力を獲得する

主な講義場所

1 番教室

授業の目的、概要等

この授業では、全 1 年生を対象に、複数の教員がそれぞれの専門分野から人文社会科学に関する導入的な講義を行う。

授業の到達目標

授業明細を参照。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	4/17	08:50-10:30		木村 円先生(En's Lab 代表、アステラス製薬メディカルディレクター、国立病院機構鈴鹿病院研究員、大阪大学招へい教授、名古屋大学特任教授)による講演	日本の難病医療制度につながるマイルストンである医学研究の成り立ちを振り返り、自分たちが何を学ぶことができるか一緒に考える。	柳下 和慶 藤井 達夫 辻 泰明	授業方法:質疑応答
3-4	4/24	08:50-10:30		現代日本の不安型ナショナリズム(東工大 ILA 中島岳志先生)	現代日本におけるナショナリズム問題を考察する。ポイントは「不安型ナショナリズム」。社会が流動化し、安定的な社会基盤が失われる中、なぜナショナリズムが歪な形で勃興するのかを考える。	柳下 和慶 藤井 達夫 辻 泰明	到達目標:授業の内容を理解した上で、自分の考えを述べることができる。 学習方法:リアクションペーパー、質疑応答
5-6	5/1	08:50-10:30		エヴァンゲリオンとセカイ系ー人類補完計画という夢(東工大 ILA 中島岳志先生)	「不安型ナショナリズム」現象と連動するセカイ系アニメの分析を通じて、現代の不安の性質を内在的に理解し、その問題を考察する。	柳下 和慶 藤井 達夫 辻 泰明	到達目標:授業の内容を理解した上で、自分の考えを述べることができる。 学習方法:リアクションペーパー、質疑応答
7-8	5/8	08:50-10:30		オリンピックでのメディカル活動	スポーツ現場でのメディカル活動を概説し、トップアスリートが集結するオリンピックなど国際大会で	柳下 和慶 藤井 達夫 辻 泰明	到達目標:スポーツ競技におけるメディカルサポート

					の医療活動を知る。		の概要について説明できること。学習方法:リアクションペーパーを用いた質疑応答
9-10	5/15	08:50-10:30		ストレスマネジメント	ストレスマネジメントの概要を知り、自分自身の具体的対処方法を知る。特に新入生ため心身の不調に対する具体的な指標を与える。(学生支援保健管理機構助教 渡邊洋子先生担当)	柳下 和慶 藤井 達夫 辻 泰明	到達目標:ストレスマネジメントの構成の概要を説明できるようになること。自分自身の心身不調時の対応策を知ること。 学習方法:授業中の複数回の質疑応答・グループワーク
11-12	5/22	08:50-10:30		オリンピアンの言葉	オリンピック金メダリストによるオリンピックや競技への向き合い方を聞き、困難への向き合いや克服の方法など、オリンピアンの生き方を学ぶ。(非常勤講師 谷本歩実先生担当)	柳下 和慶 藤井 達夫 辻 泰明	到達目標:オリンピアンの言葉を聞き、自らの新たな生き方、困難への向き合い方のヒントを得ること。学習方法:授業中の複数回の質疑応答
13-14	5/29	08:50-10:30		運動生理学とスピードスケート:北京オリンピックでの科学からの戦い方	運動生理学やバイオメカニクスについて概説し、スピードスケートのオリンピックに向けた科学的サポートを紹介する。(非常勤講師 熊川大介先生担当)	柳下 和慶 藤井 達夫 辻 泰明	到達目標:アスリートを対象とした科学的サポートの概要を知り、一部説明できること。 学習方法:リアクションペーパー
15-16	6/5	08:50-10:30		メディアとインターネット	・新聞とテレビからインターネットへの転換 ・マスメディアとは異なるインターネットの特性(Web2.0 とロングテール) ・SNS による情報拡散の功罪	柳下 和慶 藤井 達夫 辻 泰明	到達目標:伝統的マスメディアとインターネットについて、それぞれの特性を対比的に説明できる。学習方法:ディスカッション、質疑応答
17-18	6/12	08:50-10:30		メディアとフェイク	・フェイクの歴史と進化 ・フェイクが生まれる構造的要因 ・フェイク動画の見分け方	柳下 和慶 藤井 達夫 辻 泰明	到達目標:メディアに伏在するフェイクについて、適切なリテラシーによって判断できる。 学習方法:

							ディスカッション、質疑応答
19-20	6/19	08:50-10:30		メディアと戦争	・メディアが形作った戦争　・映画と戦争　・テレビと戦争	柳下 和慶 藤井 達夫 辻 泰明	到達目標:メディアが伝えてきた戦争のイメージについて、事例に基づいて説明できる。 学習方法:ディスカッション、質疑応答
21-22	6/26	08:50-10:30		メディアと政治	・メディアがもたらす社会変動　・マスメディアとインターネットが選挙に及ぼす影響　・政治とメディアの触接と相反	柳下 和慶 藤井 達夫 辻 泰明	到達目標:メディアと政治の関係について、表層に露出した現象の下部にある動因の観点から述べることができる。 学習方法:ディスカッション、質疑応答
23-24	7/3	08:50-10:30		民主主義と現代社会(1)	ポピュリズム化する民主主義とポスト・トゥルース	柳下 和慶 藤井 達夫 辻 泰明	到達目標:ポピュリズムという言葉を手掛かりに、民主主義の現状を理解し、その問題点を説明できる。 学習方法:リアクションペーパーを用いた質疑応答と授業内でのでディスカッション
25-26	7/10	08:50-10:30		民主主義と現代社会(2)	民主主義を破壊する新自由主義	柳下 和慶 藤井 達夫 辻 泰明	到達目標:新自由主義という言葉を手掛かりに、民主主義の現状を理解し、その問題点を説明できる。 学習方法:リアクションペーパーを用いた質疑応答と授業内でのディスカッション
27-28	7/17	08:50-10:30		民主主義と現代社会(3)	人新世の時代に浮き彫りになる民主主義の欠陥	柳下 和慶 藤井 達夫 辻 泰明	到達目標:人新世という言葉を手掛かりに、民主主義の現状を理解し、その問題点を説明できる。 学習

							方法:リアクションペーパーを用いた質疑応答と授業内でのディスカッション
29-30	7/24	08:50-10:30		民主主義と現代社会(4)	民主主義のイノベーションの可能性	柳下 和慶 藤井 達夫 辻 泰明	到達目標:民主主義を改革する方法について理解し、現代に相応しい民主主義のあり方について論じることができる。 学習方法:リアクションペーパーを用いた質疑応答と授業内でのディスカッション

授業方法

アクティブラーニングを活用した、講義形式で実施される。

授業内容

授業明細を参照。

成績評価の方法

各教員の評点が 60 点以上であることを合格の条件とする。

最終的な成績評価は各教員の評点を合算して行う。

(柳下)出席点 20%+レポート 70%+授業内の発言 10%

(辻) レポート 60%+その他(授業内での課題や質疑応答)40%

(藤井)レポート 70%+その他(出欠・リアクションペーパーなど授業参加度)30%

再評価:有(レポートなど)

成績評価の基準

各教員が提示する、到達目標の到達度合いによる。

準備学習等についての具体的な指示

各教員が授業内で適宜指示する。

試験の受験資格

担当教員の各授業において、2/3 以上の出席があること。

教科書

使用しない。

参考書

コーピングのやさしい教科書／伊藤絵美:金剛出版

各教員が授業内で適宜指示する。

他科目との関連

人文社会科学・フィジカルウェルビーイング選択科目群、 教養基礎セミナーなど

連絡先(メールアドレス)

藤井 達夫:fujii.las@tmd.ac.jp

柳下 和慶:yagishita.orth@tmd.ac.jp

辻 泰明:tsuji.yasuaki@tmd.ac.jp

オフィスアワー

藤井 達夫:毎週月曜日 12:00—13:00(管理棟 2 階)

柳下　和慶:前期　毎週火曜日 12:30-13:00 管理研究棟 2 階　研究室
後期　毎週木曜日 12:30-13:00 管理研究棟 2 階　研究室
辻　泰明:前期:金　14:30～15:00　後期:水　12:30～13:00
管理研究棟 2 階

時間割番号	001002				
科目名	人文社会科学概論(2 講)			**科目 ID**	
担当教員	藤井 達夫, 柳下 和慶, 辻 泰明[FUJII Tatsuo, YAGISHITA KAZUYOSHI, TSUJI Yasuaki]				
開講時期	2024 年度前期	**対象年次**	1		
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:水曜 1・2 講

対象学科: 全学科

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表 1-2)社会制度や仕組みについての基本を理解する

別表 1-3)人間の歴史的営みを理解する

別表 1-8)自己の心と体を管理する能力を獲得する

主な講義場所

1 番教室

授業の目的、概要等

この授業では、全 1 年生を対象に、複数の教員がそれぞれの専門分野から人文社会科学に関する導入的な講義を行う。

授業の到達目標

授業明細を参照。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	4/17	10:45-12:25		木村 円先生(En's Lab 代表、アステラス製薬メディカルディレクター、国立病院機構鈴鹿病院研究員、大阪大学招へい教授、名古屋大学特任教授)による講演	日本の難病医療制度につながるマイルストンである医学研究の成り立ちを振り返り、自分たちが何を学ぶことができるか一緒に考える。	柳下 和慶 藤井 達夫 辻 泰明	授業方法:質疑応答
3-4	4/24	10:45-12:25		現代日本の不安型ナショナリズム(東工大 ILA 中島岳志先生)	現代日本におけるナショナリズム問題を考察する。ポイントは「不安型ナショナリズム」。社会が流動化し、安定的な社会基盤が失われる中、なぜナショナリズムが歪な形で勃興するのかを考える。	柳下 和慶 藤井 達夫 辻 泰明	到達目標:授業の内容を理解した上で、自分の考えを述べることができる。 学習方法:リアクションペーパー、質疑応答
5-6	5/1	10:45-12:25		エヴァンゲリオンとセカイ系ー人類補完計画という夢(東工大 ILA 中島岳志先生)	「不安型ナショナリズム」現象と連動するセカイ系アニメの分析を通じて、現代の不安の性質を内在的に理解し、その問題を考察する。	柳下 和慶 藤井 達夫 辻 泰明	到達目標:授業の内容を理解した上で、自分の考えを述べることができる。 学習方法:リアクションペーパー、質疑応答
7-8	5/8	10:45-12:25		オリンピックでのメディカル活動	スポーツ現場でのメディカル活動を概説し、トップアスリートが集結するオリンピックなど国際大会での医療活動を知る。	柳下 和慶 藤井 達夫 辻 泰明	到達目標:スポーツ競技におけるメディカルサポートの概要について説明できること。

							学習方法:リアクションペーパーを用いた質疑応答
9-10	5/15	10:45-12:25		ストレスマネジメント	ストレスマネジメントの概要を知り、自分自身の具体的対処方法を知る。特に新入生ため心身の不調に対する具体的な指標を与える。(学生支援保健管理機構助教 渡邊洋子先生担当)	柳下 和慶 藤井 達夫 辻 泰明	到達目標:ストレスマネジメントの構成の概要を説明できるようになること。自分自身の心身不調時の対応策を知ること。 学習方法:授業中の複数回の質疑応答・グループワーク
11-12	5/22	10:45-12:25		オリンピアンの言葉	オリンピック金メダリストによるオリンピックや競技への向き合い方を聞き、困難への向き合いや克服の方法など、オリンピアンの生き方を学ぶ。(非常勤講師 谷本歩実先生担当)	柳下 和慶 藤井 達夫 辻 泰明	到達目標:オリンピアンの言葉を聞き、自らの新たな生き方、困難への向き合い方のヒントを得ること。学習方法:授業中の複数回の質疑応答
13-14	5/29	10:45-12:25		運動生理学とスピードスケート:北京オリンピックでの科学からの戦い方	運動生理学やバイオメカニクスについて概説し、スピードスケートのオリンピックに向けた科学的サポートを紹介する。(非常勤講師 熊川大介先生担当)	柳下 和慶 藤井 達夫 辻 泰明	到達目標:アスリートを対象とした科学的サポートの概要を知り、一部説明できること。 学習方法:リアクションペーパー
15-16	6/5	10:45-12:25		メディアとインターネット	・新聞とテレビからインターネットへの転換 ・マスメディアとは異なるインターネットの特性(Web2.0 とロングテール) ・SNS による情報拡散の功罪	柳下 和慶 藤井 達夫 辻 泰明	到達目標:伝統的マスメディアとインターネットについて、それぞれの特性を対比的に説明できる。学習方法:ディスカッション、質疑応答
17-18	6/12	10:45-12:25		メディアとフェイク	・フェイクの歴史と進化 ・フェイクが生まれる構造的要因 ・フェイク動画の見分け方	柳下 和慶 藤井 達夫 辻 泰明	到達目標:メディアに伏在するフェイクについて、適切なリテラシーによって判断できる。 学習方法:ディスカッション、質疑応答

19-20	6/19	10:45-12:25		メディアと戦争	・メディアが形作った戦争 ・映画と戦争 ・テレビと戦争	柳下 和慶 藤井 達夫 辻 泰明	到達目標:メディアが伝えてきた戦争のイメージについて、事例に基づいて説明できる。 学習方法:ディスカッション、質疑応答
21-22	6/26	10:45-12:25		メディアと政治	・メディアがもたらす社会変動 ・マスメディアとインターネットが選挙に及ぼす影響 ・政治とメディアの触接と相反	柳下 和慶 藤井 達夫 辻 泰明	到達目標:メディアと政治の関係について、表層に露出した現象の下部にある動因の観点から述べることができる。 学習方法:ディスカッション、質疑応答
23-24	7/3	10:45-12:25		民主主義と現代社会(1)	ポピュリズム化する民主主義とポスト・トゥルース	柳下 和慶 藤井 達夫 辻 泰明	到達目標:ポピュリズムという言葉を手掛かりに、民主主義の現状を理解し、その問題点を説明できる。 学習方法:リアクションペーパーを用いた質疑応答と授業内でのでディスカッション
25-26	7/10	10:45-12:25		民主主義と現代社会(2)	民主主義を破壊する新自由主義	柳下 和慶 藤井 達夫 辻 泰明	到達目標:新自由主義という言葉を手掛かりに、民主主義の現状を理解し、その問題点を説明できる。 学習方法:リアクションペーパーを用いた質疑応答と授業内でのディスカッション
27-28	7/17	10:45-12:25		民主主義と現代社会(3)	人新世の時代に浮き彫りになる民主主義の欠陥	柳下 和慶 藤井 達夫 辻 泰明	到達目標:人新世という言葉を手掛かりに、民主主義の現状を理解し、その問題点を説明できる。 学習方法:リアクションペーパーを用い

							た質疑応答と授業内でのディスカッション
29-30	7/24	10:45-12:25		民主主義と現代社会(4)	民主主義のイノベーションの可能性	柳下 和慶 藤井 達夫 辻 泰明	到達目標:民主主義を改革する方法について理解し、現代に相応しい民主主義のあり方について論じることができる。 学習方法:リアクションペーパーを用いた質疑応答と授業内でのディスカッション

授業方法

アクティブラーニングを活用した、講義形式で実施される。

授業内容

授業明細を参照。

成績評価の方法

各教員の評点が 60 点以上であることを合格の条件とする。

最終的な成績評価は各教員の評点を合算して行う。

(柳下)出席点 20%+レポート 70%+授業内の発言 10%

(辻) レポート 60%+その他(授業内での課題や質疑応答)40%

(藤井)レポート 70%+その他(出欠・リアクションペーパーなど授業参加度)30%

再評価:有(レポートなど)

成績評価の基準

各教員が提示する、到達目標の到達度合いによる。

準備学習等についての具体的な指示

各教員が授業内で適宜指示する。

試験の受験資格

担当教員の各授業において、2/3 以上の出席があること。

教科書

使用しない。

参考書

コーピングのやさしい教科書/伊藤絵美:金剛出版

各教員が授業内で適宜指示する。

他科目との関連

人文社会科学・フィジカルウェルビーイング選択科目群、 教養基礎セミナーなど

連絡先(メールアドレス)

藤井 達夫:fujii.las@tmd.ac.jp

柳下 和慶:yagishita.orth@tmd.ac.jp

辻 泰明:tsuji.yasuaki@tmd.ac.jp

オフィスアワー

藤井 達夫:毎週月曜日 12:00—13:00(管理棟 2 階)

柳下 和慶:前期 毎週火曜日 12:30-13:00 管理研究棟 2 階 研究室

後期 毎週木曜日 12:30-13:00 管理研究棟 2 階 研究室

辻 泰明:前期:金 14:30～15:00 後期:水 12:30～13:00 管理研究棟 2 階

時間割番号	001101				
科目名	国際地域文化入門(1 講)			**科目 ID**	
担当教員	BAO MIN, 竹下 和亮, 諸隈 夕子, 大堂 果林, 藤井 俊吾[BAO Min, TAKESHITA Kazuaki, MOROKUMA Yuuko, OODOU Karinn, FUJII Shunngo]				
開講時期	2024 年度前期	**対象年次**	1		
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:木曜 1・2 講

対象学科:全学科

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表 1-4)異なる空間の文化を理解する

別表 3-4)外国文化を理解する

別表 3-5)国際情勢を理解する

授業の目的、概要等

英語圏とは別の 5 カ国・地域(ヨーロッパ、アジア、ラテンアメリカから選定)の地域文化と社会を紹介する講義である。オムニバス形式で講義を行い、グローバル化の時代において異文化理解に資する内容である。該当する国・地域の言語を履修していない学生にも理解できる授業である。

授業の到達目標

世界には、グローバル化によって平準化することのできない多様な文化・社会が存在している。講義を通じ、日本以外の国や地域の文化と接し、異文化理解力の基礎を築く。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	4/18	08:50-10:30		第1回 中国の基礎データ	国土、政治、民族、人口などの紹介	BAO MIN, 竹下 和亮, 藤井 俊吾, 諸隈 夕子, 大堂 果林	中国の地理、行政機構、人口の状況を認識し、説明できる。 グループワーク(中国のイメージに関するディスカッション)、リアクションペーパーを用いた質疑応答
3-4	4/25	08:50-10:30		第2回 中国の歴史と世界遺産	王朝政治から現代中国までの歴史を振り返り、中国の代表的な世界遺産を取り上げ、その文化と歴史の概況を把握する。	BAO MIN, 竹下 和亮, 藤井 俊吾, 諸隈 夕子, 大堂 果林	中国の歴史の変遷を理解し、代表的な世界遺産の説明ができる。リアクションペーパーを用いた質疑応答
5-6	5/2	08:50-10:30		第3回 中国の民俗	中国の節句・伝統行事、中国の干支と十二支、食文化を学ぶ	BAO MIN, 竹下 和亮, 藤井 俊吾,	中国の節句・伝統行事、二十四節気が説明でき、食

						諸隈 夕子, 大堂 果林	文化に関して各地の違いを述べることができる。リアクションペーパーを用いた質疑応答
7-8	5/9	08:50-10:30		第4回 スペインってどんな国？	通貨や気候、名産品などを中心にスペインの基本情報を紹介する。	BAO MIN, 竹下 和亮, 藤井 俊吾, 諸隈 夕子, 大堂 果林	スペインという国の特徴を認識し、具体的にイメージが構築できるようになる。 グループワーク、リアクションペーパーを用いた質疑応答
9-10	5/16	08:50-10:30		第5回 スペインの言語事情と歴史的背景	日本で「スペイン語」と呼ばれる言語とは何か。国が経験した歴史を辿る。	BAO MIN, 竹下 和亮, 藤井 俊吾, 諸隈 夕子, 大堂 果林	スペイン国内における多言語性を理解する。レコンキスタについて説明できる。 リアクションペーパーを用いた質疑応答
11-12	5/23	08:50-10:30		第6回 スペインの暮らしにまつわる文化的側面	税金、給料、権利等の諸制度に加えて生活様式、祝祭、宗教等の文化面も概観する。	BAO MIN, 竹下 和亮, 藤井 俊吾, 諸隈 夕子, 大堂 果林	印象的だったトピックについて、日本と比較しながら自分の意見を述べることができる。 リアクションペーパーを用いた質疑応答
13-14	5/30	08:50-10:30		第7回 フランスの地誌	フランス全土の地誌的な情報を紹介する。	BAO MIN, 竹下 和亮, 藤井 俊吾, 諸隈 夕子, 大堂 果林	フランスの各地方の基本的な情報を得ることができる。 リアクションペーパーを用いた質疑応答のほか、時間が許せば簡単なディスカッションも行う予定である。
15-16	6/6	08:50-10:30		第8回 フランスの歴史	ローマ帝国の崩壊から現在までのフランスの歴史を解説する。	BAO MIN, 竹下 和亮, 藤井 俊吾, 諸隈 夕子, 大堂 果林	フランス史の簡単な流れが理解できる。 リアクションペーパーを用いた質疑応答のほか、時間が許せば簡単なディスカッションも行う

							予定である。
17-18	6/13	08:50-10:30		第9回 フランスの現在	フランスを取り巻く国際環境、現代生活の特質などを解説する。	BAO MIN, 竹下 和亮, 藤井 俊吾, 諸隈 夕子, 大堂 果林	フランスが直面する現代的な課題について知ることができる。 リアクションペーパーを用いた質疑応答のほか、時間が許せば簡単なディスカッションも行う予定である。
19-20	6/20	08:50-10:30		第10回 ドイツの歴史と地理の概要	ドイツの大まかな歴史と地理を概観する。高校の世界史未履修者向けの内容である。	BAO MIN, 竹下 和亮, 藤井 俊吾, 諸隈 夕子, 大堂 果林	現代ドイツの社会的文化的情勢を理解する基礎を身につける。 リアクションペーパーを用いた質疑応答
21-22	6/27	08:50-10:30		第11回 ドイツの文化、移民政策	ドイツの食文化を含む文化的特徴や移民政策の変遷等を概観し、ドイツの地方色の強さ、西ドイツ時代の移民政策と現代の移民政策の違いについて重点的に学ぶ。	BAO MIN, 竹下 和亮, 藤井 俊吾, 諸隈 夕子, 大堂 果林	ドイツの文化的特徴を歴史的観点を交えて有機的に理解する。 リアクションペーパーを用いた質疑応答
23-24	7/4	08:50-10:30		第12回 ドイツの言語、方言、少数言語	現代ドイツ語の成立過程、ドイツに於ける方言、及び少数言語について学ぶ。	BAO MIN, 竹下 和亮, 藤井 俊吾, 諸隈 夕子, 大堂 果林	ドイツ語を含め、ドイツに於いて話されている、もしくは話されていた言語についての基礎的知識を習得する。 リアクションペーパーを用いた質疑応答
25-26	7/11	08:50-10:30		第13回 ラテンアメリカの国々:基本情報	ラテンアメリカの国々の位置、言語、地理を中心に、この地域の特徴を俯瞰的に学ぶ。	BAO MIN, 竹下 和亮, 藤井 俊吾, 諸隈 夕子, 大堂 果林	ラテンアメリカの国々の名前と概ねの位置を対応付けられる。使用される言語や特徴的な気候・都市など、これらの国の主要な地理的特徴を説明できる。 ディスカッション、リアクションペーパーを用いた質疑応答
27-28	7/18	08:50-10:30		第14回 ラテンアメリカ	ラテンアメリカの国々の歴史と現	BAO MIN,	ラテンアメリカの

				の社会	代社会の重要なトピックを学ぶ。	竹下 和亮, 藤井 俊吾, 諸隈 夕子, 大堂 果林	概略的な歴史を、スペイン・ポルトガルによる植民地支配以前・最中・以降の 3 つの時期に注目して説明できる。この地域の重要な社会問題を説明できる。 ディスカッション、リアクションペーパー
29–30	7/25	08:50–10:30		第15回 ラテンアメリカの文化	ラテンアメリカの国々の文化を、第 1 回・第 2 回で学んだ情報と関連付けながら学ぶ。	BAO MIN, 竹下 和亮, 藤井 俊吾, 諸隈 夕子, 大堂 果林	ラテンアメリカの食や音楽を中心とした文化的特徴を、この地域の地理や歴史と関連付けながら説明できる。 ディスカッション、リアクションペーパーを用いた質疑応答

授業方法

講義と演習による。

毎回授業終了時に、各自が新しく学んだことや疑問に思ったことをリアクションペーパーに書いて提出し、フィードバックする。授業内容に対し、課題発表やミニ討論をすることがある。

授業内容

第1回　中国の基礎データ
第2回　中国の歴史と世界遺産
第3回　中国の民俗
第4回　スペインってどんな国？
第5回　スペインの言語事情と歴史的背景
第6回　スペインの暮らしにまつわる文化的側面
第7回　フランスの地誌
第8回　フランスの歴史
第9回　フランスの現在
第10回　ドイツの歴史と地理の概要
第11回　ドイツの文化、移民政策
第12回　ドイツの言語、方言、少数言語
第13回　ラテンアメリカの国々:基本情報
第14回　ラテンアメリカの社会
第15回　ラテンアメリカの文化

成績評価の方法

5 名の教員が授業を担当する。成績(100 点満点)は 5 名の教員の評価(それぞれ 20 点ずつ)を合計する形で最終評価になる。
それぞれの担当教員はレポート 70%、その他(出欠・コメントシートなど授業態度)30%で評価する。

成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 プリントを配布する。予習は特に必要ではないが、授業の内容を整理し、レポートに活かす。
試験の受験資格 2/3以上出席したものに、レポート提出の資格を与える。
教科書 教科書は用いない。適宜プリントを配布する。
他科目との関連 時間の制限により前期の講義では 5 カ国・地域(ヨーロッパ、アジア、ラテンアメリカから選定)の地域文化と社会を 3 回ずつ紹介することになっているが、後期の教養基礎セミナーでは上記の国・地域の地域文化と社会に関連する内容をより詳細に紹介する講義を用意している。興味のある学生には履修を勧めたい。
連絡先(メールアドレス) BAO　MIN:minbao.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー BAO　MIN:水曜日　12:30～13:00　管理研究棟 3 階　研究室

時間割番号	001102			
科目名	国際地域文化入門(2 講)		**科目 ID**	
担当教員	BAO MIN, 竹下 和亮, 諸隈 夕子, 大堂 果林, 藤井 俊吾[BAO Min, TAKESHITA Kazuaki, MOROKUMA Yuuko, OODOU Karinn, FUJII Shunngo]			
開講時期	2024 年度前期	**対象年次**	1	
実務経験のある教員による授業				

曜日・時間:木曜 1・2 講

対象学科:全学科

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表 1-4)異なる空間の文化を理解する

別表 3-4)外国文化を理解する

別表 3-5)国際情勢を理解する

授業の目的、概要等

英語圏とは別の 5 カ国・地域(ヨーロッパ、アジア、ラテンアメリカから選定)の地域文化と社会を紹介する講義である。オムニバス形式で講義を行い、グローバル化の時代において異文化理解に資する内容である。該当する国・地域の言語を履修していない学生にも理解できる授業である。

授業の到達目標

世界には、グローバル化によって平準化することのできない多様な文化・社会が存在している。講義を通じ、日本以外の国や地域の文化と接し、異文化理解力の基礎を築く。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	4/18	10:45-12:25		第1回 中国の基礎データ	国土、政治、民族、人口などの紹介	BAO MIN, 竹下 和亮, 藤井 俊吾, 諸隈 夕子, 大堂 果林	中国の地理、行政機構、人口の状況を認識し、説明できる。 グループワーク(中国のイメージに関するディスカッション)、リアクションペーパーを用いた質疑応答
3-4	4/25	10:45-12:25		第2回 中国の歴史と世界遺産	王朝政治から現代中国までの歴史を振り返り、中国の代表的な世界遺産を取り上げ、その文化と歴史の概況を把握する。	BAO MIN, 竹下 和亮, 藤井 俊吾, 諸隈 夕子, 大堂 果林	中国の歴史の変遷を理解し、代表的な世界遺産の説明ができる。リアクションペーパーを用いた質疑応答
5-6	5/2	10:45-12:25		第3回 中国の民俗	中国の節句・伝統行事、中国の干支と十二支、食文化を学ぶ	BAO MIN, 竹下 和亮, 藤井 俊吾,	中国の節句・伝統行事、二十四節気が説明でき、食

						諸隈 夕子, 大堂 果林	文化に関して各地の違いを述べることができる。リアクションペーパーを用いた質疑応答
7-8	5/9	10:45-12:25		第4回 スペインってどんな国？	通貨や気候、名産品などを中心にスペインの基本情報を紹介する。	BAO MIN, 竹下 和亮, 藤井 俊吾, 諸隈 夕子, 大堂 果林	スペインという国の特徴を認識し、具体的にイメージが構築できるようになる。 グループワーク、リアクションペーパーを用いた質疑応答
9-10	5/16	10:45-12:25		第5回 スペインの言語事情と歴史的背景	日本で「スペイン語」と呼ばれる言語とは何か。国が経験した歴史を辿る。	BAO MIN, 竹下 和亮, 藤井 俊吾, 諸隈 夕子, 大堂 果林	スペイン国内における多言語性を理解する。レコンキスタについて説明できる。 リアクションペーパーを用いた質疑応答
11-12	5/23	10:45-12:25		第6回 スペインの暮らしにまつわる文化的側面	税金、給料、権利等の諸制度に加えて生活様式、祝祭、宗教等の文化面も概観する。	BAO MIN, 竹下 和亮, 藤井 俊吾, 諸隈 夕子, 大堂 果林	印象的だったトピックについて、日本と比較しながら自分の意見を述べることができる。 リアクションペーパーを用いた質疑応答
13-14	5/30	10:45-12:25		第7回 フランスの地誌	フランス全土の地誌的な情報を紹介する。	BAO MIN, 竹下 和亮, 藤井 俊吾, 諸隈 夕子, 大堂 果林	フランスの各地方の基本的な情報を得ることができる。 リアクションペーパーを用いた質疑応答のほか、時間が許せば簡単なディスカッションも行う予定である。
15-16	6/6	10:45-12:25		第8回 フランスの歴史	ローマ帝国の崩壊から現在までのフランスの歴史を解説する。	BAO MIN, 竹下 和亮, 藤井 俊吾, 諸隈 夕子, 大堂 果林	フランス史の簡単な流れが理解できる。 リアクションペーパーを用いた質疑応答のほか、時間が許せば簡単なディスカッションも行う

							予定である。
17-18	6/13	10:45-12:25		第9回 フランスの現在	フランスを取り巻く国際環境、現代生活の特質などを解説する。	BAO MIN, 竹下 和亮, 藤井 俊吾, 諸隈 夕子, 大堂 果林	フランスが直面する現代的な課題について知ることができる。 リアクションペーパーを用いた質疑応答のほか、時間が許せば簡単なディスカッションも行う予定である。
19-20	6/20	10:45-12:25		第10回 ドイツの歴史と地理の概要	ドイツの大まかな歴史と地理を概観する。高校の世界史未履修者向けの内容である。	BAO MIN, 竹下 和亮, 藤井 俊吾, 諸隈 夕子, 大堂 果林	現代ドイツの社会的文化的情勢を理解する基礎を身につける。 リアクションペーパーを用いた質疑応答
21-22	6/27	10:45-12:25		第11回 ドイツの文化、移民政策	ドイツの食文化を含む文化的特徴や移民政策の変遷等を概観し、ドイツの地方色の強さ、西ドイツ時代の移民政策と現代の移民政策の違いについて重点的に学ぶ。	BAO MIN, 竹下 和亮, 藤井 俊吾, 諸隈 夕子, 大堂 果林	ドイツの文化的特徴を歴史的観点を交えて有機的に理解する。 リアクションペーパーを用いた質疑応答
23-24	7/4	10:45-12:25		第12回 ドイツの言語、方言、少数言語	現代ドイツ語の成立過程、ドイツに於ける方言、及び少数言語について学ぶ。	BAO MIN, 竹下 和亮, 藤井 俊吾, 諸隈 夕子, 大堂 果林	ドイツ語を含め、ドイツに於いて話されている、もしくは話されていた言語についての基礎的知識を習得する。 リアクションペーパーを用いた質疑応答
25-26	7/11	10:45-12:25		第13回 ラテンアメリカの国々:基本情報	ラテンアメリカの国々の位置、言語、地理を中心に、この地域の特徴を俯瞰的に学ぶ。	BAO MIN, 竹下 和亮, 藤井 俊吾, 諸隈 夕子, 大堂 果林	ラテンアメリカの国々の名前と概ねの位置を対応付けられる。使用される言語や特徴的な気候・都市など、これらの国の主要な地理的特徴を説明できる。 ディスカッション、リアクションペーパーを用いた質疑応答
27-28	7/18	10:45-12:25		第14回 ラテンアメリカ	ラテンアメリカの国々の歴史と現	BAO MIN,	ラテンアメリカの

				の社会	代社会の重要なトピックを学ぶ。	竹下 和亮, 藤井 俊吾, 諸隈 夕子, 大堂 果林	概略的な歴史を、スペイン・ポルトガルによる植民地支配以前・最中・以降の 3 つの時期に注目して説明できる。この地域の重要な社会問題を説明できる。 ディスカッション、リアクションペーパー
29–30	7/25	10:45–12:25		第15回 ラテンアメリカの文化	ラテンアメリカの国々の文化を、第 1 回・第 2 回で学んだ情報と関連付けながら学ぶ。	BAO MIN, 竹下 和亮, 藤井 俊吾, 諸隈 夕子, 大堂 果林	ラテンアメリカの食や音楽を中心とした文化的特徴を、この地域の地理や歴史と関連付けながら説明できる。 ディスカッション、リアクションペーパーを用いた質疑応答

授業方法

講義と演習による。

毎回授業終了時に、各自が新しく学んだことや疑問に思ったことをリアクションペーパーに書いて提出し、フィードバックする。授業内容に対し、課題発表やミニ討論をすることがある。

授業内容

第1回　中国の基礎データ
第2回　中国の歴史と世界遺産
第3回　中国の民俗
第4回　スペインってどんな国？
第5回　スペインの言語事情と歴史的背景
第6回　スペインの暮らしにまつわる文化的側面
第7回　フランスの地誌
第8回　フランスの歴史
第9回　フランスの現在
第10回　ドイツの歴史と地理の概要
第11回　ドイツの文化、移民政策
第12回　ドイツの言語、方言、少数言語
第13回　ラテンアメリカの国々:基本情報
第14回　ラテンアメリカの社会
第15回　ラテンアメリカの文化

成績評価の方法

5 名の教員が授業を担当する。成績(100 点満点)は 5 名の教員の評価(それぞれ 20 点ずつ)を合計する形で最終評価になる。
それぞれの担当教員はレポート 70%、その他(出欠・コメントシートなど授業態度)30%で評価する。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

プリントを配布する。予習は特に必要ではないが、授業の内容を整理し、レポートに活かす。

試験の受験資格

2/3以上出席したものに、レポート提出の資格を与える。

教科書

教科書は用いない。適宜プリントを配布する。

他科目との関連

時間の制限により前期の講義では 5 カ国・地域(ヨーロッパ、アジア、ラテンアメリカから選定)の地域文化と社会を 3 回ずつ紹介することになっているが、後期の教養基礎セミナーでは上記の国・地域の地域文化と社会に関連する内容をより詳細に紹介する講義を用意している。興味のある学生には履修を勧めたい。

時間割番号	00120				
科目名	哲学			科目ID	
担当教員	大賀　祐樹[OOGA Yuuki]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1～	単位数	2
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:　金曜　3 講

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表 1-1)言語を通した人間の創造的営みを理解する

別表 1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る

別表 1-6)人間の心への理解を深める

別表 1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる

別表 2-3)言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法論を知る

授業の目的、概要等

「哲学」とは元々、学問全般の総称であった。

現代では学術的に真理を探究する際の主要な方法は「科学」に基づいている。

では、哲学と科学における真理の探究は、それぞれどのようにしてなされているのか。

哲学的観点と科学的観点、それぞれの方法論を踏まえたうえで、哲学的な正しさ、科学的な正しさがどのように根拠付けられるのかを説明する。

特に、20 世紀以降の分析哲学の思想史を解説し、論理的、批判的な思考を理解し、身につけるための概論、入門編としての講義を行う。

授業の到達目標

哲学を学ぶ初級者を対象として想定する。

西洋哲学の大まかな全体像を理解したうえで、分析哲学、科学哲学をより詳細に学び、基本的な知識を習得することを一つの目的とする。

できるだけ理解しやすいよう、PowerPoint のスライドを使用して、図解を多く用い、日常的な出来事や事例に置き換えて説明する。

分析哲学、科学哲学の論理的、批判的思考方法を見につけることで、自然科学、社会科学を含め、諸科学のための科学的思考法を身につけることをより大きな目標とする。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	4/12	13:30-15:10		大賀　祐樹, 藤井　達夫
3-4	4/19	13:30-15:10		大賀　祐樹, 藤井　達夫
5-6	4/26	13:30-15:10		大賀　祐樹, 藤井　達夫
7-8	5/10	13:30-15:10		大賀　祐樹, 藤井　達夫
9-10	5/17	13:30-15:10		大賀　祐樹, 藤井　達夫
11-12	5/24	13:30-15:10		大賀　祐樹, 藤井　達夫
13-14	5/31	13:30-15:10		大賀　祐樹, 藤井　達夫
15-16	6/7	13:30-15:10		大賀　祐樹, 藤井　達夫
17-18	6/14	13:30-15:10		大賀　祐樹, 藤井　達夫
19-20	6/21	13:30-15:10		大賀　祐樹, 藤井　達夫
21-22	6/28	13:30-15:10		大賀　祐樹, 藤井　達夫
23-24	7/5	13:30-15:10		大賀　祐樹, 藤井　達夫
25-26	7/12	13:30-15:10		大賀　祐樹, 藤井　達夫
27-28	7/19	13:30-15:10		大賀　祐樹, 藤井　達夫
29-30	7/26	13:30-15:10		大賀　祐樹, 藤井　達夫

授業方法

講義形式で授業を行う。

アクティブラーニングを採り入れ、毎回授業終了後に、各自が新しく学んだことや疑問に思ったことを小レポートとして提出し、次回にフィードバックを行う。

授業内容

1ガイダンス
2哲学的探究法Ⅰ～形而上学的方法
3哲学的探究法Ⅱ～演繹と帰納
4哲学的探究法Ⅲ～論理実証主義
5日常言語学派
6心の哲学
7可能世界意味論
8科学哲学
9分析哲学Ⅰ
10分析哲学Ⅱ
11現象学、存在論、解釈学
12ネオ・プラグマティズム
13批判的思考のいくつかの方法
14授業全体のまとめと補足
15試験
※内容、予定に変更があった場合にはその都度告知する。

成績評価の方法

評価 ： 試験　60%　その他(授業への参加度)　　40%
再評価:　有(レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

毎回配布する PowerPoint の資料を事前に予習、事後に復習、紹介した参考文献の中から気になったものを読む、次回に取り上げる哲学者やキーワード、時代背景を事前に調べ予習するなど。

教科書

なし
毎回配布する PowerPoint の資料を教科書代わりとする。

参考書

毎回の授業で参考文献を多数紹介する。

履修上の注意事項

原則3分の2以上の出席が必要。 Webclass で出欠管理をするが、併せて授業時に空席を確認して、空席の場合は欠席扱いとする。

時間割番号	00130				
科目名	倫理学			**科目ID**	
担当教員	大賀　祐樹[OOGA Yuuki]				
開講時期	2024 年度前期	**対象年次**	1～	**単位数**	2
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:　金曜　4 講

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表)1-2 社会制度や仕組みについての基本を理解する

別表)1-5 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る

別表)1-7 人間の心への理解を深める

別表)1-9 市民としての倫理観を養う

別表)5-2ELSI を分析・評価する視座・方法論を獲得する

授業の目的、概要等

絶対に正しいことなど存在せず、価値観は人それぞれであるとされる現代において、「正義」や「善」の根拠とは何であるのかを主張するのは難しいように思えるかもしれない。

しかし、社会に倫理や道徳が存在しなければ、秩序は乱れ、人間は生きていくことさえ困難であろう。では何故、正しいことは正しく、善いことは善いとされるのか。

倫理学とは、論理的にその答えを出す学問である。

西洋の倫理学の歴史を順に理解することによって、その様々な根拠を知り、また現代において、いかにして倫理を論じることが可能になるのかを理解できるようになるだろう。

授業の到達目標

倫理学を初めて学ぶ者を対象とする。

倫理学の成り立ちから、発展、様々な考え方の成立の経緯を、思想史の順を追って説明し、基本的な知識を習得することを一つの目標とする。

できるだけ理解しやすいように、PowerPoint のスライドで図解を多用し、日常的な出来事や事例に置き換えて説明する。

倫理学の議論において、様々な思想家がどのような問いを立て、答えを見つけるために試行錯誤したのか。その道筋を追うことによって、日常生活や、今後の社会生活においても直面するであろう様々な倫理的な問題に対して、自分なりに考えを整理し、答えを出せるようになるための思考力を養うことを大きな目標とする。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	4/12	15:25-17:05		大賀　祐樹, 藤井　達夫
3-4	4/19	15:25-17:05		大賀　祐樹, 藤井　達夫
5-6	4/26	15:25-17:05		大賀　祐樹, 藤井　達夫
7-8	5/10	15:25-17:05		大賀　祐樹, 藤井　達夫
9-10	5/17	15:25-17:05		大賀　祐樹, 藤井　達夫
11-12	5/24	15:25-17:05		大賀　祐樹, 藤井　達夫
13-14	5/31	15:25-17:05		大賀　祐樹, 藤井　達夫
15-16	6/7	15:25-17:05		大賀　祐樹, 藤井　達夫
17-18	6/14	15:25-17:05		大賀　祐樹, 藤井　達夫
19-20	6/21	15:25-17:05		大賀　祐樹, 藤井　達夫
21-22	6/28	15:25-17:05		大賀　祐樹, 藤井　達夫
23-24	7/5	15:25-17:05		大賀　祐樹, 藤井　達夫
25-26	7/12	15:25-17:05		大賀　祐樹, 藤井　達夫
27-28	7/19	15:25-17:05		大賀　祐樹, 藤井　達夫
29-30	7/26	15:25-17:05		大賀　祐樹, 藤井　達夫

授業方法

講義形式で授業を行う。
アクティブラーニングを採り入れ、毎回授業終了後に、各自が新しく学んだことや疑問に思ったことを小レポートとして提出し、次回にフィードバックを行う。

授業内容

1 ガイダンス
2 正しい生き方、善い生き方と幸福な生き方
3 ソクラテスの裁判と死
4 プラトンの正義論
5 アリストテレスの倫理学
6 ストア派、快楽主義、懐疑主義、他
7 利己主義～ヒューム、スミス
8 人間の自由と道徳～カントの道徳哲学
9 倫理学としての功利主義(1)
10 倫理学としての功利主義(2)
11 ロールズの正義論
12 リバタリアニズム
13 現代の徳倫理学
14 授業全体のまとめと補足
15 試験
※内容、予定の変更があった場合にはその都度告知する。

成績評価の方法

評価 : 試験 60% その他(授業への参加度) 40%
再評価: 有(レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

毎回配布する PowerPoint の資料を事前に予習、事後に復習、紹介した参考文献の中から気になったものを読む、次回に取り上げる論点やキーワード、時代背景を事前に調べ予習するなど。

教科書

なし
毎回配布する PowerPoint の資料を教科書代わりとする。

参考書

毎回の授業で参考文献を多数紹介する。

履修上の注意事項

原則3分の2以上の出席が必要。 Webclass で出欠管理をするが、併せて授業時に空席を確認して、空席の場合は欠席扱いとする。

時間割番号	00140				
科目名	心理学			科目ID	
担当教員	佐藤　舞[SATOU Mai]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1～	単位数	2
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:木曜 4 講

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1―7)人間の心への理解を深める

授業の目的、概要等

心理学は実証科学的方法によって人の心を解き明かそうとする学問です。

日常の心の動きをはじめとして、心がかかわるすべての領域が対象になります。

このため、扱う領域は多岐にわたり、複数の分野に細分化されています。

この科目は、これまでに集積されてきた知の体系にできるだけ幅広く触れることで、人間理解を深めることを目的とします。

授業の到達目標

心理学の基本的な原理を理解し、心にまつわるさまざまな問題を科学的に捉える考え方を身につけることを目標とします。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	4/18	15:25-17:05		佐藤 舞, 藤井 達夫
3-4	4/25	15:25-17:05		佐藤 舞, 藤井 達夫
5-6	5/2	15:25-17:05		佐藤 舞, 藤井 達夫
7-8	5/9	15:25-17:05		佐藤 舞, 藤井 達夫
9-10	5/16	15:25-17:05		佐藤 舞, 藤井 達夫
11-12	5/23	15:25-17:05		佐藤 舞, 藤井 達夫
13-14	5/30	15:25-17:05		佐藤 舞, 藤井 達夫
15-16	6/6	15:25-17:05		佐藤 舞, 藤井 達夫
17-18	6/13	15:25-17:05		佐藤 舞, 藤井 達夫
19-20	6/20	15:25-17:05		佐藤 舞, 藤井 達夫
21-22	6/27	15:25-17:05		佐藤 舞, 藤井 達夫
23-24	7/4	15:25-17:05		佐藤 舞, 藤井 達夫
25-26	7/11	15:25-17:05		佐藤 舞, 藤井 達夫
27-28	7/18	15:25-17:05		佐藤 舞, 藤井 達夫
29-30	7/25	15:25-17:05		佐藤 舞, 藤井 達夫

授業方法

講義形式ですが、アクティブ・ラーニングの形式を取り入れ、簡単な実験や小課題へのフィードバックを行うときがあります。

授業内容

第 1 回:ガイダンス

第 2 回:感覚と知覚

第 3 回:記憶

第 4 回:学習

第 5 回:思考

第 6 回:動機づけ

第 7 回:感情

第 8 回:パーソナリティ

第 9―10 回:発達

第 11―13 回:臨床

第 14 回:社会
第 15 回:まとめ

成績評価の方法

評価 : 筆記試験　70% ・ その他(授業中の小課題)　30%　知識の確実な習得を重視します。
再評価:　有(レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

予習は求めません。適宜必要に応じて復習してください。

教科書

特に指定しません。必要な資料は配布します。

参考書

講義の中で随時紹介します。

履修上の注意事項

・原則として、授業回数の 2/3 の出席を満たさなければ期末試験の受験資格を得られません。

時間割番号	00150				
科目名	宗教学			**科目ID**	
担当教員	宮田　義矢[MIYATA YOSHIYA]				
開講時期	2024 年度前期	**対象年次**	1～	**単位数**	2
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:木曜4講

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1－3)、1－4)、1－5)

授業の目的、概要等

目的:

諸宗教を題材に、異なる社会・異なる立場の人間の信念や思考のあり方を理解し、その中で自らの思考の位置を捉えなおすことを目指します。

無宗教者人口が7～8割といわれる日本社会では、無宗教であることが「常識」です。

しかし、一旦国外で、あるいは国内で宗教を信仰する人間と出会った時、その常識とはまた別の「常識」が力強く存在していることに驚くでしょう。

諸宗教の教義や歴史について理解を深めていくことで、我々の常識がどのような立場にあるのか、あるいはどのように形成されてきたのかを考えていきましょう。

概要:

授業では世界宗教を事例に宗教学の様々なアプローチについて学んでいきます。

授業の到達目標

宗教学的な考え方に基づき、宗教に関わる問題を分析的に記述できるようになること。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	4/18	15:25-17:05		宮田　義矢 藤井　達夫
3-4	4/25	15:25-17:05		宮田　義矢 藤井　達夫
5-6	5/2	15:25-17:05		宮田　義矢 藤井　達夫
7-8	5/9	15:25-17:05		宮田　義矢 藤井　達夫
9-10	5/16	15:25-17:05		宮田　義矢 藤井　達夫
11-12	5/23	15:25-17:05		宮田　義矢 藤井　達夫
13-14	5/30	15:25-17:05		宮田　義矢 藤井　達夫
15-16	6/6	15:25-17:05		宮田　義矢 藤井　達夫
17-18	6/13	15:25-17:05		宮田　義矢 藤井　達夫
19-20	6/20	15:25-17:05		宮田　義矢 藤井　達夫
21-22	6/27	15:25-17:05		宮田　義矢 藤井　達夫
23-24	7/4	15:25-17:05		宮田　義矢 藤井　達夫
25-26	7/11	15:25-17:05		宮田　義矢 藤井　達夫
27-28	7/18	15:25-17:05		宮田　義矢 藤井　達夫
29-30	7/25	15:25-17:05		宮田　義矢 藤井　達夫

授業方法

パワーポイントを用いて講義を行います。アクティブラーニングの形式を取り入れ、授業テーマにまつわる問題を提起してリアクションペーパー等で各自の意見を求めますので、考える姿勢で臨んでください。

授業内容

1. ガイダンス(宗教学のスタンス)
2. ユダヤ教①:「唯一の神」の登場
3. ユダヤ教②:「唯一の神」と選ばれた民
4. キリスト教①:イエスの説く「唯一の神」
5. キリスト教②:三位一体にして「唯一の神」
6. まとめ①:「唯一の神」の宗教史
7. イスラーム①:「唯一の神」の勝利
8. イスラーム②:「イスラーム法」による統治
9. 仏教①:「仏陀」の登場
10. 仏教②:「悟る」ための方法
11. まとめ②:「戒律」の比較宗教
12. 日本の宗教①:日本人は「無宗教」か?
13. 日本の宗教②:スピリチュアルと「宗教」
14. 中国の宗教:儒教は「宗教」なのか?
15. まとめ③:「宗教」概念の宗教学

成績評価の方法

評価 : レポート 60% ・ リアクションペーパー40%

再評価: 有(再評価方法:レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

予習:講義のまとまりごとに、テーマを発表しますので、関連する書籍・辞典等に目を通してください。

復習:各回の講義を、設定した問いにの観点から要約し、宗教学的視点を養うようにしてください。

教科書

教科書は指定しません。毎回レジュメを配布します。
また関連する文献も紹介しますので、意欲的に目を通すようにして下さい。

履修上の注意事項

リアクション・ペーパー(Web Class 上で期限内に提出を求めます)の内容から、授業の理解度や参加度を評価します。 期末試験を受験するには、原則として、授業回数の 2/3 の出席が必要です。

時間割番号	00160				
科目名	芸術(美術)			科目ID	
担当教員	笹野井 もも, 伊藤 寛人, 木津 文哉, 齋藤 典彦, 三上 亮, 押元 一敏[SASANOI Momo, ITOU Hiroto, KIZU FUMIYA, SAITO NORIHIKO, MIKAMI Ryou, OSHIMOTO Kazutoshi]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1～	単位数	2
実務経験のある教員による授業					

前期:金曜3講

対象学科:医学科・歯学科

募集人数:20 人

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-6)

授業の目的、概要等

絵画、彫刻、工芸、デザイン、映像メディア等の芸術における様々な分野の美術表現について講義と実習を通して学ぶ。芸術の視点から、人間、社会、歴史、分野、表現等について幅広く捉え、特に人間と美術の関わりについて探求する。

授業の到達目標

人間活動としての芸術とその歴史、表現について理解する。人間と美術の関わりについて理解する。特定分野の表現を実習で実現できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室
1-2	4/12	13:30-15:10	9 番教室
3-4	4/19	13:30-15:10	9 番教室
5-6	4/26	13:30-15:10	9 番教室
7-8	5/10	13:30-15:10	9 番教室
9-10	5/17	13:30-15:10	9 番教室
11-12	5/24	13:30-15:10	9 番教室
13-14	5/31	13:30-15:10	9 番教室
15-16	6/7	13:30-15:10	9 番教室
17-18	6/14	13:30-15:10	9 番教室
19-20	6/21	13:30-15:10	13 番教室
21-22	6/28	13:30-15:10	13 番教室
23-24	7/5	13:30-15:10	13 番教室
25-26	7/12	13:30-15:10	13 番教室
27-28	7/19	13:30-15:10	13 番教室
29-30	7/26	13:30-15:10	13 番教室

授業方法

初回にガイダンスを行う。全 15 回の授業うち、1-9 回は各専門分野の講師による講義。10-15 回はデッサン実習とする。

授業内容

第 1 回:ガイダンス、彫刻論

第 2・3 回:デザイン論

第 4・5 回:工芸論

第 6・7 回:映像メディア論

第 8・9 回:絵画論

第 10～15 回:デッサン実習

※2 回～9 回の内容が入れ替わる場合がある。

成績評価の方法

評価 : 試験　　% ・ レポート　　60% ・ その他(デッサン実習)40　　%
オムニバス形式の授業であるため、授業への参加度を重視する。
再評価:　無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

各回、美術の専門分野をもった教員による講義や実習となる。自主的に美術館や博物館等で興味のある美術・工芸に関わる作品を幅広く鑑賞しておく事が望ましい。

履修上の注意事項

レポート提出には 3 分の 2 以上の出席が必要。

備考

キーワード:芸術、美術

時間割番号	00770				
科目名	芸術(音楽)			**科目ID**	
担当教員	室田　尚子[MUROTA NAOKO]				
開講時期	2024 年度前期	**対象年次**	1	**単位数**	2
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:金曜4講

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

1-1)、1-4)、1-5)、1-6)、1-7)、3-4)

授業の目的、概要等

目的:オペラの魅力と芸術的価値を知る。

概要:現在でも欧米では、オペラに精通しているかどうかがその人の教養を測る一つの物差しとなるケースがある。
それほど、西洋芸術音楽の中でも特別な位置を占めている。
本講義では、オペラの作品の鑑賞を通して、そこに描かれた人間像に触れ、オペラの多角的な魅力を理解するとともに、「音楽」「美術」「文学」「演劇」が一つになった「総合芸術」であるオペラの芸術的価値について考察する。

授業の到達目標

1)オペラの成り立ちや歴史を知ること。
2)オペラ作品の中に登場する男女の姿を通して、人間の様々な感情や生き方を知ること。
3)各作品における音楽的特徴を知り、歴史の中に位置付けることで、オペラの芸術的価値について学ぶこと。
4)現代社会においてオペラがどのような位置付けにあるのかを知ること。
5)作品鑑賞を通して感じたり考えたりしたことを、他者に的確に伝えられるように言語化すること。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	4/12	15:25-17:05		室田　尚子, 藤井　達夫
3-4	4/19	15:25-17:05		室田　尚子, 藤井　達夫
5-6	4/26	15:25-17:05		室田　尚子, 藤井　達夫
7-8	5/10	15:25-17:05		室田　尚子, 藤井　達夫
9-10	5/17	15:25-17:05		室田　尚子, 藤井　達夫
11-12	5/24	15:25-17:05		室田　尚子, 藤井　達夫
13-14	5/31	15:25-17:05		室田　尚子, 藤井　達夫
15-16	6/7	15:25-17:05		室田　尚子, 藤井　達夫
17-18	6/14	15:25-17:05		室田　尚子, 藤井　達夫
19-20	6/21	15:25-17:05		室田　尚子, 藤井　達夫
21-22	6/28	15:25-17:05		室田　尚子, 藤井　達夫
23-24	7/5	15:25-17:05		室田　尚子, 藤井　達夫
25-26	7/12	15:25-17:05		室田　尚子, 藤井　達夫
27-28	7/19	15:25-17:05		室田　尚子, 藤井　達夫
29-30	7/26	15:25-17:05		室田　尚子, 藤井　達夫

授業方法

CD や DVD を鑑賞しながらの講義。
アクティブラーニングの方法を取り入れ、毎回、作品の感想や考察を提出してもらう予定。

授業内容

1. 授業内容についてのガイダンス
2. バロック・オペラ～ヘンデル『ジュリアス・シーザー』
3. 声とドラマの一体化～モーツァルト『ドン・ジョヴァンニ』

4. ベルカント・オペラ～ドニゼッティ『愛の妙薬』
5. イタリア・オペラの改革者～ヴェルディ『椿姫』
6. 西洋音楽史の転換点～ワーグナー『トリスタンとイゾルデ』
7. 19 世紀フランス・オペラの世界～ビゼー『カルメン』
8. オペラとジャポニスム～プッチーニ『蝶々夫人』
9. 世紀末芸術とオペラ～リヒャルト・シュトラウス『サロメ』
10. ヴェリズモ・オペラ～レオンカヴァッロ『道化師』
11. オペラの革新～ドビュッシー『ペレアスとメリザンド』
12. オペラの解体～ヴァイル『三文オペラ』
13. 20 世紀オペラ～ベルク『ルル』
14. オペレッタとミュージカル
15. 学期末試験

成績評価の方法

評価 : 試験 70% ・ その他(授業への参加度) 30%
再評価: 有(レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

予習は特に必要なし。
復習については、授業で鑑賞した作品を自分でもう一度鑑賞し直すことを勧める。
授業内容について自筆でノートにまとめておくこと。

教科書

特になし。

参考書

オペラの館がお待ちかね／室田, 尚子,室田尚子 著:清流出版, 2012.5
新国立劇場名作オペラ 50 鑑賞入門 : NEW NATIONAL THEATRE,TOKYO オフィシャル BOOK+DVD／新国立劇場運営財団,新国立劇場運営財団 監修:世界文化社, 2012.11
オペラがわかる 101 の質問／Henze-Döhring, Sabine, 1953-,Döhring, Sieghart, 1939-,長木, 誠司, 1958-,ザビーネ・ヘンツェ=デーリング, ジークハルト・デーリング 著,長木誠司 訳:アルテスパブリッシング, 2020.5
『オペラの館がお待ちかね』室田尚子著(清流出版、2012 年)
『新国立劇場 名作オペラ 50 鑑賞入門』(世界文化社、2012 年)
『オペラがわかる 101 の質問』ザビーネ・ヘンツェ＝デーリング／ジークハルト・デーリング著、長木誠司訳(アルテスパブリッシング、2020 年)

履修上の注意事項

・出欠は教員が調査票によって取るものを優先させる。 ・鑑賞が中心の授業なので、きちんと出席し授業を受けることが何よりも重要である。 ・授業はパワーポイントによって行う。印刷物を配布することはしないので各自ノートをとること。 ・授業中パワーポイントの画面を撮影することは禁止する。 ・授業の録音・録画は禁止する。 ・原則として授業開始 30 分を過ぎてからの遅刻は認めない。 ・出席日数が授業日数の 3 分の 2 に満たない場合は期末試験の受験を認めない。

備考

キーワード:音楽、クラシック、オペラ、オペレッタ、声楽、舞台

時間割番号	00780				
科目名	歴史学(イスラームの歴史と文化)			**科目ID**	
担当教員	後藤　敦子[GOTOU Atsuko]				
開講時期	2024 年度前期	**対象年次**	1	**単位数**	2
実務経験のある教員による授業					

前期

曜日・時間:金曜 4 講

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

1-3) 人間の歴史的営みを理解する

3-4) 外国文化を理解する

3-5) 国際情勢を理解する

授業の目的、概要等

イスラームは、キリスト教、ユダヤ教とならぶ世界三大宗教の一つであり、全世界人口の約四分の一を占める。日本はイスラームとは無縁なようにみえるが、歴史的にみるとその関係は深い。日本に最初に建立されたモスクは、戦間期の 1935 年に開堂した神戸モスクである。その当時の日本においては、大東亜共栄圏構想のもとでイスラーム(当時は回教と呼ばれた)について学ぶことも戦略として重要視されていた。現在、日本国内においては滞日ムスリム人口は約 23 万人、彼らが礼拝に訪れるモスク(イスラームの寺院)も年々増加している。

本講義においては、まずイスラームの基本的知識について理解を深め、次にイスラームの生誕から時代順にイスラームの王朝と首都、支配のシステム、そこで発展した文化や科学についてとりあげる。イスラームの王朝が勃興し発展した地域においては、古代ギリシアやインドの知識をアラビア語に翻訳する活動が盛んであったために、イスラーム科学(医学、薬学、天文学)が栄え、それが西洋にもたらされた。アラビア半島に端を発したイスラームは、征服や交易をつうじて、徐々に中東地域からインド、中央アジア、南アジア、東南アジア、中国、アフリカへ拡大し、多様な地域で受容され、その土地の文化と融合した。

多文化共生の観点から、イスラームの歴史と文化を世界史的な枠組の中で考察し、グローバル化する世界を正しく把握し、現在直面する国際情勢を理解することを目的とする。

授業の到達目標

1. イスラームの歴史を世界史の枠組に位置づけて考察できるようにする。

2. 多文化が共生するイスラーム世界の歴史と文化をとおして、グローバル化がすすむ現代国際社会における問題点を理解できるようにする。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	4/12	15:25-17:05		後藤 敦子, 藤井 達夫
3-4	4/19	15:25-17:05		後藤 敦子, 藤井 達夫
5-6	4/26	15:25-17:05		後藤 敦子, 藤井 達夫
7-8	5/10	15:25-17:05		後藤 敦子, 藤井 達夫
9-10	5/17	15:25-17:05		後藤 敦子, 藤井 達夫
11-12	5/24	15:25-17:05		後藤 敦子, 藤井 達夫
13-14	5/31	15:25-17:05		後藤 敦子, 藤井 達夫
15-16	6/7	15:25-17:05		後藤 敦子, 藤井 達夫
17-18	6/14	15:25-17:05		後藤 敦子, 藤井 達夫
19-20	6/21	15:25-17:05		後藤 敦子, 藤井 達夫
21-22	6/28	15:25-17:05		後藤 敦子, 藤井 達夫
23-24	7/5	15:25-17:05		後藤 敦子, 藤井 達夫
25-26	7/12	15:25-17:05		後藤 敦子, 藤井 達夫
27-28	7/19	15:25-17:05		後藤 敦子, 藤井 達夫
29-30	7/26	15:25-17:05		後藤 敦子, 藤井 達夫

授業方法

講義，ただし課題発表などアクティヴ・ラーニングの方法を適宜取り入れます。毎回講義に対する質問・感想などをリアクションペーパーにまとめて提出する。

授業内容

1. ガイダンス
2. イスラームの基礎知識
3. 預言者ムハンマドとその時代、ウマイヤ朝、アッバース朝
4. ガズナ朝、ブワイフ朝、セルジューク朝:非アラブ民族の流入と台頭
5. イスラームの美術工芸
6. モンゴル民族の到来とイル・ハン朝、マムルーク朝
7. イスラームと医学・薬学および食文化
8. 三大帝国:サファヴィー朝、 オスマン朝、ムガル朝
9. 世界拡大するイスラーム:中央アジア、南アジア、東南アジア、中国
10. アクティブラーニング
11. イスラームにおける近代～現代へ
12. イスラーム科学史:天文学・技術・数学
13. イスラームの建築
14. 日本におけるムスリムの生活
15. 最終報告会とレポート提出

成績評価の方法

評価 : レポート 50% ・ その他(毎授業でのリアクションペーパー 30%、講義内の発表など 20%)合計 50%・ 知識の確実な習得を重視する。

再評価: 有(再レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

本シラバスに「参考書」として挙げた文献，授業中に配布するプリントに挙げる参考文献などを読んで授業前後の理解を深めることが望ましい。

試験の受験資格

3 分の 2 以上の授業に出席していること。

20 分以内の遅刻、早退は、3 回で 1 回分の欠席としてカウントする。

教科書

とくになし。授業当日にプリントを配布します。

参考書

イスラーム : 社会生活・思想・歴史／小杉, 泰, 1953-,江川, ひかり,小杉泰, 江川ひかり 編:新曜社, 2006.7

大学生・社会人のためのイスラーム講座／小杉, 泰, 1953-,黒田, 賢治, 1982-,二ツ山, 達朗, 1980-,小杉泰, 黒田賢治, 二ツ山達朗 編:ナカニシヤ出版, 2018.11

イスラームは特殊か : 西アジアの宗教と政治の系譜／柴田, 大輔,中町, 信孝, 1972-,柴田大輔, 中町信孝 編著:勁草書房, 2018.2

『サトコとナダ』から考えるイスラム入門 : ムスリムの生活・文化・歴史／椿原, 敦子, 1974-,黒田, 賢治, 1982-,椿原敦子, 黒田賢治 著:星海社, 2018.12

中東・イスラーム世界への 30 の扉／西尾, 哲夫, 1958-,東長, 靖, 1960-,西尾哲夫, 東長靖 編著:ミネルヴァ書房, 2021.7

小杉泰・江川ひかり編『イスラーム 社会生活・思想・歴史』 (新曜社, 2006)

小杉泰ほか編『大学生・社会人のためのイスラーム講座』(ナカニシヤ出版, 2018)

柴田大輔・中町信孝編著『イスラームは特殊か : 西アジアの宗教と政治の系譜』(勁草書房, 2018)

椿原敦子・黒田賢治『『サトコとナダ』から考えるイスラム入門』(星海社新書, 2018)

西尾哲夫, 東長靖編著『中東・イスラーム世界への 30 の扉』(ミネルヴァ書房, 2021)

この他, 参考書などは授業中に指示します。

履修上の注意事項

出欠は毎回取るが、出欠管理システムより、教員自身が取る出欠を優先させる。出欠そのものよりも、リアクションペーパーの内容を重要視する。

備考

キーワード:

イスラーム、中東、ムスリム、イスラーム文化・科学、宗教と国家、多文化共生

時間割番号	00170				
科目名	歴史学(近代ヨーロッパ史)			**科目ID**	
担当教員	太田　岳人[OOTA Taketo]				
開講時期	2024 年度前期	**対象年次**	1	**単位数**	2
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:金曜 3 講

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

1-3) 人間の歴史的営みを理解する

3-4) 外国文化を理解する 3-5) 国際情勢を理解する

授業の目的、概要等

【近代とファシズム:イタリアを中心に】

「ファシズム」という政治運動・支配体制・イデオロギーは、歴史上では 20 世紀の西欧において初めて出現したものであり、現在なおその影響・復活が(時に現実的に、時に不毛なレッテル的に)語られる現象である。

本講義では、ベニート・ムッソリーニ(1883－1945)率いる国民ファシスト党のもとに確立された、イタリアのファシズム政権(1922－1945)の歴史的展開を、いくつかのテーマ(高級／大衆文化、社会政策、指導者グループ、人種主義など)から概観するとともに、同時代の世界各国の状況とも比較検討する。

また、第二次世界大戦後に、ファシズム支配のがどのように表象されてきたか、その後の歴史的記憶の形成についても考察する。

授業の到達目標

・イタリアを具体例とした西欧の近代史を学ぶことを通じて、現在の国際社会の形成過程を比較史的に把握する。

・「ファシズム」の時代における社会・文化の諸相、それに対し知識人層から大衆層までの様々な反応の経験を理解することで、現代にも続く国内／国際政治の諸問題に対する、歴史感覚と洞察力を身に着ける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	4/12	13:30-15:10		太田 岳人, 藤井 達夫
3-4	4/19	13:30-15:10		太田 岳人, 藤井 達夫
5-6	4/26	13:30-15:10		太田 岳人, 藤井 達夫
7-8	5/10	13:30-15:10		太田 岳人, 藤井 達夫
9-10	5/17	13:30-15:10		太田 岳人, 藤井 達夫
11-12	5/24	13:30-15:10		太田 岳人, 藤井 達夫
13-14	5/31	13:30-15:10		太田 岳人, 藤井 達夫
15-16	6/7	13:30-15:10		太田 岳人, 藤井 達夫
17-18	6/14	13:30-15:10		太田 岳人, 藤井 達夫
19-20	6/21	13:30-15:10		太田 岳人, 藤井 達夫
21-22	6/28	13:30-15:10		太田 岳人, 藤井 達夫
23-24	7/5	13:30-15:10		太田 岳人, 藤井 達夫
25-26	7/12	13:30-15:10		太田 岳人, 藤井 達夫
27-28	7/19	13:30-15:10		太田 岳人, 藤井 達夫
29-30	7/26	13:30-15:10		太田 岳人, 藤井 達夫

授業方法

パワーポイントを使った講義で、リアクション・ペーパーの提出をもって出席とする。

課題発表など、アクティヴ・ラーニングの方法も適宜取り入れる。

授業内容

1)ガイダンス

2)「ファシズム」の定義について

3)イタリアの近代(1):イタリア王国の成立から第一次世界大戦まで

4)イタリアの近代(2):ファシズム政権の「20 年」
5)ファシズム政権下の社会(1):大衆組織による「国民のファシスト化」
6)ファシズム政権下の社会(2):ファシスト党の幹部たちの政策と行動
7)ファシズム政権下の文化(1):ファシストの「芸術支援」
8)ファシズム政権下の文化(2):子供向け漫画とファシズム政権
9)中間確認
10)ファシズム政権と人種主義(1):医学と反ユダヤ政策――ドイツ、日本との比較
11)ファシズム政権と人種主義(2):アフリカの植民地戦争
12)反ファシズムとその記憶(1):文学・映画ほか
13)反ファシズムとその記憶(2):レジスタンス運動の記録
14)反ファシズムとその記憶(3):第二次世界大戦後の国際政治における反ファシズム
15)総括:現代と「反ファシズム」の危機

成績評価の方法

評価 : 試験 % ・ レポート 50% ・ その他 50%(リアクション・ペーパーと授業参加:40%、中間課題:10%)
再評価:有(再評価方法:レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

・授業中の配布プリントに挙げる参考文献を読み、授業の理解を深めること。
・講義内容に関係する、小説、映画、芸術作品にも積極的に触れることを推奨する。

教科書

特に指定しないが、各回の配布プリントで参考文献などを適宜紹介する。

参考書

ファシズムと文化／田之倉, 稔, 1938-,田之倉稔 著:山川出版社, 2004.8
ムッソリーニ : 帝国を夢みた政治家／高橋, 進, 1949- 政治学,高橋進 著:山川出版社, 2020.4
ファシズム／山口, 定, 1934-2013,山口定 著:岩波書店, 2006.3
比較的安価で手に取りやすいものとして、まずは以下の三冊を挙げておく。
【平易なもの】
・田之倉稔『ファシズムと文化』(山川ブックレット、2004 年)
・高橋進『ムッソリーニ:帝国を夢見た政治家』(山川ブックレット、2020 年)
【歯ごたえのあるもの】
・山口定『ファシズム』(岩波現代文庫、2006 年)

履修上の注意事項

最終レポート提出には、3 分の 2 以上の授業に出席している必要がある。

時間割番号	00190				
科目名	科学史			**科目ID**	
担当教員	田中　丹史[TANAKA Akashi]				
開講時期	2024 年度前期	**対象年次**	1～	**単位数**	2
実務経験のある教員による授業					

金曜:4 講

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1－3　人間の歴史的営みを理解する

授業の目的、概要等

現代社会において科学技術が重要な役割を担っているのは言うまでもない。本講義では、歴史学のアプローチから科学や技術が過去にどのような意義を持っていたのかを分析する。その上で現代社会における科学技術の特徴や科学技術と市民社会との関係を考察することを目標としている

授業の到達目標

1. 科学史・技術史の基礎を理解する。
2. 現代社会における科学技術の意義を考察できる。
3. 医療の概史を知ることができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	4/12	13:30-15:10		田中 丹史, 藤井 達夫
3-4	4/19	13:30-15:10		田中 丹史, 藤井 達夫
5-6	4/26	13:30-15:10		田中 丹史, 藤井 達夫
7-8	5/10	13:30-15:10		田中 丹史, 藤井 達夫
9-10	5/17	13:30-15:10		田中 丹史, 藤井 達夫
11-12	5/24	13:30-15:10		田中 丹史, 藤井 達夫
13-14	5/31	13:30-15:10		田中 丹史, 藤井 達夫
15-16	6/7	13:30-15:10		田中 丹史, 藤井 達夫
17-18	6/14	13:30-15:10		田中 丹史, 藤井 達夫
19-20	6/21	13:30-15:10		田中 丹史, 藤井 達夫
21-22	6/28	13:30-15:10		田中 丹史, 藤井 達夫
23-24	7/5	13:30-15:10		田中 丹史, 藤井 達夫
25-26	7/12	13:30-15:10		田中 丹史, 藤井 達夫
27-28	7/19	13:30-15:10		田中 丹史, 藤井 達夫
29-30	7/26	13:30-15:10		田中 丹史, 藤井 達夫

授業方法

板書を中心とする講義形式をとる。ただし適宜リアクションペーパーを配布し、アクティブラーニングも実施する。

授業内容

第 1 回:ガイダンス(本講義の目的)
第 2 回:古代ギリシャ・ローマと科学・技術
第 3 回:古代ギリシャ・ローマ医学史:ヒポクラテスとガレノス
第 4 回:病院と医学史
第 5 回:中世の産業革命と 12 世紀ルネサンス
第 6 回:疾病史:ペストとコレラ
第 7 回:ルネサンスと科学・技術
第 8 回:科学革命
第 9 回:産業革命と科学・技術、19 世紀以降のエンジニア

第 10 回:科学の職業化と専門化
第 11 回:20 世紀以降の科学技術政策
第 12 回:医療政策の展開
第 13 回:日本の公害
第 14 回:日本の科学技術の歴史
第 15 回:日本の薬害″

成績評価の方法

評価 : 試験 % ・ レポート 70% ・ その他(授業への参加度)30% 授業で得た知識の理解度を確認する
再評価: 有(再評価方法 レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

授業中に指示した文献等を使い、各自で予習・復習してください。

教科書

なし

参考書

〈科学の発想〉をたずねて : 自然哲学から現代科学まで／橋本, 毅彦, 1957-,橋本毅彦 著:左右社, 2010.10
社会の中の科学／中島, 秀人, 1956-,中島秀人 著:放送大学教育振興会, 2008.9
橋本毅彦『〈科学の発想〉をたずねて:自然哲学から現代科学まで』左右社, 2010.
中島秀人『社会の中の科学』放送大学教育振興会, 2008.

履修上の注意事項

出欠管理システムより教員自身が取る出欠を優先します。

時間割番号	00200				
科目名	文学			科目ID	
担当教員	木谷　真紀子[KITANI Makiko]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1～	単位数	2
実務経験のある教員による授業					

別表 1-1)言語を通した人間の創造的営みを理解する
別表 1-3)人間の歴史的営みを理解する
別表 1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る
別表 1-6)優れた芸術作品に触れて完成を高める
別表 1-7)人間の心への理解を高める
別表 1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる
別表 3-2)自らの考えを的確に伝えるための基本的名文章表現能力を身につける

主な講義場所

国府台キャンパス

授業の目的、概要等

三島由紀夫『近代能楽集』は、その名のとおり「能楽」を、発表当時の「現代」を舞台に描いた作品である。合計八作品の中から、本講義では，「葵上」を扱う。

『近代能楽集』の「葵上」は、謡曲「葵上」を基にし、謡曲「葵上」は、もちろん『源氏物語』「葵」に材を得ている。本講義では、上記の三作品を精読し、比較分析し、日本文学の「流れ」を感じつつ味わう。本講義では，文学の中で繰り返されてきた物語を、それぞれの作品の比較とともに味わう。具体的には、『源氏物語』を出発点とした葵上と六条御息所の物語を，謡曲「葵上」，三島由紀夫「近代能楽集　葵上」と文学史の流れに沿って精読する。同時に、能楽という日本の伝統演劇に触れることも目的とする。具体的には、能楽師の先生をゲストスピーカーとしてお招きし、講演と実演を行っていただく。

授業の到達目標

授業開始前に作品を精読し、課題を提出する。授業は、アクティブラーニングの形式を取り入れて行うので、担当者の講義を一方的に聞くだけではなく、ディスカッションなどを通して積極的に参加すること。毎回リアクションペーパーの提出を課す。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	4/12	13:30-15:10		木谷　真紀子
3-4	4/19	13:30-15:10		木谷　真紀子
5-6	4/26	13:30-15:10		木谷　真紀子
7-8	5/10	13:30-15:10		木谷　真紀子
9-10	5/17	13:30-15:10		木谷　真紀子
11-12	5/24	13:30-15:10		木谷　真紀子
13-14	5/31	13:30-15:10		木谷　真紀子
15-16	6/7	13:30-15:10		木谷　真紀子
17-18	6/14	13:30-15:10		木谷　真紀子
19-20	6/21	13:30-15:10		木谷　真紀子
21-22	6/28	13:30-15:10		木谷　真紀子
23-24	7/5	13:30-15:10		木谷　真紀子
25-26	7/12	13:30-15:10		木谷　真紀子
27-28	7/19	13:30-15:10		木谷　真紀子
29-30	7/26	13:30-15:10		木谷　真紀子

授業方法

授業開始前に作品を精読し、課題を提出する。授業は、アクティブラーニングの形式を取り入れて行うので、担当者の講義を一方的に聞くだけではなく、ディスカッションなどを通して積極的に参加すること。毎回リアクションペーパーの提出を課す。

授業内容

1)ガイダンス。本授業で読む作品の紹介

2) 三島由紀夫について

3)『源氏物語』について

4)『源氏物語』「葵上」1

5)『源氏物語』「葵上」2

6) 能について

7) 謡曲「葵上」1

8) 謡曲「葵上」2

9)三島由紀夫と演劇

10)三島由紀夫「葵上」1

11) 三島由紀夫「葵上」2

12)能楽師の先生をお招きしての能についての講演と実演

13) 三島由紀夫「葵上」3

14)「葵上」の比較

15)総括　なぜ、同じ作品が後続の作品を生んだか

成績評価の方法

評価　：　レポート　50%　・　その他(毎授業でのリアクションペーパー　15%、提出物　30%、講義内の発表など　5%)合計 50%

再評価:　　有(再レポート)

成績評価の基準

東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による。

準備学習等についての具体的な指示

授業内で扱う作品は、必ず読破し、テキストを用意したうえで講義に臨むこと。それらの作品に関する意見や作品解釈を書く課題も、作品ごとに提出を課す。また授業内でディスカッションのテーマは、主に履修生の意見を取り入れて行うため、積極的に臨むこと。

試験の受験資格

3 分の 2 以上の授業に出席していること。

20 分以内の遅刻、早退は、3 回で 1 回分の欠席とする。

教科書

近代能楽集／三島由紀夫:新潮社, 1968

連絡先(メールアドレス)

makiko.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

月、金曜 12:20～13:30　管理研究棟 2 階

※原則的に上記の曜日時間としますが、事前に連絡のある学生には、上記時間外でも対応します。

時間割番号	00210				
科目名	法学			**科目ID**	
担当教員	飛田　綾子[TOBITA AYAKO]				
開講時期	2024 年度前期	**対象年次**	1～	**単位数**	2
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:　木曜 4 講

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

1-2)社会制度や仕組みについての基本を理解する。

1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る。

授業の目的、概要等

社会に生きる限り、人は法と無関係ではいられません。

法によって自分の自由が制限されたり、反対に自由が守られたりと様々な形で法は私たちに関わっています。

法的な争い事は裁判所で法を適用して結論が出されますが、時に理不尽に思われるような結論もあります。

例えば、あの人は絶対に犯人ではないか、という人でも無罪判決が下される場合があります。

民事裁判でも、何か被害を被った人に対して損害賠償額が低すぎるのではないか、といった判決をニュースで見たことがあると思います。

こうした出来事は法的にはどのように説明されるのでしょうか。

この授業では、「法とは何か」「道徳や慣習といった社会規範との相違点」といった話から始めます。

そして「刑法」「民法」「行政法」「労働法」などの概要を、具体的な裁判を挙げながら、説明していきます。

また、適宜、外国の法制度にも言及し、日本との比較を行いたいと思います。

授業の到達目標

①法の定義を理解し、法規範の意味を自分で説明できるようになる。同時に、民法、刑法、憲法などそれぞれの法律の役割分担を理解する。

②授業で取り上げた判例の理解を通じて、実際のニュースの法律上の問題を考察できるようになる。

③比較法的視点を踏まえて、日本の法の望ましいあり方を考察し、自分の考えを説明できるようになる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	4/18	15:25-17:05		飛田 綾子, 藤井 達夫
3-4	4/25	15:25-17:05		飛田 綾子, 藤井 達夫
5-6	5/2	15:25-17:05		飛田 綾子, 藤井 達夫
7-8	5/9	15:25-17:05		飛田 綾子, 藤井 達夫
9-10	5/16	15:25-17:05		飛田 綾子, 藤井 達夫
11-12	5/23	15:25-17:05		飛田 綾子, 藤井 達夫
13-14	5/30	15:25-17:05		飛田 綾子, 藤井 達夫
15-16	6/6	15:25-17:05		飛田 綾子, 藤井 達夫
17-18	6/13	15:25-17:05		飛田 綾子, 藤井 達夫
19-20	6/20	15:25-17:05		飛田 綾子, 藤井 達夫
21-22	6/27	15:25-17:05		飛田 綾子, 藤井 達夫
23-24	7/4	15:25-17:05		飛田 綾子, 藤井 達夫
25-26	7/11	15:25-17:05		飛田 綾子, 藤井 達夫
27-28	7/18	15:25-17:05		飛田 綾子, 藤井 達夫
29-30	7/25	15:25-17:05		飛田 綾子, 藤井 達夫

授業方法

教員が作成したレジュメをもとに、講義形式で行います。アクティブ・ラーニングの形式を取り入れ、具体的問題をディスカッションする機会を適宜実施する予定です。

授業内容

第 1 回 法とは何か①:法とその他の社会規範の違いや、法の目的などについて説明します。
第 2 回 法とは何か②:法の歴史や形式、解釈方法について説明します。
刑法①:刑法の存在意義や刑罰の種類などについて説明します。
第 3 回刑法②:罪刑法定主義など刑法の大原則について説明します。刑罰が科される「犯罪」とは如何なるものなのか、具体例を挙げながら説明します。
第 4 回刑法③:犯罪に問われるものとはいかなるものか、問われない場合の説明をします。続けて、刑事訴訟法の基礎をお話しします。捜査や取り調べで保障されている権利についてお話しします
第 5 回民法①(不法行為法の基礎):私人間の紛争解決の法的解決について、交通事故など具体例を挙げながら説明します。「過失」や「因果関係」といった概念を説明します。
第 6 回民法②(契約法の基礎):私的自治の原則を説明した上で、「契約」をめぐるトラブルなど、具体例を挙げながら説明します。
第 7 回民法③(家族法の基礎):家族関係と法のつながりについて説明します。婚姻や相続などについて説明します。
第 8 回刑法と民法のまとめ:「医療」との関わりを題材に、刑法と民法の関係をあらためて確認します。
第 9 回労働法①:労働法の理念や、労働者を保護するための法律や制度について説明します。
第 10 回労働法②:労働者をめぐる裁判を説明します。採用や解雇、有給休暇の取り方などがテーマになります。
第 11 回 憲法:憲法の思想的基盤である「立憲主義」について説明した上で、国家や内閣、裁判所といった統治機構の原則や、基本的人権の区別や原則について説明します。
第 12 回行政法①:行政法の基礎についてお話しします。行政活動の大原則や、行政を円滑に進めるための規定と、行政により損害を受けた場合に対応する規定などについて説明します。
第 13 回行政法②:行政訴訟の具体例を見ていきます。行政への異議申し立ての形である原子力発電所等の設置の取り消しを求める裁判や、建築許可をめぐる裁判などを見ていきます。
第 14 回 国際社会と法:国際法の存在意義や、国際紛争に関する裁判などについて説明します。
第 15 回 授業のまとめ:授業内容を総ざらいします。

成績評価の方法

評価 : 試験 0 % ・ レポート 40 % ・ その他(知識確認テスト、リアクションペーパー、ミニレポート) 60 %
再評価: 有(再評価方法 レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

予習・復習として、レジュメを読み直し、授業内容を確認すること。特に復習に重点をおくこと。国内国外とわず、政治・社会問題も含めたあらゆるニュースに敏感になり、そうしたニュースと憲法や法律全般との関係を考える習慣を身につけて下さい。

教科書

特に指定しません。

参考書

はじめての法律学 : H と J の物語／松井, 茂記, 1955-,松宮, 孝明, 1958-,曽野, 裕夫, 1964-,松井茂記, 松宮孝明, 曽野裕夫 著:有斐閣, 2020.3
松井 茂記・松宮 孝明・曽野 裕夫『はじめての法律学―H と J の物語(第6版)』(有斐閣、2020 年)有斐閣ストゥディアシリーズ

履修上の注意事項

履修上の注意事項 ①出欠管理システムの記録より教員の出欠調査を優先します。 ②原則として出席回数が3分の2以上を満たさないと、レポート提出資格を得られません。 ③遅刻 3 回で欠席 1 回とカウントします。 ④授業中の教員の発言は積極的にメモを取ってください。

備考

キーワード:リーガル・マインド、正義、権利、社会秩序

時間割番号	00220				
科目名	政治学			科目ID	
担当教員	藤井　達夫[FUJII Tatsuo]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1～	単位数	2
実務経験のある教員による授業					

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

1-1) 言語を通した人間の創造的営みを理解する

1-2) 社会制度や仕組みについての基本を理解する

1-3) 人間の歴史的営みを理解する

2-3) 言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法論を知る

授業の目的、概要等

私たちは、民主主義を政治における根源的な価値として掲げ、その価値にもとづいて作られた制度の下で日々の生活を送っている。その民主主義は今、1930 年代以来の危機にある。この授業では、民主主義の現在の危機の本質を理解し、未来の来るべき民主主義を構想するために、民主主義の過去と現在そして未来について検討する。

この検討に際して、キーワードとなるのが「代表制度」、「新自由主義」、「人新世」である。これらを補助線としながら、私たちの生活と不可分な民主主義についてじっくりと論じる。

授業の到達目標

民主主義とはどのような政治なのか説明できる。

民主主義を歴史的な視点から説明できる。

民主主義の抱える問題点や課題について説明できる。

これからの日本そして世界がどうあるべきか、政治学の視点から自分の言葉で説明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	4/18	15:25-17:05		イントロダクション	授業の概要の説明	藤井　達夫	学習方法:ビデオの視聴
3-4	4/25	15:25-17:05		民主主義って何だ?	民主主義とはどのような政治なのか考える。	藤井　達夫	到達目標:民主主義を政治学の視点から理解し、説明できる。 学習方法:授業内でのディスカッション
5-6	5/2	15:25-17:05		民主主義の現状(1)	海外の動向から民主主義の現状を検討する。	藤井　達夫	到達目標:民主主義の現状について理解し、説明できる。 学習方法:授業内でのディスカッションとリアクションペーパーを用いた質疑応答
7-8	5/9	15:25-17:05		民主主義の現状(2)	国内の動向から民主主義の現状を検討する。	藤井　達夫	到達目標:民主主義の現状について理解し、説明できる。 学習方法:授業内でのデ

							ィスカッションとリアクションペーパーを用いた質疑応答
9-10	5/16	15:25-17:05		民主主義の苦境の原因について考える(1)	新自由主義が民主主義に及ぼした影響について検討する。	藤井 達夫	到達目標:新自由主義について理解し、それが民主主義に及ぼした影響について説明できる。 学習方法:授業内でのディスカッションとリアクションペーパーを用いた質疑応答
11-12	5/23	15:25-17:05		民主主義の苦境の原因について考える(2)	グローバル化が民主主義に及ぼした影響について検討する。	藤井 達夫	到達目標:グローバル化が民主主義に及ぼした影響について説明できる。 学習方法:授業内でのディスカッションとリアクションペーパーを用いた質疑応答
13-14	5/30	15:25-17:05		民主主義の源流に遡る	古代ギリシアの民主政を参照することで、民主主義という政治のあり方の本質を検討する。	藤井 達夫	到達目標:古代アテナイの民主政について理解し、そこから民主主義の元来の姿について説明できる。 学習方法:授業内でのディスカッションとリアクションペーパーを用いた質疑応答
15-16	6/6	15:25-17:05		近代における民主主義の復活	ルソー『社会契約論』を中心に、古代の民主主義が近代においてどのように復活したのかを探る。	藤井 達夫	到達目標:ルソー『社会契約論』の概要を理解し、そこから近代の民主主義の特徴を説明できる。 学習方法:授業内でのディスカッションとリアクションペーパーを用いた質疑応答
17-18	6/13	15:25-17:05		代表制民主主義の誕生	シェイエス『第三身分とは何か』お	藤井 達夫	到達目標:代表制

					よびマディソンその他『ザ・フェデラリスト』を中心に、代表制民主主義の理論的な基礎付けについて論じる。		民主主義の特徴について理解し、その利点や問題点について説明できる。 学習方法:授業内でのディスカッションとリアクションペーパーを用いた質疑応
19-20	6/20	15:25-17:05		代表制民主主義への批判とその危機	19 世紀末から 20 世紀初頭の歴史を振り返りながら、マルクスやソレル、シュミットの代表制民主主義批判について検討する。	藤井 達夫	到達目標:代表制民主主義への批判の内容を理解し、その要点を説明できる。 学習方法:授業内でのディスカッションとリアクションペーパーを用いた質疑応
21-22	6/27	15:25-17:05		代表制民主主義の黄金期とその条件(1)	工業化社会との関連から代表制民主主義がうまく機能した条件について論じる。	藤井 達夫	到達目標:工業化社会について理解し、それと代表制民主主義との関係について説明できる。 学習方法:授業内でのディスカッションとリアクションペーパーを用いた質疑応
23-24	7/4	15:25-17:05		代表制民主主義の黄金期とその条件(2)	工業化社会との関連から代表制民主主義がうまく機能した歴史的背景について論じる。	藤井 達夫	到達目標:工業化社会について理解し、それと代表制民主主義との関係について説明できる。 学習方法:授業内でのディスカッションとリアクションペーパーを用いた質疑応応
25-26	7/11	15:25-17:05		代表制民主主義の黄昏	ポスト工業化社会の新自由主義化という視点から代表制民主主義の機能不全について検討する。	藤井 達夫	到達目標:ポスト工業化および新自由主義を理解し、そこから代表制民主主義の機能不全について

							説明できる。 学習方法:授業内でのディスカッションとリアクションペーパーを用いた質疑応
27-28	7/18	15:25-17:05		民主主義の近視眼的性格と人新世	現代を説明する際のキーワードとなった「人新世」という言葉を参照しつつ、民主主義が未来との関係において有する欠陥を検討する。	藤井 達夫	到達目標:未来との関係における民主主義の欠陥について理解し、その要点を説明できる。 学習方法:授業内でのディスカッションとリアクションペーパーを用いた質疑応
29-30	7/25	15:25-17:05		代表制民主主義の未来	現代および未来の世界に適合した代表制民主主義のあり方について検討する。	藤井 達夫	到達目標:代表制民主主義の制度上のイノベーションについて理解し、新たな時代の民主主義に対する考えを述べることができる。 学習方法:授業内でのディスカッションとリアクションペーパーを用いた質疑応

授業方法

スライドを教材とする講義形式。

リアクションペーパーを用いた授業内での質疑応答、および受講生間のディスカッション。

授業内容

授業スケジュールを参照。

成績評価の方法

レポート 70%＋授業への参加度(リアクションペーパーと授業内での発言)30%

再評価:あり(レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

スライドの予習、授業内で指示された課題。

試験の受験資格

全授業回数の 2/3 以上の出席を単位認定の条件とする。

教科書

代表制民主主義はなぜ失敗したのか／藤井, 達夫, 1973-,藤井達夫 著:集英社, 2021.11

参考書

くじ引き民主主義 : 政治にイノヴェーションを起こす／吉田, 徹, 1975-,吉田徹 著:光文社, 2021.11

日本が壊れる前に：「貧困」の現場から見えるネオリベの構造／中村, 淳彦, 1972-,藤井, 達夫, 1973-,中村淳彦, 藤井達夫 著:亜紀書房, 2020.12 その他の参考書は、随時授業内で紹介する。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させる。 授業への積極的な参加を重視する。
連絡先（メールアドレス） fujii.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月曜日 12:00—13:00(管理棟 2 階)

時間割番号	00230				
科目名	経済学			**科目ID**	
担当教員	田原 慎二[TAHARA Shinnji]				
開講時期	2024 年度前期	**対象年次**	1～	**単位数**	2
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:金曜4講

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-3)

授業の目的、概要等

経済は一見すると私たちの生活に直接関係していないように思えるが、賃金、失業、物価などの様々な側面で実は深い関わりを持っている。

私たちが社会生活を行ううえで、経済との関わりは避けられない。

経済活動によって生じる失業、不景気、貧困などの問題を解消するため、学問としての経済学は発展してきた。

現代では、かつての世界大恐慌のような長期かつ非常に深刻な不況は見られなくなり、「100 年に一度の不況」と呼ばれた 2000 年代末の経済危機や 2020 年代初頭の新型コロナウイルス流行による不況からも数年程度で回復することができている。

これらは経済学の成果が政策に取り入れられ、不況の早い段階でそれなりに有効な対策が打てるようになったためであるといえる。

経済を専門としない大学生であっても、経済学について基本的な内容を学んでおくことは、今後の社会人生活において有用であると考えられる。

この授業では、まず「トレードオフ」「機会費用」「インセンティブ」「比較優位」「限界原理」などの経済学の基本的な概念について学び、続いて経済学の主要な分野であるミクロ経済学とマクロ経済学の基本的な内容について学んでいく。

ミクロ経済学は、経済における最小の単位(ミクロ)の主体である家計や企業がどのように行動し、その結果として市場における取引量や価格がどのように決定されるかについて分析する学問である。

マクロ経済学は 1920 年代末の世界大恐慌をきっかけとして生まれたもので、経済全体を分析対象として失業や不景気などの問題の解決や、長期的な経済成長がどのようにすれば実現するか分析する分野である。

これらの学習を通じて、経済における諸要素とその関係について基本的な知識を習得し、学生が今後社会生活を送っていくにあたり有用であると思われる経済に関するリテラシーや経済学の知識を身につけてもらうことが、この授業の目的である。

授業の到達目標

経済学の基本的な考え方、概念、モデルについて理解し、これに基づいて現実の経済を解釈できるようになる。

世の中で実際に起こっている経済現象について、経済学の考え方を用いて理解できるようになることを到達目標とする。

具体的には、新聞・雑誌などの経済ニュースや主要な経済指標の動きを理解し、適切に解釈できるようになる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	4/12	13:30-15:10		田原 慎二, 藤井 達夫
3-4	4/19	13:30-15:10		田原 慎二, 藤井 達夫
5-6	4/26	13:30-15:10		田原 慎二, 藤井 達夫
7-8	5/10	13:30-15:10		田原 慎二, 藤井 達夫
9-10	5/17	13:30-15:10		田原 慎二, 藤井 達夫
11-12	5/24	13:30-15:10		田原 慎二, 藤井 達夫
13-14	5/31	13:30-15:10		田原 慎二, 藤井 達夫
15-16	6/7	13:30-15:10		田原 慎二, 藤井 達夫
17-18	6/14	13:30-15:10		田原 慎二, 藤井 達夫
19-20	6/21	13:30-15:10		田原 慎二, 藤井 達夫
21-22	6/28	13:30-15:10		田原 慎二, 藤井 達夫
23-24	7/5	13:30-15:10		田原 慎二, 藤井 達夫
25-26	7/12	13:30-15:10		田原 慎二, 藤井 達夫
27-28	7/19	13:30-15:10		田原 慎二, 藤井 達夫

29-30	7/26	13:30-15:10		田原 慎二, 藤井 達夫	

授業方法

基本的には講義形式で行うが、授業時間内に練習問題(用語や計算など基本的な知識を問う問題)や演習問題(事例・事案に対する自分の考えを自由記述するなど応用的な内容の問題)を解くことと、それに対するフィードバックを行うことで、アクティブ・ラーニングの要素を確保しつつ行う。

授業内容

第1回 イントロダクション:授業の概要
第2回 経済学の基本概念:トレードオフ、機会費用、比較優位等
第3回 資本主義の成立と発展
第4回 市場の役割と「市場の失敗」
第5回 家計と企業の行動
第6回 政府の役割と社会保障
第7回 経済成長と景気循環
第8回 GDP と国民所得の測定
第9回 有効需要の原理とケインズ経済学
第 10 回 金融市場:貨幣、物価、金融政策
第 11 回 IS-LM モデルと経済政策
第 12 回 インフレーションとデフレーション
第 13 回 労働市場:賃金、雇用、失業
第 14 回 国際経済の基礎:為替レート、貿易収支、経常収支
第 15 回 授業のまとめ

成績評価の方法

評価:試験 60%、授業の課題 40%。過度に難解な出題はできるだけ避け、知識の確実な習得を重視する。
再評価:有(再評価方法)試験

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

予習は特に必要ないが、授業で配布した資料や参考書を確認して復習を行い、その都度理解を深めること。

教科書

特に指定しないが、参考書に挙げた書籍等に依拠して授業内容を作成している。

参考書

ミクロ経済学の力／神取, 道宏,神取道宏 著:日本評論社, 2014.9
ミクロ経済学の技／神取, 道宏,神取道宏 著:日本評論社, 2018.4
マクロ経済学・入門／福田, 慎一, 1960-,照山, 博司, 1962-,福田慎一, 照山博司 著:有斐閣, 2023.12
マンキュー経済学／Mankiw, N. Gregory,足立, 英之,石川, 城太,小川, 英治,地主, 敏樹,中馬, 宏之,柳川, 隆,N・グレゴリー・マンキュー著 ; 足立英之 [ほか] 訳:東洋経済新報社, 2019.10
マンキュー経済学／Mankiw, N. Gregory, 1958-,足立, 英之, 1940-,石川, 城太, 1960-,小川, 英治, 1957-,N・グレゴリー・マンキュー 著,足立英之, 石川城太, 小川英治, 地主敏樹, 中馬宏之, 柳川隆 訳:東洋経済新報社, 2019.10
神取道宏(2014)『ミクロ経済学の力』日本評論社
神取道宏(2018)『ミクロ経済学の技』日本評論社
福田慎一・照山博司(2023)『マクロ経済学・入門(第6版)』有斐閣アルマ
N.G.マンキュー(2019)『マンキュー経済学Ⅰミクロ編(第4版)』東洋経済新報社
N.G.マンキュー(2019)『マンキュー経済学Ⅱマクロ編(第4版)』東洋経済新報社

時間割番号	00240				
科目名	社会学			科目ID	
担当教員	大倉　韻[OOKURA Hibiki]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1～	単位数	2
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:金曜 3 講

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

2-3)言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法論を知る

4-4)情報についての基本技能を身につける

授業の目的、概要等

人々の考えやわれわれの生きる社会について客観的なデータを得るために、アンケートやインタビューなどの手法を用いておこなう調査のことを社会調査と総称するが、かつてなく急速に変化し続ける現代社会において、社会調査の必要性もまたかつてなく高まっているといえる。

また専門家のみが調査を実施していた時代は過ぎ、現代ではインターネットやスマートフォンの普及により個人でも容易に調査を実施できる環境が整ってきている。

実際にアンケートを受けたことのある人や、調査データを使ったニュース記事を目にしたことのある人も多いだろう。

しかしそうした調査の中には、データの集め方・分析方法・結果の読み取り方などが適切でないせいで誤った結論を導いてしまっているものも少なくない。

中には自らの主張に沿った分析結果を求めるあまり、意図的に誤ったデータ収集・データ分析をおこなう事例さえ散見される。

そうした間違った分析に惑わされず、また自分自身が間違った調査をしてしまわないためには、社会調査に対する正しい知識を身につけることが重要である。

この授業では、社会調査に関する基本的な事柄を学習する。

具体的には社会調査の歴史と意義、各種調査方法とそのメリット・デメリット、調査の企画・設計・仮説構築、調査倫理、実査、データの分析、などを取り扱う。

また質の高い社会調査を丁寧に検討することで、そうした調査がどのように設計・実施・分析されているのかを理解する。

そうした学習を通じて、必要に応じて適切な社会調査を行えるようになるための基礎知識を習得するのみならず、誤った統計を見抜き正しい情報を読み解く能力、すなわちリサーチ・リテラシーをも習得することが本授業の目的である。

授業の到達目標

〇社会調査の基本的な知識を習得し、既存の調査を正しく読み解けるようになること。

〇社会調査をおこなうために必要な、問題設定・調査設計・実施・分析・記述などの基本的な考え方を習得すること。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	4/12	13:30-15:10		大倉 韻 藤井 達夫
3-4	4/19	13:30-15:10		大倉 韻 藤井 達夫
5-6	4/26	13:30-15:10		大倉 韻 藤井 達夫
7-8	5/10	13:30-15:10		大倉 韻 藤井 達夫
9-10	5/17	13:30-15:10		大倉 韻 藤井 達夫
11-12	5/24	13:30-15:10		大倉 韻 藤井 達夫
13-14	5/31	13:30-15:10		大倉 韻 藤井 達夫
15-16	6/7	13:30-15:10		大倉 韻 藤井 達夫
17-18	6/14	13:30-15:10		大倉 韻 藤井 達夫
19-20	6/21	13:30-15:10		大倉 韻 藤井 達夫
21-22	6/28	13:30-15:10		大倉 韻 藤井 達夫
23-24	7/5	13:30-15:10		大倉 韻 藤井 達夫
25-26	7/12	13:30-15:10		大倉 韻 藤井 達夫
27-28	7/19	13:30-15:10		大倉 韻 藤井 達夫

29-30	7/26	13:30-15:10		大倉 韻 藤井 達夫	

授業方法

第 1 回～第 11 回の授業は講義形式でおこなう。資料は毎回配布する。

第 12 回～第 15 回の授業では社会調査を用いた文献を講読し、ディベートをおこなう。

リアクションペーパーの内容について次回授業時に言及することがある。

授業内容

第 1 回:ガイダンス

第 2 回:社会調査とは何か／社会調査の用途と歴史

第 3 回:調査テーマと調査事項の設定／調査票の作成①

第 4 回:調査票の作成②／標本調査の方法①

第 5 回:標本調査の方法②／サンプリング分布と統計的推測

第 6 回:実査と調査員／調査票の点検とデータ作成

第 7 回:基本統計量／聞き取り調査の方法

第 8 回:因果分析／調査報告をまとめる

第 9 回:さまざまな社会調査／SPSS の基本操作

第 10 回:統計分析の基礎／クロス集計と独立性の検定

第 11 回:平均値の差の検定と分散分析／単回帰分析

第 12 回:文献講読 1

第 13 回:文献講読 2

第 14 回:文献講読 3

第 15 回:文献講読 4

成績評価の方法

講義形式だが、受講者の積極的な授業参加を高く評価する。そのため、成績評価は次のようにおこなう。

評価:レポート 40%、授業への参加度 60%(リアクションペーパー、文献講読への参加など)

再評価:有(レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

講義については予習は特に必要ないが、復習をおこない疑問点があればリアクションペーパー等で質問すること。

また日常生活で目にする統計データが信用できるものかどうか注意深く観察し、リサーチ・リテラシーを養うことをすすめる。

文献講読については事前に文献を読み込み、疑問点や議論したい点を整理しておくこと。

教科書

なし。授業中に資料を配布する。

参考書

原純輔『社会調査 しくみと考えかた』左右社、2016 年。

村瀬洋一・高田洋・廣瀬毅士『SPSS による多変量解析』オーム社、2007 年。

それ以外にも授業内で適宜紹介する。

履修上の注意事項

原則的に授業回数の 3 分の 2 以上の出席を学期末レポートの提出要件とする。

時間割番号	00260				
科目名	社会思想史			科目ID	
担当教員	面 一也[OMOTE KAZUYA]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1～	単位数	2
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:木曜 4 講

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-2), 1-9), 3-5)

授業の目的、概要等

自然環境の破壊、資本主義の暴走、テロや虐待といった暴力の横行など、近代社会がさまざまな領域で行き詰まりの様相を呈している。

どうしてこのような世界になったのか。どうすれば(またはそもそも)これらの問題を乗り越えることができるのか。

社会のあり方を考えるためには、意思決定や政策実現に関わる国家や権力のあり方を問うことが、重要であり必要である。

本授業では、

1) 古代社会の一つの思想的到達点であるアリストテレス、

2) その全面的な批判とともに近代社会思想を開始したホッブズ、

3) 両者を含む古代から近代までのヨーロッパ社会全体と思想的に対決したニーチェの三名を主に取り上げ、人間はいかに生きるべきか、私たちが生きる社会や国家はいかにあるべきか、といった問いをめぐり批判的に考察を進める。

授業の到達目標

1 古代から近代に至る社会思想史の主要な論点を理解する。

2 近代社会が抱える諸問題について理解する。

3 現在および未来の社会的諸課題に対する批判的な考察力を身につける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	4/12	15:25-17:05		面 一也, 藤井 達夫
3-4	4/19	15:25-17:05		面 一也, 藤井 達夫
5-6	4/26	15:25-17:05		面 一也, 藤井 達夫
7-8	5/10	15:25-17:05		面 一也, 藤井 達夫
9-10	5/17	15:25-17:05		面 一也, 藤井 達夫
11-12	5/24	15:25-17:05		面 一也, 藤井 達夫
13-14	5/31	15:25-17:05		面 一也, 藤井 達夫
15-16	6/7	15:25-17:05		面 一也, 藤井 達夫
17-18	6/14	15:25-17:05		面 一也, 藤井 達夫
19-20	6/21	15:25-17:05		面 一也, 藤井 達夫
21-22	6/28	15:25-17:05		面 一也, 藤井 達夫
23-24	7/5	15:25-17:05		面 一也, 藤井 達夫
25-26	7/12	15:25-17:05		面 一也, 藤井 達夫
27-28	7/19	15:25-17:05		面 一也, 藤井 達夫
29-30	7/26	15:25-17:05		面 一也, 藤井 達夫

授業方法

講義形式。アクティヴ・ラーニングとして、授業中の確認作業と、授業後のリアクション・ペーパーの提出を課す。

授業内容

1 ガイダンス 本授業の概要(Zoom:オンデマンド授業)

2 アリストテレス1 目的論的自然観:自然における人間の位置

3 アリストテレス 2 学問体系の整序:古代社会思想の確立

4 アリストテレス 3 人間:幸福としての最高善、政治的動物

5 アリストテレス 4 国家①:善く生きるための共同体、現実国家

6 アリストテレス 5 国家②:プラトン批判、理想国家
7 トマス・ホッブズ 1 アリストテレスからホッブズまで、機械論的自然観
8 ホッブズ 2 人間:善＝快楽、悪＝苦痛
9 ホッブズ 3 自然状態:飽くなき欲望追求から戦争状態へ
10 ホッブズ 4 国家:死の恐怖に基づく絶対支配
11 フリードリヒ・ニーチェ 1 ホッブズからニーチェまで、古代から近代まで
12 ニーチェ 2 文体の技法
13 ニーチェ 3 キリスト教道徳への批判
14 ニーチェ 4 近代デモクラシーへの批判
15 ニーチェ 5 大いなる正午、永遠回帰、大いなる政治

成績評価の方法

評価 : 試験 50% ・ その他(リアクション・ペーパー) 50%
再評価: 有(レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

復習は次回授業の土台になるため、予習の意味も兼ねて、次回授業までに復習を済ませることを求める。
その際には、ノートや配布資料を見返しながら、授業の全体的な流れをまず把握して、総論から各論の確認へ向かうとよい。

教科書

特定の教科書は用いず、授業時に配布する引用資料を主に用いる。

参考書

西洋政治思想史Ⅰ／藤原, 保信, 1935-1994,飯島, 昇蔵, 1951-,藤原保信, 飯島昇蔵 編:新評論, 1995.5
西洋政治思想史Ⅱ／藤原, 保信, 1935-1994,飯島, 昇蔵, 1951-,藤原保信, 飯島昇蔵 編:新評論, 1995.12
西洋政治思想資料集／杉田, 敦, 1959-,川崎, 修, 1958-,杉田敦, 川崎修 編著:法政大学出版局, 2014.9
藤原保信、飯島昇藏編著『西洋政治思想史Ⅰ・Ⅱ』新評論、1995 年。
杉田敦、川崎修編著『西洋政治思想資料集』法政大学出版局、2014 年。

履修上の注意事項

出欠管理システムより教員自身が取る出欠を優先させる 。

時間割番号	00270				
科目名	文化人類学			**科目ID**	
担当教員	三谷　純子[MITANI JUNKO]				
開講時期	2024 年度前期	**対象年次**	1～	**単位数**	2
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:　木曜　3 講

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

1-2)社会制度や仕組みについての基本を解する 1-4)異なる空間の文化を理解する 1-9)市民としての倫理観を養う 2-4)自己問題提起・解決型の学習方法を身につける 2-5) 自らテーマを見つけて、調べ、発展させ、論文にまとめる能力を養う 3-3)チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける 3-4)外国文化を理解する 3-5) 国際情勢を理解する 3-6)自らの考えを的確に伝えるための基本的な文章表現能力を身につける

授業の目的、概要等

難民や移民とその子ども、無国籍・無戸籍、複数国籍の人々は増え続けている。このようなラベルで呼ばれる人々に関する基礎知識を得、法や制度、経済、文化、歴史的背景等様々な状況により、一律的な唯一絶対に正しい即座の解決策がない課題について、複数の視点から分析し、自分なりに考える能力を養うことを目的とする。

支援する立場からだけでなく、当事者の多様性やエージェンシーにも注目する。

授業の到達目標

目標1. 難民・移民・無国籍・複数国籍のラベルの曖昧さ・現状及び関係する国際法や国際社会の対応の枠組み、課題と限界、当事者の多様性について基本的な事実を説明できる。

目標2. 上記の問題に関し、日本と関わりがあることを理解し、日本の取り組みや課題、若者の役割について説明できる。

目標3. クラスでの議論に積極的に参加し、質問や意見を自主的に表明できる。

目標4. 信頼性のある資料を用い、リファレンスを明記し、事実を多角的な視点から分析し,論理的な構成の文章を書く能力を向上させる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	4/12	15:25-17:05		三谷　純子, 藤井　達夫
3-4	4/19	15:25-17:05		三谷　純子, 藤井　達夫
5-6	4/26	15:25-17:05		三谷　純子, 藤井　達夫
7-8	5/10	15:25-17:05		三谷　純子, 藤井　達夫
9-10	5/17	15:25-17:05		三谷　純子, 藤井　達夫
11-12	5/24	15:25-17:05		三谷　純子, 藤井　達夫
13-14	5/31	15:25-17:05		三谷　純子, 藤井　達夫
15-16	6/7	15:25-17:05		三谷　純子, 藤井　達夫
17-18	6/14	15:25-17:05		三谷　純子, 藤井　達夫
19-20	6/21	15:25-17:05		三谷　純子, 藤井　達夫
21-22	6/28	15:25-17:05		三谷　純子, 藤井　達夫
23-24	7/5	15:25-17:05		三谷　純子, 藤井　達夫
25-26	7/12	15:25-17:05		三谷　純子, 藤井　達夫
27-28	7/19	15:25-17:05		三谷　純子, 藤井　達夫
29-30	7/26	15:25-17:05		三谷　純子, 藤井　達夫

授業方法

アクティブ・ラーニングの形式を取り入れ、グループディスカッションや発表(1回)などを行う。

主に国連諸機関の最新の報告書、学術論文を基にした講義をし、教師の UNTAC, UNHCR、UNICEF 職員としての8か国での経験も適宜シェアする。

関連テーマに関するゲストスピーカーを招き、日本での経験について直接語ってもらい、学生と対話する(1回)、授業後、要点やミニ調査、意見・質問を含むフィードバックシートをウェッブクラスに提出する(毎回)ディスカッションの時間を確保するため、受講人数により

内容を調整することがある。

授業内容

1 回目:イントロダクション:授業の目的・評価基準等・難民の定義とその拡大
2 回目:アイスブレーキング:発表の説明・グループ決定 & 難民の権利
3 回目:3 つの恒久的解決策とその行き詰まり、混合移住と補完的保護
4 回目:難民のグローバルコンパクトと課題
5 回目:日本の難民
6 回目:移民の曖昧な概念と国際法と移民のグローバルコンパクト
7 回目:日本と「移民」
8 回目:社会統合
9 回目:出生登録と ID4D における生体認証・人工知能
10 回目:無国籍者の定義と発生原因
11 回目:無国籍の影響と無国籍を無くす取り組み＆無国籍や国籍が定かでないままを望む人々
12 回目:複数国籍
13 回目:招聘者の出身国情報
14 回目:招聘者との対話
15 回目:まとめ・ディスカッション:ラベルの曖昧さ、誰にとって何が解決なのか、自分や若者にできること/期末ペーパーの説明

成績評価の方法

評価 : 発表 30% 討論及びフィードバックシート 30%、 ニュースモニタリング10%、期末レポート30% セミナー形式の授業であり、授業への参加度を重視する。
再評価: 有(再評価方法)レポート提出

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

毎回、移民・難民・無国籍者の個人の経験を書いた本や漫画・映画・TED、ニュース等を紹介しあう。
フィードバックシートで復習・ミニ調査・考察を行う。

教科書

法や制度、統計に関しては、主にUN, UNHCR、ILO、IOM、OECD、EU、OAU、MPI、Stateless and Inclusion、政府の資料を使う。
基礎情報は日本語でパワポにまとめたものを配布する。グラフ等は英語資料も使う。

参考書

難民 : 行き詰まる国際難民制度を超えて／Betts, Alexander, 1980−,Collier, Paul,滝澤, 三郎,岡部, みどり,佐藤, 安信, 1957−,杉木, 明子, 山田, 満, 1955−,アレクサンダー・ベッツ, ポール・コリアー 著,滝澤三郎 監修,岡部みどり, 佐藤安信, 杉木明子, 山田満 監訳,金井健司, 佐々木日奈子, 須藤春樹, 春聡子, 古川麗, 松井春樹, 松本昂之, 宮下大夢, 山本剛 訳:明石書店, 2023.8
難民を知るための基礎知識 : 政治と人権の葛藤を越えて／滝澤, 三郎,山田, 満, 1955−,滝澤三郎, 山田満 編著:明石書店, 2017.1
アフリカの難民キャンプで暮らす : ブジュブラムでのフィールドワーク 401 日／小俣, 直彦, 1970−,小俣直彦 著:こぶな書店, 2019.6
日本の移民統合 : 全国調査から見る現況と障壁／永吉, 希久子,永吉希久子 編:明石書店, 2021.6
デジタル化する新興国 : 先進国を超えるか、監視社会の到来か／伊藤, 亜聖, 1984−,伊藤亜聖 著:中央公論新社, 2020.10
コミュニティ : 安全と自由の戦場／Bauman, Zygmunt, 1925−2017,奥井, 智之, 1958−,ジグムント・バウマン 著,奥井智之 訳:筑摩書房, 2017.12
難民 行き詰まる難民国際制度を越えて: ベッツ、アレクサンダー&ポール・コリアー/明石書店/2023
難民を知るための基礎知識 政治と人権の葛藤を越えて:滝澤三郎, 山田満編著/明石書店/2022
アフリカの難民キャンプで暮らす ブジュブラムでのフィールドワーク 401 日:小俣直彦 著/ こぶな書店/2019
日本の移民統合 全国調査からみる現況と障壁:明石書店/2021/2017
デジタル化する新興国:伊藤亜聖/中公新書/2020
コミュニティ:安全と自由の戦場:ジグムント・バウマン/筑摩学芸文庫/2017

履修上の注意事項

原則として全回出席。 欠席者には、その回の加点なし。 3分の1以上の欠席者はレポートの提出資格を失う。 世界地理をよく知らない人は、国名付の世界地図を要常備。 受講者の人数や受講者の関心により、内容を多少変更することがある。

備考

キーワード:難民、移民、無国籍、UNHCR

時間割番号	00280				
科目名	Japanese Culture and Society			科目ID	
担当教員	シモナ　ルアナンド[SHIMONA　RUANANDO]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1～	単位数	2
実務経験のある教員による授業					

前期:金曜4講

受講者に望まれる英語能力
CEFR B1(TOEIC500/TOEFLiBT50/英検二級)以上。
スコアは目安です。最初の授業で相談に応じるので、申し出てください。

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):3-6):日本の文化・社会を国際社会の中で理解し、発信できる力を身につける

授業の目的、概要等

students to be able to access more theoretical sources and be able to discuss and debate them. Materials from mediums such as social media, television or film will be provided to generate more discussion on specific topics.
Japanese Culture and Society では、外国から見た日本の文化・社会の様々な側面を議論します。本授業は基本的に英語で行い、学生に英語の発言による積極的な参加が認められます。分かりにくい点や質問には、補助的に日本語による説明を加えます。受講者に望まれる英語能力を確認ください。

授業の到達目標

1.日本文化社会に対する新しい洞察を獲得する。
2.批判的思考力や分析能力を育成する。
3.日本文化社会に関するディスカッションやプレゼンテーションを通じて英語によるコミュニケーション能力を強化する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	4/12	15:25-17:05	5 番教室	シモナ　ルアナンド, 藤井　達夫
3-4	4/19	15:25-17:05	5 番教室	シモナ　ルアナンド, 藤井　達夫
5-6	4/26	15:25-17:05	5 番教室	シモナ　ルアナンド, 藤井　達夫
7-8	5/10	15:25-17:05	5 番教室	シモナ　ルアナンド, 藤井　達夫
9-10	5/17	15:25-17:05	5 番教室	シモナ　ルアナンド, 藤井　達夫
11-12	5/24	15:25-17:05	5 番教室	シモナ　ルアナンド, 藤井　達夫
13-14	5/31	15:25-17:05	5 番教室	シモナ　ルアナンド, 藤井　達夫
15-16	6/7	15:25-17:05	5 番教室	シモナ　ルアナンド, 藤井　達夫
17-18	6/14	15:25-17:05	5 番教室	シモナ　ルアナンド, 藤井　達夫
19-20	6/21	15:25-17:05	5 番教室	シモナ　ルアナンド, 藤井　達夫
21-22	6/28	15:25-17:05	5 番教室	シモナ　ルアナンド, 藤井　達夫
23-24	7/5	15:25-17:05	5 番教室	シモナ　ルアナンド, 藤井　達夫
25-26	7/12	15:25-17:05	5 番教室	シモナ　ルアナンド, 藤井　達夫
27-28	7/19	15:25-17:05	5 番教室	シモナ　ルアナンド, 藤井　達夫
29-30	7/26	15:25-17:05	5 番教室	シモナ　ルアナンド, 藤井　達夫

授業方法

課題発表、グループディスカッション、反転授業、個人または小グループによる研究

授業内容

1. Orientation
2. “Uchi to Soto.”

3. “Shūdan Ishiki.”
4. “Sempai-Kōhai.”
5. “Giri” & “Gamabari.”
6. “Amae.”
7. “Danjyo Kankei” & “Omiai.”
8. “Ryōsaikenbo” & “Ikuji.” Choosing a presentation topic.
9. “Aimai.” Narrowing the presentation topic.
10. “Bushidō” & “The Dō Spirit of Japan.” Basic presentation skills.
11. “Wabi-Sabi” & “Kisetsu.” Preparation.
12. “Iitoko-Dori.” Practicing presenting in groups and peer review.
13. Final Presentation (1)
14. Final Presentation (2)
15. Feedback and conclusions″

成績評価の方法

評価 :授業参加度 35％ 課題・クイズ 35％ プレゼンテーション 30%
再評価:有(レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

As a rule, each time students are expected to organize and review their notes, read the text of the next lesson in advance, check the new words and mark any difficult notions they find. 基本的には毎回ノートを整理し復習すること。 テキストを事前に読んで、新しい言葉や解りにくかったところを把握しておくこと。

教科書

Roger Davies, Osamu Ikeno. The Japanese mind: understanding contemporary culture.Tuttle Publishing, 2002 年 4 月

参考書

Joy Hendry. Understanding Japanese Society. RoutledgeCurzon, 2019 年 7 月

履修上の注意事項

原則 3 分の 2 以上出席。

時間割番号	000049				
科目名	グローバル教養科目・Insider and Outsider Perspectives on Contemporary Japan			科目ID	
担当教員	權　大聖[KWON Daesung]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:木曜 3 講

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) :(3-4),(3-5),(3-6)

授業の目的、概要等

This course is a survey course of Japan, examining various aspects of contemporary Japanese society, including history, class, identity, culture, race, ethnicity, gender, politics, education, religion, and civil society. In this course, students will learn about a variety of critical issues in contemporary Japanese society and learn how to analyze the issues critically. Furthermore, by developing comparative thinking and insider–outsider research skills, students will have an opportunity to link domestic issues to regional and global contexts, and overcome their localized, preoccupied, simplistic assumptions and judgments about Japanese society. In doing so, students will understand contemporary Japanese society from a broader and global perspective.

授業の到達目標

1. To learn critical issues in contemporary Japanese society and deepen understanding of the ways of Japanese society and Japaneseness from a comparative/global perspective.
2. To develop analytical skill and comparative and practical thinking skills.
3. To experience active and cooperative learning.
4. To improve oral communication, reading, and writing skills in academic English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	4/12	13:30-15:10		權 大聖, 藤井 達夫
3-4	4/19	13:30-15:10		權 大聖, 藤井 達夫
5-6	4/26	13:30-15:10		權 大聖, 藤井 達夫
7-8	5/10	13:30-15:10		權 大聖, 藤井 達夫
9-10	5/17	13:30-15:10		權 大聖, 藤井 達夫
11-12	5/24	13:30-15:10		權 大聖, 藤井 達夫
13-14	5/31	13:30-15:10		權 大聖, 藤井 達夫
15-16	6/7	13:30-15:10		權 大聖, 藤井 達夫
17-18	6/14	13:30-15:10		權 大聖, 藤井 達夫
19-20	6/21	13:30-15:10		權 大聖, 藤井 達夫
21-22	6/28	13:30-15:10		權 大聖, 藤井 達夫
23-24	7/5	13:30-15:10		權 大聖, 藤井 達夫
25-26	7/12	13:30-15:10		權 大聖, 藤井 達夫
27-28	7/19	13:30-15:10		權 大聖, 藤井 達夫
29-30	7/26	13:30-15:10		權 大聖, 藤井 達夫

授業方法

1. To learn critical issues in contemporary Japanese society and deepen understanding of the ways of Japanese society and Japaneseness from a comparative/global perspective.
2. To develop analytical skill and comparative and practical thinking skills.
3. To experience active and cooperative learning.
4. To improve oral communication, reading, and writing skills in academic English.

授業内容

1. Introduction/Orientation
2. Insider–Outsider Perspectives on Japan: How Can We Understand Japaneseness?
3. What is Academic Writing?
4. Race, Ethnicity, and Identity
5. Gender Equality and Diversity
6. Medical and Healthcare Services for Japan's Aging Population
7. Education and Internationalization
8. Power, Politics, and Civil Society
9. Religion: Views on Life and Death from a Comparative Perspective
10. Guest Lecture
11. Popular Culture, Soft Power, and Cool Japan
12. Presentations and Discussion (I)
13. Presentations and Discussion (II)
14. Diversity, Immigration, and National Identity
15. Summary/ Reflection

成績評価の方法

評価 : Class Participation 30 % ・ Written Assignments and Term Paper 40 % ・ Presentation 30%

再評価: 有(レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Students are expected to read assigned reading materials before they attend a class every week such as a chapter in the text book, or a few pages in a chapter, or other reading materials (newspaper articles etc.) they are given by email.

試験の受験資格

In principle, 100% attendance is expected. One-third of the total number of class sessions will result in a failing grade. Only urgent medical care and family urgencies are accepted as legitimate excused absences.

教科書

The primary text: There is no required textbook for this course. Course materials will be distributed in class.

参考書

The secondary sources for reading:

1.García, Héctor. 2019. A Geek in Japan (Revised and Expanded Edition), Tokyo: Tuttle.

2.Hendry, Joy. 2019. Understanding Japanese Society (5th Edition), London and New York: Routledge.

3.Sugimoto, Yoshio. 2021. An Introduction to Japanese Society (5th Edition), Cambridge: Cambridge University Press.

履修上の注意事項

This course is conducted in English. In principle students are required to have sufficient English language ability to complete this course. However, regardless of their English proficiency, all students are welcome and encouraged to take this course as long as they have a keen interest in the topics in this course, and they are highly motivated to participate in class activities.

時間割番号	00810				
科目名	グローバル教養科目・Cultural Anthropology: Thinking Through Body and Nature			科目 ID	
担当教員	北川 真紀[KITAGAWA Maki]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:木曜 4 講

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

1-4) 異なる空間の文化を理解する

1-5) 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る

2-5) 自らテーマを見つけて、調べ、発展させ、論文にまとめる能力を養う

3-2) 自らの考えを的確に伝えるための基本的な文章表現能力を身につける

3-6) 日本の文化・社会を国際社会の中で理解し、発信できる力を身につける

授業の目的、概要等

This course will invite students to consider our living world from an anthropological perspective by exploring the dynamic changes in the nature-human relationship and the entanglement of living beings, including humans, animals, plants, virus, and weather. In the first half, the lecturer will present the latest anthropological topics and questions based on her own long-term research in Japan. This includes experiences such as becoming a hunter in Kyoto, encounters with the 'Urban Bear' descending from deep mountains to urban areas, and instances of wild boars and pigs getting infected with Classical Swine Fever in Fukui and other regions.

Following a guest lecture on climate change by a young anthropologist, we will proceed to the latter part of the course, where we will discuss four topics related to the lectures in the first half. The topics will be adjusted according to the participants' interests.

Through these discussions, students will consider how we can connect and disconnect with 'nature'. Visual materials will be incorporated into the lectures, as well as reading materials assigned in the classroom.

授業の到達目標

Through the course, students will be able

・To learn anthropological way of thinking that can be applied to their own interests.

・To explore and identify their own issues through academic research and discussions.

・To gain confidence in communication in English through presentations and discussions.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	4/12	15:25-17:05		北川 真紀 藤井 達夫
3-4	4/19	15:25-17:05		北川 真紀 藤井 達夫
5-6	4/26	15:25-17:05		北川 真紀 藤井 達夫
7-8	5/10	15:25-17:05		北川 真紀 藤井 達夫
9-10	5/17	15:25-17:05		北川 真紀 藤井 達夫
11-12	5/24	15:25-17:05		北川 真紀 藤井 達夫
13-14	5/31	15:25-17:05		北川 真紀 藤井 達夫
15-16	6/7	15:25-17:05		北川 真紀 藤井 達夫
17-18	6/14	15:25-17:05		北川 真紀 藤井 達夫
19-20	6/21	15:25-17:05		北川 真紀 藤井 達夫
21-22	6/28	15:25-17:05		北川 真紀 藤井 達夫
23-24	7/5	15:25-17:05		北川 真紀 藤井 達夫
25-26	7/12	15:25-17:05		北川 真紀 藤井 達夫
27-28	7/19	15:25-17:05		北川 真紀 藤井 達夫

29-30	7/26	15:25-17:05		北川 真紀 藤井 達夫	

授業方法

In addition to lectures and video viewings, this course will involve group discussions and individual presentations as part of active learning.

授業内容

1. About this course: On-demand Introduction
2. What is Cultural Anthropology? Onsite Introduction
3. Anthropology with Animals, Plants and Other living beings: Thinking through Fieldwork
4. Hunter's Perspective: Movie《僕は猟師になった》
5. Friction: Urban Bear in Japan
6. One Health? Infected Wild Boar
7.【Guest Lecture】Climate and Humans
8. Discussion Topic 1: Animals (or plants) and Humans
9. Discussion Topic 2: Microorganisms and Humans
10. Discussion Topic 3: Things (or Technology) and Humans
11. Discussion Topic 4: Climate (or Environment) and Humans
12. How to Write an English Essay, How to Present in English
13. Presentations 1
14. Presentations 2
15. Summary / Reflection

成績評価の方法

評価 : 授業への参加度 40% ・ レポート 40% ・ プレゼンテーション 20%

再評価: 有(再評価方法: レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Students are expected to read some texts before the class every two weeks. Reading materials will be assigned in the class.

教科書

大村敬一、湖中真哉(2020)『「人新世」時代の文化人類学』放送大学教育振興会。

参考書

松村圭一郎・中川理・石井美保(編)(2019)『文化人類学の思考法』世界思想社。

千松信也(2015)『けもの道の歩き方』リトルモア。

その他は授業中に指定する。

履修上の注意事項

This course is conducted in English. Students are required to have sufficient English language ability to present their ideas and write an essay in English. However, all students are welcome as long as they have an interest in the topics and are motivated to actively participate in the class.

備考

キーワード: Cultural Anthropology, Fieldwork, Perception of the Environment, Hunting, Animal Infection Disease.

時間割番号	00790				
科目名	人文社会科学特論(現代社会とメディア)			科目ID	
担当教員	辻　泰明[TSUJI Yasuaki]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

1-2)社会制度や仕組みについての基本を理解する

1-3)人間の歴史的営みを理解する

1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る

授業の目的、概要等

現代社会におけるメディアは、インターネットの普及に伴い、これまで以上にグローバルな展開を遂げつつあり、重要性を増しています。この授業では、メディアの基本的概念や発展過程、さまざまなメディア(出版、新聞、映画、テレビ、インターネット等)の特性、現在の課題と今後の展望等について理解を深めます。

授業の到達目標

・メディアの基本的な概念について説明できる。

・メディアの発展過程と出版、新聞、映画、テレビ、インターネット等各メディアの特性について述べることができる。

・新しいメディアであるインターネットと伝統的マスメディアについて、それぞれの現代社会における意義と課題を論じることができる。

なお、本講義では、GPA における「B」評価を得るためには、上記三つの到達目標を達成した上で、

・授業内で課される課題や発表等について、期限内に所定の形式で提出または実施する。

・授業内でのグループワークやディスカッション等に参加し、自分の見解を述べる。

・授業内で得た知見をレポートに的確に反映する。

という三つの条件を全て充足することが必要です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	4/12	15:25-17:05		第1回 イントロダクション=今、なぜ現代社会とメディアについて学ぶ必要があるのか	現代社会の根幹をなすコミュニケーションとメディア ／SNS の隆盛とフェイク動画の氾濫 ／伝統的マスメディアからインターネットへの転換という歴史的大変化	辻　泰明	現代社会とメディアの現状について理解し、説明できる。
3-4	4/19	15:25-17:05		第2回 メディアによるコミュニケーションの特性	コミュニケーションの構造 ／対面コミュニケーションとマスメディアの違い ／メディアによるコミュニケーションの特性についてグループで議論	辻　泰明	メディアによるコミュニケーションの特性について理解し、メディアへの向き合い方について議論できる。
5-6	4/26	15:25-17:05		第3回 メディアに対して、どう向き合うか	メディアに対して、どう向き合うかを議論した結果をプレゼンテーション ／プレゼンテーションを元にディスカッション	辻　泰明	メディアへの向き合い方について、見解を発表できる。
7-8	5/10	15:25-17:05		第4回 メディアの類型(活字メディアと映像メディア)	活字印刷術の普及とマスメディアの誕生 ／活字メディアと映像メディアの対比	辻　泰明	メディアの類型について理解し、説明できる。
9-10	5/17	15:25-17:05		第5回 メディアによる情報の遠隔伝達	放送による遠隔コミュニケーション ／映画とテレビの対比	辻　泰明	メディアによる情報の遠隔伝達に

							ついて理解し、説明できる。
11-12	5/24	15:25-17:05		第6回 メディアによる表現の構造	フィクションとノンフィクション ／ニュース(報道)、ドラマ(物語)、ドキュメンタリー(ルポルタージュ)の違い	辻 泰明	メディアによる表現の構造について理解し、説明できる。
13-14	5/31	15:25-17:05		第7回 メディアによる情報の流布	メディアによるプロパガンダと宣伝 ／メディアによる情報の流布についてグループで議論	辻 泰明	メディアによる情報の流布について理解し、議論できる。
15-16	6/7	15:25-17:05		第8回 メディアによる宣伝を、どう捉えるか	メディアによる宣伝を、どう捉えるかについて議論した結果をプレゼンテーション ／プレゼンテーションを元にディスカッション	辻 泰明	メディアによる宣伝を、どう捉えるかについて、見解を発表できる。
17-18	6/14	15:25-17:05		第9回 メディアの方向性(マスメディアとインターネット)	一方向メディアと双方向メディア ／マスメディアとインターネットの対比	辻 泰明	メディアの方向性について説明できる。
19-20	6/21	15:25-17:05		第10回 メディアによる情報の共有と拡散	メディアのセレンディピティ(知らないものに出会う可能性) ／メディアによる情報の共有と拡散について議論	辻 泰明	メディアによる情報の共有と拡散について理解し、議論できる。
21-22	6/28	15:25-17:05		第11回 メディアが作り出した情報に、どう対処するか	メディアが作り出した情報に、どう対処するかについて議論した結果をプレゼンテーション ／プレゼンテーションを元にディスカッション	辻 泰明	メディアが作り出した情報に、どう対処するかについて、見解を発表できる。
23-24	7/5	15:25-17:05		第12回 メディアの記録と保存	メディア資料の散逸と発掘 ／記録資料の一次的機能と二次的機能	辻 泰明	メディアの記録と保存について理解し、論じることができる。
25-26	7/12	15:25-17:05		第13回 メディアの連携と融合	受動的メディアと能動的メディアの連携 ／インターネットによる伝統的マスメディアの解体と包含	辻 泰明	メディアの連携と融合について理解し、説明できる。
27-28	7/19	15:25-17:05		第14回 メディアの課題	フィルターバブルとエコーチェンバー ／メディアの信頼性(フェイクニュースとフェイク動画) ／メディアの課題について議論	辻 泰明	メディアの課題について理解し、議論することができる。
29-30	7/26	15:25-17:05		第15回 メディアの未来について、どう考えるか	これまでの授業を振り返った上で、メディアの未来について議論した結果をプレゼンテーション ／プレゼンテーションを元にディスカッション	辻 泰明	メディアの未来について、見解を発表できる。

授業方法

授業は、理論や思想を学ぶにあたり、実際に映像を視聴したり資料を閲覧したりして、具体的な実例を参照しながら進めます。

講義形式にて実施しますが、アクティブラーニングを含みます。授業中に意見を求め、グループワークによる作業と発表やディスカッションを行っていただきます。

授業内容

第 1 回　イントロダクション＝今、なぜ現代社会とメディアについて学ぶ必要があるのか
第 2 回　メディアによるコミュニケーションの特性
第 3 回　メディアに対して、どう向き合うか
第 4 回　メディアの類型（活字メディアと映像メディア）
第 5 回　メディアによる情報の遠隔伝達
第 6 回　メディアによる表現の構造
第 7 回　メディアによる情報の流布
第 8 回　メディアによる宣伝を、どう捉えるか
第 9 回　メディアの方向性（マスメディアとインターネット）
第 10 回　メディアによる情報の拡散
第 11 回　メディアが作り出した情報に、どう対処するか
第 12 回　メディアの記録と保存
第 13 回　メディアの連携と融合
第 14 回　メディアの課題
第 15 回　メディアの未来について、どう考えるか

成績評価の方法

評価 ： レポート 40% ・ その他（グループワーク、課題、ディスカッション） 60%

準備学習等についての具体的な指示

授業内で、予習すべきポイントや課題を提示します。

参考書

映像メディア論 ： 映画からテレビへ、そして、インターネットへ／辻　泰明:和泉書院, 2016.9
インターネット動画メディア論 ： 映像コミュニケーション革命の現状分析／辻　泰明:大学教育出版, 2019.10

履修上の注意事項

三分の二以上の出席が必要です。 出欠管理システムよりも、教員自身が取る出欠を優先します。

連絡先（メールアドレス）

tsuji.yasuaki@tmd.ac.jp

オフィスアワー

前期:金　14:30～15:00　後期:水　12:30～13:00
管理研究棟 2 階

時間割番号	000035				
科目名	人文社会科学特論(科学主義と「社会」)			科目ID	
担当教員	徳久　美生子[TOKUHISA Mioko]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:　金曜　3 講

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-2)社会制度や仕組みについての基本を理解する

1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る

1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる

授業の目的、概要等

江戸から京都まで2週間かけて歩いていた時代とは異なり、新幹線を利用し 3 時間で移動できる現代社会に私たちは生きています。

科学技術の進歩は、「社会」を大きく変化させるとともに、科学の進歩に対する無条件の信頼(科学主義)を育んでもきました。

けれども福島第一原発の事故やパンデミックを経た現在、科学技術の万能性に疑念が生じ、「社会」の進歩を前提とした科学主義の考え方それ自体も見直されつつあります。

この授業では、科学技術が「社会」を、そして人々の意識をどのように変化させてきたのか、そして「社会」や人々の意識の変化によって(科学の進歩を前提にした)科学主義の考え方が、現在どのような課題に直面しているのかを学び(知識の取得)、議論していきます(思考力の取得)。

その上で、核兵器、原子力発電、環境問題など具体的な社会問題を取り上げ、科学主義の考え方をどのように変えていけば問題解決につながるのかを受講生の皆さんと一緒に考えます(構想力の取得)。

授業の到達目標

1. 科学技術の発展に伴う「社会」と人々の意識の変化と科学主義の考え方の現在的課題に関する知識の取得
2. 取得した知見について考え、議論をする思考力の取得
3. 科学主義の変化を問題解決につなげる「社会」のあり方に関する構想力の取得

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	4/12	13:30-15:10		徳久　美生子, 藤井　達夫
3-4	4/19	13:30-15:10		徳久　美生子, 藤井　達夫
5-6	4/26	13:30-15:10		徳久　美生子, 藤井　達夫
7-8	5/10	13:30-15:10		徳久　美生子, 藤井　達夫
9-10	5/17	13:30-15:10		徳久　美生子, 藤井　達夫
11-12	5/24	13:30-15:10		徳久　美生子, 藤井　達夫
13-14	5/31	13:30-15:10		徳久　美生子, 藤井　達夫
15-16	6/7	13:30-15:10		徳久　美生子, 藤井　達夫
17-18	6/14	13:30-15:10		徳久　美生子, 藤井　達夫
19-20	6/21	13:30-15:10		徳久　美生子, 藤井　達夫
21-22	6/28	13:30-15:10		徳久　美生子, 藤井　達夫
23-24	7/5	13:30-15:10		徳久　美生子, 藤井　達夫
25-26	7/12	13:30-15:10		徳久　美生子, 藤井　達夫
27-28	7/19	13:30-15:10		徳久　美生子, 藤井　達夫
29-30	7/26	13:30-15:10		徳久　美生子, 藤井　達夫

授業方法

講義形式にて行いますが、アクティブラーニングの形式を取り入れます。

授業終了時にコメントペーパーを提出してもらう時間を設け、翌週フィードバックすることで質問、意見に対応します。

また授業中に、随時意見を出し話し合う予定です。

授業内容

1. ガイダンス:科学主義こと初め

2. 科学主義と近代社会:科学主義はどう広がったか
3. 科学主義と現代社会:科学主義はどう批判されたか
4. 科学主義の陥穽1:戦争と科学主義
5. 科学主義の陥穽2:ナチズムと科学主義
6. 科学主義の陥穽3:核兵器開発と科学主義
7. 核兵器と核被害について考える1
8. (オンライン授業)核兵器と核被害について考える2
9. 原発問題を考える1
10. 原発問題を考える2
11. 環境問題を考える1
12. 環境問題を考える2
13. 「社会」の多様性と複雑性について考える1
14. 「社会」の多様性と複雑性について考える2
15. まとめ:パンデミック後の世界と科学主義

成績評価の方法

評価 : 試験 % ・ レポート 60 % ・ その他(コメントペーパーの提出などの平常点) 40 %
再評価: 有(再評価方法)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

予習は特に必要ありません。
興味を持った内容について、授業内で紹介する文献を読むなどして思考を深めてください。

教科書

指定なし
毎回プリントを配布します

参考書

科学とはなにか : 新しい科学論、いま必要な三つの視点／佐倉, 統, 1960-,佐倉統 著:講談社, 2020.12
戦争と農業／藤原, 辰史, 1976-,藤原辰史 著:集英社インターナショナル, 2017.10
近代日本一五〇年 : 科学技術総力戦体制の破綻／山本, 義隆, 1941-,山本義隆 著:岩波書店, 2018.1
佐倉統『科学とはなにか』講談社ブルーバックス(2020)
藤原辰史『戦争と農業』集英社インターナショナル新書(2017)
山本義隆『近代日本 150 年—科学技術総力戦体制の破綻』岩波新書(2018)
他授業内で随時紹介していきます

履修上の注意事項

単位取得には、3 分の 2 以上の出席が必要です。

備考

キーワード:近代社会・ナチズム・原爆・科学技術・多様性

時間割番号	000036				
科目名	人文社会科学特論(高齢者福祉論)			科目ID	LA-113902-Z
担当教員	BAO MIN[BAO Min]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:金曜 4講

対象学科: 全学科

募集人数:30人

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-2)

授業の目的、概要等

少子高齢社会の到来により、「高齢化」は今日の社会生活にとって不可避な課題となっている。「高齢化」への取り組みは、現在、そして今後も社会のあり方を左右する重要な社会的・国家的な課題となっている。少子高齢社会は、高齢者のみならず、すべての世代に関係するテーマである。本講義では、すべての世代が支え合う社会づくりを目指す視点から、若い世代が取り組むべき課題と対応について検討することを目的としている。

授業の到達目標

日本における少子高齢化の状況を学び、また、高齢者の実像を知るとともに高齢者福祉の制度・政策の意義と課題を理解することができるようになる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	4/12	13:30-15:10		第1回 高齢者理解の視点①	高齢者の社会的理解 高齢者の身体的理解	BAO MIN	高齢者の社会的、身体的特徴について説明ができる。 リアクションペーパーを用いた質疑応答,グループディスカッション
3-4	4/19	13:30-15:10		第2回 高齢者理解の視点②	高齢者の精神的理解 高齢者の総合的理解	BAO MIN	高齢者の精神な特徴及び総合的理解について説明ができる。 リアクションペーパーを用いた質疑応答,グループディスカッション
5-6	4/26	13:30-15:10		第3回 少子高齢社会と高齢者①	少子高齢社会と社会問題	BAO MIN	戦後日本における少子高齢化の推移について説明できる。 地元の高齢化状況に関する発表、リアクションペーパーを用いた質疑応答
7-8	5/10	13:30-15:10		第4回 少子高齢社会と	高齢者を取り巻く諸問題	BAO MIN	具体的に高齢者

				高齢者②			を取り巻く問題が説明できるようになる。 リアクションペーパーを用いた質疑応答
9-10	5/17	13:30-15:10		第5回 高齢者保健福祉の発展と法体系	高齢者保健福祉制度の発展 高齢者保健福祉の法体系	BAO MIN	戦後高齢者保健福祉制度の発展の経過及び高齢者保健福祉の法体系を理解し、説明できる。 リアクションペーパーを用いた質疑応答
11-12	5/24	13:30-15:10		第6回 高齢者支援の関係法規①	老人福祉法	BAO MIN	老人福祉法の主な内容が説明できる。 リアクションペーパーを用いた質疑応答
13-14	5/31	13:30-15:10		第7回 高齢者支援の関係法規②	高齢者の医療の確保に関する法律	BAO MIN	後期高齢者医療制度が説明できる。具体的な法改正の最新内容が理解でいる。 リアクションペーパーを用いた質疑応答
15-16	6/7	13:30-15:10		第8回 高齢者支援の関係法規③	高齢者虐待防止法、その他の関係法規(バリアフリー新法、高齢者の居住の安定確保に関する法律、権利擁護と成年後見制度、社会参加と生涯学習)	BAO MIN	高齢者虐待の実態を知り、高齢者虐待防止法の内容が説明できる。リアクションペーパーを用いた質疑応答
17-18	6/14	13:30-15:10		第9回 介護保険法の概要①	介護保険法制度の全体像、介護保険制度の目的、保険財政	BAO MIN	介護保険法制定の経緯を知り、介護保険法の全体像が理解する。リアクションペーパーを用いた質疑応答、地元の介護保険のパンフレットを入手し、学習する。
19-20	6/21	13:30-15:10		第10回 介護保険法の概要②	保険者と被保険者要介護認定の仕組みとプロセス、保険給付、介護報酬、地域支援事業	BAO MIN	地元の介護保険の実態に照らし、保険者と被保険者要介護認定の

							仕組みとプロセス、保険給付、介護報酬、地域支援事業が説明できる。 リアクションペーパーを用いた質疑応答。
21-22	6/28	13:30-15:10		第 11 回 介護保険法の概要③	介護保険事業計画、苦情処理、審査請求 介護保険の最近の動向	BAO MIN	介護保険事業計画、苦情処理、審査請求 介護保険の最近の動向を把握し、説明できる。 リアクションペーパーを用いた質疑応答
23-24	7/5	13:30-15:10		第 12 回 介護保険のサービス体系①	介護保険サービスにおける専門職の役割と実際 居宅サービス	BAO MIN	地元の介護保険の実態に照らし、介護保険サービスにおける専門職の役割と実際、居宅サービスの具体的な内容が説明できる。 リアクションペーパーを用いた質疑応答。
25-26	7/12	13:30-15:10		第 13 回 介護保険のサービス体系②	施設サービス	BAO MIN	施設サービスの種類が説明できる。 リアクションペーパーを用いた質疑応答
27-28	7/19	13:30-15:10		第 14 回 介護保険のサービス体系③	地域密着型サービス、介護予防サービス	BAO MIN	地元の実情に照らし、地域密着型サービス、介護予防の内容が説明できる。 リアクションペーパーを用いた質疑応答
29-30	7/26	13:30-15:10		第 15 回 まとめ	近未来の高齢者福祉課題	BAO MIN	今後高齢者福祉の課題が説明できる。 教場レポート作成

授業方法

講義形式で授業を行い、毎回授業終了時に、各自が新しく学んだことや疑問に思ったことをリアクションペーパーとして提出し、フィードバックする。授業内容に対し、課題発表やミニ討論をすることがある。

授業内容

第 1 回　高齢者理解の視点①
高齢者の社会的理解
高齢者の身体的理解
第 2 回　高齢者理解の視点②
高齢者の精神的理解
高齢者の総合的理解
第 3 回　少子高齢社会と高齢者①
少子高齢社会と社会問題
第 4 回　少子高齢社会と高齢者②
高齢者を取り巻く諸問題
第 5 回　高齢者保健福祉の発展と法体系
高齢者保健福祉制度の発展
高齢者保健福祉の法体系
第6回　高齢者支援の関係法規①
老人福祉法
第 7 回　高齢者支援の関係法規②
高齢者の医療の確保に関する法律
第 8 回　高齢者支援の関係法規③
高齢者虐待防止法、その他の関係法規(バリアフリー新法、高齢者の居住の安定確保に関する法律、権利擁護と成年後見制度、社会参加と生涯学習)
第 9 回　介護保険法の概要①
介護保険法制度の全体像、介護保険制度の目的、保険財政
第 10 回　介護保険法の概要②
保険者と被保険者要介護認定の仕組みとプロセス、保険給付、介護報酬、地域支援事業
第 11 回　介護保険法の概要③
介護保険事業計画、苦情処理、審査請求　介護保険の最近の動向
第 12 回　介護保険のサービス体系①
介護保険サービスにおける専門職の役割と実際　居宅サービス
第 13 回　介護保険のサービス体系②
施設サービス
第 14 回　介護保険のサービス体系③
地域密着型サービス、介護予防サービス
第 15 回　まとめ
近未来の高齢者福祉課題

成績評価の方法

レポート:60% ・ その他(授業参加、授業中課題)40%
再評価:　無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全額共通科目履修規則　別表 2」による

準備学習等についての具体的な指示

予習は特に必要ありませんが、復習をしっかり行ってください。その際、授業中配布した資料と教科書の内容を確認し理解を深めてください。

試験の受験資格

①原則3分の2以上出席、②授業中の課題を提出すること。

教科書

高齢者福祉／一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟 編集,一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟,:中央法規出版, 2021-01-20
参考書 高齢社会白書(令和 5 年版)／内閣府,内閣府編:日経印刷, 2023.7 福祉小六法2024／大阪ボランティア協会,中央法規出版株式会社,大阪ボランティア協会 監修,中央法規出版編集部 編集:中央法規出版, 2023.12 開講中、随時提示する。
履修上の注意事項 出欠は、出欠管理システムの記録と教員が取る出欠を併用して管理します。
連絡先(メールアドレス) minbao.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 水曜日 12:30～13:00 管理研究棟 3 階 研究室

時間割番号	000046				
科目名	人文社会科学特論(グローバル社会とバイリンガリズム)			科目ID	LA-113904-Z
担当教員	宮崎 幸江[MIYAZAKI Sachie]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1	単位数	2
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:木曜 3 講

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

1-1) 言語を通した人間の創造的営みを理解する 1-4) 異なる空間の文化を理解する 1-9) 市民としての倫理観を養う

授業の目的、概要等

講義では、グローバル化に伴う日本社会の変容について、移民という視点から考える。

親に帯同して日本で成長する移民の子どもは言語文化的多様性を持つバイリンガルであるが、日本語力や学力、進路において、さまざまな教育課題に遭遇する。

移民の子どもを通して日本社会のあり方について考察するとともに、逆の視点から、海外在住の日本人の子どもの言語教育環境や母語保持に関する理論と実践を学ぶ。

授業では、アクティブ・ラーニングの形式をとりいれ、事例についてのディスカッションやグループプレゼンテーションを行う。

本コースの目的は、将来医療従事者として、多様な背景を持つ人々に対して、彼らの文化や生活、ニーズを理解する力と市民としての倫理観、及びコミュニケーションを図る力を涵養することである。

授業の到達目標

1. バイリンガルの言語発達やアイデンティティ形成と教育環境の関係について理解を深める。
2. 言語文化的多様性を持つ人々のニーズを理解し、コミュニケーションが図れるようになる。
3. 医療従事者として、多文化共生社会の実現に向けた行動がとれるようになる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	4/18	15:25-17:05		宮崎 幸江, 藤井 達夫
3-4	4/25	15:25-17:05		宮崎 幸江, 藤井 達夫
5-6	5/2	15:25-17:05		宮崎 幸江, 藤井 達夫
7-8	5/9	15:25-17:05		宮崎 幸江, 藤井 達夫
9-10	5/16	15:25-17:05		宮崎 幸江, 藤井 達夫
11-12	5/23	15:25-17:05		宮崎 幸江, 藤井 達夫
13-14	5/30	15:25-17:05		宮崎 幸江, 藤井 達夫
15-16	6/6	15:25-17:05		宮崎 幸江, 藤井 達夫
17-18	6/13	15:25-17:05		宮崎 幸江, 藤井 達夫
19-20	6/20	15:25-17:05		宮崎 幸江, 藤井 達夫
21-22	6/27	15:25-17:05		宮崎 幸江, 藤井 達夫
23-24	7/4	15:25-17:05		宮崎 幸江, 藤井 達夫
25-26	7/11	15:25-17:05		宮崎 幸江, 藤井 達夫
27-28	7/18	15:25-17:05		宮崎 幸江, 藤井 達夫
29-30	7/25	15:25-17:05		宮崎 幸江, 藤井 達夫

授業方法

講義、ディスカッション、質疑応答、発表

授業内容

1-2 ガイダンス

3-4 グローバル化と在日外国人

5-6 日本で育つ外国につながる子どもたち

7-8 外国につながる子どもの教育環境
9-10 在外日本人の子どもと言語
11-12 バイリンガルの言語発達
13-14 バイリンガルを育てる
15-16 ことばとアイデンティティ
17-18 ファミリーランゲージポリシー(グループ発表)
19-20 ろうの言語生活
21-22 ろうの言語とアイデンティティ
23-24 やさしい日本語
25-26 日本人特権を考える
27-28 研究発表
29-30 多文化共生と医療(グループ発表)

成績評価の方法

評価 : レポート 40%、授業への参加度 (リアクションペーパー含む)30% 積極的な授業参加と、リアクションペーパーに授業のポイントが反映されているかを重視する。発表・課題 30% 課題については期限を守り課題の問いに答えられているかを重視する。
再評価: 有(試験もしくはレポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

授業の前に教科書の該当箇所を読んでおくことを推奨する。
また、教科書の一部については事前に与えられた質問の答えやコメントを書いて提出すること(学期に数回)が求められる。

教科書

にほんでいきる : 外国からきた子どもたち／毎日新聞社,毎日新聞取材班 編:明石書店, 2020.12
言葉と教育 : 海外で子どもを育てている保護者のみなさまへ／中島, 和子, 1936-,中島和子 著:海外子女教育振興財団, 1998.11
『にほんでいきる一外国からきた子どもたち』毎日新聞取材班(編)明石書店 (2020)
『言葉と教育 海外で子どもを育てている保護者の皆様へ』中島和子 海外子女教育振興財団(2020)

参考書

バイリンガル教育の方法 : 12 歳までに親と教師ができること／中島, 和子, 1936-,中島和子 著:アルク, 2016.1
ろうと手話 : やさしい日本語がひらく未来／吉開, 章,吉開章 著:筑摩書房, 2021.11
『完全改訂版 バイリンガル教育の方法―12 歳までに親と教師ができること』中島和子 アルク(2016) 「ろうと手話 やさしい日本語がひらく未来』吉開章 筑摩書房(2021)

履修上の注意事項

原則的に3分の2以上の出席を期末考査・再考査等の受験資格とする。

備考

キーワード:グローバル化、言語文化的多様性、バイリンガル、母語、継承語、アイデンティティ、多文化共生

時間割番号	00290				
科目名	フィジカルウェルビーイング			科目ID	
担当教員	柳下 和慶, 髙木 俊輔, 大見 武弘, 竹内 康雄, 大路 駿介, 内山 麻夕美, 朝田 隆, 平井 伸英, 麻生 義則 [YAGISHITA KAZUYOSHI, TAKAGI Shunnsuke, OMI TAKEHIRO, TAKEUCHI YASUO, OOJI Shunnsuke, UCHIYAMA Mayumi, ASADA Takashi, HIRAI NOBUHIDE, ASO YOSHINORI]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1～	単位数	2
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:金曜 4 講

対象学科:全学科(選択)

募集人数:40 人

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

1-4)異なる空間の文化を理解する

1-7)人間の心への理解を深める

1-8)自己の心と体を管理する能力を獲得する

2-1)自然現象を科学的に探求するための方法論を知る

4-2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける

主な講義場所

教養部

授業の目的、概要等

本授業のキーワードは、「wellbeing:ウェルビーイング」と「運動」である。

「ウェルビーイング」は「幸福」「健康」とも訳され、ひとびとの目指す根源的なものである。WHO 憲章では"Health is a state of complete physical, mental and social wellbeing."としており、身体的・精神的・社会的ウェルビーイングは健康における重要な要素となる。医療従事者を目指す学生が健康の基本的概念であるウェルビーイングを知ることはとても大切である。特にウェルビーイングの中でもフィジカルウェルビーイングは身体的健康とも訳され、医療や医学に直結する。

日本は高齢化社会を迎え健康寿命の延伸が求められる中、健康を保つには身体機能の維持が重要であり、特に運動と身体的健康との関連性の重要性が言われている。例えば糖尿病等代謝疾患や認知症の予防に運動は大きく寄与し、また運動は骨代謝やメンタルヘルスにも大きく影響する。また歯科疾患とフィジカルウェルビーイングとの関連性を知ることも大切である。

本授業の目的は、フィジカルウェルビーイングと運動の関連性と重要性の理解を通じて、健康ウェルビーイングのために身体機能が重要なことを知ることである。

さらに本授業ではスポーツ医・科学を紹介し、運動やスポーツと医療・医学との関係性を知り、運動やスポーツの重要性を知ることも目的となる。

授業の到達目標

1)フィジカルウェルビーイングと運動の関係性や重要性を理解し、健康ウェルビーイングのために身体機能が重要であることを理解すること

・運動が好影響を与える疾患や病態と、そのメカニズムを概説できること

・ウェルビーイングの構成要素を、概説できること

2)運動評価法を学ぶことにより、運動機能の一端について理解が及ぶこと

・ロコモティブシンドロームとフレイルが概説できること

3)運動やスポーツと医療・医学との関係性を知り、運動やスポーツの重要性を知ること

・スポーツ医学が対象とする事項を、複数挙げられること

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	4/12	15:25-17:05	9 番教室	フィジカルウェルビーイングと運動 オリエンテ	授業全体のオリエンテーション	柳下 和慶	リアクションペーパー

				ーション			
3-4	4/19	15:25-17:05	9 番教室	筋肉と運動生理学、トレーニング	運動の基本となる筋肉、運動生理学、トレーニングについて。『フィジカルウェルビーイング』Webclass に資料あり	柳下 和慶	運動器と運動生理学とは何かを答えられる。有酸素運動とレジスタンストレーニングの違いを理解すること。 リアクションペーパー・小テスト
5-6	4/26	15:25-17:05	9 番教室	サルコペニア・ロコモティブシンドローム・フレイル	『フィジカルウェルビーイング』Webclass に資料あり	柳下 和慶	サルコペニア・ロコモティブシンドローム・フレイルを概説できること。 リアクションペーパー・小テスト
7-8	5/10	15:25-17:05	9 番教室	スポーツ医学概論・アンチドーピング・高気圧酸素	スポーツ医学とアンチドーピング・コク気圧酸素治療の概要を知ること。『フィジカルウェルビーイング』Webclass に資料あり。	柳下 和慶	運動やスポーツと医療・医学との関係性を知り、アンチドーピング・高気圧酸素治療とは何かを知る。リアクションペーパーと授業中の小テスト
9-10	5/17	15:25-17:05	9 番教室	スポーツ精神医学	スポーツ世界、アスリートにおいて起こる精神的な問題について知ること。また、精神科治療でのスポーツの効力について知ること。『フィジカルウェルビーイング』Webclass に資料予定	髙木 俊輔 柳下 和慶	アスリートに頻度が高く起こる独特の精神疾患について、数種類を答えられるようになる。また、その原因となるアスリートの独特の心性や傾向を答えられるようになる。リアクションペーパー、授業中の質疑応答
11-12	5/24	15:25-17:05	9 番教室	認知機能と運動/フレイルと認知症は表裏	オンライン形式 『フィジカルウェルビーイング』Webclass に資料あり	朝田 隆, 柳下 和慶	運動による認知機能の維持や認知症予防の効果や機序について知ること。 リアクションペーパー
13-14	5/31	15:25-17:05	9 番教室	運動と糖尿病・心血管系疾患・透析患者	糖尿病や心血管系疾患の予防や治療、透析患者における運動の効果を知ること。『フィジカルウェ	柳下 和慶, 内藤 省太郎	運動による糖尿病・心血管系疾患の予防と治療の

					ルビーイング』Webclass に資料あり		効果を知ること。運動と透析患者の関係性を知ること　リアクションペーパー・小テスト
15-16	6/7	15:25-17:05	9 番教室	歯周病と全身疾患との関係	口腔が全身の一器官として全身状態・健康に連環があることを知ること。『フィジカルウェルビーイング』Webclass に資料あり	竹内 康雄, 柳下 和慶	全身の一臓器としての口腔の役割を理解し、口腔疾患が全身の健康に影響を与える可能性や考えられる機序についてしること。 リアクションペーパー
17-18	6/14	15:25-17:05	9 番教室	コンディショニング：姿勢	姿勢と運動機能障害との関係性、理想的な姿勢の基準とその評価、姿勢の修正方法について講義・実演する。『フィジカルウェルビーイング』Webclass に資料あり	大路 駿介, 柳下 和慶	理想的な姿勢の基準を説明できる。力学的観点による簡便な姿勢評価とその修正方法を理解できる。 リアクションペーパー
19-20	6/21	15:25-17:05	9 番教室	栄養と運動	運動に関わる栄養に関する概論。（柳沢香絵先生）『フィジカルウェルビーイング』Webclass に資料予定	柳下 和慶	フィジカルウェルビーイングの維持向上に重要な要素を列挙できること。 リアクションペーパー
21-22	6/28	15:25-17:05	9 番教室	運動評価法：バイオメカニクス	バイオメカニクスを用いた運動・動作の評価方法を知ること。『フィジカルウェルビーイング』Webclass に資料あり	大見 武弘, 柳下 和慶	身近な動作について、バイオメカニクスの考え方を用いて説明できること。 リアクションペーパー
23-24	7/5	15:25-17:05	9 番教室	ウェルビーイング/フィジカルウェルビーイング概論	ウェルビーイング/フィジカルウェルビーイングの概要を知ること。『フィジカルウェルビーイング』Webclass に資料予定	柳下 和慶	リアクションペーパー
25-26	7/12	15:25-17:05	9 番教室	メンタルヘルスケアと睡眠・運動	スポーツのパフォーマンスにも影響を与えるメンタルヘルスについて知ること。『フィジカルウェルビーイング』Webclass に資料あり	平井 伸英	学生時代に問題となりやすいメンタルヘルスについて学び、スポーツや日常生活に生かすためのヒントとすること。リアクションペー

							パー
27-28	7/19	15:25-17:05	9 番教室	マインドフルネス	『フィジカルウェルビーイング』 Webclass に資料あり	柳下 和慶 渡邊 洋子	マインドフルネスを説明でき、一部実践できること。リアクションペーパー
29-30	7/26	15:25-17:05	9 番教室	歯科からの健康	内山麻夕美先生の授業『フィジカルウェルビーイング』Webclass に資料あり	柳下 和慶	歯科からの健康の概要を知ること。 リアクションペーパー

授業方法

授業は講義形式で行う。一部意見交換なども行われる。
基本的には対面授業であり、一部授業はオンラインとなる。
一部授業では、専門家の外部講師により講義を行う。
小テスト:一部授業の授業中もしくは終了前に実施する。
リアクションペーパー:授業開始時に配布し、自由記載をして、授業終了後に回収する。

授業内容

授業スケジュール参照

成績評価の方法

評価:
小テストや授業中の回答・姿勢等 20%
リアクションペーパー 30%、最終レポート 50%
再評価:有り(試験もしくはレポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による。

準備学習等についての具体的な指示

各授業の項目について、事前学習が望まれる。

試験の受験資格

原則、全授業の 2/3 以上の出席をすること。

参考書

筋:機能とテスト 姿勢と痛み／ケンダル他:西村書店, 2006 年
3訂版・運動生理学の基礎と発展／春日規克:フリースペース, 2018 年
わたしたちのウェルビーイングをつくりあうために ーその思想、実践、技術／渡邊淳司ほか:BNN, 2020 年
歯周病と全身の健康 https://www.perio.jp/publication/upload_file/guideline_perio_body.pdf／日本歯周病学会 編:医歯薬出版株式会社, 2015
マインドフルネスそして ACT へ 二十一世紀の自分探しプロジェクト／熊野宏昭:星和書店, 2011 年
スポーツ医学研修ハンドブック 基礎科目 第2版／日本体育協会指導者育成専門委員会スポーツドクター部会:文光堂, 2011 年
スポーツ医学研修ハンドブック 応用科目 第2版／日本体育協会指導者育成専門委員会スポーツドクター部会:文光堂, 2012 年

他科目との関連

「フィットネスマネジメント」「S 科目:ソーシャルウェルビーイング・コミュニケーション実践」「人文社会科学概論」と関連する。

履修上の注意事項

講義中にスクリーンの撮影を禁止する。講義資料、ストリーミングなどは著作権の問題があるので、受講登録者以外に公開することを禁ずる。

備考

看護学専攻においては、保健師免許取得後の申請により「養護教諭二種免許状」を取得することが可能である。取得に当たっては、教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目「体育」(2単位)を取得することが必須だが、本科目「フィジカルウェルビーイング」は「体育」(2単位)に相当する。

連絡先（メールアドレス）
柳下　和慶:yagishita.orth@tmd.ac.jp
オフィスアワー
柳下　和慶:前期　毎週火曜日 12:30-13:00 管理研究棟 2 階　研究室
後期　毎週木曜日 12:30-13:00 管理研究棟 2 階　研究室

時間割番号	00300				
科目名	フィットネスマネジメント			科目ID	
担当教員	柳下 和慶, 山口 大輔, 渡邊 洋子, 大見 武弘, 加地 真也, 角山 貴之, 名嘉 友梨, 柳沢 香絵, 井上 ねね, 島野 愛友利, 桑原 真澄[YAGISHITA KAZUYOSHI, YAMAGUCHI Daisuke, WATANABE Youko, OMI TAKEHIRO, KAJI Shinnya, TSUNOYAMA Takayuki, NAKA Yuri, YANAGISAWA Kae, INOUE Nene, SHIMANO Ayuri, KUWAHARA Masumi]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1～	単位数	2
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:[前期]火曜日
・2 講(4/23, 4/30, 5/7, 5/14, 5/21)
・1 講(5/28, 6/4, 6/11, 6/18)
・3 講(7/2, 7/9, 7/16, 7/23, 7/30)
・オンデマンド(6/25)
対象学科:看護学専攻
募集人数:50 人

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):
1-1) 言語を通した人間の創造的営みを理解する
1-4) 異なる空間の文化を理解する
1-7) 人間の心への理解を深める
1-8) 自己の心と体を管理する能力を獲得する
2-4) 自己問題提起・解決型の学習方法を身につける
3-3) チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける

主な講義場所

座学:教養部教室(9 番教室)
実習系:教養部キャンパスグラウンド、体育館のいずれかを使用予定です。
天候などにより室外・室内の変更があります。

授業の目的、概要等

本授業では様々な運動・アクティビティ・スポーツなどを通して各々の個性に合ったコミュニケーションのあり方について学ぶ事を第一の目的とします。

医療の世界では患者の健康の維持・獲得という目標に向かって沢山の専門家と"チーム"として動いていく必要が多く出てきます。そのためにはまず各々が自分自身の個性について理解し、表現できるようになること。その上で仲間の個性を知り、それぞれの長所を活かし、それぞれの短所を補い合えるためのコミュニケーションが大切です。チーム全体の状況を把握しながら時にはチームを引っ張り(リード)、時には指示に従い(フォロー)ながらサポート役となる必要も出てきます。

様々なアクティビティを通じ、様々な状況に適応しながらそれぞれが"自分らしさ"を発揮するためにどうするのが良いか考えれる機会を作っていければと思います。

授業の到達目標

- 自分自身の長所・短所について考え、知る。
- 仲間の長所・短所を知り、個性の活かし方について考える。
- 自分の意見・考えを伝えられる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他

1-2	4/23	10:45-12:25	9 番教室	フィットネスマネジメント オリエンテーション	【屋外】フィットネスマネジメントのオリエンテーション。 屋外での運動・スポーツアクティビティ	柳下 和慶 加地 真也	屋外での運動に参加することにより、自己を知り、コミュニケーション能力を高める
3-4	4/30	10:45-12:25		フィットネスマネジメント	【屋外】運動・スポーツアクティビティ	柳下 和慶 加地 真也	屋外での運動に参加することにより、自己を知り、コミュニケーション能力を高める
5-6	5/7	10:45-12:25	9 番教室	ウェルビーイング概論	ウェルビーイングと健康との関係性の概要を知ること。『フィジカルウェルビーイング』Webclass に資料予定『フィットネスマネジメント』Webclass に資料あり。	柳下 和慶	リアクションペーパー
7-8	5/14	10:45-12:25	計算機実習室	健康生成論・トータルフィットネス	TFAS(Total Fitness Analysis System)の活用を通して健康生成論とトータル・フィットネスを概説する。(水野哲也先生)	柳下 和慶	健康生成論の概要を説明し、TFAS の活用を通して、自身のトータルフィットネスを自己評価できること。 リアクションペーパー、授業中の質疑応答と小テスト
9-10	5/21	10:45-12:25		フィットネスマネジメント	【屋外】運動・スポーツアクティビティ	柳下 和慶 加地 真也	屋外での運動に参加することにより、自己を知り、コミュニケーション能力を高める
11-12	5/28	08:50-10:30		フィットネスマネジメント	【屋外】運動・スポーツアクティビティ	柳下 和慶 加地 真也	屋外での運動に参加することにより、自己を知り、コミュニケーション能力を高める
13-14	6/4	08:50-10:30		フィットネスマネジメント	【屋外】運動・スポーツアクティビティ	柳下 和慶 加地 真也	屋外での運動に参加することにより、自己を知り、コミュニケーション能力を高める
15-16	6/11	08:50-10:30		フィットネスマネジメント	【屋外】運動・スポーツアクティビティ	柳下 和慶 加地 真也	屋外での運動に参加することにより、自己を知り、コミュニケーション能力を高める
17-18	6/18	08:50-10:30		フィットネスマネジメント	【屋外】運動・スポーツアクティビティ	柳下 和慶 加地 真也	屋外での運動に参加することにより、自己を知り、コ

							ミュニケーション能力を高める
19-20	6/25	17:15-18:55		運動と健康	【オンデマンド】 健康に対する運動の重要性について整理する。『フィットネスマネジメント』 Webclass に資料あり	柳下 和慶	運動が健康に重要であることを理解する。 小レポート
21-22	7/2	13:30-15:10		フィットネスマネジメント	【屋外】運動・スポーツアクティビティ	柳下 和慶, 加地 真也	屋外での運動に参加することにより、自己を知り、コミュニケーション能力を高める
23-24	7/9	13:30-15:10	9 番教室	運動と糖尿病・新新患系疾患・透析患者	糖尿病や心血管系疾患の予防や治療、透析患者における運動の効果を知ること。『フィットネスマネジメント』Webclass に資料あり	柳下 和慶, 内藤 省太郎	運動による糖尿病・心血管系疾患の予防と治療の効果を知ること。運動と透析患者の関係性を知ること リアクションペーパー・小テスト
25-26	7/16	13:30-15:10	9 番教室	運動評価法:バイオメカニクス	バイオメカニクスを用いた運動・動作の評価方法を知ること。『フィットネスマネジメント』Webclass に資料あり。	大見 武弘, 柳下 和慶	身近な動作について、バイオメカニクスの考え方を用いて説明できること。 リアクションペーパー
27-28	7/23	13:30-15:10	9 番教室	マインドフルネス	マインドフルネスの概要を知り、ストレスマネジメントやマインドフルネスを得るための自分自身の具体的対処方法を知る。	渡邊 洋子, 柳下 和慶	マインドフルネスの構成の概要を説明できるようになること。自分のマインドフルネスに向かう対処法を知り、実践すること。 授業中の複数回の質疑応答・グループワーク
29-30	7/30	13:30-15:10	9 番教室	栄養と運動	栄養に関する概論(柳沢香絵先生)『フィットネスマネジメント』 Webclass に資料あり。	柳下 和慶	リアクションペーパー

授業方法

実習は基本的に様々な運動指導の専門を持つ 5 名ほどの講師による実習形式で行われます。

授業内容

実習授業の主な目標:

- 自身の身体特性について知る

- 様々なリーダーシップ・フォロワーシップのあり方を知る
- 自身や仲間の特徴を活かしてチームの全体の成長について考える
- 各アクティビティにおけるチーム力の向上のために自己を主張し、且つ他の意見を取り入れ、活かせるバランス感覚を養う

成績評価の方法

評価:出席・参加度 60%、レポート 40%

再評価: 有 (レポート等による)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による

準備学習等についての具体的な指示

単に授業に参加して運動等を実践するだけでなく、今後自身の生活や仕事のあり方に本授業で経験する事をどう繋げていけるかイメージを持ちながら授業に参加する事が大切になります。「勝ち・負け」「上手・下手」などの”他との比較による評価”にとらわれず、自身やクラスメイトが成長少しずつでも良い方向に変わっていけるように「挑戦・トライ」していけるかどうかが鍵となります。
失敗や他と違う事を恐れずに、自分が出来ること、出来そうなことにチャレンジできる空間づくりを参加者全員で目指していきましょう。

試験の受験資格

本授業は座学と実習系科目である。原則全授業の 2/3 以上の出席を評価対象の資格とします。また、最終レポートが授業目的達成度の評価となりますので、レポート提出は単位認定の最低条件です。

他科目との関連

「フィジカルウェルビーイング」「S 科目:ソーシャルウェルビーイング・コミュニケーション実践」「人文社会科学概論」と関連します。

履修上の注意事項

実習では、動きやすい服装を用意する事をお勧めします。 また、天候悪化の際に急遽室内に場所を変更する可能性もあるので室内運動靴は常備しておくのがよいです。

備考

看護学専攻においては、保健師免許取得後の申請により「養護教諭二種免許状」を取得することが可能である。取得に当たっては、教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目「体育」(2単位)を取得することが必須だが、本科目「フィットネスマネジメント」は「体育」(2単位)に相当する。

参照ホームページ

身体診断セルフチェック
(https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/jsa_00040.html#001)

連絡先(メールアドレス)

柳下 和慶:yagishita.orth@tmd.ac.jp

オフィスアワー

柳下 和慶:前期 毎週火曜日 12:30-13:00 管理研究棟 2 階 研究室
後期 毎週木曜日 12:30-13:00 管理研究棟 2 階 研究室

時間割番号	00311				
科目名	ドイツ語 I			**科目 ID**	
担当教員	藤井　俊吾[FUJII Shunngo]				
開講時期	2024 年度前期	**対象年次**	1		
実務経験のある教員による授業					

時間・曜日：木曜3講　教員ごとに2クラスに分かれます。

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：1-1, 1-4, 3-1, 3-4, 3-6

授業の目的、概要等

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象にした授業です。文字や発音の紹介から始め、基礎的なドイツ語の運用能力の修得を目指します。比較的自由な語順や 4 つの格を有するドイツ語を学ぶことは他の言語を学ぶ足掛かりとなるだけではなく、変化を続けるドイツ・ヨーロッパ社会を学ぶ手掛かりになります。

授業の到達目標

①標準ドイツ語を正しく発音し、簡単な文章を音読できるようになります。

②基礎的な文法を理解し、単純な構造の文を作ったり解釈したりできるようになります。

③目安として、ドイツ語技能検定試験5級合格レベルの到達を目標とします。″

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	4/18	13:30-15:10		藤井　俊吾, BAO　MIN
3-4	4/25	13:30-15:10		藤井　俊吾, BAO　MIN
5-6	5/2	13:30-15:10		藤井　俊吾, BAO　MIN
7-8	5/9	13:30-15:10		藤井　俊吾, BAO　MIN
9-10	5/16	13:30-15:10		藤井　俊吾, BAO　MIN
11-12	5/23	13:30-15:10		藤井　俊吾, BAO　MIN
13-14	5/30	13:30-15:10		藤井　俊吾, BAO　MIN
15-16	6/6	13:30-15:10		藤井　俊吾, BAO　MIN
17-18	6/13	13:30-15:10		藤井　俊吾, BAO　MIN
19-20	6/20	13:30-15:10		藤井　俊吾, BAO　MIN
21-22	6/27	13:30-15:10		藤井　俊吾, BAO　MIN
23-24	7/4	13:30-15:10		藤井　俊吾, BAO　MIN
25-26	7/11	13:30-15:10		藤井　俊吾, BAO　MIN
27-28	7/18	13:30-15:10		藤井　俊吾, BAO　MIN
29-30	7/25	13:30-15:10		藤井　俊吾, BAO　MIN

授業方法

講義形式で各課の項目ごとに文法事項を説明→問題演習→解答解説の手順で進めます。

学習内容の整理や各自の理解度のチェックのために授業内でグループワークを行うこともあります。また、日本語や英語など他の言語とのしくみの違い、文化的背景などについて意見交換を行います。学習の際の疑問には随時応えます。

授業内容

第 1 回 オリエンテーション、ドイツ語の文字と発音

第 2 回 動詞の人称変化

第 3 回 haben の sein の人称変化、名詞の性と冠詞

第 4 回 冠詞と名詞の格変化

第 5 回 所有冠詞、否定冠詞
第 6 回 不規則な人称変化
第 7 回 命令・依頼の表現
第 8 回 定冠詞類、人称代名詞の格変化
第 9 回 wer と was の格変化
第 10 回 前置詞①
第 11 回 前置詞②、曜日、月季節の名称
第 12 回 話法の助動詞、分離動詞①
第 13 回 分離動詞②、現在完了①
第 14 回 現在完了②、まとめと復習
第 15 回 期末試験

成績評価の方法

評価 :試験 70% ・ レポート 0% ・ その他(平常点)30%
再評価:有(再試験)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

宿題や予習範囲は授業中に適宜指示します。授業のスムーズな進行のため、宿題は必ず済ませた上で授業に臨んでください。

時間割番号	00313				
科目名	ドイツ語 I			**科目 ID**	
担当教員	栗田　圭子[KURITA Keiko]				
開講時期	2024 年度前期	**対象年次**	1		
実務経験のある教員による授業					

時間・曜日：木曜3講　教員ごとに2クラスに分かれます。

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：1-1, 1-4, 3-1, 3-4, 3-6

授業の目的、概要等

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象にした授業です。文字や発音の紹介から始め、基礎的なドイツ語の運用能力の修得を目指します。比較的自由な語順や 4 つの格を有するドイツ語を学ぶことは他の言語を学ぶ足掛かりとなるだけではなく、変化を続けるドイツ・ヨーロッパ社会を学ぶ手掛かりになります。

授業の到達目標

①標準ドイツ語を正しく発音し、簡単な文章を音読できるようになります。

②基礎的な文法を理解し、単純な構造の文を作ったり解釈したりできるようになります。

③目安として、ドイツ語技能検定試験5級合格レベルの到達を目標とします。″

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	4/18	13:30-15:10		栗田 圭子, BAO MIN
3-4	4/25	13:30-15:10		栗田 圭子, BAO MIN
5-6	5/2	13:30-15:10		栗田 圭子, BAO MIN
7-8	5/9	13:30-15:10		栗田 圭子, BAO MIN
9-10	5/16	13:30-15:10		栗田 圭子, BAO MIN
11-12	5/23	13:30-15:10		栗田 圭子, BAO MIN
13-14	5/30	13:30-15:10		栗田 圭子, BAO MIN
15-16	6/6	13:30-15:10		栗田 圭子, BAO MIN
17-18	6/13	13:30-15:10		栗田 圭子, BAO MIN
19-20	6/20	13:30-15:10		栗田 圭子, BAO MIN
21-22	6/27	13:30-15:10		栗田 圭子, BAO MIN
23-24	7/4	13:30-15:10		栗田 圭子, BAO MIN
25-26	7/11	13:30-15:10		栗田 圭子, BAO MIN
27-28	7/18	13:30-15:10		栗田 圭子, BAO MIN
29-30	7/25	13:30-15:10		栗田 圭子, BAO MIN

授業方法

講義形式で各課の項目ごとに文法事項を説明→問題演習→解答解説の手順で進めます。

学習内容の整理や各自の理解度のチェックのために授業内でグループワークを行うこともあります。また、日本語や英語など他の言語とのしくみの違い、文化的背景などについて意見交換を行います。学習の際の疑問には随時応えます。

授業内容

第 1 回 オリエンテーション、ドイツ語の文字と発音

第 2 回 動詞の人称変化

第 3 回 haben の sein の人称変化、名詞の性と冠詞

第 4 回 冠詞と名詞の格変化

第 5 回 所有冠詞、否定冠詞
第 6 回 不規則な人称変化
第 7 回 命令・依頼の表現
第 8 回 定冠詞類、人称代名詞の格変化
第 9 回 wer と was の格変化
第 10 回 前置詞①
第 11 回 前置詞②、曜日、月季節の名称
第 12 回 話法の助動詞、分離動詞①
第 13 回 分離動詞②、現在完了①
第 14 回 現在完了②、まとめと復習
第 15 回 期末試験

成績評価の方法

評価 :試験 70% ・ レポート 0% ・ その他(平常点)30%
再評価:有(再試験)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

宿題や予習範囲は授業中に適宜指示します。授業のスムーズな進行のため、宿題は必ず済ませた上で授業に臨んでください。

時間割番号	00312				
科目名	ドイツ語 I			**科目 ID**	
担当教員	藤井　俊吾[FUJII Shunngo]				
開講時期	2024 年度前期	**対象年次**	1		
実務経験のある教員による授業					

時間・曜日：木曜4講　教員ごとに2クラスに分かれます。

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：1-1, 1-4, 3-1, 3-4, 3-6

授業の目的、概要等

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象にした授業です。文字や発音の紹介から始め、基礎的なドイツ語の運用能力の修得を目指します。比較的自由な語順や 4 つの格を有するドイツ語を学ぶことは他の言語を学ぶ足掛かりとなるだけではなく、変化を続けるドイツ・ヨーロッパ社会を学ぶ手掛かりになります。

授業の到達目標

①標準ドイツ語を正しく発音し、簡単な文章を音読できるようになります。

②基礎的な文法を理解し、単純な構造の文を作ったり解釈したりできるようになります。

③目安として、ドイツ語技能検定試験5級合格レベルの到達を目標とします。″

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	4/18	15:25-17:05		藤井　俊吾, BAO　MIN
3-4	4/25	15:25-17:05		藤井　俊吾, BAO　MIN
5-6	5/2	15:25-17:05		藤井　俊吾, BAO　MIN
7-8	5/9	15:25-17:05		藤井　俊吾, BAO　MIN
9-10	5/16	15:25-17:05		藤井　俊吾, BAO　MIN
11-12	5/23	15:25-17:05		藤井　俊吾, BAO　MIN
13-14	5/30	15:25-17:05		藤井　俊吾, BAO　MIN
15-16	6/6	15:25-17:05		藤井　俊吾, BAO　MIN
17-18	6/13	15:25-17:05		藤井　俊吾, BAO　MIN
19-20	6/20	15:25-17:05		藤井　俊吾, BAO　MIN
21-22	6/27	15:25-17:05		藤井　俊吾, BAO　MIN
23-24	7/4	15:25-17:05		藤井　俊吾, BAO　MIN
25-26	7/11	15:25-17:05		藤井　俊吾, BAO　MIN
27-28	7/18	15:25-17:05		藤井　俊吾, BAO　MIN
29-30	7/25	15:25-17:05		藤井　俊吾, BAO　MIN

授業方法

講義形式で各課の項目ごとに文法事項を説明→問題演習→解答解説の手順で進めます。

学習内容の整理や各自の理解度のチェックのために授業内でグループワークを行うこともあります。また、日本語や英語など他の言語とのしくみの違い、文化的背景などについて意見交換を行います。学習の際の疑問には随時応えます。

授業内容

第 1 回 オリエンテーション、ドイツ語の文字と発音

第 2 回 動詞の人称変化

第 3 回 haben の sein の人称変化、名詞の性と冠詞

第 4 回 冠詞と名詞の格変化

第 5 回 所有冠詞、否定冠詞
第 6 回 不規則な人称変化
第 7 回 命令・依頼の表現
第 8 回 定冠詞類、人称代名詞の格変化
第 9 回 wer と was の格変化
第 10 回 前置詞①
第 11 回 前置詞②、曜日、月季節の名称
第 12 回 話法の助動詞、分離動詞①
第 13 回 分離動詞②、現在完了①
第 14 回 現在完了②、まとめと復習
第 15 回 期末試験

成績評価の方法

評価 :試験 70% ・ レポート 0% ・ その他(平常点)30%
再評価:有(再試験)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

宿題や予習範囲は授業中に適宜指示します。授業のスムーズな進行のため、宿題は必ず済ませた上で授業に臨んでください。

時間割番号	00314				
科目名	ドイツ語 I			**科目 ID**	
担当教員	栗田　圭子[KURITA Keiko]				
開講時期	2024 年度前期	**対象年次**	1		
実務経験のある教員による授業					

時間・曜日：木曜4講　教員ごとに2クラスに分かれます。

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：1-1, 1-4, 3-1, 3-4, 3-6

授業の目的、概要等

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象にした授業です。文字や発音の紹介から始め、基礎的なドイツ語の運用能力の修得を目指します。比較的自由な語順や 4 つの格を有するドイツ語を学ぶことは他の言語を学ぶ足掛かりとなるだけではなく、変化を続けるドイツ・ヨーロッパ社会を学ぶ手掛かりになります。

授業の到達目標

①標準ドイツ語を正しく発音し、簡単な文章を音読できるようになります。

②基礎的な文法を理解し、単純な構造の文を作ったり解釈したりできるようになります。

③目安として、ドイツ語技能検定試験5級合格レベルの到達を目標とします。″

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	4/18	15:25-17:05		栗田 圭子, BAO MIN
3-4	4/25	15:25-17:05		栗田 圭子, BAO MIN
5-6	5/2	15:25-17:05		栗田 圭子, BAO MIN
7-8	5/9	15:25-17:05		栗田 圭子, BAO MIN
9-10	5/16	15:25-17:05		栗田 圭子, BAO MIN
11-12	5/23	15:25-17:05		栗田 圭子, BAO MIN
13-14	5/30	15:25-17:05		栗田 圭子, BAO MIN
15-16	6/6	15:25-17:05		栗田 圭子, BAO MIN
17-18	6/13	15:25-17:05		栗田 圭子, BAO MIN
19-20	6/20	15:25-17:05		栗田 圭子, BAO MIN
21-22	6/27	15:25-17:05		栗田 圭子, BAO MIN
23-24	7/4	15:25-17:05		栗田 圭子, BAO MIN
25-26	7/11	15:25-17:05		栗田 圭子, BAO MIN
27-28	7/18	15:25-17:05		栗田 圭子, BAO MIN
29-30	7/25	15:25-17:05		栗田 圭子, BAO MIN

授業方法

講義形式で各課の項目ごとに文法事項を説明→問題演習→解答解説の手順で進めます。

学習内容の整理や各自の理解度のチェックのために授業内でグループワークを行うこともあります。また、日本語や英語など他の言語とのしくみの違い、文化的背景などについて意見交換を行います。学習の際の疑問には随時応えます。

授業内容

第 1 回 オリエンテーション、ドイツ語の文字と発音

第 2 回 動詞の人称変化

第 3 回 haben の sein の人称変化、名詞の性と冠詞

第 4 回 冠詞と名詞の格変化

第 5 回 所有冠詞、否定冠詞
第 6 回 不規則な人称変化
第 7 回 命令・依頼の表現
第 8 回 定冠詞類、人称代名詞の格変化
第 9 回 wer と was の格変化
第 10 回 前置詞①
第 11 回 前置詞②、曜日、月季節の名称
第 12 回 話法の助動詞、分離動詞①
第 13 回 分離動詞②、現在完了①
第 14 回 現在完了②、まとめと復習
第 15 回 期末試験

成績評価の方法

評価 :試験 70% ・ レポート 0% ・ その他(平常点)30%
再評価:有(再試験)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

宿題や予習範囲は授業中に適宜指示します。授業のスムーズな進行のため、宿題は必ず済ませた上で授業に臨んでください。

時間割番号	00320				
科目名	ドイツ語Ⅱ			科目ID	
担当教員	藤井　俊吾[FUJII Shunngo]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1～	単位数	2
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:金曜3講

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-1, 1-4, 3-1, 3-4, 3-6

授業の目的、概要等

ドイツ語を初めて学ぶ人を対象にした授業です。

基礎的な語彙と文法を学びながら、自己紹介や買い物といった日常的な生活場面において必要とされるドイツ語の運用能力を身につけます。

ドイツ語圏の地域・文化に関する知識の修得も同時に目指します。

ドイツ語圏の文化的特色や習慣について、日本のそれと比較しながら理解を深めることを期待しています。

授業の到達目標

①基礎的な文法・語彙を用いて、比較的単純な表現や文を理解し、自ら運用できるようになります。

②名前や出身、職業や家族構成等に関しての自己紹介、食習慣や買い物などの身近な話題に関する会話ができるようになります。

③ドイツ語圏の地域・文化に関する知識を深めることで、国際社会で活躍するための異文化間コミュニケーション能力を養います。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	4/12	13:30-15:10		藤井　俊吾, BAO　MIN
3-4	4/19	13:30-15:10		藤井　俊吾, BAO　MIN
5-6	4/26	13:30-15:10		藤井　俊吾, BAO　MIN
7-8	5/10	13:30-15:10		藤井　俊吾, BAO　MIN
9-10	5/17	13:30-15:10		藤井　俊吾, BAO　MIN
11-12	5/24	13:30-15:10		藤井　俊吾, BAO　MIN
13-14	5/31	13:30-15:10		藤井　俊吾, BAO　MIN
15-16	6/7	13:30-15:10		藤井　俊吾, BAO　MIN
17-18	6/14	13:30-15:10		藤井　俊吾, BAO　MIN
19-20	6/21	13:30-15:10		藤井　俊吾, BAO　MIN
21-22	6/28	13:30-15:10		藤井　俊吾, BAO　MIN
23-24	7/5	13:30-15:10		藤井　俊吾, BAO　MIN
25-26	7/12	13:30-15:10		藤井　俊吾, BAO　MIN
27-28	7/19	13:30-15:10		藤井　俊吾, BAO　MIN
29-30	7/26	13:30-15:10		藤井　俊吾, BAO　MIN

授業方法

テーマごとに日常でよく使用される表現を取り上げます。

語彙・文型を導入後、ペア・ワークやグループ・ワークを行って会話練習をしながら、実際の会話場面で役立つコミュニケーション力をつけていきます。

教科書の課ごとに用意された題材に関し、聞き取りや簡単な作文、読解演習も行います。

ドイツ語圏の地域・文化に関する文章や資料に触れ、グループまたはクラス全体で意見交換を行います。

学習の際の疑問には随時応えます。

授業内容

第1回 オリエンテーション、ドイツ語の挨拶

第2回 自己紹介①

第3回 自己紹介②、疑問文と応答詞

第 4 回 他者紹介
第 5 回 持ち物、家族①
第 6 回 持ち物、家族②
第 7 回 食事と注文
第 8 回 中間試験
第 9 回 ドイツとその隣国について
第 10 回 趣味と余暇①
第 11 回 趣味と余暇②
第 12 回 予定と約束①
第 13 回 予定と約束②
第 14 回 まとめと復習
第 15 回 期末試験

成績評価の方法

評価 :試験 70% ・ レポート0% ・ その他(中間試験、平常点)30%
再評価:有(再試験)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

宿題や予習範囲は授業中に適宜指示します。授業のスムーズな進行のため、宿題は必ず済ませた上で授業に臨んでください。

時間割番号	00331				
科目名	フランス語 I			科目 ID	
担当教員					
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1		
実務経験のある教員による授業					

木曜 4 講

授業の目的、概要等

教科書の文章を一緒に発音し、解説する。

東京外国語大学と東京医科歯科大学の合同授業です。

授業の到達目標

フランス語の発音、基本的な文法項目と構文タイプ、基本的な語彙や慣用表現を習得することを目指す。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	4/18	15:25-17:05		竹下 和亮 BAO MIN
3-4	4/25	15:25-17:05		竹下 和亮 BAO MIN
5-6	5/2	15:25-17:05		竹下 和亮 BAO MIN
7-8	5/9	15:25-17:05		竹下 和亮 BAO MIN
9-10	5/16	15:25-17:05		竹下 和亮 BAO MIN
11-12	5/23	15:25-17:05		竹下 和亮 BAO MIN
13-14	5/30	15:25-17:05		竹下 和亮 BAO MIN
15-16	6/6	15:25-17:05		竹下 和亮 BAO MIN
17-18	6/13	15:25-17:05		竹下 和亮 BAO MIN
19-20	6/20	15:25-17:05		竹下 和亮 BAO MIN
21-22	6/27	15:25-17:05		竹下 和亮 BAO MIN
23-24	7/4	15:25-17:05		竹下 和亮 BAO MIN
25-26	7/11	15:25-17:05		竹下 和亮 BAO MIN
27-28	7/18	15:25-17:05		竹下 和亮 BAO MIN
29-30	7/25	15:25-17:05		竹下 和亮 BAO MIN

授業方法

Zoom 利用のオンライン授業

授業内容

第 1 回

ガイダンス フランス語の発音と文字について Introduction Alphabet and pronunciation.

第 2 回

Leçon 1. 男性名詞・女性名詞, 不定冠詞(un, une, des), 定冠詞(le, la, les), 主題文 C'est ～(これ、それ、あれは～です), 提示文 Voilà ～(ほら～です、さあどうぞ) Lesson 1 of the textbook : noun gender, definite and indefinite articles, "c'est" construction.

第 3 回

Leçon 2. 主語人称代名詞, 動詞 être(～です)の現在形, avoir(持つ)動詞の現在形, 前置詞 à, de と定冠詞の縮約形, 形容詞の性と数, 形容詞の位置 Lesson 2 of the textbook : subject pronouns, être, avoir, pepositions à, de, adjectives.

第 4 回

Leçon 3. 第一群規則動詞-er, 疑問形容詞 quel, 存在文 il y a Lesson 3 of the textbook : conjugations of the -er verbs, the interrogative adjective quel, the construction il y a.

第 5 回

ALH1 長文読解 Reading

第 6 回

Leçon 4. 動詞の否定形(ne...pas), 部分冠詞 (du, de l', de la), 否定の de, 前置詞 à と de Lesson 4 of the textbook : negative phrase

(ne...pas), partitive articles (du, de la, des), prepositions à, de.

第 7 回

Leçon 5. aller(行く)の現在形, 疑問文, 命令文, 第二群規則動詞-ir の現在形, -ir 動詞の現在形 Lesson 5 of the textbook : aller, interogative phrases, imperative phrases, the conjugation of the -ir verbs.

第 8 回

Leçon 6. faire の現在形, 天候表現, 感嘆文, 不定代名詞 on Lesson 6 of the textbook : faire, weather expression, exclamative phrases, the indefinite pronoun on.

第 9 回

ALH2 長文読解 Reading

第 10 回

Leçon 7. 指示形容詞 (ce, cet, cette, ces), 所有形容詞, voir, dire, entendre の現在形, 疑問詞 Lesson 7 of the textbook : demonstratives (ce, cet, cette, ces), possessives, voir, dire, entendre.

第 11 回

Leçon 8. 人称代名詞(直接目的語), 人称代名詞(間接目的語), 人称代名詞(直接目的語と間接目的語の語順) 人称代名詞の目的語の位置, aller ＋ 不定法(近接未来形) Lesson 8 of the textbook : object pronouns, dative pronouns, order of pronouns, aller + infinitive.

第 12 回

Leçon 9. pouvoir, vouloir の現在形, 複合過去形, 過去分詞, 複合過去の用法, 人称代名詞強勢形 Lesson 9 of the textbook : pouvoir, vouloir, passé composé tense, past participle, emphatic pronouns.

第 13 回

Leçon 10. croire(思う)と écrire (書く)の現在形, 代名詞 en, 半過去形, 半過去の用法,近接過去形:venir de + 不定法 Lesson 10 of the textbook : croire, écrire, the pronoun en, imparfait tense, venir de + infinitive

第 14 回

Leçon 10. croire(思う)と écrire (書く)の現在形, 代名詞 en, 半過去形, 半過去の用法,近接過去形:venir de + 不定法 Lesson 10 of the textbook : croire, écrire, the pronoun en, imparfait tense, venir de + infinitive

第 15 回

期末テスト

成績評価の方法

期末テスト(100%)

東京医科歯科大学の成績評価運用に基づいて、同大学の受講生に限り、成績評価が不合格の場合には、再試験を一回限り実施する

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

教科書をもう一度読み、全部理解できるかを確認すること。 単語と例文を覚えること。

教科書

Nouvelle grammaire française／C.R.NGF.U.O. [著]:朝日出版社, 2023.1

履修上の注意事項

本授業の受講者は、講義時間中は必ずビデオをオンにして授業に参加すること。 ビデオオフでの受講は認めない。

備考

フランス語初級文法

時間割番号	00332				
科目名	フランス語 I			**科目 ID**	
担当教員					
開講時期	2024 年度前期	**対象年次**	1		
実務経験のある教員による授業					

木曜 4 講

授業の目的、概要等

Zoom 利用のオンライン授業

春学期でフランス語の基本文法の習得を目指す

発音については Moodle の任意課題

授業の到達目標

フランス語の初級文法の基本を習得する

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1–2	4/18	15:25–17:05		BAO MIN
3–4	4/25	15:25–17:05		BAO MIN
5–6	5/2	15:25–17:05		BAO MIN
7–8	5/9	15:25–17:05		BAO MIN
9–10	5/16	15:25–17:05		BAO MIN
11–12	5/23	15:25–17:05		BAO MIN
13–14	5/30	15:25–17:05		BAO MIN
15–16	6/6	15:25–17:05		BAO MIN
17–18	6/13	15:25–17:05		BAO MIN
19–20	6/20	15:25–17:05		BAO MIN
21–22	6/27	15:25–17:05		BAO MIN
23–24	7/4	15:25–17:05		BAO MIN
25–26	7/11	15:25–17:05		BAO MIN
27–28	7/18	15:25–17:05		BAO MIN
29–30	7/25	15:25–17:05		BAO MIN

授業方法

Zoom 利用のオンライン授業

授業内容

第 1 回

ALH1 自己紹介

第 2 回

ALH2 好き・嫌いのやりとり

第 3 回

音と文字(pp.5–7) 発音のまとめ(pp.24–27)

第 4 回

L.1: 名詞、冠詞(1) L.2: 人称代名詞(1)、動詞 être

第 5 回

L.3: 動詞 avoir、否定形 L.4: 冠詞(2), 形容詞

第 6 回

L.5: 第 1 群規則動詞、疑問形 L.6: 指示形容詞、所有形容詞

第 7 回

L.7: 動詞 aller と venir、前置詞 L.8: 近接未来と近接過去、非人称表現
第 8 回
L.9: 第 2 群規則動詞、命令法 L.10: 疑問形容詞、疑問代名詞
第 9 回
L.11: 人称代名詞(2) L.12: 代名動詞
第 10 回
L.13, L.14: 複合過去
第 11 回
L.15: 半過去 L.16: 比較級と最上級
第 12 回
L.17: 単純未来 L.18: 中性代名詞
第 13 回
L.19: 関係代名詞 L.20: 受動態、現在分詞、ジェロンディフ
第 14 回
L.21: 条件法 L.22: 接続法
第 15 回
期末試験

成績評価の方法

出席・参加: 30%
課題: 30%
ALH: 20%
期末試験: 20%
「東京医科歯科大学の成績評価運用に基づいて、同大学の受講生に限り、成績評価が不合格の場合には、再試験を一回限り実施する」

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

予習:教科書を読んでおく
復習:義務・任意課題をやる

教科書

新・フランス語文法の〈基礎〉／太田浩一, 前田保, 渡辺仁 著:駿河台出版社, 2018.3

履修上の注意事項

本授業の受講者は、講義時間中は必ずビデオをオンにして授業に参加すること。ビデオオフでの受講は認めない　毎回出席できないと途中で苦しくなる可能性がある　初級文法を春学期だけで学習するので、たくさんの情報を効率的に扱うこと

備考

フランス語初級文法

時間割番号	00340				
科目名	フランス語Ⅱ			科目ID	
担当教員					
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1～	単位数	2
実務経験のある教員による授業					

金曜 4 講

授業の目的、概要等

初級文法の確認をしつつ、作文を通して会話の練習を行う。

同時並行でフランス語の初級文法を学んでるか、すでに修了していることが前提ですので、外語大の学生は火曜 5 限(対面)、木曜 5 限(オンライン)その他、医科歯科の学生は木曜 4 講(オンライン)その他の初級以上の授業を同時にとってください。

授業の到達目標

東京医科歯科大学との合同で、フランス語の簡単な会話を行う。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	4/12	15:25-17:05		竹下 和亮 BAO MIN
3-4	4/19	15:25-17:05		竹下 和亮 BAO MIN
5-6	4/26	15:25-17:05		竹下 和亮 BAO MIN
7-8	5/10	15:25-17:05		竹下 和亮 BAO MIN
9-10	5/17	15:25-17:05		竹下 和亮 BAO MIN
11-12	5/24	15:25-17:05		竹下 和亮 BAO MIN
13-14	5/31	15:25-17:05		竹下 和亮 BAO MIN
15-16	6/7	15:25-17:05		竹下 和亮 BAO MIN
17-18	6/14	15:25-17:05		竹下 和亮 BAO MIN
19-20	6/21	15:25-17:05		竹下 和亮 BAO MIN
21-22	6/28	15:25-17:05		竹下 和亮 BAO MIN
23-24	7/5	15:25-17:05		竹下 和亮 BAO MIN
25-26	7/12	15:25-17:05		竹下 和亮 BAO MIN
27-28	7/19	15:25-17:05		竹下 和亮 BAO MIN
29-30	7/26	15:25-17:05		竹下 和亮 BAO MIN

授業方法

Zoom 利用のオンライン授業

授業内容

第 1 回:第1回 主語＋動詞 1-subject + verb

第 2 回:第2回 主語＋動詞＋属詞 2-subject + verb + complement

第 3 回:第3回 主語＋動詞＋直接目的語 3-subject + verb + direct object

第 4 回:第4回 主語＋動詞＋間接目的語 4-subject + verb + indirect object

第 5 回:ALH1 自由会話 Free conversation

第 6 回:第5回 主語＋動詞＋直接目的語＋間接目的語 5-subject + verb + direct object + indirect object

第 7 回:第6回 主語＋動詞＋直接目的語＋属詞 6-subject + verb + direct object + complement

第 8 回:第7回 avoir の慣用句、前置詞をとる形容詞 7-Idioms using avoir, adjectives taking prepositions

第 9 回:第8回 動詞＋不定詞、動詞＋de＋不定詞、動詞＋à＋不定詞、動詞＋par＋不定詞 8-verb + infinitive, verb + de + infinitive, verb + à + infinitive, verb + par + infinitive

第 10 回:第9回 現在、未来 9-present, future

第 11 回:第10回 現在、過去 10-present, past

第 12 回:ALH2 自由会話 Free conversation

第 13 回:第11回　疑問形容詞その他 11-interrogative adjective
第 14 回:第12回　代名詞 12-pronoun
第 15 回:期末試験

成績評価の方法

平常点、ALH、期末テストの結果を見て総合的に判断する。
東京医科歯科大学の成績評価運用に基づいて、同大学の受講生に限り、成績評価が不合格の場合には、再試験を一回限り実施する。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

予習・復習をきちんと行い、授業には毎回出席すること。

教科書

フランス語作文の基礎 : premier degre／福井芳男, 柏岡珠子 著:駿河台出版社, 1984.4

履修上の注意事項

本授業の受講者は、講義時間中は必ずビデオをオンにして授業に参加すること。 ビデオオフでの受講は認められません。

備考

フランス語初級会話

時間割番号	00350				
科目名	中国語Ⅰ			**科目ID**	
担当教員	BAO MIN[BAO Min]				
開講時期	2024 年度前期	**対象年次**	1～	**単位数**	2
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:木曜 3 講・4 講

対象学科:全学科

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表 1-1)言語を通した人間の創造的営みを理解する

別表 1-4)異なる空間の文化を理解する

別表 3-1)国際的に活躍するための語学力を養う

別表 3-4)外国文化を理解する

授業の目的、概要等

中国語初習の学生に対して、基本的な構文を中心とした現代中国語の文法知識を学びながら、中国語の基礎作りをすることにあります。前半は発音を中心とする授業を予定しています。発音段階が終われば、文章で中国語の構造に慣れながら、理解の基礎となる文法知識を増やしていきます。

授業の到達目標

1)中国語の発音をマスターする。

2)中国語の基礎的な文法構造を理解したうえ、基本的な文章の意味がわかるようになる。

授業方法

講義と演習による。

毎回授業終了時に、各自が新しく学んだことや疑問に思ったことをリアクションペーパーに書いて提出し、フィードバックする。

授業内容

第 1 回 中国語ガイダンス

第 2 回 声調・軽声・単母音

第 3 回 複母音

第 4 回 子音①、子音②

第 5 回 鼻母音

第 6 回 単語を増やそう

第 7 回 自己紹介①

第 8 回 自己紹介①

第 9 回 自己紹介②

第 10 回 自己紹介②

第 11 回 自己紹介③

第 12 回 自己紹介③

第 13 回 お誘い①

第 14 回 お誘い②

第 15 回 まとめ

成績評価の方法

評価:期末試験 70%・小テスト等 20%・その他(平常点)10%

再評価:有(再評価方法 再試験を実施する)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

新出単語の意味を事前に辞書で調べておくこと。

授業で習った文法項目をしっかり復習し、新出単語とピンインを暗記する。
習熟度を確認するため小テストを頻繁に行う。テスト範囲は多くの場合授業内で事前に指示する。
中国語の発音練習を実践すること。耳と口の訓練は必要なので、繰り返して声を出して会話をする。

試験の受験資格

定期試験・再試験受験資格
　原則として試験を除く授業回数の3分の2以上出席

教科書

中国語でコミュニケーション／沈国威:朝日出版社, 2020

参考書

完全マスター中国語の文法／瀬戸口律子 著,:語研, 2015
中日辞典／北京・商務印書館, 小学館共同編集,商務印書館,小学館,:小学館, 2016
ベーシッククラウン中日・日中辞典 = The Basic Crown Dictionary of Chinese／千葉謙悟, 熊進 監修,三省堂編修所 編,千葉, 謙悟,熊, 進,三省堂,:三省堂, 2019
辞書について初回の授業中、紹介します。

履修上の注意事項

期末考査・再試験の受験資格 : 原則3分の2以上出席

連絡先(メールアドレス)

BAO MIN:minbao.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

BAO MIN:水曜日 12:30～13:00 管理研究棟 3 階 研究室

時間割番号	00351				
科目名	中国語Ⅰ			科目ID	
担当教員	BAO MIN[BAO Min]				
開講時期	2024年度前期	対象年次	1		
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:木曜 3講

対象学科:全学科

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表1-1)言語を通した人間の創造的営みを理解する

別表1-4)異なる空間の文化を理解する

別表3-1)国際的に活躍するための語学力を養う

別表3-4)外国文化を理解する

授業の目的、概要等

中国語初習の学生に対して、基本的な構文を中心とした現代中国語の文法知識を学びながら、中国語の基礎作りをすることにあります。前半は発音を中心とする授業を予定しています。発音段階が終われば、文章で中国語の構造に慣れながら、理解の基礎となる文法知識を増やしていきます。

授業の到達目標

1)中国語の発音をマスターする。

2)中国語の基礎的な文法構造を理解したうえ、基本的な文章の意味がわかるようになる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	4/18	13:30-15:10		第1回 中国語ガイダンス	イントロダクション、発音①	BAO MIN	中国の概要が理解できる。発音練習 リアクションペーパーを用いた質疑応答
3-4	4/25	13:30-15:10		第2回 発音②	声調・軽声・単母音	BAO MIN	声調が理解できる。軽声・単母音が発音できる。発音練習 リアクションペーパーを用いた質疑応答
5-6	5/2	13:30-15:10		第3回 発音③	複母音	BAO MIN	複母音が発音できる。小テスト 発音練習 リアクションペーパーを用いた質疑応答
7-8	5/9	13:30-15:10		第4回 発音④	子音①、子音②	BAO MIN	子音が発音できる。 発音練習 リアクションペーパーを用いた質疑応答発音練習
9-10	5/16	13:30-15:10		第5回 発音⑤	鼻母音	BAO MIN	鼻母音が発音できる。 発音練習 リアクションペー

							パーを用いた質疑応答発音練習
11-12	5/23	13:30-15:10		第 6 回 発音⑥	単語を増やそう	BAO MIN	教室用語が発音できる。 小テスト リアクションペーパーを用いた質疑応答
13-14	5/30	13:30-15:10		第 7 回 自己紹介①	人称代名詞、名前の聞き方・名乗り方	BAO MIN	名前を言ったり尋ねたりできる。リアクションペーパーを用いた質疑応答
15-16	6/6	13:30-15:10		第 8 回 自己紹介①	動詞“是”、副詞“也・都”	BAO MIN	国籍や出身地を言ったり、尋ねたりできる。自己紹介発表① リアクションペーパーを用いた質疑応答
17-18	6/13	13:30-15:10		第 9 回 自己紹介②	動詞述語文、指示代名詞	BAO MIN	所属を言うことができる。 小テスト リアクションペーパーを用いた質疑応答
19-20	6/20	13:30-15:10		第 10 回 自己紹介②	場所代名詞、疑問詞疑問文、連帯修飾語を作る“的”	BAO MIN	専攻を言うことができる。 リアクションペーパーを用いた質疑応答
21-22	6/27	13:30-15:10		第 11 回 自己紹介③	所在を表す動詞“在”、所有と存在を表す動詞“有”、方位詞①	BAO MIN	自分の家族や友達について紹介することができる所属を言うことができる。 小テスト リアクションペーパーを用いた質疑応答
23-24	7/4	13:30-15:10		第 12 回 自己紹介③	名詞述語文、文末助詞の“了”	BAO MIN	年齢を尋ねたり、言うことができるリアクションペーパーを用いた質疑応答
25-26	7/11	13:30-15:10		第 13 回 お誘い①	前置詞“在”、連動文	BAO MIN	友達と待ち合わせをすることができる。 小テストリアクションペーパーを用いた質疑応答
27-28	7/18	13:30-15:10		第 14 回 お誘い②	反復疑問文、年月日・曜日・時刻	BAO MIN	年月日・曜日・時刻の中国語表が

							できる。 リアクションペーパーを用いた質疑応答
29-30	7/25	13:30-15:10		第 15 回 まとめ	期末試験	BAO MIN	これまでの内容を試験範囲とする。

授業方法

講義と演習による。

毎回授業終了時に、各自が新しく学んだことや疑問に思ったことをリアクションペーパーに書いて提出し、フィードバックする。

授業内容

第 1 回 中国語ガイダンス
第 2 回 声調・軽声・単母音
第 3 回 複母音
第 4 回 子音①、子音②
第 5 回 鼻母音
第 6 回 単語を増やそう
第 7 回 自己紹介①
第 8 回 自己紹介①
第 9 回 自己紹介②
第 10 回 自己紹介②
第 11 回 自己紹介③
第 12 回 自己紹介③
第 13 回 お誘い①
第 14 回 お誘い②
第 15 回 まとめ

成績評価の方法

評価:期末試験 70%・小テスト等 20%・その他(平常点)10%

再評価:有(再評価方法 再試験を実施する)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

新出単語の意味を事前に辞書で調べておくこと。

授業で習った文法項目をしっかり復習し、新出単語とピンインを暗記する。

習熟度を確認するため小テストを頻繁に行う。テスト範囲は多くの場合授業内で事前に指示する。

中国語の発音練習を実践すること。耳と口の訓練は必要なので、繰り返して声を出して会話をする。

試験の受験資格

定期試験・再試験受験資格

原則として試験を除く授業回数の3分の2以上出席

教科書

中国語でコミュニケーション／沈国威:朝日出版社, 2020

参考書

完全マスター中国語の文法／瀬戸口律子 著,:語研, 2015

中日辞典／北京・商務印書館, 小学館共同編集,商務印書館,小学館,:小学館, 2016

ベーシッククラウン中日・日中辞典 = The Basic Crown Dictionary of Chinese／千葉謙悟, 熊進 監修,三省堂編修所 編,千葉, 謙悟,熊, 進,三省堂,:三省堂, 2019

辞書について初回の授業中、紹介します。

履修上の注意事項
期末考査・再試験の受験資格：原則3分の2以上出席
連絡先（メールアドレス）
minbao.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー
水曜日　12:30～13:00　管理研究棟 3 階　研究室

時間割番号	00352				
科目名	中国語Ⅰ			科目ID	
担当教員	BAO MIN[BAO Min]				
開講時期	2024年度前期	対象年次	1		
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:木曜 4講

対象学科:全学科

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表1-1)言語を通した人間の創造的営みを理解する

別表1-4)異なる空間の文化を理解する

別表3-1)国際的に活躍するための語学力を養う

別表3-4)外国文化を理解する

授業の目的、概要等

中国語初習の学生に対して、基本的な構文を中心とした現代中国語の文法知識を学びながら、中国語の基礎作りをすることにあります。前半は発音を中心とする授業を予定しています。発音段階が終われば、文章で中国語の構造に慣れながら、理解の基礎となる文法知識を増やしていきます。

授業の到達目標

1)中国語の発音をマスターする。

2)中国語の基礎的な文法構造を理解したうえ、基本的な文章の意味がわかるようになる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	4/18	15:25-17:05	遠隔授業(同期型)	第1回 イントロダクション、発音①	中国語ガイダンス	BAO MIN	中国語ガイダンス 中国の概要が理解できる。中国発音練習 リアクションペーパーを用いた質疑応答
3-4	4/25	15:25-17:05	6番教室	第2回 発音②	声調・軽声・単母音	BAO MIN	声調が理解できる。軽声・単母音が発音できる。発音練習 リアクションペーパーを用いた質疑応答
5-6	5/2	15:25-17:05	6番教室	第3回 発音③	複母音	BAO MIN	複母音が発音できる。小テスト 発音練習 リアクションペーパーを用いた質疑応答
7-8	5/9	15:25-17:05	6番教室	第4回 発音④	子音①、子音②	BAO MIN	子音が発音できる。 発音練習 リアクションペーパーを用いた質疑応答発音練習
9-10	5/16	15:25-17:05	6番教室	第5回 発音⑤	鼻母音	BAO MIN	鼻母音が発音で

							きる。 発音練習 リアクションペーパーを用いた質疑応答発音練習
11-12	5/23	15:25-17:05	6 番教室	第 6 回 発音⑥	単語を増やそう	BAO MIN	教室用語が発音できる。 小テスト リアクションペーパーを用いた質疑応答
13-14	5/30	15:25-17:05	6 番教室	第 7 回 自己紹介①	人称代名詞、名前の聞き方・名乗り方	BAO MIN	名前を言ったり尋ねたりできる。 リアクションペーパーを用いた質疑応答
15-16	6/6	15:25-17:05	6 番教室	第 8 回 自己紹介①	動詞“是”、副詞“也・都”	BAO MIN	国籍や出身地を言ったり、尋ねたりできる。自己紹介発表① リアクションペーパーを用いた質疑応答
17-18	6/13	15:25-17:05	6 番教室	第 9 回 自己紹介②	動詞述語文、指示代名詞	BAO MIN	所属を言うことができる。 小テスト リアクションペーパーを用いた質疑応答
19-20	6/20	15:25-17:05	6 番教室	第 10 回 自己紹介②	場所代名詞、疑問詞疑問文、連帯修飾語を作る“的”	BAO MIN	専攻を言うことができる。 リアクションペーパーを用いた質疑応答
21-22	6/27	15:25-17:05	6 番教室	第 11 回 自己紹介③ 所	所在を表す動詞“在”、所有と存在を表す動詞“有”、方位詞①	BAO MIN	自分の家族や友達について紹介することができる 所属を言うことができる。 小テスト リアクションペーパーを用いた質疑応答
23-24	7/4	15:25-17:05	6 番教室	第 12 回 自己紹介③	名詞述語文、文末助詞の“了”	BAO MIN	年齢を尋ねたり、言うことができるリアクションペーパーを用いた質疑応答
25-26	7/11	15:25-17:05	6 番教室	第 13 回 お誘い①	前置詞“在”、連動文	BAO MIN	友達と待ち合わせをすることができる。 小テスト リアクションペーパーを用いた質疑応答

27-28	7/18	15:25-17:05	6 番教室	第 14 回 お誘い②	反復疑問文、年月日・曜日・時刻	BAO MIN	年月日・曜日・時刻の中国語表ができる。 リアクションペーパーを用いた質疑応答
29-30	7/25	15:25-17:05	6 番教室	第 15 回 まとめ	期末試験	BAO MIN	これまでの内容を試験範囲とする。

授業方法

講義と演習による。

毎回授業終了時に、各自が新しく学んだことや疑問に思ったことをリアクションペーパーに書いて提出し、フィードバックする。

授業内容

第 1 回 中国語ガイダンス
第 2 回 声調・軽声・単母音
第 3 回 複母音
第 4 回 子音①、子音②
第 5 回 鼻母音
第 6 回 単語を増やそう
第 7 回 自己紹介①
第 8 回 自己紹介①
第 9 回 自己紹介②
第 10 回 自己紹介②
第 11 回 自己紹介③
第 12 回 自己紹介③
第 13 回 お誘い①
第 14 回 お誘い②
第 15 回 まとめ

成績評価の方法

評価:期末試験 70%・小テスト等 20%・その他(平常点)10%

再評価:有(再評価方法 再試験を実施する)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

新出単語の意味を事前に辞書で調べておくこと。

授業で習った文法項目をしっかり復習し、新出単語とピンインを暗記する。

習熟度を確認するため小テストを頻繁に行う。テスト範囲は多くの場合授業内で事前に指示する。

中国語の発音練習を実践すること。耳と口の訓練は必要なので、繰り返して声を出して会話をする。

試験の受験資格

定期試験・再試験受験資格

原則として試験を除く授業回数の3分の2以上出席

教科書

中国語でコミュニケーション／沈国威:朝日出版社, 2020

参考書

完全マスター中国語の文法／瀬戸口律子 著,:語研, 2015

中日辞典／北京・商務印書館, 小学館共同編集,商務印書館,小学館,:小学館, 2016

ベーシッククラウン中日・日中辞典 = The Basic Crown Dictionary of Chinese／千葉謙悟, 熊進 監修,三省堂編修所 編,千葉, 謙悟,熊,

進,三省堂,:三省堂, 2019 辞書について初回の授業中、紹介します。
履修上の注意事項 期末考査・再試験の受験資格 : 原則3分の2以上出席
連絡先(メールアドレス) minbao.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 水曜日 12:30～13:00 管理研究棟 3 階 研究室

時間割番号	00353				
科目名	中国語 I			**科目 ID**	
担当教員	YAN JIAQI[YAN Jiaqi]				
開講時期	2024 年度前期	**対象年次**	1		
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:木曜 3 講

対象学科:全学科

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表 1-1)言語を通した人間の創造的営みを理解する

別表 1-4)異なる空間の文化を理解する

別表 3-1)国際的に活躍するための語学力を養う

別表 3-4)外国文化を理解する

主な講義場所

別表の通り

授業の目的、概要等

中国語初習の学生に対して、基本的な構文を中心とした現代中国語の文法知識を学びながら、中国語の基礎作りをすることにあります。前半は発音を中心とする授業を予定しています。発音段階が終われば、文章で中国語の構造に慣れながら、理解の基礎となる文法知識を増やしていきます。

授業の到達目標

1)中国語の発音をマスターする。

2)中国語の基礎的な文法構造を理解したうえ、基本的な文章の意味がわかるようになる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	4/18	13:30-15:10		第 1 回 中国語ガイダンス	イントロダクション、発音①	BAO MIN	中国の概要が理解できる。発音練習 リアクションペーパーを用いた質疑応答
3-4	4/25	13:30-15:10		第 2 回 発音②	声調・軽声・単母音	BAO MIN	声調が理解できる。軽声・単母音が発音できる。発音練習 リアクションペーパーを用いた質疑応答
5-6	5/2	13:30-15:10		第 3 回 発音③	複母音	BAO MIN	複母音が発音できる。小テスト 発音練習 リアクションペーパーを用いた質疑応答
7-8	5/9	13:30-15:10		第 4 回 発音④	子音①、子音②	BAO MIN	子音が発音できる。 発音練習 リアクションペーパーを用いた質疑応答発音練習
9-10	5/16	13:30-15:10		第 5 回 発音⑤	鼻母音	BAO MIN	鼻母音が発音で

							きる。 発音練習 リアクションペーパーを用いた質疑応答発音練習
11-12	5/23	13:30-15:10		第 6 回 発音⑥	単語を増やそう	BAO MIN	教室用語が発音できる。 小テスト リアクションペーパーを用いた質疑応答
13-14	5/30	13:30-15:10		第 7 回 自己紹介①	人称代名詞、名前の聞き方・名乗り方	BAO MIN	名前を言ったり尋ねたりできる。 リアクションペーパーを用いた質疑応答
15-16	6/6	13:30-15:10		第 8 回 自己紹介①	動詞“是”、副詞“也・都”	BAO MIN	国籍や出身地を言ったり、尋ねたりできる。自己紹介発表① リアクションペーパーを用いた質疑応答
17-18	6/13	13:30-15:10		第 9 回 自己紹介②	動詞述語文、指示代名詞	BAO MIN	所属を言うことができる。 小テスト リアクションペーパーを用いた質疑応答
19-20	6/20	13:30-15:10		第 10 回 自己紹介②	場所代名詞、疑問詞疑問文、連帯修飾語を作る“的”	BAO MIN	専攻を言うことができる。 リアクションペーパーを用いた質疑応答
21-22	6/27	13:30-15:10		第 11 回 自己紹介③	所在を表す動詞“在”、所有と存在を表す動詞“有”、方位詞①	BAO MIN	自分の家族や友達について紹介することができる 所属を言うことができる。 小テスト リアクションペーパーを用いた質疑応答
23-24	7/4	13:30-15:10		第 12 回 自己紹介③	名詞述語文、文末助詞の“了”	BAO MIN	年齢を尋ねたり、言うことができる リアクションペーパーを用いた質疑応答
25-26	7/11	13:30-15:10		第 13 回 お誘い①	前置詞“在”、連動文	BAO MIN	友達と待ち合わせをすることができる。 小テスト リアクションペーパーを用いた質疑応答

27-28	7/18	13:30-15:10		第 14 回 お誘い②	反復疑問文、年月日・曜日・時刻	BAO MIN	年月日・曜日・時刻の中国語表ができる。 リアクションペーパーを用いた質疑応答
29-30	7/25	13:30-15:10		第 15 回 まとめ	期末試験	BAO MIN	これまでの内容を試験範囲とする。

授業方法

講義と演習による。

毎回授業終了時に、各自が新しく学んだことや疑問に思ったことをリアクションペーパーに書いて提出し、フィードバックする。

授業内容

第 1 回 中国語ガイダンス
第 2 回 声調・軽声・単母音
第 3 回 複母音
第 4 回 子音①、子音②
第 5 回 鼻母音
第 6 回 単語を増やそう
第 7 回 自己紹介①
第 8 回 自己紹介①
第 9 回 自己紹介②
第 10 回 自己紹介②
第 11 回 自己紹介③
第 12 回 自己紹介③
第 13 回 お誘い①
第 14 回 お誘い②
第 15 回 まとめ

成績評価の方法

評価:期末試験 70%・小テスト等 20%・その他(平常点)10%

再評価:有(再評価方法 再試験を実施する)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

新出単語の意味を事前に辞書で調べておくこと。

授業で習った文法項目をしっかり復習し、新出単語とピンインを暗記する。

習熟度を確認するため小テストを頻繁に行う。テスト範囲は多くの場合授業内で事前に指示する。

中国語の発音練習を実践すること。耳と口の訓練は必要なので、繰り返して声を出して会話をする。

試験の受験資格

定期試験・再試験受験資格

原則として試験を除く授業回数の3分の2以上出席

教科書

中国語でコミュニケーション／沈国威:朝日出版社, 2020

参考書

完全マスター中国語の文法／瀬戸口律子 著,:語研, 2015

中日辞典／北京・商務印書館, 小学館共同編集,商務印書館,小学館,:小学館, 2016

ベーシッククラウン中日・日中辞典 = The Basic Crown Dictionary of Chinese／千葉謙悟, 熊進 監修,三省堂編修所 編,千葉, 謙悟,熊,

進,三省堂,:三省堂, 2019 辞書について初回の授業中、紹介します。
履修上の注意事項 期末考査・再試験の受験資格 : 原則3分の2以上出席

時間割番号	00354				
科目名	中国語 I			科目 ID	
担当教員	YAN JIAQI[YAN Jiaqi]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1		
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:木曜 4 講

対象学科:全学科

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表 1-1)言語を通した人間の創造的営みを理解する

別表 1-4)異なる空間の文化を理解する

別表 3-1)国際的に活躍するための語学力を養う

別表 3-4)外国文化を理解する

主な講義場所

別表の通り

授業の目的、概要等

中国語初習の学生に対して、基本的な構文を中心とした現代中国語の文法知識を学びながら、中国語の基礎作りをすることにあります。前半は発音を中心とする授業を予定しています。発音段階が終われば、文章で中国語の構造に慣れながら、理解の基礎となる文法知識を増やしていきます。

授業の到達目標

1)中国語の発音をマスターする。

2)中国語の基礎的な文法構造を理解したうえ、基本的な文章の意味がわかるようになる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	4/18	15:25-17:05		第 1 回 中国語ガイダンス	イントロダクション、発音①	BAO MIN	中国の概要が理解できる。発音練習 リアクションペーパーを用いた質疑応答
3-4	4/25	15:25-17:05		第 2 回 発音②	声調・軽声・単母音	BAO MIN	声調が理解できる。軽声・単母音が発音できる。発音練習 リアクションペーパーを用いた質疑応答
5-6	5/2	15:25-17:05		第 3 回 発音③	複母音	BAO MIN	複母音が発音できる。小テスト 発音練習 リアクションペーパーを用いた質疑応答
7-8	5/9	15:25-17:05		第 4 回 発音④	子音①、子音②	BAO MIN	子音が発音できる。 発音練習 リアクションペーパーを用いた質疑応答発音練習
9-10	5/16	15:25-17:05		第 5 回 発音⑤	鼻母音	BAO MIN	鼻母音が発音で

							きる。 発音練習 リアクションペーパーを用いた質疑応答発音練習
11-12	5/23	15:25-17:05		第 6 回 発音⑥	単語を増やそう	BAO MIN	教室用語が発音できる。 小テスト リアクションペーパーを用いた質疑応答
13-14	5/30	15:25-17:05		第 7 回 自己紹介①	人称代名詞、名前の聞き方・名乗り方	BAO MIN	名前を言ったり尋ねたりできる。 リアクションペーパーを用いた質疑応答
15-16	6/6	15:25-17:05		第 8 回 自己紹介①	動詞“是”、副詞“也・都”	BAO MIN	国籍や出身地を言ったり、尋ねたりできる。自己紹介発表① リアクションペーパーを用いた質疑応答
17-18	6/13	15:25-17:05		第 9 回 自己紹介②	動詞述語文、指示代名詞	BAO MIN	所属を言うことができる。 小テスト リアクションペーパーを用いた質疑応答
19-20	6/20	15:25-17:05		第 10 回 自己紹介②	場所代名詞、疑問詞疑問文、連帯修飾語を作る“的”	BAO MIN	専攻を言うことができる。 リアクションペーパーを用いた質疑応答
21-22	6/27	15:25-17:05		第 11 回 自己紹介③	所在を表す動詞“在”、所有と存在を表す動詞“有”、方位詞①	BAO MIN	自分の家族や友達について紹介することができる 所属を言うことができる。 小テスト リアクションペーパーを用いた質疑応答
23-24	7/4	15:25-17:05		第 12 回 自己紹介③	名詞述語文、文末助詞の“了”	BAO MIN	年齢を尋ねたり、言うことができる リアクションペーパーを用いた質疑応答
25-26	7/11	15:25-17:05		第 13 回 お誘い①	前置詞“在”、連動文	BAO MIN	友達と待ち合わせをすることができる。 小テスト リアクションペーパーを用いた質疑応答

27-28	7/18	15:25-17:05		第 14 回 お誘い②	反復疑問文、年月日・曜日・時刻	BAO MIN	年月日・曜日・時刻の中国語表ができる。 リアクションペーパーを用いた質疑応答
29-30	7/25	15:25-17:05		第 15 回 まとめ	期末試験	BAO MIN	これまでの内容を試験範囲とする。

授業方法

講義と演習による。

毎回授業終了時に、各自が新しく学んだことや疑問に思ったことをリアクションペーパーに書いて提出し、フィードバックする。

授業内容

第 1 回 中国語ガイダンス
第 2 回 声調・軽声・単母音
第 3 回 複母音
第 4 回 子音①、子音②
第 5 回 鼻母音
第 6 回 単語を増やそう
第 7 回 自己紹介①
第 8 回 自己紹介①
第 9 回 自己紹介②
第 10 回 自己紹介②
第 11 回 自己紹介③
第 12 回 自己紹介③
第 13 回 お誘い①
第 14 回 お誘い②
第 15 回 まとめ

成績評価の方法

評価:期末試験 70%・小テスト等 20%・その他(平常点)10%

再評価:有(再評価方法 再試験を実施する)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

新出単語の意味を事前に辞書で調べておくこと。

授業で習った文法項目をしっかり復習し、新出単語とピンインを暗記する。

習熟度を確認するため小テストを頻繁に行う。テスト範囲は多くの場合授業内で事前に指示する。

中国語の発音練習を実践すること。耳と口の訓練は必要なので、繰り返して声を出して会話をする。

試験の受験資格

定期試験・再試験受験資格

原則として試験を除く授業回数の3分の2以上出席

教科書

中国語でコミュニケーション／沈国威:朝日出版社, 2020

参考書

完全マスター中国語の文法／瀬戸口律子 著,:語研, 2015

中日辞典／北京・商務印書館, 小学館共同編集,商務印書館,小学館,:小学館, 2016

ベーシッククラウン中日・日中辞典 = The Basic Crown Dictionary of Chinese／千葉謙悟, 熊進 監修,三省堂編修所 編,千葉, 謙悟,熊,

進,三省堂,:三省堂, 2019 辞書について初回の授業中、紹介します。
履修上の注意事項 期末考査・再試験の受験資格 : 原則3分の2以上出席

時間割番号	00360				
科目名	中国語Ⅱ			**科目ID**	
担当教員	BAO MIN[BAO Min]				
開講時期	2024 年度前期	**対象年次**	1～	**単位数**	2
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:金曜 4講

対象学科:全学科

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表 1-1)言語を通した人間の創造的営みを理解する

別表 1-4)異なる空間の文化を理解する

別表 3-1)国際的に活躍するための語学力を養う

別表 3-4)外国文化を理解する

授業の目的、概要等

グローバル化の波に押されて日本の医療現場も変わりつつあります。海外からの観光客、日本在住の中国語系の人が急増しています。医療現場において医療スタッフのための中国語教育のニーズが高まっています。本授業では、医療現場における常用表現を 13 の話題に分けて、病院を訪れる中国語系患者と基本的な意思疎通ができるよう、中国語の聞く・話す・読む・書く・訳すというような実践的な表現力と応用力を身につけることを目標としています。

授業では、主に病院案内、問診確認、既往病歴、診断治療、処方、予約通院、急診、入院生活等の実践的場面の会話文によって生きた中国語を身につけます。

授業の到達目標

1)中国語の発音をマスターする。

2)中国語の医療用語の習得と医療スタッフとして運用できる中国語の習得を目指す。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	4/12	15:25-17:05		第1回 発音入門①	発音の表記、声調記号、記号の位置、単母音、子音	BAO MIN	発音の表記、声調記号、記号の位置が理解でき、単母音、子音が発音できる。 リアクションペーパーを用いた質疑応答
3-4	4/19	15:25-17:05		第2回 発音入門②③	複母音、特殊母音、軽声、声調の変化、隔音記号、	BAO MIN	複母音、特殊母音、軽声の発音ができる。声調変化と隔音記号ルールがわかる。小テスト リアクションペーパーを用いた質疑応答
5-6	4/26	15:25-17:05		第3回 自己紹介①	職業に関する常用単語、人称代詞、指示代詞(1)、名詞述語文	BAO MIN	職業に関する常用単語が暗記できる。人称代詞、

							指示代詞、名詞述語文の使い方がわかる。 リアクションペーパーを用いた質疑応答
7-8	5/10	15:25-17:05		第4回 自己紹介②	構造助詞“的”(1)、普通疑問文、会話文、常用表現(日常挨拶)	BAO MIN	到達目標 構造助詞“的”、普通疑問文の使い方がわかる。自己紹介ができる。リアクションペーパーを用いた質疑応答
9-10	5/17	15:25-17:05		第5回 病院案内①	数詞、指示代詞(2)、方位詞、存在文	BAO MIN	数詞が読める。指示代詞(2)、方位詞と存在文が使える。小テスト、リアクションペーパーを用いた質疑応答
11-12	5/24	15:25-17:05		第6回 病院案内②	疑問代詞疑問文(1)、選択疑問文、会話文、常用表現(院内施設)	BAO MIN	疑問代詞“誰”などの使い方がマスターでき、選択疑問文の作り方がわかる。 リアクションペーパーを用いた質疑応答
13-14	5/31	15:25-17:05		第７回 問診確認①	所有文、量詞、正反疑問文	BAO MIN	所有文、量詞と正反疑問文の使い方が説明できる。小テスト、リアクションペー パーを用いた質疑応答
15-16	6/7	15:25-17:05		第8回 問診確認②	疑問代詞疑問文(2)、“多”の用法、会話文、常用表現(受付待合)	BAO MIN	疑問代詞“多少”などの使い方、“多”の使い方が説明できる。リアクションペーパーを用いた質疑応答
17-18	6/14	15:25-17:05		第9回 既往病歴①	動詞述語文、動態助詞“过”、動態助詞“了”	BAO MIN	動詞述語文と動態助詞“过”、“了”の使い方がわかる。 小テスト、リアクションペ

							ーパーを用いた質疑応答
19-20	6/21	15:25-17:05		第10回 既往病歴②	構造助詞"的"(2)、疑問代詞の特殊用法、会話文、常用表現(体の各部)	BAO MIN	構造助詞"的"の、使い方と疑問代詞の特殊用法がわかる。会話文が暗記できる。リアクションペーパーを用いた質疑応答
21-22	6/28	15:25-17:05		第11回 診断治療①	形容詞述語文、副詞の用法	BAO MIN	形容詞述語文と副詞の用法が説明でき、文が作れる。 小テスト、リアクションペーパーを用いた質疑応答
23-24	7/5	15:25-17:05		第12回 診断治療②	構造助詞"的"(3)、構造助詞"地"、主述述語文、会話文、常用表現(病名症状)	BAO MIN	構造助詞"的"と"地"が使える。主述述語文が説明できる。 リアクションペーパーを用いた質疑応答
25-26	7/12	15:25-17:05		第13回 骨折療養①	助動詞、形容詞の重ね型、"呢"の用法	BAO MIN	助動詞、形容詞の重ね型と"呢"の用法が説明できる。小テスト、リアクションペーパーを用いた質疑応答
27-28	7/19	15:25-17:05		第14回 骨折療養②	会話文、常用表現(問診治療)、復習	BAO MIN	会話文が暗記できる。リアクションペーパーを用いた質疑応答
29-30	7/26	15:25-17:05		第15回 まとめ	期末試験	BAO MIN	これまでの内容を範囲とする。全体の理解度チェック

授業方法

講義と演習による。

毎回授業終了時に、各自が新しく学んだことや疑問に思ったことをリアクションペーパーに書いて提出し、フィードバックする。

授業内容

第1回 発音入門①

第2回 発音入門②③

第3回 自己紹介①

第4回 自己紹介②

第5回 病院案内①

第6回 病院案内②

第7回　問診確認①
第8回　問診確認②
第9回　既往病歴①
第10回　既往病歴②
第11回　診断治療①
第12回　診断治療②
第13回　骨折療養①
第14回　骨折療養②
第15回　まとめ

成績評価の方法

評価:期末試験 60%・小テスト等 30%・その他(平常点)10%

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

新出単語の意味を事前に辞書で調べておくこと。
授業で習った文法項目をしっかり復習し、新出単語とピンインを暗記する。
習熟度を確認するため小テストを頻繁に行う。テスト範囲は多くの場合授業内で事前に指示する。
中国語の発音練習を実践すること。耳と口の訓練は必要なので、繰り返して声を出して会話をする。

試験の受験資格

定期試験・再試験受験資格
　原則として試験を除く授業回数の3分の2以上出席

教科書

メディカル基礎中国語／劉建著,劉, 建,:白帝社, 2017

参考書

Why?にこたえるはじめての中国語の文法書／相原茂, 石田知子, 戸沼市子 共著,:同学社, 2016
ベーシッククラウン中日・日中辞典／三省堂編修所編,千葉, 謙悟,熊, 進,三省堂編修所,:三省堂, 2019
中日辞典／北京・商務印書館, 小学館共同編集,商務印書館,小学館,:小学館, 2016
辞書について初回の授業中、紹介します。

他科目との関連

中国語Ⅰを必ず履修すること。

履修上の注意事項

期末考査・再試験の受験資格 : 原則3分の2以上出席

連絡先(メールアドレス)

minbao.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

水曜日　12:30～13:00　管理研究棟3階　研究室

時間割番号	00371				
科目名	スペイン語 I			科目 ID	
担当教員	佐々木　充文[SASAKI Mitsuya]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1		
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:木曜 3 講

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

1-1, 1-4, 3-1, 3,4

授業の目的、概要等

スペイン語を初めて習う人のための入門の授業です。

初等文法の基礎部分を、実践を交えて学びます。

スペイン語は、一見すると英語とよく似ていますが、文法の原理は大きく異なります。

実用的な表現や構文を身につけるとともに、未知の言語に触れる体験を楽しみましょう。

授業の到達目標

1. 言語運用能力…スペイン語の綴り・発音や文法の基礎を習得する。動詞の直説法現在形を中心に、簡単な文を理解し、作ることができるようになる。

2. 一般教養…日本語とも英語とも異なるスペイン語の文法に触れ、言葉に関する知見を深める。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	4/18	13:30-15:10		佐々木 充文, BAO MIN
3-4	4/25	13:30-15:10		佐々木 充文, BAO MIN
5-6	5/2	13:30-15:10		佐々木 充文, BAO MIN
7-8	5/9	13:30-15:10		佐々木 充文, BAO MIN
9-10	5/16	13:30-15:10		佐々木 充文, BAO MIN
11-12	5/23	13:30-15:10		佐々木 充文, BAO MIN
13-14	5/30	13:30-15:10		佐々木 充文, BAO MIN
15-16	6/6	13:30-15:10		佐々木 充文, BAO MIN
17-18	6/13	13:30-15:10		佐々木 充文, BAO MIN
19-20	6/20	13:30-15:10		佐々木 充文, BAO MIN
21-22	6/27	13:30-15:10		佐々木 充文, BAO MIN
23-24	7/4	13:30-15:10		佐々木 充文, BAO MIN
25-26	7/11	13:30-15:10		佐々木 充文, BAO MIN
27-28	7/18	13:30-15:10		佐々木 充文, BAO MIN
29-30	7/25	13:30-15:10		佐々木 充文, BAO MIN

授業方法

・講義形式をとりつつ、授業時間のなるべく多くを、会話文や練習問題を中心とした演習(グループワークを含む)にあてます。

時間の許すかぎり、スペイン語圏の文化に関する解説や映像資料・音楽等の紹介も行います。

・学期中に、会話と作文のワークショップを 1 回ずつ行います。

・授業外では、予習・復習を兼ねた宿題を多めに課します。

授業内容

1. 第 1 課(前半): スペイン語の学び方、アルファベット
2. 第 1 課(後半): アクセント、発音練習、挨拶、10 までの数詞(第 2 課)
3. 第 2 課・第 3 課: 性、数、冠詞、指示詞、y と o
4. 第 4 課: 主格人称代名詞、-ar 動詞現在形、SVO 語順、人物の a、所有詞
5. 第 5 課: -er・-ir 動詞現在形、副詞の位置、否定と疑問
6. 第 6 課: 動詞 ser、30 までの数詞

7. 第 7 課: 動詞 estar・hay、場所の表現
8. 補遺: 会話ワークショップ
9. 第 8 課: 不規則動詞、授業前半のふりかえり
10. 第 9 課・第 10 課: 母音変化動詞とその不規則形
11. 第 11 課: 直接目的格・前置詞格人称代名詞、指示詞、中性定冠詞 lo
12. 第 12 課: 間接目的格代名詞、目的格代名詞の位置と重複、gustar 構文
13. 第 13 課: 再帰構文
14. 付録: 点過去と線過去
15. 補遺: 助動詞的表現、作文ワークショップ

成績評価の方法

評価 : 試験 0% ・ レポート 40% ・ その他(提出課題・授業参加等)60%
再評価: 有(レポート再提出または追加レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

・予習については、授業中に適宜指示します。
・復習に際しては、授業内で解かなかった教科書の練習問題に挑戦したり、教科書の音声を使って聞き取り・発音の練習をしたりしましょう。
宿題・提出課題が復習を兼ねる場合もあります。

教科書

グラマニョール : 文法中心スペイン語総合学習教本／福森, 雅史,福森雅史 [ほか] 著:朝日出版社, 2017.1
『グラマニョール ―文法中心スペイン語総合学習教本―』 福森雅史ほか 編・朝日出版社・2017 年

参考書

プログレッシブスペイン語辞典／鼓, 直, 1930-2019,橘川, 慶二, -1998,秦, 隆昌, 1935-,鼓直, 橘川慶二, 秦隆昌, 丹羽光男, 佐々木孝, 橋本定久 編:小学館, 2016.2
スペイン語のしくみ／岡本信照 著:白水社, 2014.2
・『プログレッシブ スペイン語辞典 第 2 版 カレッジエディション』 鼓直ほか 編・小学館・2016 年

・『スペイン語のしくみ《新版》』 岡本信照 著・白水社・2014 年

備考

キーワード:スペイン語

参照ホームページ

朝日出版社 学生用音声ダウンロードコーナー(教科書の対応音声): https://text.asahipress.com/free/spanish/index.html

時間割番号	00372				
科目名	スペイン語 I			**科目 ID**	
担当教員	佐々木　充文[SASAKI Mitsuya]				
開講時期	2024 年度前期	**対象年次**	1		
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:木曜 4 講

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

1-1, 1-4, 3-1, 3,4

授業の目的、概要等

スペイン語を初めて習う人のための入門の授業です。

初等文法の基礎部分を、実践を交えて学びます。

スペイン語は、一見すると英語とよく似ていますが、文法の原理は大きく異なります。

実用的な表現や構文を身につけるとともに、未知の言語に触れる体験を楽しみましょう。

授業の到達目標

1. 言語運用能力…スペイン語の綴り・発音や文法の基礎を習得する。動詞の直説法現在形を中心に、簡単な文を理解し、作ることができるようになる。

2. 一般教養…日本語とも英語とも異なるスペイン語の文法に触れ、言葉に関する知見を深める。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	4/18	15:25-17:05		佐々木 充文, BAO MIN
3-4	4/25	15:25-17:05		佐々木 充文, BAO MIN
5-6	5/2	15:25-17:05		佐々木 充文, BAO MIN
7-8	5/9	15:25-17:05		佐々木 充文, BAO MIN
9-10	5/16	15:25-17:05		佐々木 充文, BAO MIN
11-12	5/23	15:25-17:05		佐々木 充文, BAO MIN
13-14	5/30	15:25-17:05		佐々木 充文, BAO MIN
15-16	6/6	15:25-17:05		佐々木 充文, BAO MIN
17-18	6/13	15:25-17:05		佐々木 充文, BAO MIN
19-20	6/20	15:25-17:05		佐々木 充文, BAO MIN
21-22	6/27	15:25-17:05		佐々木 充文, BAO MIN
23-24	7/4	15:25-17:05		佐々木 充文, BAO MIN
25-26	7/11	15:25-17:05		佐々木 充文, BAO MIN
27-28	7/18	15:25-17:05		佐々木 充文, BAO MIN
29-30	7/25	15:25-17:05		佐々木 充文, BAO MIN

授業方法

・講義形式をとりつつ、授業時間のなるべく多くを、会話文や練習問題を中心とした演習(グループワークを含む)にあてます。

時間の許すかぎり、スペイン語圏の文化に関する解説や映像資料・音楽等の紹介も行います。

・学期中に、会話と作文のワークショップを 1 回ずつ行います。

・授業外では、予習・復習を兼ねた宿題を多めに課します。

授業内容

1. 第 1 課(前半): スペイン語の学び方、アルファベット
2. 第 1 課(後半): アクセント、発音練習、挨拶、10 までの数詞(第 2 課)
3. 第 2 課・第 3 課: 性、数、冠詞、指示詞、y と o
4. 第 4 課: 主格人称代名詞、-ar 動詞現在形、SVO 語順、人物の a、所有詞
5. 第 5 課: -er・-ir 動詞現在形、副詞の位置、否定と疑問
6. 第 6 課: 動詞 ser、30 までの数詞

7. 第 7 課: 動詞 estar・hay、場所の表現
8. 補遺: 会話ワークショップ
9. 第 8 課: 不規則動詞、授業前半のふりかえり
10. 第 9 課・第 10 課: 母音変化動詞とその不規則形
11. 第 11 課: 直接目的格・前置詞格人称代名詞、指示詞、中性定冠詞 lo
12. 第 12 課: 間接目的格代名詞、目的格代名詞の位置と重複、gustar 構文
13. 第 13 課: 再帰構文
14. 付録: 点過去と線過去
15. 補遺: 助動詞的表現、作文ワークショップ

成績評価の方法

評価 : 試験 0% ・ レポート 40% ・ その他(提出課題・授業参加等)60%
再評価: 有(レポート再提出または追加レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

・予習については、授業中に適宜指示します。
・復習に際しては、授業内で解かなかった教科書の練習問題に挑戦したり、教科書の音声を使って聞き取り・発音の練習をしたりしましょう。
宿題・提出課題が復習を兼ねる場合もあります。

教科書

グラマニョール : 文法中心スペイン語総合学習教本／福森, 雅史,福森雅史 [ほか] 著:朝日出版社, 2017.1
『グラマニョール ―文法中心スペイン語総合学習教本―』 福森雅史ほか 編・朝日出版社・2017 年

参考書

プログレッシブスペイン語辞典／鼓, 直, 1930-2019,橘川, 慶二, -1998,秦, 隆昌, 1935-,鼓直, 橘川慶二, 秦隆昌, 丹羽光男, 佐々木孝, 橋本定久 編:小学館, 2016.2
スペイン語のしくみ／岡本信照 著:白水社, 2014.2
・『プログレッシブ スペイン語辞典 第 2 版 カレッジエディション』 鼓直ほか 編・小学館・2016 年

・『スペイン語のしくみ《新版》』 岡本信照 著・白水社・2014 年

備考

キーワード:スペイン語

参照ホームページ

朝日出版社 学生用音声ダウンロードコーナー(教科書の対応音声): https://text.asahipress.com/free/spanish/index.html

時間割番号	00380				
科目名	スペイン語Ⅱ			**科目ID**	
担当教員	諸隈　夕子[MOROKUMA Yuuko]				
開講時期	2024 年度前期	**対象年次**	1～	**単位数**	2
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:金曜3講

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-1, 1-4, 3-1, 3-4

授業の目的、概要等

会話に重心を置きながら、スペイン語を初歩から学んでいきます。

スペイン語は、日本語に慣れ親しんだ人には発音は習得しやすく、英語を学んだ人にとっては語彙も覚えやすい言語です。

会話練習を通じて、スペイン語圏の社会や文化についても理解を深めましょう。

授業の到達目標

1. スペイン語の基礎的な表現を、会話に重点を置きながら習得する。
2. スペイン語文法の基本構造を理解し、旅行者として重要な文章の読み書きが出来るようになる。
3. スペイン語圏の社会や文化についての基本的な知識を身につける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	4/12	13:30-15:10		諸隈　夕子, BAO　MIN
3-4	4/19	13:30-15:10		諸隈　夕子, BAO　MIN
5-6	4/26	13:30-15:10		諸隈　夕子, BAO　MIN
7-8	5/10	13:30-15:10		諸隈　夕子, BAO　MIN
9-10	5/17	13:30-15:10		諸隈　夕子, BAO　MIN
11-12	5/24	13:30-15:10		諸隈　夕子, BAO　MIN
13-14	5/31	13:30-15:10		諸隈　夕子, BAO　MIN
15-16	6/7	13:30-15:10		諸隈　夕子, BAO　MIN
17-18	6/14	13:30-15:10		諸隈　夕子, BAO　MIN
19-20	6/21	13:30-15:10		諸隈　夕子, BAO　MIN
21-22	6/28	13:30-15:10		諸隈　夕子, BAO　MIN
23-24	7/5	13:30-15:10		諸隈　夕子, BAO　MIN
25-26	7/12	13:30-15:10		諸隈　夕子, BAO　MIN
27-28	7/19	13:30-15:10		諸隈　夕子, BAO　MIN
29-30	7/26	13:30-15:10		諸隈　夕子, BAO　MIN

授業方法

授業の前半は文法事項の説明が中心です。

後半は前半の内容を元に、小規模なグループワークを交えて会話中心に実践練習を行います。

教科書に沿った語学的知識に加えて、スペイン語圏の文化や社会についても適宜追加資料を交えて紹介します。

授業内容

1. 教科書第 1 課:授業の紹介と自己紹介、スペイン語の綴りと発音
2. 教科書第 1 課:あいさつと基本的な会話表現
3. 教科書第 2 課:人称と性
4. 教科書第 2 課:動詞 ser「～である」
5. 教科書第 3 課:冠詞と形容詞
6. 教科書第 3 課:動詞 ser と estar
7. 教科書第 4 課:動詞の活用 (規則動詞現在形)
8. 教科書第 4 課:疑問文の作り方と答え方

9. 教科書第 5 課:数字と指示詞を用いた表現
10. 教科書第 5~6 課:動詞 tener、estar と hay を使った表現
11. 教科書第 6 課:querer「～したい」と ir a「～する予定だ」の表現
12. 教科書第 7 課:動詞 gustar などによる好みを表す表現、人称代名詞の形の変化
13. 教科書第 8 課:不規則動詞の活用①
14. 教科書第 9 課:不規則動詞の活用②
15. 期末スピーキングテスト:グループでミニ会話劇をしてみよう

成績評価の方法

評価 : 試験 60% ・ レポート 0% ・ その他(提出課題) 40%

再評価: 有(再試験)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

授業中の課題や復習を通じての学習が基本です。

予習などその他の学習方法については進度と理解度を鑑みて適宜指示します。

教科書

いいね！スペイン語 コンパクト版 (¡Muy bien! Compacto)・朝日出版社・2022 年

参考書

『プログレッシブ スペイン語辞典 第 2 版 カレッジエディション』 鼓直ほか 編・小学館・2016 年

スペイン語文法の要点 (20 lecciones esenciales de gramática española)・朝日出版社・2014 年

履修上の注意事項

出欠数・遅刻数によって試験の受験資格が無くなることはありませんが、可能な限り全回への出席を推奨します。 病気や怪我をはじめ事情による欠席・遅刻に対しては柔軟に対応しますので、ご一報くださると幸いです。

備考

キーワード:スペイン語、会話、演習

時間割番号	00390				
科目名	日本語 I			科目 ID	
担当教員	住吉　尚子[SUMIYOSHI Naoko]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1～	単位数	2
実務経験のある教員による授業					

前期

曜日・時間:　木曜　3 講

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):3-1,3-2,3-6

授業の目的、概要等

日本語で書かれた様々なジャンル・スタイルの本を読み議論する。

これを通じて、日本の文化や社会について理解を深めるとともに、読解力の向上を目指す。

また、口頭および小論文演習を通じて論理的な表現力の獲得も目指す。

授業の到達目標

大学における 4/6 年間の勉学に必要な読解力、口頭表現能力、文章表現能力を身につける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	4/18	13:30-15:10		住吉　尚子, BAO　MIN
3-4	4/25	13:30-15:10		住吉　尚子, BAO　MIN
5-6	5/2	13:30-15:10		住吉　尚子, BAO　MIN
7-8	5/9	13:30-15:10		住吉　尚子, BAO　MIN
9-10	5/16	13:30-15:10		住吉　尚子, BAO　MIN
11-12	5/23	13:30-15:10		住吉　尚子, BAO　MIN
13-14	5/30	13:30-15:10		住吉　尚子, BAO　MIN
15-16	6/6	13:30-15:10		住吉　尚子, BAO　MIN
17-18	6/13	13:30-15:10		住吉　尚子, BAO　MIN
19-20	6/20	13:30-15:10		住吉　尚子, BAO　MIN
21-22	6/27	13:30-15:10		住吉　尚子, BAO　MIN
23-24	7/4	13:30-15:10		住吉　尚子, BAO　MIN
25-26	7/11	13:30-15:10		住吉　尚子, BAO　MIN
27-28	7/18	13:30-15:10		住吉　尚子, BAO　MIN
29-30	7/25	13:30-15:10		住吉　尚子, BAO　MIN

授業方法

講義、読解、ディスカッション、口頭発表、小論文演習

授業内容

初回の授業で学生の日本語能力を図った上で決める。

成績評価の方法

評価 : 試験　　% ・ レポート　　% ・ その他(授業参加)40%　その他(課題)60%

再評価:　有(再評価方法)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

宿題は必ず提出する。

再提出の指導があった場合は再提出する。
試験の受験資格 期末試験は実施しない。
教科書 特になし
参考書 初回の授業で学生の日本語能力を図った上で提示する。
履修上の注意事項 遅刻3回で1回の欠席とする。出席管理システムより、教員自身がとる出席を優先させる。

時間割番号	00400				
科目名	日本語Ⅱ			科目ID	
担当教員	住吉　尚子[SUMIYOSHI Naoko]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1～	単位数	2
実務経験のある教員による授業					

前期

曜日・時間:　金曜　3 講

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):3-1,3-2,3-6

授業の目的、概要等

現代日本社会や文化に関する映像を見ながら、ディスカッションを行う。

これを通じて、日本・自国を中心に文化や社会について理解を深めるとともに、聴解力の向上を目指す。

また、小論文演習およびプレゼンテーションを通じて論理的な表現力の獲得を目指す。

授業の到達目標

大学における 4/6 年間の勉学に必要な読解力、口頭表現能力、文章表現能力を身につける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	4/12	13:30-15:10		住吉　尚子, BAO　MIN
3-4	4/19	13:30-15:10		住吉　尚子, BAO　MIN
5-6	4/26	13:30-15:10		住吉　尚子, BAO　MIN
7-8	5/10	13:30-15:10		住吉　尚子, BAO　MIN
9-10	5/17	13:30-15:10		住吉　尚子, BAO　MIN
11-12	5/24	13:30-15:10		住吉　尚子, BAO　MIN
13-14	5/31	13:30-15:10		住吉　尚子, BAO　MIN
15-16	6/7	13:30-15:10		住吉　尚子, BAO　MIN
17-18	6/14	13:30-15:10		住吉　尚子, BAO　MIN
19-20	6/21	13:30-15:10		住吉　尚子, BAO　MIN
21-22	6/28	13:30-15:10		住吉　尚子, BAO　MIN
23-24	7/5	13:30-15:10		住吉　尚子, BAO　MIN
25-26	7/12	13:30-15:10		住吉　尚子, BAO　MIN
27-28	7/19	13:30-15:10		住吉　尚子, BAO　MIN
29-30	7/26	13:30-15:10		住吉　尚子, BAO　MIN

授業方法

ビデオ(聴解)、ディスカッション、発表

授業内容

初回の授業で学生の日本語能力を図った上で決める。

成績評価の方法

評価　:　試験　　%　・　レポート　　%　・　その他(授業参加)40%　その他(課題)60%

再評価:　有(再評価方法)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

宿題は必ず提出する。

再提出の指導があった場合は再提出する。

試験の受験資格

期末試験は実施しない。

教科書

特になし

参考書

初回の授業で学生の日本語能力を図った上で提示する。

履修上の注意事項

遅刻3回で1回の欠席とする。出席管理システムより、教員自身がとる出席を優先させる。

時間割番号	00410				
科目名	英語 I			**科目 ID**	
担当教員	畔柳 和代, PATRICK FOSS, 猪熊 恵子, MIYA MARUTSUKA, 野口 大斗, Reed Jesse Ryan [KUROYANAGI KAZUYO, PATRICK FOSS, INOKUMA KEIKO, Miya Marutsuka, NOGUCHI Hiroto, REED Jesse Ryan]				
開講時期	2024 年度通年	**対象年次**	1～	**単位数**	6
実務経験のある教員による授業					

授業の到達目標

1. To be able to engage in extended discussions in English on a range of topics
多様なトピックについて、英語でより長い議論をすることができる

2. To have broader knowledge and perspective (through reading different types of written works)
(さまざまな種類の作品や書き物を読むことで)より広い知識と見解を持つ

3. To be able to express oneself more clearly and logically in writing, utilizing reference tools and other resources effectively
自分の考えを、さまざまな参照手段や方策を効果的に活用しながら、より明確かつ論理的に文章で表現することができる

4. To be able to comprehend and use new vocabulary
新しい語彙を理解して使用することができる

5. To be able to speak in front of others more effectively
他の人の前でより効果的に話すことができる

6. To be able to overcome shyness and worries about stating opinions and communicating in imperfect English
完璧な英語でなくとも、羞恥心に打ち勝ち、自分の意見を英語で伝え議論に参加することができる

成績評価の方法

再評価: 有(再評価方法 「英語 I」としての学年末課題)

・「英語 I」は ABC の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語 I」は前期2クラス(英語 IA,IB)および選択制の後期1クラス(英語 IC)の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。3クラスすべての履修は必須です。なお、再評価の対象となるのは、英語 I の ABC の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、3クラスのうち2クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

参照ホームページ

時間割番号	004101				
科目名	英語ＩA			**科目ID**	
担当教員	Reed Jesse Ryan[REED Jesse Ryan]				
開講時期	2024 年度前期	**対象年次**	1～		
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間:水曜 1 講
・対象:全学科
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):
別表3－4)
別表4－5)

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標

To be able to engage in extended discussions in English on a range of topics
多様なトピックについて、英語でより長い議論をすることができる

To be able to comprehend and use new vocabulary
新しい語彙を理解して使用することができる

To be able to speak in front of others more effectively
他の人の前でより効果的に話すことができる

To be able to overcome shyness and worries about stating opinions and communicating in imperfect English
完璧な英語でなくとも、羞恥心に打ち勝ち、自分の意見を英語で伝え議論に参加することができる

以下の 3 点を満たすことが、B 評価(70 点以上)の必要条件として要求される。

1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。
2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。
3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。

なお、英語分野では学期の折り返し地点で全学生に中間成績を通知している。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	4/17	08:50-10:30		Class 1	Intro to Discussion	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar
3-4	4/24	08:50-10:30		Class 2	Intro to Presentations	Reed Jesse	Active Learning,

						Ryan	Seminar
5-6	5/1	08:50-10:30		Class 3	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar
7-8	5/8	08:50-10:30		Class 4	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar
9-10	5/15	08:50-10:30		Class 5	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar
11-12	5/22	08:50-10:30		Class 6	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar
13-14	5/29	08:50-10:30		Class 7	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar
15-16	6/6	08:50-10:30		Class 8	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar
17-18	6/12	08:50-10:30		Class 9	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar
19-20	6/19	08:50-10:30		Class 10	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar
21-22	6/26	08:50-10:30		Class 11	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar
23-24	7/3	08:50-10:30		Class 12	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar
25-26	7/10	08:50-10:30		Class 13	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar
27-28	7/17	08:50-10:30		Class 14	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar
29-30	7/24	08:50-10:30		Class 15	Discussion Test	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: participation 40% presentation 15% discussion test 25% homework 20%

再評価: 有(再評価方法 「英語 I」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 IA」についての評価方法です。「英語 I」は ABC の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語 I」は前期2クラス(英語 IA,IB)および選択制の後期1クラス(英語 IC)の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。3ク

ラスすべての履修は必須です。なお、再評価の対象となるのは、英語 I の ABC の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、3クラスのうち2クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

連絡先(メールアドレス)

畔柳　和代:kuroyanagi.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

畔柳　和代:水・木　12:30-13:00　管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	004102				
科目名	英語ＩA			**科目ID**	
担当教員	MIYA MARUTSUKA[Miya Marutsuka]				
開講時期	2024 年度前期	**対象年次**	1～		
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間:水曜 1 講

・対象:全学科

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表3－4)

別表4－5)

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標

To be able to engage in extended discussions in English on a range of topics

多様なトピックについて、英語でより長い議論をすることができる

To be able to comprehend and use new vocabulary

新しい語彙を理解して使用することができる

To be able to speak in front of others more effectively

他の人の前でより効果的に話すことができる

To be able to overcome shyness and worries about stating opinions and communicating in imperfect English

完璧な英語でなくとも、羞恥心に打ち勝ち、自分の意見を英語で伝え議論に参加することができる

以下の 3 点を満たすことが、B 評価(70 点以上)の必要条件として要求される。

1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。
2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。
3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。

なお、英語分野では学期の折り返し地点で全学生に中間成績を通知している。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	4/17	08:50-10:30		Orientation	Course Introduction	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
3-4	4/24	08:50-10:30		Topic 1	Discussion 1	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar

5-6	5/1	08:50-10:30		Topic 2	Discussion 2	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
7-8	5/8	08:50-10:30		Topic 3	Discussion 3	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
9-10	5/15	08:50-10:30		Activities	Group Assignment	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
11-12	5/22	08:50-10:30		Activities	Group Assignment	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
13-14	5/29	08:50-10:30		Topic 4	Discussion 4	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
15-16	6/5	08:50-10:30		Topic 5	Discussion 5	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
17-18	6/12	08:50-10:30		Activities	Group Assignment	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
19-20	6/19	08:50-10:30		Activities	Group Assignment	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
21-22	6/26	08:50-10:30		Topic 6	Discussion 6	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
23-24	7/3	08:50-10:30		Activities	Group Assignment	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
25-26	7/10	08:50-10:30		Activities	Group Assignment	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
27-28	7/17	08:50-10:30		Activities	Group Assignment	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
29-30	7/24	08:50-10:30		Topic 7	Discussion 7	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: participation/homework 30% group assignments 20% quizzes 25% discussion test 25%

再評価: 有(再評価方法 「英語 I」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 IA」についての評価方法です。「英語 I」は ABC の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語 I」は前期2クラス(英語 IA,IB)および選択制の後期1クラス(英語 IC)の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。3クラスすべての履修は必須です。なお、再評価の対象となるのは、英語 I の ABC の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。

ただし、3クラスのうち2クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
連絡先（メールアドレス） 畔柳　和代:kuroyanagi.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 畔柳　和代:水・木　12:30-13:00　管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	004104				
科目名	英語ＩA			**科目ID**	
担当教員	Richard Knobbs[RICHARD Knobbs]				
開講時期	2024 年度前期	**対象年次**	1～		
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間:水曜 1 講
・対象:全学科
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):
別表3－4)
別表4－5)

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標

To be able to engage in extended discussions in English on a range of topics
多様なトピックについて、英語でより長い議論をすることができる

To be able to comprehend and use new vocabulary
新しい語彙を理解して使用することができる

To be able to speak in front of others more effectively
他の人の前でより効果的に話すことができる

To be able to overcome shyness and worries about stating opinions and communicating in imperfect English
完璧な英語でなくとも、羞恥心に打ち勝ち、自分の意見を英語で伝え議論に参加することができる

以下の 3 点を満たすことが、B 評価(70 点以上)の必要条件として要求される。

1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。
2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。
3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。

なお、英語分野では学期の折り返し地点で全学生に中間成績を通知している。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	到達目標・学習方法・その他
1-2	4/17	08:50-10:30	10 番教室	Orientation	Course Introduction	Active Learning, Seminar
3-4	4/24	08:50-10:30	10 番教室	Topic 1	Listening and Speaking Activities	Active Learning, Seminar
5-6	5/1	08:50-10:30	10 番教室	Topic 2	Listening and Speaking Activities	Active Learning, Seminar

7-8	5/8	08:50-10:30	10 番教室	Topic 3	Listening and Speaking Activities	Active Learning, Seminar
9-10	5/15	08:50-10:30	10 番教室	Topic 4	Listening and Speaking Activities	Active Learning, Seminar
11-12	5/22	08:50-10:30	10 番教室	Topic 5	Listening and Speaking Activities	Active Learning, Seminar
13-14	5/29	08:50-10:30	10 番教室	Topic 6	Listening and Speaking Activities	Active Learning, Seminar
15-16	6/5	08:50-10:30	10 番教室	Topic 7	Listening and Speaking Activities	Active Learning, Seminar
17-18	6/12	08:50-10:30	10 番教室	Topic 8	Listening and Speaking Activities	Active Learning, Seminar
19-20	6/19	08:50-10:30	10 番教室	Topic 9	Listening and Speaking Activities	Active Learning, Seminar
21-22	6/26	08:50-10:30	10 番教室	Topic 10	Listening and Speaking Activities	Active Learning, Seminar
23-24	7/3	08:50-10:30	10 番教室	Topic 11	Listening and Speaking Activities	Active Learning, Seminar
25-26	7/10	08:50-10:30	10 番教室	Topic 12	Listening and Speaking Activities	Active Learning, Seminar
27-28	7/17	08:50-10:30	10 番教室	Topic 13	Listening and Speaking Activities	Active Learning, Seminar
29-30	7/24	08:50-10:30	10 番教室	Wrap-up	Discussion Test	Active Learning, Seminar

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: Quizzes/assignments: 25%

Final discussion test: 25%

Participation: 50%

再評価: 有(再評価方法 「英語 I」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 IA」についての評価方法です。「英語 I」は ABC の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語 I」は前期2クラス(英語 IA,IB)および選択制の後期1クラス(英語 IC)の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。3クラスすべての履修は必須です。なお、再評価の対象となるのは、英語 I の ABC の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。

ただし、3クラスのうち2クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
連絡先（メールアドレス） 畔柳　和代:kuroyanagi.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 畔柳　和代:水・木　12:30−13:00　管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	004105				
科目名	英語ＩA			**科目ID**	
担当教員	Reed Jesse Ryan[REED Jesse Ryan]				
開講時期	2024 年度前期	**対象年次**	1～		
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間:水曜 2 講
・対象:全学科
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):
別表3－4)
別表4－5)

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標

To be able to engage in extended discussions in English on a range of topics
多様なトピックについて、英語でより長い議論をすることができる

To be able to comprehend and use new vocabulary
新しい語彙を理解して使用することができる

To be able to speak in front of others more effectively
他の人の前でより効果的に話すことができる

To be able to overcome shyness and worries about stating opinions and communicating in imperfect English
完璧な英語でなくとも、羞恥心に打ち勝ち、自分の意見を英語で伝え議論に参加することができる

以下の 3 点を満たすことが、B 評価(70 点以上)の必要条件として要求される。

1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。
2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。
3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。

なお、英語分野では学期の折り返し地点で全学生に中間成績を通知している。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	4/18	10:45-12:25		Class 1	Intro to Discussion	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar
3-4	4/25	10:45-12:25		Class 2	Intro to Presentations	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar

5-6	5/2	10:45-12:25		Class 3	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar
7-8	5/9	10:45-12:25		Class 4	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar
9-10	5/16	10:45-12:25		Class 5	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar
11-12	5/23	10:45-12:25		Class 6	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar
13-14	5/30	10:45-12:25		Class 7	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar
15-16	6/6	10:45-12:25		Class 8	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar
17-18	6/13	10:45-12:25		Class 9	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar
19-20	6/20	10:45-12:25		Class 10	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar
21-22	6/27	10:45-12:25		Class 11	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar
23-24	7/4	10:45-12:25		Class 12	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar
25-26	7/11	10:45-12:25		Class 13	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar
27-28	7/18	10:45-12:25		Class 14	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar
29-30	7/25	10:45-12:25		Class 15	Discussion Test	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: participation 40% presentation 15% discussion test 25% homework 20%

再評価: 有(再評価方法 「英語 I」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 IA」についての評価方法です。「英語 I」は ABC の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語 I」は前期2クラス(英語 IA,IB)および選択制の後期1クラス(英語 IC)の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。3クラスすべての履修は必須です。なお、再評価の対象となるのは、英語 I の ABC の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。

ただし、3クラスのうち2クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
連絡先（メールアドレス） 畔柳　和代:kuroyanagi.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 畔柳　和代:水・木　12:30−13:00　管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	004106				
科目名	英語ＩA			**科目ID**	
担当教員	MIYA MARUTSUKA[Miya Marutsuka]				
開講時期	2024 年度前期	**対象年次**	1～		
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間:水曜 2 講
・対象:全学科
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):
別表3－4)
別表4－5)

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標

To be able to engage in extended discussions in English on a range of topics
多様なトピックについて、英語でより長い議論をすることができる

To be able to comprehend and use new vocabulary
新しい語彙を理解して使用することができる

To be able to speak in front of others more effectively
他の人の前でより効果的に話すことができる

To be able to overcome shyness and worries about stating opinions and communicating in imperfect English
完璧な英語でなくとも、羞恥心に打ち勝ち、自分の意見を英語で伝え議論に参加することができる

以下の 3 点を満たすことが、B 評価(70 点以上)の必要条件として要求される。

1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。
2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。
3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。

なお、英語分野では学期の折り返し地点で全学生に中間成績を通知している。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	4/17	10:45-12:25		Orientation	Course Introduction	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
3-4	4/24	10:45-12:25		Topic 1	Discussion 1	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar

5-6	5/1	10:45-12:25		Topic 2	Discussion 2	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
7-8	5/8	10:45-12:25		Topic 3	Discussion 3	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
9-10	5/15	10:45-12:25		Activities	Group Assignment	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
11-12	5/22	10:45-12:25		Activities	Group Assignment	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
13-14	5/29	10:45-12:25		Topic 4	Discussion 4	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
15-16	6/5	10:45-12:25		Topic 5	Discussion 5	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
17-18	6/12	10:45-12:25		Activities	Group Assignment	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
19-20	6/19	10:45-12:25		Activities	Group Assignment	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
21-22	6/26	10:45-12:25		Topic 6	Discussion 6	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
23-24	7/3	10:45-12:25		Activities	Group Assignment	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
25-26	7/10	10:45-12:25		Activities	Group Assignment	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
27-28	7/17	10:45-12:25		Activities	Group Assignment	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
29-30	7/24	10:45-12:25		Topic 7	Discussion 7	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: participation/homework 30% group assignments 20% quizzes 25% discussion test 25%

再評価: 有(再評価方法 「英語 I」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 IA」についての評価方法です。「英語 I」は ABC の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語 I」は前期2クラス(英語 IA,IB)および選択制の後期1クラス(英語 IC)の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。3クラスすべての履修は必須です。なお、再評価の対象となるのは、英語 I の ABC の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。

ただし、3クラスのうち2クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

連絡先(メールアドレス)

畔柳　和代:kuroyanagi.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

畔柳　和代:水・木　12:30-13:00　管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	004108				
科目名	英語ＩA			**科目ID**	
担当教員	Richard Knobbs[RICHARD Knobbs]				
開講時期	2024 年度前期	**対象年次**	1～		
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間:水曜 2 講
・対象:全学科
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):
別表3－4)
別表4－5)

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標

To be able to engage in extended discussions in English on a range of topics
多様なトピックについて、英語でより長い議論をすることができる

To be able to comprehend and use new vocabulary
新しい語彙を理解して使用することができる

To be able to speak in front of others more effectively
他の人の前でより効果的に話すことができる

To be able to overcome shyness and worries about stating opinions and communicating in imperfect English
完璧な英語でなくとも、羞恥心に打ち勝ち、自分の意見を英語で伝え議論に参加することができる

以下の 3 点を満たすことが、B 評価(70 点以上)の必要条件として要求される。

1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。
2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。
3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。

なお、英語分野では学期の折り返し地点で全学生に中間成績を通知している。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	到達目標・学習方法・その他
1–2	4/17	10:45–12:25	10 番教室	Orientation	Course Introduction	Active Learning, Seminar
3–4	4/24	10:45–12:25	10 番教室	Topic 1	Listening and Speaking Activities	Active Learning, Seminar
5–6	5/1	10:45–12:25	10 番教室	Topic 2	Listening and Speaking Activities	Active Learning, Seminar
7–8	5/8	10:45–12:25	10 番教室	Topic 3	Listening and Speaking Activities	Active Learning, Seminar
9–10	5/15	10:45–12:25	10 番教室	Topic 4	Listening and Speaking Activities	Active Learning, Seminar
11–12	5/22	10:45–12:25	10 番教室	Topic 5	Listening and Speaking Activities	Active Learning, Seminar

13-14	5/29	10:45-12:25	10 番教室	Topic 6	Listening and Speaking Activities	Active Learning, Seminar
15-16	6/5	10:45-12:25	10 番教室	Topic 7	Listening and Speaking Activities	Active Learning, Seminar
17-18	6/12	10:45-12:25	10 番教室	Topic 8	Listening and Speaking Activities	Active Learning, Seminar
19-20	6/19	10:45-12:25	10 番教室	Topic 9	Listening and Speaking Activities	Active Learning, Seminar
21-22	6/26	10:45-12:25	10 番教室	Topic 10	Listening and Speaking Activities	Active Learning, Seminar
23-24	7/3	10:45-12:25	10 番教室	Topic 11	Listening and Speaking Activities	Active Learning, Seminar
25-26	7/10	10:45-12:25	10 番教室	Topic 12	Listening and Speaking Activities	Active Learning, Seminar
27-28	7/17	10:45-12:25	10 番教室	Topic 13	Listening and Speaking Activities	Active Learning, Seminar
29-30	7/24	10:45-12:25	10 番教室	Wrap-up	Discussion Test	Active Learning, Seminar

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: Quizzes/assignments: 25%

Final discussion test: 25%

Participation: 50%

再評価: 有(再評価方法 「英語 I」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 IA」についての評価方法です。「英語 I」は ABC の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語 I」は前期2クラス(英語 IA,IB)および選択制の後期1クラス(英語 IC)の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。3クラスすべての履修は必須です。なお、再評価の対象となるのは、英語 I の ABC の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、3クラスのうち2クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

連絡先(メールアドレス)

畔柳 和代:kuroyanagi.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

畔柳 和代:水・木 12:30-13:00 管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	004110				
科目名	英語ＩA			**科目ID**	
担当教員	MIYA MARUTSUKA[Miya Marutsuka]				
開講時期	2024 年度前期	**対象年次**	1～		
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間:木曜 1 講
・対象:全学科
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):
別表3－4)
別表4－5)

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標

To be able to engage in extended discussions in English on a range of topics
多様なトピックについて、英語でより長い議論をすることができる

To be able to comprehend and use new vocabulary
新しい語彙を理解して使用することができる

To be able to speak in front of others more effectively
他の人の前でより効果的に話すことができる

To be able to overcome shyness and worries about stating opinions and communicating in imperfect English
完璧な英語でなくとも、羞恥心に打ち勝ち、自分の意見を英語で伝え議論に参加することができる

以下の 3 点を満たすことが、B 評価(70 点以上)の必要条件として要求される。

1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。
2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。
3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。

なお、英語分野では学期の折り返し地点で全学生に中間成績を通知している。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	4/18	08:50-10:30		Orientation	Course Introduction	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
3-4	4/25	08:50-10:30		Topic 1	Discussion 1	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
5-6	5/2	08:50-10:30		Topic 2	Discussion 2	MIYA MARU	Active Learning,

						TSUKA	Seminar
7-8	5/9	08:50-10:30		Topic 3	Discussion 3	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
9-10	5/16	08:50-10:30		Activities	Group Assignment	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
11-12	5/23	08:50-10:30		Activities	Group Assignment	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
13-14	5/30	08:50-10:30		Topic 4	Discussion 4	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
15-16	6/6	08:50-10:30		Topic 5	Discussion 5	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
17-18	6/13	08:50-10:30		Activities	Group Assignment	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
19-20	6/20	08:50-10:30		Activities	Group Assignment	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
21-22	6/27	08:50-10:30		Topic 6	Discussion 6	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
23-24	7/4	08:50-10:30		Activities	Group Assignment	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
25-26	7/11	08:50-10:30		Activities	Group Assignment	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
27-28	7/18	08:50-10:30		Activities	Group Assignment	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
29-30	7/25	08:50-10:30		Topic 7	Discussion 7	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: participation/homework 30% group assignments 20% quizzes 25% discussion test 25%

再評価: 有(再評価方法 「英語 I」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 IA」についての評価方法です。「英語 I」は ABC の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語 I」は前期2クラス(英語 IA,IB)および選択制の後期1クラス(英語 IC)の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。3クラスすべての履修は必須です。なお、再評価の対象となるのは、英語 I の ABC の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、3クラスのうち2クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
連絡先（メールアドレス） 畔柳　和代:kuroyanagi.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 畔柳　和代:水・木　12:30−13:00　管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	004111				
科目名	英語ＩA			**科目ID**	
担当教員	PATRICK　FOSS[PATRICK FOSS]				
開講時期	2024 年度前期	**対象年次**	1～		
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間:木曜 1 講
・対象:全学科
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):
　別表3－4)
　別表4－5)

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標

To be able to engage in extended discussions in English on a range of topics
多様なトピックについて、英語でより長い議論をすることができる

To be able to comprehend and use new vocabulary
新しい語彙を理解して使用することができる

To be able to speak in front of others more effectively
他の人の前でより効果的に話すことができる

To be able to overcome shyness and worries about stating opinions and communicating in imperfect English
完璧な英語でなくとも、羞恥心に打ち勝ち、自分の意見を英語で伝え議論に参加することができる

以下の 3 点を満たすことが、B 評価(70 点以上)の必要条件として要求される。

1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。
2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。
3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。

なお、英語分野では学期の折り返し地点で全学生に中間成績を通知している。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	4/18	08:50-10:30	計算機実	Orientation	Greetings and Starters /	PATRICK　F	Active Learning /

			習室		Introduction to Book Project	OSS	Seminar
3-4	4/25	08:50-10:30	計算機実習室	Discussion 1	Listening and Speaking Activities	PATRICK F OSS	Active Learning / Seminar
5-6	5/2	08:50-10:30	計算機実習室	Discussion 2	Listening and Speaking Activities	PATRICK F OSS	Active Learning / Seminar
7-8	5/9	08:50-10:30	計算機実習室	Discussion 3	Listening and Speaking Activities	PATRICK F OSS	Active Learning / Seminar
9-10	5/16	08:50-10:30	計算機実習室	Discussion 4	Listening and Speaking Activities	PATRICK F OSS	Active Learning / Seminar
11-12	5/23	08:50-10:30	計算機実習室	Discussion 5	Listening and Speaking Activities	PATRICK F OSS	Active Learning / Seminar
13-14	5/30	08:50-10:30	計算機実習室	Discussion 6	Listening and Speaking Activities	PATRICK F OSS	Active Learning / Seminar
15-16	6/6	08:50-10:30	計算機実習室	Discussion 7	Listening and Speaking Activities	PATRICK F OSS	Active Learning / Seminar
17-18	6/13	08:50-10:30	計算機実習室	Discussion 8	Listening and Speaking Activities	PATRICK F OSS	Active Learning / Seminar
19-20	6/20	08:50-10:30	計算機実習室	Discussion 9	Listening and Speaking Activities	PATRICK F OSS	Active Learning / Seminar
21-22	6/27	08:50-10:30	計算機実習室	Discussion 10	Listening and Speaking Activities	PATRICK F OSS	Active Learning / Seminar
23-24	7/4	08:50-10:30	計算機実習室	Discussion 11	Listening and Speaking Activities	PATRICK F OSS	Active Learning / Seminar
25-26	7/11	08:50-10:30	計算機実習室	Book Project Discussion	Listening and Speaking Activities	PATRICK F OSS	Active Learning / Seminar
27-28	7/18	08:50-10:30	計算機実習室	Speaking Test Practice	Listening and Speaking Activities	PATRICK F OSS	Active Learning / Seminar
29-30	7/25	08:50-10:30	計算機実習室	Speaking Test	Listening and Speaking Activities	PATRICK F OSS	Active Learning / Seminar

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: book quiz/report 10%　vocabulary/discussion quizzes 10%　speaking test 30%　participation 50%

再評価: 有(再評価方法 「英語 I」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 IA」についての評価方法です。「英語 I」は ABC の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語 I」は前期2クラス（英語 IA,IB）および選択制の後期1クラス（英語 IC）の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。3クラスすべての履修は必須です。なお、再評価の対象となるのは、英語 I の ABC の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、3クラスのうち2クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

時間割番号	004113				
科目名	英語ＩA			**科目ID**	
担当教員	MIYA MARUTSUKA[Miya Marutsuka]				
開講時期	2024 年度前期	**対象年次**	1～		
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間:木曜 2 講
・対象:全学科
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):
別表3－4)
別表4－5)

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標

To be able to engage in extended discussions in English on a range of topics
多様なトピックについて、英語でより長い議論をすることができる

To be able to comprehend and use new vocabulary
新しい語彙を理解して使用することができる

To be able to speak in front of others more effectively
他の人の前でより効果的に話すことができる

To be able to overcome shyness and worries about stating opinions and communicating in imperfect English
完璧な英語でなくとも、羞恥心に打ち勝ち、自分の意見を英語で伝え議論に参加することができる

以下の 3 点を満たすことが、B 評価(70 点以上)の必要条件として要求される。

1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。
2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。
3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。

なお、英語分野では学期の折り返し地点で全学生に中間成績を通知している。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	4/18	10:45-12:25		Orientation	Course Introduction	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
3-4	4/25	10:45-12:25		Topic 1	Discussion 1	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
5-6	5/2	10:45-12:25		Topic 2	Discussion 2	MIYA MARU	Active Learning,

						TSUKA	Seminar
7-8	5/9	10:45-12:25		Topic 3	Discussion 3	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
9-10	5/16	10:45-12:25		Activities	Group Assignment	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
11-12	5/23	10:45-12:25		Activities	Group Assignment	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
13-14	5/30	10:45-12:25		Topic 4	Discussion 4	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
15-16	6/6	10:45-12:25		Topic 5	Discussion 5	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
17-18	6/13	10:45-12:25		Activities	Group Assignment	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
19-20	6/20	10:45-12:25		Activities	Group Assignment	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
21-22	6/27	10:45-12:25		Topic 6	Discussion 6	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
23-24	7/4	10:45-12:25		Activities	Group Assignment	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
25-26	7/11	10:45-12:25		Activities	Group Assignment	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
27-28	7/18	10:45-12:25		Activities	Group Assignment	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
29-30	7/25	10:45-12:25		Topic 7	Discussion 7	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: participation/homework 30% group assignments 20% quizzes 25% discussion test 25%

再評価: 有(再評価方法 「英語 I」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 IA」についての評価方法です。「英語 I」は ABC の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語 I」は前期2クラス(英語 IA,IB)および選択制の後期1クラス(英語 IC)の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。3クラスすべての履修は必須です。なお、再評価の対象となるのは、英語 I の ABC の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、3クラスのうち2クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項
出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
連絡先（メールアドレス）
畔柳　和代:kuroyanagi.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー
畔柳　和代:水・木　12:30−13:00　管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	004114				
科目名	英語ＩA			**科目ID**	
担当教員	PATRICK　FOSS[PATRICK FOSS]				
開講時期	2024 年度前期	**対象年次**	1～		
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間:木曜 2 講
・対象:全学科
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):
　別表3－4)
　別表4－5)

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標

To be able to engage in extended discussions in English on a range of topics
多様なトピックについて、英語でより長い議論をすることができる

To be able to comprehend and use new vocabulary
新しい語彙を理解して使用することができる

To be able to speak in front of others more effectively
他の人の前でより効果的に話すことができる

To be able to overcome shyness and worries about stating opinions and communicating in imperfect English
完璧な英語でなくとも、羞恥心に打ち勝ち、自分の意見を英語で伝え議論に参加することができる

以下の 3 点を満たすことが、B 評価(70 点以上)の必要条件として要求される。

1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。
2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。
3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。

なお、英語分野では学期の折り返し地点で全学生に中間成績を通知している。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	4/18	10:45-12:25	計算機実	Orientation	Greetings and Starters /	PATRICK　F	Active Learning /

			習室		Introduction to Book Project	OSS	Seminar
3-4	4/25	10:45-12:25	計算機実習室	Discussion 1	Listening and Speaking Activities	PATRICK F OSS	Active Learning / Seminar
5-6	5/2	10:45-12:25	計算機実習室	Discussion 2	Listening and Speaking Activities	PATRICK F OSS	Active Learning / Seminar
7-8	5/9	10:45-12:25	計算機実習室	Discussion 3	Listening and Speaking Activities	PATRICK F OSS	Active Learning / Seminar
9-10	5/16	10:45-12:25	計算機実習室	Discussion 4	Listening and Speaking Activities	PATRICK F OSS	Active Learning / Seminar
11-12	5/23	10:45-12:25	計算機実習室	Discussion 5	Listening and Speaking Activities	PATRICK F OSS	Active Learning / Seminar
13-14	5/30	10:45-12:25	計算機実習室	Discussion 6	Listening and Speaking Activities	PATRICK F OSS	Active Learning / Seminar
15-16	6/6	10:45-12:25	計算機実習室	Discussion 7	Listening and Speaking Activities	PATRICK F OSS	Active Learning / Seminar
17-18	6/13	10:45-12:25	計算機実習室	Discussion 8	Listening and Speaking Activities	PATRICK F OSS	Active Learning / Seminar
19-20	6/20	10:45-12:25	計算機実習室	Discussion 9	Listening and Speaking Activities	PATRICK F OSS	Active Learning / Seminar
21-22	6/27	10:45-12:25	計算機実習室	Discussion 10	Listening and Speaking Activities	PATRICK F OSS	Active Learning / Seminar
23-24	7/4	10:45-12:25	計算機実習室	Discussion 11	Listening and Speaking Activities	PATRICK F OSS	Active Learning / Seminar
25-26	7/11	10:45-12:25	計算機実習室	Book Project Discussion	Listening and Speaking Activities	PATRICK F OSS	Active Learning / Seminar
27-28	7/18	10:45-12:25	計算機実習室	Speaking Test Practice	Listening and Speaking Activities	PATRICK F OSS	Active Learning / Seminar
29-30	7/25	10:45-12:25	計算機実習室	Speaking Test	Listening and Speaking Activities	PATRICK F OSS	Active Learning / Seminar

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: book quiz/report 10%　vocabulary/discussion quizzes 10%　speaking test 30%　participation 50%

再評価: 有(再評価方法 「英語 I」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 IA」についての評価方法です。「英語 I」は ABC の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語 I」は前期2クラス（英語 IA,IB）および選択制の後期1クラス（英語 IC）の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。3クラスすべての履修は必須です。なお、再評価の対象となるのは、英語 I の ABC の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、3クラスのうち2クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

時間割番号	004115				
科目名	英語ＩB			**科目ID**	
担当教員	畔柳　和代[KUROYANAGI KAZUYO]				
開講時期	2024 年度前期	**対象年次**	1～		
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間:水曜　1 講
・対象:全学科
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):
　別表3－4)
　別表4－5)

授業の目的、概要等

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

授業の到達目標

To have broader knowledge and perspective (through reading different types of written works)
(さまざまな種類の作品や書き物を読むことで)より広い知識と見解を持つ

To be able to express oneself more clearly and logically in writing, utilizing reference tools and other resources effectively
自分の考えを、さまざまな参照手段や方策を効果的に活用しながら、より明確かつ論理的に文章で表現することができる

To be able to comprehend and use new vocabulary
新しい語彙を理解して使用することができる

To be able to overcome shyness and worries about stating opinions and communicating in imperfect English
完璧な英語でなくとも、羞恥心に打ち勝ち、自分の意見を英語で伝え議論に参加することができる

以下の 3 点を満たすことが、B 評価(70 点以上)の必要条件として要求される。

1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。
2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。
3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。

なお、英語分野では学期の折り返し地点で全学生に中間成績を通知している。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	4/17	08:50-10:30		ガイダンス	自己紹介文を書く。英文メールを	畔柳　和代	グループワーク

					書く。		
3-4	4/24	08:50-10:30		Reading Material 1	パラグラフについて	畔柳 和代	課題発表
5-6	5/1	08:50-10:30		Reading Material 2	エッセイ	畔柳 和代	グループワーク、演習
7-8	5/8	08:50-10:30		Reading Material 3	エッセイ	畔柳 和代	グループワーク、演習
9-10	5/15	08:50-10:30		Reading Material 4	コラム	畔柳 和代	グループワーク、演習
11-12	5/22	08:50-10:30		Reading Material 5	コラム	畔柳 和代	グループワーク、演習
13-14	5/29	08:50-10:30		Reading Material 6	小説	畔柳 和代	グループワーク、演習
15-16	6/5	08:50-10:30		Reading Material 7	小説	畔柳 和代	グループワーク、演習
17-18	6/12	08:50-10:30		Reading Material 8	ノンフィクション	畔柳 和代	グループワーク、演習
19-20	6/19	08:50-10:30		Reading Material 9	ノンフィクション	畔柳 和代	グループワーク、演習
21-22	6/26	08:50-10:30		Reading Material 10	小テスト。最終課題について	畔柳 和代	グループワーク、演習
23-24	7/3	08:50-10:30		Reading Material 11	スピーチ	畔柳 和代	グループワーク、演習
25-26	7/10	08:50-10:30		Reading Material 12	手紙	畔柳 和代	グループワーク、演習
27-28	7/17	08:50-10:30		Short Assignments	最終課題に向けて	畔柳 和代	課題発表
29-30	7/24	08:50-10:30		Review	フィードバック	畔柳 和代	グループワーク

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: participation:30%, quizzes and response papers: 30%, assignments: 40%

再評価: 有(再評価方法 「英語 I」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 IB」についての評価方法です。「英語 I」は ABC の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語 I」は前期2クラス(英語 IA,IB)および選択制の後期1クラス(英語 IC)の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。3クラスすべての履修は必須です。なお、再評価の対象となるのは、英語 I の ABC の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。

ただし、3クラスのうち2クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

連絡先(メールアドレス)

kuroyanagi.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

水・木　12:30−13:00　管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	004116				
科目名	英語ＩＢ			**科目ID**	
担当教員	猪熊　恵子[INOKUMA KEIKO]				
開講時期	2024 年度前期	**対象年次**	1～		
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間：水曜　1 講
・対象学科：全学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.
The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

授業の到達目標

To have broader knowledge and perspective (through reading different types of written works)
（さまざまな種類の作品や書き物を読むことで）より広い知識と見解を持つ

To be able to express oneself more clearly and logically in writing, utilizing reference tools and other resources effectively
自分の考えを、さまざまな参照手段や方策を効果的に活用しながら、より明確かつ論理的に文章で表現することができる

To be able to comprehend and use new vocabulary
新しい語彙を理解して使用することができる

To be able to overcome shyness and worries about stating opinions and communicating in imperfect English
完璧な英語でなくとも、羞恥心に打ち勝ち、自分の意見を英語で伝え議論に参加することができる

以下の 3 点を満たすことが、B 評価（70 点以上）の必要条件として要求される。

1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。
2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。
3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。

なお、英語分野では学期の折り返し地点で全学生に中間成績を通知している。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	4/17	08:50-10:30		第一回授業（概要）	授業概要説明	猪熊　恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式
3-4	4/24	08:50-10:30		第二回授業（ライティング基礎1）	英語でどう書くか	猪熊　恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式

							授業内ライティングを行なう
5-6	5/1	08:50-10:30		第三回授業(ライティング基礎2)	パラグラフとは？	猪熊 恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式. アサインメント(1)の提出
7-8	5/8	08:50-10:30		第四回授業(ライティング基礎3)	日本語、英語スピーチを読み比べる	猪熊 恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式. 授業内ライティングを行なう
9-10	5/15	08:50-10:30		第五回授業(リーディング＆ライティング)	他のソースを「要約」して自分の書き物に入れる	猪熊 恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式. サマリーの練習
11-12	5/22	08:50-10:30		第六回授業(リーディング＆ライティング)	剽窃とは何か	猪熊 恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式. アサインメント(2)の下書き
13-14	5/29	08:50-10:30		第七回授業(よりよりライティングに向けて1)	賛否両論をまとめながら自分の意見を提示する(1)	猪熊 恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式. アサインメント(2)の Editing
15-16	6/5	08:50-10:30		第八回授業(よりよいライティングに向けて2)	賛否両論をまとめながら自分の意見を提示する(2)	猪熊 恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式. アサインメント(2)の提出
17-18	6/12	08:50-10:30		第九回授業(日本語と英語の違いを考える)	訳せるものと訳せないもの(1)	猪熊 恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式. 授業内課題に取り組む(1)
19-20	6/19	08:50-10:30		第十回授業(日本語と英語の違いを考える)	訳せるものと訳せないもの(2)	猪熊 恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式. 授業内課題に取り組む(2)
21-22	6/26	08:50-10:30		第十一回授業(ペーパーの構造を作る)	より長い英文を書くには(1)	猪熊 恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式. アサインメント(3)の下書き
23-24	7/3	08:50-10:30		第十二回授業(ペーパーの構造を作る)	より長い英文を書くには(2)	猪熊 恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式. アサインメント(3)の Editing と提出
25-26	7/10	08:50-10:30		第十三回授業(ライティングのコツ)	ニュアンスのある英文を書くために(助動詞)	猪熊 恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式. タームペーパーの計画書を練る
27-28	7/17	08:50-10:30		第十四回授業(ライティングを仕上げる)	タームペーパーの引用文献リストを作る	猪熊 恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式. タームペーパー

							の下書き、Editing
29-30	7/24	08:50-10:30		第十五回授業(まとめ)	最終レポート返却、講評	猪熊 恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式. タームペーパーの下書きに対する教員からの講評、書き直し検討

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価:class participation:30%, writing assignments + quizzes:40%, in-class exam or final essay:30%

再評価: 有(再評価方法 「英語 I」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 IB」についての評価方法です。「英語 I」は ABC の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語 I」は前期2クラス(英語 IA,IB)および選択制の後期1クラス(英語 IC)の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。3クラスすべての履修は必須です。なお、再評価の対象となるのは、英語 I の ABC の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、3クラスのうち2クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

連絡先(メールアドレス)

inokuma.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

水・木曜日 12時30分～13時 管理研究棟 3階 猪熊研究室

時間割番号	004117				
科目名	英語ＩA			**科目ID**	
担当教員	Whitaker Simon[WHITAKER Simon]				
開講時期	2024 年度前期	**対象年次**	1		
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間:木曜 1 講
・対象:全学科
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):
別表3－4)
別表4－5)

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標

To be able to engage in extended discussions in English on a range of topics
多様なトピックについて、英語でより長い議論をすることができる

To be able to comprehend and use new vocabulary
新しい語彙を理解して使用することができる

To be able to speak in front of others more effectively
他の人の前でより効果的に話すことができる

To be able to overcome shyness and worries about stating opinions and communicating in imperfect English
完璧な英語でなくとも、羞恥心に打ち勝ち、自分の意見を英語で伝え議論に参加することができる

以下の 3 点を満たすことが、B 評価(70 点以上)の必要条件として要求される。

1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。
2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。
3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。

なお、英語分野では学期の折り返し地点で全学生に中間成績を通知している。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	4/18	08:50-10:30	10 番教室	Orientation	Course Introduction	畔柳 和代	Active Learning, Seminar
3-4	4/25	08:50-10:30	10 番教室	Topic 1	Listening and Speaking Activities	畔柳 和代	Active Learning, Seminar
5-6	5/2	08:50-10:30	10 番教室	Topic 2	Listening and Speaking Activities	畔柳 和代	Active Learning,

							Seminar
7-8	5/9	08:50-10:30	10 番教室	Topic 3	Listening and Speaking Activities	畔柳 和代	Active Learning, Seminar
9-10	5/16	08:50-10:30	10 番教室	Topic 4	Listening and Speaking Activities	畔柳 和代	Active Learning, Seminar
11-12	5/23	08:50-10:30	10 番教室	Topic 5	Listening and Speaking Activities	畔柳 和代	Active Learning, Seminar
13-14	5/30	08:50-10:30	10 番教室	Topic 6	Listening and Speaking Activities	畔柳 和代	Active Learning, Seminar
15-16	6/6	08:50-10:30	10 番教室	Topic 7	Listening and Speaking Activities	畔柳 和代	Active Learning, Seminar
17-18	6/13	08:50-10:30	10 番教室	Topic 8	Listening and Speaking Activities	畔柳 和代	Active Learning, Seminar
19-20	6/20	08:50-10:30	10 番教室	Topic 9	Listening and Speaking Activities	畔柳 和代	Active Learning, Seminar
21-22	6/27	08:50-10:30	10 番教室	Topic 10	Listening and Speaking Activities	畔柳 和代	Active Learning, Seminar
23-24	7/4	08:50-10:30	10 番教室	Topic 11	Listening and Speaking Activities	畔柳 和代	Active Learning, Seminar
25-26	7/11	08:50-10:30	10 番教室	Topic 12	Listening and Speaking Activities	畔柳 和代	Active Learning, Seminar
27-28	7/18	08:50-10:30	10 番教室	Topic 13	Listening and Speaking Activities	畔柳 和代	Active Learning, Seminar
29-30	7/25	08:50-10:30	10 番教室	Wrap-up	Discussion Test	畔柳 和代	Active Learning, Seminar

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: Quizzes/assignments: 25%

Final discussion test: 25%

Participation: 50%

再評価: 有(再評価方法 「英語 I」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 IA」についての評価方法です。「英語 I」は ABC の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語 I」は前期2クラス(英語 IA,IB)および選択制の後期1クラス(英語 IC)の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。3ク

ラスすべての履修は必須です。なお、再評価の対象となるのは、英語 I の ABC の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、3クラスのうち2クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
連絡先(メールアドレス) 畔柳　和代:kuroyanagi.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 畔柳　和代:水・木　12:30-13:00　管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	004118				
科目名	英語ＩＢ			**科目ID**	
担当教員	畔柳　和代[KUROYANAGI KAZUYO]				
開講時期	2024 年度前期	**対象年次**	1～		
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間:水曜　2 講
・対象:全学科
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):
　別表3－4)
　別表4－5)

授業の目的、概要等

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

授業の到達目標

To have broader knowledge and perspective (through reading different types of written works)
(さまざまな種類の作品や書き物を読むことで)より広い知識と見解を持つ

To be able to express oneself more clearly and logically in writing, utilizing reference tools and other resources effectively
自分の考えを、さまざまな参照手段や方策を効果的に活用しながら、より明確かつ論理的に文章で表現することができる

To be able to comprehend and use new vocabulary
新しい語彙を理解して使用することができる

To be able to overcome shyness and worries about stating opinions and communicating in imperfect English
完璧な英語でなくとも、羞恥心に打ち勝ち、自分の意見を英語で伝え議論に参加することができる

以下の 3 点を満たすことが、B 評価(70 点以上)の必要条件として要求される。

1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。
2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。
3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。

なお、英語分野では学期の折り返し地点で全学生に中間成績を通知している。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	4/17	10:45-12:25		ガイダンス	Course Introduction　自己紹介文	畔柳　和代	グループワーク

					を書く。英文メールを書く。		
3-4	4/24	10:45-12:25		Reading Material 1	Reading and Writing Practice パラグラフについて	畔柳 和代	課題発表
5-6	5/1	10:45-12:25		Reading Material 2	Reading and Writing Practice エッセイ	畔柳 和代	グループワーク、演習
7-8	5/8	10:45-12:25		Reading Material 3	Reading and Writing Practice エッセイ	畔柳 和代	グループワーク、演習
9-10	5/15	10:45-12:25		Reading Material 4	Reading and Writing Practice コラム	畔柳 和代	グループワーク、演習
11-12	5/22	10:45-12:25		Reading Material 5	Reading and Writing Practice コラム	畔柳 和代	グループワーク、演習
13-14	5/29	10:45-12:25		Reading Material 6	Reading and Writing Practice 小説	畔柳 和代	グループワーク、演習
15-16	6/5	10:45-12:25		Reading Material 7	Reading and Writing Practice 小説	畔柳 和代	グループワーク、演習
17-18	6/12	10:45-12:25		Reading Material 8	Reading and Writing Practice ノンフィクション	畔柳 和代	グループワーク、演習
19-20	6/19	10:45-12:25		Reading Material 9	ノンフィクション	畔柳 和代	グループワーク、演習
21-22	6/26	10:45-12:25		Reading Material 10	小テスト。最終課題について	畔柳 和代	グループワーク、演習
23-24	7/3	10:45-12:25		Reading Material 11	Reading and Writing Practice スピーチ	畔柳 和代	グループワーク、演習
25-26	7/10	10:45-12:25		Reading Material 12	Reading and Writing Practice 手紙	畔柳 和代	グループワーク、演習
27-28	7/17	10:45-12:25		Short Assignments	Reading and Writing Practice 最終課題に向けて	畔柳 和代	課題発表
29-30	7/24	10:45-12:25		Review	まとめ	畔柳 和代	グループワーク

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: participation:30%, quizzes and response papers: 30%, assignments: 40%

再評価: 有(再評価方法 「英語 I」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 IB」についての評価方法です。「英語 I」は ABC の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語 I」は前期2クラス（英語 IA,IB）および選択制の後期1クラス（英語 IC）の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。3クラスすべての履修は必須です。なお、再評価の対象となるのは、英語 I の ABC の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、3クラスのうち2クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

連絡先（メールアドレス）

kuroyanagi.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

水・木　12:30−13:00　管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	004119				
科目名	英語ＩＢ			**科目ID**	
担当教員	猪熊　恵子[INOKUMA KEIKO]				
開講時期	2024 年度前期	**対象年次**	1～		
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間：水曜　2 講
・対象学科：全学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.
The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

授業の到達目標

To have broader knowledge and perspective (through reading different types of written works)
（さまざまな種類の作品や書き物を読むことで）より広い知識と見解を持つ

To be able to express oneself more clearly and logically in writing, utilizing reference tools and other resources effectively
自分の考えを、さまざまな参照手段や方策を効果的に活用しながら、より明確かつ論理的に文章で表現することができる

To be able to comprehend and use new vocabulary
新しい語彙を理解して使用することができる

To be able to overcome shyness and worries about stating opinions and communicating in imperfect English
完璧な英語でなくとも、羞恥心に打ち勝ち、自分の意見を英語で伝え議論に参加することができる

以下の 3 点を満たすことが、B 評価（70 点以上）の必要条件として要求される。

1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。
2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。
3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。

なお、英語分野では学期の折り返し地点で全学生に中間成績を通知している。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	4/17	10:45-12:25		第一回授業（概要）	授業概要説明	猪熊　恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式
3-4	4/24	10:45-12:25		第二回授業（ライティング基礎1）	英語でどう書くか	猪熊　恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式

							授業内ライティングを行なう
5-6	5/1	10:45-12:25		第三回授業(ライティング基礎2)	パラグラフとは？	猪熊 恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式. アサインメント(1)の提出
7-8	5/8	10:45-12:25		第四回授業(ライティング基礎3)	日本語、英語スピーチを読み比べる	猪熊 恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式. 授業内ライティングを行なう
9-10	5/15	10:45-12:25		第五回授業(リーディング＆ライティング)	他のソースを「要約」して自分の書き物に入れる	猪熊 恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式. サマリーの練習
11-12	5/22	10:45-12:25		第六回授業(リーディング＆ライティング)	剽窃とは何か	猪熊 恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式. アサインメント(2)の下書き
13-14	5/29	10:45-12:25		第七回授業(よりよりライティングに向けて1)	賛否両論をまとめながら自分の意見を提示する(1)	猪熊 恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式. アサインメント(2)の Editing
15-16	6/5	10:45-12:25		第八回授業(よりよいライティングに向けて2)	賛否両論をまとめながら自分の意見を提示する(2)	猪熊 恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式. アサインメント(2)の提出
17-18	6/12	10:45-12:25		第九回授業(日本語と英語の違いを考える)	訳せるものと訳せないもの(1)	猪熊 恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式. 授業内課題に取り組む(1)
19-20	6/19	10:45-12:25		第十回授業(日本語と英語の違いを考える)	訳せるものと訳せないもの(2)	猪熊 恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式. 授業内課題に取り組む(2)
21-22	6/26	10:45-12:25		第十一回授業(ペーパーの構造を作る)	より長い英文を書くには(1)	猪熊 恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式. アサインメント(3)の下書き
23-24	7/3	10:45-12:25		第十二回授業(ペーパーの構造を作る)	より長い英文を書くには(2)	猪熊 恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式. アサインメント(3)の Editing と提出
25-26	7/10	10:45-12:25		第十三回授業(ライティングのコツ)	ニュアンスのある英文を書くために(助動詞)	猪熊 恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式. タームペーパーの計画書を練る
27-28	7/17	10:45-12:25		第十四回授業(ライティングを仕上げる)	タームペーパーの引用文献リストを作る	猪熊 恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式. タームペーパー

							の下書き、Editing
29-30	7/24	10:45-12:25		第十五回授業(まとめ)	最終レポート返却、講評	猪熊 恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式. タームペーパーの下書きに対する教員からの講評、書き直し検討

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価:class participation:30%, writing assignments + quizzes:40%, in-class exam or final essay:30%

再評価: 有(再評価方法 「英語 I」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 IB」についての評価方法です。「英語 I」は ABC の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語 I」は前期2クラス(英語 IA,IB)および選択制の後期1クラス(英語 IC)の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。3クラスすべての履修は必須です。なお、再評価の対象となるのは、英語 I の ABC の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、3クラスのうち2クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

連絡先(メールアドレス)

inokuma.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

水・木曜日 12時30分～13時 管理研究棟 3階 猪熊研究室

時間割番号	004120				
科目名	英語ＩA			**科目ID**	
担当教員	Whitaker Simon[WHITAKER Simon]				
開講時期	2024 年度前期	**対象年次**	1		
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間:木曜 2 講

・対象:全学科

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表3－4)

別表4－5)

授業の目的、概要等

Students will engage in a range of conversation activities (in pairs or small groups) and in speech/presentation activities to develop better English listening and speaking skills. New vocabulary will also be introduced. Particular grammatical structures will occasionally be targeted. Readings may be used in particular classes as bases for discussion.

The primary goals of this course are to improve English speaking and listening skills.

授業の到達目標

To be able to engage in extended discussions in English on a range of topics
多様なトピックについて、英語でより長い議論をすることができる

To be able to comprehend and use new vocabulary
新しい語彙を理解して使用することができる

To be able to speak in front of others more effectively
他の人の前でより効果的に話すことができる

To be able to overcome shyness and worries about stating opinions and communicating in imperfect English
完璧な英語でなくとも、羞恥心に打ち勝ち、自分の意見を英語で伝え議論に参加することができる

以下の 3 点を満たすことが、B 評価(70 点以上)の必要条件として要求される。

1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。
2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。
3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。

なお、英語分野では学期の折り返し地点で全学生に中間成績を通知している。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	到達目標・学習方法・その他
1–2	4/18	10:45–12:25	10 番教室	Orientation	Course Introduction	Active Learning, Seminar
3–4	4/25	10:45–12:25	10 番教室	Topic 1	Listening and Speaking Activities	Active Learning, Seminar
5–6	5/2	10:45–12:25	10 番教室	Topic 2	Listening and Speaking Activities	Active Learning, Seminar
7–8	5/9	10:45–12:25	10 番教室	Topic 3	Listening and Speaking Activities	Active Learning, Seminar
9–10	5/16	10:45–12:25	10 番教室	Topic 4	Listening and Speaking Activities	Active Learning, Seminar
11–12	5/23	10:45–12:25	10 番教室	Topic 5	Listening and Speaking Activities	Active Learning, Seminar

13-14	5/30	10:45-12:25	10 番教室	Topic 6	Listening and Speaking Activities	Active Learning, Seminar
15-16	6/6	10:45-12:25	10 番教室	Topic 7	Listening and Speaking Activities	Active Learning, Seminar
17-18	6/13	10:45-12:25	10 番教室	Topic 8	Listening and Speaking Activities	Active Learning, Seminar
19-20	6/20	10:45-12:25	10 番教室	Topic 9	Listening and Speaking Activities	Active Learning, Seminar
21-22	6/27	10:45-12:25	10 番教室	Topic 10	Listening and Speaking Activities	Active Learning, Seminar
23-24	7/4	10:45-12:25	10 番教室	Topic 11	Listening and Speaking Activities	Active Learning, Seminar
25-26	7/11	10:45-12:25	10 番教室	Topic 12	Listening and Speaking Activities	Active Learning, Seminar
27-28	7/18	10:45-12:25	10 番教室	Topic 13	Listening and Speaking Activities	Active Learning, Seminar
29-30	7/25	10:45-12:25	10 番教室	Wrap-up	Discussion Test	Active Learning, Seminar

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: Quizzes/assignments: 25%

Final discussion test: 25%

Participation: 50%

再評価: 有(再評価方法 「英語 I」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 IA」についての評価方法です。「英語 I」は ABC の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語 I」は前期2クラス(英語 IA,IB)および選択制の後期1クラス(英語 IC)の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。3クラスすべての履修は必須です。なお、再評価の対象となるのは、英語 I の ABC の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、3クラスのうち2クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

連絡先(メールアドレス)

畔柳 和代:kuroyanagi.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

畔柳 和代:水・木 12:30-13:00 管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	004121				
科目名	英語ＩＢ			**科目ID**	
担当教員	野口　大斗[NOGUCHI Hiroto]				
開講時期	2024 年度前期	**対象年次**	1～		
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間:木曜　1 講

・対象:全学科

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表3－4)

別表4－5)

授業の目的、概要等

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes.

The primary goals of this course are to improve English reading and writing skills.

授業の到達目標

To have broader knowledge and perspective (through reading different types of written works)
(さまざまな種類の作品や書き物を読むことで)より広い知識と見解を持つ

To be able to express oneself more clearly and logically in writing, utilizing reference tools and other resources effectively
自分の考えを、さまざまな参照手段や方策を効果的に活用しながら、より明確かつ論理的に文章で表現することができる

To be able to comprehend and use new vocabulary
新しい語彙を理解して使用することができる

To be able to overcome shyness and worries about stating opinions and communicating in imperfect English
完璧な英語でなくとも、羞恥心に打ち勝ち、自分の意見を英語で伝え議論に参加することができる

以下の 3 点を満たすことが、B 評価(70 点以上)の必要条件として要求される。

1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。
2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。
3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。

なお、英語分野では学期の折り返し地点で全学生に中間成績を通知している。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	4/18	08:50-10:30		Guidance	Course Introduction	野口　大斗	Active Learning, Seminar
3-4	4/25	08:50-10:30		Class 2	Reading and Writing Practice	野口　大斗	Active Learning, Seminar
5-6	5/2	08:50-10:30		Class 3	Reading and Writing Practice	野口　大斗	Active Learning, Seminar

7-8	5/9	08:50-10:30		Class 4	Reading and Writing Practice	野口 大斗	Active Learning, Seminar
9-10	5/16	08:50-10:30		Class 5	Reading and Writing Practice	野口 大斗	Active Learning, Seminar
11-12	5/23	08:50-10:30		Class 6	Reading and Writing Practice	野口 大斗	Active Learning, Seminar
13-14	5/30	08:50-10:30		Class 7	Reading and Writing Practice	野口 大斗	Active Learning, Seminar
15-16	6/6	08:50-10:30		Class 8	Reading and Writing Practice	野口 大斗	Active Learning, Seminar
17-18	6/13	08:50-10:30		Class 9	Reading and Writing Practice	野口 大斗	Active Learning, Seminar
19-20	6/20	08:50-10:30		Class 10	Reading and Writing Practice	野口 大斗	Active Learning, Seminar
21-22	6/27	08:50-10:30		Class 11	Reading and Writing Practice	野口 大斗	Active Learning, Seminar
23-24	7/4	08:50-10:30		Class 12	Reading and Writing Practice	野口 大斗	Active Learning, Seminar
25-26	7/11	08:50-10:30		Class 13	Reading and Writing Practice	野口 大斗	Active Learning, Seminar
27-28	7/18	08:50-10:30		Class 14	Reading and Writing Practice	野口 大斗	Active Learning, Seminar
29-30	7/25	08:50-10:30		Class 15	In-class Exam	野口 大斗	Active Learning, Seminar

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: assignments 15% quizzes 15% participation 20% midterm exam 25% end-of-term exam 25%

再評価: 有(再評価方法 「英語 I」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 IB」についての評価方法です。「英語 I」は ABC の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語 I」は前期2クラス(英語 IA,IB)および選択制の後期1クラス(英語 IC)の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。3クラスすべての履修は必須です。なお、再評価の対象となるのは、英語 I の ABC の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、3クラスのうち2クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項
出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
連絡先（メールアドレス）
畔柳　和代:kuroyanagi.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー
畔柳　和代:水・木　12:30−13:00　管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	004122				
科目名	英語ＩＢ			**科目ID**	
担当教員	畔柳　和代[KUROYANAGI KAZUYO]				
開講時期	2024 年度前期	**対象年次**	1～		
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間:木曜　1 講
・対象:全学科
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):
　別表3－4)
　別表4－5)

授業の目的、概要等

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

授業の到達目標

To have broader knowledge and perspective (through reading different types of written works)
(さまざまな種類の作品や書き物を読むことで)より広い知識と見解を持つ

To be able to express oneself more clearly and logically in writing, utilizing reference tools and other resources effectively
自分の考えを、さまざまな参照手段や方策を効果的に活用しながら、より明確かつ論理的に文章で表現することができる

To be able to comprehend and use new vocabulary
新しい語彙を理解して使用することができる

To be able to overcome shyness and worries about stating opinions and communicating in imperfect English
完璧な英語でなくとも、羞恥心に打ち勝ち、自分の意見を英語で伝え議論に参加することができる

以下の 3 点を満たすことが、B 評価(70 点以上)の必要条件として要求される。

1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。
2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。
3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。

なお、英語分野では学期の折り返し地点で全学生に中間成績を通知している。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	4/18	08:50-10:30		Guidance	Course Introduction、自己紹介文を	畔柳　和代	グループワーク

					書く。英文メールを書く。		
3-4	4/25	08:50-10:30		Reading Material 1	パラグラフについて、Reading and Writing Practice	畔柳 和代	課題発表
5-6	5/2	08:50-10:30		Reading Material 2	エッセイ Reading and Writing Practice	畔柳 和代	グループワーク、演習
7-8	5/9	08:50-10:30		Reading Material 3	エッセイ Reading and Writing Practice	畔柳 和代	グループワーク、演習
9-10	5/16	08:50-10:30		Reading Material 4	コラム Reading and Writing Practice	畔柳 和代	グループワーク、演習
11-12	5/23	08:50-10:30		Reading Material 5	コラム Reading and Writing Practice	畔柳 和代	グループワーク、演習
13-14	5/30	08:50-10:30		Reading Material 6	小説 Reading and Writing Practice	畔柳 和代	グループワーク、演習
15-16	6/6	08:50-10:30		Reading Material 7	小説、Reading and Writing Practice	畔柳 和代	グループワーク、演習
17-18	6/13	08:50-10:30		Reading Material 8	ノンフィクション1, Reading and Writing Practice	畔柳 和代	グループワーク、演習
19-20	6/20	08:50-10:30		Reading Material 9	ノンフィクション、Reading and Writing Practice	畔柳 和代	グループワーク、演習
21-22	6/27	08:50-10:30		Reading Material 10	小テスト。最終課題について。Reading and Writing Practice	畔柳 和代	グループワーク、演習
23-24	7/4	08:50-10:30		Reading Material 11	コラム	畔柳 和代	グループワーク、演習
25-26	7/11	08:50-10:30		Reading Material 12	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	グループワーク、演習
27-28	7/18	08:50-10:30		Short Assignments	Reading and Writing Practice	畔柳 和代	課題発表
29-30	7/25	08:50-10:30		Review	まとめ	畔柳 和代	グループワーク

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: participation:30%, quizzes and response papers: 30%, assignments: 40%

再評価: 有(再評価方法 「英語 I」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 IB」についての評価方法です。「英語 I」は ABC の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語 I」は前期2クラス(英語 IA,IB)および選択制の後期1クラス(英語 IC)の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。3ク

ラスすべての履修は必須です。なお、再評価の対象となるのは、英語 I の ABC の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、3クラスのうち2クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

連絡先(メールアドレス)

kuroyanagi.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

水・木 12:30−13:00 管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	004123				
科目名	英語ＩＢ			**科目ID**	
担当教員	猪熊　恵子[INOKUMA KEIKO]				
開講時期	2024 年度前期	**対象年次**	1～		
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間：木曜　1 講
・対象学科：全学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.
The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

授業の到達目標

To have broader knowledge and perspective (through reading different types of written works)
（さまざまな種類の作品や書き物を読むことで）より広い知識と見解を持つ

To be able to express oneself more clearly and logically in writing, utilizing reference tools and other resources effectively
自分の考えを、さまざまな参照手段や方策を効果的に活用しながら、より明確かつ論理的に文章で表現することができる

To be able to comprehend and use new vocabulary
新しい語彙を理解して使用することができる

To be able to overcome shyness and worries about stating opinions and communicating in imperfect English
完璧な英語でなくとも、羞恥心に打ち勝ち、自分の意見を英語で伝え議論に参加することができる

以下の 3 点を満たすことが、B 評価（70 点以上）の必要条件として要求される。

1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。
2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。
3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。

なお、英語分野では学期の折り返し地点で全学生に中間成績を通知している。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	4/18	08:50-10:30		第一回授業（概要）	授業概要説明	猪熊　恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式
3-4	4/25	08:50-10:30		第二回授業（ライティング基礎1）	英語でどう書くか	猪熊　恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式

							授業内ライティングを行なう
5-6	5/2	08:50-10:30		第三回授業(ライティング基礎2)	パラグラフとは？	猪熊 恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式. アサインメント(1)の提出
7-8	5/9	08:50-10:30		第四回授業(ライティング基礎3)	日本語、英語スピーチを読み比べる	猪熊 恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式. 授業内ライティングを行なう
9-10	5/16	08:50-10:30		第五回授業(リーディング＆ライティング)	他のソースを「要約」して自分の書き物に入れる	猪熊 恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式. サマリーの練習
11-12	5/23	08:50-10:30		第六回授業(リーディング＆ライティング)	剽窃とは何か	猪熊 恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式. アサインメント(2)の下書き
13-14	5/30	08:50-10:30		第七回授業(よりよりライティングに向けて1)	賛否両論をまとめながら自分の意見を提示する(1)	猪熊 恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式. アサインメント(2)の Editing
15-16	6/6	08:50-10:30		第八回授業(よりよいライティングに向けて2)	賛否両論をまとめながら自分の意見を提示する(2)	猪熊 恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式. アサインメント(2)の提出
17-18	6/13	08:50-10:30		第九回授業(日本語と英語の違いを考える)	訳せるものと訳せないもの(1)	猪熊 恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式. 授業内課題に取り組む(1)
19-20	6/20	08:50-10:30		第十回授業(日本語と英語の違いを考える)	訳せるものと訳せないもの(2)	猪熊 恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式. 授業内課題に取り組む(2)
21-22	6/27	08:50-10:30		第十一回授業(ペーパーの構造を作る)	より長い英文を書くには(1)	猪熊 恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式. アサインメント(3)の下書き
23-24	7/4	08:50-10:30		第十二回授業(ペーパーの構造を作る)	より長い英文を書くには(2)	猪熊 恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式. アサインメント(3)の Editing と提出
25-26	7/11	08:50-10:30		第十三回授業(ライティングのコツ)	ニュアンスのある英文を書くために(助動詞)	猪熊 恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式. タームペーパーの計画書を練る
27-28	7/18	08:50-10:30		第十四回授業(ライティングを仕上げる)	タームペーパーの引用文献リストを作る	猪熊 恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式. タームペーパー

							の下書き、Editing
29-30	7/25	08:50-10:30		第十五回授業(まとめ)	最終レポート返却、講評	猪熊 恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式. タームペーパーの下書きに対する教員からの講評、書き直し検討

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価:class participation:30%, writing assignments + quizzes:40%, in-class exam or final essay:30%

再評価: 有(再評価方法 「英語 I」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 IB」についての評価方法です。「英語 I」は ABC の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語 I」は前期2クラス(英語 IA,IB)および選択制の後期1クラス(英語 IC)の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。3クラスすべての履修は必須です。なお、再評価の対象となるのは、英語 I の ABC の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、3クラスのうち2クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

連絡先(メールアドレス)

inokuma.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

水・木曜日 12時30分～13時 管理研究棟 3階 猪熊研究室

時間割番号	004124				
科目名	英語ＩＢ			**科目ID**	
担当教員	PATRICK　FOSS[PATRICK FOSS]				
開講時期	2024 年度前期	**対象年次**	1～		
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間:水曜　1 講
・対象:全学科
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):
　別表3－4)
　別表4－5)

授業の目的、概要等

Students will write in English on a variety of themes. Students will also read and evaluate both student-written and professionally-written passages.

The primary goal of this course is to improve English writing skills. A secondary goal is to improve English reading skills.

授業の到達目標

To have broader knowledge and perspective (through reading different types of written works)
(さまざまな種類の作品や書き物を読むことで)より広い知識と見解を持つ

To be able to express oneself more clearly and logically in writing, utilizing reference tools and other resources effectively
自分の考えを、さまざまな参照手段や方策を効果的に活用しながら、より明確かつ論理的に文章で表現することができる

To be able to comprehend and use new vocabulary
新しい語彙を理解して使用することができる

To be able to overcome shyness and worries about stating opinions and communicating in imperfect English
完璧な英語でなくとも、羞恥心に打ち勝ち、自分の意見を英語で伝え議論に参加することができる

以下の 3 点を満たすことが、B 評価(70 点以上)の必要条件として要求される。

1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。
2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。
3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。

なお、英語分野では学期の折り返し地点で全学生に中間成績を通知している。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	4/17	08:50-10:30		Orientation	Journal 1 / Common Writing Problems / Academic	PATRICK F OSS	Active Learning / Seminar

					Vocabulary		
3-4	4/24	08:50-10:30		Paragraphs	Journal 2 / Parts of a Paragraph	PATRICK F OSS	Active Learning / Seminar
5-6	5/1	08:50-10:30		Paragraphs	Journal 3 / Peer Review	PATRICK F OSS	Active Learning / Seminar
7-8	5/8	08:50-10:30		Grammar/Vocabulary Review	Journal 4 / Common Writing Problems Ⅱ / Common Student Problems	PATRICK F OSS	Active Learning / Seminar
9-10	5/15	08:50-10:30		Essays	Journal 5 / Parts of an Academic Essay / Outlining / Writing Introductions	PATRICK F OSS	Active Learning / Seminar
11-12	5/22	08:50-10:30		Essays	Body Paragraphs and Conclusions	PATRICK F OSS	Active Learning / Seminar
13-14	5/29	08:50-10:30		Essays	Journal 6 / Peer Review	PATRICK F OSS	Active Learning / Seminar
15-16	6/5	08:50-10:30		Essay Review	Journal 7 / Essay Reading and Discussion	PATRICK F OSS	Active Learning / Seminar
17-18	6/12	08:50-10:30		Grammar/Vocabulary Review	Journal 8 / Common Writing Problems Ⅲ	PATRICK F OSS	Active Learning / Seminar
19-20	6/19	08:50-10:30		Critical Analysis	Article Discussion / Introduction to Critical Analysis / Outlining	PATRICK F OSS	Active Learning / Seminar
21-22	6/26	08:50-10:30		Critical Analysis	Journal 9 / Citation Basics	PATRICK F OSS	Active Learning / Seminar
23-24	7/3	08:50-10:30		Critical Analysis	Journal 10 / Peer Review	PATRICK F OSS	Active Learning / Seminar
25-26	7/10	08:50-10:30		Critical Analysis	Essay Discussion	PATRICK F OSS	Active Learning / Seminar
27-28	7/17	08:50-10:30		Integrating Skills	Common Writing Problems Ⅳ / Combining Speed and Accuracy	PATRICK F OSS	Active Learning / Seminar
29-30	7/24	08:50-10:30		Integrating Skills	In-class Writing	PATRICK F OSS	Active Learning / Seminar

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: writing assignments 60% journal 10% participation 30%

再評価: 有(再評価方法 「英語 I」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 IB」についての評価方法です。「英語 I」は ABC の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語 I」は前期2クラス（英語 IA,IB）および選択制の後期1クラス（英語 IC）の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。3クラスすべての履修は必須です。なお、再評価の対象となるのは、英語 I の ABC の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、3クラスのうち2クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

時間割番号	004125				
科目名	英語ＩＢ			**科目ID**	
担当教員	野口　大斗[NOGUCHI Hiroto]				
開講時期	2024 年度前期	**対象年次**	1～		
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間:木曜　2 講
・対象:全学科
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):
　別表3－4)
　別表4－5)

授業の目的、概要等

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes.

The primary goals of this course are to improve English reading and writing skills.

授業の到達目標

To have broader knowledge and perspective (through reading different types of written works)
(さまざまな種類の作品や書き物を読むことで)より広い知識と見解を持つ

To be able to express oneself more clearly and logically in writing, utilizing reference tools and other resources effectively
自分の考えを、さまざまな参照手段や方策を効果的に活用しながら、より明確かつ論理的に文章で表現することができる

To be able to comprehend and use new vocabulary
新しい語彙を理解して使用することができる

To be able to overcome shyness and worries about stating opinions and communicating in imperfect English
完璧な英語でなくとも、羞恥心に打ち勝ち、自分の意見を英語で伝え議論に参加することができる

以下の 3 点を満たすことが、B 評価(70 点以上)の必要条件として要求される。

1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。
2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。
3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。

なお、英語分野では学期の折り返し地点で全学生に中間成績を通知している。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	4/18	10:45-12:25		Guidance	Course Introduction	野口　大斗	Active Learning, Seminar

3-4	4/25	10:45-12:25		Class 2	Reading and Writing Practice	野口 大斗	Active Learning, Seminar
5-6	5/2	10:45-12:25		Class 3	Reading and Writing Practice	野口 大斗	Active Learning, Seminar
7-8	5/9	10:45-12:25		Class 4	Reading and Writing Practice	野口 大斗	Active Learning, Seminar
9-10	5/16	10:45-12:25		Class 5	Reading and Writing Practice	野口 大斗	Active Learning, Seminar
11-12	5/23	10:45-12:25		Class 6	Reading and Writing Practice	野口 大斗	Active Learning, Seminar
13-14	5/30	10:45-12:25		Class 7	Reading and Writing Practice	野口 大斗	Active Learning, Seminar
15-16	6/6	10:45-12:25		Class 8	Reading and Writing Practice	野口 大斗	Active Learning, Seminar
17-18	6/13	10:45-12:25		Class 9	Reading and Writing Practice	野口 大斗	Active Learning, Seminar
19-20	6/20	10:45-12:25		Class 10	Reading and Writing Practice	野口 大斗	Active Learning, Seminar
21-22	6/27	10:45-12:25		Class 11	Reading and Writing Practice	野口 大斗	Active Learning, Seminar
23-24	7/4	10:45-12:25		Class 12	Reading and Writing Practice	野口 大斗	Active Learning, Seminar
25-26	7/11	10:45-12:25		Class 13	Reading and Writing Practice	野口 大斗	Active Learning, Seminar
27-28	7/18	10:45-12:25		Class 14	Reading and Writing Practice	野口 大斗	Active Learning, Seminar
29-30	7/25	10:45-12:25		Class 15	In-class Exam	野口 大斗	Active Learning, Seminar

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: assignments 15% quizzes 15% participation 20% midterm exam 25% end-of-term exam 25%

再評価: 有(再評価方法 「英語 I」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 IB」についての評価方法です。「英語 I」は ABC の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語 I」は前期2クラス（英語 IA,IB）および選択制の後期1クラス（英語 IC）の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。3クラスすべての履修は必須です。なお、再評価の対象となるのは、英語 I の ABC の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、3クラスのうち2クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

連絡先（メールアドレス）

畔柳　和代:kuroyanagi.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

畔柳　和代:水・木　12:30-13:00　管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	004126				
科目名	英語ＩＢ			**科目ID**	
担当教員	畔柳　和代[KUROYANAGI KAZUYO]				
開講時期	2024 年度前期	**対象年次**	1～		
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間:木曜　2 講
・対象:全学科
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):
　別表3－4)
　別表4－5)

授業の目的、概要等

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.

The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

授業の到達目標

To have broader knowledge and perspective (through reading different types of written works)
(さまざまな種類の作品や書き物を読むことで)より広い知識と見解を持つ

To be able to express oneself more clearly and logically in writing, utilizing reference tools and other resources effectively
自分の考えを、さまざまな参照手段や方策を効果的に活用しながら、より明確かつ論理的に文章で表現することができる

To be able to comprehend and use new vocabulary
新しい語彙を理解して使用することができる

To be able to overcome shyness and worries about stating opinions and communicating in imperfect English
完璧な英語でなくとも、羞恥心に打ち勝ち、自分の意見を英語で伝え議論に参加することができる

以下の 3 点を満たすことが、B 評価(70 点以上)の必要条件として要求される。

1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。
2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。
3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。

なお、英語分野では学期の折り返し地点で全学生に中間成績を通知している。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	4/18	10:45-12:25		ガイダンス	Course Introduction　自己紹介文	畔柳　和代	グループワーク

					を書く。		
3-4	4/25	10:45-12:25		Reading Material 1	パラグラフについて　Reading and Writing Practice	畔柳 和代	課題発表
5-6	5/2	10:45-12:25		Reading Material ２	エッセイ　Reading and Writing Practice	畔柳 和代	グループワーク、演習
7-8	5/9	10:45-12:25		Reading Material ３	エッセイ　Reading and Writing Practice	畔柳 和代	グループワーク、演習
9-10	5/16	10:45-12:25		Reading Material ４	コラム　Reading and Writing Practice	畔柳 和代	グループワーク、演習
11-12	5/23	10:45-12:25		Reading Material ５	コラム　Reading and Writing Practice	畔柳 和代	グループワーク、演習
13-14	5/30	10:45-12:25		Reading Material ６	小説　Reading and Writing Practice	畔柳 和代	グループワーク、演習
15-16	6/6	10:45-12:25		Reading Material ７	小説　Reading and Writing Practice	畔柳 和代	グループワーク、演習
17-18	6/13	10:45-12:25		Reading Material ８	ノンフィクション　Reading and Writing Practice	畔柳 和代	グループワーク、演習
19-20	6/20	10:45-12:25		Reading Material ９	ノンフィクション　Reading and Writing Practice	畔柳 和代	グループワーク、演習
21-22	6/27	10:45-12:25		Reading Material 10	小テスト。最終課題について Quiz. Reading and Writing Practice	畔柳 和代	グループワーク、演習
23-24	7/4	10:45-12:25		Reading Material 11	スピーチ　Reading and Writing Practice	畔柳 和代	グループワーク、演習
25-26	7/11	10:45-12:25		Reading Material 12	手紙　Reading and Writing Practice	畔柳 和代	グループワーク、演習
27-28	7/18	10:45-12:25		Short Assignments	最終課題に向けて　Reading and Writing Practice	畔柳 和代	課題発表
29-30	7/25	10:45-12:25		Review	まとめ	畔柳 和代	グループワーク

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: participation:30%, quizzes and response papers: 30%, assignments: 40%

再評価: 有(再評価方法 「英語 I」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 IB」についての評価方法です。「英語 I」は ABC の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語 I」は前期2クラス（英語 IA,IB）および選択制の後期1クラス（英語 IC）の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。3クラスすべての履修は必須です。なお、再評価の対象となるのは、英語 I の ABC の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、3クラスのうち2クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

連絡先（メールアドレス）

kuroyanagi.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

水・木　12:30−13:00　管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	004127				
科目名	英語ＩＢ			**科目ID**	
担当教員	猪熊　恵子[INOKUMA KEIKO]				
開講時期	2024 年度前期	**対象年次**	1～		
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間：木曜　2 講
・対象学科：全学科
・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：
　別表3－4）
　別表4－5）

授業の目的、概要等

Depending on the particular class, students will read English on a wide variety of topics, including literary works, articles from newspapers and journals, non-fiction and fiction. Students will also write in English on a variety of themes. Students in some classes may give formal presentations based on their written work and other class activities.
The primary goals of these courses are to improve English reading and writing skills.

授業の到達目標

To have broader knowledge and perspective (through reading different types of written works)
（さまざまな種類の作品や書き物を読むことで）より広い知識と見解を持つ

To be able to express oneself more clearly and logically in writing, utilizing reference tools and other resources effectively
自分の考えを、さまざまな参照手段や方策を効果的に活用しながら、より明確かつ論理的に文章で表現することができる

To be able to comprehend and use new vocabulary
新しい語彙を理解して使用することができる

To be able to overcome shyness and worries about stating opinions and communicating in imperfect English
完璧な英語でなくとも、羞恥心に打ち勝ち、自分の意見を英語で伝え議論に参加することができる

以下の 3 点を満たすことが、B 評価（70 点以上）の必要条件として要求される。

1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。
2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。
3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。

なお、英語分野では学期の折り返し地点で全学生に中間成績を通知している。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	4/18	10:45-12:25		第一回授業（概要）	授業概要説明	猪熊　恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式
3-4	4/25	10:45-12:25		第二回授業（ライティング基礎1）	英語でどう書くか	猪熊　恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式

							授業内ライティングを行なう
5-6	5/2	10:45-12:25		第三回授業(ライティング基礎2)	パラグラフとは？	猪熊 恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式. アサインメント(1)の提出
7-8	5/9	10:45-12:25		第四回授業(ライティング基礎3)	日本語、英語スピーチを読み比べる	猪熊 恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式. 授業内ライティングを行なう
9-10	5/16	10:45-12:25		第五回授業(リーディング＆ライティング)	他のソースを「要約」して自分の書き物に入れる	猪熊 恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式. サマリーの練習
11-12	5/23	10:45-12:25		第六回授業(リーディング＆ライティング)	剽窃とは何か	猪熊 恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式. アサインメント(2)の下書き
13-14	5/30	10:45-12:25		第七回授業(よりよりライティングに向けて1)	賛否両論をまとめながら自分の意見を提示する(1)	猪熊 恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式. アサインメント(2)の Editing
15-16	6/6	10:45-12:25		第八回授業(よりよいライティングに向けて2)	賛否両論をまとめながら自分の意見を提示する(2)	猪熊 恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式. アサインメント(2)の提出
17-18	6/13	10:45-12:25		第九回授業(日本語と英語の違いを考える)	訳せるものと訳せないもの(1)	猪熊 恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式. 授業内課題に取り組む(1)
19-20	6/20	10:45-12:25		第十回授業(日本語と英語の違いを考える)	訳せるものと訳せないもの(2)	猪熊 恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式. 授業内課題に取り組む(2)
21-22	6/27	10:45-12:25		第十一回授業(ペーパーの構造を作る)	より長い英文を書くには(1)	猪熊 恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式. アサインメント(3)の下書き
23-24	7/4	10:45-12:25		第十二回授業(ペーパーの構造を作る)	より長い英文を書くには(2)	猪熊 恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式. アサインメント(3)の Editing と提出
25-26	7/11	10:45-12:25		第十三回授業(ライティングのコツ)	ニュアンスのある英文を書くために(助動詞)	猪熊 恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式. タームペーパーの計画書を練る
27-28	7/18	10:45-12:25		第十四回授業(ライティングを仕上げる)	タームペーパーの引用文献リストを作る	猪熊 恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式. タームペーパー

							の下書き、Editing
29-30	7/25	10:45-12:25		第十五回授業(まとめ)	最終レポート返却、講評	猪熊 恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式. タームペーパーの下書きに対する教員からの講評、書き直し検討

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価:class participation:30%, writing assignments + quizzes:40%, in-class exam or final essay:30%

再評価: 有(再評価方法 「英語 I」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 IB」についての評価方法です。「英語 I」は ABC の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語 I」は前期2クラス(英語 IA,IB)および選択制の後期1クラス(英語 IC)の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。3クラスすべての履修は必須です。なお、再評価の対象となるのは、英語 I の ABC の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、3クラスのうち2クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

連絡先(メールアドレス)

inokuma.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

水・木曜日 12時30分～13時 管理研究棟 3階 猪熊研究室

時間割番号	004128				
科目名	英語ＩＢ			**科目ID**	
担当教員	PATRICK　FOSS[PATRICK FOSS]				
開講時期	2024 年度前期	**対象年次**	1～		
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間:水曜　2 講
・対象:全学科
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):
　別表3－4)
　別表4－5)

授業の目的、概要等

Students will write in English on a variety of themes. Students will also read and evaluate both student-written and professionally-written passages.

The primary goal of this course is to improve English writing skills. A secondary goal is to improve English reading skills.

授業の到達目標

To have broader knowledge and perspective (through reading different types of written works)
(さまざまな種類の作品や書き物を読むことで)より広い知識と見解を持つ

To be able to express oneself more clearly and logically in writing, utilizing reference tools and other resources effectively
自分の考えを、さまざまな参照手段や方策を効果的に活用しながら、より明確かつ論理的に文章で表現することができる

To be able to comprehend and use new vocabulary
新しい語彙を理解して使用することができる

To be able to overcome shyness and worries about stating opinions and communicating in imperfect English
完璧な英語でなくとも、羞恥心に打ち勝ち、自分の意見を英語で伝え議論に参加することができる

以下の 3 点を満たすことが、B 評価(70 点以上)の必要条件として要求される。

1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。
2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。
3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。

なお、英語分野では学期の折り返し地点で全学生に中間成績を通知している。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	4/17	10:45-12:25		Orientation	Journal 1 / Common Writing Problems / Academic Vocabulary	PATRICK　FOSS	Active Learning / Seminar

3-4	4/24	10:45-12:25		Paragraphs	Journal 2 / Parts of a Paragraph	PATRICK F OSS	Active Learning / Seminar
5-6	5/1	10:45-12:25		Paragraphs	Journal 3 / Peer Review	PATRICK F OSS	Active Learning / Seminar
7-8	5/8	10:45-12:25		Grammar/Vocabulary Review	Journal 4 / Common Writing Problems Ⅱ / Common Student Problems	PATRICK F OSS	Active Learning / Seminar
9-10	5/15	10:45-12:25		Essays	Journal 5 / Parts of an Academic Essay / Outlining / Writing Introductions	PATRICK F OSS	Active Learning / Seminar
11-12	5/22	10:45-12:25		Essays	Body Paragraphs and Conclusions	PATRICK F OSS	Active Learning / Seminar
13-14	5/29	10:45-12:25		Essays	Journal 6 / Peer Review	PATRICK F OSS	Active Learning / Seminar
15-16	6/5	10:45-12:25		Essay Review	Journal 7 / Essay Reading and Discussion	PATRICK F OSS	Active Learning / Seminar
17-18	6/12	10:45-12:25		Grammar/Vocabulary Review	Journal 8 / Common Writing Problems Ⅲ	PATRICK F OSS	Active Learning / Seminar
19-20	6/19	10:45-12:25		Critical Analysis	Article Discussion / Introduction to Critical Analysis / Outlining	PATRICK F OSS	Active Learning / Seminar
21-22	6/26	10:45-12:25		Critical Analysis	Journal 9 / Citation Basics	PATRICK F OSS	Active Learning / Seminar
23-24	7/3	10:45-12:25		Critical Analysis	Journal 10 / Peer Review	PATRICK F OSS	Active Learning / Seminar
25-26	7/10	10:45-12:25		Critical Analysis	Essay Discussion	PATRICK F OSS	Active Learning / Seminar
27-28	7/17	10:45-12:25		Integrating Skills	Common Writing Problems Ⅳ / Combining Speed and Accuracy	PATRICK F OSS	Active Learning / Seminar
29-30	7/24	10:45-12:25		Integrating Skills	In-class Writing	PATRICK F OSS	Active Learning / Seminar

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: writing assignments 60%　journal 10%　participation 30%

再評価: 有(再評価方法 「英語 I」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 IB」についての評価方法です。「英語 I」は ABC の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.
試験の受験資格 「英語 I」は前期2クラス（英語 IA,IB）および選択制の後期1クラス（英語 IC）の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。3クラスすべての履修は必須です。なお、再評価の対象となるのは、英語 I の ABC の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、3クラスのうち2クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

時間割番号	004129				
科目名	英語ＩＣ			**科目ID**	
担当教員	Reed Jesse Ryan[REED Jesse Ryan]				
開講時期	2024 年度後期	**対象年次**	1～		
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間:水曜 1 講
・対象:全学科
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):
別表3－4)
別表4－5)

授業の目的、概要等

The purpose of this speaking course is to increase students' communicative skills and confidence to use English in public situations. Students will develop the ability to speak extensively on prepared and impromptu topics, in both conversation and presentation formats. This semester will focus evenly on conversation and presentation practice.

授業の到達目標

To be able to engage in extended discussions in English on a range of topics
多様なトピックについて、英語でより長い議論をすることができる

To be able to comprehend and use new vocabulary
新しい語彙を理解して使用することができる

To be able to speak in front of others more effectively
他の人の前でより効果的に話すことができる

To be able to overcome shyness and worries about stating opinions and communicating in imperfect English
完璧な英語でなくとも、羞恥心に打ち勝ち、自分の意見を英語で伝え議論に参加することができる

以下の 3 点を満たすことが、B 評価(70 点以上)の必要条件として要求される。

1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。
2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。
3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	9/18	08:50-10:30		Class 1	Intro to Discussion	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar
3-4	9/25	08:50-10:30		Class 2	Intro to Presentations	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar
5-6	10/2	08:50-10:30		Class 3	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar
7-8	10/9	08:50-10:30		Class 4	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar

9-10	10/16	08:50-10:30		Class 5	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar
11-12	10/23	08:50-10:30		Class 6	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar
13-14	10/30	08:50-10:30		Class 7	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar
15-16	11/6	08:50-10:30		Class 8	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar
17-18	11/13	08:50-10:30		Class 9	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar
19-20	11/20	08:50-10:30		Class 10	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar
21-22	11/27	08:50-10:30		Class 11	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar
23-24	12/4	08:50-10:30		Class 12	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar
25-26	12/11	08:50-10:30		Class 13	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar
27-28	12/18	08:50-10:30		Class 14	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar
29-30	1/8	08:50-10:30		Class 15	Discussion Test	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: participation 40% presentations 25% discussion test 25% homework 10%

再評価: 有(再評価方法 「英語 I」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 IC」についての評価方法です。「英語 I」は ABC の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語 I」は前期2クラス(英語 IA,IB)および選択制の後期1クラス(英語 IC)の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。3クラスすべての履修は必須です。なお、再評価の対象となるのは、英語 I の ABC の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、3クラスのうち2クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

連絡先（メールアドレス） 畔柳　和代:kuroyanagi.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 畔柳　和代:水・木　12:30-13:00　管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	004130				
科目名	英語ＩC			**科目ID**	
担当教員	MIYA MARUTSUKA[Miya Marutsuka]				
開講時期	2024 年度後期	**対象年次**	1～		
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間:水曜 1 講
・対象:全学科
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):
別表3－4)
別表4－5)

授業の目的、概要等

Do you want to improve your ability to talk about health? This course will focus on health-related conversations, in addition to improving your listening, vocabulary, pronunciation, and presentation skills. Topics to be covered include: aging, smoking, exercise, food, stress and dental care.

授業の到達目標

To be able to engage in extended discussions in English on a range of topics
多様なトピックについて、英語でより長い議論をすることができる

To be able to comprehend and use new vocabulary
新しい語彙を理解して使用することができる

To be able to speak in front of others more effectively
他の人の前でより効果的に話すことができる

To be able to overcome shyness and worries about stating opinions and communicating in imperfect English
完璧な英語でなくとも、羞恥心に打ち勝ち、自分の意見を英語で伝え議論に参加することができる

以下の 3 点を満たすことが、B 評価(70 点以上)の必要条件として要求される。

1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。
2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。
3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	9/18	08:50-10:30		Orientation	Course Introduction	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
3-4	9/25	08:50-10:30		Topic 1	Discussion 1	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
5-6	10/2	08:50-10:30		Topic 2	Discussion 2	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
7-8	10/9	08:50-10:30		Topic 3	Discussion 3	MIYA MARU	Active Learning,

						TSUKA	Seminar
9–10	10/16	08:50–10:30		Activities	Group Assignment	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
11–12	10/23	08:50–10:30		Activities	Group Assignment	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
13–14	10/30	08:50–10:30		Topic 4	Discussion 4	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
15–16	11/6	08:50–10:30		Topic 5	Discussion 5	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
17–18	11/13	08:50–10:30		Activities	Group Assignment	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
19–20	11/20	08:50–10:30		Activities	Group Assignment	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
21–22	11/27	08:50–10:30		Topic 6	Discussion 6	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
23–24	12/4	08:50–10:30		Activities	Group Assignment	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
25–26	12/11	08:50–10:30		Activities	Group Assignment	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
27–28	12/18	08:50–10:30		Activities	Group Assignment	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
29–30	1/8	08:50–10:30		Topic 7	Discussion 7	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2–13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: participation/homework 30%　group assignments 20%　quizzes 25%　discussion test 25%

再評価: 有(再評価方法 「英語 I」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 IC」についての評価方法です。「英語 I」は ABC の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語 I」は前期2クラス(英語 IA,IB)および選択制の後期1クラス(英語 IC)の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。3クラスすべての履修は必須です。なお、再評価の対象となるのは、英語 I の ABC の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、3クラスのうち2クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
連絡先（メールアドレス） 畔柳　和代:kuroyanagi.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 畔柳　和代:水・木　12:30-13:00　管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	004131				
科目名	英語ＩC			**科目ID**	
担当教員	畔柳　和代[KUROYANAGI KAZUYO]				
開講時期	2024 年度後期	**対象年次**	1～		
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間:水曜　1 講

・対象:全学科

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表3－4)

別表4－5)

授業の目的、概要等

児童文学、SF、回想録、歴史書、手紙、詩などを読む。2024 年度は女性作家の作品を多く取り上げ、作品が書かれた時代や社会についても調べ、考える時間を作る。授業ではそれぞれの作品を少しずつしか読めないが、興味がわいたら、インターネット上で作品を読んだり、図書館でその作家の本を手に取ったり、関連書をのぞいたりするきっかけになるかもしれない。英語の授業としては英文解釈の練習を行ない、英文を楽しみながら読み、英語を読みながら考える時間になることをめざしている。

授業の到達目標

To have broader knowledge and perspective (through reading different types of written works)
(さまざまな種類の作品や書き物を読むことで)より広い知識と見解を持つ

To be able to express oneself more clearly and logically in writing, utilizing reference tools and other resources effectively
自分の考えを、さまざまな参照手段や方策を効果的に活用しながら、より明確かつ論理的に文章で表現することができる

To be able to comprehend and use new vocabulary
新しい語彙を理解して使用することができる

To be able to speak in front of others more effectively
他の人の前でより効果的に話すことができる

以下の 3 点を満たすことが、B 評価(70 点以上)の必要条件として要求される。

1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。
2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。
3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	9/18	08:50-10:30		ガイダンス	授業概要、読み物紹介	畔柳　和代	講義とアクティブラーニング
3-4	9/25	08:50-10:30		小説の手紙	誰への手紙か――小説のなかの手紙を読む。	畔柳　和代	講義と発表
5-6	10/2	08:50-10:30		手紙のなかの詩	前回の作中の手紙に出てくる詩を読む。	畔柳　和代	講義と発表
7-8	10/9	08:50-10:30		詩のなかの自然	自然を描いた詩を読む。	畔柳　和代	講義と発表

9-10	10/16	08:50-10:30		科学者が見る海	ノンフィクションに書かれた海の描写を読む。	畔柳 和代	講義と発表
11-12	10/23	08:50-10:30		文学者が見る海	海の描写を読む。	畔柳 和代	講義と発表
13-14	10/30	08:50-10:30		アメリカの自然	歴史書の一節を読む。	畔柳 和代	講義とアクティブラーニング
15-16	11/6	08:50-10:30		科学者の病	短篇小説の中の科学者について考える。	畔柳 和代	講義とアクティブラーニング
17-18	11/13	08:50-10:30		子どもの問題1	子どもから見た社会問題を描いた長編小説の一部を読む。	畔柳 和代	講義とアクティブラーニング
19-20	11/20	08:50-10:30		子どもの問題2	作品のなかの子どもの世界に見られる社会問題について考える。	畔柳 和代	講義とアクティブラーニング
21-22	11/27	08:50-10:30		昔の SF	育てるということについて(人間がエイリアンを育てる、超人が凡人を育てる、犬が人間を育てる等)	畔柳 和代	講義とアクティブラーニング
23-24	12/4	08:50-10:30		クリスマス 1	家族とクリスマス	畔柳 和代	講義とアクティブラーニング
25-26	12/11	08:50-10:30		クリスマス 2	モノについて――クリスマスとお金について	畔柳 和代	講義とアクティブラーニング
27-28	12/18	08:50-10:30		最終課題に向けて	発表と授業内課題	畔柳 和代	講義とアクティブラーニング
29-30	1/8	08:50-10:30		まとめ	フィードバック	畔柳 和代	講義とアクティブラーニング

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価:participation:40%, in-class tasks 25%, assignments and short presentations 35%

再評価: 有(再評価方法 「英語 I」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 IC」についての評価方法です。「英語 I」は ABC の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語 I」は前期2クラス(英語 IA,IB)および選択制の後期1クラス(英語 IC)の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。3クラスすべての履修は必須です。なお、再評価の対象となるのは、英語 I の ABC の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、3クラスのうち2クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

連絡先（メールアドレス） kuroyanagi.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 水・木　12:30−13:00　管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	004132				
科目名	英語ＩC			**科目ID**	
担当教員	野口　大斗[NOGUCHI Hiroto]				
開講時期	2024 年度後期	**対象年次**	1～		
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間:水曜　1 講
・対象:全学科
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):
　別表3－4)
　別表4－5)

授業の目的、概要等

This course focuses on active listening and oral English skills. Throughout the course, students will have opportunities to discuss and give presentations on a wide range of topics. After successfully completing this course, students should be able to speak in English without taking long pauses or reading from a script.

授業の到達目標

To be able to engage in extended discussions in English on a range of topics
多様なトピックについて、英語でより長い議論をすることができる

To be able to comprehend and use new vocabulary
新しい語彙を理解して使用することができる

To be able to speak in front of others more effectively
他の人の前でより効果的に話すことができる

To be able to overcome shyness and worries about stating opinions and communicating in imperfect English
完璧な英語でなくとも、羞恥心に打ち勝ち、自分の意見を英語で伝え議論に参加することができる

以下の 3 点を満たすことが、B 評価(70 点以上)の必要条件として要求される。

1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。
2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。
3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	9/18	08:50-10:30		Guidance Course	Introduction	野口　大斗	Active Learning, Seminar
3-4	9/25	08:50-10:30		Topic 1	Discussion Practice 1	野口　大斗	Active Learning, Seminar
5-6	10/2	08:50-10:30		Topic 2	Discussion Practice 2	野口　大斗	Active Learning, Seminar
7-8	10/9	08:50-10:30		Topic 3	Discussion Practice 3	野口　大斗	Active Learning,

							Seminar
9–10	10/16	08:50–10:30		Topic 4	Discussion Practice 4	野口 大斗	Active Learning, Seminar
11–12	10/23	08:50–10:30		Pre-test Preparation	Practice	野口 大斗	Active Learning, Seminar
13–14	10/30	08:50–10:30		In-Class Exam	Discussion Test	野口 大斗	Active Learning, Seminar
15–16	11/6	08:50–10:30		Topic 5	Presentation Practice 1	野口 大斗	Active Learning, Seminar
17–18	11/13	08:50–10:30		Topic 6	Presentation Practice 2	野口 大斗	Active Learning, Seminar
19–20	11/20	08:50–10:30		Topic 7	Presentation Practice 3	野口 大斗	Active Learning, Seminar
21–22	11/27	08:50–10:30		Group Presentation	PowerPoint Presentation	野口 大斗	Active Learning, Seminar
23–24	12/4	08:50–10:30		Topic 8	Presentation Practice 4	野口 大斗	Active Learning, Seminar
25–26	12/11	08:50–10:30		Topic 9	Presentation Practice 5	野口 大斗	Active Learning, Seminar
27–28	12/18	08:50–10:30		Topic 10	Presentation Practice 6	野口 大斗	Active Learning, Seminar
29–30	1/8	08:50–10:30		Individual Presentation	Poster Presentation	野口 大斗	Active Learning, Seminar

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2–13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: participation 25%　quizzes and assignments 15%　discussion test 20%　group presentation 20%　individual presentation 20%

再評価: 有(再評価方法 「英語 I」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 IC」についての評価方法です。「英語 I」は ABC の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語 I」は前期2クラス(英語 IA,IB)および選択制の後期1クラス(英語 IC)の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。3クラスすべての履修は必須です。なお、再評価の対象となるのは、英語 I の ABC の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、3クラスのうち2クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
連絡先（メールアドレス） 畔柳　和代:kuroyanagi.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 畔柳　和代:水・木　12:30-13:00　管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	004133				
科目名	英語ＩＣ			**科目ID**	
担当教員	Richard Knobbs[RICHARD Knobbs]				
開講時期	2024 年度後期	**対象年次**	1～		
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間:水曜 1 講

・対象:全学科

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表3－4)

別表4－5)

授業の目的、概要等

The purpose of this speaking course is to increase students' communicative skills and confidence to use English. Students will develop the ability to speak on a wide range of topics in conversations. They will also have opportunities to prepare and give presentations.

授業の到達目標

To be able to engage in extended discussions in English on a range of topics
多様なトピックについて、英語でより長い議論をすることができる

To be able to comprehend and use new vocabulary
新しい語彙を理解して使用することができる

To be able to speak in front of others more effectively
他の人の前でより効果的に話すことができる

To be able to overcome shyness and worries about stating opinions and communicating in imperfect English
完璧な英語でなくとも、羞恥心に打ち勝ち、自分の意見を英語で伝え議論に参加することができる

以下の 3 点を満たすことが、B 評価(70 点以上)の必要条件として要求される。

1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。
2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。
3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	到達目標・学習方法・その他
1-4	9/18	08:50-12:25		Orientation	Course Introduction	Active Learning, Seminar
5-8	9/25	08:50-12:25		Topic 1	Listening and Speaking Activities	Active Learning, Seminar
9-12	10/2	08:50-12:25		Topic 2	Listening and Speaking Activities	Active Learning, Seminar
13-16	10/9	08:50-12:25		Topic 3	Listening and Speaking Activities	Active Learning, Seminar
17-20	10/16	08:50-12:25		Topic 4	Listening and Speaking Activities	Active Learning, Seminar
21-24	10/23	08:50-12:25		Topic 5	Listening and Speaking Activities	Active Learning, Seminar
25-28	10/30	08:50-12:25		Topic 6	Listening and Speaking Activities	Active Learning, Seminar
29-32	11/6	08:50-12:25		Topic 7	Listening and Speaking Activities	Active Learning, Seminar
33-36	11/13	08:50-12:25		Topic 8	Listening and Speaking Activities	Active Learning, Seminar
37-40	11/20	08:50-12:25		Topic 9	Listening and Speaking Activities	Active Learning, Seminar

41–44	11/27	08:50–12:25		Topic 10	Listening and Speaking Activities	Active Learning, Seminar
45–48	12/4	08:50–12:25		Topic 11	Listening and Speaking Activities	Active Learning, Seminar
49–52	12/11	08:50–12:25		Topic 12	Listening and Speaking Activities	Active Learning, Seminar
53–56	12/18	08:50–12:25		Topic 13	Listening and Speaking Activities	Active Learning, Seminar
57–60	1/8	08:50–12:25		Wrap-up	Discussion Test	Active Learning, Seminar

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2–13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: Quizzes/assignments: 25%　Final discussion test: 25%

Participation: 50%

再評価: 有(再評価方法 「英語 I」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 IC」についての評価方法です。「英語 I」は ABC の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語 I」は前期2クラス(英語 IA,IB)および選択制の後期1クラス(英語 IC)の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。3クラスすべての履修は必須です。なお、再評価の対象となるのは、英語 I の ABC の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、3クラスのうち2クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

連絡先(メールアドレス)

畔柳 和代:kuroyanagi.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

畔柳 和代:水・木 12:30–13:00 管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	004135				
科目名	英語ＩＣ			**科目ID**	
担当教員	猪熊　恵子[INOKUMA KEIKO]				
開講時期	2024 年度後期	**対象年次**	1～		
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間:水曜　1 講
・対象学科:全学科
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):
　別表3－4)
　別表4－5)

授業の目的、概要等

英語で書かれた詩や散文(小説などのフィクション作品を含む)、エッセイ等、多様なジャンルの英文を読む
自分の読解を他者の読解と比較検討しつつ、複雑な構文や日本語とは違うレトリックを使用する英文を正確に読解するための訓練を重ねる
最終的に、読み終えた英文に関しての自分なりの解釈をまとめ、それを他の学生に説明しつつ、他の学生の解釈と併せて議論することによって、自らの考えを相対化する

授業の到達目標

To have broader knowledge and perspective (through reading different types of written works)
(さまざまな種類の作品や書き物を読むことで)より広い知識と見解を持つ

To be able to express oneself more clearly and logically in writing, utilizing reference tools and other resources effectively
自分の考えを、さまざまな参照手段や方策を効果的に活用しながら、より明確かつ論理的に文章で表現することができる

To be able to comprehend and use new vocabulary
新しい語彙を理解して使用することができる

To be able to speak in front of others more effectively
他の人の前でより効果的に話すことができる

以下の 3 点を満たすことが、B 評価(70 点以上)の必要条件として要求される。

1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。
2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。
3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	9/18	08:50-10:30		第一回授業(概要)	授業概要説明	猪熊　恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式.
3-4	9/25	08:50-10:30		第二回授業(リーディング基礎1)	古い時代の英詩を読みながら構造を考える	猪熊　恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式. 授業内発表に基づく議論と読解
5-6	10/2	08:50-10:30		第三回授業(リーディン	新しい時代の英詩を読みながら構	猪熊　恵子	アクティブ・ラーニ

				グ基礎2)	造を考える		ング、演習形式. 授業内発表に基づく議論と読解
7-8	10/9	08:50-10:30		第四回授業(リーディング実践1)	イギリス短編小説を読む1	猪熊 恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式. アサインメント(1)の提出
9-10	10/16	08:50-10:30		第五回授業(リーディング実践2)	イギリス短編小説を読む2	猪熊 恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式. 授業内発表に基づく議論と読解
11-12	10/23	08:50-10:30		第六回授業(リーディング実践3)	イギリス短編小説を読む3	猪熊 恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式. 授業内発表に基づく議論と読解
13-14	10/30	08:50-10:30		第七回授業(議論に基づいて解釈を深める1)	イギリス現代小説を読む1	猪熊 恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式. 授業内発表に基づく議論と読解
15-16	11/6	08:50-10:30		第八回授業(議論に基づいて解釈を深める2)	イギリス現代小説を読む2	猪熊 恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式. アサインメント(2)の提出
17-18	11/13	08:50-10:30		第九回授業(議論に基づいて解釈を深める3)	イギリス現代小説を読む3	猪熊 恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式. 授業内発表に基づく議論と読解
19-20	11/20	08:50-10:30		第十回授業(議論に基づいて解釈を深める4)	イギリス現代小説を読む4	猪熊 恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式. 授業内発表に基づく議論と読解
21-22	11/27	08:50-10:30		第十一回授業(社会と文学のつながり1／英語と日本語の違い)	イギリス文化とフィクション(1)	猪熊 恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式. 授業内発表に基づく議論と読解
23-24	12/4	08:50-10:30		第十二回授業(社会と文学のつながり2／英語と日本語の違い)	イギリス文化とフィクション(2)	猪熊 恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式. 授業内発表に基づく議論と読解
25-26	12/11	08:50-10:30		第十三回授業(社会と文学のつながり3／英語と日本語の違い)	イギリス文化とフィクション(3)	猪熊 恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式. レポートの計画書を練る
27-28	12/18	08:50-10:30		第十四回授業(自分たちの読解を振り返る)	レポートのテーマに基づく議論回	猪熊 恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式. レポートに基づく議論
29-30	1/8	08:50-10:30		第十五回授業(まとめ)	最終レポート返却、講評	猪熊 恵子	アクティブ・ラーニ

							ング、演習形式. 教員からの講評

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2–13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価:class participatio:20% in-class assignments plus presentations:50%, final essay:30%

再評価: 有(再評価方法 「英語 I」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 IC」についての評価方法です。「英語 I」は ABC の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語 I」は前期2クラス(英語 IA,IB)および選択制の後期1クラス(英語 IC)の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。3クラスすべての履修は必須です。なお、再評価の対象となるのは、英語 I の ABC の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、3クラスのうち2クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

連絡先(メールアドレス)

inokuma.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

水・木曜日 12時30分～13時 管理研究棟 3階 猪熊研究室

時間割番号	004136				
科目名	英語ＩＣ			**科目ID**	
担当教員	PATRICK FOSS[PATRICK FOSS]				
開講時期	2024 年度後期	**対象年次**	1～		
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間:水曜 1 講
・対象:全学科
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):
別表3－4)
別表4－5)

授業の目的、概要等

Medical and dental professionals often have to write and present about issues in the field and their own individual research or ideas. In this course, students will study about a topic of their choice and explain what they learn to others through writing and presentation/discussion activities.

授業の到達目標

To be able to engage in extended discussions in English on a range of topics
多様なトピックについて、英語でより長い議論をすることができる

To have broader knowledge and perspective (through reading different types of written works)
(さまざまな種類の作品や書き物を読むことで)より広い知識と見解を持つ

To be able to express oneself more clearly and logically in writing, utilizing reference tools and other resources effectively
自分の考えを、さまざまな参照手段や方策を効果的に活用しながら、より明確かつ論理的に文章で表現することができる

To be able to comprehend and use new vocabulary
新しい語彙を理解して使用することができる

To be able to speak in front of others more effectively
他の人の前でより効果的に話すことができる

To be able to overcome shyness and worries about stating opinions and communicating in imperfect English
完璧な英語でなくとも、羞恥心に打ち勝ち、自分の意見を英語で伝え議論に参加することができる

以下の 3 点を満たすことが、B 評価(70 点以上)の必要条件として要求される。

1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。
2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。
3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方

							法・その他
1-2	9/18	08:50-10:30		Orientation	Course Introduction	PATRICK F OSS	Active Learning, Seminar
3-4	9/25	08:50-10:30		Finding Sources	Taking Notes Effectively	PATRICK F OSS	Active Learning, Seminar
5-6	10/2	08:50-10:30		Summaries	Summary 1	PATRICK F OSS	Active Learning, Seminar
7-8	10/9	08:50-10:30		Summaries	Writing Review / Summary 2	PATRICK F OSS	Active Learning, Seminar
9-10	10/16	08:50-10:30		Summaries	Writing Review / Summary 3	PATRICK F OSS	Active Learning, Seminar
11-12	10/23	08:50-10:30		Organizing Ideas	Writing Review / Outlining	PATRICK F OSS	Active Learning, Seminar
13-14	10/30	08:50-10:30		Research Discussion	Research Discussion / Citing Sources	PATRICK F OSS	Active Learning, Seminar
15-16	11/6	08:50-10:30		Presenting Individual Research I	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS	Active Learning, Seminar
17-18	11/13	08:50-10:30		Presenting Individual Research I	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS	Active Learning, Seminar
19-20	11/20	08:50-10:30		Presenting Individual Research I	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS	Active Learning, Seminar
21-22	11/27	08:50-10:30		Presenting Individual Research I	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS	Active Learning, Seminar
23-24	12/4	08:50-10:30		Presenting Individual Research II	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS	Active Learning, Seminar
25-26	12/11	08:50-10:30		Presenting Individual Research II	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS	Active Learning, Seminar
27-28	12/18	08:50-10:30		Presenting Individual Research II	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS	Active Learning, Seminar
29-30	1/8	08:50-10:30		Future Possibilities	Special Session	PATRICK F OSS	Active Learning, Seminar

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: participation 20%　presentations 20%　writing assignments 60%

再評価: 有(再評価方法 「英語 I」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 IC」についての評価方法です。「英語 I」は ABC の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語 I」は前期2クラス（英語 IA,IB）および選択制の後期1クラス（英語 IC）の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。3クラスすべての履修は必須です。なお、再評価の対象となるのは、英語 I の ABC の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、3クラスのうち2クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

連絡先（メールアドレス）

foss.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週水曜日 PM.12:30–PM.1:00

管理研究棟 3階 フォス研究室

時間割番号	004137				
科目名	英語ＩＣ			**科目ID**	
担当教員	Reed Jesse Ryan[REED Jesse Ryan]				
開講時期	2024 年度後期	**対象年次**	1～		
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間:水曜 2 講
・対象:全学科
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):
別表3－4)
別表4－5)

授業の目的、概要等

The purpose of this speaking course is to increase students' communicative skills and confidence to use English in public situations. Students will develop the ability to speak extensively on prepared and impromptu topics, in both conversation and presentation formats. This semester will focus evenly on conversation and presentation practice.

授業の到達目標

To be able to engage in extended discussions in English on a range of topics
多様なトピックについて、英語でより長い議論をすることができる

To be able to comprehend and use new vocabulary
新しい語彙を理解して使用することができる

To be able to speak in front of others more effectively
他の人の前でより効果的に話すことができる

To be able to overcome shyness and worries about stating opinions and communicating in imperfect English
完璧な英語でなくとも、羞恥心に打ち勝ち、自分の意見を英語で伝え議論に参加することができる

以下の 3 点を満たすことが、B 評価(70 点以上)の必要条件として要求される。

1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。
2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。
3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	9/18	10:45-12:25		Class 1	Intro to Discussion	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar
3-4	9/25	10:45-12:25		Class 2	Intro to Presentations	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar
5-6	10/2	10:45-12:25		Class 3	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar
7-8	10/9	10:45-12:25		Class 4	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar

9–10	10/16	10:45–12:25		Class 5	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar
11–12	10/23	10:45–12:25		Class 6	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar
13–14	10/30	10:45–12:25		Class 7	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar
15–16	11/6	10:45–12:25		Class 8	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar
17–18	11/13	10:45–12:25		Class 9	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar
19–20	11/20	10:45–12:25		Class 10	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar
21–22	11/27	10:45–12:25		Class 11	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar
23–24	12/4	10:45–12:25		Class 12	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar
25–26	12/11	10:45–12:25		Class 13	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar
27–28	12/18	10:45–12:25		Class 14	Discussion/Presentation Practice	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar
29–30	1/8	10:45–12:25		Class 15	Discussion Test	Reed Jesse Ryan	Active Learning, Seminar

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2–13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: participation 40% presentations 25% discussion test 25% homework 10%

再評価: 有(再評価方法 「英語 I」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 IC」についての評価方法です。「英語 I」は ABC の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語 I」は前期2クラス(英語 IA,IB)および選択制の後期1クラス(英語 IC)の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。3クラスすべての履修は必須です。なお、再評価の対象となるのは、英語 I の ABC の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、3クラスのうち2クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

連絡先（メールアドレス）
畔柳　和代:kuroyanagi.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー
畔柳　和代:水・木　12:30-13:00　管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	004138				
科目名	英語ＩＣ			**科目ID**	
担当教員	MIYA MARUTSUKA[Miya Marutsuka]				
開講時期	2024 年度後期	**対象年次**	1～		
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間:水曜 2 講
・対象:全学科
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):
別表3－4)
別表4－5)

授業の目的、概要等

Do you want to improve your ability to talk about health? This course will focus on health-related conversations, in addition to improving your listening, vocabulary, pronunciation, and presentation skills. Topics to be covered include: aging, smoking, exercise, food, stress and dental care.

授業の到達目標

To be able to engage in extended discussions in English on a range of topics
多様なトピックについて、英語でより長い議論をすることができる

To be able to comprehend and use new vocabulary
新しい語彙を理解して使用することができる

To be able to speak in front of others more effectively
他の人の前でより効果的に話すことができる

To be able to overcome shyness and worries about stating opinions and communicating in imperfect English
完璧な英語でなくとも、羞恥心に打ち勝ち、自分の意見を英語で伝え議論に参加することができる

以下の 3 点を満たすことが、B 評価(70 点以上)の必要条件として要求される。

1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。
2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。
3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	9/18	10:45-12:25		Orientation	Course Introduction	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
3-4	9/25	10:45-12:25		Topic 1	Discussion 1	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
5-6	10/2	10:45-12:25		Topic 2	Discussion 2	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
7-8	10/9	10:45-12:25		Topic 3	Discussion 3	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar

9–10	10/16	10:45–12:25		Activities	Group Assignment	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
11–12	10/23	10:45–12:25		Activities	Group Assignment	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
13–14	10/30	10:45–12:25		Topic 4	Discussion 4	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
15–16	11/6	10:45–12:25		Topic 5	Discussion 5	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
17–18	11/13	10:45–12:25		Activities	Group Assignment	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
19–20	11/20	10:45–12:25		Activities	Group Assignment	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
21–22	11/27	10:45–12:25		Topic 6	Discussion 6	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
23–24	12/4	10:45–12:25		Activities	Group Assignment	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
25–26	12/11	10:45–12:25		Activities	Group Assignment	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
27–28	12/18	10:45–12:25		Activities	Group Assignment	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar
29–30	1/8	10:45–12:25		Topic 7	Discussion 7	MIYA MARU TSUKA	Active Learning, Seminar

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2–13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: participation/homework 30% group assignments 20% quizzes 25% discussion test 25%

再評価: 有(再評価方法 「英語 I」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 IC」についての評価方法です。「英語 I」は ABC の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語 I」は前期2クラス(英語 IA,IB)および選択制の後期1クラス(英語 IC)の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。3クラスすべての履修は必須です。なお、再評価の対象となるのは、英語 I の ABC の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、3クラスのうち2クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

連絡先（メールアドレス）
畔柳　和代:kuroyanagi.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー
畔柳　和代:水・木　12:30-13:00　管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	004140				
科目名	英語ＩＣ			**科目ID**	
担当教員	野口　大斗[NOGUCHI Hiroto]				
開講時期	2024 年度後期	**対象年次**	1～		
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間:水曜　2 講
・対象:全学科
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):
　別表3－4)
　別表4－5)

授業の目的、概要等

This course focuses on active listening and oral English skills. Throughout the course, students will have opportunities to discuss and give presentations on a wide range of topics. After successfully completing this course, students should be able to speak in English without taking long pauses or reading from a script.

授業の到達目標

To be able to engage in extended discussions in English on a range of topics
多様なトピックについて、英語でより長い議論をすることができる

To be able to comprehend and use new vocabulary
新しい語彙を理解して使用することができる

To be able to speak in front of others more effectively
他の人の前でより効果的に話すことができる

To be able to overcome shyness and worries about stating opinions and communicating in imperfect English
完璧な英語でなくとも、羞恥心に打ち勝ち、自分の意見を英語で伝え議論に参加することができる

以下の 3 点を満たすことが、B 評価(70 点以上)の必要条件として要求される。

1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。
2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。
3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	9/18	10:45-12:25		Guidance Course	Introduction	野口　大斗	Active Learning, Seminar
3-4	9/25	10:45-12:25		Topic 1	Discussion Practice 1	野口　大斗	Active Learning, Seminar
5-6	10/2	10:45-12:25		Topic 2	Discussion Practice 2	野口　大斗	Active Learning, Seminar
7-8	10/9	10:45-12:25		Topic 3	Discussion Practice 3	野口　大斗	Active Learning, Seminar

9–10	10/16	10:45–12:25		Topic 4	Discussion Practice 4	野口 大斗	Active Learning, Seminar
11–12	10/23	10:45–12:25		Pre-test Preparation	Practice	野口 大斗	Active Learning, Seminar
13–14	10/30	10:45–12:25		In-Class Exam	Discussion Test	野口 大斗	Active Learning, Seminar
15–16	11/6	10:45–12:25		Topic 5	Presentation Practice 1	野口 大斗	Active Learning, Seminar
17–18	11/13	10:45–12:25		Topic 6	Presentation Practice 2	野口 大斗	Active Learning, Seminar
19–20	11/20	10:45–12:25		Topic 7	Presentation Practice 3	野口 大斗	Active Learning, Seminar
21–22	11/27	10:45–12:25		Group Presentation	PowerPoint Presentation	野口 大斗	Active Learning, Seminar
23–24	12/4	10:45–12:25		Topic 8	Presentation Practice 4	野口 大斗	Active Learning, Seminar
25–26	12/11	10:45–12:25		Topic 9	Presentation Practice 5	野口 大斗	Active Learning, Seminar
27–28	12/18	10:45–12:25		Topic 10	Presentation Practice 6	野口 大斗	Active Learning, Seminar
29–30	1/8	10:45–12:25		Individual Presentation	Poster Presentation	野口 大斗	Active Learning, Seminar

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2–13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: participation 25% quizzes and assignments 15% discussion test 20% group presentation 20% individual presentation 20%

再評価: 有(再評価方法 「英語 I」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 IC」についての評価方法です。「英語 I」は ABC の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語 I」は前期2クラス(英語 IA,IB)および選択制の後期1クラス(英語 IC)の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。3クラスすべての履修は必須です。なお、再評価の対象となるのは、英語 I の ABC の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、3クラスのうち2クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

連絡先（メールアドレス）
畔柳　和代:kuroyanagi.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー
畔柳　和代:水・木　12:30-13:00　管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	004141				
科目名	英語ＩＣ			**科目ID**	
担当教員	Richard Knobbs[RICHARD Knobbs]				
開講時期	2024 年度後期	**対象年次**	1～		
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間:水曜 2 講

・対象:全学科

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表3－4)

別表4－5)

授業の目的、概要等

The purpose of this speaking course is to increase students' communicative skills and confidence to use English. Students will develop the ability to speak on a wide range of topics in conversations. They will also have opportunities to prepare and give presentations.

授業の到達目標

To be able to engage in extended discussions in English on a range of topics

多様なトピックについて、英語でより長い議論をすることができる

To be able to comprehend and use new vocabulary

新しい語彙を理解して使用することができる

To be able to speak in front of others more effectively

他の人の前でより効果的に話すことができる

To be able to overcome shyness and worries about stating opinions and communicating in imperfect English

完璧な英語でなくとも、羞恥心に打ち勝ち、自分の意見を英語で伝え議論に参加することができる

以下の 3 点を満たすことが、B 評価(70 点以上)の必要条件として要求される。

1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。
2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。
3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	到達目標・学習方法・その他
1-4	9/18	13:30-17:05		Orientation	Course Introduction	Active Learning, Seminar
5-8	9/25	13:30-17:05		Topic 1	Listening and Speaking Activities	Active Learning, Seminar
9-12	10/2	13:30-17:05		Topic 2	Listening and Speaking Activities	Active Learning, Seminar
13-16	10/9	13:30-17:05		Topic 3	Listening and Speaking Activities	Active Learning, Seminar
17-20	10/16	13:30-17:05		Topic 4	Listening and Speaking Activities	Active Learning, Seminar
21-24	10/23	13:30-17:05		Topic 5	Listening and Speaking Activities	Active Learning, Seminar
25-28	10/30	13:30-17:05		Topic 6	Listening and Speaking Activities	Active Learning, Seminar
29-32	11/6	13:30-17:05		Topic 7	Listening and Speaking Activities	Active Learning, Seminar
33-36	11/13	13:30-17:05		Topic 8	Listening and Speaking Activities	Active Learning, Seminar
37-40	11/20	13:30-17:05		Topic 9	Listening and Speaking Activities	Active Learning, Seminar

41–44	11/27	13:30–17:05		Topic 10	Listening and Speaking Activities	Active Learning, Seminar
45–48	12/4	13:30–17:05		Topic 11	Listening and Speaking Activities	Active Learning, Seminar
49–52	12/11	13:30–17:05		Topic 12	Listening and Speaking Activities	Active Learning, Seminar
53–56	12/18	13:30–17:05		Topic 13	Listening and Speaking Activities	Active Learning, Seminar
57–60	1/8	13:30–17:05		Wrap-up	Discussion Test	Active Learning, Seminar

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2–13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: Quizzes/assignments: 25%　Final discussion test: 25%

Participation: 50%

再評価: 有(再評価方法 「英語 I」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 IC」についての評価方法です。「英語 I」は ABC の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語 I」は前期2クラス(英語 IA,IB)および選択制の後期1クラス(英語 IC)の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。3クラスすべての履修は必須です。なお、再評価の対象となるのは、英語 I の ABC の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、3クラスのうち2クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

連絡先(メールアドレス)

畔柳 和代:kuroyanagi.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

畔柳 和代:水・木 12:30–13:00 管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	004142				
科目名	英語ＩC			**科目ID**	
担当教員	畔柳　和代[KUROYANAGI KAZUYO]				
開講時期	2024 年度後期	**対象年次**	1～		
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間:水曜　2 講

・対象:全学科

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表3－4)

別表4－5)

授業の目的、概要等

児童文学、SF、回想録、歴史書、手紙、詩などを読む。2024 年度は女性作家の作品を多く取り上げ、作品が書かれた時代や社会についても調べ、考える時間を作る。授業ではそれぞれの作品を少しずつしか読めないが、興味がわいたら、インターネット上で作品を読んだり、図書館でその作家の本を手に取ったり、関連書をのぞいたりするきっかけになるかもしれない。英語の授業としては英文解釈の練習を行ない、英文を楽しみながら読み、英語を読みながら考える時間になることをめざしている。

授業の到達目標

To have broader knowledge and perspective (through reading different types of written works)
(さまざまな種類の作品や書き物を読むことで)より広い知識と見解を持つ

To be able to express oneself more clearly and logically in writing, utilizing reference tools and other resources effectively
自分の考えを、さまざまな参照手段や方策を効果的に活用しながら、より明確かつ論理的に文章で表現することができる

To be able to comprehend and use new vocabulary
新しい語彙を理解して使用することができる

To be able to speak in front of others more effectively
他の人の前でより効果的に話すことができる

以下の 3 点を満たすことが、B 評価(70 点以上)の必要条件として要求される。

1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。
2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。
3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	9/18	10:45-12:25		ガイダンス	授業概要、読み物紹介	畔柳　和代	講義とアクティブラーニング
3-4	9/25	10:45-12:25		小説の手紙	誰への手紙か――小説のなかの手紙を読む。	畔柳　和代	講義と発表
5-6	10/2	10:45-12:25		手紙のなかの詩	前回の作中の手紙に出てくる詩を読む。	畔柳　和代	講義と発表
7-8	10/9	10:45-12:25		詩のなかの自然	自然を描いた詩を読む。	畔柳　和代	講義と発表

9–10	10/16	10:45–12:25		科学者が見る海	ノンフィクションに書かれた海の描写を読む。	畔柳 和代	講義と発表
11–12	10/23	10:45–12:25		文学者が見る海	海の描写を読む。	畔柳 和代	講義と発表
13–14	10/30	10:45–12:25		アメリカの自然	歴史書の一節を読む。	畔柳 和代	講義と発表
15–16	11/6	10:45–12:25		科学者の病	短篇小説の中の科学者について考える。	畔柳 和代	講義と発表
17–18	11/13	10:45–12:25		子どもの問題1	子どもから見た社会問題を描いた長編小説の一部を読む。	畔柳 和代	講義と発表
19–20	11/20	10:45–12:25		子どもの問題2	作品のなかの子どもの世界に見られる社会問題について考える。	畔柳 和代	講義と発表
21–22	11/27	10:45–12:25		昔の SF	育てるということについて(人間がエイリアンを育てる、超人が凡人を育てる、犬が人間を育てる等)	畔柳 和代	講義と発表
23–24	12/4	10:45–12:25		クリスマス 1	家族とクリスマス	畔柳 和代	講義とアクティブラーニング
25–26	12/11	10:45–12:25		クリスマス 2	モノについて——クリスマスとお金について	畔柳 和代	講義とアクティブラーニング
27–28	12/18	10:45–12:25		最終課題に向けて	発表と授業内課題	畔柳 和代	発表および授業内課題
29–30	1/8	10:45–12:25		まとめ	フィードバック	畔柳 和代	講義とアクティブラーニング

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2–13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価:participation:40%, in-class tasks 25%, assignments and short presentations 35%

再評価: 有(再評価方法 「英語 I」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 IC」についての評価方法です。「英語 I」は ABC の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語 I」は前期2クラス(英語 IA,IB)および選択制の後期1クラス(英語 IC)の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。3クラスすべての履修は必須です。なお、再評価の対象となるのは、英語 I の ABC の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、3クラスのうち2クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

連絡先(メールアドレス)

kuroyanagi.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 水・木　12:30-13:00 管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	004143				
科目名	英語ＩC			**科目ID**	
担当教員	猪熊　恵子[INOKUMA KEIKO]				
開講時期	2024 年度後期	**対象年次**	1～		
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間:水曜　2 講
・対象学科:全学科
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):
　別表3－4)
　別表4－5)

授業の目的、概要等

英語で書かれた詩や散文(小説などのフィクション作品を含む)、エッセイ等、多様なジャンルの英文を読む
自分の読解を他者の読解と比較検討しつつ、複雑な構文や日本語とは違うレトリックを使用する英文を正確に読解するための訓練を重ねる
最終的に、読み終えた英文に関しての自分なりの解釈をまとめ、それを他の学生に説明しつつ、他の学生の解釈と併せて議論することによって、自らの考えを相対化する

授業の到達目標

To have broader knowledge and perspective (through reading different types of written works)
(さまざまな種類の作品や書き物を読むことで)より広い知識と見解を持つ

To be able to express oneself more clearly and logically in writing, utilizing reference tools and other resources effectively
自分の考えを、さまざまな参照手段や方策を効果的に活用しながら、より明確かつ論理的に文章で表現することができる

To be able to comprehend and use new vocabulary
新しい語彙を理解して使用することができる

To be able to speak in front of others more effectively
他の人の前でより効果的に話すことができる

以下の 3 点を満たすことが、B 評価(70 点以上)の必要条件として要求される。

1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。
2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。
3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	9/18	10:45-12:25		第一回授業(概要)	授業概要説明	猪熊　恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式.
3-4	9/25	10:45-12:25		第二回授業(リーディング基礎1)	古い時代の英詩を読みながら構造を考える	猪熊　恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式. 授業内発表に基づく議論と読解
5-6	10/2	10:45-12:25		第三回授業(リーディン	新しい時代の英詩を読みながら構	猪熊　恵子	アクティブ・ラーニ

				グ基礎2)	造を考える		ング、演習形式. 授業内発表に基づく議論と読解
7-8	10/9	10:45-12:25		第四回授業(リーディング実践1)	イギリス短編小説を読む1	猪熊 恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式. アサインメント(1)の提出
9-10	10/16	10:45-12:25		第五回授業(リーディング実践2)	イギリス短編小説を読む2	猪熊 恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式. 授業内発表に基づく議論と読解
11-12	10/23	10:45-12:25		第六回授業(リーディング実践3)	イギリス短編小説を読む3	猪熊 恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式. 授業内発表に基づく議論と読解
13-14	10/30	10:45-12:25		第七回授業(議論に基づいて解釈を深める1)	イギリス現代小説を読む1	猪熊 恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式. 授業内発表に基づく議論と読解
15-16	11/6	10:45-12:25		第八回授業(議論に基づいて解釈を深める2)	イギリス現代小説を読む2	猪熊 恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式. アサインメント(2)の提出
17-18	11/13	10:45-12:25		第九回授業(議論に基づいて解釈を深める3)	イギリス現代小説を読む3	猪熊 恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式. 授業内発表に基づく議論と読解
19-20	11/20	10:45-12:25		第十回授業(議論に基づいて解釈を深める4)	イギリス現代小説を読む4	猪熊 恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式. 授業内発表に基づく議論と読解
21-22	11/27	10:45-12:25		第十一回授業(社会と文学のつながり1／英語と日本語の違い)	イギリス文化とフィクション(1)	猪熊 恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式. 授業内発表に基づく議論と読解
23-24	12/4	10:45-12:25		第十二回授業(社会と文学のつながり2／英語と日本語の違い)	イギリス文化とフィクション(2)	猪熊 恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式. 授業内発表に基づく議論と読解
25-26	12/11	10:45-12:25		第十三回授業(社会と文学のつながり3／英語と日本語の違い)	イギリス文化とフィクション(3)	猪熊 恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式. レポートの計画書を練る
27-28	12/18	10:45-12:25		第十四回授業(自分たちの読解を振り返る)	レポートのテーマに基づく議論回	猪熊 恵子	アクティブ・ラーニング、演習形式. レポートに基づく議論
29-30	1/8	10:45-12:25		第十五回授業(まとめ)	最終レポート返却、講評	猪熊 恵子	アクティブ・ラーニ

							ング、演習形式. 教員からの講評

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2–13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Week 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価:class participatio:20% in-class assignments plus presentations:50%, final essay:30%

再評価: 有(再評価方法 「英語 I」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 IC」についての評価方法です。「英語 I」は ABC の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語 I」は前期2クラス(英語 IA,IB)および選択制の後期1クラス(英語 IC)の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。3クラスすべての履修は必須です。なお、再評価の対象となるのは、英語 I の ABC の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、3クラスのうち2クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

連絡先(メールアドレス)

inokuma.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

水・木曜日 12時30分～13時 管理研究棟 3階 猪熊研究室

時間割番号	004144				
科目名	英語ＩＣ			**科目ID**	
担当教員	PATRICK FOSS[PATRICK FOSS]				
開講時期	2024 年度後期	**対象年次**	1～		
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間:水曜 2 講
・対象:全学科
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):
別表3－4)
別表4－5)

授業の目的、概要等

Medical and dental professionals often have to write and present about issues in the field and their own individual research or ideas. In this course, students will study about a topic of their choice and explain what they learn to others through writing and presentation/discussion activities.

授業の到達目標

To be able to engage in extended discussions in English on a range of topics
多様なトピックについて、英語でより長い議論をすることができる

To have broader knowledge and perspective (through reading different types of written works)
(さまざまな種類の作品や書き物を読むことで)より広い知識と見解を持つ

To be able to express oneself more clearly and logically in writing, utilizing reference tools and other resources effectively
自分の考えを、さまざまな参照手段や方策を効果的に活用しながら、より明確かつ論理的に文章で表現することができる

To be able to comprehend and use new vocabulary
新しい語彙を理解して使用することができる

To be able to speak in front of others more effectively
他の人の前でより効果的に話すことができる

To be able to overcome shyness and worries about stating opinions and communicating in imperfect English
完璧な英語でなくとも、羞恥心に打ち勝ち、自分の意見を英語で伝え議論に参加することができる

以下の 3 点を満たすことが、B 評価(70 点以上)の必要条件として要求される。

1. 授業内で課される課題や試験等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で受験または提出すること。
2. 教員から返却される添削ファイルおよびコメントを受けて自らの英語の問題点を客観的に把握し、修正してより良いものに仕上げること。
3. 授業および添削・コメントから得た知見を次回以降の課題作成、またはクラス内活動に参加の際に活かすこと。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他

1-2	9/18	10:45-12:25		Orientation	Course Introduction	PATRICK F OSS	Active Learning, Seminar
3-4	9/25	10:45-12:25		Finding Sources	Taking Notes Effectively	PATRICK F OSS	Active Learning, Seminar
5-6	10/2	10:45-12:25		Summaries	Summary 1	PATRICK F OSS	Active Learning, Seminar
7-8	10/9	10:45-12:25		Summaries	Writing Review / Summary 2	PATRICK F OSS	Active Learning, Seminar
9-10	10/16	10:45-12:25		Summaries	Writing Review / Summary 3	PATRICK F OSS	Active Learning, Seminar
11-12	10/23	10:45-12:25		Organizing Ideas	Writing Review / Outlining	PATRICK F OSS	Active Learning, Seminar
13-14	10/30	10:45-12:25		Research Discussion	Research Discussion / Citing Sources	PATRICK F OSS	Active Learning, Seminar
15-16	11/6	10:45-12:25		Presenting Individual Research I	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS	Active Learning, Seminar
17-18	11/13	10:45-12:25		Presenting Individual Research I	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS	Active Learning, Seminar
19-20	11/20	10:45-12:25		Presenting Individual Research I	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS	Active Learning, Seminar
21-22	11/27	10:45-12:25		Presenting Individual Research I	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS	Active Learning, Seminar
23-24	12/4	10:45-12:25		Presenting Individual Research II	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS	Active Learning, Seminar
25-26	12/11	10:45-12:25		Presenting Individual Research II	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS	Active Learning, Seminar
27-28	12/18	10:45-12:25		Presenting Individual Research II	Reading/Writing/Presentation Activities	PATRICK F OSS	Active Learning, Seminar
29-30	1/8	10:45-12:25		Future Possibilities	Special Session	PATRICK F OSS	Active Learning, Seminar

授業方法

Skills Instruction and Practice

授業内容

Week 1: Orientation

Weeks 2-13: Skills Instruction and Continuous Assessment

Weeks 14 and 15: Review and/or Final Assessment

Detailed class contents will be determined based on the needs of the class and are subject to change.

成績評価の方法

評価: participation 20% presentations 20% writing assignments 60%

再評価: 有(再評価方法 「英語 I」としての学年末課題)

・上記のパーセンテージは、「英語 IC」についての評価方法です。「英語 I」は ABC の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Attendance and participation are both essential.

試験の受験資格

「英語 I」は前期2クラス（英語 IA,IB）および選択制の後期1クラス（英語 IC）の3クラスの成績を合わせて最終的な成績を算出します。3クラスすべての履修は必須です。なお、再評価の対象となるのは、英語 I の ABC の各クラスに原則として3分の2以上出席した者です。ただし、3クラスのうち2クラス以上で 60 点未満の成績がついた者には原則として再評価の機会を与えません。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。

連絡先（メールアドレス）

foss.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週水曜日 PM.12:30-PM.1:00

管理研究棟 3階 フォス研究室

時間割番号	000051				
科目名	生物学入門			科目ID	LA-113900-L
担当教員	塚田　岳大, 時本　楠緒子[TSUKADA Takehiro, TOKIMOTO Naoko]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

対象学科:医学科・歯学科・検査技術学専攻

受講資格:入学試験で生物を選択しなかった学生、高校で生物を履修しなかった学生

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):4－1

主な講義場所

国府台キャンパス

授業の目的、概要等

・この授業では、入学試験で生物学を選択しなかった学生、高校で生物を履修しなかった学生を対象とする。

・生物の形態及び機能の単位である「細胞」に関する基本的な知識を習得することと、「代謝と遺伝」の基本的な仕組みを理解し、説明できることを目的とする。

授業の到達目標

1. 細胞の基本構造と細胞内小器官の機能を説明することができる。
2. 生物を構成する物質の種類と機能を説明することができる。
3. 代謝と遺伝の仕組みを説明することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-4	4/12	08:50-12:25		塚田　岳大 時本　楠緒子
5-8	4/19	08:50-12:25		塚田　岳大 時本　楠緒子
9-12	4/26	08:50-12:25		塚田　岳大 時本　楠緒子
13-16	5/10	08:50-12:25		塚田　岳大 時本　楠緒子
17-20	5/17	08:50-12:25		塚田　岳大 時本　楠緒子

授業方法

・講義形式

・アクティブラーニングを取り入れる。具体的には、毎週の講義の最後に翌週の講義で取り扱う項目を示すので、その内容について各自で自己学習を行うこと。翌週の最初にその内容についての小テストを行う。リアクションペーパーに疑問点を書かせる。これらをその後の講義で詳しく解説する。

授業内容

第 1 回　個体の階層構造、基本的な組織、細胞膜
第 2 回　核と細胞内小器官
第 3 回　細胞骨格、細胞接着
第 4 回　生体の構成元素、タンパク質
第 5 回　核酸、糖質、脂質
第 6 回　酵素反応
第 7 回　筋収縮
第 8 回　糖質の代謝
第 9 回　脂質の代謝、タンパク質の代謝
第 10 回　染色体、メンデルの法則
第 11 回　細胞周期、体細胞分裂

第 12 回 DNA の複製、細胞の死

成績評価の方法

以下の方法で評価する。

評価:試験 85%・レポート 0%・その他(小テスト)15%

再評価:有(再試験)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習等についての具体的な指示

アクティブラーニング:有

・WebClass に講義に関する資料を掲示する。また、毎週の講義の最後に翌週の講義で取り扱う項目を示す。これらの情報を基にして、翌週の講義内容について各自で自己学習を行うこと。

・翌週の最初にその内容についての小テストを行い、その後の講義で詳しく解説する。

試験の受験資格

定期試験・再試験の受験資格:3 分の 2 以上の出席

教科書

はじめの一歩の生化学・分子生物学／前野正夫, 磯川桂太郎著,前野, 正夫,磯川, 桂太郎,:羊土社, 2016

人体の構造と機能／エレイン N.マリーブ著 ; 林正健二 [ほか] 訳,Marieb, Elaine Nicpon,林正, 健二,:医学書院, 2015

参考書

Molecular biology of the cell／Bruce Alberts, Alexander Johnson, Julian Lewis, David Morgan, Martin Raff, Keith Roberts, Peter Walter,with problems by John Wilson, Tim Hunt,Johnson, Alexander D,Lewis, Julian, 1946–2014,Morgan, David Owen, 1958–,Wilson, John, 1944–,Hunt, Tim, 1943–:Garland Science, Taylor and Francis Group, 2015

Essential cell biology／Bruce Alberts, Karen Hopkin, Alexander Johnson, David Morgan, Martin Raff, Keith Roberts, Peter Walter:Garland Science, Taylor and Francis Group, 2019

履修上の注意事項

期末試験の受験資格は「東京医科歯科大学試験規則」による。

時間割番号	000052				
科目名	化学入門			科目ID	LA-114000-Z
担当教員	勝又　敏行[KATSUMATA TOSHIYUKI]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間:金曜日 1～4 限(変則開講)

・対象学科:医学科・歯学科・保健衛生学科検査技術学専攻

・受験資格:入学試験で化学を選択しなかった者

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表4−1)入学時に不足している基礎学力を一定レベルに引き上げる

授業の目的、概要等

入試で化学を選択しなかったものに対し、高校卒業レベルの化学の知識を身につけるために開講する。高校レベルの化学を理解していないと、学部レベルはもちろん、大学教養レベルの化学(一般化学、化学実験など)すらついていけなくなるであろう。この授業では物理化学の基礎の他に、無機化学、有機化学の基礎も扱う。

授業の到達目標

高校卒業レベルの化学の知識を身につけ、大学での講義に対応できるようになることを目標とする。

高校の教科書および指定した教科書の章末問題を自力で8割解けるレベルが、GPA における「B」に相当する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-4	4/12	08:50-12:25		原子の構造	原子の構造	勝又 敏行, 奈良 雅之	原子の構造について理解する。講義と演習による。
5-8	4/19	08:50-12:25		有機化学1	有機化学1	勝又 敏行, 奈良 雅之	有機化合物の構造について理解する。講義と演習による。
9-12	4/26	08:50-12:25		溶液の性質	溶液の性質	勝又 敏行, 奈良 雅之	溶液の性質について理解する。講義と演習による。
13-16	5/10	08:50-12:25		有機化学 2	有機化学 2	勝又 敏行, 奈良 雅之	有機化合物の構造について理解する。講義と演習による。
17-20	5/17	08:50-12:25		高分子化合物	高分子化合物	勝又 敏行, 奈良 雅之	高分子化合物について理解する。講義と演習による。

授業方法

講義を基本とするが、適宜演習問題を解くことによりアクティブラーニングを取り入れる

授業内容

1. 物質の構造　物質の構成要素:元素・単体・化合物、原子と分子

化学結合、化学量論:原子量・分子量・式量、化学反応式

2. 物質の状態　物質の状態変化と粒子の運動:物質の三態・蒸発熱・融解熱と沸点・融点、

気体:気体定数と状態方程式・理想気体と実在気体、

溶液:溶液の濃度と溶解度・希薄溶液の性質、コロイド

3. 物質の変化　化学反応と熱:熱化学方程式・結合エネルギー、
酸と塩基の反応:水素イオン濃度とpH・中和反応と中和滴定、
酸化還元反応、化学反応の速さと化学平衡
4. 単体と無機化合物　周期表と元素の分類、典型元素、遷移元素
5. 有機化合物　有機化合物の特徴と分類、脂肪族炭化水素、酸素を含む脂肪族化合物、芳香族化合物
6. 高分子化合物　高分子化合物の特徴と分類、天然物高分子化合物、合成高分子化合物

成績評価の方法

評価:試験 100%・レポート 0%

再評価:有(再評価方法:再試験)

化学の基礎を理解することが重要なので、試験のみによる評価を行う。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

テキストを事前に読んで、解り難かったところを把握しておいてください。

試験の受験資格

定期試験・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席

教科書

系統看護学講座／奈良, 雅之,:医学書院, 2018

参考書

化学／岡崎三代, 奈良雅之, 永井裕, 中澤泰男 著,:医歯薬出版, 2005

化学入門／下井守, 村田滋 著,:東京化学同人, 2013

化学入門／大野公一 [ほか]著,:共立出版, 1997

一般化学／Jerome L.Rosenberg, Lawrence M.Epstein 共著,一国雅巳 訳,:オーム社, 1995

大学生のための例題で学ぶ化学入門／大野公一, 村田滋, 錦織紳一 著,大野, 公一, 1945-,村田, 滋, 1956-,錦織, 紳一, 1953-,:共立出版, 2005

他科目との関連

化学(化学M, 化学D, 化学T)を理解するためのバックグランドとなる。

連絡先(メールアドレス)

勝又 敏行:katsumata.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

勝又 敏行:毎週金曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 2 階化学実験準備室

時間割番号	000053				
科目名	物理学入門			科目ID	LA-114100-Z
担当教員	檜枝 光憲[HIEDA MITSUNORI]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:金曜 1～2 講(4/12～5/17)

対象学科:医学科・歯学科・検査技術学専攻

受講資格:入試で化学・生物を選択した人(物理未履修者向け)

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表4－1)

授業の目的、概要等

物理学は自然科学の中でもっとも基礎的な学問のひとつです。物理学の基礎知識および物理学的なものの見方は、高度なテクノロジーに基づく理工系や医療分野には必須の概念です。本講義は、入試で物理を選択しなかった人(高校で物理を選択しなかった人や物理は履修したが理解が不十分な人)向けに物理学入門講義を行います。

授業の到達目標

以下の項目について高校卒業程度の知識を獲得し理解する。

1. 位置、速度、加速度の概念を理解する
2. 物体が受ける力を見つけ、運動方程式を立式できるようになる
3. 仕事、力学的エネルギー、運動量の概念を理解する
4. 電気と磁気の基本を理解する

授業内容の7割の理解を B 評価とする。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	4/12	08:50-10:30		イントロダクション 力学1(力のつりあい)	檜枝 光憲	講義、演習
3-4	4/12	10:45-12:25		力学2(物体の運動)	檜枝 光憲	講義、演習、小テスト1
5-6	4/19	08:50-10:30		力学3(力と運動)	檜枝 光憲	講義、演習
7-8	4/19	10:45-12:25		力学4(等速円運動と単振動)	檜枝 光憲	講義、演習、小テスト2
9-10	4/26	08:50-10:30		力学5(仕事とエネルギー)	檜枝 光憲	講義、演習
11-12	4/26	10:45-12:25		力学6(運動量と力積)	檜枝 光憲	講義、演習、小テスト3
13-14	5/10	08:50-10:30		電磁気1(電気と磁気)	檜枝 光憲	講義、演習
15-16	5/10	10:45-12:25		電磁気2(電気と磁気)	檜枝 光憲	講義、演習、小テスト4
17-18	5/17	08:50-10:30		波	檜枝 光憲	講義、演習
19-20	5/17	10:45-12:25		本試験	檜枝 光憲	本試験

授業方法

講義とアクティブ・ラーニング(演習、議論、etc)

授業内容

第1-2回 イントロダクション、力学1(力のつりあい)、力学2(物体の運動)、小テスト1

第3-4回 力学3(力と運動)、力学4(等速円運動と単振動)、小テスト2

第5-6回 力学5(仕事とエネルギー)、力学6(運動量と力積)、小テスト3

第7-8回 電磁気1-2、小テスト4

第9-10回 波、本試験

成績評価の方法

授業の到達目標の達成度を主にテストもしくはレポートで評価する。

評価 ： 試験 60%、 その他 ： 小テスト(もしくはレポート) 40%
再評価: 有

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

毎週実施する小テストに備えて授業の予習と復習を十分に行うこと。

試験の受験資格

原則 2/3 以上の出席が必要

教科書

これだけはおさえたい物理／金原粲 編著,曽江久美, 筑紫格, 馬場茂, 藤井恵子 著:実教出版, 2009

参考書

もういちど読む数研の高校物理／数研出版編集部 編,:数研出版, 2012

もういちど読む数研の高校物理／数研出版編集部 編,:数研出版, 2012

履修上の注意事項

原則 2/3 以上の出席が必要。 出欠管理システムより、教員自身が取る出欠を優先させる。

連絡先(メールアドレス)

hieda.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週水曜日 12:30～13:00 ヒポ 3F 教員研究室 3

時間割番号	000268				
科目名	数学 I			科目 ID	LA-114200-Z
担当教員	中林 潤, 中山 まどか[NAKABAYASHI Junn, NAKAYAMA Madoka]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表 2−1)

主な講義場所

国府台キャンパス

ヒポクラテス棟講義室

授業の目的、概要等

情報科学,データサイエンスをはじめとする諸科学の数学的基盤である線形代数と微積分の概要について学ぶ.線形代数では行列と連立一次方程式,行列の固有値の基礎と計算方法を通して,線形構造や線形写像の考え方を学ぶ.微積分では高校で学習した 1 変数関数の微積分から発展して,多変数関数の微積分の基礎と計算方法を通して,極限操作や非線形解析の考え方を学ぶ.

授業の到達目標

集合と写像,ベクトル空間について説明できる.

基本的な線形演算,行列計算ができる.

行列の固有値,固有ベクトルについて説明できる.

多変数の極致問題について説明できる.

基本的な重積分の計算ができる.

授業方法

基本的に対面の講義を行うが,状況によって遠隔の授業に切り替える.講義はスライドを使って進める.

授業内容

数の体系

数列と級数

初等関数

ベクトル空間

行列の演算

連立一次方程式

固有値,固有ベクトル

多変数関数の微分積分

成績評価の方法

期末試験の成績,出席状況,講義中の態度,提出物の内容を勘案して総合的に評価する.

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による.

準備学習等についての具体的な指示

特に準備学習は必要ないが,講義内容を復習してしっかりと身につけること.

試験の受験資格

講義の 3 分の 2 回以上の出席

参考書

アメリカの中学生が学んでいる 14 歳からの数学／ワークマンパブリッシング,水谷, 淳, 1970−,ワークマンパブリッシング 著,水谷淳 訳:ダイヤモンド社, 2022.3

偏微分・重積分・線形代数／上村, 豊,坪井, 堅二,上村豊, 坪井堅二著:東京化学同人, 2004.10

数学入門／上村, 豊, 1953−,坪井, 堅二, 1954−,上村豊, 坪井堅二 著:東京化学同人, 2019.9

教養の線形代数／村上, 正康,佐藤, 恒雄, 1935-,野沢, 宗平,村上正康, 佐藤恒雄, 野澤宗平, 稲葉尚志 共著:培風館, 2008.2
微分積分学／難波, 誠, 1943-,難波誠 著:裳華房, 1996.12

連絡先(メールアドレス)

中林 潤:nakab.las@tmd.ac.jp
中山 まどか:nakayama.madoka@tmd.ac.jp

オフィスアワー

中林 潤:月曜～金曜
A.M.10:00 – P.M. 05:00
国府台キャンパス 4 階 教官研究室―9
中山 まどか:前期:火 12:20～13:00
後期:木 12:20～13:00
質問等随時メールで受け付けています。

時間割番号	000269				
科目名	数学ＩM			科目ID	LA-114201-Z
担当教員	中林　潤[NAKABAYASHI Junn]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1		
実務経験のある教員による授業					

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表 2－1)

主な講義場所

国府台キャンパス

ヒポクラテス棟講義室

授業の目的、概要等

情報科学,データサイエンスをはじめとする諸科学の数学的基盤である線形代数と微積分の概要について学ぶ.線形代数では行列と連立一次方程式,行列の固有値の基礎と計算方法を通して,線形構造や線形写像の考え方を学ぶ.微積分では高校で学習した 1 変数関数の微積分から発展して,多変数関数の微積分の基礎と計算方法を通して,極限操作や非線形解析の考え方を学ぶ.

授業の到達目標

集合と写像,ベクトル空間について説明できる.

基本的な線形演算,行列計算ができる.

行列の固有値,固有ベクトルについて説明できる.

多変数の極致問題について説明できる.

基本的な重積分の計算ができる.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	4/23	10:45-12:25	1 番教室	中林　潤
3-4	4/30	10:45-12:25	1 番教室	中林　潤
5-6	5/7	10:45-12:25	1 番教室	中林　潤
7-8	5/14	10:45-12:25	1 番教室	中林　潤
9-10	5/21	10:45-12:25	1 番教室	中林　潤
11-12	5/28	10:45-12:25	1 番教室	中林　潤
13-14	6/4	10:45-12:25	1 番教室	中林　潤
15-16	6/11	10:45-12:25	1 番教室	中林　潤
17-18	6/18	10:45-12:25	1 番教室	中林　潤
19-20	6/25	10:45-12:25	1 番教室	中林　潤

授業方法

基本的に対面の講義を行うが,状況によって遠隔の授業に切り替える.講義はスライドを使って進める.

授業内容

第 1 回　イントロ

第 2 回　数の体系　初等関数

第 3 回　数列と級数

第 4 回　ベクトル　行列

第 5 回　線形代数

第 6 回　固有値,固有ベクトル

第 7 回　高階の微分とテイラー展開

第 8 回　微分　偏微分

第 9 回　積分　重積分

第 10 回　プレテスト

成績評価の方法 期末試験の成績(70%),出席状況＋講義中の態度＋提出物の内容(30%)で評価する.
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による.
準備学習等についての具体的な指示 特に準備学習は必要ないが,講義内容を復習してしっかりと身につけること.
試験の受験資格 講義の 3 分の 2 回以上の出席
連絡先(メールアドレス) nakab.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 月曜～金曜 A.M.10:00 – P.M. 05:00 国府台キャンパス 4 階　教官研究室―9

時間割番号	000270				
科目名	数学ＩＤ			**科目ID**	LA-114202-Z
担当教員	中山　まどか[NAKAYAMA Madoka]				
開講時期	2024 年度前期	**対象年次**	1		
実務経験のある教員による授業					

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表 2－1)

主な講義場所

国府台キャンパス

ヒポクラテス棟講義室

授業の目的、概要等

情報科学,データサイエンスをはじめとする諸科学の数学的基盤である線形代数と微積分の概要について学ぶ.線形代数では行列と連立一次方程式,行列の固有値の基礎と計算方法を通して,線形構造や線形写像の考え方を学ぶ.微積分では高校で学習した 1 変数関数の微積分から発展して,多変数関数の微積分の基礎と計算方法を通して,極限操作や非線形解析の考え方を学ぶ.

授業の到達目標

集合と写像,ベクトル空間について説明できる.

基本的な線形演算,行列計算ができる.

行列の固有値,固有ベクトルについて説明できる.

多変数の極致問題について説明できる.

基本的な重積分の計算ができる.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	4/23	10:45-12:25	7 番教室	中山　まどか
3-4	4/30	10:45-12:25	7 番教室	中山　まどか
5-6	5/7	10:45-12:25	7 番教室	中山　まどか
7-8	5/14	10:45-12:25	7 番教室	中山　まどか
9-10	5/21	10:45-12:25	7 番教室	中山　まどか
11-12	5/28	10:45-12:25	7 番教室	中山　まどか
13-14	6/4	10:45-12:25	7 番教室	中山　まどか
15-16	6/11	10:45-12:25	7 番教室	中山　まどか
17-18	6/18	10:45-12:25	7 番教室	中山　まどか
19-20	6/25	10:45-12:25	7 番教室	中山　まどか

授業方法

基本的に対面の講義を行うが,状況によって遠隔の授業に切り替える.講義はスライドを使って進める.

授業内容

第 1 回 ガイダンス、数の体系、数列と級数

第 2 回 関数:初等関数、極限と連続性

第 3 回 一変数関数の微分・積分

第 4 回 行列:定義と演算

第 5 回 連立 1 次方程式

第 6 回 ベクトル空間

第 7 回 行列の固有値・固有ベクトルと対角化

第 8 回　期末テスト

第 9 回 多変数関数の微分 ～偏微分・全微分、極値問題～

第 10 回 多変数関数の積分 ～逐次積分法、面積確定領域、変数変換とヤコビアン～

成績評価の方法

授業ごとの小レポート 40%、期末試験 60%

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による.

準備学習等についての具体的な指示

特に準備学習は必要ないが, 講義内容を復習してしっかりと身につけること.

試験の受験資格

講義の 3 分の 2 回以上の出席

参考書

アメリカの中学生が学んでいる 14 歳からの数学／ワークマンパブリッシング,水谷, 淳, 1970−,ワークマンパブリッシング 著,水谷淳 訳: ダイヤモンド社, 2022.3

偏微分・重積分・線形代数／上村, 豊,坪井, 堅二,上村豊, 坪井堅二著:東京化学同人, 2004.10

数学入門／上村, 豊, 1953−,坪井, 堅二, 1954−,上村豊, 坪井堅二 著:東京化学同人, 2019.9

教養の線形代数／村上, 正康,佐藤, 恒雄, 1935−,野沢, 宗平,村上正康, 佐藤恒雄, 野澤宗平, 稲葉尚志 共著:培風館, 2008.2

微分積分学／難波, 誠, 1943−,難波誠 著:裳華房, 1996.12

備考

オフィスアワー:水　12:30～13:00

質問は随時メールで受け付けています

nakayama.madoka@tmd.ac.jp

連絡先(メールアドレス)

nakayama.madoka@tmd.ac.jp

オフィスアワー

前期:火　12:20～13:00

後期:木　12:20～13:00

質問等随時メールで受け付けています。

時間割番号	000271				
科目名	数学ＩＴ			**科目ID**	LA-114203-Z
担当教員	中山　まどか[NAKAYAMA Madoka]				
開講時期	2024 年度前期	**対象年次**	1		
実務経験のある教員による授業					

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表 2－1)

主な講義場所

国府台キャンパス

ヒポクラテス棟講義室

授業の目的、概要等

情報科学,データサイエンスをはじめとする諸科学の数学的基盤である線形代数と微積分の概要について学ぶ.線形代数では行列と連立一次方程式,行列の固有値の基礎と計算方法を通して,線形構造や線形写像の考え方を学ぶ.微積分では高校で学習した 1 変数関数の微積分から発展して,多変数関数の微積分の基礎と計算方法を通して,極限操作や非線形解析の考え方を学ぶ.

授業の到達目標

集合と写像,ベクトル空間について説明できる.

基本的な線形演算,行列計算ができる.

行列の固有値,固有ベクトルについて説明できる.

多変数の極致問題について説明できる.

基本的な重積分の計算ができる.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	4/23	10:45-12:25	7 番教室	中山　まどか
3-4	4/30	10:45-12:25	7 番教室	中山　まどか
5-6	5/7	10:45-12:25	7 番教室	中山　まどか
7-8	5/14	10:45-12:25	7 番教室	中山　まどか
9-10	5/21	10:45-12:25	7 番教室	中山　まどか
11-12	5/28	10:45-12:25	7 番教室	中山　まどか
13-14	6/4	10:45-12:25	7 番教室	中山　まどか
15-16	6/11	10:45-12:25	7 番教室	中山　まどか
17-18	6/18	10:45-12:25	7 番教室	中山　まどか
19-20	6/25	10:45-12:25	7 番教室	中山　まどか

授業方法

基本的に対面の講義を行うが,状況によって遠隔の授業に切り替える.講義はスライドを使って進める.

授業内容

第 1 回 ガイダンス、数の体系、数列と級数

第 2 回 関数:初等関数、極限と連続性

第 3 回 一変数関数の微分・積分

第 4 回 行列:定義と演算

第 5 回 連立 1 次方程式

第 6 回 ベクトル空間

第 7 回 行列の固有値・固有ベクトルと対角化

第 8 回　期末テスト

第 9 回 多変数関数の微分 ～偏微分・全微分、極値問題～

第 10 回 多変数関数の積分 ～逐次積分法、面積確定領域、変数変換とヤコビアン～

成績評価の方法

授業ごとの小レポート 40%、期末試験 60%

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による.

準備学習等についての具体的な指示

特に準備学習は必要ないが, 講義内容を復習してしっかりと身につけること.

試験の受験資格

講義の 3 分の 2 回以上の出席

参考書

アメリカの中学生が学んでいる 14 歳からの数学／ワークマンパブリッシング,水谷, 淳, 1970−,ワークマンパブリッシング 著,水谷淳 訳: ダイヤモンド社, 2022.3

偏微分・重積分・線形代数／上村, 豊,坪井, 堅二,上村豊, 坪井堅二著:東京化学同人, 2004.10

数学入門／上村, 豊, 1953−,坪井, 堅二, 1954−,上村豊, 坪井堅二 著:東京化学同人, 2019.9

微分積分学／難波, 誠, 1943−,難波誠 著:裳華房, 1996.12

教養の線形代数／村上, 正康,佐藤, 恒雄, 1935−,野沢, 宗平,村上正康, 佐藤恒雄, 野澤宗平, 稲葉尚志 共著:培風館, 2008.2

備考

オフィスアワー:水　12:30〜13:00

質問は随時メールで受け付けています

nakayama.madoka@tmd.ac.jp

連絡先(メールアドレス)

nakayama.madoka@tmd.ac.jp

オフィスアワー

前期:火　12:20〜13:00

後期:木　12:20〜13:00

質問等随時メールで受け付けています。

時間割番号	000257				
科目名	物理学ＩＭ			科目ID	LA-114301-Z
担当教員	檜枝　光憲[HIEDA MITSUNORI]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1		
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:火曜　1 講

対象学科:医学科

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表2－1)、別表4－2)

授業の目的、概要等

力学は電磁気学と並んで物理学の基礎をなす重要な分野です。物体の落下運動など目で見える力学現象は皆さんの身の回りで起こることであり馴染みがあるでしょう。すでに高校物理でも力学を学び、様々な物体の運動(投げたボールの軌跡、人工衛星の軌道、バネの振動など)の未来の状況(たとえば位置と速度)がわかってしまうことに感動した諸君も多いかもしれません。本講義では微積分を使って大学レベルに発展させ、様々な物体の運動の解析に応用できるようにしていきます。

授業の到達目標

物体の運動が微分方程式で書けることを理解する。

様々な保存則が導出できることを理解する。

ニュートンの運動方程式(微分方程式)と様々な保存則を使い、いろいろな力学系の運動を解析できるようになる。

剛体の力学の基礎を理解する。

授業内容を理解し総合点が 70～79 点を B 評価とする。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	4/23	08:50-10:30	1 番教室	物理のための数学基礎	檜枝　光憲	講義、演習
3-4	4/30	08:50-10:30	1 番教室	力と運動 1:運動と微積分	檜枝　光憲	講義、演習
5-6	5/7	08:50-10:30	1 番教室	力と運動 2:運動方程式、エネルギー保存則	檜枝　光憲	講義、演習
7-8	5/14	08:50-10:30	1 番教室	振動 1:単振動と指数関数による解法、減衰振動	檜枝　光憲	講義、演習
9-10	5/21	08:50-10:30	1 番教室	振動 2:強制振動	檜枝　光憲	講義、演習
11-12	5/28	08:50-10:30	1 番教室	仕事と線積分、保存力、惑星の運動、角運動量保存	檜枝　光憲	講義、演習
13-14	6/4	08:50-10:30	1 番教室	剛体の力学 1	檜枝　光憲	講義、演習
15-16	6/11	08:50-10:30	1 番教室	剛体の力学 2	檜枝　光憲	講義、演習
17-18	6/18	08:50-10:30	1 番教室	剛体の力学 3	檜枝　光憲	講義、演習
19-20	6/25	08:50-10:30	1 番教室	期末テスト	檜枝　光憲	試験

授業方法

講義とアクティブ・ラーニング(演習、議論、etc)

授業内容

1　物理のための数学基礎

2　力と運動 1:運動と微積分

3　力と運動 2:運動方程式、エネルギー保存則

4　振動 1:単振動と指数関数による解法、減衰振動

5　振動 2:強制振動

5　仕事と線積分、保存力、惑星の運動、角運動量保存

7　剛体の力学 1

8　剛体の力学 2

9　剛体の力学 3

10 期末テスト

成績評価の方法

授業の到達目標の達成度を主に期末テストおよび授業内演習の提出状況により評価する。

評価 : 試験 60%
演習課題 40%
再評価: 有 (試験)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

授業後にきちんと復習すること。

試験の受験資格

原則 2/3 以上の出席が必要

参考書

力学／川村, 清, 1939-,阿部, 竜蔵, 1930-,川村清 著:裳華房, 1998.10

履修上の注意事項

原則 2/3 以上の出席が必要。 出欠管理システムより、教員自身が取る出欠を優先させる。

備考

授業アンケートへの対応:
2019～2022 年度 授業内容に関する大きな要望はありませんでした。

連絡先(メールアドレス)

hieda.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週水曜日 12:30～13:00 ヒポ 3F 教員研究室 3

時間割番号	000258				
科目名	物理学ＩD･T			科目ID	LA-114302-Z
担当教員	越野　和樹[KOSHINO KAZUKI]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1		
実務経験のある教員による授業					

曜日･時間:火曜　1 講

･科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)

別表2－1)

別表4－2)

主な講義場所

6･7番教室

授業の目的、概要等

ボールの運動から太陽のまわりを回る惑星の運動にいたるまで、我々の身の回りで見られる殆どの運動は、17世紀にニュートンによりまとめられた「ニュートン力学」によって定量的に説明できます。ニュートン力学によれば、運動方程式や万有引力の法則などの数個の基本法則に基づいて、あらゆる物理現象を統一的かつ定量的に説明することができます。また、基本法則を発展させることによって、エネルギー保存のような新しい概念を導出することができます。力学を学ぶことによって、物体の運動の基本法則を知ると同時に、基本法則に基づいて物理現象を理解しようとする考え方や、基本法則をどのように具体的事象に適用してゆくかを学びます。具体的には、(ｉ)物体の運動が微分方程式という言葉で表現されること、(ｉｉ)基本方程式から様々な保存則が導かれること、(iii)それらを適用して実際の物体の運動を予言すること、を学びます。

物理学では、これまでに積み重ねられてきた知識は、抽象的な「法則」としてまとめられており、教科書や講義ではそれらの法則を中心に学びます。一方、自分自身で実際に手を動かして、これらの抽象的法則を様々な具体的対象に適用してみることにより、物理学に対する理解は格段に深まります。本科目では、講義中に演習問題を用意しますから、講義の場でそれらを解き、講義時間のうちに内容を理解することを目指して下さい。

授業の到達目標

ニュートン力学の提供する世界観を理解し、その現実系への適用技法に熟達すること。具体的には,

- 物体の運動が微分方程式という言葉で表現されることを理解する。
- 基本方程式から様々な保存則を導出する。
- 運動方程式や保存則を適用して実際の物体の運動を予言できるようになる。

GPA における「B」(本試験合格レベル)の条件は, 演習を 7 割程度解答できることとする.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標･学習方法･その他
1-2	4/23	08:50-10:30	7 番教室, 6 番教室	運動学	WebClass に資料がある	越野　和樹	アクティブラーニング:アンケート(webclass)
3-4	4/30	08:50-10:30	7 番教室, 6 番教室	テーラー展開	WebClass に資料がある	越野　和樹	アクティブラーニング:アンケート(webclass)
5-6	5/7	08:50-10:30	7 番教室, 6 番教室	運動の法則, さまざまな力	WebClass に資料がある	越野　和樹	アクティブラーニング:アンケート(webclass)
7-8	5/14	08:50-10:30	7 番教室	重力	WebClass に資料がある	越野　和樹	アクティブラーニング:アンケート(webclass)
9-10	5/21	08:50-10:30	7 番教室	振動(1)	WebClass に資料がある	越野　和樹	アクティブラーニ

							ング:アンケート(webclass)
11-12	5/28	08:50-10:30	7番教室	振動(2)	WebClassに資料がある	越野 和樹	アクティブラーニング:アンケート(webclass)
13-14	6/4	08:50-10:30	7番教室	仕事とエネルギー	WebClassに資料がある	越野 和樹	アクティブラーニング:アンケート(webclass)
15-16	6/11	08:50-10:30	7番教室	万有引力	WebClassに資料がある	越野 和樹	アクティブラーニング:アンケート(webclass)
17-18	6/18	08:50-10:30	7番教室	質点系	WebClassに資料がある	越野 和樹	アクティブラーニング:アンケート(webclass)
19-20	6/25	08:50-10:30	7番教室	剛体, 総合演習	WebClassに資料がある	越野 和樹	アクティブラーニング:アンケート(webclass)

授業方法

講義およびアクティブラーニング(演習, 講義内容要約)

授業内容

授業スケジュール参照

成績評価の方法

評価:期末考査(約80%)授業への参加度(出欠状況やアンケート回答内容, 約20%)

再評価:上記評価が6割未満の者に対して再試験を行う

授業内容の理解度を測るために期末考査や演習を行い, その成績および授業への参加度で評価を行う.

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

講義資料をあらかじめダウンロードし印刷しておくことを前提とする.

試験の受験資格

2/3以上, 講義に出席していること. 出欠は, 教室での点呼およびwebclassアンケートへの回答により確認する.

教科書

基礎物理学力学／秋光純, 秋光正子, 松川宏, 越野和樹 共著,:培風館, 2016

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より, 教員がとる出欠を優先させる.

参照ホームページ

webclass内に掲示する

連絡先(メールアドレス)

ikuzak.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週火曜日 12:30—13:00 ヒポクラテス4階

時間割番号	000288				
科目名	数学Ⅱ（α）			科目ID	LA-114401-Z
担当教員	中林　潤[NAKABAYASHI Junn]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1		
実務経験のある教員による授業					

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表 2－1）

主な講義場所

国府台キャンパス

ヒポクラテス棟講義室

授業の目的、概要等

微分方程式の基本的な理論を学び,様々な現象を微分方程式で定式化する方法を理解できるようになる.微分方程式の解析手法を学び,解析結果から元の現象の理解を深める.

授業の到達目標

微分方程式を使って現象を定式化できる

変数分離型の微分方程式を解ける

平衡点の安定性について論じることができる

コンピュータを使って微分方程式の数値計算を実行できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-4	7/2	08:50-12:25	10 番教室	中林　潤
5-8	7/9	08:50-12:25	10 番教室	中林　潤
9-12	7/16	08:50-12:25	10 番教室	中林　潤
13-16	7/23	08:50-12:25	10 番教室	中林　潤
17-20	7/30	08:50-12:25	10 番教室	中林　潤

授業方法

基本的に対面授業を行うが,状況により遠隔授業に変更する.スライドを使った講義,PC による計算機演習などを組み合わせて授業を行う.

授業内容

第 1 回　微分方程式の基礎

第 2 回　変数分離型の微分方程式の解法

第 3 回　連立微分方程式

第 4 回　微分方程式の数値計算法

第 5 回　微分方程式の数値計算実習①

第 6 回　微分方程式の数値計算実習②

第 7 回　2 階の線形微分方程式

第 8 回　時間遅れのある微分方程式

第 9 回　偏微分方程式①拡散方程式

第 10 回　偏微分方程式②波動方程式

成績評価の方法

期末試験の成績(70%)、出席状況＋講義中の態度＋提出物の内容(30%)で評価する.

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による.

準備学習等についての具体的な指示

特に準備学習は必要ないが,講義内容を復習してしっかりと身につけること.

試験の受験資格

講義の 3 分の 2 回以上の出席
連絡先（メールアドレス） nakab.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 月曜～金曜 A.M.10:00 – P.M. 05:00 国府台キャンパス 4 階　教官研究室―9

時間割番号	000289				
科目名	数学Ⅱ（β）			科目ID	LA-114402-Z
担当教員	徳永 伸一[TOKUNAGA SHINICHI]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1		
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:火曜 1-2 講

対象学科・専攻:医学科、歯学科

コンピテンシー:

2−1） 自然現象を科学的に探求するための方法論を知る

4−2） 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける

4−3） 自然現象を探求するための基本的手法を身につける

授業の目的、概要等

グラフ理論を中心とする離散数学を学習します。

「離散」とは「連続」と対立する概念です。主として有限で離散的な世界の現象を解析する数学を「離散数学」と呼びます。離散数学で扱う最も基本的かつ重要な構造の1つが「グラフ」(中学・高校で習う「関数のグラフ」とは異なる概念)であり、これを研究対象とする分野が「グラフ理論」です。たとえば「すべての地図は4色で色分けできる」という有名な「4色定理」は、グラフ理論の言葉を用いれば「すべての平面的グラフは 4-彩色可能」と表現することができます。4色定理の証明は長大ですが、その基本的なアイディアや興味深い一般化は、複雑な数式等を用いずに、誰でも理解することができます。

グラフはまた、データ構造・ネットワーク構造や分子構造等を数学的に抽象化したものと見なすこともできますので、近年大きく発展し、様々な分野で応用されています。しかし本科目では必ずしも「応用」は重視せず、4色定理を始めとする、グラフ理論およびその周辺の興味深いトピックをいくつか取り上げて学習し、それらを通じて、数式を伴わない数学的論理を、正確に理解し考察する能力を身に付けることを大きな目的とします。

さらに、直観的に理解可能な未解決問題が多数知られていることも、この分野の大きな魅力です。そういった「正解が用意されていない問題」に対して主体的にアプローチすることで、受講者の皆さんのリサーチ・マインドが育まれることを期待しています。

数学好きな人はもちろん、「これまで学校で習ってきた数学はあまり好きではない・得意ではない」という人にこそ、お勧めしたい科目です。

授業の到達目標

4色定理やグラフ理論のいくつかの基本的な定理について、その背景や証明のアイディアを理解し、関連する離散数学の問題、一般化された問題、未解決問題等について考察する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-4	4/30	08:50-12:25	計算機実習室	徳永 伸一
5-8	7/2	08:50-12:25	計算機実習室	徳永 伸一
9-12	7/9	08:50-12:25	計算機実習室	徳永 伸一
13-16	7/16	08:50-12:25	計算機実習室	徳永 伸一
17-20	7/23	08:50-12:25	計算機実習室	徳永 伸一

授業方法

講義と演習による。

(ほぼ毎回演習課題を課す予定です)

授業内容

以下のトピック(予定)について順次解説し、関連する問題による演習を行います。
・グラフの基礎概念
・ドミノ敷き詰め問題、マッチング問題(結婚定理)
・グラフのラベル付け問題(graceful tree 予想)
・グラフの周遊問題(オイラー回路とハミルトン閉路)
・美術館問題
・平面グラフに関する問題(多面体公式とその応用)
・グラフの彩色問題、4色定理とその一般化および周辺の問題

成績評価の方法

演習課題を主とし(80%程度)、授業への参加姿勢、レポート・ノート提出等によって総合的に評価します。
また履修者が一定数を越えた場合、全員または評価が一定基準に達していない学生を対象に、試験を行う可能性があります。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習等についての具体的な指示

必要に応じて Web 上の参考資料、動画等により予習してもらいます。
授業は段階的に進めていきますので、各回の復習をしっかり行ってください。

参考書

グラフ理論(増補改訂版)／恵羅博, 土屋守正 著,:産業図書, 2010
グラフ理論／R.ディーステル 著,根上生也, 太田克弘 訳,:シュプリンガー・フェアラーク東京, 2000
幾何学的グラフ理論／前原濶, 根上生也 著,:朝倉書店, 1992
離散構造／根上生也 著,:共立出版, 1993

他科目との関連

後期の「教養基礎セミナー」で本科目と関連する内容を一部扱う可能性があります。

履修上の注意事項

事前の予備知識があまり必要でない分、各回の授業内容の理解が重要になります。 授業時間内に行う演習等も重視しているため、欠席すると結果的に評価に大きく影響する可能性があります。

連絡先(メールアドレス)

tokunaga.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

前期:
火曜 12:30-13:20(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

後期:
木曜 12:30-13:20(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

＊いずれも計算機実習室で授業がある日なので、そちらにいることが多いです。
上記以外の時間帯でも、事前にＥメールで連絡をもらえれば可能な限り対応します。

時間割番号	000290				
科目名	数学Ⅱ（γ）			科目ID	LA-114403-Z
担当教員	中山 まどか[NAKAYAMA Madoka]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1		
実務経験のある教員による授業					

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表 2－1）

主な講義場所

国府台キャンパス講義室

授業の目的、概要等

常微分方程式の基礎を習得する。様々な現象を記述する常微分方程式の導出および解析手法を学ぶ。将来の諸課題への応用解析に備えるとともに、偏微分方程式や非線形問題などより複雑な数理モデルの研究の土台作りの役割を担う。

授業の到達目標

1. いくつかの現象が微分方程式で記述されることを理解する
2. 1 階および 2 階の線形常微分方程式の解法を習得する
3. 連立常微分方程式の解析方法を習得する

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-4	7/2	08:50-12:25	3 番教室	中山 まどか
5-8	7/9	08:50-12:25	3 番教室	中山 まどか
9-12	7/16	08:50-12:25	3 番教室	中山 まどか
13-16	7/23	08:50-12:25	3 番教室	中山 まどか
17-20	7/30	08:50-12:25	3 番教室	中山 まどか

授業方法

基本的に対面で行うが、状況によって遠隔授業に変更する。講義はスライドを用いる。

授業内容

第 1 回 ガイダンス
第 2 回 微分方程式の基本的な諸概念
第 3 回 1 階線形常微分方程式の解法
第 4 回 2 階線形常微分方程式の解法
第 5 回 連立常微分方程式の解析

成績評価の方法

授業ごとの小レポート 40%、期末レポート 60%

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による。

準備学習等についての具体的な指示

特に準備学習は必要ない。

試験の受験資格

講義の 3 分の 2 以上の出席

参考書

微分方程式の基礎 (数理科学ライブラリー／笠原 晧司:朝倉書店, 1982

備考

オフィスアワー:水　12:30～13:00
質問は随時メールで受け付けています
nakayama.madoka@tmd.ac.jp

連絡先(メールアドレス)

nakayama.madoka@tmd.ac.jp

オフィスアワー

前期:火　12:20～13:00

後期:木　12:20～13:00

質問等随時メールで受け付けています。

時間割番号	000260				
科目名	物理学ⅡM			科目ID	LA-114501-Z
担当教員	檜枝 光憲[HIEDA MITSUNORI]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1		
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:火曜 1 講・2 講

対象学科:医学科

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表2－1)、別表4－2)

授業の目的、概要等

電磁気学は力学と並んで物理学の基礎をなす重要な分野です。リニアモーターカーやハイブリッド車用モーターなどほとんどの電気・電子技術が電磁気学と関係しています。また、医療技術や人体においても電流、磁気、電磁波など電磁気学は重要な要素であると言って良いでしょう。しかしながら、電磁気学は力学と比較すると難しいという印象があるようです。その理由は、私たちは物体を動かしたり力をかけたりなど日常的に力学現象を経験しているのに対して、電磁気学については日常の中で経験している実感が皆無であるためと思われます(例えば電場や磁場というのは電荷や電流によって空間に生じる変化であり目に見えない)。本講義では電磁気学に関する基本的事項やそれに関わる現象・実験事実を丁寧に説明し、電磁気学の基本法則であるマクスウェル方程式を導出していきます。さらに電磁波の波動方程式を導き、音波と波動性という共通概念で書かれることを学んでいきます。

授業の到達目標

電磁気学に関する基本的事項やそれに関わる現象・実験事実を学び、電磁気学の基本法則であるマクスウェル方程式を導出できるようになる。また学んだ知識を応用し、いろいろな電磁気学現象を解析できるようになる。

さらに電磁波と音波が同じ波動性という共通の概念で書かれることを学ぶ。

授業内容を理解し総合点が 70～79 点を B 評価とする。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-4	7/2	08:50-12:25	1 番教室	授業1:イントロダクション(ベクトル解析、発散と回転)、 授業2:静電場 1 (積分形のガウスの法則)	檜枝 光憲	講義、演習
5-8	7/9	08:50-12:25	1 番教室	授業3:静電場 2(微分形のガウスの法則)、 授業4:静電ポテンシャル(電位)、コンデンサーと静電場エネルギー	檜枝 光憲	講義、演習
9-12	7/16	08:50-12:25	1 番教室	授業5:静磁場1(磁場に関するガウスの法則)、 授業6:静磁場2(アンペールの法則、ビオ・サバールの法則)	檜枝 光憲	講義、演習
13-16	7/23	08:50-12:25	1 番教室	授業7:時間的に変動する電場と磁場(マクスウェルの方程式)、 授業8:電磁波の波動方程式	檜枝 光憲	講義、演習
17-20	7/30	08:50-12:25	1 番教室	授業9:物質中の波動1(音波の波動方程式、 授業10:物質中の波動2 (音波の反射・透過)	檜枝 光憲	講義、演習

授業方法

講義とアクティブ・ラーニング(演習、議論、etc)

授業内容

1. イントロダクション : ベクトル解析 発散と回転
2. 静電場 1 : 積分形のガウスの法則
3. 静電場 2 : 微分形のガウスの法則、静電ポテンシャル(電位)
4. コンデンサーと静電場エネルギー

5. 静磁場1 : 磁場に関するガウスの法則
6. 静磁場2 : アンペールの法則、ビオ・サバールの法則
7. 時間的に変動する電場と磁場:マクスウェルの方程式
8. 電磁波の波動方程式
9. 物質中の波動 : 音波の波動方程式
10. 物質中の波動2 : 音波の反射・透過

成績評価の方法

授業の到達目標の達成度を主に中間・期末テストおよび授業内演習の提出状況により評価する。

評価 : 試験 60%
演習課題 40%
再評価: 有

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

授業後はきちんと復習すること。

試験の受験資格

原則2/3以上の出席が必要

参考書

電磁気学の考え方／砂川 重信／著,:岩波書店, 1993
物理学／小出昭一郎 著,:裳華房, 1997
振動と波／長岡洋介 著,:裳華房, 1992

備考

授業アンケートへの対応:
2019～2022年度 授業内容に関する指摘は特になかった。

連絡先(メールアドレス)

hieda.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週水曜日 12:30～13:00 ヒポ3F 教員研究室3

時間割番号	000261				
科目名	物理学ⅡD･T			科目ID	LA-114502-Z
担当教員	越野　和樹[KOSHINO KAZUKI]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1		
実務経験のある教員による授業					

･曜日･時間:火曜　1 講･2 講

･科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)

別表2－1)

別表4－2)

主な講義場所

6･7番教室

授業の目的、概要等

電界の基本概念、時間的に変化しない(定常的な)電荷分布とそれが作る電界との定量的な関係、自由電荷を有する導体が作る電界および導体を組み合わせたコンデンサー、電荷分布によるエネルギー、についての基本を学ぶ。さらに、磁束密度の基本概念、電流に作用する力と磁束密度との定量的な関係、定常的な電流分布とそれが作る磁束密度との定量的な関係、についての基本を学ぶ。

物理学では、これまでに積み重ねられてきた知識は、抽象的な「法則」としてまとめられており、教科書や講義ではそれらの法則を中心に学びます。一方、自分自身で実際に手を動かして、これらの抽象的法則を様々な具体的対象に適用してみることにより、物理学に対する理解は格段に深まります。本科目では、講義中に演習問題を用意しますから、講義の場でそれらを解き、講義時間のうちに内容を理解することを目指して下さい。

授業の到達目標

マックスウェル方程式(積分形)による電磁気学の体系を理解し, その現実系への適用技法に熟達すること。具体的には,「単純な電荷分布が作る電界」「電位と電界との関係」「コンデンサー」「磁束密度が電流に及ぼす力」「電流分布が作る磁束密度」といった項目について, 基本的な考え方を理解し、これらに関しての応用問題を解決できるようになること。

GPA における「B」(本試験合格レベル)の条件は, 演習を 7 割程度解答できることとする.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標･学習方法･その他
1-4	7/2	08:50-12:25	7 番教室, 6 番教室	電荷と電場, ガウス則, 電位	WebClass に資料がある	越野　和樹	アクティブラーニング:アンケート(webclass)
5-8	7/9	08:50-12:25	7 番教室, 6 番教室	コンデンサ	WebClass に資料がある	越野　和樹	アクティブラーニング:アンケート(webclass)
9-12	7/16	08:50-12:25	7 番教室, 6 番教室	電流, キルヒホフの法則	WebClass に資料がある	越野　和樹	アクティブラーニング:アンケート(webclass)
13-16	7/23	08:50-12:25	7 番教室, 6 番教室	ビオサバール則, アンペール則, 電磁誘導, コイル	WebClass に資料がある	越野　和樹	アクティブラーニング:アンケート(webclass)
17-20	7/30	08:50-12:25	7 番教室, 6 番教室	過渡応答, 複素インピーダンス, 総合演習	WebClass に資料がある	越野　和樹	アクティブラーニング:アンケート(webclass)

授業方法

講義およびアクティブラーニング(演習, 講義内容要約)

授業内容

授業スケジュール参照
成績評価の方法 評価:期末考査(約 80%)授業への参加度(出欠状況やアンケート回答内容, 約 20%) 再評価:期末考査が6割未満の者に対して再試験を行う 授業内容の理解度を測るために期末考査や演習を行い, その成績および授業への参加度で評価を行う.
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による
準備学習等についての具体的な指示 講義資料をあらかじめダウンロードし印刷しておくことを前提とする.
試験の受験資格 2/3 以上, 講義に出席していること. 出欠は, 教室での点呼および webclass アンケートへの回答により確認する.
参考書 グラフィック講義電磁気学の基礎／和田純夫 著,:サイエンス社, 2011
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より, 教員がとる出欠を優先させる.
参照ホームページ 授業資料を webclass からダウンロードすること
連絡先(メールアドレス) ikuzak.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週火曜日 12:30―13:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000841				
科目名	統計学			科目 ID	LA-114600-Z
担当教員	中林 潤, 中山 まどか[NAKABAYASHI Junn, NAKAYAMA Madoka]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表 2−1)

主な講義場所

国府台キャンパス

ヒポクラテス棟講義室

授業の目的、概要等

統計学で用いられる様々な手法について理論を理解し,結果を正しく解釈できるようになる. 自ら医学研究を計画したときに応用できるようになる.

授業の到達目標

(1) 統計学で必要な基礎(データの形, 母集団と標本 データの収集デザイン等)について説明できる

(2) 統計学における記述統計の重要性を理解し, データを視覚的に表し要約できる.

(3) 統計学推測の方法を説明できる.

(4) 目的に沿った解析手法を用いて解析できる.

(5) 解析結果を正しく解釈できる

授業方法

基本的に対面の講義を行うが,状況によって遠隔の授業に切り替える.講義はスライドを使って進める.

授業内容

統計学の基礎

データの形

母集団と標本,統計量

代表値と分散度

確率と確率分布

統計学的推測

2 群間比較

分割票の解析

回帰分析

生存時間解析

成績評価の方法

講義内小テストと提出課題の状況を勘案して総合的に判断する

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による.

準備学習等についての具体的な指示

特に準備学習は必要ないが,講義内容を復習してしっかりと身につけること.

試験の受験資格

講義の 3 分の 2 回以上の出席

参考書

基礎医学統計学／加納, 克己, 1941−,高橋, 秀人, 1963−,加納克己, 高橋秀人 共著:南江堂, 2019.3

連絡先(メールアドレス)

中林 潤:nakab.las@tmd.ac.jp

中山 まどか:nakayama.madoka@tmd.ac.jp

オフィスアワー

中林　潤:月曜～金曜
A.M.10:00 – P.M. 05:00
国府台キャンパス 4 階　教官研究室―9
中山　まどか:前期:火　12:20～13:00
後期:木　12:20～13:00
質問等随時メールで受け付けています。

時間割番号	000054				
科目名	統計学(α)			科目ID	LA-114601-Z
担当教員	中林 潤[NAKABAYASHI Junn]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1		
実務経験のある教員による授業					

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表 2−1)

主な講義場所

国府台キャンパス

ヒポクラテス棟講義室

授業の目的、概要等

統計学で用いられるサンプリング手法, 統計手法の理解及びその結果の正しい解釈ができ, 自ら医学研究を計画したときに応用できるようになる

授業の到達目標

(1) 統計学で必要な基礎(データの形, 母集団と標本 データの収集デザイン等)について説明できる

(2) 統計学における記述統計の重要性を理解し, データを視覚的に表し要約できる.

(3) 統計学推測の方法を説明できる.

(4) 目的に沿った解析手法を用いて解析できる.

(5) 解析結果を正しく解釈できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	4/23	13:30-15:10		中林 潤
3-4	4/30	13:30-15:10		中林 潤
5-6	5/7	13:30-15:10		中林 潤
7-8	5/14	13:30-15:10		中林 潤
9-10	5/21	13:30-15:10		中林 潤
11-12	5/28	13:30-15:10		中林 潤
13-14	6/4	13:30-15:10		中林 潤
15-16	6/11	13:30-15:10		中林 潤
17-18	6/18	13:30-15:10		中林 潤
19-20	6/25	13:30-15:10		中林 潤

授業方法

対面授業を基本とするが、状況に応じて遠隔講義などを適宜用いる

授業内容

・統計学の基礎

・データの記述と指標

・確率と確率分布

・統計的推測

・二群間比較

・分割票による解析

・回帰分析

・生存時間解析①

・生存時間解析②

成績評価の方法

期末試験の成績と講義内小テスト、提出課題、出席状況、講義に取り組む姿勢などを基に、総合的に評価する

成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による.
準備学習等についての具体的な指示 事前準備は特に必要ないが、授業で習ったことをしっかり復習しておくこと。
試験の受験資格 全講義の 2/3 以上の出席
連絡先(メールアドレス) nakab.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 月曜～金曜 A.M.10:00 – P.M. 05:00 国府台キャンパス 4 階　教官研究室―9

時間割番号	000055				
科目名	統計学(β)			**科目ID**	LA-114602-Z
担当教員	中山 まどか[NAKAYAMA Madoka]				
開講時期	2024 年度前期	**対象年次**	1		
実務経験のある教員による授業					

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表 2−1)

主な講義場所

国府台キャンパス

ヒポクラテス棟講義室

授業の目的、概要等

統計学で用いられるサンプリング手法, 統計手法の理解及びその結果の正しい解釈ができ, 自ら医学研究を計画したときに応用できるようになる

授業の到達目標

(1) 統計学で必要な基礎(データの形, 母集団と標本 データの収集デザイン等)について説明できる

(2) 統計学における記述統計の重要性を理解し, データを視覚的に表し要約できる.

(3) 統計学推測の方法を説明できる.

(4) 目的に沿った解析手法を用いて解析できる.

(5) 解析結果を正しく解釈できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	4/23	15:25-17:05		中山 まどか
3-4	4/30	15:25-17:05		中山 まどか
5-6	5/7	15:25-17:05		中山 まどか
7-8	5/14	15:25-17:05		中山 まどか
9-10	5/21	15:25-17:05		中山 まどか
11-12	5/28	15:25-17:05		中山 まどか
13-14	6/4	15:25-17:05		中山 まどか
15-16	6/11	15:25-17:05		中山 まどか
17-18	6/18	15:25-17:05		中山 まどか
19-20	6/25	15:25-17:05		中山 まどか

授業方法

対面授業を基本とするが、状況に応じて遠隔講義などを適宜用いる

授業内容

・統計学の基礎

・データの記述と指標

・確率と確率分布

・統計的推測

・二群間比較

・分割票による解析

・回帰分析

・生存時間解析①

・生存時間解析②

成績評価の方法

期末試験の成績と講義内小テスト、提出課題、出席状況、講義に取り組む姿勢などを基に、総合的に評価する

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による.

準備学習等についての具体的な指示

特に準備学習は必要ないが,講義内容を復習してしっかりと身につけること.

試験の受験資格

全講義の 2/3 以上の出席

参考書

基礎医学統計学／加納, 克己, 1941-,高橋, 秀人, 1963-,加納克己, 高橋秀人 共著:南江堂, 2019.3

備考

オフィスアワー:水　12:30～13:00

質問は随時メールで受け付けています

nakayama.madoka@tmd.ac.jp

連絡先(メールアドレス)

nakayama.madoka@tmd.ac.jp

オフィスアワー

前期:火　12:20～13:00

後期:木　12:20～13:00

質問等随時メールで受け付けています。

時間割番号	005501				
科目名	化学D			科目ID	
担当教員	奈良　雅之, 澤野　頼子, 齋藤　良太[NARA MASAYUKI, SAWANO YORIKO, SAITOU Ryouta]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1		
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間:月曜 2 講(前期全週)、1 講(第 11～15 週)

・対象学科:歯学科

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)

別表 2-1)自然現象を科学的に探究するための方法論を知る

別表 4-2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける

主な講義場所

7 番教室

授業の目的、概要等

分子生物学、生物物理学の発展により、生命現象を物理、化学的な視点、考え方で理解できるようになりました。歯学の分野においても病気や治療法を分子レベルで捉えられるようになり、その知識は膨大になりつつあります。歯学の道を選んだ皆さんは、物理、化学の基礎をしっかり身につけていないと、生命現象を分子レベルで理解できないばかりか、歯学の先端的な研究からも取り残されてしまうことになるでしょう。本科目では、大学の一般教養課程で当然学んでおくべき「化学(物理化学＆有機化学)」を学習します。

授業の到達目標

1)授業で扱った範囲に関連した「最新臨床検査学講座　化学」「基礎講座　有機化学」「化学熱力学」等の各章を理解し、かつその演習問題に取り組むことができる。

授業に関連した演習問題で7割理解できるレベルが GPA における「B」に相当する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	4/15	10:45-12:25	7 番教室	ガイダンス、単位	ガイダンスおよび単位について	澤野　頼子	【到達目標】1)【学習方法】講義、小テスト・コメント提出
3-4	4/22	10:45-12:25	7 番教室	原子・分子の構造(1)	原子の構造	澤野　頼子	【到達目標】1)【学習方法】講義、小テスト・コメント提出
5-6	5/13	10:45-12:25	7 番教室	原子・分子の構造(2)	原子の構造	澤野　頼子	【到達目標】1)【学習方法】講義、小テスト・コメント提出
7-8	5/20	10:45-12:25	7 番教室	原子・分子の構造(3)	分子の構造	澤野　頼子	【到達目標】1)【学習方法】講義、小テスト・コメント提出
9-10	5/27	10:45-12:25	7 番教室	原子・分子の構造(4)	分子の構造	澤野　頼子	【到達目標】1)【学習方法】講義、小テスト・コメント提出
11-12	6/3	10:45-12:25	7 番教室	酸塩基平衡(1)	弱酸と弱塩基	澤野　頼子	【到達目標】1)【学習方法】講義、小

							テスト・コメント提出
13-14	6/10	10:45-12:25	7番教室	酸塩基平衡(2)	難溶性塩	澤野 頼子	【到達目標】1)【学習方法】講義、小テスト・コメント提出
15-16	6/17	10:45-12:25	7番教室	酸塩基平衡(3)	加水分解、緩衝液	澤野 頼子	【到達目標】1)【学習方法】講義、小テスト・コメント提出
17-18	6/24	10:45-12:25	7番教室	酸塩基平衡(4)	酸塩基平衡のまとめ	澤野 頼子	【到達目標】1)【学習方法】講義、小テスト・コメント提出
19-20	7/1	10:45-12:25	7番教室	気体	気体の性質	澤野 頼子	【到達目標】1)【学習方法】講義、小テスト・コメント提出
21-22	7/8	08:50-10:30	7番教室	有機化学(1)	アルカンとシクロアルカン		【到達目標】1)【学習方法】講義
23-24	7/8	10:45-12:25	7番教室	化学熱力学:熱力学の原理(1)		奈良 雅之	【到達目標】1)【学習方法】講義、小テスト・コメント提出
25-26	7/15	08:50-10:30	7番教室	有機化学(2)	有機立体化学		【到達目標】1)【学習方法】講義
27-28	7/15	10:45-12:25	7番教室	化学熱力学:熱力学の原理(2)		奈良 雅之	【到達目標】1)【学習方法】講義、小テスト・コメント提出
29-30	7/22	08:50-10:30	7番教室	有機化学(3)	アルケンとアルキン		【到達目標】1)【学習方法】講義
31-32	7/22	10:45-12:25	7番教室	化学熱力学:熱力学の原理(3)		奈良 雅之	【到達目標】1)【学習方法】講義、小テスト・コメント提出
33-34	7/29	08:50-10:30	7番教室	有機化学(4)	芳香族化合物		【到達目標】1)【学習方法】講義
35-36	7/29	10:45-12:25	7番教室	化学熱力学:熱力学の原理(4)		奈良 雅之	【到達目標】1)【学習方法】講義、小テスト・コメント提出
37-38	7/31	08:50-10:30	7番教室	有機化学(5)	有機ハロゲン化合物		【到達目標】1)【学習方法】講義
39-40	7/31	10:45-12:25	7番教室	化学熱力学:熱力学の原理(5)		奈良 雅之	【到達目標】1)【学習方法】講義、小テスト・コメント提出

授業方法

講義形式で授業を行うが、適宜、アクティブラーニング（課題演習や答案の発表など）を取り入れる。

授業内容

「原子・分子の構造論」を取り上げることにより、ミクロ系のものの見方を学び、続いて「自然科学実験（化学実験）」の内容を理論的に理解できるように「酸塩基平衡」を取り上げる。また、「化学熱力学（熱力学の原理）」を取り上げることにより、マクロ系のものの見方を学ぶ。さらに、複雑な生命現象（生体内反応）の原理を理解するために「有機化学」を取り上げ、有機化合物の基本的な構造・性質・反応性に関して学ぶ。

成績評価の方法

評価：試験（期末試験） 100% ・レポート 0%

その他（出席シートの小テスト、コメント等を評価に加味することがある。）

再評価：有（再評価方法 再試験）

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

予習：指定された教科書、配布資料（WebClass に掲載）等で該当する箇所に目を通しておく。

復習：講義に関係した演習問題を解いて、理解していることを確認する。

試験の受験資格

試験・再試験の受験資格：3分の2以上出席

教科書

最新臨床検査学講座 化学／奈良雅之,：医歯薬出版, 2020

化学熱力学／原田義也著,：裳華房, 2012

基礎講座有機化学／松島芳隆, 渡邊総一郎, 古荘義雄著,松島, 芳隆,渡邊, 総一郎,古荘, 義雄,：化学同人, 2022

参考書

一般化学／Jerome L.Rosenberg, Lawrence M.Epstein 共著,一国雅巳 訳：オーム社, 1995

系統看護学講座 化学／奈良, 雅之,：医学書院, 2018

ボルハルト・ショアー現代有機化学（上）／ボルハルト, ショアー [著],村橋俊一 訳者代表,：化学同人, 2019

ボルハルト・ショアー現代有機化学（下）／ボルハルト, ショアー [著],村橋俊一 訳者代表,：化学同人, 2020

ウォーレン有機化学（上）／J.CLAYDEN, N.GREEVES, S.WARREN 著,野依良治, 奥山格, 柴崎正勝, 檜山爲次郎 監訳,：東京化学同人, 2015

化学熱力学／原田義也 著,：裳華房, 2002

マクマリー一般化学（上）／JOHN McMURRY, ROBERT C.FAY 著,荻野博, 山本学, 大野公一 訳,：東京化学同人, 2010

他科目との関連

「酸塩基平衡」では「自然科学実験（化学実験）」の基礎となる理論を取り扱う。

履修上の注意事項

出席が3分の2以上を満たさないと、期末試験の受験資格がなくなります。

備考

キーワード：分析化学、化学実験学、化学熱力学、有機化学

連絡先（メールアドレス）

澤野 頼子:sawano.las@tmd.ac.jp

奈良 雅之:nara.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

澤野 頼子:毎週金曜日 PM.0:30–PM.1:20 ヒポクラテス 4 階

奈良 雅之:毎週水曜日 PM.0:00–PM.2:00(ただし、第 1 水曜日（教授会開催日）は PM.1:00 まで), 毎週木曜日 PM.0:20–PM.1:20 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	005502				
科目名	化学 M			科目 ID	
担当教員	奈良　雅之, 齋藤　良太[NARA MASAYUKI, SAITOU Ryouta]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1		
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間：月曜1講(前期全週)、2 講(第 11 週～第 15 週)

・対象学科：医学科

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：

別表 2-1)自然現象を科学的に探究するための方法論を知る

別表 4-2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける

授業の目的、概要等

分子生物学、生物物理学の発展により、生命現象を物理、化学的な視点、考え方で理解できるようになりました。医学の分野においても病気や治療法を分子レベルで捉えられるようになり、その知識は膨大になりつつあります。医学の道を選んだ皆さんは、物理、化学の基礎をしっかり身につけていないと、生命現象を分子レベルで理解できないばかりか、医学の先端的な研究からも取り残されてしまうことになるでしょう。本科目では、大学の一般教養課程で当然学んでおくべき「化学(一般化学＆有機化学)」を学習します。

授業の到達目標

授業で扱った範囲に関連した「最新臨床検査学講座　化学」「化学熱力学」「基礎講座　有機化学」等の各章を理解し、かつその演習問題に取り組むことができる。

授業に関連した演習問題が7割理解できるレベルが GPA における「B」に相当する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	4/15	08:50-10:30	1 番教室	ガイダンス・単位	化学で用いる物理量の単位について理解を深める。	奈良　雅之	全学共通科目で履修する化学のカリキュラムの現状について理解する。SI と非 Si の違いを講義資料を通して習得する。
3-4	4/22	08:50-10:30	1 番教室	原子・分子の構造論(1)	原子構造の基礎を学ぶ。	奈良　雅之	原子構造に関する基礎を講義と演習を通して習得する。
5-6	5/13	08:50-10:30	1 番教室	原子・分子の構造論(2)	原子構造と分子構造の基礎を学ぶ。	奈良　雅之	原子構造、分子構造の基礎を講義と演習を通して習得する。
7-8	5/20	08:50-10:30	1 番教室	酸塩基平衡(1)	弱酸、弱塩基の電離平衡	奈良　雅之	弱酸、弱塩基の電離平衡の取り扱い方について、講義と演習を通して理解を深める。

9–10	5/27	08:50–10:30	1 番教室	酸塩基平衡(2)	難溶性塩の溶解度積、錯イオン形成	奈良 雅之	難溶性塩の溶解度積、錯イオン形成の取り扱い方について、講義と演習を通して理解を深める。
11–12	6/3	08:50–10:30	1 番教室	酸塩基平衡(3)	加水分解、緩衝液	奈良 雅之	加水分解、緩衝液の取り扱い方について、講義と演習を通して理解を深める。
13–14	6/10	08:50–10:30	1 番教室	酸塩基平衡(4)/原子・分子の構造論(3)	酸塩基平衡のまとめ/ 分子構造に関する補足	奈良 雅之	問題演習を通して、電離平衡の理解を深める。分子構造に関する講義を通して、基本的な考え方を習得する。
15–16	6/17	08:50–10:30	1 番教室	化学熱力学(1)	熱力学の原理を理解するための基礎を学ぶ。	奈良 雅之	講義と演習を通して熱力学の原理を理解する。
17–18	6/24	08:50–10:30	1 番教室	化学熱力学(2)	熱力学第一法則	奈良 雅之	講義と演習を通して熱力学の原理を理解する。
19–20	7/1	08:50–10:30	1 番教室	化学熱力学(3)	熱力学第一法則	奈良 雅之	講義と演習を通して熱力学の原理を理解する。
21–24	7/8	08:50–12:25	1 番教室	化学熱力学(4) (奈良) 有機化学(1)(齋藤)	(前半)熱力学第二法則 (後半)アルカンとシクロアルカン	奈良 雅之	講義と演習を通して熱力学の原理を理解する。 有機化学の基礎を理解する。
25–28	7/15	08:50–12:25	1 番教室	化学熱力学(5)(奈良) 有機化学(2)(齋藤)	(前半)熱力学第二法則 (後半)有機立体化学	奈良 雅之	講義と演習を通して熱力学の原理を理解する。 有機化学の基礎を理解する。
29–32	7/22	08:50–12:25	1 番教室	化学熱力学(6)(奈良) 有機化学(3)(齋藤)	(前半)ギブスエネルギー(自由エネルギー) (後半)アルケンとアルキン	奈良 雅之	講義と演習を通して熱力学の原理を理解する。 有機化学の基礎を理解する。
33–36	7/29	08:50–12:25	1 番教室	化学熱力学(7)(奈良) 有機化学(4)(齋藤)	(前半)化学ポテンシャル (後半)芳香族化合物	奈良 雅之	講義と演習を通して熱力学の原理と応用を理解する。 有機化学の基礎を理解する。
37–40	7/31	08:50–12:25	1 番教室	化学熱力学(8)(奈良)	(前半)熱力学の平衡論への応用	奈良 雅之	講義と演習を通し

				有機化学(5)(齋藤)	(後半)有機ハロゲン化合物		て熱力学の応用を理解する。 有機化学の基礎を理解する。

授業方法

講義形式で授業を行うが、適宜、演習を解いたり、解答を説明させたりして、アクティブラーニングを取り入れて行う。

授業内容

原子・分子の構造について取り扱うことにより、ミクロのものの見方を学習して、無機化合物、有機化合物の構造を理解するための基礎を確認します。次に、化学実験の内容を理論的に理解できるように「酸塩基平衡」を取り上げます。続いてマクロのものの見方を学習するために「化学熱力学(熱力学の原理(熱力学の平衡への応用))」を取り上げます。さらに、複雑な生命現象(生体内反応)の原理を理解するために「有機化学」を取り上げ、有機化合物の基本的な構造・性質・反応性に関して学びます。

注意:2022 年度までの旧カリキュラムでは 90 分×30 コマの時間をかけて扱った内容を 2023 年度からのカリキュラムでは 45 分×40 コマに圧縮して実施しますので、すべてを教えることはできません。したがって、化学全般について理解を深めるには、積極的に自学自習に取り組むことが重要です。

1ー2時限(担当 奈良)

第 1-2 回 ガイダンス 単位　　第 3-4 回 原子と分子の構造(1)
第 5-6 回 原子と分子の構造(2)　　第 7-8 回 原子と分子の構造(3)
第 9-10 回 酸塩基平衡(1)　　第 11-12 回 酸塩基平衡(2)
第 13-14 回 酸塩基平衡(3)　　第 15-16 回 化学熱力学(1)
第 17-18 回 化学熱力学(2)　　第 19-20 回 化学熱力学(3)
第 21-22 回 化学熱力学(4)　　第 25-26 回 化学熱力学(5)
第 29-30 回 化学熱力学(6)　　第 33-34 回 化学熱力学(2)
第 37-38 回 化学熱力学(2)

3ー4時限(担当 齋藤)

第 23-24 回 有機化学(1)　　第 27-28 回 有機化学(2)
第 31-32 回 有機化学(3)　　第 35-36 回 有機化学(4)
第 39-40 回 有機化学(5)

成績評価の方法

評価:試験 100% ・レポート 0%

その他(出席シートの小テスト、コメント等を評価に加味することがある。)

再評価:有(再評価方法 後期の試験期間に再試験を実施する)

化学を理解しているかどうかを評価の対象とするので、主に試験で評価する。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

予習:指定された教科書,配布資料等で該当する箇所に目を通しておく。

復習:講義に関係した演習問題を解いて、理解していることを確認する。

試験の受験資格

考査:3分の2以上出席

構成ユニット

1番教室

教科書

最新臨床検査学講座　化学／奈良雅之:医歯薬出版, 2020

基礎講座有機化学／松島芳隆, 渡邊総一郎, 古荘義雄著,松島, 芳隆,渡邊, 総一郎,古荘, 義雄,:化学同人, 2022

化学熱力学／原田 義也:裳華房, 2012

参考書

一般化学／Jerome L.Rosenberg, Lawrence M.Epstein 共著,一国雅巳 訳,Rosenberg, Jerome Laib,Epstein, Lawrence M,一国, 雅巳, 1930−,:オーム社, 1995

系統看護学講座　化学／奈良, 雅之,:医学書院, 2018

マクマリー有機化学(上)／マクマリー／著,伊東〔ショウ〕／訳,児玉三明／訳,荻野敏夫／訳,深澤義正／訳,通元夫／訳,:東京化学同人, 2017

マクマリー有機化学(中)／マクマリー／著,伊東〔ショウ〕／訳,児玉三明／訳,荻野敏夫／訳,深澤義正／訳,通元夫／訳,:東京化学同人, 2017

ハート基礎有機化学／H. ハート, L.E. クレーン, D.J. ハート共著 ; 秋葉欣哉, 奥彬共訳,Hart, Harold,Craine, Leslie E.,Hart, David J,秋葉, 欣哉,奥, 彬,:培風館, 2002

参考材料:HGS 分子模型

他科目との関連

酸塩基平衡では「化学実験」の基礎となる理論を取り扱います。

履修上の注意事項

出席3分の2以上を満たさないと、考査の受験資格がなくなります。

備考

キーワード:原子・分子の構造、化学熱力学、有機化学

連絡先(メールアドレス)

奈良　雅之:nara.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

奈良　雅之:毎週水曜日 PM.0:00−PM.2:00(ただし、第 1 水曜日(教授会開催日)は PM.1:00 まで), 毎週木曜日 PM.0:20−PM.1:20　ヒポクラテス 4 階

時間割番号	005503				
科目名	化学Ｔ			科目ID	
担当教員	奈良　雅之, 澤野　頼子[NARA MASAYUKI, SAWANO YORIKO]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1		
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間: 前期:月曜２講(全週)　月曜１講(第 11 週～第15週)

・対象学科:保健衛生学科検査技術学専攻

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

2－1)自然現象を科学的に探求するための方法論を知る

4－2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける

主な講義場所

6 番教室

授業の目的、概要等

分子生物学、生物化学の発展により、生命現象が化学的な考え方、方法で理解されるようになってきました。医療系の分野も分子レベルで捉えることにより、その知識が膨大になりつつあります。医療系の道を選んだ皆さんは、化学の基礎をしっかり身につけていないと、生命現象を分子レベルで理解できないばかりでなく、医療系の先端的な研究から取り残されてしまうことになるでしょう。特に、検査技術学専攻の皆さんは、全学生の中で最も化学の専門技術と関わるはずです。本科目では大学の一般教養課程で当然学んでおくべき「化学(有機化学＆物理化学)」を学習します。

授業の到達目標

授業で扱った範囲に関連した「最新臨床検査学講座　化学」、「基礎講座　有機化学」、等の各章を理解し、かつその演習問題に取り組むことができる。

授業に関連した演習問題で7割理解できるレベルが GPA における「B」に相当する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	4/15	10:45-12:25	6 番教室	ガイダンス・単位	化学で用いる物理量の単位について理解を深める。	奈良　雅之 澤野　頼子	本学の化学のカリキュラムの現状を理解し、自学自習の必要性を認識する。SI と非 SI の区別について、講義、資料、演習を通して理解する。
3-4	4/22	10:45-12:25	6 番教室	単位・酸塩基平衡(1)	電離平衡の基礎を理解する。	奈良　雅之 澤野　頼子	酸塩基平衡の基本事項について理解する。
5-6	5/13	10:45-12:25	6 番教室	酸塩基平衡(2)	電離平衡の基礎を理解する。	奈良　雅之 澤野　頼子	酸塩基平衡の基本事項について理解する。高校化学と大学化学のギャップを講義を通して理解し、問題演習(小テスト)

							を通して理解を深める。
7-8	5/20	10:45-12:25	6 番教室	酸塩基平衡(3)	難溶性塩の電離平衡、錯イオン形成について理解する。	奈良 雅之 澤野 頼子	難溶性塩の電離平衡、錯イオン形成について、無機定性分析実験の理論的な背景になることを理解し、問題演習(小テスト)を通して理解を深める。
9-10	5/27	10:45-12:25	6 番教室	酸塩基平衡(4)	加水分解、緩衝液について理解を深める。	奈良 雅之 澤野 頼子	加水分解、緩衝液について、無機定性分析実験の理論的な背景になることを理解し、問題演習(小テスト)を通して理解を深める。また、体液を理解する際に緩衝作用が関わっていることを理解する。
11-12	6/3	10:45-12:25	6 番教室	化学熱力学(1)	熱力学の原理を理解するための基礎を学ぶ。	奈良 雅之 澤野 頼子	熱力学を理解するために必要な数学(偏微分、全微分)について理解する。熱化学方程式の扱い方が、高校とは異なることを講義を通して理解する。
13-14	6/10	10:45-12:25	6 番教室	化学熱力学(2)	熱力学第一法則について学ぶ。	奈良 雅之 澤野 頼子	熱力学第一法則の数学的な取り扱いについて理解する。内部エネルギー、仕事、熱について、ピストン中の体積の膨張、圧縮の例を通して、理解する。
15-16	6/17	10:45-12:25	6 番教室	化学熱力学(3)	熱力学第一法則について学ぶ。	奈良 雅之 澤野 頼子	熱力学第一法則の数学的な取り扱いについて理解する。エンタルピー、熱容量について理解する。
17-18	6/24	10:45-12:25	6 番教室	化学熱力学(4)	熱力学第二法則について学ぶ。	奈良 雅之	カルノーサイクル

						澤野 頼子	について理解を深める。
19-20	7/1	10:45-12:25	6 番教室	化学熱力学(5)	熱力学第ニ法則について学ぶ。	奈良 雅之 澤野 頼子	熱力学第ニ法則の数学的な取り扱いについて理解する。エントロピーとエンタルピーの違いを理解する。
21-24	7/8	08:50-12:25	6 番教室	原子・分子の構造(1)	原子の構造	澤野 頼子	【学習方法】講義、小テスト・コメント提出
25-28	7/15	08:50-12:25	6 番教室	原子・分子の構造(2)	分子の構造	澤野 頼子	【学習方法】講義、小テスト・コメント提出
29-32	7/22	08:50-12:25	6 番教室	有機化学(1)	アルカンとシクロアルカン、有機立体化学	澤野 頼子	【学習方法】講義、小テスト・コメント提出
33-36	7/29	08:50-12:25	6 番教室	有機化学(2)	アルケンとアルキン	澤野 頼子	【学習方法】講義、小テスト・コメント提出
37-40	7/31	08:50-12:25	6 番教室	有機化学(3)	芳香族化合物	澤野 頼子	【学習方法】講義、小テスト・コメント提出

授業方法

講義形式で授業を行うが、適宜、アクティブラーニング(課題演習や答案の発表など)を取り入れて行う。

授業内容

前半の 10回は、主に酸塩基平衡、化学熱力学を取り上げます。後半の 10 回は、主に原子・分子の構造、有機化学、生体高分子などの分野を取り上げます。

注意:2022 年度までの旧カリキュラムでは 90 分×30 コマの時間をかけて扱った内容を 2023 年度からのカリキュラムでは 45 分×40 コマに圧縮して実施しますので、すべてを教えることはできません。したがって、化学全般について理解を深めるには、積極的に自学自習に取り組むことが重要です。

成績評価の方法

評価 : 試験(期末考査) 100% ・ レポート 0% ・

その他(出席状況・授業時の小テストなどを成績に考慮することがある)

再評価: 有(再評価方法 前期と後期の内容を合わせた学年末再試験)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

予習:指定された教科書や配付資料(WebClass に掲載)で該当する箇所に目を通しておく。

復習:講義に関係した演習問題を解いて、理解していることを確認する。

試験の受験資格

考査・再試験の受験資格:3分の2以上出席

教科書

最新臨床検査学講座 化学/奈良雅之:医歯薬出版, 2020

基礎講座 有機化学/松島 芳隆 著・文・その他,渡邊 総一郎 著・文・その他,古荘 義雄 著・文・その他,松島 芳隆,渡邊 総一郎,古荘 義雄,:化学同人, 2022-04-11

参考書

マクマリー一般化学(上)／JOHN McMURRY, ROBERT C.FAY 著,荻野博, 山本学, 大野公一 訳,:東京化学同人, 2010

一般化学／Jerome L.Rosenberg, Lawrence M.Epstein 共著,一国雅巳 訳,Rosenberg, Jerome Laib,Epstein, Lawrence M,一国, 雅巳, 1930−,:オーム社, 1995

系統看護学講座 化学／奈良／雅之(化学),:医学書院, 2018

ハート基礎有機化学／H. ハート, L.E. クレーン, D.J. ハート共著 ; 秋葉欣哉, 奥彬共訳,Hart, Harold,Craine, Leslie E.,Hart, David J,秋葉, 欣哉,奥, 彬,:培風館, 2002

マクマリー有機化学(上)／マクマリーJ. ,伊東椒,児玉三明,マクマリー J. ,伊東 椒,児玉 三明,:東京化学同人, 2017

マクマリー有機化学(中)／マクマリーJ. ,伊東椒,児玉三明,マクマリー J. ,伊東 椒,児玉 三明,:東京化学同人, 2017

ボルハルト・ショアー現代有機化学(上)／ボルハルト, ショアー [著],村橋俊一 訳者代表,Vollhardt, K. Peter C,Schore, Neil Eric, 1948−,村橋, 俊一, 1937−,:化学同人, 2019

ボルハルト・ショアー現代有機化学(下)／ボルハルト, ショアー [著],村橋俊一 訳者代表,Vollhardt, K. Peter C,Schore, Neil Eric, 1948−,村橋, 俊一, 1937−,:化学同人, 2020

履修上の注意事項

出席3分の2以上を満たさないと、期末考査の受験資格がなくなります。

連絡先(メールアドレス)

奈良 雅之:nara.las@tmd.ac.jp

澤野 頼子:sawano.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

奈良 雅之:毎週水曜日 PM.0:00−PM.2:00(ただし、第 1 水曜日(教授会開催日)は PM.1:00 まで), 毎週木曜日 PM.0:20−PM.1:20 ヒポクラテス 4 階

澤野 頼子:毎週金曜日 PM.0:30−PM.1:20 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000837				
科目名	化学基礎			科目 ID	LA-114800-Z
担当教員	奈良　雅之, 澤野　頼子[NARA MASAYUKI, SAWANO YORIKO]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間:5/28(第 6 週)～7/30(第 15 週)の火曜 2 講

・対象学科:保健衛生学科看護学専攻、口腔保健学科

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

2－1)自然現象を科学的に探求するための方法論を知る

4－1)入学時に不足している基礎学力を一定レベルに引き上げる

4－2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける

主な講義場所

8・9番教室

授業の目的、概要等

看護学・口腔保健学に必要な生命科学を学んでいく上で役立つ化学の基礎知識や考え方を講義することを基本とする。

授業の到達目標

1)授業で扱った内容および演習問題を理解し、将来、看護学・口腔保健学の専門の基礎となる化学を身につける。GPA における「B」(本試験合格レベル)の条件は、授業に関連した演習問題を 7 割程度理解できることとする。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	5/28	10:45-12:25	8 番教室, 9 番教室	物質量と濃度	澤野　頼子	【到達目標】1)【学習方法】対面講義、小テスト・コメント提出
3-4	6/4	10:45-12:25	8 番教室, 9 番教室	物質量と濃度(2)	澤野　頼子	【到達目標】1)【学習方法】対面講義、演習(課題発表)、コメント提出
5-6	6/11	10:45-12:25	8 番教室, 9 番教室	単位	奈良　雅之	【到達目標】1)【学習方法】対面講義、小テスト・コメント提出
7-8	6/18	10:45-12:25	8 番教室, 9 番教室	熱化学方程式	奈良　雅之	【到達目標】1)【学習方法】対面講義、小テスト・コメント提出
9-10	6/25	10:45-12:25	8 番教室, 9 番教室	酸と塩基(1)	澤野　頼子	【到達目標】1)【学習方法】対面講義、小テスト・コメント提出
11-12	7/2	10:45-12:25	8 番教室, 9 番教室	酸と塩基(2)	澤野　頼子	【到達目標】1)【学習方法】対面講義、小テスト・コメント提出
13-14	7/9	10:45-12:25	8 番教室, 9 番教室	酸化還元	澤野　頼子	【到達目標】1)【学習方法】対面講義、小テスト・コメント提出
15-16	7/16	10:45-12:25	8 番教室, 9 番教室	有機化学(1)	澤野　頼子	【到達目標】1)【学習方法】対面講義、小テスト・コメント提出
17-18	7/23	10:45-12:25	8 番教室, 9 番教室	有機化学(2)	澤野　頼子	【到達目標】1)【学習方法】対面講義、小テスト・コメント提出
19-20	7/30	10:45-12:25	8 番教室, 9 番教室	有機化学(3)	澤野　頼子	【到達目標】1)【学習方法】対面講義、小テスト・コメント提出

授業方法

主に講義形式で行い、適宜、アクティブラーニング(演習や課題発表など)を取り入れて行う。毎回の授業時に小テスト・コメントの提出を求める。

授業内容

1. 物質量と濃度

2. 単位
3. 熱化学方程式
4. 酸と塩基
5. 酸化還元
6. 有機化学

成績評価の方法

評価 : 期末試験 90% ・ レポート 0% ・ その他(授業への参加度・授業時の小テストなど) 10%
再評価: 有(再評価方法 再試験)
授業内容の理解度を測るために試験や演習を行い、その成績および授業への参加度で評価を行う。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

予習:講義資料(事前に WebClass に掲載)、教科書・参考書等で該当する箇所に目を通しておく。
復習:講義の内容および演習問題・小テストを復習する。
その他、教員からの指示を参考に学習する。

試験の受験資格

試験・再試験の受験資格:3分の2以上出席

教科書

系統看護学講座 化学／奈良, 雅之,:医学書院, 2018

参考書

最新臨床検査学講座 化学／奈良雅之著,奈良, 雅之,:医歯薬出版, 2020
大学生のための例題で学ぶ化学入門 第2版／大野公一, 村田滋, 錦織紳一著,大野, 公一,村田, 滋,錦織, 紳一,:共立出版, 2021
生命科学,食品・栄養学,化学を学ぶための有機化学基礎の基礎／立屋敷哲著,立屋敷, 哲,:丸善出版, 2019
高校の「化学基礎」および「化学」の教科書

他科目との関連

高校での化学の学習が不十分な学生(主に、高校の「化学」未履修者)向けに、「化学基礎(補習)」(オンデマンド授業)を開講し、有機化学の基礎事項を学ぶ。受講希望者は併せて受講すること。

履修上の注意事項

出席が3分の2以上を満たさないと、期末試験の受験資格がなくなります。

連絡先(メールアドレス)

澤野 頼子:sawano.las@tmd.ac.jp
奈良 雅之:nara.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

澤野 頼子:毎週金曜日 PM.0:30–PM.1:20 ヒポクラテス 4 階
奈良 雅之:毎週水曜日 PM.0:00–PM.2:00(ただし、第 1 水曜日(教授会開催日)は PM.1:00 まで), 毎週木曜日 PM.0:20–PM.1:20 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	00530				
科目名	生物学 M			**科目 ID**	
担当教員	伊藤　正則[ITO MASANORI]				
開講時期	2024 年度前期	**対象年次**	1		
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間:金曜日 1～2 講

・対象学科:医学科

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)

2－1)自然現象を科学的に探究するための方法を知る。

4－2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける。

授業の目的、概要等

生命現象(疾患を含む)を個体から分子レベルで理解する。専門教育を学ぶうえでの基盤を形成すること、能動的に学習するようになること、論理的思考力を向上させることを目的とする。

授業の到達目標

1)遺伝や代謝などの生命現象を個体から分子レベルで説明することができる。

2)生体の構造と機能の関連性を説明することができる。

3)遺伝子解析・操作技術の原理を説明することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-4	5/24	08:50-12:25	1 番教室	伊藤　正則
5-8	5/31	08:50-12:25	1 番教室	伊藤　正則
9-12	6/7	08:50-12:25	1 番教室	伊藤　正則
13-16	6/14	08:50-12:25	1 番教室	伊藤　正則
17-20	6/21	08:50-12:25	1 番教室	伊藤　正則
21-24	6/28	08:50-12:25	1 番教室	伊藤　正則
25-28	7/5	08:50-12:25	1 番教室	伊藤　正則
29-32	7/12	08:50-12:25	1 番教室	伊藤　正則
33-36	7/19	08:50-12:25	1 番教室	伊藤　正則
37-40	7/26	08:50-12:25	1 番教室	伊藤　正則

授業方法

基本的には講義形式で行う。アクティブラーニングとして、予め資料を WebClass に掲示するので、予習を行うこと。授業後、授業内容に関する質問などをリアクションペーパーに書く。次週の授業で質問などに答える。復習では知識が体系的になるようにノートに整理する。

授業内容

生命現象を個体から分子レベルで説明する。

第 1 回　ウイルス、バクテリア、細胞の構造、細胞小器官の構造・機能、細胞分化、幹細胞と再生医療

第 2 回　細胞骨格、細胞接着、細胞分裂、細胞死、自己免疫疾患

第 3 回　核酸の構造、DNA の立体構造、DNA の複製・転写、RNA スプライシング、翻訳、遺伝子操作

第 4 回　性決定・分化、生殖、アミノ酸、タンパク質、代謝、酵素、消化、酸素呼吸、ビタミン

第 5 回　血液、血管

第 6 回　免疫

第 7 回　細胞間情報伝達、ホルモンの化学構造・機能、内分泌器官の構造・機能、神経系

第 8 回　ニューロン内・間での情報伝達、ニューロトランスミッター

第 9 回　グリア細胞、血液脳関門

第 10 回　脳機能の発現機構

成績評価の方法

試験 100%

再試験:有(再試験での成績は 60 点を上限とする)

(注意)授業内容に関する試験と学力認定試験の両試験を必ず受けること。両試験を受けない場合は、履修放棄とみなす。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表 2」による。

準備学習等についての具体的な指示

アクティブラーニングとして、予め資料を WebClass に掲示するので、予習を行うこと。講義内容に関する質問などがあれば、リアクションペーパーに書くこと。次週の授業でこの質問などに答える。復習では知識を体系化することを意識して、ノートを整理する。

試験の受験資格

2/3 以上、出席すること。

教科書

はじめの一歩の生化学・分子生物学／前野正夫, 磯川桂太郎著,前野, 正夫,磯川, 桂太郎,:羊土社, 2016

人体の構造と機能／エレイン N.マリーブ著 ; 林正健二 [ほか] 訳,Marieb, Elaine Nicpon,林正, 健二,:医学書院, 2015

参考書

Molecular biology of the cell／Bruce Alberts, Alexander Johnson, Julian Lewis, David Morgan, Martin Raff, Keith Roberts, Peter Walter,with problems by John Wilson, Tim Hunt,Johnson, Alexander D,Lewis, Julian, 1946-2014,Morgan, David Owen, 1958-,Wilson, John, 1944-,Hunt, Tim, 1943-:Garland Science, Taylor and Francis Group, 2015

Essential cell biology／Bruce Alberts, Karen Hopkin, Alexander Johnson, David Morgan, Martin Raff, Keith Roberts, Peter Walter:Garland Science, Taylor and Francis Group, 2019

Human biology 13th ed／Sylvia S. Mader, Michael Windelspecht ; with contributions by David Cox:McGraw-Hill, 2014

診療・研究にダイレクトにつながる遺伝医学／渡邉淳著,渡邉, 淳,:羊土社, 2017

よくわかるゲノム医学 : ヒトゲノムの基本から個別化医療まで／服部成介, 水島-菅野純子著,服部, 成介,水島-菅野, 純子,菅野, 純夫,:羊土社, 2016

連絡先(メールアドレス)

itohmt.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週月曜日　AM.10:00-PM.2:00　ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室

時間割番号	00540			
科目名	生物学 DT		**科目 ID**	
担当教員	栗田　武[KURITA TAKESHI]			
開講時期	2024 年度前期	**対象年次**	1	
実務経験のある教員による授業				

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

2－1)自然現象を科学的に探究するための方法を知る。

4－2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける。

授業の目的、概要等

生命現象(疾患を含む)を個体から分子レベルで理解する。専門教育を学ぶうえでの基盤を形成すること、能動的に学習するようになること、論理的思考力を向上させることを目的とする。

授業の到達目標

1)遺伝や代謝などの生命現象を個体から分子レベルで説明することができる。

2)生体の構造と機能の関連性を説明することができる。

3)遺伝子解析・操作技術の原理を説明することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-4	5/24	08:50-12:25	7 番教室	栗田 武
5-8	5/31	08:50-12:25	7 番教室	栗田 武
9-12	6/7	08:50-12:25	7 番教室	栗田 武
13-16	6/14	08:50-12:25	7 番教室	栗田 武
17-20	6/21	08:50-12:25	7 番教室	栗田 武
21-24	6/28	08:50-12:25	7 番教室	栗田 武
25-28	7/5	08:50-12:25	7 番教室	栗田 武
29-32	7/12	08:50-12:25	7 番教室	栗田 武
33-36	7/19	08:50-12:25	7 番教室	栗田 武
37-40	7/26	08:50-12:25	7 番教室	栗田 武

授業方法

基本的には講義形式で行う。アクティブラーニングとして、予め資料を WebClass に掲示するので、予習・復習を行うこと。授業後、授業内容に関する質問などをリアクションペーパーに書く。次週の授業で質問などに答える。復習では知識が体系的になるようにノートに整理する。

授業内容

生命現象を個体から分子レベルで説明する。

以下の項目を網羅する予定だが、進行度によっては順序・内容を変更する。

内容に変更がある場合は、その都度告知する。

1. イントロダクション「生物学の学び方」
2. 進化
3. 生殖細胞
4. 発生
5. 細胞1
6. 細胞2
7. 遺伝子1
8. 遺伝子2
9. 遺伝子研究法
10. 代謝

11. 組織
12. 器官・器官系
13. 免疫1
14. 免疫2
15. 内分泌 1
16. 内分泌2
17. 神経1
18. 神経2
19. 生命科学の問題1
20. 生命科学の問題2

成績評価の方法

試験 100%

再試験:有(再試験での成績は 60 点を上限とする)

(注意)授業内容に関する試験と学力認定試験の両試験を必ず受けること。両試験を受けない場合は、履修放棄とみなす。

成績評価の基準

試験 100%

再試験:有(再試験での成績は 60 点を上限とする)

(注意)授業内容に関する試験と学力認定試験の両試験を必ず受けること。両試験を受けない場合は、履修放棄とみなす。

準備学習等についての具体的な指示

アクティブラーニングとして、予め資料を WebClass に掲示するので、予習を行うこと。講義内容に関する質問などがあれば、リアクションペーパーに書くこと。次週の授業でこの質問などに答える。復習では知識を体系化することを意識して、ノートを整理する。

試験の受験資格

2/3 以上、出席すること。

教科書

はじめの一歩の生化学・分子生物学／前野, 正夫, 1952-,磯川, 桂太郎, 1959-,前野正夫, 磯川桂太郎 著:羊土社, 2016.12

人体の構造と機能／Marieb, Elaine Nicpon, 1936-,林正, 健二, 1946-,今本, 喜久子, 1943-,遠藤, 健司, 1962-,エレイン N.マリーブ 著,林正健二, 今本喜久子, 遠藤健司, 大島千佳, 小田切陽一, 武田多一, 武田裕子, 竹野ゆかり, 藤本悦子 訳:医学書院, 2015.3

参考書

Molecular biology of the cell／Alberts, Bruce,Johnson, Alexander D.,Lewis, Julian, 1946-2014,Morgan, David Owen, 1958-,Wilson, John, 1944-,Hunt, Tim, 1943-,Bruce Alberts, Alexander Johnson, Julian Lewis, David Morgan, Martin Raff, Keith Roberts, Peter Walter,with problems by John:Garland Science, Taylor and Francis Group, [2015]

診療・研究にダイレクトにつながる遺伝医学／渡邉, 淳,渡邉淳 著:羊土社, 2017.5

よくわかるゲノム医学 : ヒトゲノムの基本から個別化医療まで／服部, 成介, 1952-,水島-菅野, 純子,菅野, 純夫, 1952-,服部成介, 水島-菅野純子 著,菅野純夫 監修:羊土社, 2016.1

連絡先(メールアドレス)

kurita.takeshi@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週水曜日 PM.1:30-PM. 5:00 ヒポクラテスホール (校舎棟) 4 階 教官研究室-2

時間割番号	00420				
科目名	生物学基礎			**科目ID**	
担当教員	松本　幸久[MATSUMOTO YUKIHISA]				
開講時期	2024 年度前期	**対象年次**	1～	**単位数**	2
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間:月曜 2 講、火曜 1 講

・対象専攻:看護学専攻・口腔保健衛生学専攻・口腔保健工学専攻

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表 2-1)自然現象を科学的に探求するための方法論を知る。

別表 4-1)入学時に不足している基礎学力を一定レベルに引き上げる。

別表 4-2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける。

主な講義場所

ヒポクラテスホール1階1番教室

授業の目的、概要等

生物は細胞から成り、細胞の機能によって生命現象が発現される。この授業では、細胞の構造に加えて、遺伝子発現、代謝等の細胞の機能を学ぶ。また、多数の細胞が集まって構築されている個体が、どのようにして全体として調和のとれた活動ができるかという点について学習する。さらに、これらの知識を活用することによって、ある種の疾患の原因を説明できることを理解する。

授業の到達目標

1)細胞を構成する細胞小器官と細胞膜の構造と機能を説明することができる。

2)遺伝および遺伝子とは何か、説明することができる。

3)遺伝子発現機構と転写調節機構を分子レベルで説明することができる。

4)代謝とは何か、説明することができる。

5)生体の基本構造を説明することができる。

6)生体の構造と関連させて、機能を具体的に説明することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	4/15	10:45-12:25	1 番教室	松本　幸久
3-4	4/22	10:45-12:25	1 番教室	松本　幸久
5-6	5/13	10:45-12:25	1 番教室	松本　幸久
7-8	5/20	10:45-12:25	1 番教室	松本　幸久
9-10	5/27	10:45-12:25	1 番教室	松本　幸久
11-12	6/3	10:45-12:25	1 番教室	松本　幸久
13-14	6/10	10:45-12:25	1 番教室	松本　幸久
15-16	6/17	10:45-12:25	1 番教室	松本　幸久
17-18	6/24	10:45-12:25	1 番教室	松本　幸久
19-20	7/1	10:45-12:25	1 番教室	松本　幸久
21-22	7/2	08:50-10:30	8 番教室, 9 番教室	松本　幸久
23-24	7/8	10:45-12:25	8 番教室, 9 番教室	松本　幸久
25-26	7/9	08:50-10:30	8 番教室, 9 番教室	松本　幸久
27-28	7/15	10:45-12:25	8 番教室, 9 番教室	松本　幸久

29-30	7/16	08:50-10:30	8 番教室, 9 番教室	松本 幸久
31-32	7/22	10:45-12:25	8 番教室, 9 番教室	松本 幸久
33-34	7/23	08:50-10:30	8 番教室, 9 番教室	松本 幸久
35-36	7/29	10:45-12:25	8 番教室, 9 番教室	松本 幸久
37-38	7/30	08:50-10:30	8 番教室, 9 番教室	松本 幸久
39-40	7/31	10:45-12:25	8 番教室, 9 番教室	松本 幸久

授業方法

授業は主に講義形式で行う。アクティブラーニングとして、毎回の授業で、復習クイズ(前回の授業内容から出題する基本問題)、予習クイズ(次回の授業内容から出題する基本問題)、ふりかえり発展問題(これまでの複数の授業の内容を関連づけさせた応用問題)などの演習を行う。また、疑問点抽出能力の向上のため、毎回の授業でリアクションペーパーに疑問点を書かせ提出させる。

授業内容

細胞の構造に加えて、遺伝子発現、代謝等の細胞の機能を説明する。また、生体の各組織・器官の構造と機能の概要を説明し、代表的な生命現象とその制御メカニズムを系統進化学的な観点を加えて説明する。さらに、これらの知識を活用することによって、ある種の疾患の原因と発症に至るまでのメカニズムを説明する。

1. 生物とは
2. 細胞膜
3. 生物を構成する物質
4. 酵素と代謝
5. 代謝経路
6. DNA の複製
7. 遺伝子の発現機構
8. 転写調節機構
9. 遺伝子の操作 1
10. 遺伝子の操作 2
11. 組織・器官・器官系
12. 消化器系
13. 血液
14. 免疫系 1
15. 免疫系 2
16. 内分泌系 1
17. 内分泌系 2
18. 神経系 1
19. 神経系 2
20. 神経系 3

＊内容、予定に変更があった場合にはその都度告知する。

成績評価の方法

評価:本講義は確実な知識を習得することが主な目的なので、期末考査70%、授業内の小テストなど30%で成績を評価する。
再評価:有

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習等についての具体的な指示

予習では、授業内の予習クイズで出題された箇所に該当する教科書の範囲と、予め WebClass に掲載されている講義資料に目を通しておくこと。復習では授業で扱った事項について、参考書やインターネット等により知識の拡充・整理を行い、知識が体系的になるようにノートを整理する。

試験の受験資格

授業の 2/3 以上出席したものに試験の受験資格を与える。

教科書

医療・看護系のための生物学 = Biology,for Paramedical and Nursing Courses／田村隆明 著,:裳華房, 2016

必要に応じて参考資料を配布する。

参考書

イラスト生化学・分子生物学／前野 正夫:羊土社, 2008

ヒューマンバイオロジー 人体と生命／SS Mader:医学書院, 2005

人体の構造と機能／エレイン N.マリーブ著 ; 林正健二 [ほか] 訳,Marieb, Elaine Nicpon,林正, 健二,:医学書院, 2015

大学で学ぶ身近な生物学／吉村成弘 著,吉村, 成弘,:羊土社, 2015

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先する。

連絡先(メールアドレス)

yukihisa.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週月曜日 PM.4:30-6:00 ヒポクラテスホール 3 階生物教員実験室

時間割番号	00430				
科目名	サイエンス PBL 入門			科目 ID	
担当教員	檜枝 光憲, 越野 和樹, 中林 潤, 伊藤 正則, 奈良 雅之, 澤野 頼子, 後藤 慎平, 三好 洋, 石川 孟, 佐竹 渉, 猫沖 陽子, 松本 幸久, 勝又 敏行, 徳永 伸一, 中山 まどか, 柳下 和慶[HIEDA MITSUNORI, KOSHINO KAZUKI, NAKABAYASHI Junn, ITO MASANORI, NARA MASAYUKI, SAWANO YORIKO, GOTOU Shinnpei, MIYOSHI Hiroshi, ISHIKAWA Hajime, SATAKE Wataru, NEKOOKI Youko, MATSUMOTO YUKIHISA, KATSUMATA TOSHIYUKI, TOKUNAGA SHINICHI, NAKAYAMA Madoka, YAGISHITA KAZUYOSHI]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1～	単位数	1.5
実務経験のある教員による授業					

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)

2－2)自然現象を探究するための手法を知る。

2－4)自己問題提起・解決型の学習方法を身につける。

4－3)自然現象を探究するための基本的な手法を身につける。

主な講義場所

後日、掲示する。。

授業の目的、概要等

1)問題抽出、論理的思考、コミュニケーション技術の向上:
次の一連の過程において必要な技術を向上させる。「資料やデータから具体的な問題点を抽出する → 知識を集め、整理する → 正確な知識と知識を根 拠とした正確な論理展開によって問題点を解決する → 簡潔かつ解り易い言葉で説明し、建設的な話し合いを行う」。

2)実験研究者になるための基礎づくり:
問題点を解決するために適切な実験を計画・実施する技術を向上させる。また、実験データを解り易く整理し、実験データの解析と適切な考察を行う技 術を培う。

3)医療に携わるうえでの基礎づくり
測定結果から正しい結論やその背景にあるメカニズムを推論する。その過程で必要な論理的思考力を向上させる。

授業の到達目標

1. 具体的な問題点を抽出し、「正確な知識」と「知識を根拠とした正確な論理展開」によって問題点を解決することができる。
2. 簡潔かつ解り易い言葉で説明することができる。
3. 建設的な話し合いを行うことができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-4	12/12	13:30-17:05		伊藤 正則, 檜枝 光憲, 奈良 雅之, 松本 幸久, 勝又 敏行
5-8	12/19	13:30-17:05		伊藤 正則, 檜枝 光憲, 奈良 雅之, 松本 幸久, 勝又 敏行
9-12	1/9	13:30-17:05		伊藤 正則, 檜枝 光憲, 奈良 雅之, 松本 幸久, 勝又 敏行
13-16	1/16	13:30-17:05		伊藤 正則, 檜枝 光憲, 奈良 雅之, 松本 幸久, 勝又 敏行
17-20	1/23	13:30-17:05		伊藤 正則, 檜枝 光憲, 奈良 雅之, 松本 幸久, 勝又 敏行
21-24	1/30	13:30-17:05		伊藤 正則, 檜枝 光憲, 奈良 雅之, 松本 幸久, 勝又 敏行

授業方法

problem-based learning (PBL)

授業内容

8 名程度から成るグループによる学習で、配布資料(課題シートなど)から問題点を抽出し、自然科学の知識を活用して、問題点を解決することを試みる。具体的には次の 1ー3 の順に行う。

1. 配布資料の内容を理解し、学生間での話し合い、具体的な問題点を抽出する。
2. 各自が問題点を解決するために必要な情報を得た後、情報を整理する。
3. 整理した情報を発表し、議論する。発表と議論した内容をまとめることによって、問題点に対する
答え導き出す。

この授業では学生間での話し合いが中心となり、話合いに参加するためには、明確な目的意識をもった学習が必要である。

成績評価の方法

授業への参加度、グループによる話し合いへの参加、グループごとでの発表会での発表内容、発表会での質問・返答内容、レポートの記述内容による。詳細は 1 回目の授業内でのガイダンスで述べる。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表 2」による

準備学習等についての具体的な指示

各自が問題点を解決するために必要な情報を集め、ノートに整理しておくこと。情報を集める過程でさらに問題点をみつけること。問題点を論理的方法により解決する。

試験の受験資格

試験を行わない。

教科書

課題シートなどの資料を配布する。

参考書

必要に応じて紹介する。

連絡先(メールアドレス)

檜枝　光憲:hieda.las@tmd.ac.jp
中林　潤:nakab.las@tmd.ac.jp
澤野　頼子:sawano.las@tmd.ac.jp
徳永　伸一:tokunaga.las@tmd.ac.jp
奈良　雅之:nara.las@tmd.ac.jp
勝又　敏行:katsumata.las@tmd.ac.jp
柳下　和慶:yagishita.orth@tmd.ac.jp
伊藤　正則:itohmt.las@tmd.ac.jp
松本　幸久:yukihisa.las@tmd.ac.jp
越野　和樹:ikuzak.las@tmd.ac.jp
中山　まどか:nakayama.madoka@tmd.ac.jp

オフィスアワー

檜枝　光憲:毎週水曜日 12:30～13:00　ヒポ 3F 教員研究室 3
中林　潤:月曜～金曜
A.M.10:00 – P.M. 05:00
国府台キャンパス 4 階　教官研究室―9
澤野　頼子:毎週金曜日 PM.0:30–PM.1:20　ヒポクラテス 4 階

徳永　伸一:前期:
火曜 12:30-13:20(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

後期:
木曜 12:30-13:20(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

＊いずれも計算機実習室で授業がある日なので、そちらにいることが多いです。
上記以外の時間帯でも、事前に E メールで連絡をもらえれば可能な限り対応します。

奈良　雅之:毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00(ただし、第 1 水曜日(教授会開催日)は PM.1:00 まで), 毎週木曜日 PM.0:20-PM.1:20　ヒポクラテス 4 階
勝又　敏行:毎週金曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 2 階化学実験準備室
柳下　和慶:前期 毎週火曜日 12:30-13:00 管理研究棟 2 階　研究室
後期 毎週木曜日 12:30-13:00 管理研究棟 2 階　研究室
伊藤　正則:毎週月曜日 AM.10:00-PM.2:00 ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室
松本　幸久:毎週月曜日 PM.4:30-6:00 ヒポクラテスホール 3 階生物教員実験室
越野　和樹:毎週火曜日 12:30―13:00 ヒポクラテス 4 階
中山　まどか:前期:火 12:20～13:00
後期:木 12:20～13:00
質問等随時メールで受け付けています。

時間割番号	000241				
科目名	科学基礎実験Ｔ			科目ID	LA-116201-Z
担当教員	越野　和樹, 後藤　慎平, 奈良　雅之, 伊藤　正則, 松本　幸久, 勝又　敏行, 澤野　頼子, 栗田　武[KOSHINO KAZUKI, GOTOU Shinnpei, NARA MASAYUKI, ITO MASANORI, MATSUMOTO YUKIHISA, KATSUMATA TOSHIYUKI, SAWANO YORIKO, KURITA TAKESHI]				
開講時期	2024 年度通年	対象年次	1		
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間：前期月1講、後期木曜3・4講(変則的)

・対象学科：保健衛生学科検査技術学専攻

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)：

2－1)自然現象を科学的に探求するための方法論を知る

2－2)自然現象を探求するための手法を知る

4－2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける

4－3)自然現象を探求するための基本的手法を身につける

授業の目的、概要等

物理学実験(大数の法則と中心極限定理の観察)、生物学実験(光学顕微鏡を用いた観察)、化学実験(無機定性分析、容量分析)の基本操作を学び、実験に対する基本的な態度を身につける。危険な物質(硫化水素など)の扱い方、光学顕微鏡の使い方、一次記録の取り方、報告の書き方などを習得する。さらに、各自が興味を持ったテーマを見つけだし、そのテーマに関する実験に取り組む(考察実験)。

授業の到達目標

1)実験ノートをきちんと取り、それを報告としてまとめ、発表することができる。さらに、自分でテーマを見つけ、実験を組み立てることができることを目標とする。

担当教員の指示に従って、それぞれの課題に関して要求された内容を記載したレポート等をすべて提出することがレベル B に相当する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	6/17	08:50-10:30	計算機実習室	物理学実験		越野　和樹, 後藤　慎平	
3-4	6/24	08:50-10:30	計算機実習室	物理学実験		越野　和樹, 後藤　慎平	
5-6	7/1	08:50-10:30	計算機実習室	物理学実験		越野　和樹, 後藤　慎平	
7-10	10/31	13:30-17:05		生物学実験		伊藤　正則, 栗田　武, 松本　幸久	
11-14	11/7	13:30-17:05		生物学実験		伊藤　正則, 栗田　武, 松本　幸久	
15-18	11/14	13:30-17:05	化学実験室	化学実験	無機金属イオンの分析	勝又　敏行, 澤野　頼子, 奈良　雅之	【到達目標】1)【学習方法】対面実習、レポート課題提出
19-22	11/21	13:30-17:05	化学実験室	化学実験	無機金属イオンの分析	勝又　敏行, 澤野　頼子, 奈良　雅之	【到達目標】1)【学習方法】対面実習、レポート課題

							提出
23-26	11/28	13:30-17:05	化学実験室	化学実験	化学実験:容量分析	勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之	【到達目標】1)【学習方法】対面実習、レポート課題提出
27-30	12/5	13:30-17:05	化学実験室	化学実験	化学実験:容量分析	勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之	【到達目標】1)【学習方法】対面実習、レポート課題提出

授業方法

実習による

授業内容

1 物理学実験:大数の法則と中心極限定理の観察(1)

2 物理学実験:大数の法則と中心極限定理の観察(2)

3 物理学実験:大数の法則と中心極限定理の観察(3)

4 生物学実験:光学顕微鏡の使い方、血液塗抹標本の作成・観察

5 生物学実験:グループ学習(実験結果から疑問点の抽出と解決、発表用スライド作成、発表会)

6 化学実験:無機金属イオンの分析(1)

7 化学実験:無機金属イオンの分析(2)

8 化学実験:容量分析(1) 中和滴定(食酢中の酸の定量)

9 化学実験:容量分析(2) キレート滴定(水道水中のカルシウムの定量)

化学実験では、1人1セットずつ実験器具が配布されることにより、各自が責任をもって実験に取り組む。

成績評価の方法

実験のため、実験中の取り組み記録の作成などを重視し以下の通りとする。

物理学分野 25% 生物学分野 25% 化学分野 50%で評価する。

化学分野では実験ノート(一次記録およびレポート)50%、

実験中の取り組み(面接・テストなどを含む)50%で評価する。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

予習をして実験の内容をあらかじめ把握しておくこと。実験後はレポートを作成し、考察を行うこと。

教科書

化学実験(東京医科歯科大学教養部化学教室編)

参考書

最新臨床検査学講座 化学/奈良雅之 著:医歯薬出版, 2020

連絡先(メールアドレス)

奈良 雅之:nara.las@tmd.ac.jp

澤野 頼子:sawano.las@tmd.ac.jp

栗田 武:kurita.takeshi@tmd.ac.jp

勝又 敏行:katsumata.las@tmd.ac.jp

伊藤 正則:itohmt.las@tmd.ac.jp

松本 幸久:yukihisa.las@tmd.ac.jp

越野 和樹:ikuzak.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

奈良 雅之:毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00(ただし、第1水曜日(教授会開催日)は PM.1:00 まで), 毎週木曜日 PM.0:20-PM.1:20 ヒポクラテス 4 階

澤野　頼子:毎週金曜日 PM.0:30–PM.1:20　ヒポクラテス 4 階
栗田　武:毎週水曜日 PM.1：30–PM. 5：00 ヒポクラテスホール（校舎棟）4 階 教官研究室–2
勝又　敏行:毎週金曜日 12:00–13:00　ヒポクラテス 2 階化学実験準備室
伊藤　正則:毎週月曜日　AM.10:00–PM.2：00　ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室
松本　幸久:毎週月曜日　PM.4:30–6:00　ヒポクラテスホール 3 階生物教員実験室
越野　和樹:毎週火曜日 12:30—13:00　ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000242				
科目名	科学基礎実験 N･O･K			科目 ID	LA-116202-Z
担当教員	奈良 雅之, 勝又 敏行, 澤野 頼子, 越野 和樹, 後藤 慎平[NARA MASAYUKI, KATSUMATA TOSHIYUKI, SAWANO YORIKO, KOSHINO KAZUKI, GOTOU Shinnpei]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1		
実務経験のある教員による授業					

･曜日･時間:金曜 1～2 講 (実験は指定された回に出席すること)

･対象学科:保健衛生学科看護学専攻、口腔保健学科

･科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

2－1)自然現象を科学的に探求するための方法論を知る

2－2)自然現象を探求するための手法を知る

4－2)生命現象･自然現象について総合的に理解するための基礎学力･思考力を身につける

4－3)自然現象を探求するための基本的手法を身につける

主な講義場所

8･9番教室、化学実験室

授業の目的、概要等

実験では定性分析および容量分析を実験テーマとして基本操作を学び、実験に対する基本的な態度を身につけ、注意深い観察力、正確な判断力を身につける。1人1セットずつ実験器具が配布されることにより、各自が責任をもって実験に取り組む。危険な物質の扱い方、一次記録の取り方、報告の書き方などを習得する。

演習(化学および物理学)を通して、科学的な思考力を身につける。

授業の到達目標

1)実験では、一次記録をきちんと取り、それを実験報告としてまとめることができる。

2)演習では、看護や口腔保健の専門科目で役立つ化学と物理学の基礎について、演習問題に取り組むことで理解を深める。

GPA における「B」(本試験合格レベル)の条件は、上記到達目標を概ね達成できたこととする。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標･学習方法･その他
1-2	4/19	10:45-12:25	8 番教室, 9 番教室	演習(化学)	原子の構造と化学結合	澤野 頼子	【到達目標】2)【学習方法】対面講義、演習、課題提出
3-4	4/26	08:50-10:30	8 番教室, 9 番教室	演習(化学)	原子の構造と化学結合	澤野 頼子	【到達目標】2)【学習方法】対面講義、演習、課題提出
5-6	4/26	10:45-12:25	8 番教室, 9 番教室	演習(化学)	原子の構造と化学結合	澤野 頼子	【到達目標】2)【学習方法】対面講義、演習、課題提出
7-10	5/10	08:50-12:25	8 番教室, 9 番教室	演習(物理)	大数の法則と中心極限定理	越野 和樹, 後藤 慎平	【到達目標】2)【学習方法】対面講義、演習
11-14	5/17	08:50-12:25	8 番教室, 9 番教室	演習(物理)	大数の法則と中心極限定理	越野 和樹, 後藤 慎平	【到達目標】2)【学習方法】対面講義、演習、考査

15–18	5/24	08:50–12:25	8 番教室, 9 番教室	実験講義	ガイダンス、演習	奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	【到達目標】1)【学習方法】対面講義
19–22	5/31	08:50–12:25	化学実験室	実験(化学)	金属イオンの分析	奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	【到達目標】1)【学習方法】対面実習、レポート課題提出
23–26	6/7	08:50–12:25	化学実験室	実験(化学)	金属イオンの分析	奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	【到達目標】1)【学習方法】対面実習、レポート課題提出
27–30	6/14	08:50–12:25	化学実験室	実験(化学)	金属イオンの分析	奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	【到達目標】1)【学習方法】対面実習、レポート課題提出
31–34	6/21	08:50–12:25	化学実験室	実験(化学)	金属イオンの分析	奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	【到達目標】1)【学習方法】対面実習、レポート課題提出
35–38	6/28	08:50–12:25	化学実験室	実験(化学)	容量分析実験	奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	【到達目標】1)【学習方法】対面実習、レポート課題提出
39–42	7/5	08:50–12:25	化学実験室	実験(化学)	容量分析実験	奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	【到達目標】1)【学習方法】対面実習、レポート課題提出
43–46	7/12	08:50–12:25	化学実験室	実験(化学)	容量分析実験	奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	【到達目標】1)【学習方法】対面実習、レポート課題提出
47–50	7/19	08:50–12:25	化学実験室	実験(化学)	容量分析実験	奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	【到達目標】1)【学習方法】対面実習、レポート課題提出
51–54	7/26	08:50–12:25	化学実験室	実験(化学)		奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行	【到達目標】1)【学習方法】対面実習、レポート課題提出

授業方法

実習、講義、および演習による

授業内容

1. 科学基礎実験総論/講義(一次記録の取り方、レポートの書き方、安全対策、数値の取り扱い等)/席決め/実験準備
2. 無機定性分析(1)金属イオンの分析
3. 無機定性分析(2)金属イオンの分析
4. 容量分析:中和滴定(食酢中の酸の定量)
5. 演習(化学):原子の構造と化学結合
6. 演習(物理学):大数の法則と中心極限定理

成績評価の方法

評価:実験(一次記録、報告 30% ・ 実験中の取り組み 20%) ・演習(試験(考査)40% ・ 演習の参加度 10%)

実験中の取り組みや記録の作成、実験に対する考察、授業内容の理解度を測るために試験や演習などにより評価する。

再評価:有(再評価方法　再試験)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

実験:実験テキストの該当部分を予習をし、実験の内容をあらかじめ把握しておくこと。実験後はレポートを作成し、考察を行うこと。

演習(化学):講義資料(WebClass に掲載)および教科書・参考書等で関連分野にあらかじめ目を通しておく。

演習(物理学):講義資料(WebClass に掲載)をあらかじめダウンロードし印刷しておくことを前提とする。

試験の受験資格

3 分の 2 以上の出席を必要とする。出欠は授業開始時に教員がとる。

教科書

「化学実験」(東京医科歯科大学教養部化学教室編)

参考書

生命科学のための化学実験／高橋知義 ほか:東京教学社, 2018

基礎化学実験 安全オリエンテーション／山口和也、山本仁:東京化学同人, 2007

基礎化学実験／東京大学教養学部化学部会 編,:東京化学同人, 2012

系統看護学講座 化学／奈良／雅之(化学),:医学書院, 2018

連絡先(メールアドレス)

澤野　頼子:sawano.las@tmd.ac.jp

奈良　雅之:nara.las@tmd.ac.jp

勝又　敏行:katsumata.las@tmd.ac.jp

越野　和樹:ikuzak.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

澤野　頼子:毎週金曜日 PM.0:30–PM.1:20　ヒポクラテス 4 階

奈良　雅之:毎週水曜日 PM.0:00–PM.2:00(ただし、第 1 水曜日(教授会開催日)は PM.1:00 まで), 毎週木曜日 PM.0:20–PM.1:20　ヒポクラテス 4 階

勝又　敏行:毎週金曜日 12:00–13:00　ヒポクラテス 2 階化学実験準備室

越野　和樹:毎週火曜日 12:30—13:00　ヒポクラテス 4 階

時間割番号	004401		
科目名	自然科学実験(物理学実験)	**科目ID**	
担当教員	檜枝 光憲, 越野 和樹, 酒井 勝太, 石田 あずみ[HIEDA MITSUNORI, KOSHINO KAZUKI, SAKAI KATSUTA, ISHIDA Azumi]		
開講時期	2024 年度前期	**対象年次**	
実務経験のある教員による授業			

曜日・時間:火曜 3〜4 講

対象学科:医学科、歯学科

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表2−2)自然現象を探求するための手法を知る

別表4−3)自然現象を探求するための基本的手法を身につける

主な講義場所

物理学学生実験室(ヒポ 1F)、計算機実習室(ヒポ 2F)

授業の目的、概要等

実験形式により、学生自らが手を動かすことで物理学の知識を深化させる。

目的を達成するための方法を考え実験計画を立て、実験中はよくみ(観・視)よく考えて行動し、その結果を確かめながら実験方法を改良しつつ、最終的に得られた結果をどのように解釈したらよいかという物理学的な思考方法を学ぶ。

授業の到達目標

1. 自然科学に欠かせない予測手段の一つである数値シミュレーションを用い、運動方程式を解くことができる。
2. 極低温状態の固体の性質を調べ、金属、半導体、超伝導、磁性という現代物理学の主要分野である「物性物理学」の知識を得る。
3. 実験結果の解析、およびグラフ化の方法を学ぶ。
4. 科学的なレポートの書き方を学ぶ。

基本的な内容の理解(総合点 70〜79 点)を B 評価とする。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員
1−4	4/23	13:30−17:05	物理学実験室, 計算機実習室	共通実験・演習	酒井 勝太, 檜枝 光憲, 越野 和樹, 石田 あずみ
5−8	5/14	13:30−17:05	物理学実験室, 計算機実習室	実験1(グループα)	酒井 勝太, 檜枝 光憲, 越野 和樹, 石田 あずみ
9−12	5/21	13:30−17:05	物理学実験室, 計算機実習室	実験1(グループα)	酒井 勝太, 檜枝 光憲, 越野 和樹, 石田 あずみ
13−16	5/28	13:30−17:05	物理学実験室, 計算機実習室	実験2(グループα)	酒井 勝太, 檜枝 光憲, 越野 和樹, 石田 あずみ
17−20	6/4	13:30−17:05	物理学実験室, 計算機実習室	実験2(グループα)	酒井 勝太, 檜枝 光憲, 越野 和樹, 石田 あずみ
21−24	6/11	13:30−17:05	物理学実験室, 計算機実習室	実験1(グループβ)	酒井 勝太, 檜枝 光憲, 越野 和樹, 石田 あずみ
25−28	6/18	13:30−17:05	物理学実験室, 計算機実習室	実験1(グループβ)	酒井 勝太, 檜枝 光憲, 越野 和樹, 石田 あずみ
29−32	6/25	13:30−17:05	物理学実験室, 計算機実習室	実験2(グループβ)	酒井 勝太, 檜枝 光憲, 越野 和樹, 石田 あずみ
33−36	7/2	13:30−17:05	物理学実験室, 計算機実習室	実験2(グループβ)	酒井 勝太, 檜枝 光憲, 越野 和樹, 石田 あずみ
37−40	7/9	13:30−17:05	物理学実験室, 計算機実習室	実験1(グループγ)	酒井 勝太, 檜枝 光憲, 越野 和樹, 石田 あずみ

41–44	7/16	13:30–17:05	物理学実験室, 計算機実習室	実験1(グループγ)	酒井 勝太, 檜枝 光憲, 越野 和樹, 石田 あずみ	
45–48	7/23	13:30–17:05	物理学実験室, 計算機実習室	実験2(グループγ)	酒井 勝太, 檜枝 光憲, 越野 和樹, 石田 あずみ	
49–52	7/30	13:30–17:05	物理学実験室, 計算機実習室	実験2(グループγ)	酒井 勝太, 檜枝 光憲, 越野 和樹, 石田 あずみ	

授業方法

実験(対面もしくは遠隔)

授業内容

下記の 3 項目の実験を、以下のスケジュールで実施する。グループ分けは、webclass にて発表する。

1. 共通実験・演習
2. 物性実験(担当:檜枝、石田)
3. 計算機実験(担当:越野、酒井)

成績評価の方法

物理学実験における到達度を評価するため各実験ごとにレポートを課す。
実習形式のため授業の参加度およびレポートの内容を重視する。

レポート 80%
その他(授業の参加度、実験態度)20%

成績評価の基準

遅刻や実験中の態度不良による減点が大きいので注意すること。
なお、「物理学実験」では、すべての授業に出席し、すべてのレポートを提出することが義務付けられている。

準備学習等についての具体的な指示

各実験前に必ず指示書を読んで理解すること。
また各実験テーマで必要とされる予習、事前準備、を実施すること。

試験の受験資格

試験は実施しないが、原則、すべての実験に参加すること

教科書

資料は webclass にて配布する

履修上の注意事項

自然科学実験は、物理学実験、化学実験、生物実験の総合成績により成績が決まる。 本科目の合格にはそれぞれの分野の実験で合格する必要がある。 原則、全ての授業に出席すること。欠席時は事務に欠席届を提出し、代替処置を教員と相談すること。 原則、全てのレポートを提出すること。 (未提出のレポートがある場合、大きな減点となり不合格となる可能性が高いことを肝に命じること) 他人のレポートの丸写し、データ捏造などの不正行為がある場合、不合格とする。

備考

学生アンケートへの対応:
2019 年度 特に無し
2020 年度 コロナ感染症のため遠隔授業での実施となったが、実験という授業の性質上対面での実施を望む声があった。今後もコロナの状況によりどちらの遠隔実験も取り入れる必要があり、オンデマンド教材(動画)の導入など改善をはかった。
2021–2022 年度 特に無し

連絡先(メールアドレス)

檜枝 光憲:hieda.las@tmd.ac.jp
酒井 勝太:sakai.las@tmd.ac.jp
越野 和樹:ikuzak.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

檜枝　光憲:毎週水曜日 12:30～13:00　ヒポ 3F 教員研究室 3
越野　和樹:毎週火曜日 12:30―13:00　ヒポクラテス 4 階

時間割番号	004402			
科目名	自然科学実験(化学実験)		科目ID	
担当教員	勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之[KATSUMATA TOSHIYUKI, SAWANO YORIKO, NARA MASAYUKI]			
開講時期	2024 年度前期	対象年次		
実務経験のある教員による授業				

曜日・時間:火曜日・3～4 講 対象学生は指定された 1～3 組に分かれて化学実験、生物学実験、物理学実験を交代で行う。
対象学科:医学科、歯学科
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

2－1)自然現象を科学的に探求するための方法論を知る
2－2)自然現象を探求するための手法を知る
4－2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける
4－3)自然現象を探求するための基本的手法を身につける

授業の目的、概要等

無機定性分析および容量分析を主な実験テーマとして基本操作を学び、実験に対する基本的な態度を身につける。1人 1 セットずつ実験器具が配布されることにより、各自が責任をもって実験に取り組む。危険な物質(硫化水素など)の扱い方、一次記録の取り方、報告の書き方などを習得する。さらに、各自が興味を持ったテーマを見つけだし、そのテーマに関する実験に取り組む(考察実験)。

授業の到達目標

1)一次記録をきちんと取り、それを実験報告としてまとめることができる。さらに自分で実験テーマを見つけて、計画・実施することができる。
以上の目標を 70%達成することが、GPA における「B」に相当する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-4	5/7	13:30-17:05	遠隔授業(同期型)	化学実験ガイダンス	化学実験ガイダンス	勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之	【到達目標】1)【学習方法】オンライン講義
5-8	5/14	13:30-17:05	化学実験室	無機定性分析	無機定性分析	勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之	【到達目標】1)【学習方法】対面実習、レポート課題提出
9-12	5/21	13:30-17:05	化学実験室	無機定性分析	無機定性分析	勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之	【到達目標】1)【学習方法】対面実習、レポート課題提出
13-16	5/28	13:30-17:05	化学実験室	容量分析	容量分析	勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之	【到達目標】1)【学習方法】対面実習、レポート課題提出
17-20	6/4	13:30-17:05	化学実験室	容量分析	容量分析	勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之	【到達目標】1)【学習方法】対面実習、レポート課題提出
21-24	6/11	13:30-17:05	化学実験室	無機定性分析	無機定性分析	勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之	【到達目標】1)【学習方法】対面実習、レポート課題提出

25-28	6/18	13:30-17:05	化学実験室	無機定性分析	無機定性分析	勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之	【到達目標】1)【学習方法】対面実習、レポート課題提出
29-32	6/25	13:30-17:05	化学実験室	容量分析	容量分析	勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之	【到達目標】1)【学習方法】対面実習、レポート課題提出
33-36	7/2	13:30-17:05	化学実験室	容量分析	容量分析	勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之	【到達目標】1)【学習方法】対面実習、レポート課題提出
37-40	7/9	13:30-17:05	化学実験室	無機定性分析	無機定性分析	勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之	【到達目標】1)【学習方法】対面実習、レポート課題提出
41-44	7/16	13:30-17:05	化学実験室	無機定性分析	無機定性分析	勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之	【到達目標】1)【学習方法】対面実習、レポート課題提出
45-48	7/23	13:30-17:05	化学実験室	容量分析	容量分析	勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之	【到達目標】1)【学習方法】対面実習、レポート課題提出
49-52	7/30	13:30-17:05	化学実験室	容量分析	容量分析	勝又 敏行, 澤野 頼子, 奈良 雅之	【到達目標】1)【学習方法】対面実習、レポート課題提出

授業方法

実習および講義による

授業内容

1. 化学実験総論／席決め／実験準備と講義(一次記録の取り方、レポートの書き方、安全対策等)
2. 無機金属イオンの分析(硫化水素法) その1(1－5族混合未知試料の分析)
3. 無機金属イオンの分析(硫化水素法) その2(1－5族混合未知試料の分析)
4. 容量分析 中和滴定の練習(食酢中の酸の定量)／誤差の取り扱い方
5. 容量分析 キレート滴定 牛乳、水道水中のカルシウムイオンの定量

成績評価の方法

実験のため、実験中の取り組み、記録の取り方など重視し以下の通りとする。

実験ノート(一次記録および報告)60%、

実験中の取り組み(面接、テストなどを含む)40%

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

予習をして実験の内容をあらかじめ把握しておくこと。実験後はレポートを作成し、考察を行うこと。

教科書

「化学実験」(東京医科歯科大学教養部化学教室編)

参考書

最新臨床検査学講座　化学／奈良雅之：医歯薬出版, 2020

高木誠司著：定性分析化学中巻　イオン反応編、南江堂

高木誠司著：定量分析の実験と計算、共立出版

柴田村治著：無機クロマトグラフ法とイオン交換分離、 共立出版

D.T.Plummer 著：廣海他訳、実験で学ぶ生化学、化学同人

履修上の注意事項

自然科学実験の単位取得は、生物学実験、化学実験、物理学実験のそれぞれで合格していることが必要である。

連絡先（メールアドレス）

勝又　敏行:katsumata.las@tmd.ac.jp

澤野　頼子:sawano.las@tmd.ac.jp

奈良　雅之:nara.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

勝又　敏行:毎週金曜日 12:00–13:00　ヒポクラテス 2 階化学実験準備室

澤野　頼子:毎週金曜日 PM.0:30–PM.1:20　ヒポクラテス 4 階

奈良　雅之:毎週水曜日 PM.0:00–PM.2:00(ただし、第 1 水曜日（教授会開催日）は PM.1:00 まで), 毎週木曜日 PM.0:20–PM.1:20　ヒポクラテス 4 階

時間割番号	004403		
科目名	自然科学実験(生物学実験)	**科目ID**	
担当教員	伊藤　正則, 松本　幸久, 栗田　武[ITO MASANORI, MATSUMOTO YUKIHISA, KURITA TAKESHI]		
開講時期	2024 年度前期	**対象年次**	
実務経験のある教員による授業			

・曜日・時間:火曜日 3～4 講

・対象:医学科・歯学科 1 年生

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)

2－2)自然現象を探求する手法を知る。

4－3)自然現象を探求するための基本的手法を身につける。

主な講義場所

ヒポクラテスホール 3 階生物学学生実験室

授業の目的、概要等

講義で学習する内容は観察や実験によって得られたものである。これらの生物学の基本的知識がどのような過程で得られたかを実際に体験することによって生物学の考え方を学ぶ。また、生物の取り扱い方法、機器の使用方法、観察・測定した結果の整理に仕方などの基本を学ぶ。さらにレポートの書き方を学ぶ。

授業の到達目標

1)生物を適切に取り扱うことができる。

2)実験機器を正しく使用することができる。

3)肉眼あるいは光学顕微鏡により生体の構造を観察し、その特徴を説明することができる。

4)実験結果や既存の知識から仮説を立て、仮説を検証するために適切な実験を計画することができる。

5)データを整理・分析し、この結果と既存の知識を正しい論理展開を含んだレポートを書くことができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-4	4/30	13:30-17:05		伊藤　正則, 松本　幸久, 栗田　武
5-8	5/14	13:30-17:05		伊藤　正則, 松本　幸久, 栗田　武
9-12	5/21	13:30-17:05		伊藤　正則, 松本　幸久, 栗田　武
13-16	5/28	13:30-17:05		伊藤　正則, 松本　幸久, 栗田　武
17-20	6/4	13:30-17:05		伊藤　正則, 松本　幸久, 栗田　武
21-24	6/11	13:30-17:05		伊藤　正則, 松本　幸久, 栗田　武
25-28	6/18	13:30-17:05		伊藤　正則, 松本　幸久, 栗田　武
29-32	6/25	13:30-17:05		伊藤　正則, 松本　幸久, 栗田　武
33-36	7/2	13:30-17:05		伊藤　正則, 松本　幸久, 栗田　武
37-40	7/9	13:30-17:05		伊藤　正則, 松本　幸久, 栗田　武
41-44	7/16	13:30-17:05		伊藤　正則, 松本　幸久, 栗田　武
45-48	7/23	13:30-17:05		伊藤　正則, 松本　幸久, 栗田　武
49-52	7/30	13:30-17:05		伊藤　正則, 松本　幸久, 栗田　武

授業方法

実習による。

授業内容

第 1 回　ガイダンス

第 2 回　マウスの解剖-器官の観察と器官のつながりの理解

第 3 回　ヒトとウシガエルの血液塗抹標本の光学顕微鏡での観察

第 4 回　DNA 抽出、PCR

第 5 回　PCR 産物のアガロース電気泳動による同定

成績評価の基準

レポート 100%

再評価:有

準備学習等についての具体的な指示

実験を行う前にテキストを読んでおくこと。

試験の受験資格

原則的には出席しないと、レポートを提出することはできない。3 回の遅刻で 1 回の欠席とする。

教科書

人体の構造と機能／エレイン N.マリーブ著 ; 林正健二 [ほか] 訳,Marieb, Elaine Nicpon,林正, 健二,:医学書院, 2015

東京医科歯科大学教養部 新生物学実験テキスト-個体から分子まで-

連絡先(メールアドレス)

伊藤 正則:itohmt.las@tmd.ac.jp

栗田 武:kurita.takeshi@tmd.ac.jp

松本 幸久:yukihisa.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

伊藤 正則:毎週月曜日 AM.10:00-PM.2:00 ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室

栗田 武:毎週水曜日 PM.1:30-PM. 5:00 ヒポクラテスホール (校舎棟) 4 階 教官研究室-2

松本 幸久:毎週月曜日 PM.4:30-6:00 ヒポクラテスホール 3 階生物教員実験室

時間割番号	00560				
科目名	S･水の科学			科目ID	
担当教員	奈良 雅之[NARA MASAYUKI]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

･曜日･時間:月曜 3～4 講(変則的)

･対象学科:全学科

･募集人数:36 名

･科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表2－4)自己問題提起･解決型の学習方法を身につける

別表2－5)自らテーマを見つけて、調べ、発展させ、論文にまとめる能力を養う

授業の目的、概要等

水に対する世間の関心が高いことはご存じのことでしょう。例えば、水道水に対する不安、不満、嗜好飲料に対するブランド志向などからミネラルウォーターが一般家庭の中で定着しています。また、十分な科学的な根拠なしに、水に新しい機能を求める風潮がありますし、本屋の棚には「水で病気が治った？」といった怪しげな本も見受けられます。日常生活の中で当たり前としてとらえがちな「水」ですが、実は非常に複雑で奥が深く、なかなか一筋縄で理解できるものではありません。そこで、「水」に関するテーマを科学的な視点はもちろん、社会的な視点からも眺めることにより、その広さと深さを勉強します。

授業の到達目標

1. 水、水溶液を科学的な視点で理解できる。

2.「水」に関連する興味のあるテーマについて、自分で調べてプレゼンテーションを行うことができる。

3. 授業中にあまり積極的には参加できていないが、プレゼンテーション、レポート提出は行えた場合に、GPA における「B」に相当する。能動学習の成果が授業中に出ている学生は、「A あるいは A+]に相当する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-4	6/24	13:30-17:05		ガイダンス&グループ活動(1)	授業の概要について説明する。グループ学習を通して、水に関する興味を深める。	奈良 雅之
5-8	7/8	13:30-17:05		グループ活動(2)	指定されたグループにて、水に関する文献を輪読、紹介することにより、水に関する理解を深める。	奈良 雅之
9-12	7/15	13:30-17:05		グループ活動(3)	指定されたグループにて、水に関する文献を輪読、紹介することにより、水に関する理解をさらに深める。試飲会の打ち合わせを行う。	奈良 雅之
13-16	7/22	13:30-17:05		グループ活動(4)	グループに分かれて試飲会を実施し、計画通りに実施できたか省察する。	奈良 雅之
17-20	7/29	13:30-17:05		発表会(1)	各自の興味に基づいて、水に関連するトピックを発表し、発表した内容に基づいて議論する。	奈良 雅之
21-24	7/31	13:30-17:05		発表会(2)	各自の興味に基づいて、水に関連するトピックを発表し、発表した内	奈良 雅之

					容に基づいて議論する。		

授業方法

教員による講義の部分はできるだけ少なくてし、受講者が積極的に参加するように、輪読、グループ学習、発表会など能動学習(アクティブラーニング)を実践します。机上の議論だけでなく、「どの水がうまいか？」「どの水を使うと、おいしいコーヒーが飲めるか？」など実際に比較実験を行う(自分の舌で確かめる)ことにより、眠気を吹き飛ばすようにしたいと思います。

授業内容

1.ガイダンス

2.水に関する講義

3.水,水溶液に関連する文献の輪読

4.ミネラルウォーターの試飲会

5.報告会 など

成績評価の方法

評価:授業中のグループ活動が特に重要ですので、授業への貢献度(50%)、発表・プレゼンテーション(20%)、レポート(30%)で評価します。

アクティブラーニングの提出物(レポート)よりもアクティブラーニングの活動を評価として重視します。

再評価:無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

新聞記事、インターネットなどから水に関する情報を収集してください。

試験の受験資格

期末考査・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席

教科書

水を科学する／川瀬義矩 著,:東京電機大学出版局, 2011

参考書

水の話・十講 : その科学と環境問題／鈴木啓三 著,:化学同人, 1997

水とはなにか : ミクロに見たそのふるまい／上平 恒／著,:講談社, 1979

系統看護学講座 化学／奈良雅之:医学書院, 2018

水の科学 : 水の自然誌と生命、環境、未来／清田佳美著,清田, 佳美,:オーム社, 2015

他科目との関連

分子レベルの化学に興味を持っている方は、「生命分子スペクトル解析学演習」の履修をお勧めします。

履修上の注意事項

無断欠席する人は、グループ活動の妨げになりますので、履修しないでください。 グループ学習が嫌いな人には向いていません。

連絡先(メールアドレス)

nara.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00(ただし、第 1 水曜日(教授会開催日)は PM.1:00 まで), 毎週木曜日 PM.0:20-PM.1:20 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	00580				
科目名	S・数理生物学入門			科目ID	
担当教員	中林　潤[NAKABAYASHI Junn]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表 2－1)

主な講義場所

国府台キャンパス

ヒポクラテス棟講義室

授業の目的、概要等

数理生物学とはいかなる学問であるか理解する。数理生物学ではどのような手法が使われるのか理解し、それぞれの手法の基盤となっている数理科学的理論について理解する.

授業の到達目標

様々な数理生物学的手法について理解し、説明できる.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-4	6/24	13:30-17:05		中林 潤
5-8	7/8	13:30-17:05		中林 潤
9-12	7/15	13:30-17:05		中林 潤
13-16	7/22	13:30-17:05		中林 潤
17-20	7/29	13:30-17:05		中林 潤
21-24	7/31	13:30-17:05		中林 潤

授業方法

基本的に対面で授業を行うが,状況によって遠隔授業に変更する.講義はスライドを使って進める.

授業内容

細胞増殖の数理モデル

パターン形成の数理モデル

進化とゲーム理論

離散時間のロジスティック成長とカオス

情報科学の基礎理論とバイオインフォマティクス

ベイズ理論の基礎と生命科学分野における応用

成績評価の方法

期末試験の成績,出席,授業中の態度を勘案して総合的に評価する.

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による.

準備学習等についての具体的な指示

特に準備学習は必要ないが,講義内容を復習してしっかりと身につけること.

試験の受験資格

講義の 3 分の 2 回以上の出席

参考書

数理生物学入門 : 生物社会のダイナミックスを探る／巌佐, 庸,巌佐庸著:共立出版, 1998.3

数理生態学／巌佐, 庸, 1952-,日本生物物理学会,巌佐庸 編:共立出版, 1997.6

「数」の数理生物学／日本数理生物学会,瀬野, 裕美, 1960-,日本数理生物学会 編:共立出版, 2008.9

マレー数理生物学入門／Murray, James Dickson, 1931-,三村, 昌泰,瀬野, 裕美, 1960-,河内, 一樹,中口, 悦史,勝瀬, 一登,吉田, 雄紀,青木, 修一郎,James D.Murray 著,三村昌泰 総監修,瀬野裕美, 河内一樹, 中口悦史, 三浦岳 監修,勝瀬一登, 吉田雄紀, 青木修一郎, 宮嶋望, 半田剛久, 山下博司 訳:丸善出版, 2014.1 数学がわかるということ : 食うものと食われるものの数学／山口, 昌哉, 1925-1998,山口昌哉 著:筑摩書房, 2010.8
連絡先(メールアドレス) nakab.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 月曜～金曜 A.M.10:00 – P.M. 05:00 国府台キャンパス 4 階 教官研究室―9

時間割番号	00590				
科目名	S･実用統計学			科目 ID	
担当教員	徳永　伸一[TOKUNAGA SHINICHI]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

曜日･時間:火曜 3-4 講

対象学科:保健衛生学科、口腔保健学科

コンピテンシー:

4−2) 生命現象･自然現象について総合的に理解するための基礎学力･思考力を身につける

4−3) 自然現象を探求するための基本的手法を身につける

4−4) 情報についての基本技能を身につける

主な講義場所

計算機実習室

(希望者にはオンラインでの受講を許可する予定)

授業の目的、概要等

保健衛生学科･口腔保健学科の皆さんが学ぶ「統計学」の内容を題材に、Excel と Python を用いた実習を行います。

(Excel がメインです)

保健衛生学科や口腔保健学科の卒業研究では、パソコンを用いた統計処理が多用されます。この授業では、統計学の基礎を確認しつつ、Excel や Python を用いた簡単なデータ処理･統計処理の技術を習得することを目指します。

授業の到達目標

･「統計学」の理解をより確実なものとし、実際の統計処理に応用できるようにする。

･Excel の基本的な使用法を習得し、Excel を用いた簡単なデータ処理･統計処理を実行できるようにする。

･Python による統計関数の描画や統計処理の基礎を習得する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-4	6/24	13:30-17:05		徳永　伸一
5-8	7/8	13:30-17:05		徳永　伸一
9-12	7/15	13:30-17:05		徳永　伸一
13-16	7/22	13:30-17:05		徳永　伸一
17-20	7/29	13:30-17:05		徳永　伸一
21-24	7/31	13:30-17:05		徳永　伸一

授業内容

第1回　:Excel および統計学の基礎

第2回　:Excel 演習1(確率密度関数のグラフ)

第3回　:Excel 演習2(2 項分布と正規近似)

第4回　:Excel 演習3(乱数の分布と標本平均の分布)

第5回　:Python 演習

第6回　:総合演習

※履修者の状況や希望を考慮して柔軟に進めますので、変更する可能性があります。

成績評価の方法

原則として出席および授業中に行う演習課題により評価しますが、それらの評価が一定基準に達しない履修者を対象に、評価の不足を補うためのレポート課題や試験を課す可能性があります。

準備学習等についての具体的な指示

「統計学」の授業内容をよく把握しておくこと。また自分のパソコンに Excel をインストールし、使えるようにしておくこと。

参考書

数学/統計学／井川俊彦, 清田正夫, 徳永伸一, 山舘周恒, 熊坂一成 著,:医歯薬出版, 2005

やさしい医療系の統計学／佐藤敏雄, 村松宰 著,:医歯薬出版, 2002

入門統計解析／松原望 著,:東京図書, 2007

バイオサイエンスの統計学 : 正しく活用するための実践理論／市原清志 著,:南江堂, 1990

他科目との関連

「統計学」の内容を復習しながら進める予定です。

連絡先(メールアドレス)

tokunaga.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

前期:

火曜 12:30-13:20(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

後期:

木曜 12:30-13:20(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

＊いずれも計算機実習室で授業がある日なので、そちらにいることが多いです。

上記以外の時間帯でも、事前に E メールで連絡をもらえれば可能な限り対応します。

時間割番号	00600				
科目名	S・生命分子スペクトル解析学演習			科目ID	
担当教員	奈良　雅之[NARA MASAYUKI]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

夏季集中型:
・対象学科:全学科
・募集人数:10名
・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):
2−1・2・3)科学的思考方法を知る
4−3)自然現象を探究するための基本的手法を身につける

主な講義場所

分光測定は化学教員実験室で行います。

授業の目的、概要等

近年の技術的な進歩に伴って、医歯学や生命科学の分野における分子分光学の果たす役割は大きくなっています。この科目では担当教員の専門分野である“生命分子スペクトル解析学”を通じて「ミクロのものの見方」「分光学の生体分子への応用」を学びます。まずは化学の基礎として、原子の構造、分子の構造を講義ならびに演習を通じて理解します。次に、実際に分光装置を用いて分光測定の基本操作に慣れます。実験テーマを決めて、生体分子等について分光測定で得られたスペクトルをコンピュータで解析します。

授業の到達目標

⑴原子の構造、分子の構造について理解できる。
⑵基本操作を習得することにより、一人で分光測定ができる。
⑶基本物質や生体分子の振動スペクトルから構造を読み取ることができる。
授業をほぼ全回出席して、課されたノルマをこなせば、GPA における B 以上に相当する。

授業方法

演習・実験形式を取り入れたアクティブラーニングを行う。

授業内容

タンパク質や脂質などの生体高分子や生体材料などを研究対象として、分光学的手法(主として赤外分光法もしくはラマン分光法)によるアプローチにより、対象となる分子の構造と機能の相関を解析する。
1-4 ガイダンス、光分析の基礎、原子構造と周期律
5-8 分子構造と化学結合
9-12 量子化学入門
13-16 生体分子分光学の基礎
17-20 分光学実習(1)
21-24 分光学実習(2)

実験レポート(報告書)として報告する。
履修者が多い場合は、分光学実習を 2 もしくは 3 つのグループに分けて行う場合があります。

成績評価の方法

評価:報告会での発表・レポート　70%・
　　その他　30%(実験の取り組み方)

再評価:無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

ガイダンスの折に資料を配付しますので、配付資料を事前に読んでください。

試験の受験資格

考査の受験資格：原則3分の2以上出席

教科書

必要な文献はコピーして配付します

参考書

系統看護学講座／奈良雅之：医学書院, 2018

赤外分光測定法 : 基礎と最新手法／田隅 三生 編著,日本分光学会編集委員会 編,：エス・ティ・ジャパン, 2012

ハート基礎有機化学／H.ハート, L.E.クレーン, D.J.ハート 原著,秋葉欣哉, 奥彬 訳,：培風館, 2002

一般化学／Jerome L.Rosenberg, Lawrence M.Epstein 共著,一国雅巳 訳,Rosenberg, Jerome Laib,Epstein, Lawrence M,一国, 雅巳, 1930–,：オーム社, 1995

他科目との関連

原子、分子の構造について詳しく取り扱います。

連絡先（メールアドレス）

nara.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週水曜日 PM.0:00–PM.2:00(ただし、第 1 水曜日（教授会開催日）は PM.1:00 まで), 毎週木曜日 PM.0:20–PM.1:20　ヒポクラテス 4 階

時間割番号	00610				
科目名	S・英語で学ぶ力学			科目 ID	
担当教員	越野　和樹[KOSHINO KAZUKI]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)

別表2－1)

別表4－2)

授業の目的、概要等

ニュートンの運動方程式にもとづく古典力学を英文テキストにより学ぶことにより，科学英語に親しむことを目的とする.

授業の到達目標

下記トピックについて英文教材に基づいて理解し，演習問題を解けることを目標とする：NEWTON'S LAWS OF DYNAMICS, CONSERVATION OF MOMENTUM, WORK AND POTENTIAL ENERGY, CENTER OF MASS, MOMENT OF INERTIA

GPA における「B」(本試験合格レベル)の条件は，内容を 8 割程度理解できることとする.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-8	8/1	08:50-17:05	遠隔授業(同期型)	越野　和樹
9-16	8/2	08:50-17:05	遠隔授業(同期型)	越野　和樹
17-24	8/5	08:50-17:05	遠隔授業(同期型)	越野　和樹

授業方法

講義およびアクティブラーニング(演習や討論など)による

授業内容

NEWTON'S LAWS OF DYNAMICS, CONSERVATION OF MOMENTUM, WORK AND POTENTIAL ENERGY, CENTER OF MASS, MOMENT OF INERTIA

成績評価の方法

評価：授業への参加度およびレポート

再評価：無

授業内容の理解度を測るためにレポート課題を課し，その成績および授業への参加度で評価を行う.

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

前期「力学」を発展させた内容を学ぶため，前期「力学」の内容に関して深く理解していることが望ましい.

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より，教員がとる出欠を優先させる.

連絡先(メールアドレス)

ikuzak.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週火曜日 12:30―13:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	00620				
科目名	S・海洋生物学実習			科目ID	
担当教員	伊藤　正則, 松本　幸久, 栗田　武[ITO MASANORI, MATSUMOTO YUKIHISA, KURITA TAKESHI]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

・夏季集中で下記のスケジュールで行う。

8 月上旬 国府台キャンパスでガイダンス、光学顕微鏡の使用方法を学ぶ.

8 月中旬または下旬 新潟大学佐渡自然科学共生センター臨海実験所で実習を行う.

以後、国府台キャンパスで発表会用スライドをつくる。国府台キャンパスで発表会を行う。

・全学科を対象とする。30 名の定員で、定員を超えたときは抽選を行う。

・状況によっては実習内容の変更あるいは中止する可能性がある。

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)

2−2)自然現象を探究する方法を知る。

4−3)自然現象を探究するための基本的な手法を身につける。

主な講義場所

8 月上旬 国府台キャンパス生物学学生実験室でガイダンス、光学顕微鏡の使用方法を学ぶ.

8 月下旬 新潟大学佐渡自然科学共生センター臨海実験所で実習を行う.

以後、 国府台キャンパス 7 番教室で発表会用スライドをつくる。国府台キャンパス 7 番教室で発表会を行う。

授業の目的、概要等

[目的] ウニの発生を光学顕微鏡で観察し、その発生過程で起こる現象とその現象の発現機構を理解する。また、海に生息する様々な生物の形態、生態及び行動を観察し、その多様性と多様性の原因となる
機構を理解する。観察実習から知識を広げ、深める。

[概要] この実習の大部分は、新潟大学佐渡自然共生科学センター臨海実験所において実施される。実習内容は、①棘皮動物であるウニの発生の観察、②沿岸域でのプランクトンの採集とその形態及び行動
の観察、③潮間態に生息する生物の採集とその形態、生態及び行動の観察である。

この実習の主要となる部分は、新潟大学佐渡自然共生科学センター臨海実験所において実施され、新潟大学の教員が指導する。

授業の到達目標

1. ウニの発生過程の特徴を説明することができる。
2. 海に生息する生物の多様性を具体的に説明することができる。

授業方法

講義と実習による。

授業内容

国府台キャンパスで行われる実習ガイダンスを受講する。また、光学顕微鏡の使い方を理解する。新潟大学佐渡自然共生科学センター臨海実験所では、①棘皮動物であるウニの発生の観察、②沿岸域でのプランクトンの採集とその形態及び行動の観察、③潮間態に生息する生物の採集とその形態、生態及び行動の観察を行う。次に、国府台キャンパスで発表会の準備として、資料を検索・整理し、論理展開を重視したスライドを作成した後、発表する。

成績評価の方法

発表会での発表内容、ノートの記述内容によって評価する。再評価は行わない。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表 2」による。

準備学習等についての具体的な指示

事前に配布された資料をよく読んでおく。ウニの発生過程と海に生息する生物に関して予め知識を得ておく。

試験の受験資格

試験を行わない。

教科書

資料を配布する。

参考書

発生生物学／浅島誠編著,浅島, 誠,:朝倉書店, 1996

日本産海洋プランクトン検索図説 = An illustrated guide to marine plankton in Japan／千原光雄, 村野正昭編,千原, 光雄,村野, 正昭,:東海大学出版会, 1997

原色検索日本海岸動物図鑑／西村三郎 編著,西村, 三郎, 1930-2001,:保育社, 1995

履修上の注意事項

・定員は 30 名で、履修希望者が 30 名を超えた場合は抽選で履修者を決める。　・状況によっては内容を変更する、あるいは中止する可能性がある。

連絡先(メールアドレス)

伊藤　正則:itohmt.las@tmd.ac.jp

栗田　武:kurita.takeshi@tmd.ac.jp

松本　幸久:yukihisa.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

伊藤　正則:毎週月曜日　AM.10:00-PM.2:00　ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室

栗田　武:毎週水曜日　PM.1:30-PM. 5:00　ヒポクラテスホール (校舎棟) 4 階　教官研究室-2

松本　幸久:毎週月曜日　PM.4:30-6:00　ヒポクラテスホール 3 階生物教員実験室

時間割番号	00850				
科目名	S・イギリス文学講読			**科目ID**	
担当教員	猪熊　恵子[INOKUMA KEIKO]				
開講時期	2024 年度前期	**対象年次**	1	**単位数**	1
実務経験のある教員による授業					

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表1－1)

別表1－4)

別表1－6)

別表3－4)

授業の目的、概要等

19 世紀後半から 20 世紀前半のイギリスで書かれた「探偵小説」を英語で読む。

主にコナン・ドイルの「シャーロック・ホームズ」の中編・短編、アガサ・クリスティーの短編などを取り上げ、可能な限り精読する。

また、近代社会の成立と個人のアイデンティティという問題と探偵小説というジャンルが、どのようにかかわっているのかについても考察する。

あわせて、「探偵小説」というジャンルにしばしば与えられる「芸術性が低い」「芸術的価値を認められない」との批判的評価の背景についても考える。

授業の到達目標

英文をざっくり適当に読むのではなく、きちんと精読・吟読するように努め、その過程で文脈や背景知識を調べながら、一つ一つの言葉の裏にある大きな社会の枠組みを想像してみる。

また、調べた知識や、丁寧に英文を読んだうえでの感想を、他の学生と議論・共有する。この議論を通して、同じ英文を読んだときに、読んだ人の数だけ異なる感想があるという当たり前の事実を改めてよく理解するとともに、翻って自らの読解力・想像力・嗜好・思考などを相対的に把握することを目指す。

なお、本授業では以下の 3 点を満たすことが、B 評価(70 点以上)の必要条件として要求される。

1. 授業内で課される課題や発表等について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で提出または実施すること。

2. 授業内でのディスカッション等に積極的に参加すること。

3. 教員からのコメントや他の履修生との話し合いを通して、自らの作品読解や解釈を相対化し、新たな視点から検討しなおして、考察をより深めること。その考察を最終レポート作成の際に活かすこと。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-3	8/1	09:10-14:40		第一回:ガイダンス　第二回:『緋色の研究』 第三回:探偵小説とは何か	作品の抜粋を精読しながら、その時代背景や「探偵小説」というジャンルの誕生と19世紀市民社会の形成との関連について考える。	猪熊　恵子	セミナー形式 担当学生による授業内発表と、それに基づく授業内ディスカッション
4-6	8/2	09:10-14:40		第四回:『ピンクの研究』 第五回:小説と映画、媒体の違い　第六回:『バスカヴィル家の犬』	文学作品の翻案映画を確認しながら、小説形態と映画形態の媒体の違い、作品受容の時代背景の変化などについて考察する。	猪熊　恵子	セミナー形式 担当学生による授業内発表と、それに基づく授業内ディスカッション
7-9	8/5	09:10-14:40		第七回:「踊る人形の謎」 第八回:暗号解読と探偵	暗号解読という、探偵小説につきものの仕掛けについて、その解釈	猪熊　恵子	セミナー形式 担当学生による

				小説、読者共同体の限定について　第九回:The Blind Banker	共同体の限定の方法、秘密を生成しつつ解読を促す様子について、19 世紀の原作と 20 世紀の翻案テレビシリーズを見比べながら考える。		授業内発表と、それに基づく授業内ディスカッション
10-12	8/30	09:10-14:40		第十回:『アクロイド殺し』第十一回:「フェア」な探偵小説とは何か。読者受容理論について　第十二回:ディスカッションおよび総括	クリスティーの『アクロイド殺し』について考察し、「フェアかアンフェアか論争」についても考える。そのうえで、読者と作者のあいだの契約関係(読者受容理論等と絡めて)についても考察する。	猪熊　恵子	セミナー形式 担当学生による授業内発表と、それに基づく授業内ディスカッション　最終回授業における講評とレポート提出

授業方法

セミナー形式を取る。

原則として一日 3 時限続きの授業形式であるため、事前に十分な予習をしたうえで授業に臨むことが求められる。

授業内では予習してきた英文の訳出確認、個々の学生の訳出の違いについての意見交換をおこなったうえで、個々の作家の生きた時代背景などの大きな枠組みの確認と、それに関するディスカッションをする。あわせて、その短編を翻案した映像資料などを確認し、同一作品の受容法がメディアの違いや文化・時代の流れにしたがってどのように変化していくかを議論する。

授業内容

第一回:ガイダンス

第二回から第十回:シャーロック・ホームズ中編『緋色の研究』(A Study in Scarlet)、『バスカヴィル家の犬』(The Hound of the Baskervilles)、短編「踊る人形」(The Adventure of the Dancing Men)、およびベネディクト・カンバーバッチ主演『シャーロック』第一シリーズ, A Study in Pink, The Blind Banker。およびグラナダ・テレビシリーズ 『シャーロック・ホームズの冒険』より教員が選択するエピソード群、さらにデヴィッド・スーシエ主演のポワロシリーズより『アクロイド殺し』(The Murder of Roger Ackroyd)

第十一回:総括およびディスカッション回

第十二回:最終レポート提出および意見交換

成績評価の方法

評価:クラス内での議論への参加・貢献度:30%、授業内発表(訳出課題の提出含む):40%、最終レポート 30%

再評価:　無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による。

準備学習等についての具体的な指示

上記授業内容からも明らかなように、英語の短編(および長編の抜粋)を複数読む授業である。そのため、授業開始前に十全な準備が要求される。

履修が決定した学生には、授業前にメール等で予習課題と予習方法などを通知する。指定された箇所を十分に読んで、授業内発表用の資料を作成し、そのうえで授業に臨むことが必須。その後も、授業内で指定された箇所を訳出したり、その短編の書かれた社会や時代背景について十分に調査することが求められる。

試験の受験資格

試験ではなく、レポートおよび授業内発表を評価する。全体の 3 分の 1 以上欠席した者には原則として単位を認定しない。

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先する。

参照ホームページ

参考文献および使用テクストは、教員からコピーを配布する。

連絡先(メールアドレス)

inokuma.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

水・木曜日　12時30分～13時　管理研究棟 3階 猪熊研究室

時間割番号	00640				
科目名	S・タンパク質の科学			科目ID	
担当教員	澤野　頼子[SAWANO YORIKO]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:夏季集中(詳細は「授業スケジュール」に記載)

対象学科:全学科

募集人数:20 名

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表2－1)自然現象を科学的に探求するための方法論を知る

別表2－4)自己問題提起・解決型の学習方法を身につける

主な講義場所

Zoom による遠隔授業(同期型)

授業の目的、概要等

タンパク質は食品に含まれる物質としてなじみがあるが、生命現象に直接かかわる物質(酵素、抗体、情報受容・伝達タンパク質など)として非常に重要である。この授業では化学、生命科学におけるタンパク質およびそれを構成するアミノ酸について、基本概念の導入講義を行った上で、少人数のグループに分かれて学生自らが問題提起・討論・解決を行う PBL(Problem Based Learning)を通して学習し、その成果を発表会にて発表する。

授業の到達目標

1)講義、PBL および発表を通して、化学、生命科学におけるタンパク質およびアミノ酸の基礎を理解し、レポートにまとめる。GPA における「B」(本試験合格レベル)の条件は、上記到達目標を概ね達成できたこととする。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-4	8/1	08:50-12:25	遠隔授業(同期型)	ガイダンス、導入講義、PBL(1)	澤野　頼子	到達目標】1)【学習方法】講義、PBL、グループ毎の活動報告提出
5-8	8/2	08:50-12:25	遠隔授業(同期型)	PBL(2)	澤野　頼子	【到達目標】1)【学習方法】PBL、グループ毎の活動報告提出
9-12	8/6	08:50-12:25	遠隔授業(同期型)	PBL(3)	澤野　頼子	【到達目標】1)【学習方法】PBL、グループ毎の活動報告提出
13-16	8/8	08:50-12:25	遠隔授業(同期型)	PBL(4)	澤野　頼子	【到達目標】1)【学習方法】PBL、グループ毎の活動報告提出
17-20	8/19	08:50-12:25	遠隔授業(同期型)	PBL(5)、リハーサル	澤野　頼子	【到達目標】1)【学習方法】PBL、グループ毎の活動報告提出
21-24	8/21	08:50-12:25	遠隔授業(同期型)	発表会	澤野　頼子	【到達目標】1)【学習方法】課題発表、リアクションペーパー提出

授業方法

講義およびアクティブラーニング(PBL、課題発表)による

授業内容

アミノ酸・タンパク質に関する講義、PBL、発表を行う。

成績評価の方法

評価:　レポート　20%　・　その他(授業への参加度、課題発表)　80%

再評価:　無

授業時の取り組み状況(PBL での活動状況、課題発表)を重視し、それに関連したレポートとともに評価を行う。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

講義資料(WebClass に掲載)に目を通しておく。

アミノ酸やタンパク質に関してインターネットや書籍等から情報収集を行う。

試験の受験資格

原則3分の2以上出席

参考書

ヴォート基礎生化学 第5版／D. Voet, J. G. Voet, C. W. Pratt 著 ; 田宮信雄 [ほか] 訳,Voet, Donald,Voet, Judith G.,Pratt, Charlotte W.,田宮, 信雄,八木, 達彦,遠藤, 斗志也,吉久, 徹.:東京化学同人, 2017

タンパク質の構造と機能 : カラー図説／グレゴリー A. ペツコ／著,ダグマール リンゲ／著,横山 茂之／監訳,宮島 郁子／訳,:メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2005

タンパク質科学 : 生物物理学的なアプローチ／有坂文雄著,有坂, 文雄,:裳華房, 2021

タンパク質入門 : その化学構造とライフサイエンスへの招待／高山光男 著,:内田老鶴圃, 2006

タンパク質科学 : 構造・物性・機能／後藤祐児, 桑島邦博, 谷澤克行 編,:化学同人, 2005

アミノ酸 タンパク質と生命活動の化学／船山信次,船山信次.:東京電機大学出版局, 2009

タンパク質・アミノ酸の新栄養学／岸恭一(編)、木戸康博(編)、講談社サイエンテイフイク(編),岸恭一(編)、木戸康博(編)、講談社サイエンテイフイク(編),:講談社, 2007

Essential タンパク質科学／Mike Williamson 著,津本浩平, 植田正, 前仲勝実 監訳,Williamson, Michael P., 1957-,津本, 浩平,植田, 正,前仲, 勝実,:南江堂, 2016

これから学ぶ酵素科学／中山亨編著 ; 山下哲, 野池基義共著,中山, 亨,山下, 哲,野池, 基義,:三共出版, 2019

履修上の注意事項

履修希望者は、ガイダンス動画を視聴の上、履修申請を行うこと。履修希望者が定員を超えた場合は抽選を行う。

連絡先(メールアドレス)

sawano.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週金曜日 PM.0:30-PM.1:20 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	00650				
科目名	S･江戸市川文学散歩			科目ID	
担当教員	木谷　真紀子[KITANI Makiko]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

別表 1-1)言語を通した人間の創造的営みを理解する
別表 1-3)人間の歴史的営みを理解する
別表 1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る
別表 1-6)優れた芸術作品に触れて完成を高める
別表 1-7)人間の心への理解を高める
別表 3-2)自らの考えを的確に伝えるための基本的名文章表現能力を身につける

主な講義場所

国府台キャンパス。

授業の目的、概要等

文学など芸術作品は、時代や土地とどのように結びついているのだろうか。教養部のある国府台キャンパスは市川に位置しているが、松戸へも徒歩圏内である。市川は、日本最古の歌集『万葉集』から、文学に描かれている。また永井荷風や井上ひさしなど、著名な作家が居を構え、作品を生み出した場所でもある。
また松戸は「野菊の墓」を生み、社会派文学を生んだ水上勉は現在の矢切駅の前に住んでいた。そのような国府台キャンパス一帯の魅力を、作品鑑賞と実地訪問の両方から味わう。
本学学生は、2 年時以降は、東京都心部にキャンパスが移る。できれば、都心部が登場する作品も扱いたいが、受講者の希望を決め、最終決定としたい。
授業では「市川」や「松戸」、「江戸」「東京」を通し、文学作品を社会、土地との関わりから考察することを目的とする。

授業の到達目標

①土地と文学がどのように関わっているかを学ぶ。
②市川と関わる文学作品を鑑賞する
③松戸を描いた文学作品を鑑賞する
④江戸を描いた文学作品を鑑賞する
⑤東京を描いた文学作品を鑑賞する
⑥自分の関わる土地を文学的視点から見直す。
⑦文学に描かれた場所を訪問する。

授業方法

担当者が講義を行い、受講者はそれを聞いたうえで、ディスカッションや課題を通し、理解を深める。また受講者全員が、自分の故郷や自分の関わる土地を描いた文学作品についてプレゼンテーションを行う。また授業内で扱った作品舞台への実地見学も行う。

授業内容

1)ガイダンス
2)『万葉集』と市川①
3)『万葉集』市川②、実地見学
4)永井荷風と市川
5)井上ひさしと市川
6)近代文学と松戸
7)伊藤左千夫「野菊の墓」①
8)伊藤左千夫「野菊の墓」②、実地見学
9)「仮名手本忠臣蔵」と江戸①
10)「仮名手本忠臣蔵」と江戸②
11)三島由紀夫「幸福号出帆」
12)三島由紀夫と昭和三十年の東京ウォーターフロント①

13)三島由紀夫と昭和三十年の東京ウォーターフロント②

14)三島由紀夫と昭和三十年の東京ウォーターフロント③

15)総括

成績評価の方法

期末レポート 50%

その他 50%(授業に関する課題 10%・プレゼン評価表 10%・プレゼンテーション 30%)

成績評価の基準

期末レポートはもちろん、毎回の授業や課題に熱心に取り組んだか、クラスメイトの取り組みをきちんと評価したかも重要視する。

準備学習等についての具体的な指示

プレゼンテーションの準備、課題など、授業外でも「土地と文学」という視点から考察分析する機会を作る。

試験の受験資格

3 分の 2 以上の授業に出席していること。

20 分以内の遅刻、早退は、3 回で 1 回分の欠席としてカウントする。

教科書

野菊の墓／伊藤左千夫:新潮社, 2020-04-30

幸福号出帆／三島由紀夫:筑摩書房, 1996

偽原始人／井上ひさし:新潮社, 1989

受講者の希望で、扱う作品を変更する場合がある。

参考書

授業内で、適宜、指示をする。

他科目との関連

他の文学系の科目でも、文学と土地の関連について触れることがある。

備考

「授業内課題や授業後コメントシート」が提出されていない場合には、欠席とする。

連絡先(メールアドレス)

makiko.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

月、金曜 12:20～13:30　管理研究棟 2 階

※原則的に上記の曜日時間としますが、事前に連絡のある学生には、上記時間外でも対応します。

時間割番号	00660				
科目名	S・彫刻(塑像)			科目ID	
担当教員	高見　直宏[TAKAMI NAOHIRO]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

夏季集中講義
対象学科:医学科を優先とした全学科(歯学科を除く)
募集人数:10 人
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1−5、1−6、1−7

授業の目的、概要等

人間の骨格や筋肉がその外部形態に及ぼす影響を観察するだけでなく、人間の内面に視野を向け、人間の存在そのものを探求する。水粘土を使用し、塑像による頭像制作を行う実技演習授業。

授業の到達目標

素材とする水粘土に触れる。造形を追求する。
観察によって得られる人体の力強さや美しさ等を表現することを目標とする。
人間の魅力を感じ取り、芸術に深く触れることを目標とする。

授業方法

全 12 回の授業は全て実技実習。

授業内容

第 1 回　彫刻についての講義
第 2 回　デッサンについての講義・実技、芯棒組みの講義
第 3 回　芯棒組みの実技
第 4 回　塑像制作①
第 5 回　塑像制作②(塑像制作と並行して個人プランミーティング)
第 6 回〜第 10 回　塑像制作③〜⑦
第 11 回　講評・採点
第 12 回　掃除・片付け

成績評価の方法

評価　:　試験　0%　・　レポート　0%　・　その他(実習作品、授業への参加度)100%　作品の完成度、制作密度を重視する
再評価:　無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

料理、メイク、DIY など普段からのクリエイティブな活動を積極的に行い、日常生活において、想像した物事を自らの手で形作ろうとする姿勢を持つことが望ましい。

履修上の注意事項

出席重視　出欠管理システムより教員自身が取る出欠を優先させる。

備考

準備するもの:スケッチブック(A4 以上)、鉛筆(2B のものを 3 本)、カッターナイフ、作業着(白衣も可)

時間割番号	00860				
科目名	S・動画コンテンツ制作			科目ID	
担当教員	辻　泰明[TSUJI Yasuaki]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

2-3)言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法論を知る

2-4)自己問題提起・解決型の学習方法を身につける

4-4)情報についての基本技能を身につける

授業の目的、概要等

生成 AI の普及によって、デジタルコンテンツによる情報発信が劇的に変化しています。それらのコンテンツがどのように創られ、配信されているのかを知ることは、情報を享受する側にとっても意義を有しています。このセミナーでは、インターネット上で動画コンテンツを発信するための技術を身につけます。

基本的な制作方法を解説した後、実際に、動画コンテンツを制作する実習に取り組んでいただきます。

授業の到達目標

インターネット動画の制作・配信過程について、的確に理解し、実際に動画を制作して配信することができる。

なお、本授業では、GPA における「B」評価を得るためには、上記の到達目標を達成した上で、

・授業内で課される課題や発表等について、期限内に所定の形式で提出または実施する。

・授業内でのディスカッション等に参加し、自分の見解を述べる。

という二つの条件を充足することが必要です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-8	8/1	08:50-17:05		第1回 ガイダンス　第2回 リサーチ　第3回 企画提案　第4回 構成表・台本作成	第1回 医療に関する動画の例を元に授業の進め方を説明します。第2回 医療に関する情報を、動画コンテンツとするためのリサーチを行います。第3回 企画メモと提案書を作成し、企画のプレゼンテーションを行います。第4回 構成表の構造を理解し、構成表を作成します。	辻　泰明	医療に関する動画コンテンツ制作の基盤となるリサーチを的確に実施できる。 動画コンテンツの企画提案および構成表あるいは台本を作成し、プレゼンテーションをすることができる。
9-16	8/2	08:50-17:05		第5回 構成表・台本プレゼンテーション　第6回 素材収集・画像作成 第7回 編集　第8回 ナレーション・字幕付加	第5回 構成表・台本のプレゼンテーションを行い、必要な修正を加えます。第6回 構成表・台本を元に、素材を収集あるいは作成します。第7回 構成表・台本を元に、素材を編集して、一つながりの動画にします。第8回 構成表・台本を元に、ナレーションや字幕を付加します。	辻　泰明	動画コンテンツの構成表あるいは台本を元に素材を的確に収集あるいは作成し、的確に編集できる。
17-24	8/5	08:50-17:05		第9回 オーディション 第10回 インターネット	第9回 完成した動画のプレゼンテーションを行い、合評会を開催	辻　泰明	制作した動画のプレゼンテーショ

				配信　第 11 回 サイト視聴と反響測定　第 12 回 総括	します。第 10 回 完成した動画をインターネット上のサイトに掲載します。第 11 回 インターネット上のサイトで動画を互いに視聴します。第 12 回 制作過程の振り返りを行い、今後の発展学習の方法を検討します。		ンを行い、互いの作品についてディスカッションを行うことができる。動画コンテンツの制作過程を包括的に理解し、発展的に応用できる。

授業方法

実習を中心に進めます。医療に関する情報を映像で的確に伝えるにはどうしたらよいかを課題として、動画を制作します。

授業内容

第 1 回 ガイダンス
第 2 回 リサーチ
第 3 回 企画提案
第 4 回 構成表・台本作成
第 5 回 構成表・台本プレゼンテーション
第 6 回 素材収集・画像作成
第 7 回 編集
第 8 回 ナレーション・字幕付加
第 9 回 オーディション
第 10 回 インターネット配信
第 11 回 サイト視聴と反響測定
第 12 回 総括

成績評価の方法

評価 ： その他（課題提出・発表・ディスカッション） 100%

準備学習等についての具体的な指示

予習では、指定された資料や動画を予めインターネット等で閲覧したり視聴したりしておいてください。

参考書

映像メディア論 ： 映画からテレビへ、そして、インターネットへ／辻　泰明:和泉書院, 2016.9
インターネット動画メディア論 ： 映像コミュニケーション革命の現状分析／辻　泰明:大学教育出版, 2019.10

履修上の注意事項

三分の二以上の出席が必要です。 出欠管理システムよりも、教員自身が取る出欠を優先します。

連絡先（メールアドレス）

tsuji.yasuaki@tmd.ac.jp

オフィスアワー

前期:金　14:30～15:00　後期:水　12:30～13:00
管理研究棟 2 階

時間割番号	00870				
科目名	S・児童文学			科目ID	
担当教員	畔柳　和代[KUROYANAGI KAZUYO]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間:8/1(木), 8/2(金), 8/6(火), 8/8(木), 8/22(木), 8/29(木)の 13:20-17:05。

・対象学科:医学科　歯学科　保健衛生学科　口腔保健学科

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表1－1)

別表1－6)

別表3－2)

別表3－4)

授業の目的、概要等

目的:英語で書かれた児童文学作品について意見を交換しながら、読む力と、読みとったことを伝える力をつけること。

概要:コメント提出、作品紹介、ディスカッション、講義を通して、児童文学作品について考える。受講者は発表やコメントを準備し、提出する。遠隔・同期型の授業だが、それぞれが近くの図書館を訪ね、児童文学の棚を眺めてくることも課題に含める。

授業の到達目標

1)児童文学を目と声で読むことを通して、英文の基本を見直すこと。

2)ディスカッションと発表を通して、自分の興味や関心が向かう方面を意識すること。

3)読み取ったことや解釈、疑問に思うこと等を、ほかの受講者にわかるように表現すること。

以下を満たすことが B 評価(70 点以上)の必要条件として要求される。

1. 課題は原則として期限内に所定の形式で提出する。

2. ほかの受講者の発表を聞いて、疑問や、自分の解釈との違いを説明できる。

3. 最終課題を提出する際に、添削および授業内の意見交換をある程度活かす。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-4	8/1	13:30-17:05	遠隔授業(同期型)	Introduction	児童文学と言えば？	畔柳　和代	講義、授業内アンケート、グループワーク
5-8	8/2	13:30-17:05	遠隔授業(同期型)	Seminar 1	夏の話　夏の子供の話について	畔柳　和代	演習、グループワーク
9-12	8/6	13:30-17:05	遠隔授業(同期型)	Seminar 2	動物の話　動物が登場人物(？)の話について	畔柳　和代	演習、グループワーク
13-16	8/8	13:30-17:05	遠隔授業(同期型)	Seminar 3	不思議な話　夢のなか、異世界の話について	畔柳　和代	演習、グループワーク
17-20	8/22	13:30-17:05	遠隔授業(同期型)	Seminar 4	家族の話　家のなかの話について	畔柳　和代	演習、グループワーク

21-24	8/29	13:30-17:05	遠隔授業（同期型）	Seminar 5	学校の話 学校を舞台とする話について	畔柳 和代	演習、グループワーク

授業方法

作品の一部もしくは全部を読む。分担して読み、発表する場合もある。講義も含む。

取りあげる文章は、フィクションが主である。英米の児童文学およびそれにかかわる文章が主となる。

授業内容

第1回・2回　イントロダクション。課題文を読む。授業内課題。

第3回～第 11 回　作品について参加者が発表を行なう。読んできた文章について、意見交換を行う。事前に配布された資料の一部について、音読をする場合もある。

第 12 回　まとめ（授業内課題あり）

成績評価の方法

課題の提出状況および内容:45%
参加度および授業内課題:55%、

再評価:　原則としてなし

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

指定された部分に必ず目を通すこと。できれば、一部分を声に出して読んでみること。一冊の本または一人の作家について、発表をする回があるので、時間を作って探したり、調べたりすること。

試験の受験資格

試験はない。課題の提出状況と内容、発表、授業の参加度を合わせて、評点とする。

参考書

小さな本の大きな世界／長田, 弘, 1939-2015;酒井, 駒子, 1966-;長田弘 著;酒井駒子 絵:クレヨンハウス, 2016.4

履修上の注意事項

教員がとる出欠を優先させます。

連絡先（メールアドレス）

kuroyanagi.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

水・木　12:30-13:00 管理研究棟3階畔柳研究室

時間割番号	00880				
科目名	S・ウェルビーイング向上のための数理モデリング			科目ID	
担当教員	中山 まどか[NAKAYAMA Madoka]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):2-1, 2-2, 2-3

主な講義場所

Zoom による遠隔授業(同期型)

授業の目的、概要等

目的:近年目にするようになった「ウェルビーイング」について学び、それらを数理的に捉え、評価することを目的とする

概要:ウェルビーイングとは、WHO による定義では、個人が肉体的、精神的、社会的に満たされた状態のことをいう。この「満足」や「幸福」のような感覚には個人差があり、統一された定量的指標を取れるか定かでない。このような状況でも、人々のアンケートデータから特徴を抽出する手法を学び、より高いウェルビーイングが期待される生き方を探索する数理的方法を議論する。

簡単な講義の後、PBL および結果発表を行う。PBL では、学生自身によるウェルビーイングに関する問題提起・調査(アンケート調査票の作成と実施)・結果の解析が含まれる。

授業の到達目標

1)「ウェルビーイング」について理解できるようになる

2) 主成分分析等の分析方法を用いて収集データを分析できるようになる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-8	8/1	08:50-17:05		中山 まどか
9-16	8/2	08:50-17:05		中山 まどか
17-24	8/5	08:50-17:05		中山 まどか

授業方法

講義、PBL、実習、課題発表による

授業内容

第 1 日目 ガイダンス、幸福度についての講義と PBL

第 2 日目 アンケート作成方法と Excel を用いた解析方法、主成分分析法についての講義と実習

第 3 日目 アンケート調査票作成とアンケート調査,分析実習、アンケート調査発表

ただし、出席者の理解度、関心によって柔軟に変更する

成績評価の方法

評価 : 試験 0% ・ レポート 20% ・ その他(出席・発表・議論) 80%

再評価: 有(再提出レポート等)

授業への参加状況(発言、質問、演習、課題発表)を重視し、それに関連したレポートと共に評価を行う。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

特に準備は必要ない。

試験の受験資格

講義の 3 分の 2 以上の出席

参考書

分析者のためのデータ解釈学入門 : データの本質をとらえる技術／江崎, 貴裕,江崎貴裕 著:ソシム, 2020.12
本質を捉えたデータ分析のための分析モデル入門 : 統計モデル、深層学習、強化学習等用途・特徴から原理まで一気通貫!／杉山, 聡, データサイエンティスト,杉山聡 著:ソシム, 2022.8
ウェルビーイング／前野, 隆司, 1962-,前野, マドカ,前野隆司, 前野マドカ 著:日経 BP 日本経済新聞出版本部, 2022.3
ウェルビーイングの設計論 : 人がよりよく生きるための情報技術／Calvo, Rafael A,Peters, Dorian, 1977-,Chen, Dominick, 1981-,渡邊, 淳司,木村, 千里, 1979-,北川, 智利,河邉, 隆寛,ラファエル・A・カルヴォ, ドリアン・ピーターズ 著,渡邊淳司, ドミニク・チェン 監訳,木村千里, 北川智利, 河邉隆寛, 横坂拓巳, 藤野正寛, 村田藍子 訳:ビー・エヌ・エヌ新社, 2017.1

履修上の注意事項

集中講義なので極力欠席しないこと

備考

オフィスアワー:水　12:30～13:00
質問は随時メールで受け付けています
nakayama.madoka@tmd.ac.jp

連絡先(メールアドレス)

nakayama.madoka@tmd.ac.jp

オフィスアワー

前期:火　12:20～13:00
後期:木　12:20～13:00
質問等随時メールで受け付けています。

時間割番号	00890				
科目名	S・一般化学演習			科目ID	
担当教員	奈良 雅之[NARA MASAYUKI]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間:水曜 3～4 講

・対象学科:指定なし

・募集人数 40名

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

2－1)自然現象を科学的に探究するための方法論を知る

4－2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける

授業の目的、概要等

化学の講義だけではなかなか理解ができない方、演習を通して化学の理解を深めたい方を対象に「マグロウヒル大学演習 一般化学」の補充問題や市販の問題集を主な題材として演習を行います。受講者は単に問題を解くだけでなく、その解説をみんなの前で行いますので、プレゼンテーションの練習になるでしょう。受講する側は、その説明を通して理解できたかどうかを評価したり、議論したりしますので、履修者全員が参加しなければいけません。予習・復習にかなりの時間が費やさなければならないことを覚悟の上で授業に臨んで下さい。

授業の到達目標

原子・分子の構造、化学熱力学などの物理化学を理解し、かつその演習問題に取り組むことができる。

演習形式の授業に参加することを通して、能動的に学習態度を身につける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-4	9/19	13:30-17:05		奈良 雅之
5-8	9/26	13:30-17:05		奈良 雅之
9-12	10/3	13:30-17:05		奈良 雅之
13-16	10/10	13:30-17:05		奈良 雅之
17-20	10/17	13:30-17:05		奈良 雅之
21-24	10/24	13:30-17:05		奈良 雅之

授業方法

学生参加型の発表形式で授業が進行します。理解度を確認するためにテスト形式の演習を行うことがあります。

授業内容

前期の化学で扱った項目及び扱わなかった項目について、物理化学分野を中心に問題演習、学習実践記録を通して理解を深めます。

1-4 ガイダンス・化学の理解度チェック(1)、原子の構造と周期律(1)

5-8 原子の構造と周期律(2)、化学結合と分子構造

9-12 気体の性質、液体の性質

13-16 熱力学の原理(1)(熱力学第一法則)

17-20 熱力学の原理(2)(熱力学第二法則)

21-24 化学平衡と熱力学

成績評価の方法

評価:試験(授業内演習の形で)30%・レポート(学習実践記録)30%

その他40%(授業中の発表、参加度)

授業中の演習への参加度を重視しますので、その他のウエイトを高くしました。

再評価:無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

予習:指定された問題をノートに解いておく。

復習:授業中の解説を聞いて、自分で理解できるまでの過程を学習実践記録として記す

試験の受験資格

定期試験の受験資格:原則3分の2以上の出席

参考書

フレンドリー基礎物理化学演習／田中潔, 荒井貞夫 共著,:三共出版, 2013

系統看護学講座／奈良, 雅之,:医学書院, 2018

一般化学／Jerome L.Rosenberg, Lawrence M.Epstein 共著,一国雅巳 訳,Rosenberg, Jerome Laib,Epstein, Lawrence M,一国, 雅巳, 1930-,:オーム社, 1995

連絡先(メールアドレス)

nara.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00(ただし、第 1 水曜日(教授会開催日)は PM.1:00 まで), 毎週木曜日 PM.0:20-PM.1:20　ヒポクラテス 4 階

時間割番号	00900				
科目名	S・ソーシャルウェルビーイング・コミュニケーション実践			科目 ID	
担当教員	柳下　和慶, 渡邊　洋子[YAGISHITA KAZUYOSHI, WATANABE Youko]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:[後期]木曜日(9/19～10/24)　3～4 講
対象学科:全科目
募集人数:50 人

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):
1-1) 言語を通した人間の創造的営みを理解する
1-5) 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る
1-7) 人間の心への理解を深める
1-8) 自己の心と体を管理する能力を獲得する
3-3) チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける

主な講義場所
教養部

授業の目的、概要等
本授業におけるソーシャルウェルビーイングとは、「人間関係において幸福を感じる関係性を構築すること」を指すものとする。
社会生活において、良好なコミュニケーションを実現させ、信頼しあえる人間関係を築くためには、自分のことをよく理解し、自分の意見を言語化できることや、他者のことも理解し、配慮した伝え方を検討できることが、とても大切である。
本授業では、良好なコミュニケーションの実現に向けて、心理学的アプローチから、自分自身を客観的に見つめ、自己理解を深めることや、適切な自己表現につながるアサーティブコミュニケーションを中心としたコミュニケーションスキルを理解する。加えて、グループプロセスにおける様々な機能を知り、個々の役割を考察する。それらの過程によって、自分に合ったコミュニケーションの方法を検討し、身につけることを目的とする。

授業の到達目標
①自己理解力-自分自身の考え方の傾向を知る、自分自身の考えや意見を言語化できる。
②他者理解力-自分とは異なる他者の考え方や意見について検討し、考察できる。
③グループプロセスの理解-グループワークにおいて、3つの機能について理解し、それぞれの役割を検討できる。
④アサーティブコミュニケーションについて理解し、自分なりの実践方法を獲得する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-4	9/19	13:30-17:05		ソーシャルウェルビーイング:コミュニケーション実践	授業全体のオリエンテーション	柳下　和慶, 渡邊　洋子	リアクションペーパー、アンケート
5-8	9/26	13:30-17:05		アサーティブなコミュニケーションとは	アサーティブなコミュニケーションとはどのようなコミュニケーションかを知り、具体的に様々なパターンを検討する。	渡邊　洋子, 柳下　和慶	コミュニケーションの 3 つのパターンにつ　いて説明ができる。授業中の質疑応答、グループワーク、リアクションペーパー
9-12	10/3	13:30-17:05		自分のコミュニケーショ	自分の物の見方や、考え方の癖	渡邊　洋子,	自分自身のコミュ

				ンのパターンとは	を知り、コミュニケーションのパターン把握する。長所や短所も検討する。	柳下 和慶	ニケーションのパターンについて説明ができる。授業中の質疑応答、グループワーク、リアクションペーパー
13-16	10/10	13:30-17:05		グループプロセスについて	グループプロセスにおける3つの機能について理解する。 グループワークを実施し、それぞれの機能を体験・観察する。	渡邊 洋子, 柳下 和慶	グループプロセスの3つの機能について説明ができる。実践における自分なりの役割を考察できる。 授業中の質疑応答、グループワーク、リアクションペーパー
17-20	10/17	13:30-17:05		ウェルビーイング概論	ソーシャルウェルビーイングを理解する上で、多方面からのウェルビーイングの考え方を知る。	柳下 和慶	ウェルビーイングを説明することができる。 授業中の質疑応答、リアクションペーパー
21-24	10/24	13:30-17:05		ソーシャルウェルビーイング:コミュニケーション実践	コミュニケーション実践における総括	渡邊 洋子, 柳下 和慶	コミュニケーションスキルの知識とグループワークでの体験を経て、自分なりに獲得したコミュニケーションパターンを総括し、発表する。 授業中の質疑応答、グループワーク、リアクションペーパー、アンケート

授業方法

授業は講義形式で実施。アクティブ・ラーニングの形式を取り入れ、リラックスした環境の中でグループワークや発表も行う。
基本的には対面授業であるが、一部授業はオンラインで行う。
リアクションペーパー、アンケートも実施。

授業内容

授業スケジュール参照

成績評価の方法

評価:出席・参加度 60%、レポート 40%
再評価: 有 (レポート等による)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による

準備学習等についての具体的な指示

各授業のキーワードについて、事前に調べ知ることが望まれる。

試験の受験資格

原則、全授業の 2/3 以上の出席をすること。

他科目との関連

「フィジカルウェルビーイング」「フィットネスマネジメント」「人文社会科学概論」と関連する。

履修上の注意事項

【注意】看護学専攻においては、保健師免許取得後の申請により「養護教諭二種免許状」を取得することが可能である。取得に当たっては、教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目「体育」(2単位)を取得することが必須である。 【注意】！ ！ ！本科目「S・ソーシャルウェルビーイング・コミュニケーション実践」は上記「体育」(2単位)に相当しない。

連絡先(メールアドレス)

柳下 和慶:yagishita.orth@tmd.ac.jp

オフィスアワー

柳下 和慶:前期 毎週火曜日 12:30-13:00 管理研究棟 2 階 研究室

後期 毎週木曜日 12:30-13:00 管理研究棟 2 階 研究室

時間割番号	00710				
科目名	S･社会福祉概論			科目ID	
担当教員	BAO MIN[BAO Min]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

曜日･時間:木曜3･4講

対象学科: 全学科

募集人数:15人

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-2)

授業の目的、概要等

現代社会における家族･地域社会の変化を踏まえ、社会福祉の現状･制度や政策を幅広く、総合的に学習する。社会福祉に関する基本的事柄を学ぶ。それにより、社会福祉についての包括的理解を深める。

社会福祉の概念、社会福祉の理念、社会福祉の歩み、社会福祉の法と仕組みについて学修したうえ、児童福祉、障害者福祉、高齢者福祉、母子･父子･寡婦福祉、生活保護、地域福祉の各領域の現状と課題を明らかにし、社会福祉の専門職と専門職倫理についても学修する。

授業の到達目標

社会福祉における基本的な概念、知識、理論を習得する。社会福祉を取り巻く状況と歴史、社会福祉の法律、社会福祉サービスの各分野におけるサービス･支援内容と実施機関、社会福祉の専門職と専門職倫理などを理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標･学習方法･その他
1-4	9/19	13:30-17:05		第1回 現代社会と福祉① 第2回 現代社会と福祉②	①授業紹介、家族･地域社会の変化、福祉問題 ②社会福祉とは、憲法と社会福祉、社会福祉の理念	BAO MIN	現代日本社会における家族･地域の変化の具体例があげられ、それに伴うグループディスカッションを行う。具体的な福祉問題が説明できる、社会福祉の概念が理解できる。リアクションペーパーを用いた質疑応答
5-8	9/26	13:30-17:05		第3回 社会福祉の歩み① 第4回 社会福祉の歩み②	①イギリスにおける社会福祉の歩み ②日本における社会福祉の歩み	BAO MIN	イギリスと日本の社会歩みを述べることができ、戦後の日本における社会福祉の成立と動向が説明できる。リアクションペーパーを用いた質疑応答
9-12	10/3	13:30-17:05		第5回 社会福祉の法と仕組み 第6回 社	①社会福祉の法律と仕組みの内容 ②国と地方公共団体の行政	BAO MIN	社会福祉法をはじめ、障害者基本

				会福祉の行政と民間組織	機関、民間組織		法、高齢社会対策基本法と少子社会対策基本法が理解でき、公的および民間の福祉機関と組織が説明できる。リアクションペーパーを用いた質疑応答
13-16	10/10	13:30-17:05		第7回 社会福祉サービスの概観① 第8回 社会福祉サービスの概観②	①児童福祉、障害者福祉の内容 ②高齢者福祉、母子・父子・寡婦福祉、生活保護の内容	BAO MIN	児童福祉、障害者福祉、高齢者福祉、母子・父子・寡婦福祉の概観、サービス・支援内容と実施機関と生活保護制度の概要と実施機関が説明できる。一つ分野を選び、実態と問題点に関し、レポートを作成し、発表する。
17-20	10/17	13:30-17:05		第9回 地域福祉の概観① 第10回 地域福祉の概観②	①地域福祉とは、地域福祉の推進組織と担い手 ②地域福祉計画と地域福祉推進の財源、地域福祉の実際	BAO MIN	地域福祉、地域の組織化、地域福祉計画が説明できる。リアクションペーパーを用いた質疑応答
21-24	10/24	13:30-17:05		第11回 社会福祉専門職の資格制度と専門職倫理 第12回 まとめ	①社会福祉の担い手の現状および社会福祉専門職の資格制度の内容、社会福祉専門職の専門性と専門職倫理の紹介 ②教場レポート	BAO MIN	社会福祉専門職と専門職倫理が理解し、説明できる。教場レポート作成。

授業方法

講義形式で授業を行い、毎回授業終了時に、各自が新しく学んだことや疑問に思ったことをリアクションペーパーとして提出し、フィードバックする。授業内容に対し、課題発表やミニ討論をすることがある。

授業内容

第1回 現代社会と福祉①
第2回 現代社会と福祉②
第3回 社会福祉の歩み①
第4回 社会福祉の歩み②
第5回 社会福祉の法と仕組み
第6回 社会福祉の行政と民間組織
第7回 社会福祉サービスの概観①
第8回 社会福祉サービスの概観②

第 9 回　地域福祉の概観①
第 10 回 地域福祉の概観②
第 11 回 社会福祉専門職の資格制度と専門職倫理
第 12 回 まとめ

成績評価の方法

評価:教場レポート 60% ・その他(授業参加、授業中課題)40%
再評価:無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

予習は特に必要ありませんが、復習をしっかり行ってください。その際、授業中配布した資料と教科書の内容を確認し理解を深めてください。

試験の受験資格

①原則3分の2以上出席、②授業中の課題を提出すること。

教科書

社会福祉概論 : その基礎学習のために／西村昇, 日開野博, 山下正國編著,西村, 昇,日開野, 博,山下, 正國,:中央法規出版, 2022

参考書

社会福祉の動向 2024／中央法規出版,社会福祉の動向編集委員会 編集:中央法規出版, 2023.12
たのしく学ぶ社会福祉 : 誰もが人間らしく生きる社会をつくる／丹波史紀 [ほか] 編著,丹波, 史紀,石田, 賀奈子,黒田, 学,長谷川, 千春,:ミネルヴァ書房, 2021

履修上の注意事項

出欠は、出欠管理システムの記録と教員が取る出欠を併用して管理します。

連絡先(メールアドレス)

minbao.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

水曜日 12:30～13:00 管理研究棟 3 階 研究室

時間割番号	00720				
科目名	S・糖の科学			科目ID	
担当教員	勝又　敏行[KATSUMATA TOSHIYUKI]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:木曜日 3,4 講(後期)

募集人数:10 名

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表2−1)自然現象を科学的に探求するための方法論を知る

別表2−2)自然現象を探求するための手法を知る

別表2−5)自らテーマを見つけて、調べ、発展させ、論文にまとめる能力を養う

授業の目的、概要等

糖と聞くとまず思い浮かぶのが砂糖である。砂糖は料理などで気軽に使われ、身近にたくさんあるが、ほかにも様々なところで糖は私たちに関わっている。糖の仲間であるデンプンは米やパンの主成分であり、人間のエネルギー源として毎日の生活に欠かせないものである。食品以外でも木や紙の主成分はセルロースという多糖であり、軟膏や手術糸などはアルギン酸という多糖が使われている。このように糖はもっとも身近にある有機化合物である。分子レベルで見た時も、生物の構成成分としてもエネルギー源として使われるのをはじめとしてタンパク質、核酸、脂質などと結合して、生体内で起こる反応に重要な機能を担っていることが明らかになってきている。中でもタンパク質の多くは糖鎖の修飾をもち、生理活性や構造の維持に糖鎖が重要や役割を果たしていると考えられている。

糖の科学では、実習形式で糖の働きに関する英文のレビューを読み、糖の機能や構造に関する理解を深める。論文購読やプレゼンテーション、糖鎖分析に関する実験などを通してアクティブラーニング形式で生体における糖の役割や重要性について最新の知識を勉強していく予定である。

授業の到達目標

糖に関する基礎知識を習得し、自分で英語の論文を検索、読解する力を身に着けることを目標とする。

実験の計画を立て、実施し、記録をとることができる。

GPA における「B」の条件は、上記到達目標を概ね達成できたこととする。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1−4	9/19	13:30−17:05	化学実験室	糖についての講義	糖についての講義	勝又　敏行	糖の科学の内容を理解する
5−8	9/26	13:30−17:05	化学実験室	糖のペーパークロマトグラフィー	糖のペーパークロマトグラフィー	勝又　敏行	実験を行い、ペーパークロマトグラフィーを理解する 。レポートを作成する
9−12	10/3	13:30−17:05	化学実験室	糖のペーパークロマトグラフィー	糖のペーパークロマトグラフィー	勝又　敏行	実験を行い、ペーパークロマトグラフィーを理解する
13−16	10/10	13:30−17:05	化学実験室	糖タンパク質の電気泳動	糖タンパク質の電気泳動	勝又　敏行	実験を行い、電気泳動を理解する。レポートを作成する
17−20	10/17	13:30−17:05	化学実験室	糖タンパク質の電気泳動	糖タンパク質の電気泳動	勝又　敏行	実験を行い、電気泳動を理解する。レポートを作成す

							る
21-24	10/24	13:30-17:05	化学実験室	文献発表	文献発表	勝又 敏行	論文内容をプレゼンテーションする。

授業方法

英語の総説の読解の演習や実験を中心にアクティブラーニングを行う。

授業内容

1. 糖に関する講義
2. 糖に関する英文の総説の輪読(アクティブラーニング)
3. 各自興味のある論文のプレゼンテーション
4. 糖鎖構造解析に関する実験

成績評価の方法

演習を中心として行うため以下の通りとする。

評価:試験 0%、レポート 50%、その他(プレゼンテーションや質問など)50%

再評価 有(レポート再提出)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

自分でテーマに沿った論文を検索して、それをまとめてプレゼンテーションできるようにすること。

参考書

コールドスプリングハーバー糖鎖生物学/Ajit Varki [ほか編],鈴木康夫, 木全弘治 監訳.:丸善, 2010

ポストゲノム時代の糖鎖生物学がわかる/谷口直之 編.:羊土社, 2002

糖鎖科学への招待/辻崇一 共著,梶本哲也 共著,:三共出版, 2008

連絡先(メールアドレス)

katsumata.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週金曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 2 階化学実験準備室

時間割番号	00740				
科目名	S・現代パフォーミングアーツ入門			科目ID	
担当教員	徳永　伸一[TOKUNAGA SHINICHI]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

後期木曜 3-4 講

コンピテンシー:
3−2)自らの考えを的確に伝えるための基本的な文章表現能力を身につける
3−4)外国文化を理解する
3−6)日本の文化・社会を国際社会の中で理解し、発信できる力を身につける

主な講義場所

計算機実習室

授業の目的、概要等

「パフォーミング・アーツ(Performing Arts)」とは音楽、演劇、ダンス等「演じられる」芸術の総称です。
「現代」と謳っていますが、いわゆる「現代的」なものを扱うという意味ではなく、現在活動中のアーチスト(+彼らに直接的に影響を与えた人たち)にスポットを当てます。生のパフォーマンス体験に勝る「学習」はありませんが、教室内では難しいので、代用品として、CD・DVD 等の記録媒体やインターネット上のコンテンツを活用します。現在までのところ、利用可能なソフトの都合で音楽(ジャズ、クラシックからロック、J-POP まで何でも)の比重が高いですが、他のジャンル(音楽+ビジュアルによるパフォーマンス、コンテンポラリーダンス等)も取り入れる予定です。

より重要なのは聴衆・観客としてパフォーマンスに「参加」することで、結果として生涯にわたって芸術と主体的に関わる術を学ぶことが究極の目標です
(よって必ずしも単位取得は重要ではなく、単位と関係なく野次馬的・娯楽的に参加する学生も歓迎します)。

授業の到達目標

・様々なパフォーミングアートに対し、自分の言葉で批評し、感想を整理してわかりやすく述べることができる。
・未知のアートに対する興味に基づいて自ら探究し、文化的背景を学習すると共に、体験(鑑賞)行動に発展させることができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-4	9/19	13:30-17:05		徳永　伸一
5-8	9/26	13:30-17:05		徳永　伸一
9-12	10/3	13:30-17:05		徳永　伸一
13-16	10/10	13:30-17:05		徳永　伸一
17-20	10/17	13:30-17:05		徳永　伸一
21-24	10/24	13:30-17:05		徳永　伸一

授業方法

講義、映像・音源鑑賞およびディスカッションを主とします。

授業内容

各授業ごとに大まかなテーマ(ジャンルやアーチスト個人等)を決め、関連する映像ソフトやインターネット上のコンテンツを鑑賞します。

また 2014 年度より、外部講師(演奏家等)による公開講座の受講に基づくレポートを、評価の一部として取り入れています。
(10 月中旬〜下旬に湯島キャンパスにて開講予定)

成績評価の方法

評価項目は以下の3点:

(1)各回の授業の関するレポート
(2)授業時間外に各自が体験したコンサートやパフォーマンス公演等に関する詳細なレポート
(3)履修者によるアーティスト・作品の紹介プレゼンテーション
(4)10 月に湯島キャンパスにて開講される公開講座の受講に基づくレポート

ただし(3)は時間の都合上、全員が行うことは難しいと思われるので、希望者を優先します。
(1)(2)を主体として評価し(約 80%)、授業中の発言や掲示板でのディスカッションおよび(3)(4)の評価を加味します。
(1)と(2)は同等に評価するので、欠席した場合は原則として、その回数に応じて(2)のレポートを余分に提出することによって穴埋めしてもらいます。

成績評価の基準

到達目標をある程度達成したと見なせること。

準備学習等についての具体的な指示

授業のための特別な準備は必要ありませんが、日頃からアートに関心を持ち、積極的に鑑賞して、感性を磨くよう心掛けてください。

教科書

特にありませんが、主にインターネットで得られる情報を積極的に活用します。

参照ホームページ

過去の記録(の一部):
http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/cparts.htm

2014 年度の公開講座(「Saigenji と旅するブラジル」)の様子:
https://www.facebook.com/tmdu.public/posts/720148531368330

2015 年度の公開講座(「レオナルド・ブラーボと旅するブラジル」)の様子:
https://www.facebook.com/tmdu.public/posts/890552230994625

2017 年度の公開講座「岩川光とケーナ大解剖」のレポート記事(大学公開講座の情報サイト「まななび」):
http://mananavi.com/%e4%b8%96%e7%95%8c%e7%9a%84%e3%82%b1%e3%83%bc%e3%83%8a%e5%a5%8f%e8%80%85%e3%83%bb%e5%b2%a9%e5%b7%9d%e5%85%89%e3%80%8c%e3%82%b1%e3%83%bc%e3%83%8a%e3%81%8b%e3%82%89%e4%b8%96%e7%95%8c%e3%81%8c%e8%a6%8b/

東京医科歯科大学教養部 文化・芸術公開講座 Facebook ページ:
https://www.facebook.com/groups/618115738726298

連絡先(メールアドレス)

tokunaga.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

前期:
火曜 12:30–13:20(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

後期:
木曜 12:30–13:20(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

＊いずれも計算機実習室で授業がある日なので、そちらにいることが多いです。
上記以外の時間帯でも、事前に E メールで連絡をもらえれば可能な限り対応します。

時間割番号	00760				
科目名	S・サイエンスフロンティア概論			科目ID	
担当教員	檜枝 光憲, 中林 潤, 伊藤 正則, 徳永 伸一, 越野 和樹, 奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行, 松本 幸久 [HIEDA MITSUNORI, NAKABAYASHI Junn, ITO MASANORI, TOKUNAGA SHINICHI, KOSHINO KAZUKI, NARA MASAYUKI, SAWANO YORIKO, KATSUMATA TOSHIYUKI, MATSUMOTO YUKIHISA]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間:冬季集中

・対象専攻:全学科

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

2−1)自然現象を科学的に探求するための方法論を知る。

4−2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける。

授業の目的、概要等

サイエンス(基礎科学)は社会の基盤をなす学問であり、工学、創薬、医療などテクノロジーの進歩の裏には必ずサイエンスがベースになっている。生物学、化学、物理学、数学の研究者である自然系教員が、それぞれの研究分野に関連したトピックを選び、自身の研究内容や当該領域における研究トレンド、研究方法、期待される成果などをレクチャーし、さらに社会や医療との接点などを教授する。

授業の到達目標

最近のサイエンスの研究に触れることで、研究者として必要な基盤知識とリサーチマインドを獲得する。また、生物、化学、物理、数学と幅広い研究領域を学ぶことで、研究者が専門を越えて研鑽できる学際融合の目をを養う。

授業方法

講義(非同期型を基本とするが、一部は同期型で実施する)

アクティブラーニング(発見学習、調査学習、等)

授業内容

非同期型授業(オンデマンド)

1. 導入 (中林、勝又)
2. 昆虫の学習と記憶 (松本)
3. 振動分光学の生命科学への応用 (奈良)
4. 振動分光によるカルシウム結合タンパク質の構造活性相関の解明 (奈良)
5. 植物の生存戦略 (澤野)
6. 生体高分子の分析法 (勝又)
7. 摩擦の物理 (檜枝)
8. 極低温の物質科学研究:超伝導と超流動 (檜枝)
9. 超伝導量子ビットを用いた回路量子電気力学 (越野)
10. 網羅的ゲノム解析とがんゲノム医療 (中林)

同期型授業

11. 卵母細胞の成熟機構と行動の脳制御機構 (伊藤)
12. グラフの周遊問題とゲノム解析 (徳永)

成績評価の方法

評価: 授業毎に課す課題 100% (授業に参加した上で提出)

再評価: なし

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

各教員によって対応が違うが事前学習の指示があった場合にはそれに従うこと。

試験の受験資格

試験は実施しないが、原則 2/3 以上の出席が必要

履修上の注意事項

非同期型遠隔授業を基本とします（一部、同期型で実施します）。原則 2/3 以上の授業に出席すること。

備考

学生アンケートへの対応：

2020 年度　授業内容に関して大きな指摘は無し

連絡先（メールアドレス）

中林　潤:nakab.las@tmd.ac.jp

澤野　頼子:sawano.las@tmd.ac.jp

徳永　伸一:tokunaga.las@tmd.ac.jp

奈良　雅之:nara.las@tmd.ac.jp

勝又　敏行:katsumata.las@tmd.ac.jp

伊藤　正則:itohmt.las@tmd.ac.jp

松本　幸久:yukihisa.las@tmd.ac.jp

檜枝　光憲:hieda.las@tmd.ac.jp

越野　和樹:ikuzak.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

中林　潤:月曜～金曜

A.M.10:00 – P.M. 05:00

国府台キャンパス 4 階　教官研究室―9

澤野　頼子:毎週金曜日 PM.0:30–PM.1:20　ヒポクラテス 4 階

徳永　伸一:前期:

火曜 12:30–13:20（ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室）

後期:

木曜 12:30–13:20（ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室）

＊いずれも計算機実習室で授業がある日なので、そちらにいることが多いです。

上記以外の時間帯でも、事前に E メールで連絡をもらえれば可能な限り対応します。

奈良　雅之:毎週水曜日 PM.0:00–PM.2:00(ただし、第 1 水曜日（教授会開催日）は PM.1:00 まで)，毎週木曜日 PM.0:20–PM.1:20　ヒポクラテス 4 階

勝又　敏行:毎週金曜日　12:00–13:00　ヒポクラテス 2 階化学実験準備室

伊藤　正則:毎週月曜日　AM.10:00–PM.2：00　ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室

松本　幸久:毎週月曜日　PM.4:30–6:00　ヒポクラテスホール 3 階生物教員実験室

檜枝　光憲:毎週水曜日　12:30～13:00　ヒポ 3F 教員研究室 3

越野　和樹:毎週火曜日　12:30―13:00　ヒポクラテス 4 階

時間割番号	004601				
科目名	教養基礎セミナー(心理療法の理論)前半 1 講 佐藤			科目 ID	
担当教員	佐藤 舞[SATOU Mai]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1		
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間: 水曜 1 講

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-7)人間の心への理解を深める

授業の目的、概要等

心理学は実証科学的方法によって人の心を解き明かそうとする学問です。

日常の心の動きをはじめとして、心がかかわるすべての領域が対象になります。

この科目は、これまでに集積されてきた知の体系に触れることで、人間理解を深めることを目的とします。

授業の到達目標

日常生活における人間の行動を理解することで、より適応的に生活し、他者と接するための知識を身につけることを目標とします。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	9/18	08:50-10:30		佐藤 舞, 藤井 達夫
3-4	9/25	08:50-10:30		佐藤 舞, 藤井 達夫
5-6	10/2	08:50-10:30		佐藤 舞, 藤井 達夫
7-8	10/9	08:50-10:30		佐藤 舞, 藤井 達夫
9-10	10/16	08:50-10:30		佐藤 舞, 藤井 達夫
11-12	10/23	08:50-10:30		佐藤 舞, 藤井 達夫
13-14	10/30	08:50-10:30		佐藤 舞, 藤井 達夫
15-16	11/6	08:50-10:30		佐藤 舞, 藤井 達夫

授業方法

セミナー形式であり、テーマによってはグループワークを取り入れる場合もあります。

授業内容

第 1 回:ガイダンス

第 2 回:パーソナリティ

第 3 回:感情

第 4-6 回:臨床

第 7-8 回:社会

成績評価の方法

評価 : レポート 60% ・ 授業への参加度 40% 授業内課題の提出状況とワークへの積極的な参加を重視します。

再評価: 有(レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

演習で取り組む課題の準備をしてきてください。

各回が終わったら、適宜必要に応じて復習してください。

教科書

特に指定しません。必要な資料は配布します。
参考書 講義の中で随時紹介します。
履修上の注意事項 ・原則として、授業回数の 2/3 の出席を満たさなければ期末試験の受験資格を得られません。

時間割番号	004602				
科目名	教養基礎セミナー(心理療法の理論)前半 2 講 佐藤			科目 ID	
担当教員	佐藤 舞[SATOU Mai]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1		
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間: 水曜 2 講

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-7)人間の心への理解を深める

授業の目的、概要等

心理学は実証科学的方法によって人の心を解き明かそうとする学問です。

日常の心の動きをはじめとして、心がかかわるすべての領域が対象になります。

この科目は、これまでに集積されてきた知の体系に触れることで、人間理解を深めることを目的とします。

授業の到達目標

日常生活における人間の行動を理解することで、より適応的に生活し、他者と接するための知識を身につけることを目標とします。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	9/18	10:45-12:25		佐藤 舞, 藤井 達夫
3-4	9/25	10:45-12:25		佐藤 舞, 藤井 達夫
5-6	10/2	10:45-12:25		佐藤 舞, 藤井 達夫
7-8	10/9	10:45-12:25		佐藤 舞, 藤井 達夫
9-10	10/16	10:45-12:25		佐藤 舞, 藤井 達夫
11-12	10/23	10:45-12:25		佐藤 舞, 藤井 達夫
13-14	10/30	10:45-12:25		佐藤 舞, 藤井 達夫
15-16	11/6	10:45-12:25		佐藤 舞, 藤井 達夫

授業方法

セミナー形式であり、テーマによってはグループワークを取り入れる場合もあります。

授業内容

第 1 回:ガイダンス

第 2 回:パーソナリティ

第 3 回:感情

第 4-6 回:臨床

第 7-8 回:社会

成績評価の方法

評価 : レポート 60% ・ 授業への参加度 40% 授業内課題の提出状況とワークへの積極的な参加を重視します。

再評価: 有(レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

演習で取り組む課題の準備をしてきてください。

各回が終わったら、適宜必要に応じて復習してください。

教科書

特に指定しません。必要な資料は配布します。
参考書 講義の中で随時紹介します。
履修上の注意事項 ・原則として、授業回数の 2/3 の出席を満たさなければ期末試験の受験資格を得られません。

時間割番号	004603			
科目名	教養基礎セミナー(心理支援の理論)後半 1 講 佐藤		科目 ID	
担当教員	佐藤 舞[SATOU Mai]			
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

曜日・時間: 水曜 1 講

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-7)人間の心への理解を深める

授業の目的、概要等

心理学は実証科学的方法によって人の心を解き明かそうとする学問です。

日常の心の動きをはじめとして、心がかかわるすべての領域が対象になります。

この科目は、これまでに集積されてきた知の体系に触れることで、人間理解を深めることを目的とします。

授業の到達目標

日常生活における人間の行動を理解することで、より適応的に生活し、他者と接するための知識を身につけることを目標とします。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	11/13	08:50-10:30		佐藤 舞, 藤井 達夫
3-4	11/20	08:50-10:30		佐藤 舞, 藤井 達夫
5-6	11/27	08:50-10:30		佐藤 舞, 藤井 達夫
7-8	12/4	08:50-10:30		佐藤 舞, 藤井 達夫
9-10	12/11	08:50-10:30		佐藤 舞, 藤井 達夫
11-12	12/18	08:50-10:30		佐藤 舞, 藤井 達夫
13-14	1/8	08:50-10:30		佐藤 舞, 藤井 達夫

授業方法

セミナー形式であり、テーマによってはグループワークを取り入れる場合もあります。

授業内容

第 1 回:ガイダンス

第 2 回:パーソナリティ

第 3 回:感情

第 4-6 回:臨床

第 7-8 回:社会

成績評価の方法

評価 : レポート 60% ・ 授業への参加度 40% 授業内課題の提出状況とワークへの積極的な参加を重視します。

再評価: 有(レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

演習で取り組む課題の準備をしてきてください。

各回が終わったら、適宜必要に応じて復習してください。

教科書

特に指定しません。必要な資料は配布します。

参考書

講義の中で随時紹介します。

履修上の注意事項

・原則として、授業回数の 2/3 の出席を満たさなければ期末試験の受験資格を得られません。

時間割番号	004604				
科目名	教養基礎セミナー(心理支援の理論)後半 2 講 佐藤			科目 ID	
担当教員	佐藤 舞[SATOU Mai]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1		
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間: 水曜 2 講

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1−7)人間の心への理解を深める

授業の目的、概要等

心理学は実証科学的方法によって人の心を解き明かそうとする学問です。

日常の心の動きをはじめとして、心がかかわるすべての領域が対象になります。

この科目は、これまでに集積されてきた知の体系に触れることで、人間理解を深めることを目的とします。

授業の到達目標

日常生活における人間の行動を理解することで、より適応的に生活し、他者と接するための知識を身につけることを目標とします。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1−2	11/13	10:45−12:25		佐藤 舞, 藤井 達夫
3−4	11/20	10:45−12:25		佐藤 舞, 藤井 達夫
5−6	11/27	10:45−12:25		佐藤 舞, 藤井 達夫
7−8	12/4	10:45−12:25		佐藤 舞, 藤井 達夫
9−10	12/11	10:45−12:25		佐藤 舞, 藤井 達夫
11−12	12/18	10:45−12:25		佐藤 舞, 藤井 達夫
13−14	1/8	10:45−12:25		佐藤 舞, 藤井 達夫

授業方法

セミナー形式であり、テーマによってはグループワークを取り入れる場合もあります。

授業内容

第 1 回:ガイダンス

第 2 回:パーソナリティ

第 3 回:感情

第 4−6 回:臨床

第 7−8 回:社会

成績評価の方法

評価 : レポート 60% ・ 授業への参加度 40% 授業内課題の提出状況とワークへの積極的な参加を重視します。

再評価: 有(レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

演習で取り組む課題の準備をしてきてください。

各回が終わったら、適宜必要に応じて復習してください。

教科書

特に指定しません。必要な資料は配布します。

参考書 講義の中で随時紹介します。
履修上の注意事項 ・原則として、授業回数の 2/3 の出席を満たさなければ期末試験の受験資格を得られません。

時間割番号	004605				
科目名	教養基礎セミナー(倫理学を現実に照らして考える)前半 1 講 大賀			**科目 ID**	
担当教員	大賀 祐樹[OOGA Yuuki]				
開講時期	2024 年度後期	**対象年次**	1		
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間: 水曜 1 講

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表)1-2 社会制度や仕組みについての基本を理解する

別表)1-5 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る

別表)1-7 人間の心への理解を深める

別表)1-9 市民としての倫理観を養う

別表)5-2ELSI を分析・評価する視座・方法論を獲得する

授業の目的、概要等

倫理学とは、概念や理論を学ぶと同時に、自分の人生や社会において問題に直面したとき、どのように考え、答えを出すか、その実践的な方法を学ぶ学問でもある。

この講義では、教科書、参考書として扱う書物に書かれている様々な事例をもとに、倫理学的に考えるとはどのようなことか、問題を整理して、複数の観点の論理や対立構造を理解したうえで、自分自身で理由に基づいた議論を構築し、答えを出す、実践的な力を養う。

授業の到達目標

倫理学の基本的な知識や理論、枠組みを理解していることを前提として、それらが実際にどのような場面で実践され得るのかということを、教科書として扱う書物の事例を元にして学ぶ。実際に起きた事例や、様々な思考実験を題材として、倫理学の様々な考え方を通すとどのように考えられ、答えられるのか、自らの道徳的直感だけでなく、理由と論理に基づいて考える力を養うことを目標とする。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	9/18	08:50-10:30		大賀 祐樹, 藤井 達夫
3-4	9/25	08:50-10:30		大賀 祐樹, 藤井 達夫
5-6	10/2	08:50-10:30		大賀 祐樹, 藤井 達夫
7-8	10/9	08:50-10:30		大賀 祐樹, 藤井 達夫
9-10	10/16	08:50-10:30		大賀 祐樹, 藤井 達夫
11-12	10/23	08:50-10:30		大賀 祐樹, 藤井 達夫
13-14	10/30	08:50-10:30		大賀 祐樹, 藤井 達夫
15-16	11/6	08:50-10:30		大賀 祐樹, 藤井 達夫

授業方法

教科書として指定する書籍を読み進め、受講者のコメント発表、ディスカッションなどを行う。指定教科書は初回授業までに準備して持参すること。

授業内容

毎回、教科書の指定した箇所を読み進め、担当を割り振り、発表やディスカッションなどを行う。

成績評価の方法

評価 : レポート 30% ・ その他(発表やコメントの内容など、授業への参加度) 70%

再評価: 有(レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

指定した教科書の該当章を各自で事前に読了しておくこと。

教科書

実践・倫理学 : 現代の問題を考えるために／児玉聡著,児玉, 聡,:勁草書房, 2020

参考書

毎回の授業で参考文献を紹介する。

履修上の注意事項

原則 3 分の 2 以上の出席が必要。

時間割番号	004606				
科目名	教養基礎セミナー(倫理学を現実に照らして考える)前半 2 講 大賀			**科目 ID**	
担当教員	大賀 祐樹[OOGA Yuuki]				
開講時期	2024 年度後期	**対象年次**	1		
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間: 水曜 2 講

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表)1-2 社会制度や仕組みについての基本を理解する

別表)1-5 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る

別表)1-7 人間の心への理解を深める

別表)1-9 市民としての倫理観を養う

別表)5-2ELSI を分析・評価する視座・方法論を獲得する

授業の目的、概要等

倫理学とは、概念や理論を学ぶと同時に、自分の人生や社会において問題に直面したとき、どのように考え、答えを出すか、その実践的な方法を学ぶ学問でもある。

この講義では、教科書、参考書として扱う書物に書かれている様々な事例をもとに、倫理学的に考えるとはどのようなことか、問題を整理して、複数の観点の論理や対立構造を理解したうえで、自分自身で理由に基づいた議論を構築し、答えを出す、実践的な力を養う。

授業の到達目標

倫理学の基本的な知識や理論、枠組みを理解していることを前提として、それらが実際にどのような場面で実践され得るのかということを、教科書として扱う書物の事例を元にして学ぶ。実際に起きた事例や、様々な思考実験を題材として、倫理学の様々な考え方を通すとどのように考えられ、答えられるのか、自らの道徳的直感だけでなく、理由と論理に基づいて考える力を養うことを目標とする。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	9/18	10:45-12:25		大賀 祐樹, 藤井 達夫
3-4	9/25	10:45-12:25		大賀 祐樹, 藤井 達夫
5-6	10/2	10:45-12:25		大賀 祐樹, 藤井 達夫
7-8	10/9	10:45-12:25		大賀 祐樹, 藤井 達夫
9-10	10/16	10:45-12:25		大賀 祐樹, 藤井 達夫
11-12	10/23	10:45-12:25		大賀 祐樹, 藤井 達夫
13-14	10/30	10:45-12:25		大賀 祐樹, 藤井 達夫
15-16	11/6	10:45-12:25		大賀 祐樹, 藤井 達夫

授業方法

教科書として指定する書籍を読み進め、受講者のコメント発表、ディスカッションなどを行う。指定教科書は初回授業までに準備して持参すること。

授業内容

毎回、教科書の指定した箇所を読み進め、担当を割り振り、発表やディスカッションなどを行う。

成績評価の方法

評価 : レポート 30% ・ その他(発表やコメントの内容など、授業への参加度) 70%

再評価: 有(レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

指定した教科書の該当章を各自で事前に読了しておくこと。

教科書

実践・倫理学 : 現代の問題を考えるために／児玉聡著,児玉, 聡,:勁草書房, 2020

参考書

毎回の授業で参考文献を紹介する。

履修上の注意事項

原則 3 分の 2 以上の出席が必要。

時間割番号	004607				
科目名	教養基礎セミナー(哲学の原典を直接読む)後半 1 講　大賀			**科目 ID**	
担当教員	大賀　祐樹[OOGA Yuuki]				
開講時期	2024 年度後期	**対象年次**	1		
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:　水曜　1 講

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表 1-1)言語を通した人間の創造的営みを理解する

別表 1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る

別表 1-6)人間の心への理解を深める

授業の目的、概要等

哲学の原典である書籍を実際に読み進める。

独力でいきなり読んでも理解できないかもしれないが、ゆっくりとしたペースで、受講者で協力して熟読し、議論を行い、解説を加えることで、理解を深められるようにする。

難しい哲学書と向き合い、直接読み解く力を養う。

授業の到達目標

難しい哲学書をしっかりと読み通し、内容と向き合って、理解できるようになるための訓練を行い、その力を習得することを目標とする。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	11/13	08:50-10:30		大賀　祐樹, 藤井　達夫
3-4	11/20	08:50-10:30		大賀　祐樹, 藤井　達夫
5-6	11/27	08:50-10:30		大賀　祐樹, 藤井　達夫
7-8	12/4	08:50-10:30		大賀　祐樹, 藤井　達夫
9-10	12/11	08:50-10:30		大賀　祐樹, 藤井　達夫
11-12	12/18	08:50-10:30		大賀　祐樹, 藤井　達夫
13-14	1/8	08:50-10:30		大賀　祐樹, 藤井　達夫

授業方法

教科書として指定する書籍を読み進め、受講者のコメント発表、ディスカッションなどを行う。指定教科書は初回授業までに準備して持参すること。

授業内容

毎回、教科書の指定した箇所を読み進め、担当を割り振り、発表やディスカッションなどを行う。

成績評価の方法

評価　:　レポート　30%　・　その他(発表やコメントの内容など、授業への参加度)　70%

再評価:　有(レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

指定した教科書の該当章を各自で事前に読了しておくこと。

教科書 ハイデガー『存在と時間(1)』岩波文庫、熊野純彦訳(予定) ※変更がある場合は随時通達します。
参考書 毎回の授業で参考文献を紹介する。
履修上の注意事項 原則3分の2以上の出席が必要。

時間割番号	004608				
科目名	教養基礎セミナー(哲学の原典を直接読む)後半 2 講 大賀			科目 ID	
担当教員	大賀 祐樹[OOGA Yuuki]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1		
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間: 水曜 2 講

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表 1-1)言語を通した人間の創造的営みを理解する

別表 1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る

別表 1-6)人間の心への理解を深める

授業の目的、概要等

哲学の原典である書籍を実際に読み進める。

独力でいきなり読んでも理解できないかもしれないが、ゆっくりとしたペースで、受講者で協力して熟読し、議論を行い、解説を加えることで、理解を深められるようにする。

難しい哲学書と向き合い、直接読み解く力を養う。

授業の到達目標

難しい哲学書をしっかりと読み通し、内容と向き合って、理解できるようになるための訓練を行い、その力を習得することを目標とする。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	11/13	10:45-12:25		大賀 祐樹, 藤井 達夫
3-4	11/20	10:45-12:25		大賀 祐樹, 藤井 達夫
5-6	11/27	10:45-12:25		大賀 祐樹, 藤井 達夫
7-8	12/4	10:45-12:25		大賀 祐樹, 藤井 達夫
9-10	12/11	10:45-12:25		大賀 祐樹, 藤井 達夫
11-12	12/18	10:45-12:25		大賀 祐樹, 藤井 達夫
13-14	1/8	10:45-12:25		大賀 祐樹, 藤井 達夫

授業方法

教科書として指定する書籍を読み進め、受講者のコメント発表、ディスカッションなどを行う。指定教科書は初回授業までに準備して持参すること。

授業内容

毎回、教科書の指定した箇所を読み進め、担当を割り振り、発表やディスカッションなどを行う。

成績評価の方法

評価 : レポート 30% ・ その他(発表やコメントの内容など、授業への参加度) 70%

再評価: 有(レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

指定した教科書の該当章を各自で事前に読了しておくこと。

教科書 ハイデガー『存在と時間(1)』岩波文庫、熊野純彦訳(予定) ※変更がある場合は随時通達します。
参考書 毎回の授業で参考文献を紹介する。
履修上の注意事項 原則3分の2以上の出席が必要。

時間割番号	004609				
科目名	教養基礎セミナー(現代社会と科学主義)前半 1 講 徳久			科目 ID	
担当教員	徳久 美生子[TOKUHISA Mioko]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1		
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間: 水曜 1 講

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

1−10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる

2−4)自己問題提起解決型学習方法を身につける

3−3)チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける

授業の目的、概要等

電気をはじめとする科学技術の進展は、私たちの便利な生活に大きな貢献をしてきました。

けれども資源の枯渇などの地球環境問題、大量破壊兵器の開発など科学技術の進展に伴う社会問題を発生させてもきました。

この授業では、科学技術の成果にはどのようなものがあるのかを確認します(知識の取得)。

そしてそこにどのような弊害があるのかをビデオや文献を参照しながら考え、話し合います(思考力の取得)。

その上で弊害を乗り越えるためには何が必要なのかを考えます(構想力の取得)。

授業の到達目標

1. 科学技術の成果に関する知識の取得
2. 科学技術の弊害について考え、話し合う思考力の取得
3. 弊害を乗り越えるためには何が必要なのかに関する構想力の取得

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1−2	9/18	08:50−10:30		徳久 美生子, 藤井 達夫
3−4	9/25	08:50−10:30		徳久 美生子, 藤井 達夫
5−6	10/2	08:50−10:30		徳久 美生子, 藤井 達夫
7−8	10/9	08:50−10:30		徳久 美生子, 藤井 達夫
9−10	10/16	08:50−10:30		徳久 美生子, 藤井 達夫
11−12	10/23	08:50−10:30		徳久 美生子, 藤井 達夫
13−14	10/30	08:50−10:30		徳久 美生子, 藤井 達夫
15−16	11/6	08:50−10:30		徳久 美生子, 藤井 達夫

授業方法

アクティブ・ラーニングの形式を取り入れ、グループディスカッションやプレゼンテーションなども行う予定です。

授業内容

1. ガイダンス:科学技術の進展と現代社会
2. 身の回りにある科学技術の成果1
3. 身の回りにある科学技術の成果2
4. 科学技術の成果に伴う問題に関する議論1
5. 科学技術の成果に伴う問題に関する議論2
6. 問題解決に向けての議論1
7. 問題解決に向けての議論2
8. まとめの議論

成績評価の方法

評価 : 試験 % ・ レポート 60% ・ その他(発表と討論) 40 %

再評価: 有(再評価方法) ・ 無セミナー形式の授業であり、授業への参加度を重視します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

授業内での議論を振り返り、自分の意見をまとめて次の授業に臨んでください。

教科書

指定なし

授業内で取り上げる文献や映像に関するプリントを配布します。

参考書

核のごみをどうするか : もう一つの原発問題／今田, 高俊, 1948-,寿楽, 浩太, 1980-,中澤, 高師,今田高俊, 寿楽浩太, 中澤高師 著:岩波書店, 2023.4

今田高俊・寿楽浩太・中澤高師『核のごみをどうするか:もう一つの原発問題』岩波ジュニア新書(2023)

浦沢直樹・手塚治虫『PLUTO1-8』集英社(2009)

他授業内で随時紹介していきます

履修上の注意事項

単位取得には 3 分の 2 以上の出席が必要です。

備考

キーワード:社会問題・核・多様性・環境問題

時間割番号	004610				
科目名	教養基礎セミナー(現代社会と科学主義)前半 2 講　徳久			**科目 ID**	
担当教員	徳久　美生子[TOKUHISA Mioko]				
開講時期	2024 年度後期	**対象年次**	1		
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:　水曜　2 講

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

1−10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる

2−4)自己問題提起解決型学習方法を身につける

3−3)チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける

授業の目的、概要等

電気をはじめとする科学技術の進展は、私たちの便利な生活に大きな貢献をしてきました。
けれども資源の枯渇などの地球環境問題、大量破壊兵器の開発など科学技術の進展に伴う社会問題を発生させてもきました。
この授業では、科学技術の成果にはどのようなものがあるのかを確認します(知識の取得)。
そしてそこにどのような弊害があるのかをビデオや文献を参照しながら考え、話し合います(思考力の取得)。
その上で弊害を乗り越えるためには何が必要なのかを考えます(構想力の取得)。

授業の到達目標

1. 科学技術の成果に関する知識の取得
2. 科学技術の弊害について考え、話し合う思考力の取得
3. 弊害を乗り越えるためには何が必要なのかに関する構想力の取得

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1−2	9/18	10:45−12:25		徳久　美生子, 藤井　達夫
3−4	9/25	10:45−12:25		徳久　美生子, 藤井　達夫
5−6	10/2	10:45−12:25		徳久　美生子, 藤井　達夫
7−8	10/9	10:45−12:25		徳久　美生子, 藤井　達夫
9−10	10/16	10:45−12:25		徳久　美生子, 藤井　達夫
11−12	10/23	10:45−12:25		徳久　美生子, 藤井　達夫
13−14	10/30	10:45−12:25		徳久　美生子, 藤井　達夫
15−16	11/6	10:45−12:25		徳久　美生子, 藤井　達夫

授業方法

アクティブ・ラーニングの形式を取り入れ、グループディスカッションやプレゼンテーションなども行う予定です。

授業内容

1. ガイダンス:科学技術の進展と現代社会
2. 身の回りにある科学技術の成果1
3. 身の回りにある科学技術の成果2
4. 科学技術の成果に伴う問題に関する議論1
5. 科学技術の成果に伴う問題に関する議論2
6. 問題解決に向けての議論1
7. 問題解決に向けての議論2
8. まとめの議論

成績評価の方法

評価 : 試験　　% ・ レポート　　60% ・ その他(発表と討論　　)　40 %

再評価:　有(再評価方法)　・ 無セミナー形式の授業であり、授業への参加度を重視します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

授業内での議論を振り返り、自分の意見をまとめて次の授業に臨んでください。

教科書

指定なし

授業内で取り上げる文献や映像に関するプリントを配布します。

参考書

核のごみをどうするか : もう一つの原発問題／今田, 高俊, 1948-,寿楽, 浩太, 1980-,中澤, 高師,今田高俊, 寿楽浩太, 中澤高師 著:岩波書店, 2023.4

今田高俊・寿楽浩太・中澤高師『核のごみをどうするか:もう一つの原発問題』岩波ジュニア新書(2023)

浦沢直樹・手塚治虫『PLUTO1-8』集英社(2009)

他授業内で随時紹介していきます

履修上の注意事項

単位取得には 3 分の 2 以上の出席が必要です。

備考

キーワード:社会問題・核・多様性・環境問題

時間割番号	004611				
科目名	教養基礎セミナー(平和な「社会」と科学主義)後半 1 講　徳久			**科目 ID**	
担当教員	徳久　美生子[TOKUHISA Mioko]				
開講時期	2024 年度後期	**対象年次**	1		
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:　水曜　1 講

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):—10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる

2—4)自己問題提起解決型学習方法を身につける

3—3)チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける

授業の目的、概要等

アジア・太平洋戦争の敗戦から 80 年近く、日本国内には戦争や戦闘状態はありません。

けれども南西諸島にミサイル基地が建設され、子どもの 11 人に 1 人は貧困状態にあると言われ、セクシャルマイノリティに対する差別が消えない日本は、平和な「社会」と言えるのでしょうか。

この授業では、ビデオや文献を参照しながら平和な「社会」とはどのような状態を言うのかを受講生の皆さんと一緒に考えます(討議力の取得)。

そして科学の知見を用いて、未来に向けた平和な「社会」を構想できるのか話し合います(構想力の取得)。

授業の到達目標

1. グループワークや全体討論を通して自分の意見を言える討議力の取得
2. 科学の知見を用いた平和な「社会」の構想を自分の言葉で説明できる思考力の取得

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	11/13	08:50-10:30		徳久　美生子, 藤井　達夫
3-4	11/20	08:50-10:30		徳久　美生子, 藤井　達夫
5-6	11/27	08:50-10:30		徳久　美生子, 藤井　達夫
7-8	12/4	08:50-10:30		徳久　美生子, 藤井　達夫
9-10	12/11	08:50-10:30		徳久　美生子, 藤井　達夫
11-12	12/18	08:50-10:30		徳久　美生子, 藤井　達夫
13-14	1/8	08:50-10:30		徳久　美生子, 藤井　達夫

授業方法

アクティブ・ラーニングの形式を取り入れ、グループディスカッションやプレゼンテーションなども行う予定です。

授業内容

1. ガイダンス:平和な「社会」とは
2. 戦争の爪痕から考える平和1:原爆と放射線被害
3. 戦争の爪痕から考える平和2:沖縄の基地問題
4. 社会問題から考える平和1:セクシャルマイノリティと差別
5. 社会問題から考える平和2:子どもの貧困
6. 科学の知見から考える平和な未来
7. まとめ:平和な未来は構想可能か

成績評価の方法

評価 : 試験　　% ・ レポート　　60% ・ その他(発表と討論)　40%

再評価:　有(再評価方法)　・ 無セミナー形式の授業であり、授業への参加度を重視します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

授業内での議論を振り返り、自分の意見をまとめて次の授業に臨んでください。

教科書

指定なし

授業内で取り上げる文献や映像に関するプリントを配布します

参考書

永遠の平和のために／Kant, Immanuel, 1724-1804,丘沢, 静也, 1947-,イマヌエル・カント [著],丘沢静也 訳:講談社, 2022.1

LGBT を読みとく : クィア・スタディーズ入門／森山, 至貴, 1982-,森山至貴 著:筑摩書房, 2017.3

なぜ基地と貧困は沖縄に集中するのか? : 本土優先、沖縄劣後の構造／安里, 長従,志賀, 信夫, 1982-,安里長従, 志賀信夫:堀之内出版, 2022.8

カント（丘沢静也訳）『永遠の平和のために』講談社学術文庫（2022）

森山至貴『LGBT を読み解く』ちくま新書（2017）

安里長従・志賀信夫『なぜ基地と貧困は沖縄に集中するのか：本土優先、沖縄劣後の構造』堀之内出版（2022）

他授業内で随時紹介していきます

履修上の注意事項

単位取得には 3 分の 2 以上の出席が必要です。

備考

キーワード：戦争・平和・基地問題・性的マイノリティ・貧困

時間割番号	004612				
科目名	教養基礎セミナー(平和な「社会」と科学主義)後半 2 講　徳久			**科目 ID**	
担当教員	徳久　美生子[TOKUHISA Mioko]				
開講時期	2024 年度後期	**対象年次**	1		
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:　水曜　2 講

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):−10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる

2−4)自己問題提起解決型学習方法を身につける

3−3)チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける

授業の目的、概要等

アジア・太平洋戦争の敗戦から 80 年近く、日本国内には戦争や戦闘状態はありません。

けれども南西諸島にミサイル基地が建設され、子どもの 11 人に 1 人は貧困状態にあると言われ、セクシャルマイノリティに対する差別が消えない日本は、平和な「社会」と言えるのでしょうか。

この授業では、ビデオや文献を参照しながら平和な「社会」とはどのような状態を言うのかを受講生の皆さんと一緒に考えます(討議力の取得)。

そして科学の知見を用いて、未来に向けた平和な「社会」を構想できるのか話し合います(構想力の取得)。

授業の到達目標

1. グループワークや全体討論を通して自分の意見を言える討議力の取得
2. 科学の知見を用いた平和な「社会」の構想を自分の言葉で説明できる思考力の取得

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1−2	11/13	10:45−12:25		徳久　美生子, 藤井　達夫
3−4	11/20	10:45−12:25		徳久　美生子, 藤井　達夫
5−6	11/27	10:45−12:25		徳久　美生子, 藤井　達夫
7−8	12/4	10:45−12:25		徳久　美生子, 藤井　達夫
9−10	12/11	10:45−12:25		徳久　美生子, 藤井　達夫
11−12	12/18	10:45−12:25		徳久　美生子, 藤井　達夫
13−14	1/8	10:45−12:25		徳久　美生子, 藤井　達夫

授業方法

アクティブ・ラーニングの形式を取り入れ、グループディスカッションやプレゼンテーションなども行う予定です。

授業内容

1. ガイダンス:平和な「社会」とは
2. 戦争の爪痕から考える平和1:原爆と放射線被害
3. 戦争の爪痕から考える平和2:沖縄の基地問題
4. 社会問題から考える平和1:セクシャルマイノリティと差別
5. 社会問題から考える平和2:子どもの貧困
6. 科学の知見から考える平和な未来
7. まとめ:平和な未来は構想可能か

成績評価の方法

評価 : 試験　　% ・ レポート　　60% ・ その他(発表と討論)　40%

再評価:　有(再評価方法)　・ 無セミナー形式の授業であり、授業への参加度を重視します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

授業内での議論を振り返り、自分の意見をまとめて次の授業に臨んでください。

教科書

指定なし

授業内で取り上げる文献や映像に関するプリントを配布します

参考書

永遠の平和のために／Kant, Immanuel, 1724-1804,丘沢, 静也, 1947-,イマヌエル・カント [著],丘沢静也 訳:講談社, 2022.1

LGBT を読みとく : クィア・スタディーズ入門／森山, 至貴, 1982-,森山至貴 著:筑摩書房, 2017.3

なぜ基地と貧困は沖縄に集中するのか? : 本土優先、沖縄劣後の構造／安里, 長従,志賀, 信夫, 1982-,安里長従, 志賀信夫:堀之内出版, 2022.8

カント(丘沢静也訳)『永遠の平和のために』講談社学術文庫(2022)

森山至貴『LGBT を読み解く』ちくま新書(2017)

安里長従・志賀信夫『なぜ基地と貧困は沖縄に集中するのか:本土優先、沖縄劣後の構造』堀之内出版(2022)

他授業内で随時紹介していきます

履修上の注意事項

単位取得には 3 分の 2 以上の出席が必要です。

備考

キーワード:戦争・平和・基地問題・性的マイノリティ・貧困

時間割番号	004693				
科目名	教養基礎セミナー(子どもへの虐待と日本社会)前半1講 面			科目ID	
担当教員	面 一也[OMOTE KAZUYA]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1		
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:水曜 1 講

募集人数: 10 人程度

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-2), 1-7), 1-8), 1-9), 1-10), 3-6), 4-2)

授業の目的、概要等

子どもが健やかに育っているかどうかは、その社会が健全であるかどうかを見極める、一つの目安と言える。

ところが日本では、生まれてくる子どもの数自体が激減しているというのに、子どもへの虐待は、報告された件数だけでも最多を更新している。

その要因は複数あるが、主たるものとして、社会政策の失敗を挙げることができる。

とりわけ日本は、他の先進諸国に逆行する的はずれな政策を数多く、かつ長期にわたり続けてきたし、今も続けている。

その結果、虐待によって精神疾患に陥った子どもたちは、多くの場合、適切な治療も受けられないまま、放置されているのが現状である。

本授業では、児童精神科医による日本社会への告発ともいうべき書を読み解きながら、愛着障害・発達障害といった精神疾患や、子どもへの虐待をめぐる社会政策を学ぶとともに、今後の日本がどのような社会であるべきかについて考察していく。

授業はセミナー形式で行なわれるため、問題意識の旺盛な学生の積極的な参加が歓迎される。

授業の到達目標

愛着障害や発達障害といった精神疾患を正確に理解する。

子どもへの虐待をめぐる社会政策について、とくにその問題点を的確に理解する。

今後の日本社会のあり方について、批判的に考察する力を身につける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	9/18	08:50-10:30		面 一也, 藤井 達夫
3-4	9/25	08:50-10:30		面 一也, 藤井 達夫
5-6	10/2	08:50-10:30		面 一也, 藤井 達夫
7-8	10/9	08:50-10:30		面 一也, 藤井 達夫
9-10	10/16	08:50-10:30		面 一也, 藤井 達夫
11-12	10/23	08:50-10:30		面 一也, 藤井 達夫
13-14	10/30	08:50-10:30		面 一也, 藤井 達夫
15-16	11/6	08:50-10:30		面 一也, 藤井 達夫

授業方法

セミナー形式。アクティヴ・ラーニングとして、分担箇所のレジュメの作成と発表、および毎授業時における議論への参加が求められる。

授業内容

1 ガイダンス

2 教科書、序章

3 同、第 1-2 章

4 同、第 3-4 章

5 同、第 5-6 章

6 同、第 7 章

7 同、第 8 章

8 同、第 9 章

成績評価の方法

評価 ： レポート（レジュメ発表） 50% ・ その他(議論への参加） 50% ※セミナー形式の授業であるため、授業への参加度を重視する。

再評価: 有(レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

予習として教科書(各回分)の事前読了を求める。

予習には 60 分～90 分かかると想定される。

授業時の議論の準備を兼ねて、自分で抱いた感想や考察などを、簡単にメモに残しておくとよいだろう。

また、復習は次の授業の土台になるため、次回までに済ませると理想的である。

教科書

杉山登志郎『子育てで一番大切なこと ―愛着形成と発達障害―』講談社現代新書、2018 年。

参考書

授業時に適宜指示する。

履修上の注意事項

出欠管理システムより教員自身が取る出欠を優先させる 。

時間割番号	004694				
科目名	教養基礎セミナー(子どもへの虐待と日本社会)前半 2 講　面			**科目 ID**	
担当教員	面　一也[OMOTE KAZUYA]				
開講時期	2024 年度後期	**対象年次**	1		
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:水曜 2 講

募集人数:　10 人程度

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-2), 1-7), 1-8), 1-9), 1-10), 3-6), 4-2)

授業の目的、概要等

子どもが健やかに育っているかどうかは、その社会が健全であるかどうかを見極める、一つの目安と言える。

ところが日本では、生まれてくる子どもの数自体が激減しているというのに、子どもへの虐待は、報告された件数だけでも最多を更新している。

その要因は複数あるが、主たるものとして、社会政策の失敗を挙げることができる。

とりわけ日本は、他の先進諸国に逆行する的はずれな政策を数多く、かつ長期にわたり続けてきたし、今も続けている。

その結果、虐待によって精神疾患に陥った子どもたちは、多くの場合、適切な治療も受けられないまま、放置されているのが現状である。

本授業では、児童精神科医による日本社会への告発ともいうべき書を読み解きながら、愛着障害・発達障害といった精神疾患や、子どもへの虐待をめぐる社会政策を学ぶとともに、今後の日本がどのような社会であるべきかについて考察していく。

授業はセミナー形式で行なわれるため、問題意識の旺盛な学生の積極的な参加が歓迎される。

授業の到達目標

愛着障害や発達障害といった精神疾患を正確に理解する。

子どもへの虐待をめぐる社会政策について、とくにその問題点を的確に理解する。

今後の日本社会のあり方について、批判的に考察する力を身につける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	9/18	10:45-12:25		面　一也, 藤井　達夫
3-4	9/25	10:45-12:25		面　一也, 藤井　達夫
5-6	10/2	10:45-12:25		面　一也, 藤井　達夫
7-8	10/9	10:45-12:25		面　一也, 藤井　達夫
9-10	10/16	10:45-12:25		面　一也, 藤井　達夫
11-12	10/23	10:45-12:25		面　一也, 藤井　達夫
13-14	10/30	10:45-12:25		面　一也, 藤井　達夫
15-16	11/6	10:45-12:25		面　一也, 藤井　達夫

授業方法

セミナー形式。アクティヴ・ラーニングとして、分担箇所のレジュメの作成と発表、および毎授業時における議論への参加が求められる。

授業内容

1　ガイダンス

2　教科書、序章

3　同、第 1-2 章

4　同、第 3-4 章

5　同、第 5-6 章

6　同、第 7 章

7　同、第 8 章

8　同、第 9 章

成績評価の方法

評価 ： レポート（レジュメ発表） 50% ・ その他(議論への参加) 50% ※セミナー形式の授業であるため、授業への参加度を重視する。

再評価: 有(レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

予習として教科書(各回分)の事前読了を求める。

予習には 60 分～90 分かかると想定される。

授業時の議論の準備を兼ねて、自分で抱いた感想や考察などを、簡単にメモに残しておくとよいだろう。

また、復習は次の授業の土台になるため、次回までに済ませると理想的である。

教科書

杉山登志郎『子育てで一番大切なこと ―愛着形成と発達障害―』講談社現代新書、2018 年。

参考書

授業時に適宜指示する。

履修上の注意事項

出欠管理システムより教員自身が取る出欠を優先させる 。

時間割番号	004615			
科目名	教養基礎セミナー(G･オーウェル『動物農場』を通してデモクラシーを考える)後半 1 講 面		科目 ID	
担当教員	面 一也[OMOTE KAZUYA]			
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

曜日･時間:水曜 1 講

募集人数: 10 人程度

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-2), 1-9), 3-5), 3-6)

授業の目的、概要等

第二次世界大戦が終わる頃、イギリスの作家ジョージ･オーウェルは、ナチス･ドイツの敗北を受けて、デモクラシーの勝利を楽観的に論じる大半の知識人層とちがって、形を変えたもっと恐ろしい未来がやって来るのではないか、と案じていた。

プロパガンダや世論操作によって、人びとの心の内面までもが権力に支配された、デモクラシーとは名ばかりの統制国家が到来するのではないか、と。

それから半世紀以上が経ち、とりわけ先進国と呼ばれる国々が、オーウェル的世界に近づいている、としばしば指摘される。

本授業では、以上のような問題意識のもとに書かれた、オーウェルの名著『動物農場』を読み解きながら、デモクラシーの現状と、その未来のあり方について考察していく。授業はセミナー形式で行なわれるため、問題意識の旺盛な学生の積極的な参加が歓迎される。

授業の到達目標

1. G･オーウェル『動物農場』を正確に理解する。
2. デモクラシーの現状について、とくにその問題点を的確に理解する。
3. デモクラシーの未来のあり方について、批判的に考察する力を身につける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	11/13	10:45-12:25		面 一也, 藤井 達夫
3-4	11/20	10:45-12:25		面 一也, 藤井 達夫
5-6	11/27	10:45-12:25		面 一也, 藤井 達夫
7-8	12/4	10:45-12:25		面 一也, 藤井 達夫
9-10	12/11	10:45-12:25		面 一也, 藤井 達夫
11-12	12/18	10:45-12:25		面 一也, 藤井 達夫
13-14	1/8	10:45-12:25		面 一也, 藤井 達夫

授業方法

セミナー形式。アクティヴ･ラーニングとして、分担箇所のレジュメの作成と発表、および毎授業時における議論への参加が求められる。

授業内容

1 ガイダンス
2 『動物農場』第 1･2･3 章
3 同、第 4･5･6 章
4 同、第 7･8 章
5 同、第 9･10 章
6 報道の自由:『動物農場』序文案
7 『動物農場』ウクライナ語版への序文

成績評価の方法

評価 : レポート (レジュメ発表) 50% ・ その他(議論への参加) 50% ※セミナー形式の授業であるため、授業への参加度

を重視する。
再評価:　有(レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

予習として教科書(各回分)の事前読了を求める。
予習には 60 分～90 分かかると想定される。
授業時の議論の準備を兼ねて、自分で抱いた感想や考察などを、簡単にメモに残しておくとよいだろう。
また、復習は次の授業の土台になるため、次回までに済ませると理想的である。

教科書

ジョージ・オーウェル著、山形浩生訳『動物農場〔新訳版〕』早川書房(ハヤカワ epi 文庫)、2017 年。

参考書

授業時に適宜指示する。

履修上の注意事項

出欠管理システムより教員自身が取る出欠を優先させる 。

時間割番号	004616			
科目名	教養基礎セミナー(G･オーウェル『動物農場』を通してデモクラシーを考える)後半2講 面		**科目ID**	
担当教員	面 一也[OMOTE KAZUYA]			
開講時期	2024 年度後期	**対象年次**	1	
実務経験のある教員による授業				

曜日･時間:水曜 2 講

募集人数: 10 人程度

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-2), 1-9), 3-5), 3-6)

授業の目的、概要等

第二次世界大戦が終わる頃、イギリスの作家ジョージ･オーウェルは、ナチス･ドイツの敗北を受けて、デモクラシーの勝利を楽観的に論じる大半の知識人層とちがって、形を変えたもっと恐ろしい未来がやって来るのではないか、と案じていた。

プロパガンダや世論操作によって、人びとの心の内面までもが権力に支配された、デモクラシーとは名ばかりの統制国家が到来するのではないか、と。

それから半世紀以上が経ち、とりわけ先進国と呼ばれる国々が、オーウェル的世界に近づいている、としばしば指摘される。

本授業では、以上のような問題意識のもとに書かれた、オーウェルの名著『動物農場』を読み解きながら、デモクラシーの現状と、その未来のあり方について考察していく。授業はセミナー形式で行なわれるため、問題意識の旺盛な学生の積極的な参加が歓迎される。

授業の到達目標

1. G･オーウェル『動物農場』を正確に理解する。
2. デモクラシーの現状について、とくにその問題点を的確に理解する。
3. デモクラシーの未来のあり方について、批判的に考察する力を身につける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	11/13	10:45-12:25		面 一也, 藤井 達夫
3-4	11/20	10:45-12:25		面 一也, 藤井 達夫
5-6	11/27	10:45-12:25		面 一也, 藤井 達夫
7-8	12/4	10:45-12:25		面 一也, 藤井 達夫
9-10	12/11	10:45-12:25		面 一也, 藤井 達夫
11-12	12/18	10:45-12:25		面 一也, 藤井 達夫
13-14	1/8	10:45-12:25		面 一也, 藤井 達夫

授業方法

セミナー形式。アクティヴ･ラーニングとして、分担箇所のレジュメの作成と発表、および毎授業時における議論への参加が求められる。

授業内容

1 ガイダンス
2 『動物農場』第 1･2･3 章
3 同、第 4･5･6 章
4 同、第 7･8 章
5 同、第 9･10 章
6 報道の自由:『動物農場』序文案
7 『動物農場』ウクライナ語版への序文

成績評価の方法

評価 : レポート (レジュメ発表) 50% ・ その他(議論への参加) 50% ※セミナー形式の授業であるため、授業への参加度

を重視する。
再評価:　有(レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

予習として教科書(各回分)の事前読了を求める。
予習には 60 分～90 分かかると想定される。
授業時の議論の準備を兼ねて、自分で抱いた感想や考察などを、簡単にメモに残しておくとよいだろう。
また、復習は次の授業の土台になるため、次回までに済ませると理想的である。

教科書

ジョージ・オーウェル著、山形浩生訳『動物農場〔新訳版〕』早川書房(ハヤカワ epi 文庫)、2017 年。

参考書

授業時に適宜指示する。

履修上の注意事項

出欠管理システムより教員自身が取る出欠を優先させる 。

時間割番号	004617				
科目名	教養基礎セミナー(憲法と人権)前半1講　飛田			**科目ID**	
担当教員	飛田　綾子[TOBITA AYAKO]				
開講時期	2024 年度後期	**対象年次**	1		
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:　水曜　1講

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

1-2)社会制度や仕組みについての基本を理解する。

1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る。

授業の目的、概要等

制定から 75 年以上経っても一度も改正されない日本国憲法について、みなさんはどのようにお考えでしょうか。

改正の必要性を考えるために、まずは憲法の中身、特に権利として何が保障されているのか考えてみませんか。

憲法とは法の元締めのような存在です。

したがって憲法に関する知識を学ぶことは、現代社会で生きる自分自身のためになります。

この授業では憲法が保障する「基本的人権」を説明します。

具体的には、死刑制度、生活保護に関連する生存権や、ジェンダーに関連する法の下の平等、報道の自由をめぐる表現の自由の問題を取り上げます。

適宜みんなで意見交換をしようと思います。

授業の到達目標

①日本国憲法が保障している権利の内容や裁判についての基本的知識を説明できる。

②権利に関する問題を考察し、積極的に討論できるようになる。

③脚注のつけ方をはじめとした論文の体裁を把握し、自らの考えをレポートで伝えることが出来る。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	9/18	08:50-10:30		飛田　綾子, 藤井　達夫
3-4	9/25	08:50-10:30		飛田　綾子, 藤井　達夫
5-6	10/2	08:50-10:30		飛田　綾子, 藤井　達夫
7-8	10/9	08:50-10:30		飛田　綾子, 藤井　達夫
9-10	10/16	08:50-10:30		飛田　綾子, 藤井　達夫
11-12	10/23	08:50-10:30		飛田　綾子, 藤井　達夫
13-14	10/30	08:50-10:30		飛田　綾子, 藤井　達夫
15-16	11/6	08:50-10:30		飛田　綾子, 藤井　達夫

授業方法

教員が作成したレジュメをもとに、講義形式で行います。アクティブ・ラーニングの形式を取り入れ、具体的問題をディスカッションする機会を適宜実施する予定です。

授業内容

第 1 回　ガイダンス・ 人身の自由(死刑制度について)ガイダンスののち、さっそく「死刑制度」について考えてみます。その上で憲法の思想的基盤である「立憲主義」について考えてみます。

第 2 回　経済的自由(憲法が想定している経済活動)規制緩和の是非について考えてみます。

第 3 回　　社会権(生活保護の基準の決定方法や、教育を受ける権利の内実)「健康で文化的な最低限度の生活」はどうあるべきか考えてみます。

第 4 回　　思想・良心の自由・信教の自由(内心の自由への保障の意味。国家による戦争犠牲者の追悼のあり方)信教の自由への制限のあり方)改めて「内心の自由」とはなんでしょうか。

第 5 回　　表現の自由(猥褻物や扇動的表現の規制の是非など)不快な表現を禁止することは当たり前でしょうか。一から考えてみま

しょう。
第 6 回　　幸福追求権(プライバシーの範囲、校則の必要性とは) 自分の過去がネットに残っている場合、削除は認められるのでしょうか。
第 7 回　　法の下の平等(民法の規定する夫婦同姓の規定や、同性婚が認められていない状況について)最高裁の判断も注目しながら、考えてみましょう。
第 8 回　まとめ

成績評価の方法

評価 : 試験　　% ・ レポート　40　% ・ その他(授業への参加度・リアクションペーパー 、小テスト) 60 %
再評価:　有(再評価方法:レポート提出)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

予習・復習として、レジュメを読み直し、授業内容を確認すること。
特に復習に重点をおくこと。国内外をとわず、政治・社会問題も含めたあらゆるニュースに敏感になり、そうしたニュースと憲法や法律全般との関係を考える習慣を身につけて下さい。
それぞれの問題は、モデルとなる裁判があります。なぜ裁判になったのか想像しながら、日々のニュースを見直してみてください。

教科書

特に指定しません。

参考書

神野潔編著『教養としての憲法入門』(弘文堂、2016 年)。 松本和彦『事例問題から考える憲法』(有斐閣、2018 年)。

履修上の注意事項

履修上の注意事項　①出欠管理システムの記録より教員の出欠調査を優先します。　②原則として出席回数が3分の2以上を満たさないと、レポート提出資格を得られません。　③遅刻 3 回で欠席 1 回とカウントします。　④授業中の教員の発言は積極的にメモを取ってください。

備考

キーワード:憲法、正義、立憲主義、民主主義、基本的人権

時間割番号	004618				
科目名	教養基礎セミナー(憲法と人権)前半2講　飛田			**科目ID**	
担当教員	飛田　綾子[TOBITA AYAKO]				
開講時期	2024 年度後期	**対象年次**	1		
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:　水曜　2講

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

1-2)社会制度や仕組みについての基本を理解する。

1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る。

授業の目的、概要等

制定から 75 年以上経っても一度も改正されない日本国憲法について、みなさんはどのようにお考えでしょうか。

改正の必要性を考えるために、まずは憲法の中身、特に権利として何が保障されているのか考えてみませんか。

憲法とは法の元締めのような存在です。

したがって憲法に関する知識を学ぶことは、現代社会で生きる自分自身のためになります。

この授業では憲法が保障する「基本的人権」を説明します。

具体的には、死刑制度、生活保護に関連する生存権や、ジェンダーに関連する法の下の平等、報道の自由をめぐる表現の自由の問題を取り上げます。

適宜みんなで意見交換をしようと思います。

授業の到達目標

①日本国憲法が保障している権利の内容や裁判についての基本的知識を説明できる。

②権利に関する問題を考察し、積極的に討論できるようになる。

③脚注のつけ方をはじめとした論文の体裁を把握し、自らの考えをレポートで伝えることが出来る。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	9/18	10:45-12:25		飛田　綾子, 藤井　達夫
3-4	9/25	10:45-12:25		飛田　綾子, 藤井　達夫
5-6	10/2	10:45-12:25		飛田　綾子, 藤井　達夫
7-8	10/9	10:45-12:25		飛田　綾子, 藤井　達夫
9-10	10/16	10:45-12:25		飛田　綾子, 藤井　達夫
11-12	10/23	10:45-12:25		飛田　綾子, 藤井　達夫
13-14	10/30	10:45-12:25		飛田　綾子, 藤井　達夫
15-16	11/6	10:45-12:25		飛田　綾子, 藤井　達夫

授業方法

教員が作成したレジュメをもとに、講義形式で行います。アクティブ・ラーニングの形式を取り入れ、具体的問題をディスカッションする機会を適宜実施する予定です。

授業内容

第 1 回　ガイダンス・ 人身の自由(死刑制度について)ガイダンスののち、さっそく「死刑制度」について考えてみます。その上で憲法の思想的基盤である「立憲主義」について考えてみます。

第 2 回　経済的自由(憲法が想定している経済活動)規制緩和の是非について考えてみます。

第 3 回　　社会権(生活保護の基準の決定方法や、教育を受ける権利の内実)「健康で文化的な最低限度の生活」はどうあるべきか考えてみます。

第 4 回　　思想・良心の自由・信教の自由(内心の自由への保障の意味。国家による戦争犠牲者の追悼のあり方)信教の自由への制限のあり方)改めて「内心の自由」とはなんでしょうか。

第 5 回　　表現の自由(猥褻物や扇動的表現の規制の是非など)不快な表現を禁止することは当たり前でしょうか。一から考えてみま

しょう。
第 6 回　　幸福追求権(プライバシーの範囲、校則の必要性とは) 自分の過去がネットに残っている場合、削除は認められるのでしょうか。
第 7 回　　法の下の平等(民法の規定する夫婦同姓の規定や、同性婚が認められていない状況について)最高裁の判断も注目しながら、考えてみましょう。
第 8 回　　まとめ

成績評価の方法

評価 : 試験　　% ・ レポート　40　% ・ その他(授業への参加度・リアクションペーパー 、小テスト) 60 %
再評価:　有(再評価方法:レポート提出)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

予習・復習として、レジュメを読み直し、授業内容を確認すること。
特に復習に重点をおくこと。国内外をとわず、政治・社会問題も含めたあらゆるニュースに敏感になり、そうしたニュースと憲法や法律全般との関係を考える習慣を身につけて下さい。
それぞれの問題は、モデルとなる裁判があります。なぜ裁判になったのか想像しながら、日々のニュースを見直してみてください。

教科書

特に指定しません。

参考書

神野潔編著『教養としての憲法入門』(弘文堂、2016 年)。 松本和彦『事例問題から考える憲法』(有斐閣、2018 年)。

履修上の注意事項

履修上の注意事項　①出欠管理システムの記録より教員の出欠調査を優先します。　②原則として出席回数が3分の2以上を満たさないと、レポート提出資格を得られません。　③遅刻 3 回で欠席 1 回とカウントします。　④授業中の教員の発言は積極的にメモを取ってください。

備考

キーワード:憲法、正義、立憲主義、民主主義、基本的人権

時間割番号	004619				
科目名	教養基礎セミナー(憲法と政治)制度後半1講　飛田			**科目ID**	
担当教員	飛田　綾子[TOBITA AYAKO]				
開講時期	2024 年度後期	**対象年次**	1		
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:水曜　1講

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

1-2)社会制度や仕組みについての基本を理解する。

1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る。

授業の目的、概要等

近年憲法改正の必要が叫ばれています。

自衛隊の活動範囲の拡大の是非や、内閣の権限強化の必要性など、議論は多岐にわたっています。こうした中で、憲法改正の必要性を考えるためには、議論の高揚している背景を理解し、憲法に関する基礎知識が必要です。

憲法は人権保障と並んで国会、内閣、裁判所といった統治機構について規定しています。

こうした機関が持つ権限や相互関係のあり方は「国のあり方」の根本に関わります。

この授業では、天皇制や平和主義も含めて「政治のあり方」をめぐるさまざまなテーマを、みんなで考えていきたいと思います。

授業の到達目標

①日本国憲法に規定された国会、内閣、裁判所の各々の権限、役割分担や、日本国憲法の成立経緯や安全保障や国際貢献などの憲法 9 条をめぐる問題、地方自治や財政の規定について考察し、討論できる。

②現在議論されている憲法改正について、憲法学の基本的知識を踏まえた上で自ら考察できる。

③各国の政治制度と日本国憲法を比較し、共通点や相違点を把握できる。

④脚注のつけ方をはじめとした論文の体裁を把握し、自らの考えをレポートで伝えることが出来る。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	11/13	08:50-10:30		飛田　綾子, 藤井　達夫
3-4	11/20	08:50-10:30		飛田　綾子, 藤井　達夫
5-6	11/27	08:50-10:30		飛田　綾子, 藤井　達夫
7-8	12/4	08:50-10:30		飛田　綾子, 藤井　達夫
9-10	12/11	08:50-10:30		飛田　綾子, 藤井　達夫
11-12	12/18	08:50-10:30		飛田　綾子, 藤井　達夫
13-14	1/8	08:50-10:30		飛田　綾子, 藤井　達夫

授業方法

教員が作成したレジュメをもとに、講義形式で行います。アクティブ・ラーニングの形式を取り入れ、具体的問題をディスカッションする機会を適宜実施する予定です。

授業内容

第 1 回 ガイダンス・立憲主義・「代表」とは　ガイダンスののち、憲法の思想的基盤の立憲主義と「政治」の関係を説明します。その上で「代表」のあり方について考えてみましょう。

第 2 回 内閣(総理大臣の権限強化の是非)強力なリーダーシップを取るために、総理大臣の権限強化は望ましいのか。考えてみましょう。

第 3 回 裁判所(憲法裁判所の導入の是非)憲法判断を積極的に行わせるために、憲法裁判所を設立することについてどう考えますか。

第 4 回 地方自治(地方自治推進のための方策)　地方自治推進のための「道州制」の導入の是非などを考えてみましょう。

第 5 回 平和主義・安全保障(日本の安全保障・国際貢献のあり方)　現在の政府解釈を踏まえた上で、日本の「平和主義」「安全保障」のあり方を考えてみましょう。

第 6 回 天皇制(皇位継承や公務のあり方) 日本国及び日本国民統合の象徴である「天皇」という存在について改めて考えてみましょう。
第 7 回 憲法改正(各国の憲法改正・憲法の存在意義)

成績評価の方法

評価 : 試験 % ・ レポート 40 % ・ その他(授業への参加度・リアクションペーパー 、小テスト) 60 %
再評価: 有(再評価方法:レポート提出)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

予習・復習として、レジュメを読み直し、授業内容を確認すること。
特に復習に重点をおくこと。
国内外をとわず、政治・社会問題も含めたあらゆるニュースに敏感になり、そうしたニュースと憲法や法律全般との関係を考える習慣を身につけて下さい。
自分が望ましいと思う社会や政治のあり方について、考えを巡らしてください。

教科書

特に指定しません。

参考書

神野潔編著『教養としての憲法入門』(弘文堂、2016 年)。 松本和彦『事例問題から考える憲法』(有斐閣、2018 年)。笹田英司ほか『トピックからはじめる統治制度(第 2 版)』(有斐閣、2019 年)。参考書は適宜、紹介します。

履修上の注意事項

履修上の注意事項 ①出欠管理システムの記録より教員の出欠調査を優先します。 ②原則として出席回数が3分の2以上を満たさないと、レポート提出資格を得られません。 ③遅刻 3 回で欠席 1 回とカウントします。 ④授業中の教員の発言は積極的にメモを取ってください。

備考

キーワード:憲法、立憲主義、民主主義、基本的人権、秩序

時間割番号	004620				
科目名	教養基礎セミナー(憲法と政治)制度後半2講　飛田			**科目ID**	
担当教員	飛田　綾子[TOBITA AYAKO]				
開講時期	2024 年度後期	**対象年次**	1		
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:水曜　3講

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

1-2)社会制度や仕組みについての基本を理解する。

1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る。

授業の目的、概要等

近年憲法改正の必要が叫ばれています。

自衛隊の活動範囲の拡大の是非や、内閣の権限強化の必要性など、議論は多岐にわたっています。こうした中で、憲法改正の必要性を考えるためには、議論の高揚している背景を理解し、憲法に関する基礎知識が必要です。

憲法は人権保障と並んで国会、内閣、裁判所といった統治機構について規定しています。

こうした機関が持つ権限や相互関係のあり方は「国のあり方」の根本に関わります。

この授業では、天皇制や平和主義も含めて「政治のあり方」をめぐるさまざまなテーマを、みんなで考えていきたいと思います。

授業の到達目標

①日本国憲法に規定された国会、内閣、裁判所の各々の権限、役割分担や、日本国憲法の成立経緯や安全保障や国際貢献などの憲法 9 条をめぐる問題、地方自治や財政の規定について考察し、討論できる。

②現在議論されている憲法改正について、憲法学の基本的知識を踏まえた上で自ら考察できる。

③各国の政治制度と日本国憲法を比較し、共通点や相違点を把握できる。

④脚注のつけ方をはじめとした論文の体裁を把握し、自らの考えをレポートで伝えることが出来る。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	11/13	10:45-12:25		飛田　綾子, 藤井　達夫
3-4	11/20	10:45-12:25		飛田　綾子, 藤井　達夫
5-6	11/27	10:45-12:25		飛田　綾子, 藤井　達夫
7-8	12/4	10:45-12:25		飛田　綾子, 藤井　達夫
9-10	12/11	10:45-12:25		飛田　綾子, 藤井　達夫
11-12	12/18	10:45-12:25		飛田　綾子, 藤井　達夫
13-14	1/8	10:45-12:25		飛田　綾子, 藤井　達夫

授業方法

教員が作成したレジュメをもとに、講義形式で行います。アクティブ・ラーニングの形式を取り入れ、具体的問題をディスカッションする機会を適宜実施する予定です。

授業内容

第 1 回 ガイダンス・立憲主義・「代表」とは　ガイダンスののち、憲法の思想的基盤の立憲主義と「政治」の関係を説明します。その上で「代表」のあり方について考えてみましょう。

第 2 回 内閣(総理大臣の権限強化の是非)強力なリーダーシップを取るために、総理大臣の権限強化は望ましいのか。考えてみましょう。

第 3 回 裁判所(憲法裁判所の導入の是非)憲法判断を積極的に行わせるために、憲法裁判所を設立することについてどう考えますか。

第 4 回 地方自治(地方自治推進のための方策)　地方自治推進のための「道州制」の導入の是非などを考えてみましょう。

第 5 回 平和主義・安全保障(日本の安全保障・国際貢献のあり方)　現在の政府解釈を踏まえた上で、日本の「平和主義」「安全保障」のあり方を考えてみましょう。

第 6 回 天皇制(皇位継承や公務のあり方) 日本国及び日本国民統合の象徴である「天皇」という存在について改めて考えてみましょう。
第 7 回 憲法改正(各国の憲法改正・憲法の存在意義)

成績評価の方法

評価 : 試験 % ・ レポート 40 % ・ その他(授業への参加度・リアクションペーパー 、小テスト) 60 %
再評価: 有(再評価方法:レポート提出)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

予習・復習として、レジュメを読み直し、授業内容を確認すること。
特に復習に重点をおくこと。
国内外をとわず、政治・社会問題も含めたあらゆるニュースに敏感になり、そうしたニュースと憲法や法律全般との関係を考える習慣を身につけて下さい。
自分が望ましいと思う社会や政治のあり方について、考えを巡らしてください。

教科書

特に指定しません。

参考書

神野潔編著『教養としての憲法入門』(弘文堂、2016 年)。 松本和彦『事例問題から考える憲法』(有斐閣、2018 年)。笹田英司ほか『トピックからはじめる統治制度(第 2 版)』(有斐閣、2019 年)。参考書は適宜、紹介します。

履修上の注意事項

履修上の注意事項 ①出欠管理システムの記録より教員の出欠調査を優先します。 ②原則として出席回数が3分の2以上を満たさないと、レポート提出資格を得られません。 ③遅刻 3 回で欠席 1 回とカウントします。 ④授業中の教員の発言は積極的にメモを取ってください。

備考

キーワード:憲法、立憲主義、民主主義、基本的人権、秩序

時間割番号	004621				
科目名	教養基礎セミナー(子どもの権利:水と衛生)前半 1 講　三谷			**科目 ID**	
担当教員	三谷　純子[MITANI JUNKO]				
開講時期	2024 年度後期	**対象年次**	1		
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:　水曜　1 講

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

1-2)社会制度や仕組みについての基本を理解する 1-4)異なる空間の文化を理解する 1-9)市民としての倫理観を養う 2-4)自己問題提起・解決型の学習方法を身につける 3-4)外国文化を理解する

授業の目的、概要等

未来を担う子どもの主体性や尊厳を尊重し、彼らの参加を含む子どもの権利の促進を図りながら持続可能な開発を目指す際に、基盤となる子どもの権利条約や制度を先ず知る。

水と衛生に焦点を当て、文化を含め様々な状況により、一律的な唯一絶対に正しい即座の解決法がない課題について、複数の視点から分析し、自分なりに考える態度を養うことを目的とする。

授業の到達目標

目標1. 子どもの権利条約の概要、特に水と衛生に関する国際社会の子ども枠組み、SDG(持続 可能な開発目標)と子どもの権利の関係について説明できる。

目標2. 世界の子どもの水と衛生への権利の現状と解決への取り組みについて具体例をあげ、文化
と開発の複雑な関係を含め、複数の視点から説明できる。

目標3. 議論に積極的に参加し、質問・意見を自主的に表明できる。

目標4. 文献調査参照と発表の基礎的な技術を身に着ける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	9/18	08:50-10:30		三谷　純子, 藤井　達夫
3-4	9/25	08:50-10:30		三谷　純子, 藤井　達夫
5-6	10/2	08:50-10:30		三谷　純子, 藤井　達夫
7-8	10/9	08:50-10:30		三谷　純子, 藤井　達夫
9-10	10/16	08:50-10:30		三谷　純子, 藤井　達夫
11-12	10/23	08:50-10:30		三谷　純子, 藤井　達夫
13-14	10/30	08:50-10:30		三谷　純子, 藤井　達夫
15-16	11/6	08:50-10:30		三谷　純子, 藤井　達夫

授業方法

アクティブ・ラーニングの形式を取り入れ、グループディスカッションや発表(1回)などを行う。受講人数により内容を調整することがある。

授業内容

第1回 イントロダクション:子どもの権利条約と国連子どもの権利委員会・政府・UNICEF・保護者や子ども、市民社会等 の役割 ニーズベースから権利ベースへ

第2回 ユニセフのしくみ:国別プログラムサイクルアプローチ、資金の流れとパートナー(特に水と衛生関連)

第3回 SDGs&世界の水と衛生の現状及び開発のための広報基礎知識

第4回 貧しい国々の保健医療施設での水と衛生(特に手洗い)

第5回 家庭やコミュニティにおける水と衛生(野外排泄とトイレ、排泄物処理を巡る差別やタブー)

第6回 学校での水と衛生(特に生理・LGBTQ+・障碍者)

第7回 UNICEF と水と衛生に関する技術革新、政策と法整備

第8回 まとめ 水と衛生への子どもの権利促進と多様な参加・自分や若者にできること

成績評価の方法

評価 : 試験 基礎資料持ち込み可 30% ・ その他(発表30%・ニュースモニタリング 10%・ディスカッション&フィードバックシート等 30%)
再評価: 有(再評価方法) 再試験

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

全員に授業での討論等のための短いビデオ視聴・簡単な宿題を課すことがあります。
毎回、移民・難民・無国籍者の個人の経験を書いた本や漫画・映画・TED・ニュース等を紹介しあう。発表担当者の調査・資料作成準備期間は1週間。

教科書

UNICEF, WHO、JMP,UN, Water Aid 等による最新の英文報告書及び論文等の内容を教員が日本語でまとめた物を主に使う。
英語報告書はウェブクラスで共有。

参考書

日本語(本部の英語の HP の方が情報は各段に多い)
●日本ユニセフ協会 https://www.unicef.or.jp/
●Wateraid 日本 https://www.wateraid.org/jp
●「ARC 平野裕二の子どもの権利国際情報サイト」https://w.atwiki.jp/childrights/
●『スフィアハンドブック 2018 人道憲章と人道支援における最低基準』の給水衛生及び衛生促進の部分 https://jqan.info/wpJQ/wp content/uploads/2020/04/spherehandbook2018_jpn_web_April2020.pdf
●UNESCO 国際セクシャリティ教育ガイダンス日本語訳 https://sexology.life/world/itgse/ ＊読みやすい一般向けの日本語の本 ●田島隆雄『情熱のアフリカ大陸サラヤ 消毒剤普及プジェクトの全記録』幻冬舎 2020 年●佐藤大介『13 億人のトイレ:下からみた経済大国インド』角川新書 2020
●田中ひかる『生理用品の社会史』角川ソフィア文庫 2019 年 杉田映理他編『月経の人類学 女子生徒の生理と開発支援』世界思想社 2022年

履修上の注意事項

欠席者には、その回の加点なし。 3分の1以上の欠席者はテストの受験資格を失う。 世界地理をよく知らない人は、国名付の世界地図を要常備。 受講者の人数や受講者の関心により、内容を多少変更することがある。 UNEP,UNDP,WB 等が対処する工業廃水や大規模上下水道インフラ整備等は扱わない。 安価で持続使用が可能な技術を用い、子どもや人々の意識や行動、社会規範を変えていくための開発のための広報(C4D)や、パートーナーシップ、法、制度、政策等を扱う。

備考

キーワード:UNICEF, 水と衛生、健康、ジェンダー、法や制度、技術、文化と社会開発

時間割番号	004622				
科目名	教養基礎セミナー(子どもの権利:水と衛生)前半 2 講　三谷			**科目 ID**	
担当教員	三谷　純子[MITANI JUNKO]				
開講時期	2024 年度後期	**対象年次**	1		
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:　水曜　2 講

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

1-2)社会制度や仕組みについての基本を理解する 1-4)異なる空間の文化を理解する 1-9)市民としての倫理観を養う 2-4)自己問題提起・解決型の学習方法を身につける 3-4)外国文化を理解する

授業の目的、概要等

未来を担う子どもの主体性や尊厳を尊重し、彼らの参加を含む子どもの権利の促進を図りながら持続可能な開発を目指す際に、基盤となる子どもの権利条約や制度を先ず知る。

水と衛生に焦点を当て、文化を含め様々な状況により、一律的な唯一絶対に正しい即座の解決法がない課題について、複数の視点から分析し、自分なりに考える態度を養うことを目的とする。

授業の到達目標

目標1. 子どもの権利条約の概要、特に水と衛生に関する国際社会の子ども枠組み、SDG(持続 可能な開発目標)と子どもの権利の関係について説明できる。

目標2. 世界の子どもの水と衛生への権利の現状と解決への取り組みについて具体例をあげ、文化
と開発の複雑な関係を含め、複数の視点から説明できる。

目標3. 議論に積極的に参加し、質問・意見を自主的に表明できる。

目標4. 文献調査参照と発表の基礎的な技術を身に着ける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	9/18	10:45-12:25		三谷　純子, 藤井　達夫
3-4	9/25	10:45-12:25		三谷　純子, 藤井　達夫
5-6	10/2	10:45-12:25		三谷　純子, 藤井　達夫
7-8	10/9	10:45-12:25		三谷　純子, 藤井　達夫
9-10	10/16	10:45-12:25		三谷　純子, 藤井　達夫
11-12	10/23	10:45-12:25		三谷　純子, 藤井　達夫
13-14	10/30	10:45-12:25		三谷　純子, 藤井　達夫
15-16	11/6	10:45-12:25		三谷　純子, 藤井　達夫

授業方法

アクティブ・ラーニングの形式を取り入れ、グループディスカッションや発表(1回)などを行う。受講人数により内容を調整することがある。

授業内容

第1回 イントロダクション:子どもの権利条約と国連子どもの権利委員会・政府・UNICEF・保護者や子ども、市民社会等 の役割 ニーズベースから権利ベースへ

第2回 ユニセフのしくみ:国別プログラムサイクルアプローチ、資金の流れとパートナー(特に水と衛生関連)

第3回 SDGs&世界の水と衛生の現状及び開発のための広報基礎知識

第4回 貧しい国々の保健医療施設での水と衛生(特に手洗い)

第5回 家庭やコミュニティにおける水と衛生(野外排泄とトイレ、排泄物処理を巡る差別やタブー)

第6回 学校での水と衛生(特に生理・LGBTQ+・障碍者)

第7回 UNICEF と水と衛生に関する技術革新、政策と法整備

第8回 まとめ 水と衛生への子どもの権利促進と多様な参加・自分や若者にできること

成績評価の方法

評価 : 試験 基礎資料持ち込み可 30% ・ その他(発表30%・ニュースモニタリング 10%・ディスカッション&フィードバックシート等 30%)
再評価: 有(再評価方法) 再試験

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

全員に授業での討論等のための短いビデオ視聴・簡単な宿題を課すことがあります。
毎回、移民・難民・無国籍者の個人の経験を書いた本や漫画・映画・TED・ニュース等を紹介しあう。発表担当者の調査・資料作成準備期間は1週間。

教科書

UNICEF, WHO、JMP,UN, Water Aid 等による最新の英文報告書及び論文等の内容を教員が日本語でまとめた物を主に使う。
英語報告書はウェブクラスで共有。

参考書

日本語(本部の英語の HP の方が情報は各段に多い)
●日本ユニセフ協会 https://www.unicef.or.jp/
●Wateraid 日本 https://www.wateraid.org/jp
●「ARC 平野裕二の子どもの権利国際情報サイト」https://w.atwiki.jp/childrights/
●『スフィアハンドブック 2018 人道憲章と人道支援における最低基準』の給水衛生及び衛生促進の部分 https://jqan.info/wpJQ/wp content/uploads/2020/04/spherehandbook2018_jpn_web_April2020.pdf
●UNESCO 国際セクシャリティ教育ガイダンス日本語訳 https://sexology.life/world/itgse/ ＊読みやすい一般向けの日本語の本 ●田島隆雄『情熱のアフリカ大陸サラヤ 消毒剤普及プジェクトの全記録』 幻冬舎 2020 年●佐藤大介『13 億人のトイレ:下からみた経済大国インド』角川新書 2020
●田中ひかる『生理用品の社会史』角川ソフィア文庫 2019 年 杉田映理他編『月経の人類学 女子生徒の生理と開発支援』世界思想社 2022年

履修上の注意事項

欠席者には、その回の加点なし。 3分の1以上の欠席者はテストの受験資格を失う。 世界地理をよく知らない人は、国名付の世界地図を要常備。 受講者の人数や受講者の関心により、内容を多少変更することがある。 UNEP,UNDP,WB 等が対処する工業廃水や大規模上下水道インフラ整備等は扱わない。 安価で持続使用が可能な技術を用い、子どもや人々の意識や行動、社会規範を変えていくための開発のための広報(C4D)や、パートーナーシップ、法、制度、政策等を扱う。

備考

キーワード:UNICEF, 水と衛生、健康、ジェンダー、法や制度、技術、文化と社会開発

時間割番号	004623				
科目名	教養基礎セミナー(子どもの権利:暴力からの子どもの保護)後半 1講 三谷			科目ID	
担当教員	三谷 純子[MITANI JUNKO]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1		
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間: 水曜 1 講

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

1-2)社会制度や仕組みについての基本を理解する 1-4)異なる空間の文化を理解する 1-9)市民としての倫理観を養う 2-4)自己問題提起・解決型の学習方法を身につける 3-4)外国文化を理解する

授業の目的、概要等

未来を担う子どもの主体性や尊厳を尊重し、彼らの参加を含む子どもの権利の促進を図りながら持続可能な開発を目指す際に、基盤となる子どもの権利条約や制度を先ず知る。

UNICEF が支援する感染症対策に焦点を当て、文化を含め様々な状況により、一律的な唯一絶対に正しい即座の解決法がない課題について、複数の視点から分析し、自分なりに考える態度を養うことを目的とする。

授業の到達目標

目標1. 子どもの権利条約の概要、特に感染症に関連する子どもの生きる権利を促進するための国際社会の枠組み、SDG(持続可能な開発目標)について説明できる。

目標2. 子どもへの感染症対策の現状と解決への取り組みについて具体例をあげ、文化と開発の複雑な関係を含め、複数の視点から説明できる。

目標3. 議論に積極的に参加し、質問・意見を自主的に表明できる。

目標4. 文献調査参照と発表の基礎的な技術を身に着ける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	11/13	08:50-10:30		三谷 純子, 藤井 達夫
3-4	11/20	08:50-10:30		三谷 純子, 藤井 達夫
5-6	11/27	08:50-10:30		三谷 純子, 藤井 達夫
7-8	12/4	08:50-10:30		三谷 純子, 藤井 達夫
9-10	12/11	08:50-10:30		三谷 純子, 藤井 達夫
11-12	12/18	08:50-10:30		三谷 純子, 藤井 達夫
13-14	1/8	08:50-10:30		三谷 純子, 藤井 達夫

授業方法

アクティブ・ラーニングの形式を取り入れ、グループディスカッションや発表(1回)などを行う。受講人数により内容を調整することがある。

授業内容

第1回 イントロダクション:子どもの権利条約の仕組みと子どもの感染症の関係

第2回 ユニセフのしくみ:国別プログラムサイクルアプローチ、資金の流れとパートナー(特に予防接種関連)

第3回 SDGs&世界の子どもの予防接種の現状及び開発のための広報基礎知識

第4回 UNICEF が支援するポリオ対策

第5回 西アフリカの「エボラ出血熱」対策

第6回 Covid-19 またはマラリアと子ども

第7回 まとめ

成績評価の方法

評価:試験(基礎資料持ち込み可)30% その他(発表と発表資料改善30%・ニュースモニタリング 10%・ディスカッション&フィードバックシート等そのほかの提出物:30%)

再評価:有 再評価方法:再試験

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

全員に授業での討論等のための短いビデオ視聴・簡単な宿題を課すことがあります。

毎週、指定したテーマの本や漫画・映画・TED、ニュース等を紹介しあう。

表担当者の調査・資料作成準備期間は1週間。

教科書

UNICEF, WHO CDC, GAVI, Covax, Communication Initiative、MSF 等による報告書及び論文等をウェッブクラスで共有する。

参考書

日本語(本部の英語の HP の方が情報は各段に多い)

●日本ユニセフ協会 https://www.unicef.or.jp/

●日本 WHO 協会 https://japan-who.or.jp/

●国立感染症研究所 https://www.niid.go.jp/niid/ja/from-idsc.html

●ロータリーENDPOLIO 日本語ページ https://www.endpolio.org/ja 読みやすい本:石弘之『感染症の世界史』角川ソフィア文庫 2018

●ホッテズ、ピーターJ『顧みられない熱帯病:グローバルヘルスへの挑戦』東京大学出版会 2015

●ピオット、ピーター『ノータイムトゥルーズ』慶応義塾大学出版会 2015

履修上の注意事項

欠席者には、その回の加点無し。 3分の1以上の欠席者はテストの受験資格を失う。 世界地理をよく知らない人は、国名付の世界地図を要常備。 受講者の人数や受講者の関心により、内容を多少変更することがある。 ワクチン開発や医療の技術面の詳細ではなく、UNICEF が支援する国々での多様な団体や人々の連携や参加促進による感染症対策を扱う。

備考

キーワード:UNICEF, 子ども、予防接種、開発のための広報(C4D), 文化と社会開発

時間割番号	004624				
科目名	教養基礎セミナー(子どもの権利:暴力からの子どもの保護)後半 2講 三谷			科目ID	
担当教員	三谷 純子[MITANI JUNKO]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1		
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間: 水曜 2講

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

1-2)社会制度や仕組みについての基本を理解する 1-4)異なる空間の文化を理解する 1-9)市民としての倫理観を養う 2-4)自己問題提起・解決型の学習方法を身につける 3-4)外国文化を理解する

授業の目的、概要等

未来を担う子どもの主体性や尊厳を尊重し、彼らの参加を含む子どもの権利の促進を図りながら持続可能な開発を目指す際に、基盤となる子どもの権利条約や制度を先ず知る。

UNICEF が支援する感染症対策に焦点を当て、文化を含め様々な状況により、一律的な唯一絶対に正しい即座の解決法がない課題について、複数の視点から分析し、自分なりに考える態度を養うことを目的とする。

授業の到達目標

目標1. 子どもの権利条約の概要、特に感染症に関連する子どもの生きる権利を促進するための国際社会の枠組み、SDG(持続可能な開発目標)について説明できる。

目標2. 子どもへの感染症対策の現状と解決への取り組みについて具体例をあげ、文化と開発の複雑な関係を含め、複数の視点から説明できる。

目標3. 議論に積極的に参加し、質問・意見を自主的に表明できる。

目標4. 文献調査参照と発表の基礎的な技術を身に着ける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	11/13	10:45-12:25		三谷 純子, 藤井 達夫
3-4	11/20	10:45-12:25		三谷 純子, 藤井 達夫
5-6	11/27	10:45-12:25		三谷 純子, 藤井 達夫
7-8	12/4	10:45-12:25		三谷 純子, 藤井 達夫
9-10	12/11	10:45-12:25		三谷 純子, 藤井 達夫
11-12	12/18	10:45-12:25		三谷 純子, 藤井 達夫
13-14	1/8	10:45-12:25		三谷 純子, 藤井 達夫

授業方法

アクティブ・ラーニングの形式を取り入れ、グループディスカッションや発表(1回)などを行う。受講人数により内容を調整することがある。

授業内容

第1回 イントロダクション:子どもの権利条約の仕組みと子どもの感染症の関係

第2回 ユニセフのしくみ:国別プログラムサイクルアプローチ、資金の流れとパートナー(特に予防接種関連)

第3回 SDGs&世界の子どもの予防接種の現状及び開発のための広報基礎知識

第4回 UNICEF が支援するポリオ対策

第5回 西アフリカの「エボラ出血熱」対策

第6回 Covid-19 またはマラリアと子ども

第7回 まとめ

成績評価の方法

評価:試験(基礎資料持ち込み可)30%　その他(発表と発表資料改善30%・ニュースモニタリング　10%・ディスカッション&フィードバックシート等そのほかの提出物:30%　)

再評価:有　　再評価方法:再試験

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

全員に授業での討論等のための短いビデオ視聴・簡単な宿題を課すことがあります。

毎週、指定したテーマの本や漫画・映画・TED、ニュース等を紹介しあう。

表担当者の調査・資料作成準備期間は1週間。

教科書

UNICEF, WHO　CDC, GAVI, Covax, Communication Initiative、MSF 等による報告書及び論文等をウェッブクラスで共有する。

参考書

日本語(本部の英語の　HP　の方が情報は各段に多い)

●日本ユニセフ協会 https://www.unicef.or.jp/

●日本 WHO 協会 https://japan-who.or.jp/

●国立感染症研究所 https://www.niid.go.jp/niid/ja/from-idsc.html

●ロータリーENDPOLIO　日本語ページ　https://www.endpolio.org/ja　読みやすい本:石弘之『感染症の世界史』角川ソフィア文庫　2018

●ホッテズ、ピーターJ『顧みられない熱帯病:グローバルヘルスへの挑戦』東京大学出版会　2015

●ピオット、ピーター『ノータイムトゥルーズ』慶応義塾大学出版会　2015

履修上の注意事項

欠席者には、その回の加点無し。　3分の1以上の欠席者はテストの受験資格を失う。　世界地理をよく知らない人は、国名付の世界地図を要常備。　受講者の人数や受講者の関心により、内容を多少変更することがある。　ワクチン開発や医療の技術面の詳細ではなく、UNICEF が支援する国々での多様な団体や人々の連携や参加促進による感染症対策を扱う。

備考

キーワード:UNICEF,　子ども、予防接種、開発のための広報(C4D),　文化と社会開発

時間割番号	004625			
科目名	教養基礎セミナー(異文化との出会い)前半 1 講 權		科目 ID	
担当教員	權 大聖[KWON Daesung]			
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

曜日・時間:水曜 1 講

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

(3-4),(3-5),(3-6)

授業の目的、概要等

This course is designed to help students enhance their abilities to participate in intellectual and academic discussions as active members of academic communities. This seminar course introduces students to key liberal arts skills such as critical and analytical thinking, writing & speaking skills, research and information retrieval, and cross-cultural knowledge. Students will be required to read selected reading materials and watch films about culture and minority issues, including identity, racism, religion, gender and minorities' rights. In doing so, students will have a great opportunity to interact with each other and their course instructor while discussing and learning about engaging and challenging topics.

授業の到達目標

1. To develop critical and analytical skills.
2. To experience active and cooperative learning.
3. To expand cross-cultural sensitivity and acquire cross-cultural knowledge.
4. To improve oral communication, reading, and academic writing skills in English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	9/18	08:50-10:30		權 大聖, 藤井 達夫
3-4	9/25	08:50-10:30		權 大聖, 藤井 達夫
5-6	10/2	08:50-10:30		權 大聖, 藤井 達夫
7-8	10/9	08:50-10:30		權 大聖, 藤井 達夫
9-10	10/16	08:50-10:30		權 大聖, 藤井 達夫
11-12	10/23	08:50-10:30		權 大聖, 藤井 達夫
13-14	10/30	08:50-10:30		權 大聖, 藤井 達夫
15-16	11/6	08:50-10:30		權 大聖, 藤井 達夫

授業方法

1. This course is conducted entirely in English.
2. Students will make academic presentations based on a specific seminar topic.
3. Students are expected to participate actively in interactive in-class discussions (Active Learning).

授業内容

1. Introduction/Orientation: What is Intercultural Encounters?
2. Questioning Identity: Race, Ethnicity, and National Identity
3. Gender and Sexuality
4. Disability, Minority, and Difference
5. Religion and Politics
6. Foreign Migrants and Immigrants
7. Minority Rights and Politics
8. Summary/Reflection: Toward an Inclusive Society

成績評価の方法

評価 ： Class Participation 30 % ・ Written Assignments and Term Paper 40 % ・ Presentation 30%
再評価： 有(レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Students are expected to read assigned reading materials before they attend a class every week such as a chapter in a book, or a few pages in a chapter, or other reading materials (newspaper articles etc.) they are given by email.

試験の受験資格

In principle, 100% attendance is expected. One-third of the total number of class sessions will result in a failing grade. Only urgent medical care and family urgencies are accepted as legitimate excused absences.

教科書

The primary text: There is no required textbook for this course. Course materials will be distributed in class.

参考書

The secondary sources for reading:

1. Hong, C. P. (2021). Minor feelings: an Asian American reckoning. One World.
2. Sen, A. (2007). Identity and violence: The illusion of destiny. Penguin Books.
3. Steele, C. M. (2011). Whistling Vivaldi: How stereotypes affect us and what we can do. WW Norton & Company.

履修上の注意事項

This course is conducted in English. In principle students are required to have sufficient English language ability to complete this course. However, regardless of their English proficiency, all students are welcome and encouraged to take this course as long as they have a keen interest in the topics in this course, and they are highly motivated to participate in class activities.

時間割番号	004626				
科目名	教養基礎セミナー(異文化との出会い)前半 2 講 權			科目 ID	
担当教員	權 大聖[KWON Daesung]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1		
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:水曜 2 講

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

(3-4),(3-5),(3-6)

授業の目的、概要等

This course is designed to help students enhance their abilities to participate in intellectual and academic discussions as active members of academic communities. This seminar course introduces students to key liberal arts skills such as critical and analytical thinking, writing & speaking skills, research and information retrieval, and cross-cultural knowledge. Students will be required to read selected reading materials and watch films about culture and minority issues, including identity, racism, religion, gender and minorities' rights. In doing so, students will have a great opportunity to interact with each other and their course instructor while discussing and learning about engaging and challenging topics.

授業の到達目標

1. To develop critical and analytical skills.
2. To experience active and cooperative learning.
3. To expand cross-cultural sensitivity and acquire cross-cultural knowledge.
4. To improve oral communication, reading, and academic writing skills in English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	9/18	10:45-12:25		權 大聖, 藤井 達夫
3-4	9/25	10:45-12:25		權 大聖, 藤井 達夫
5-6	10/2	10:45-12:25		權 大聖, 藤井 達夫
7-8	10/9	10:45-12:25		權 大聖, 藤井 達夫
9-10	10/16	10:45-12:25		權 大聖, 藤井 達夫
11-12	10/23	10:45-12:25		權 大聖, 藤井 達夫
13-14	10/30	10:45-12:25		權 大聖, 藤井 達夫
15-16	11/6	10:45-12:25		權 大聖, 藤井 達夫

授業方法

1. This course is conducted entirely in English.
2. Students will make academic presentations based on a specific seminar topic.
3. Students are expected to participate actively in interactive in-class discussions (Active Learning).

授業内容

1. Introduction/Orientation: What is Intercultural Encounters?
2. Questioning Identity: Race, Ethnicity, and National Identity
3. Gender and Sexuality
4. Disability, Minority, and Difference
5. Religion and Politics
6. Foreign Migrants and Immigrants
7. Minority Rights and Politics
8. Summary/Reflection: Toward an Inclusive Society

成績評価の方法

評価 ： Class Participation 30 % ・ Written Assignments and Term Paper 40 % ・ Presentation 30%
再評価： 有(レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Students are expected to read assigned reading materials before they attend a class every week such as a chapter in a book, or a few pages in a chapter, or other reading materials (newspaper articles etc.) they are given by email.

試験の受験資格

In principle, 100% attendance is expected. One-third of the total number of class sessions will result in a failing grade. Only urgent medical care and family urgencies are accepted as legitimate excused absences.

教科書

The primary text: There is no required textbook for this course. Course materials will be distributed in class.

参考書

The secondary sources for reading:

1. Hong, C. P. (2021). Minor feelings: an Asian American reckoning. One World.
2. Sen, A. (2007). Identity and violence: The illusion of destiny. Penguin Books.
3. Steele, C. M. (2011). Whistling Vivaldi: How stereotypes affect us and what we can do. WW Norton & Company.

履修上の注意事項

This course is conducted in English. In principle students are required to have sufficient English language ability to complete this course. However, regardless of their English proficiency, all students are welcome and encouraged to take this course as long as they have a keen interest in the topics in this course, and they are highly motivated to participate in class activities.

時間割番号	004627				
科目名	教養基礎セミナー(移民、ダイバーシティ、社会的結束) 後半 1 講 権			科目ID	
担当教員	權　大聖[KWON Daesung]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1		
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:水曜 1 講

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

(3-1),(3-2),(3-3)

授業の目的、概要等

This course is designed to help students enhance their abilities to participate in intellectual and academic discussions as active members of academic communities. This seminar course introduces students to key liberal arts skills such as critical and analytical thinking, writing & speaking skills, research and information retrieval, and cross-cultural knowledge. Students will be required to read selected reading materials and watch films about international migration issues, including refugee & asylum seekers, immigrant integration, xenophobia, multiculturalism, and immigration & aging society. In doing so, students will have a great opportunity to interact with each other and their course instructor while discussing and learning about engaging and challenging topics.

授業の到達目標

1. To develop critical and analytical skills.
2. To experience active and cooperative learning.
3. To expand cross-cultural sensitivity and acquire cross-cultural knowledge.
4. To improve oral communication, reading, and academic writing skills in English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	11/13	08:50-10:30		權 大聖, 藤井 達夫
3-4	11/20	08:50-10:30		權 大聖, 藤井 達夫
5-6	11/27	08:50-10:30		權 大聖, 藤井 達夫
7-8	12/4	08:50-10:30		權 大聖, 藤井 達夫
9-10	12/11	08:50-10:30		權 大聖, 藤井 達夫
11-12	12/18	08:50-10:30		權 大聖, 藤井 達夫
13-14	1/8	08:50-10:30		權 大聖, 藤井 達夫

授業方法

1. This course is conducted entirely in English.
2. Students will make academic presentations based on a specific seminar topic.
3. Students are expected to participate actively in interactive in-class discussions (Active Learning).

授業内容

1. Introduction/Orientation: International Migration and Ethnocultural Diversity
2. Racism, Xenophobia and Hate Speech
3. Mixed Race, Hybridity, and National Identity in Japan
4. Global Refugee Issues
5. Managing Diversity, Multiculturalism, and Integration: North America, Europe, Asia and Japan
6. Aging Societies and Immigration
7. Summary/ Reflection: Embracing Diversity and Living with Differences

成績評価の方法

評価 : Class Participation 30 % ・ Written Assignments and Term Paper 40 % ・ Presentation 30%

再評価: 有(レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Students are expected to read assigned reading materials before they attend a class every week such as a chapter in a book, or a few pages in a chapter, or other reading materials (newspaper articles etc.) they are given by email.

試験の受験資格

In principle, 100% attendance is expected. One-third of the total number of class sessions will result in a failing grade. Only urgent medical care and family urgencies are accepted as legitimate excused absences.

教科書

The primary text: There is no required textbook for this course. Course materials will be distributed in class.

参考書

The secondary sources for reading:

1. Shah, S. (2020). The next great migration: The beauty and terror of life on the move. Bloomsbury Publishing.
2. Steele, C. M. (2011). Whistling Vivaldi: How stereotypes affect us and what we can do. WW Norton & Company.

履修上の注意事項

This course is conducted in English. In principle students are required to have sufficient English language ability to complete this course. However, regardless of their English proficiency, all students are welcome and encouraged to take this course as long as they have a keen interest in the topics in this course, and they are highly motivated to participate in class activities.

時間割番号	004628			
科目名	教養基礎セミナー(移民、ダイバーシティ、社会的結束) 後半 2 講 權		科目ID	
担当教員	權　大聖[KWON Daesung]			
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

曜日・時間:水曜 2 講

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

(3-1),(3-2),(3-3)

授業の目的、概要等

This course is designed to help students enhance their abilities to participate in intellectual and academic discussions as active members of academic communities. This seminar course introduces students to key liberal arts skills such as critical and analytical thinking, writing & speaking skills, research and information retrieval, and cross-cultural knowledge. Students will be required to read selected reading materials and watch films about international migration issues, including refugee & asylum seekers, immigrant integration, xenophobia, multiculturalism, and immigration & aging society. In doing so, students will have a great opportunity to interact with each other and their course instructor while discussing and learning about engaging and challenging topics.

授業の到達目標

1. To develop critical and analytical skills.
2. To experience active and cooperative learning.
3. To expand cross-cultural sensitivity and acquire cross-cultural knowledge.
4. To improve oral communication, reading, and academic writing skills in English.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	11/13	10:45-12:25		權 大聖, 藤井 達夫
3-4	11/20	10:45-12:25		權 大聖, 藤井 達夫
5-6	11/27	10:45-12:25		權 大聖, 藤井 達夫
7-8	12/4	10:45-12:25		權 大聖, 藤井 達夫
9-10	12/11	10:45-12:25		權 大聖, 藤井 達夫
11-12	12/18	10:45-12:25		權 大聖, 藤井 達夫
13-14	1/8	10:45-12:25		權 大聖, 藤井 達夫

授業方法

1. This course is conducted entirely in English.
2. Students will make academic presentations based on a specific seminar topic.
3. Students are expected to participate actively in interactive in-class discussions (Active Learning).

授業内容

1. Introduction/Orientation: International Migration and Ethnocultural Diversity
2. Racism, Xenophobia and Hate Speech
3. Mixed Race, Hybridity, and National Identity in Japan
4. Global Refugee Issues
5. Managing Diversity, Multiculturalism, and Integration: North America, Europe, Asia and Japan
6. Aging Societies and Immigration
7. Summary/ Reflection: Embracing Diversity and Living with Differences

成績評価の方法

評価 : Class Participation 30 % ・ Written Assignments and Term Paper 40 % ・ Presentation 30%

再評価: 有(レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

Students are expected to read assigned reading materials before they attend a class every week such as a chapter in a book, or a few pages in a chapter, or other reading materials (newspaper articles etc.) they are given by email.

試験の受験資格

In principle, 100% attendance is expected. One-third of the total number of class sessions will result in a failing grade. Only urgent medical care and family urgencies are accepted as legitimate excused absences.

教科書

The primary text: There is no required textbook for this course. Course materials will be distributed in class.

参考書

The secondary sources for reading:

1. Shah, S. (2020). The next great migration: The beauty and terror of life on the move. Bloomsbury Publishing.
2. Steele, C. M. (2011). Whistling Vivaldi: How stereotypes affect us and what we can do. WW Norton & Company.

履修上の注意事項

This course is conducted in English. In principle students are required to have sufficient English language ability to complete this course. However, regardless of their English proficiency, all students are welcome and encouraged to take this course as long as they have a keen interest in the topics in this course, and they are highly motivated to participate in class activities.

時間割番号	004629				
科目名	教養基礎セミナー(近代の社会学)前半 1 講 大倉			**科目 ID**	
担当教員	大倉 韻[OOKURA Hibiki]				
開講時期	2024 年度後期	**対象年次**	1		
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:水曜 1 講

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

1-2)社会制度や仕組みについての基本を理解する

2-3)言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法論を知る

授業の目的、概要等

授業の目的は以下の三点。

第一に、大学における学習のあり方を理解し基本的な学習能力を身につけてもらうこと。

第二に、現代社会をとりまく諸現象ならびに諸問題を理解しその解決策を模索するために、社会学的なものの見方・考え方を身に着けてもらうこと。

第三に、それら学習の成果を活用して、学期末レポートの執筆、並びにプレゼンテーションを実施してもらうことである。

授業の到達目標

〇情報収集力:必要な情報を自分自身で判断した上で収集できるようになること。

〇情報発信力:客観的で理解しやすい文章を書くことができ、説得力のあるプレゼンテーションをできるようになること。

〇ディベート力:他者の意見を正しく理解した上で、自分の意見を適切に述べることができるようになること。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	9/18	08:50-10:30		大倉 韻 藤井 達夫
3-4	9/25	08:50-10:30		大倉 韻 藤井 達夫
5-6	10/2	08:50-10:30		大倉 韻 藤井 達夫
7-8	10/9	08:50-10:30		大倉 韻 藤井 達夫
9-10	10/16	08:50-10:30		大倉 韻 藤井 達夫
11-12	10/23	08:50-10:30		大倉 韻 藤井 達夫
13-14	10/30	08:50-10:30		大倉 韻 藤井 達夫
15-16	11/6	08:50-10:30		大倉 韻 藤井 達夫

授業方法

授業は講義と演習を組み合わせておこなう。

レポートの書き方やプレゼンテーションのしかたについて、毎回の授業で課題に取り組んでもらう。

授業内容

第 1 回:ガイダンス、大学生活について

第 2 回:大学での学びについて

第 3 回:本の読み方、情報収集のしかた

第 4 回:レポートの書き方

第 5 回:プレゼンテーションの方法

第 6 回:論点をめぐる検討、ならびにディスカッション

第 7 回:プレゼンテーション

第 8 回:ふりかえりとレポート作成に関する質疑応答

成績評価の方法

生徒の積極的な授業参加を高く評価する。そのため、成績評価は次のようにおこなう。

評価:レポート 40%、プレゼンテーション 20%、授業参加 40%

再評価:有(レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

事前学習は特に必要ないが、復習をしっかりおこない疑問点があれば質問すること。

また各回の課題は次回以降の授業内容に関わってくるため、確実にこなすことが求められる。

教科書

井下千以子『思考を鍛えるレポート・論文作成法（第 3 版）』慶應義塾大学出版会、2019 年。

参考書

授業内で適宜紹介する。

履修上の注意事項

原則的に授業回数の 3 分の 2 以上の出席を学期末レポートの提出要件とする。

時間割番号	004630				
科目名	教養基礎セミナー(近代の社会学)前半 2 講　大倉			**科目 ID**	
担当教員	大倉　韻[OOKURA Hibiki]				
開講時期	2024 年度後期	**対象年次**	1		
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:水曜 2 講

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

1-2)社会制度や仕組みについての基本を理解する

2-3)言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法論を知る

授業の目的、概要等

授業の目的は以下の三点。

第一に、大学における学習のあり方を理解し基本的な学習能力を身につけてもらうこと。

第二に、現代社会をとりまく諸現象ならびに諸問題を理解しその解決策を模索するために、社会学的なものの見方・考え方を身に着けてもらうこと。

第三に、それら学習の成果を活用して、学期末レポートの執筆、並びにプレゼンテーションを実施してもらうことである。

授業の到達目標

〇情報収集力:必要な情報を自分自身で判断した上で収集できるようになること。

〇情報発信力:客観的で理解しやすい文章を書くことができ、説得力のあるプレゼンテーションをできるようになること。

〇ディベート力:他者の意見を正しく理解した上で、自分の意見を適切に述べることができるようになること。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	9/18	10:45-12:25		大倉 韻 藤井 達夫
3-4	9/25	10:45-12:25		大倉 韻 藤井 達夫
5-6	10/2	10:45-12:25		大倉 韻 藤井 達夫
7-8	10/9	10:45-12:25		大倉 韻 藤井 達夫
9-10	10/16	10:45-12:25		大倉 韻 藤井 達夫
11-12	10/23	10:45-12:25		大倉 韻 藤井 達夫
13-14	10/30	10:45-12:25		大倉 韻 藤井 達夫
15-16	11/6	10:45-12:25		大倉 韻 藤井 達夫

授業方法

授業は講義と演習を組み合わせておこなう。

レポートの書き方やプレゼンテーションのしかたについて、毎回の授業で課題に取り組んでもらう。

授業内容

第 1 回:ガイダンス、大学生活について

第 2 回:大学での学びについて

第 3 回:本の読み方、情報収集のしかた

第 4 回:レポートの書き方

第 5 回:プレゼンテーションの方法

第 6 回:論点をめぐる検討、ならびにディスカッション

第 7 回:プレゼンテーション

第 8 回:ふりかえりとレポート作成に関する質疑応答

成績評価の方法

生徒の積極的な授業参加を高く評価する。そのため、成績評価は次のようにおこなう。

評価:レポート 40%、プレゼンテーション 20%、授業参加 40%

再評価:有(レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

事前学習は特に必要ないが、復習をしっかりおこない疑問点があれば質問すること。

また各回の課題は次回以降の授業内容に関わってくるため、確実にこなすことが求められる。

教科書

井下千以子『思考を鍛えるレポート・論文作成法（第 3 版）』慶應義塾大学出版会、2019 年。

参考書

授業内で適宜紹介する。

履修上の注意事項

原則的に授業回数の 3 分の 2 以上の出席を学期末レポートの提出要件とする。

時間割番号	004631				
科目名	教養基礎セミナー(現代の社会学)後半 1 講 大倉			**科目 ID**	
担当教員	大倉 韻[OOKURA Hibiki]				
開講時期	2024 年度後期	**対象年次**	1		
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:水曜 1 講

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

1-2)社会制度や仕組みについての基本を理解する

2-3)言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法論を知る

授業の目的、概要等

授業の目的は以下の三点。

第一に、大学における学習のあり方を理解し基本的な学習能力を身につけてもらうこと。

第二に、現代社会をとりまく諸現象ならびに諸問題を理解しその解決策を模索するために、社会学的なものの見方・考え方を身に着けてもらうこと。

第三に、それら学習の成果を活用して、学期末レポートの執筆、並びにプレゼンテーションを実施してもらうことである。

授業の到達目標

〇情報収集力:必要な情報を自分自身で判断した上で収集できるようになること。

〇情報発信力:客観的で理解しやすい文章を書くことができ、説得力のあるプレゼンテーションをできるようになること。

〇ディベート力:他者の意見を正しく理解した上で、自分の意見を適切に述べることができるようになること。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	11/13	08:50-10:30		大倉 韻 藤井 達夫
3-4	11/20	08:50-10:30		大倉 韻 藤井 達夫
5-6	11/27	08:50-10:30		大倉 韻 藤井 達夫
7-8	12/4	08:50-10:30		大倉 韻 藤井 達夫
9-10	12/11	08:50-10:30		大倉 韻 藤井 達夫
11-12	12/18	08:50-10:30		大倉 韻 藤井 達夫
13-14	1/8	08:50-10:30		大倉 韻 藤井 達夫

授業方法

授業は講義と演習を組み合わせておこなう。

レポートの書き方やプレゼンテーションのしかたについて、毎回の授業で課題に取り組んでもらう。

授業内容

第 1 回:ガイダンス、大学生活について

第 2 回:大学での学びについて

第 3 回:本の読み方、情報収集のしかた

第 4 回:レポートの書き方

第 5 回:プレゼンテーションの方法

第 6 回:論点をめぐる検討、ならびにディスカッション

第 7 回:プレゼンテーションとふりかえり

成績評価の方法

生徒の積極的な授業参加を高く評価する。そのため、成績評価は次のようにおこなう。

評価:レポート 40%、プレゼンテーション 20%、授業参加 40%

再評価:有(レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

事前学習は特に必要ないが、復習をしっかりおこない疑問点があれば質問すること。
また各回の課題は次回以降の授業内容に関わってくるため、確実にこなすことが求められる。

教科書

井下千以子『思考を鍛えるレポート・論文作成法(第 3 版)』慶應義塾大学出版会、2019 年。

参考書

授業内で適宜紹介する。

履修上の注意事項

原則的に授業回数の 3 分の 2 以上の出席を学期末レポートの提出要件とする。

時間割番号	004632				
科目名	教養基礎セミナー(現代の社会学)後半 2 講　大倉			**科目 ID**	
担当教員	大倉　韻[OOKURA Hibiki]				
開講時期	2024 年度後期	**対象年次**	1		
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:水曜 2 講

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

1-2)社会制度や仕組みについての基本を理解する

2-3)言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法論を知る

授業の目的、概要等

授業の目的は以下の三点。

第一に、大学における学習のあり方を理解し基本的な学習能力を身につけてもらうこと。

第二に、現代社会をとりまく諸現象ならびに諸問題を理解しその解決策を模索するために、社会学的なものの見方・考え方を身に着けてもらうこと。

第三に、それら学習の成果を活用して、学期末レポートの執筆、並びにプレゼンテーションを実施してもらうことである。

授業の到達目標

〇情報収集力:必要な情報を自分自身で判断した上で収集できるようになること。

〇情報発信力:客観的で理解しやすい文章を書くことができ、説得力のあるプレゼンテーションをできるようになること。

〇ディベート力:他者の意見を正しく理解した上で、自分の意見を適切に述べることができるようになること。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	11/13	10:45-12:25		大倉 韻 藤井 達夫
3-4	11/20	10:45-12:25		大倉 韻 藤井 達夫
5-6	11/27	10:45-12:25		大倉 韻 藤井 達夫
7-8	12/4	10:45-12:25		大倉 韻 藤井 達夫
9-10	12/11	10:45-12:25		大倉 韻 藤井 達夫
11-12	12/18	10:45-12:25		大倉 韻 藤井 達夫
13-14	1/8	10:45-12:25		大倉 韻 藤井 達夫

授業方法

授業は講義と演習を組み合わせておこなう。

レポートの書き方やプレゼンテーションのしかたについて、毎回の授業で課題に取り組んでもらう。

授業内容

第 1 回:ガイダンス、大学生活について

第 2 回:大学での学びについて

第 3 回:本の読み方、情報収集のしかた

第 4 回:レポートの書き方

第 5 回:プレゼンテーションの方法

第 6 回:論点をめぐる検討、ならびにディスカッション

第 7 回:プレゼンテーションとふりかえり

成績評価の方法

生徒の積極的な授業参加を高く評価する。そのため、成績評価は次のようにおこなう。

評価:レポート 40%、プレゼンテーション 20%、授業参加 40%

再評価:有(レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示 事前学習は特に必要ないが、復習をしっかりおこない疑問点があれば質問すること。 また各回の課題は次回以降の授業内容に関わってくるため、確実にこなすことが求められる。
教科書 井下千以子『思考を鍛えるレポート・論文作成法(第 3 版)』慶應義塾大学出版会、2019 年。
参考書 授業内で適宜紹介する。
履修上の注意事項 原則的に授業回数の 3 分の 2 以上の出席を学期末レポートの提出要件とする。

時間割番号	004637				
科目名	教養基礎セミナー(スペイン語圏の人々と文化)前半 1 講 佐々木			**科目 ID**	
担当教員	佐々木 充文[SASAKI Mitsuya]				
開講時期	2024 年度後期	**対象年次**	1		
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:水曜 1 講(前半)

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

1-1, 1-3, 1-4, 3-4, 3-5

授業の目的、概要等

テーマ別解説と演習を通して、スペイン語圏の文化・歴史・社会情勢への理解を深めます。

スペイン語圏の諸地域は、国際社会のなかで急速に存在感を増しており、日本との関わりも決して浅くないにもかかわらず、個別の地域について、学校などで習ったり考えたりする機会は多くありません。

この授業では、「ラテンの国々」と一括りにされがちな諸地域の多彩な実情に思いを馳せ、その地の人々や文化に対する敬意を育むとともに、「東洋・西洋」という構図ではとらえきれない欧米社会の内的な多様さに触れることで、バランスのとれた国際感覚を養うことを目指します。

スペイン語圏を対象とする授業ですが、語学としてのスペイン語の知識は不要です。

授業の到達目標

1. 知識…スペイン語圏の諸地域の地理・歴史・文化について、断片的ながらも具体的な知識を身につける。
2. 一般教養…地域間・集団間の差異やその背景を知ることで、どのような社会にも内的な多様性が存在することを理解し、遠く離れた地域の人々やその暮らしに敬意を払うことを学ぶ。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	9/18	08:50-10:30		佐々木 充文, 藤井 達夫
3-4	9/25	08:50-10:30		佐々木 充文, 藤井 達夫
5-6	10/2	08:50-10:30		佐々木 充文, 藤井 達夫
7-8	10/9	08:50-10:30		佐々木 充文, 藤井 達夫
9-10	10/16	08:50-10:30		佐々木 充文, 藤井 達夫
11-12	10/23	08:50-10:30		佐々木 充文, 藤井 達夫
13-14	10/30	08:50-10:30		佐々木 充文, 藤井 達夫
15-16	11/6	08:50-10:30		佐々木 充文, 藤井 達夫

授業方法

・各回とも、講義と演習の混合形式で行います。

・講義パートでは、オムニバス形式で主要なトピックを紹介します。

・演習パートでは、発表課題やその準備、グループワーク等を行います。

・少人数授業であることを活かし、講義パートにも可能なかぎりディスカッション等を取り入れる予定です。

授業内容

1. スペイン語の紹介・スペイン語圏の国と地域
2. カタルーニャ・バレンシアの言語と文化
3. アメリカ大陸の征服
4. スペインのイスラーム文化
5. バスク地方の言語と文化
6. スペイン語圏とキリスト教
7. メキシコの言語と文化
8. ラテンアメリカの日系人

成績評価の方法

評価 ： 試験 0% ・ レポート 50% ・ その他(提出課題・授業参加等)50%
再評価: 有(レポート再提出または追加レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

・予習については、授業中に適宜指示します。
・復習に際しては、授業で配布されたスライド・プリントを見返すほか、ニュースサイトや動画サイトなどで関連するトピックについて調べてみましょう。

参考書

・明石書店「～を知るための…章 エリア・スタディーズ」シリーズ

・『新版 ラテンアメリカを知る事典』 大貫良夫ほか 監修・平凡社・2013 年

備考

キーワード:スペイン語

時間割番号	004638				
科目名	教養基礎セミナー(スペイン語圏の人々と文化)前半 2 講 佐々木			**科目 ID**	
担当教員	佐々木 充文[SASAKI Mitsuya]				
開講時期	2024 年度後期	**対象年次**	1		
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:水曜 2 講(前半)

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

1-1, 1-3, 1-4, 3-4, 3-5

授業の目的、概要等

テーマ別解説と演習を通して、スペイン語圏の文化・歴史・社会情勢への理解を深めます。

スペイン語圏の諸地域は、国際社会のなかで急速に存在感を増しており、日本との関わりも決して浅くないにもかかわらず、個別の地域について、学校などで習ったり考えたりする機会は多くありません。

この授業では、「ラテンの国々」と一括りにされがちな諸地域の多彩な実情に思いを馳せ、その地の人々や文化に対する敬意を育むとともに、「東洋・西洋」という構図ではとらえきれない欧米社会の内的な多様さに触れることで、バランスのとれた国際感覚を養うことを目指します。

スペイン語圏を対象とする授業ですが、語学としてのスペイン語の知識は不要です。

授業の到達目標

1. 知識…スペイン語圏の諸地域の地理・歴史・文化について、断片的ながらも具体的な知識を身につける。
2. 一般教養…地域間・集団間の差異やその背景を知ることで、どのような社会にも内的な多様性が存在することを理解し、遠く離れた地域の人々やその暮らしに敬意を払うことを学ぶ。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	9/18	10:45-12:25		佐々木 充文, 藤井 達夫
3-4	9/25	10:45-12:25		佐々木 充文, 藤井 達夫
5-6	10/2	10:45-12:25		佐々木 充文, 藤井 達夫
7-8	10/9	10:45-12:25		佐々木 充文, 藤井 達夫
9-10	10/16	10:45-12:25		佐々木 充文, 藤井 達夫
11-12	10/23	10:45-12:25		佐々木 充文, 藤井 達夫
13-14	10/30	10:45-12:25		佐々木 充文, 藤井 達夫
15-16	11/6	10:45-12:25		佐々木 充文, 藤井 達夫

授業方法

・各回とも、講義と演習の混合形式で行います。

・講義パートでは、オムニバス形式で主要なトピックを紹介します。

・演習パートでは、発表課題やその準備、グループワーク等を行います。

・少人数授業であることを活かし、講義パートにも可能なかぎりディスカッション等を取り入れる予定です。

授業内容

1. スペイン語の紹介・スペイン語圏の国と地域
2. カタルーニャ・バレンシアの言語と文化
3. アメリカ大陸の征服
4. スペインのイスラーム文化
5. バスク地方の言語と文化
6. スペイン語圏とキリスト教
7. メキシコの言語と文化
8. ラテンアメリカの日系人

成績評価の方法

評価 ： 試験 0% ・ レポート 50% ・ その他(提出課題・授業参加等)50%
再評価: 有(レポート再提出または追加レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

・予習については、授業中に適宜指示します。
・復習に際しては、授業で配布されたスライド・プリントを見返すほか、ニュースサイトや動画サイトなどで関連するトピックについて調べてみましょう。

参考書

・明石書店「～を知るための…章 エリア・スタディーズ」シリーズ

・『新版 ラテンアメリカを知る事典』 大貫良夫ほか 監修・平凡社・2013 年

備考

キーワード:スペイン語

時間割番号	004639				
科目名	教養基礎セミナー(スペイン語を解き明かす)後半 1 講　佐々木			**科目 ID**	
担当教員	佐々木　充文[SASAKI Mitsuya]				
開講時期	2024 年度後期	**対象年次**	1		
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:水曜 1 講(後半)

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

1-1, 1-3, 1-4, 2-3, 3-4

授業の目的、概要等

テーマ別解説と演習を通して、スペイン語という言語の特徴と、その背景にある歴史や文化について考えます。また、スペイン語を例として、人間の言語一般に関する学術的なトピックを紹介します。

言葉は、実用的な道具であると同時に、歴史や文化、人間のものの考え方などを反映した文化的産物でもあります。普段なにげなく使っている単語が、数千年にわたる変遷の痕跡をとどめていることも珍しくありません。スペイン語を軸に、日常言語の背景について考えることを学びましょう。

また、スペイン語は、一見すると英語とよく似た言語ですが、細かな点では大きく異なります。新しいタイプの言語に触れることは、既知の言語をより深く理解し、言葉一般に対する洞察を深めることにつながります。スペイン語という特定の言語に立脚しつつ、人間の言葉一般に思いを致し、その奥深さに触れてみましょう。

スペイン語をテーマとする授業ですが、語学としてのスペイン語の知識は不要です。

授業の到達目標

1. 知識…スペイン語の特徴やその歴史的・社会的背景について、概略的な知識を身につける。
2. 一般教養…スペイン語圏の諸地域に親しむとともに、言葉が、単なる記号ではなく、歴史や人間の認知を反映した複雑な現象であることを学ぶ。また、個々の言語に立脚しつつ、人間の言語一般について考えることを学ぶ。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	11/13	08:50-10:30		佐々木 充文, 藤井 達夫
3-4	11/20	08:50-10:30		佐々木 充文, 藤井 達夫
5-6	11/27	08:50-10:30		佐々木 充文, 藤井 達夫
7-8	12/4	08:50-10:30		佐々木 充文, 藤井 達夫
9-10	12/11	08:50-10:30		佐々木 充文, 藤井 達夫
11-12	12/18	08:50-10:30		佐々木 充文, 藤井 達夫
13-14	1/8	08:50-10:30		佐々木 充文, 藤井 達夫

授業方法

・各回とも、講義と演習の混合形式で行います。

・講義パートでは、オムニバス形式で主要なトピックを紹介します。

・演習パートでは、発表課題やその準備、グループワーク等を行います。

・少人数授業であることを活かし、講義パートにも可能なかぎりディスカッション等を取り入れる予定です。

授業内容

1. スペイン語の紹介・ロマンス語とはなんだろう
2. 人名とキリスト教
3. 「主語の省略」と世界の言語
4. 食べ物の名前と食文化
5. なぜ名詞に性別があるのか
6. アメリカ合衆国とスペイン語
7. 変化する文法

成績評価の方法

評価 ： 試験 0% ・ レポート 50% ・ その他(提出課題・授業参加等)50%
再評価: 有(レポート再提出または追加レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

・予習については、授業中に適宜指示します。
・復習に際しては、授業で配布されたスライド・プリントを見返すほか、自分の知っている言語や興味のある言語での類例について考えてみるとよいでしょう。

参考書

・『¿Por Qué? 101 Questions about Spanish』 Judy Hochberg 著・Bloomsbury Academic・2016 年

・『スペイン語の世界』 岡本信照 著・慶應義塾大学出版会・2018 年

備考

キーワード:スペイン語

時間割番号	004640				
科目名	教養基礎セミナー(スペイン語を解き明かす)後半 2 講　佐々木			**科目 ID**	
担当教員	佐々木　充文[SASAKI Mitsuya]				
開講時期	2024 年度後期	**対象年次**	1		
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:水曜 2 講(後半)

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

1-1, 1-3, 1-4, 2-3, 3-4

授業の目的、概要等

テーマ別解説と演習を通して、スペイン語という言語の特徴と、その背景にある歴史や文化について考えます。また、スペイン語を例として、人間の言語一般に関する学術的なトピックを紹介します。

言葉は、実用的な道具であると同時に、歴史や文化、人間のものの考え方などを反映した文化的産物でもあります。普段なにげなく使っている単語が、数千年にわたる変遷の痕跡をとどめていることも珍しくありません。スペイン語を軸に、日常言語の背景について考えることを学びましょう。

また、スペイン語は、一見すると英語とよく似た言語ですが、細かな点では大きく異なります。新しいタイプの言語に触れることは、既知の言語をより深く理解し、言葉一般に対する洞察を深めることにつながります。スペイン語という特定の言語に立脚しつつ、人間の言葉一般に思いを致し、その奥深さに触れてみましょう。

スペイン語をテーマとする授業ですが、語学としてのスペイン語の知識は不要です。

授業の到達目標

1. 知識…スペイン語の特徴やその歴史的・社会的背景について、概略的な知識を身につける。
2. 一般教養…スペイン語圏の諸地域に親しむとともに、言葉が、単なる記号ではなく、歴史や人間の認知を反映した複雑な現象であることを学ぶ。また、個々の言語に立脚しつつ、人間の言語一般について考えることを学ぶ。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	11/13	10:45-12:25		佐々木 充文, 藤井 達夫
3-4	11/20	10:45-12:25		佐々木 充文, 藤井 達夫
5-6	11/27	10:45-12:25		佐々木 充文, 藤井 達夫
7-8	12/4	10:45-12:25		佐々木 充文, 藤井 達夫
9-10	12/11	10:45-12:25		佐々木 充文, 藤井 達夫
11-12	12/18	10:45-12:25		佐々木 充文, 藤井 達夫
13-14	1/8	10:45-12:25		佐々木 充文, 藤井 達夫

授業方法

・各回とも、講義と演習の混合形式で行います。

・講義パートでは、オムニバス形式で主要なトピックを紹介します。

・演習パートでは、発表課題やその準備、グループワーク等を行います。

・少人数授業であることを活かし、講義パートにも可能なかぎりディスカッション等を取り入れる予定です。

授業内容

1. スペイン語の紹介・ロマンス語とはなんだろう
2. 人名とキリスト教
3. 「主語の省略」と世界の言語
4. 食べ物の名前と食文化
5. なぜ名詞に性別があるのか
6. アメリカ合衆国とスペイン語
7. 変化する文法

成績評価の方法

評価 ： 試験 0% ・ レポート 50% ・ その他(提出課題・授業参加等)50%
再評価: 有(レポート再提出または追加レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

・予習については、授業中に適宜指示します。
・復習に際しては、授業で配布されたスライド・プリントを見返すほか、自分の知っている言語や興味のある言語での類例について考えてみるとよいでしょう。

参考書

・『¿Por Qué? 101 Questions about Spanish』 Judy Hochberg 著・Bloomsbury Academic・2016 年

・『スペイン語の世界』 岡本信照 著・慶應義塾大学出版会・2018 年

備考

キーワード:スペイン語

時間割番号	004641		
科目名	教養基礎セミナー(「ラテンアメリカの言語と文化」)前半 1 講　諸隈	**科目 ID**	
担当教員	諸隈　夕子[MOROKUMA Yuuko]		
開講時期	2024 年度後期	**対象年次**	1
実務経験のある教員による授業			

曜日・時間:水曜1講

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-1, 1-2, 1-3, 1-4, 3-4, 3-5

授業の目的、概要等

ラテンアメリカ地域の社会と文化について、言語に注目しながら学んでいきます。

前半 7 回ではラテンアメリカ全体について俯瞰的に学び、後半 8 回ではチリ・ペルー・ボリビアを中心とするアンデス地域に注目します。

ラテンアメリカは日本から地理的には遠く離れた地域ですが、その文化は食や音楽、ポップカルチャーを通じて日本でもしばしば注目を集め、政治的・経済的にも関わりの深い地域です。

前提知識は問いませんので、他の受講者とも知識や興味関心を共有しながら理解を深めましょう。

授業の到達目標

1. ラテンアメリカの社会と文化の概観的な知識を学び、主要な特徴を説明できるようになる。

2. ラテンアメリカの言語文化を題材に文化多様性への関心と理解を深め、異なる文化的背景を持つ他者との共生について視座を深める。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	9/18	08:50-10:30		諸隈　夕子, 藤井　達夫
3-4	9/25	08:50-10:30		諸隈　夕子, 藤井　達夫
5-6	10/2	08:50-10:30		諸隈　夕子, 藤井　達夫
7-8	10/9	08:50-10:30		諸隈　夕子, 藤井　達夫
9-10	10/16	08:50-10:30		諸隈　夕子, 藤井　達夫
11-12	10/23	08:50-10:30		諸隈　夕子, 藤井　達夫
13-14	10/30	08:50-10:30		諸隈　夕子, 藤井　達夫
15-16	11/6	08:50-10:30		諸隈　夕子, 藤井　達夫

授業方法

授業は講義形式で行います。

少人数での受講を想定しておりますので、受講者同士で知識や興味関心を共有するためのグループワークやディスカッションを適宜取り入れます。

授業内容

◆第1回

「授業の概要説明・ラテンアメリカの基本情報」

・自己紹介、関心のあるトピックの共有

・ラテンアメリカ諸国の位置、地理、重要な歴史・政治的トピック

◆第2回

「ラテンアメリカの文化①」

・ラテンアメリカの文芸

◆第3回
「ラテンアメリカの文化②」

・ラテンアメリカの音楽を中心とした文化

◆第4回
「ラテンアメリカの先住民①」

・メソアメリカの歴史と先住民文化

◆第5回
「ラテンアメリカの先住民②」

・南アメリカの歴史と先住民文化

◆第6回
「ラテンアメリカとスペイン語・ポルトガル語」

・ラテンアメリカの共通語(スペイン語、ポルトガル語)
・基本的なあいさつや発音、日本語と比べた文法の違い

◆第7回
「ラテンアメリカの先住民言語」

・ラテンアメリカの先住民言語とその概観
・先住民・少数言語研究とそのおもしろさ

◆第8回
「まとめとふりかえり」

・プレゼン発表会
・第7回までの内容のふりかえり
・受講者の関心に応じた追加トピック

成績評価の方法

評価 : 試験 0% ・ レポート 80% ・ その他(コメントシートなどによる授業参加) 20%
再評価: 有(レポートの再提出)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

プレゼン作成のため、どんなにご自身が「卑近」と感じる話題でも構いませんので、ラテンアメリカの文化や社会に関わるトピックへの関心を高めておきましょう。

教科書

ラテンアメリカを知る事典／大貫, 良夫, 1937-,落合, 一泰, 1951-,国本, 伊代, 1938-,大貫良夫, 落合一泰, 国本伊代, 恒川惠市, 松下洋, 福嶋正徳 監修:平凡社, 2013.3
物語ラテン・アメリカの歴史 : 未来の大陸／増田, 義郎, 1928-2016,増田義郎 著:中央公論社, 1998.9
ラテンアメリカ文明の興亡／高橋, 均,網野, 徹哉,高橋均, 網野徹哉著:中央公論新社, 2009.11

地図で見るラテンアメリカハンドブック／Dabène, Olivier,Louault, Frédéric,Boissière, Aurélie,太田, 佐絵子,オリヴィエ・ダベーヌ, フレデリック・ルオー 著,オレリー・ボワシエール 地図製作,太田佐絵子 訳:原書房, 2017.12
所持を前提とする教科書はありません。

履修上の注意事項

出欠数・遅刻数によって試験の受験資格が無くなることはありませんが、可能な限り全回への出席を推奨します。 病気や怪我をはじめ事情による欠席・遅刻に対しては柔軟に対応しますので、ご一報くださると幸いです。

備考

キーワード:ラテンアメリカ、言語文化、言語

時間割番号	004642				
科目名	教養基礎セミナー(「ラテンアメリカの言語と文化」)前半 2 講　諸隈			科目 ID	
担当教員	諸隈　夕子[MOROKUMA Yuuko]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1		
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:水曜2講

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-1, 1-2, 1-3, 1-4, 3-4, 3-5

授業の目的、概要等

ラテンアメリカ地域の社会と文化について、言語に注目しながら学んでいきます。

前半 7 回ではラテンアメリカ全体について俯瞰的に学び、後半 8 回ではチリ・ペルー・ボリビアを中心とするアンデス地域に注目します。

ラテンアメリカは日本から地理的には遠く離れた地域ですが、その文化は食や音楽、ポップカルチャーを通じて日本でもしばしば注目を集め、政治的・経済的にも関わりの深い地域です。

前提知識は問いませんので、他の受講者とも知識や興味関心を共有しながら理解を深めましょう。

授業の到達目標

1. ラテンアメリカの社会と文化の概観的な知識を学び、主要な特徴を説明できるようになる。
2. ラテンアメリカの言語文化を題材に文化多様性への関心と理解を深め、異なる文化的背景を持つ他者との共生について視座を深める。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	9/18	10:45-12:25		諸隈　夕子, 藤井　達夫
3-4	9/25	10:45-12:25		諸隈　夕子, 藤井　達夫
5-6	10/2	10:45-12:25		諸隈　夕子, 藤井　達夫
7-8	10/9	10:45-12:25		諸隈　夕子, 藤井　達夫
9-10	10/16	10:45-12:25		諸隈　夕子, 藤井　達夫
11-12	10/23	10:45-12:25		諸隈　夕子, 藤井　達夫
13-14	10/30	10:45-12:25		諸隈　夕子, 藤井　達夫
15-16	11/6	10:45-12:25		諸隈　夕子, 藤井　達夫

授業方法

授業は講義形式で行います。

少人数での受講を想定しておりますので、受講者同士で知識や興味関心を共有するためのグループワークやディスカッションを適宜取り入れます。

授業内容

◆第1回

「授業の概要説明・ラテンアメリカの基本情報」

・自己紹介、関心のあるトピックの共有

・ラテンアメリカ諸国の位置、地理、重要な歴史・政治的トピック

◆第2回

「ラテンアメリカの文化①」

・ラテンアメリカの文芸

◆第3回
「ラテンアメリカの文化②」

・ラテンアメリカの音楽を中心とした文化

◆第4回
「ラテンアメリカの先住民①」

・メソアメリカの歴史と先住民文化

◆第5回
「ラテンアメリカの先住民②」

・南アメリカの歴史と先住民文化

◆第6回
「ラテンアメリカとスペイン語・ポルトガル語」

・ラテンアメリカの共通語(スペイン語、ポルトガル語)
・基本的なあいさつや発音、日本語と比べた文法の違い

◆第7回
「ラテンアメリカの先住民言語」

・ラテンアメリカの先住民言語とその概観
・先住民・少数言語研究とそのおもしろさ

◆第8回
「まとめとふりかえり」

・プレゼン発表会
・第7回までの内容のふりかえり
・受講者の関心に応じた追加トピック

成績評価の方法

評価 : 試験 0% ・ レポート 80% ・ その他(コメントシートなどによる授業参加) 20%
再評価: 有(レポートの再提出)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

プレゼン作成のため、どんなにご自身が「卑近」と感じる話題でも構いませんので、ラテンアメリカの文化や社会に関わるトピックへの関心を高めておきましょう。

教科書

所持を前提とする教科書はありません。

参考書

ラテンアメリカを知る事典／大貫, 良夫, 1937-,落合, 一泰, 1951-,国本, 伊代, 1938-,大貫良夫, 落合一泰, 国本伊代, 恒川惠市, 松下洋,

福嶋正徳 監修:平凡社, 2013.3

物語ラテン・アメリカの歴史 : 未来の大陸／増田, 義郎, 1928-2016,増田義郎 著:中央公論社, 1998.9

ラテンアメリカ文明の興亡／高橋, 均,網野, 徹哉,高橋均, 網野徹哉著:中央公論新社, 2009.11

地図で見るラテンアメリカハンドブック／Dabène, Olivier,Louault, Frédéric,Boissière, Aurélie,太田, 佐絵子,オリヴィエ・ダベーヌ, フレデリック・ルオー 著,オレリー・ボワシエール 地図製作,太田佐絵子 訳:原書房, 2017.12

履修上の注意事項

出欠数・遅刻数によって試験の受験資格が無くなることはありませんが、可能な限り全回への出席を推奨します。 病気や怪我をはじめ事情による欠席・遅刻に対しては柔軟に対応しますので、ご一報くださると幸いです。

備考

キーワード:ラテンアメリカ、言語文化、言語

時間割番号	004643				
科目名	教養基礎セミナー(「アンデスの言語と文化」)後半 1 講　諸隈			科目 ID	
担当教員	諸隈　夕子[MOROKUMA Yuuko]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1		
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:水曜1講

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-1, 1-2, 1-3, 1-4, 3-4, 3-5

授業の目的、概要等

ラテンアメリカ地域の社会と文化について、言語に注目しながら学んでいきます。

前半 7 回ではラテンアメリカ全体について俯瞰的に学び、後半 8 回ではチリ・ペルー・ボリビアを中心とするアンデス地域に注目します。

ラテンアメリカは日本から地理的には遠く離れた地域ですが、その文化は食や音楽、ポップカルチャーを通じて日本でもしばしば注目を集め、政治的・経済的にも関わりの深い地域です。

前提知識は問いませんので、他の受講者とも知識や興味関心を共有しながら理解を深めましょう。

授業の到達目標

1. アンデスの社会と文化の概観的な知識を学び、主要な特徴を説明できるようになる。
2. アンデスの言語文化を題材に文化多様性への関心と理解を深め、異なる文化的背景を持つ他者との共生について視座を深める。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	11/13	08:50-10:30		諸隈　夕子, 藤井　達夫
3-4	11/20	08:50-10:30		諸隈　夕子, 藤井　達夫
5-6	11/27	08:50-10:30		諸隈　夕子, 藤井　達夫
7-8	12/4	08:50-10:30		諸隈　夕子, 藤井　達夫
9-10	12/11	08:50-10:30		諸隈　夕子, 藤井　達夫
11-12	12/18	08:50-10:30		諸隈　夕子, 藤井　達夫
13-14	1/8	08:50-10:30		諸隈　夕子, 藤井　達夫

授業方法

授業は講義形式で行います。

少人数での受講を想定しておりますので、受講者同士で知識や興味関心を共有するためのグループワークやディスカッションを適宜取り入れます。

授業内容

◆第1回

「授業の概要説明」

・自己紹介、関心のあるトピックの共有

・アンデス地域の概観

◆第2回

「アンデスの国々」

・アンデスには現在どのような国があるのか

・日本とアンデスの国々の関係

◆第3回

「アンデスの歴史」

・アンデスの文明とインカ帝国
・スペインによる支配とその影響

◆第4回
「アンデスの言語①」

・スペイン語・(ポルトガル語)文法の概観
・日本語や英語と比べてみよう

◆第5回
「アンデスの言語②」

・アンデスの先住民言語たち

◆第6回
「アンデスの先住民文化」

・アンデスの先住民文化とその広がり
・日本におけるアンデス文化

◆第7回
「まとめとふりかえり」

・プレゼン発表会
・第6回までの内容のふりかえり
・受講者の関心に応じた追加トピック

成績評価の方法

評価 : 試験 0% ・ レポート 80% ・ その他(コメントシートなどによる授業参加) 20%
再評価: 有(レポートの再提出)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

プレゼン作成のため、どんなにご自身が「卑近」と感じる話題でも構いませんので、ラテンアメリカの文化や社会に関わるトピックへの関心を高めておきましょう。

教科書

所持を前提とする教科書はありません。

参考書

ラテンアメリカを知る事典／大貫, 良夫, 1937-,落合, 一泰, 1951-,国本, 伊代, 1938-,大貫良夫, 落合一泰, 国本伊代, 恒川惠市, 松下洋, 福嶋正徳 監修:平凡社, 2013.3
物語ラテン・アメリカの歴史 : 未来の大陸／増田, 義郎, 1928-2016,増田義郎 著:中央公論社, 1998.9
ラテンアメリカ文明の興亡／高橋, 均,網野, 徹哉,高橋均, 網野徹哉著:中央公論新社, 2009.11
地図で見るラテンアメリカハンドブック／Dabène, Olivier,Louault, Frédéric,Boissière, Aurélie,太田, 佐絵子,オリヴィエ・ダベーヌ, フレデリック・ルオー 著,オレリー・ボワシエール 地図製作,太田佐絵子 訳:原書房, 2017.12

履修上の注意事項

出欠数・遅刻数によって試験の受験資格が無くなることはありませんが、可能な限り全回への出席を推奨します。 病気や怪我をはじめ事情による欠席・遅刻に対しては柔軟に対応しますので、ご一報くださると幸いです。

備考

キーワード:ラテンアメリカ、アンデス、言語文化、言語

時間割番号	004644				
科目名	教養基礎セミナー(「アンデスの言語と文化」)後半 2 講　諸隈			科目 ID	
担当教員	諸隈　夕子[MOROKUMA Yuuko]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1		
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:水曜2講

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-1, 1-2, 1-3, 1-4, 3-4, 3-5

授業の目的、概要等

ラテンアメリカ地域の社会と文化について、言語に注目しながら学んでいきます。

前半 7 回ではラテンアメリカ全体について俯瞰的に学び、後半 8 回ではチリ・ペルー・ボリビアを中心とするアンデス地域に注目します。

ラテンアメリカは日本から地理的には遠く離れた地域ですが、その文化は食や音楽、ポップカルチャーを通じて日本でもしばしば注目を集め、政治的・経済的にも関わりの深い地域です。

前提知識は問いませんので、他の受講者とも知識や興味関心を共有しながら理解を深めましょう。

授業の到達目標

1. アンデスの社会と文化の概観的な知識を学び、主要な特徴を説明できるようになる。
2. アンデスの言語文化を題材に文化多様性への関心と理解を深め、異なる文化的背景を持つ他者との共生について視座を深める。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	11/13	10:45-12:25		諸隈　夕子, 藤井　達夫
3-4	11/20	10:45-12:25		諸隈　夕子, 藤井　達夫
5-6	11/27	10:45-12:25		諸隈　夕子, 藤井　達夫
7-8	12/4	10:45-12:25		諸隈　夕子, 藤井　達夫
9-10	12/11	10:45-12:25		諸隈　夕子, 藤井　達夫
11-12	12/18	10:45-12:25		諸隈　夕子, 藤井　達夫
13-14	1/8	10:45-12:25		諸隈　夕子, 藤井　達夫

授業方法

授業は講義形式で行います。

少人数での受講を想定しておりますので、受講者同士で知識や興味関心を共有するためのグループワークやディスカッションを適宜取り入れます。

授業内容

◆第1回

「授業の概要説明」

・自己紹介、関心のあるトピックの共有

・アンデス地域の概観

◆第2回

「アンデスの国々」

・アンデスには現在どのような国があるのか

・日本とアンデスの国々の関係

◆第3回

「アンデスの歴史」

・アンデスの文明とインカ帝国
・スペインによる支配とその影響

◆第4回
「アンデスの言語①」

・スペイン語・(ポルトガル語)文法の概観
・日本語や英語と比べてみよう

◆第5回
「アンデスの言語②」

・アンデスの先住民言語たち

◆第6回
「アンデスの先住民文化」

・アンデスの先住民文化とその広がり
・日本におけるアンデス文化

◆第7回
「まとめとふりかえり」

・プレゼン発表会
・第6回までの内容のふりかえり
・受講者の関心に応じた追加トピック

成績評価の方法

評価 : 試験 0% ・ レポート 80% ・ その他(コメントシートなどによる授業参加) 20%
再評価: 有(レポートの再提出)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

プレゼン作成のため、どんなにご自身が「卑近」と感じる話題でも構いませんので、ラテンアメリカの文化や社会に関わるトピックへの関心を高めておきましょう。

教科書

所持を前提とする教科書はありません。

参考書

ラテンアメリカを知る事典／大貫, 良夫, 1937-,落合, 一泰, 1951-,国本, 伊代, 1938-,大貫良夫, 落合一泰, 国本伊代, 恒川惠市, 松下洋, 福嶋正徳 監修:平凡社, 2013.3
物語ラテン・アメリカの歴史 : 未来の大陸／増田, 義郎, 1928-2016,増田義郎 著:中央公論社, 1998.9
ラテンアメリカ文明の興亡／高橋, 均,網野, 徹哉,高橋均, 網野徹哉著:中央公論新社, 2009.11
地図で見るラテンアメリカハンドブック／Dabène, Olivier,Louault, Frédéric,Boissière, Aurélie,太田, 佐絵子,オリヴィエ・ダベーヌ, フレデリック・ルオー 著,オレリー・ボワシエール 地図製作,太田佐絵子 訳:原書房, 2017.12

履修上の注意事項

出欠数・遅刻数によって試験の受験資格が無くなることはありませんが、可能な限り全回への出席を推奨します。 病気や怪我をはじめ事情による欠席・遅刻に対しては柔軟に対応しますので、ご一報くださると幸いです。

備考

キーワード:ラテンアメリカ、アンデス、言語文化、言語

時間割番号	004645				
科目名	教養基礎セミナー(言語科学とドイツ語)前半１講　藤井(俊)			科目ID	
担当教員	藤井　俊吾[FUJII Shunngo]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1		
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:水曜1講

募集人数　:8人

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-1, 1-7, 2-3

授業の目的、概要等

ドイツ語の言語現象の観察・分析を通して、言語学の基礎を学ぶ授業です。ドイツ語を題材とはしますが、提示する例文にはグロスと訳を付けるなどしてドイツ語未履修者でも問題なく理解出来るようにします。ドイツ語と言語学の基本について導入を行った後、受講者の興味に合わせて文献を選び、それについてゼミ形式で検討を行います。必要に応じて題材となる現象について日本語、英語等との比較も行います。

授業の到達目標

①言語を言語理論に基づいて分析する過程を学ぶことで、科学的思考を磨きます。

②最も複雑なモジュールの一つである言語の性質を検討することで、人間に関する理解を深めます。

③ドイツ語等の言語をメタ的に分析する手法を身につけることで、言語学習の効率的な習得が可能になります。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	9/18	08:50-10:30		藤井　俊吾, 藤井　達夫
3-4	9/25	08:50-10:30		藤井　俊吾, 藤井　達夫
5-6	10/2	08:50-10:30		藤井　俊吾, 藤井　達夫
7-8	10/9	08:50-10:30		藤井　俊吾, 藤井　達夫
9-10	10/16	08:50-10:30		藤井　俊吾, 藤井　達夫
11-12	10/23	08:50-10:30		藤井　俊吾, 藤井　達夫
13-14	10/30	08:50-10:30		藤井　俊吾, 藤井　達夫
15-16	11/6	08:50-10:30		藤井　俊吾, 藤井　達夫

授業方法

導入としてドイツ語、及び言語学に関する基本知識を講義形式で紹介した後、受講者の関心のあるトピックについて扱った文献についてディスカッションを行います。受講者には授業の中で文献紹介等の発表をして頂く予定です。

授業内容

第１回　オリエンテーション、ドイツ語の基本情報、関心のあるトピックの共有

第２回　言語学の基礎知識

第３回　文タイプと発話力①

第４回　文タイプと発話力②

第５回　分裂自動詞性①

第６回　分裂自動詞性②

第７回　心態詞①

第８回　心態詞②

成績評価の方法

評価　:試験　0%　・　レポート　70%　・　その他(出席状況・授業参加などの平常点)30%

再評価:有(試験)

成績評価の基準
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による
準備学習等についての具体的な指示
読んでおくべき文献等は授業中に適宜指示します。授業のスムーズな進行のため、予習は必ず済ませた上で授業に臨んでください。

時間割番号	004646			
科目名	教養基礎セミナー(言語科学とドイツ語)前半 2 講　藤井(俊)		科目 ID	
担当教員	藤井　俊吾[FUJII Shunngo]			
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

曜日・時間:水曜2講

募集人数　:8人

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-1, 1-7, 2-3

授業の目的、概要等

ドイツ語の言語現象の観察・分析を通して、言語学の基礎を学ぶ授業です。ドイツ語を題材とはしますが、提示する例文にはグロスと訳を付けるなどしてドイツ語未履修者でも問題なく理解出来るようにします。ドイツ語と言語学の基本について導入を行った後、受講者の興味に合わせて文献を選び、それについてゼミ形式で検討を行います。必要に応じて題材となる現象について日本語、英語等との比較も行います。

授業の到達目標

①言語を言語理論に基づいて分析する過程を学ぶことで、科学的思考を磨きます。

②最も複雑なモジュールの一つである言語の性質を検討することで、人間に関する理解を深めます。

③ドイツ語等の言語をメタ的に分析する手法を身につけることで、言語学習の効率的な習得が可能になります。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	9/18	10:45-12:25		藤井　俊吾, 藤井　達夫
3-4	9/25	10:45-12:25		藤井　俊吾, 藤井　達夫
5-6	10/2	10:45-12:25		藤井　俊吾, 藤井　達夫
7-8	10/9	10:45-12:25		藤井　俊吾, 藤井　達夫
9-10	10/16	10:45-12:25		藤井　俊吾, 藤井　達夫
11-12	10/23	10:45-12:25		藤井　俊吾, 藤井　達夫
13-14	10/30	10:45-12:25		藤井　俊吾, 藤井　達夫
15-16	11/6	10:45-12:25		藤井　俊吾, 藤井　達夫

授業方法

導入としてドイツ語、及び言語学に関する基本知識を講義形式で紹介した後、受講者の関心のあるトピックについて扱った文献についてディスカッションを行います。受講者には授業の中で文献紹介等の発表をして頂く予定です。

授業内容

第 1 回　オリエンテーション、ドイツ語の基本情報、関心のあるトピックの共有

第 2 回　言語学の基礎知識

第 3 回　文タイプと発話力①

第 4 回　文タイプと発話力②

第 5 回　分裂自動詞性①

第 6 回　分裂自動詞性②

第 7 回　心態詞①

第 8 回　心態詞②

成績評価の方法

評価　:試験　0% ・ レポート　70% ・ その他(出席状況・授業参加などの平常点)30%

再評価:有(試験)

成績評価の基準
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による
準備学習等についての具体的な指示
読んでおくべき文献等は授業中に適宜指示します。授業のスムーズな進行のため、予習は必ず済ませた上で授業に臨んでください。

時間割番号	004647			
科目名	教養基礎セミナー(生成文法研究におけるドイツ語)後半１講　藤井(俊)		科目ID	
担当教員	藤井　俊吾[FUJII Shunngo]			
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

曜日・時間:水曜　1講

募集人数　:8人

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-1, 1-7, 2-3

授業の目的、概要等

ドイツ語の言語現象の観察・分析を通して、理論言語学の一つである生成文法の基礎を学ぶ授業です。ドイツ語を題材とはしますが、例文にはグロスと訳を付けるなどしてドイツ語未履修者でも問題なく理解出来るようにします。ドイツ語と生成文法の基本について導入を行った後、受講者の興味に合わせて文献を選び、それについてゼミ形式で検討を行います。必要に応じて題材となる現象について日本語、英語等との比較も行います。

授業の到達目標

①言語を生成文法理論に基づいて分析する過程を学ぶことで、科学的思考を磨きます。

②最も複雑なモジュールの一つである言語の性質を検討することで、人間に関する理解を深めます。

③ドイツ語等の言語をメタ的に分析する手法を身につけることで、言語学習の効率的な習得が可能になります。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	11/13	08:50-10:30		藤井　俊吾, 藤井　達夫
3-4	11/20	08:50-10:30		藤井　俊吾, 藤井　達夫
5-6	11/27	08:50-10:30		藤井　俊吾, 藤井　達夫
7-8	12/4	08:50-10:30		藤井　俊吾, 藤井　達夫
9-10	12/11	08:50-10:30		藤井　俊吾, 藤井　達夫
11-12	12/18	08:50-10:30		藤井　俊吾, 藤井　達夫
13-14	1/8	08:50-10:30		藤井　俊吾, 藤井　達夫

授業方法

導入としてドイツ語、及び生成文法に関する基本知識を講義形式で紹介した後、受講者の関心のあるトピックについて扱った文献についてディスカッションを行います。受講者には授業の中で文献紹介等の発表をして頂く予定です。

授業内容

第１回 オリエンテーション、ドイツ語の基本情報、関心のあるトピックの共有

第２回 生成文法の基礎知識

第３回 ドイツ語の語順①

第４回 ドイツ語の語順②

第５回 意味役割と格配列

第６回 話題化と抜き出し①

第７回 話題化と抜き出し②

成績評価の方法

評価　:　試験0%・レポート70%・その他(出席状況・授業参加などの平常点)30%

再評価:　有(試験)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

読んでおくべき文献等は授業中に適宜指示します。授業のスムーズな進行のため、予習は必ず済ませた上で授業に臨んでください。

時間割番号	004648			
科目名	教養基礎セミナー(生成文法研究におけるドイツ語)後半2講 藤井(俊)		科目ID	
担当教員	藤井 俊吾[FUJII Shunngo]			
開講時期	2024年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

曜日・時間:水曜 2講

募集人数 :8人

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-1, 1-7, 2-3

授業の目的、概要等

ドイツ語の言語現象の観察・分析を通して、理論言語学の一つである生成文法の基礎を学ぶ授業です。ドイツ語を題材とはしますが、例文にはグロスと訳を付けるなどしてドイツ語未履修者でも問題なく理解出来るようにします。ドイツ語と生成文法の基本について導入を行った後、受講者の興味に合わせて文献を選び、それについてゼミ形式で検討を行います。必要に応じて題材となる現象について日本語、英語等との比較も行います。

授業の到達目標

①言語を生成文法理論に基づいて分析する過程を学ぶことで、科学的思考を磨きます。

②最も複雑なモジュールの一つである言語の性質を検討することで、人間に関する理解を深めます。

③ドイツ語等の言語をメタ的に分析する手法を身につけることで、言語学習の効率的な習得が可能になります。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	11/13	10:45-12:25		藤井 俊吾, 藤井 達夫
3-4	11/20	10:45-12:25		藤井 俊吾, 藤井 達夫
5-6	11/27	10:45-12:25		藤井 俊吾, 藤井 達夫
7-8	12/4	10:45-12:25		藤井 俊吾, 藤井 達夫
9-10	12/11	10:45-12:25		藤井 俊吾, 藤井 達夫
11-12	12/18	10:45-12:25		藤井 俊吾, 藤井 達夫
13-14	1/8	10:45-12:25		藤井 俊吾, 藤井 達夫

授業方法

導入としてドイツ語、及び生成文法に関する基本知識を講義形式で紹介した後、受講者の関心のあるトピックについて扱った文献についてディスカッションを行います。受講者には授業の中で文献紹介等の発表をして頂く予定です。

授業内容

第1回 オリエンテーション、ドイツ語の基本情報、関心のあるトピックの共有

第2回 生成文法の基礎知識

第3回 ドイツ語の語順①

第4回 ドイツ語の語順②

第5回 意味役割と格配列

第6回 話題化と抜き出し①

第7回 話題化と抜き出し②

成績評価の方法

評価 : 試験0%・レポート70%・その他(出席状況・授業参加などの平常点)30%

再評価: 有(試験)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

読んでおくべき文献等は授業中に適宜指示します。授業のスムーズな進行のため、予習は必ず済ませた上で授業に臨んでください。

時間割番号	004649				
科目名	教養基礎セミナー(フランス史)前半 1 講　竹下			科目 ID	
担当教員	竹下　和亮[TAKESHITA Kazuaki]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1		
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:　水曜　1 講

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

1-2、1-3、1-4、2-4、3-4、3-6

授業の目的、概要等

ローマ帝国の崩壊から現代までのフランスの歴史を概観します。

西洋史や世界史の知識がなくてもまったく問題はありません。

授業の到達目標

フランス史に関する基礎的な知識を習得することができる。

また、フランスを中心にヨーロッパ全体の歴史の流れを広く世界史の文脈 のなかで理解することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	9/18	08:50-10:30		竹下 和亮 藤井 達夫
3-4	9/25	08:50-10:30		竹下 和亮 藤井 達夫
5-6	10/2	08:50-10:30		竹下 和亮 藤井 達夫
7-8	10/9	08:50-10:30		竹下 和亮 藤井 達夫
9-10	10/16	08:50-10:30		竹下 和亮 藤井 達夫
11-12	10/23	08:50-10:30		竹下 和亮 藤井 達夫
13-14	10/30	08:50-10:30		竹下 和亮 藤井 達夫
15-16	11/6	08:50-10:30		竹下 和亮 藤井 達夫

授業方法

セミナー形式。受講者は事前に教科書の該当箇所を読み、コメントと質問を用意します。

授業では、それをもとに全体でディスカッションを行います。

授業内容

第 1 回 第 1 章、第 2 章

第 2 回 第 3 章、第 4 章

第 3 回 第 5 章、第 6 章

第 4 回 第 7 章、第 8 章

第 5 回 第 9 章、第 10 章

第 6 回 第 11 章、第 12 章

第 7 回 第 13 章、第 14 章

第 8 回 第 13 章、第 14 章

成績評価の方法

評価　:報告とディスカッション　　70　　% ・ レポート 30　% ・ その他(　　)　　%

再評価:　有

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

受講者は当該箇所のレジュメとコメントを作成し、授業に臨むこと。また配布資料は指定の期日までに読んでおくこと。

教科書

図説フランスの歴史／佐々木, 真, 1961-,佐々木真 著:河出書房新社, 2022.6

佐々木真『増補二版 図説フランスの歴史』河出書房新社、2022 年

参考書

授業中に適宜紹介します。

履修上の注意事項

授業の出席は単位取得の前提になります。 ディスカッションが主体の授業になりますので、カメラはオンにして、静かな環境で受講してください。教室は用意します。

時間割番号	004650				
科目名	教養基礎セミナー(フランス史)前半 2 講　竹下			科目 ID	
担当教員	竹下　和亮[TAKESHITA Kazuaki]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1		
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:　水曜　2 講

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

1-2、1-3、1-4、2-4、3-4、3-6

授業の目的、概要等

ローマ帝国の崩壊から現代までのフランスの歴史を概観します。

西洋史や世界史の知識がなくてもまったく問題はありません。

授業の到達目標

フランス史に関する基礎的な知識を習得することができる。

また、フランスを中心にヨーロッパ全体の歴史の流れを広く世界史の文脈 のなかで理解することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	9/18	10:45-12:25		竹下 和亮 藤井 達夫
3-4	9/25	10:45-12:25		竹下 和亮 藤井 達夫
5-6	10/2	10:45-12:25		竹下 和亮 藤井 達夫
7-8	10/9	10:45-12:25		竹下 和亮 藤井 達夫
9-10	10/16	10:45-12:25		竹下 和亮 藤井 達夫
11-12	10/23	10:45-12:25		竹下 和亮 藤井 達夫
13-14	10/30	10:45-12:25		竹下 和亮 藤井 達夫
15-16	11/6	10:45-12:25		竹下 和亮 藤井 達夫

授業方法

セミナー形式。受講者は事前に教科書の該当箇所を読み、コメントと質問を用意します。

授業では、それをもとに全体でディスカッションを行います。

授業内容

第 1 回 第 1 章、第 2 章

第 2 回 第 3 章、第 4 章

第 3 回 第 5 章、第 6 章

第 4 回 第 7 章、第 8 章

第 5 回 第 9 章、第 10 章

第 6 回 第 11 章、第 12 章

第 7 回 第 13 章、第 14 章

第 8 回 第 13 章、第 14 章

成績評価の方法

評価　:報告とディスカッション　　70　　% ・ レポート 30　% ・ その他(　　)　　%

再評価:　有

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

受講者は当該箇所のレジュメとコメントを作成し、授業に臨むこと。また配布資料は指定の期日までに読んでおくこと。

教科書

図説フランスの歴史／佐々木, 真, 1961-,佐々木真 著:河出書房新社, 2022.6

佐々木真『増補二版 図説フランスの歴史』河出書房新社、2022 年

参考書

授業中に適宜紹介します。

履修上の注意事項

授業の出席は単位取得の前提になります。 ディスカッションが主体の授業になりますので、カメラはオンにして、静かな環境で受講してください。教室は用意します。

時間割番号	004651				
科目名	教養基礎セミナー(フランス史)後半 1 講　竹下			科目 ID	
担当教員	竹下　和亮[TAKESHITA Kazuaki]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1		
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:　水曜　1 講

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

1-2、1-3、1-4、2-4、3-4、3-6

授業の目的、概要等

ローマ帝国の崩壊から現代までのフランスの歴史を概観します。

西洋史や世界史の知識がなくてもまったく問題はありません。

授業の到達目標

フランス史に関する基礎的な知識を習得することができる。

また、フランスを中心にヨーロッパ全体の歴史の流れを広く世界史の文脈 のなかで理解することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	11/13	08:50-10:30		竹下 和亮 藤井 達夫
3-4	11/20	08:50-10:30		竹下 和亮 藤井 達夫
5-6	11/27	08:50-10:30		竹下 和亮 藤井 達夫
7-8	12/4	08:50-10:30		竹下 和亮 藤井 達夫
9-10	12/11	08:50-10:30		竹下 和亮 藤井 達夫
11-12	12/18	08:50-10:30		竹下 和亮 藤井 達夫
13-14	1/8	08:50-10:30		竹下 和亮 藤井 達夫

授業方法

セミナー形式。受講者は事前に教科書の該当箇所を読み、コメントと質問を用意します。

授業では、それをもとに全体でディスカッションを行います。

授業内容

第 1 回 第 1 章、第 2 章

第 2 回 第 3 章、第 4 章

第 3 回 第 5 章、第 6 章

第 4 回 第 7 章、第 8 章

第 5 回 第 9 章、第 10 章

第 6 回 第 11 章、第 12 章

第 7 回 第 13 章、第 14 章

第 8 回 第 13 章、第 14 章

成績評価の方法

評価　:報告とディスカッション　　70　　% ・ レポート 30　% ・ その他(　　)　　%

再評価:　有

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

受講者は当該箇所のレジュメとコメントを作成し、授業に臨むこと。また配布資料は指定の期日までに読んでおくこと。

教科書

図説フランスの歴史／佐々木, 真, 1961-,佐々木真 著:河出書房新社, 2022.6

佐々木真『増補二版 図説フランスの歴史』河出書房新社、2022 年

参考書

授業中に適宜紹介します。

履修上の注意事項

授業の出席は単位取得の前提になります。 ディスカッションが主体の授業になりますので、カメラはオンにして、静かな環境で受講してください。教室は用意します。

時間割番号	004652				
科目名	教養基礎セミナー(フランス史)後半 2 講　竹下			科目 ID	
担当教員	竹下　和亮[TAKESHITA Kazuaki]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1		
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:　水曜　2 講

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

1-2、1-3、1-4、2-4、3-4、3-6

授業の目的、概要等

ローマ帝国の崩壊から現代までのフランスの歴史を概観します。

西洋史や世界史の知識がなくてもまったく問題はありません。

授業の到達目標

フランス史に関する基礎的な知識を習得することができる。

また、フランスを中心にヨーロッパ全体の歴史の流れを広く世界史の文脈 のなかで理解することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	11/13	10:45-12:25		竹下　和亮 藤井　達夫
3-4	11/20	10:45-12:25		竹下　和亮 藤井　達夫
5-6	11/27	10:45-12:25		竹下　和亮 藤井　達夫
7-8	12/4	10:45-12:25		竹下　和亮 藤井　達夫
9-10	12/11	10:45-12:25		竹下　和亮 藤井　達夫
11-12	12/18	10:45-12:25		竹下　和亮 藤井　達夫
13-14	1/8	10:45-12:25		竹下　和亮 藤井　達夫

授業方法

セミナー形式。受講者は事前に教科書の該当箇所を読み、コメントと質問を用意します。

授業では、それをもとに全体でディスカッションを行います。

授業内容

第 1 回 第 1 章、第 2 章

第 2 回 第 3 章、第 4 章

第 3 回 第 5 章、第 6 章

第 4 回 第 7 章、第 8 章

第 5 回 第 9 章、第 10 章

第 6 回 第 11 章、第 12 章

第 7 回 第 13 章、第 14 章

第 8 回 第 13 章、第 14 章

成績評価の方法

評価　:報告とディスカッション　　70　　% ・ レポート 30　% ・ その他(　　)　　%

再評価:　有

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

受講者は当該箇所のレジュメとコメントを作成し、授業に臨むこと。また配布資料は指定の期日までに読んでおくこと。

教科書

図説フランスの歴史／佐々木, 真, 1961-,佐々木真 著:河出書房新社, 2022.6

佐々木真『増補ニ版 図説フランスの歴史』河出書房新社、2022 年

参考書

授業中に適宜紹介します。

履修上の注意事項

授業の出席は単位取得の前提になります。 ディスカッションが主体の授業になりますので、カメラはオンにして、静かな環境で受講してください。教室は用意します。

時間割番号	004653			
科目名	教養基礎セミナー(中国語と中国文化)前半１講　包		科目ID	
担当教員	BAO　MIN[BAO Min]			
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

・曜日・時間:水曜1講　・対象学科:全学科

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表1−1)言語を通した人間の創造的営みを理解する

別表1−3)人間の歴史的営みを理解する

別表1−4)異なる空間の文化を理解する

別表3−4)外国文化を理解する

授業の目的、概要等

言語は文化のキャリヤーであります。民族、国家、社会制度、経済形態、価値観念、思考方式、風俗習慣等はそのいずれをとっても言語に反映されないものはないです。本授業では、中国語の語音と中国文化、漢字と中国文化、中国語の語彙と中国文化、中国語の文法と中国文化、中国語の数字と中国文化、氏名・別称・地名と中国文化、中国語と中国の生活風俗に関する内容などを紹介します。中国語の短文と共に、日本語訳を配付して解説するので、中国語履修者でなくても、中国文化に興味があれば受講できます。

授業の到達目標

授業を通して、中国語と中国文化の関係を理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	9/18	08:50-10:30		第1回　授業の概要説明、中国語の語音と中国文化	諧音による置換と縁起かつぎ、諧音と言葉の改造	BAO　MIN	中国語における諧音現象が理解できる。日本語における類似現象についてグループディスカッション　リアクションペーパーを用いた質疑応答
3-4	9/25	08:50-10:30		第2回　漢字と中国文化	文字に関する迷信と崇拝について漢字から見た古代女性の社会的地位	BAO　MIN	例をあげて漢字と中国文化が説明できる。日本語における類似現象についてグループディスカッション　リアクションペーパーを用いた質疑応答
5-6	10/2	08:50-10:30		第3回　中国語の語彙と中国文化①	語彙と科挙制度①	BAO　MIN	「状元、挙人と秀才」が説明できる。　リアクションペーパーを用いた質疑応答
7-8	10/9	08:50-10:30		第4回　中国語の語彙と中国文化②	語彙と科挙制度②	BAO　MIN	中国における科挙制度の歴史が

							説明できる。ある意味では科挙制度の現代版である「高考」の知識を得る。 リアクションペーパーを用いた質疑応答
9-10	10/16	08:50-10:30		第5回 中国語の数字と中国文化	中国語の中の数字文化	BAO MIN	中国語の数字文化が説明できる。日本語における類似現象についてグループディスカッション リアクションペーパーを用いた質疑応答
11-12	10/23	08:50-10:30		第6回 氏名・別称・地名と中国文化	中国人の姓氏と姓氏観念 地名と文化	BAO MIN	中国人の姓氏と姓氏観念が説明できる。中国の地名の由来が解釈できる。日本語における類似現象についてグループディスカッション リアクションペーパーを用いた質疑応答
13-14	10/30	08:50-10:30		第7回 中国語と中国の生活風俗	食の問題及び関連する言語現象、婚姻と婚姻に関連する言語現象	BAO MIN	食の問題及び関連する言語現象、婚姻と婚姻に関連する言語現象が説明できる。リアクションペーパーを用いた質疑応答
15-16	11/6	08:50-10:30		第8回 まとめ	これまでの内容を振り返り、中国語と中国文化の関係について教場レポートを作成する。	BAO MIN	

授業方法

講義と演習による。

事前にプリントを渡し、関連内容を調べておくこと。毎回2，3の短文を購読する。教員が説明を行い、クラスで討論を行う。毎回授業終了時に、各自が新しく学んだことや疑問に思ったことをリアクションペーパーに書いて提出し、フィードバックする。

授業内容

第1回 授業の概要説明、中国語の語音と中国文化

第2回 漢字と中国文化

第3回 中国語の語彙と中国文化①

第4回 中国語の語彙と中国文化②

第5回 中国語の数字と中国文化

第6回　氏名・別称・地名と中国文化
第7回　中国語と中国の生活風俗
第8回　まとめ

成績評価の方法

レポート 60% ・ その他(授業への参加度)40%
再評価:有

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

毎回プリントを配布する。中国語の原文を使い、日本語で説明するが、事前に参考書などを使い、授業内容に関する資料を準備し、まとめておくこと。

試験の受験資格

2/3以上出席したものに、レポート提出の資格を与える。

教科書

魯宝元著(2006)『漢語與中国文化』、華語教学出版社
プリントを配布します。

参考書

中国文化 55 のキーワード／武田雅哉, 加部勇一郎, 田村容子 編著,武田, 雅哉, 1958-,加部, 勇一郎, 1973-,田村, 容子, 1975-,:ミネルヴァ書房, 2016
テーマで読み解く中国の文化／湯浅邦弘編著,湯浅, 邦弘,宮本, 一夫,横田, 恭三,中村, 未来,佐藤, 一好,宇田川, 幸則,古田, 茂美,浅見, 洋二,谷口, 高志,草野, 友子,福田, 一也,鶴成, 久章,椛島, 雅弘,川野, 明正,近藤, 浩之,渡邉, 英幸,町, 泉寿郎,合山, 林太郎,陶, 徳民,柿沼, 陽平,:ミネルヴァ書房, 2016
中国百科／中国国際放送局日本語部編訳 ; 王丹丹 [ほか] 翻訳,北京放送局日本語部,王, 丹丹,:科学出版社東京, 2016

履修上の注意事項

原則 3 分の 2 以上出席すること

連絡先(メールアドレス)

BAO MIN:minbao.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

BAO MIN:水曜日 12:30～13:00 管理研究棟 3 階 研究室

時間割番号	004654				
科目名	教養基礎セミナー(中国語と中国文化)前半 2 講 包			**科目 ID**	
担当教員	BAO MIN[BAO Min]				
開講時期	2024 年度後期	**対象年次**	1		
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間:水曜1講 ・対象学科:全学科

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表1−1)言語を通した人間の創造的営みを理解する

別表1−3)人間の歴史的営みを理解する

別表1−4)異なる空間の文化を理解する

別表3−4)外国文化を理解する

授業の目的、概要等

言語は文化のキャリヤーであります。民族、国家、社会制度、経済形態、価値観念、思考方式、風俗習慣等はそのいずれをとっても言語に反映されないものはないです。本授業では、中国語の語音と中国文化、漢字と中国文化、中国語の語彙と中国文化、中国語の文法と中国文化、中国語の数字と中国文化、氏名・別称・地名と中国文化、中国語と中国の生活風俗に関する内容などを紹介します。中国語の短文と共に、日本語訳を配付して解説するので、中国語履修者でなくても、中国文化に興味があれば受講できます。

授業の到達目標

授業を通して、中国語と中国文化の関係を理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	9/18	10:45-12:25		第1回 授業の概要説明、中国語の語音と中国文化	諧音による置換と縁起かつぎ、諧音と言葉の改造	BAO MIN	中国語における諧音現象が理解できる。日本語における類似現象についてグループディスカッション 、 リアクションペーパーを用いた質疑応答
3-4	9/25	10:45-12:25		第2回 漢字と中国文化	文字に関する迷信と崇拝について漢字から見た古代女性の社会的地位	BAO MIN	例をあげて漢字と中国文化が説明できる。日本語における類似現象についてグループディスカッション 、リアクションペーパーを用いた質疑応答
5-6	10/2	10:45-12:25		第3回 中国語の語彙と中国文化①	語彙と科挙制度①	BAO MIN	「状元、挙人と秀才」が説明できる。リアクションペーパーを用いた質疑応答
7-8	10/9	10:45-12:25		第4回 中国語の語彙と中国文化②	語彙と科挙制度②	BAO MIN	中国における科挙制度の歴史が

							説明できる。ある意味では科挙制度の現代版である「高考」の知識を得る。 リアクションペーパーを用いた質疑応答
9-10	10/16	10:45-12:25		第5回 中国語の数字と中国文化	中国語の中の数字文化	BAO MIN	中国語の数字文化が説明できる。日本語における類似現象についてグループディスカッション 、リアクションペーパーを用いた質疑応答
11-12	10/23	10:45-12:25		第6回 氏名・別称・地名と中国文化	中国人の姓氏と姓氏観念 地名と文化	BAO MIN	中国人の姓氏と姓氏観念が説明できる。中国の地名の由来が解釈できる。日本語における類似現象についてグループディスカッション、リアクションペーパーを用いた質疑応答
13-14	10/30	10:45-12:25		第7回 中国語と中国の生活風俗	食の問題及び関連する言語現象、婚姻と婚姻に関連する言語現象	BAO MIN	食の問題及び関連する言語現象、婚姻と婚姻に関連する言語現象が説明できる。リアクションペーパーを用いた質疑応答
15-16	11/6	10:45-12:25		第8回 まとめ	これまでの内容を振り返り、中国語と中国文化の関係について教場レポートを作成する。	BAO MIN	

授業方法

講義と演習による。

事前にプリントを渡し、関連内容を調べておくこと。毎回2，3の短文を購読する。教員が説明を行い、クラスで討論を行う。毎回授業終了時に、各自が新しく学んだことや疑問に思ったことをリアクションペーパーに書いて提出し、フィードバックする。

授業内容

第1回 授業の概要説明、中国語の語音と中国文化

第2回 漢字と中国文化

第3回 中国語の語彙と中国文化①

第4回 中国語の語彙と中国文化②

第5回 中国語の数字と中国文化

第6回　氏名・別称・地名と中国文化
第7回　中国語と中国の生活風俗
第8回　まとめ

成績評価の方法

レポート 60% ・ その他(授業への参加度)40%
再評価:有

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

毎回プリントを配布する。中国語の原文を使い、日本語で説明するが、事前に参考書などを使い、授業内容に関する資料を準備し、まとめておくこと。

試験の受験資格

2/3以上出席したものに、レポート提出の資格を与える。

教科書

魯宝元著(2006)『漢語與中国文化』、華語教学出版社
プリントを配布します。

参考書

中国文化 55 のキーワード／武田雅哉, 加部勇一郎, 田村容子 編著,武田, 雅哉, 1958-,加部, 勇一郎, 1973-,田村, 容子, 1975-,:ミネルヴァ書房, 2016
テーマで読み解く中国の文化／湯浅邦弘編著,湯浅, 邦弘,宮本, 一夫,横田, 恭三,中村, 未来,佐藤, 一好,宇田川, 幸則,古田, 茂美,浅見, 洋二,谷口, 高志,草野, 友子,福田, 一也,鶴成, 久章,椛島, 雅弘,川野, 明正,近藤, 浩之,渡邉, 英幸,町, 泉寿郎,合山, 林太郎,陶, 徳民,柿沼, 陽平,:ミネルヴァ書房, 2016
中国百科／中国国際放送局日本語部編訳 ; 王丹丹 [ほか] 翻訳,北京放送局日本語部,王, 丹丹,:科学出版社東京, 2016

履修上の注意事項

原則 3 分の 2 以上出席すること

連絡先(メールアドレス)

BAO　MIN:minbao.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

BAO　MIN:水曜日　12:30～13:00　管理研究棟 3 階　研究室

時間割番号	004655				
科目名	教養基礎セミナー(中国社会の現在)後半１講　包			**科目ID**	
担当教員	BAO　MIN[BAO Min]				
開講時期	2024 年度後期	**対象年次**	1		
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:水曜1講　・対象学科:全学科

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表1−2)社会制度や仕組みについての基本を理解する

別表1−4)異なる空間の文化を理解する

別表3−4)外国文化を理解する

別表3−5)国際情勢を理解する

授業の目的、概要等

映像と資料を使いながら、中国の政治・経済・社会に関する最新のトピックを紹介します。本講義を通して現代中国のありのままの姿を理解することを目指します。日本語の資料を使うので、中国語履修者でなくても、中国社会に興味があれば受講できます。

授業の到達目標

授業を通して、中国社会を理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	11/13	08:50-10:30		第1回　授業の概要説明	オリエンテーション、トピックの担当を決める、中国の概要	BAO　MIN	中国社会の概要が説明できる。リアクションペーパーを用いた質疑応答
3-4	11/20	08:50-10:30		第2回　中国の素顔	三期目の習近平政権の特徴	BAO　MIN	三期目に入った習近平政権の政策の方向性が説明できる。グループディスカッション、リアクションペーパーを用いた質疑応答
5-6	11/27	08:50-10:30		第3回　米中関係	“アメリカVS中国”未来の覇権争い、米中貿易戦争	BAO　MIN	米中覇権争いの背景が説明できる。グループディスカッション、リアクションペーパーを用いた質疑応答
7-8	12/4	08:50-10:30		第4回　一帯一路の大望とリスク	巨大経済圏構想の実態	BAO　MIN	一帯一路の背景が説明できる。一帯一路の動向が認識できる。グループディスカッション、リアクションペーパーを用い

							た質疑応
9-10	12/11	08:50-10:30		第5回 実験都市 深圳	メイド イン チャイナの行方	BAO MIN	中国におけるデジタル社会の現状が認識できる。グループディスカッション、リアクションペーパーを用いた質疑応答
11-12	12/18	08:50-10:30		第6回 加速する少子高齢化社会の実態	日本と中国の少子高齢化の比較	BAO MIN	日本と中国における少子高齢化の背景および実態が説明できる。グループディスカッション、リアクションペーパーを用いた質疑応答
13-14	1/8	08:50-10:30		第7回 まとめ	課題に関する報告	BAO MIN	これまでの授業を振り返り、現代中国社会のありのままの姿が認識できる。グループディスカッション、リアクションペーパーを用いた質疑応答

授業方法

講義と演習による。

事前にプリントを渡し、関連内容を調べておくこと。毎回2，3の短文を購読する。教員が説明を行い、クラスで討論を行う。毎回授業終了時に、各自が新しく学んだことや疑問に思ったことをリアクションペーパーに書いて提出し、フィードバックする。

授業内容

第1回 授業の概要説明
第2回 中国の素顔
第3回 米中関係
第4回 一帯一路の大望とリスク
第5回 実験都市 深圳
第6回 加速する少子高齢化社会の実態
第7回 まとめ

成績評価の方法

レポート 60% ・ その他(授業への参加度)40%

再評価:有

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

事前に参考書などを使い、授業内容に関する資料を準備し、まとめておくこと。

試験の受験資格

2/3以上出席したものに、レポート提出の資格を与える。

教科書

:明石書店

:小学館

参考書

現代中国を知るための 52 章／藤野彰 編著,藤野, 彰, 1955–,:明石書店, 2018

習近平が変えた中国／天児慧 編著,茅原郁生, 関志雄, 佐藤考一, 中兼和津次, 菱田雅晴, 毛里和子 著,天児, 慧, 1947–,茅原, 郁生, 1938–,関, 志雄, 1957–,佐藤, 考一, 1960–,:小学館, 2018

幸福な監視国家・中国／梶谷懐, 高口康太 著,梶谷, 懐, 1970–,高口, 康太, 1976–,:NHK 出版, 2019

中国「強国復権」の条件 :「一帯一路」の大望とリスク／柯隆 著,柯, 隆, 1963–,:慶應義塾大学出版会, 2018

習近平の中国／川島真, 小嶋華津子編,川島, 真,小嶋, 華津子,:東京大学出版会, 2022

履修上の注意事項

原則 3 分の 2 以上出席すること

連絡先(メールアドレス)

BAO MIN:minbao.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

BAO MIN:水曜日 12:30～13:00 管理研究棟 3 階 研究室

時間割番号	004656				
科目名	教養基礎セミナー(中国社会の現在)後半 2 講　包			**科目 ID**	
担当教員	BAO　MIN[BAO Min]				
開講時期	2024 年度後期	**対象年次**	1		
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:水曜2講　・対象学科:全学科

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表1−2)社会制度や仕組みについての基本を理解する

別表1−4)異なる空間の文化を理解する

別表3−4)外国文化を理解する

別表3−5)国際情勢を理解する

授業の目的、概要等

映像と資料を使いながら、中国の政治・経済・社会に関する最新のトピックを紹介します。本講義を通して現代中国のありのままの姿を理解することを目指します。日本語の資料を使うので、中国語履修者でなくても、中国社会に興味があれば受講できます。

授業の到達目標

授業を通して、中国社会を理解する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	11/13	10:45-12:25		第1回　授業の概要説明	オリエンテーション、トピックの担当を決める、中国の概要	BAO　MIN	中国社会の概要が説明できる。リアクションペーパーを用いた質疑応答
3-4	11/20	10:45-12:25		第2回　中国の素顔	三期目の習近平政権の特徴	BAO　MIN	三期目に入った習近平政権の政策の方向性が説明できる。グループディスカッション、リアクションペーパーを用いた質疑応答
5-6	11/27	10:45-12:25		第3回　米中関係	“アメリカVS中国”未来の覇権争い、米中貿易戦争	BAO　MIN	米中覇権争いの背景が説明できる。グループディスカッション、リアクションペーパーを用いた質疑応答
7-8	12/4	10:45-12:25		第4回　一帯一路の大望とリスク	巨大経済圏構想の実態	BAO　MIN	一帯一路の背景が説明できる。一帯一路の動向が認識できる。グループディスカッション、リアクションペーパーを用い

							た質疑応答
9-10	12/11	10:45-12:25		第5回 実験都市 深圳	メイド イン チャイナの行方	BAO MIN	中国におけるデジタル社会の現状が認識できる。グループディスカッション、リアクションペーパーを用いた質疑応答
11-12	12/18	10:45-12:25		第6回 加速する少子高齢化社会の実態	日本と中国の少子高齢化の比較	BAO MIN	日中における少子高齢化の背景および実態が説明できる。グループディスカッション、リアクションペーパーを用いた質疑応答
13-14	1/8	10:45-12:25		第7回 まとめ	課題に関する報告	BAO MIN	これまでの授業を振り返り、現代中国社会のありのままの姿が認識できる。グループディスカッション、リアクションペーパーを用いた質疑応答

授業方法

講義と演習による。

事前にプリントを渡し、関連内容を調べておくこと。毎回2，3の短文を購読する。教員が説明を行い、クラスで討論を行う。毎回授業終了時に、各自が新しく学んだことや疑問に思ったことをリアクションペーパーに書いて提出し、フィードバックする。

授業内容

第1回 授業の概要説明
第2回 中国の素顔
第3回 米中関係
第4回 一帯一路の大望とリスク
第5回 実験都市 深圳
第6回 加速する少子高齢化社会の実態
第7回 まとめ

成績評価の方法

レポート 60% ・ その他(授業への参加度)40%

再評価:有

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

事前に参考書などを使い、授業内容に関する資料を準備し、まとめておくこと。

試験の受験資格

2/3以上出席したものに、レポート提出の資格を与える。

教科書

:明石書店

:小学館

参考書

現代中国を知るための 52 章／藤野彰 編著,藤野, 彰, 1955–,:明石書店, 2018

習近平が変えた中国／天児慧 編著,茅原郁生, 関志雄, 佐藤考一, 中兼和津次, 菱田雅晴, 毛里和子 著,天児, 慧, 1947–,茅原, 郁生, 1938–,関, 志雄, 1957–,佐藤, 考一, 1960–,:小学館, 2018

幸福な監視国家・中国／梶谷懐, 高口康太 著,梶谷, 懐, 1970–,高口, 康太, 1976–,:NHK 出版, 2019

中国「強国復権」の条件 :「一帯一路」の大望とリスク／柯隆 著,柯, 隆, 1963–,:慶應義塾大学出版会, 2018

習近平の中国／川島真, 小嶋華津子編,川島, 真,小嶋, 華津子,:東京大学出版会, 2022

履修上の注意事項

原則 3 分の 2 以上出席すること

連絡先(メールアドレス)

BAO MIN:minbao.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

BAO MIN:水曜日 12:30～13:00 管理研究棟 3 階 研究室

時間割番号	004657				
科目名	教養基礎セミナー(『人新世の「資本論」』を手掛かりに、環境問題について考える)前半 1 講 藤井			科目 ID	
担当教員	藤井 達夫[FUJII Tatsuo]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1		
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:水曜 1 講(前半)

対象学科: 全学科

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表 1-2)社会制度や仕組みについての基本を理解する

別表 1-3)人間の歴史的営みを理解する

授業の目的、概要等

「人新世」というを地質学の言葉を手掛かりに、人類が現在直面している危機の本質について考える。特に、自然環境の保護と資本主義という経済のあり方とが両立可能であるかについて焦点を当てる。

授業の到達目標

・一冊のテキストを読み切ることができる。

・読んだ内容を分かりやすくプレゼンテーションでき、ディスカッションの論題を提起できる。

・他の履修生の議論を傾聴し、適切な応答ができる。

・現代社会のあり方について考え、意見を表明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	9/18	08:50-10:30		イントロダクション	・授業の進め方の説明 ・科学技術社会論についての説明	藤井 達夫	到達目標:授業の進め方について理解する。 学習方法:講義とディスカッション
3-4	9/25	08:50-10:30		第 1 章:気候変動と帝国的生活様式 気候変動が文明を危機に／フロンティアの消滅—市場と環境の二重の限界にぶつかる資本主義	テキストの輪読	藤井 達夫	到達目標:当該範囲の内容について、ディスカッションを通して理解を深めることができる。当該範囲の内容について、意見を述べられる。 学習方法:プレゼンテーションとディスカッション
5-6	10/2	08:50-10:30		第 2 章:気候ケインズ主義の限界 二酸化炭素排出と経済成長は切り離せない	テキストの輪読	藤井 達夫	到達目標:当該範囲の内容について、ディスカッションを通して理解を深めることができる。当該範囲の内容について、意見を述べられる。

							学習方法:プレゼンテーションとディスカッション
7-8	10/9	08:50-10:30		第3章:資本主義システムでの脱成長を撃つ なぜ資本主義では脱成長は不可能なのか	テキストの輪読	藤井 達夫	到達目標:当該範囲の内容について、ディスカッションを通して理解を深めることができる。当該範囲の内容について、意見を述べられる。 学習方法:プレゼンテーションとディスカッション
9-10	10/16	08:50-10:30		第5章:加速主義という現実逃避　生産力至上主義が生んだ幻想／資本の「包摂」によって無力になる私たち	テキストの輪読	藤井 達夫	到達目標:当該範囲の内容について、ディスカッションを通して理解を深めることができる。当該範囲の内容について、意見を述べられる。 学習方法:プレゼンテーションとディスカッション
11-12	10/23	08:50-10:30		第6章:欠乏の資本主義、潤沢なコミュニズム 貧しさの原因は資本主義	テキストの輪読	藤井 達夫	到達目標:当該範囲の内容について、ディスカッションを通して理解を深めることができる。当該範囲の内容について、意見を述べられる。 学習方法:プレゼンテーションとディスカッション
13-14	10/30	08:50-10:30		第7章:脱成長コミュニズムが世界を救う　コロナ禍も「人新世」の産物／脱成長コミュニズムとは何か	テキストの輪読	藤井 達夫	到達目標:当該範囲の内容について、ディスカッションを通して理解を深めることができる。当該範囲の内容について、意見を述べられる。 学習方法:プレゼンテーションとディスカッション
15-16	11/6	08:50-10:30		まとめ	全体をとおしてのディスカッション	藤井 達夫	到達目標:テキス

							トの内容を総括し、自分の見解を述べることができる。学習方法:プレゼンテーションとディスカッション

授業方法

この授業はセミナー形式で行われます。今年度は、斎藤幸平『人新世の「資本論」』（集英社新書、2020 年）を輪読します。履修生のプレゼンテーションとディスカッションによって授業は進められます。

授業内容

授業細目を参照。

成績評価の方法

授業内でのプレゼンテーション 60%＋授業への参加度 40%

再評価:有(レポート)

成績評価の基準

到達目標の達成度合いによる。

準備学習等についての具体的な指示

・テキストの指定された範囲を読んで授業に参加すること。

・プレゼンテーションの準備をすること。

試験の受験資格

授業回数に対して、2/3 以上の出席があること。

教科書

人新世の「資本論」／斎藤, 幸平, 1987-,斎藤幸平 著:集英社, 2020.9

参考書

授業内で適宜紹介します。

履修上の注意事項

授業への積極的なコミットメントが求められます。

連絡先(メールアドレス)

fujii.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週月曜日 12:00—13:00(管理棟 2 階)

時間割番号	004658				
科目名	教養基礎セミナー(『人新世の「資本論」』を手掛かりに、環境問題について考える)前半 2 講 藤井			科目 ID	
担当教員	藤井 達夫[FUJII Tatsuo]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1		
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:水曜 2 講(前半)

対象学科: 全学科

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表 1-2)社会制度や仕組みについての基本を理解する

別表 1-3)人間の歴史的営みを理解する

授業の目的、概要等

「人新世」というを地質学の言葉を手掛かりに、人類が現在直面している危機の本質について考える。特に、自然環境の保護と資本主義という経済のあり方とが両立可能であるかについて焦点を当てる。

授業の到達目標

・一冊のテキストを読み切ることができる。

・読んだ内容を分かりやすくプレゼンテーションでき、ディスカッションの論題を提起できる。

・他の履修生の議論を傾聴し、適切な応答ができる。

・現代社会のあり方について考え、意見を表明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	9/18	10:45-12:25		イントロダクション	・授業の進め方の説明 ・科学技術社会論についての説明	藤井 達夫	到達目標:授業の進め方について理解する。 学習方法:講義とディスカッション
3-4	9/25	10:45-12:25		第 1 章:気候変動と帝国的生活様式 気候変動が文明を危機に／フロンティアの消滅—市場と環境の二重の限界にぶつかる資本主義	テキストの輪読	藤井 達夫	到達目標:当該範囲の内容について、ディスカッションを通して理解を深めることができる。当該範囲の内容について、意見を述べられる。 学習方法:プレゼンテーションとディスカッション
5-6	10/2	10:45-12:25		第 2 章:気候ケインズ主義の限界 二酸化炭素排出と経済成長は切り離せない	テキストの輪読	藤井 達夫	到達目標:当該範囲の内容について、ディスカッションを通して理解を深めることができる。当該範囲の内容について、意見を述べられる。

							学習方法:プレゼンテーションとディスカッション
7-8	10/9	10:45-12:25		第3章:資本主義システムでの脱成長を撃つ なぜ資本主義では脱成長は不可能なのか	テキストの輪読	藤井 達夫	到達目標:当該範囲の内容について、ディスカッションを通して理解を深めることができる。当該範囲の内容について、意見を述べられる。 学習方法:プレゼンテーションとディスカッション
9-10	10/16	10:45-12:25		第5章:加速主義という現実逃避　生産力至上主義が生んだ幻想／資本の「包摂」によって無力になる私たち	テキストの輪読	藤井 達夫	到達目標:当該範囲の内容について、ディスカッションを通して理解を深めることができる。当該範囲の内容について、意見を述べられる。 学習方法:プレゼンテーションとディスカッション
11-12	10/23	10:45-12:25		第6章:欠乏の資本主義、潤沢なコミュニズム 貧しさの原因は資本主義	テキストの輪読	藤井 達夫	到達目標:当該範囲の内容について、ディスカッションを通して理解を深めることができる。当該範囲の内容について、意見を述べられる。 学習方法:プレゼンテーションとディスカッション
13-14	10/30	10:45-12:25		第7章:脱成長コミュニズムが世界を救う　コロナ禍も「人新世」の産物／脱成長コミュニズムとは何か	テキストの輪読	藤井 達夫	到達目標:当該範囲の内容について、ディスカッションを通して理解を深めることができる。当該範囲の内容について、意見を述べられる。 学習方法:プレゼンテーションとディスカッション
15-16	11/6	10:45-12:25		まとめ	全体をとおしてのディスカッション	藤井 達夫	到達目標:テキス

							トの内容を総括し、自分の見解を述べることができる。学習方法:プレゼンテーションとディスカッション

授業方法

この授業はセミナー形式で行われます。今年度は、斎藤幸平『人新世の「資本論」』（集英社新書、2020 年）を輪読します。履修生のプレゼンテーションとディスカッションによって授業は進められます。

授業内容

授業細目を参照。

成績評価の方法

授業内でのプレゼンテーション 60%＋授業への参加度 40%

再評価:有(レポート)

成績評価の基準

到達目標の達成度合いによる。

準備学習等についての具体的な指示

・テキストの指定された範囲を読んで授業に参加すること。

・プレゼンテーションの準備をすること。

試験の受験資格

授業回数に対して、2/3 以上の出席があること。

教科書

人新世の「資本論」／斎藤, 幸平, 1987-,斎藤幸平 著:集英社, 2020.9

参考書

授業内で適宜紹介します。

履修上の注意事項

授業への積極的なコミットメントが求められます。

連絡先(メールアドレス)

fujii.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週月曜日 12:00—13:00(管理棟 2 階)

時間割番号	004659			
科目名	教養基礎セミナー(科学技術の不確実性について考える)後半 1 講 藤井(達)		**科目 ID**	
担当教員	藤井　達夫[FUJII Tatsuo]			
開講時期	2024 年度後期	**対象年次**	1	
実務経験のある教員による授業				

曜日・時間:水曜 1 講(後半)

対象学科:　全学科

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表 1-2)社会制度や仕組みについての基本を理解する

別表 1-3)人間の歴史的営みを理解する

別表 1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる

授業の目的、概要等

科学技術社会論の古典を読むことで、科学技術の社会的な意味や科学技術の不確実性について理解し、自らの意見を涵養する。

授業の到達目標

・一冊のテキストを読み切ることができる。

・読んだ内容を分かりやすくプレゼンテーションでき、ディスカッションの論題を提起できる。

・他の履修生の議論を傾聴し、適切な応答ができる。

・科学技術の社会的な意味や科学技術の不確実性について考え、意見を表明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	11/13	08:50-10:30		イントロダクション	・授業の進め方の説明　・科学技術社会論についての説明	藤井　達夫	到達目標:授業の進め方について理解する　学習方法:講義とディスカッション
3-4	11/20	08:50-10:30		「序論　技術のゴーレム」を読む	テキストの輪読	藤井　達夫	到達目標:当該範囲の内容について、ディスカッションを通して理解を深めることができる。当該範囲の内容について、意見を述べられる。学習方法:プレゼンテーションとディスカッション
5-6	11/27	08:50-10:30		「1 章　鮮やかな撃墜？湾岸戦争におけるパトリオット・ミサイルの役割」を読む①	テキストの輪読	藤井　達夫	到達目標:当該範囲の内容について、ディスカッションを通して理解を深めることができる。当該範囲の内容について、意見

							を述べられる。 学習方法:プレゼンテーションとディスカッション
7-8	12/4	08:50-10:30		「1 章 鮮やかな撃墜？湾岸戦争におけるパトリオット・ミサイルの役割」を読む②	テキストの輪読	藤井 達夫	到達目標:当該範囲の内容について、ディスカッションを通して理解を深めることができる。当該範囲の内容について、意見を述べられる。 学習方法:プレゼンテーションとディスカッション
9-10	12/11	08:50-10:30		「2 章 裸にされた打ち上げ チャレンジャー号爆発の責任を帰すこと」を読む①	テキストの輪読	藤井 達夫	到達目標:当該範囲の内容について、ディスカッションを通して理解を深めることができる。当該範囲の内容について、意見を述べられる。 学習方法:プレゼンテーションとディスカッション
11-12	12/18	08:50-10:30		「2 章 裸にされた打ち上げ チャレンジャー号爆発の責任を帰すこと」を読む②	テキストの輪読	藤井 達夫	到達目標:当該範囲の内容について、ディスカッションを通して理解を深めることができる。当該範囲の内容について、意見を述べられる。 学習方法:プレゼンテーションとディスカッション
13-14	1/8	08:50-10:30		「6 章 子羊の科学 チェルノブイリとカンブリア地方の牧羊農夫たち」を読む	テキストの輪読	藤井 達夫	到達目標:当該範囲の内容について、ディスカッションを通して理解を深めることができる。当該範囲の内容について、意見を述べられる。 学習方法:プレゼンテーションとディスカッション

授業方法

この授業はセミナー形式で行われます。今年度は、H.コリンズ/T.ピンチ『解放されたゴーレム:科学技術の不確実性について』を輪読します。履修生のプレゼンテーションとディスカッションによって授業は進められます。

授業内容

授業細目を参照。

成績評価の方法

授業内でのプレゼンテーション 60%＋授業への参加度 40%

再評価:有(レポート)

成績評価の基準

到達目標の達成度合いによる。

準備学習等についての具体的な指示

・テキストの指定された範囲を読んで授業に参加すること。

・プレゼンテーションを準備すること。

試験の受験資格

授業回数に対して、2/3 以上の出席があること。

教科書

解放されたゴーレム : 科学技術の不確実性について／ハリー・コリンズ, トレヴァー・ピンチ著 ; 村上陽一郎, 平川秀幸訳Collins, H. M. (Harry M.),Pinch, T. J. (Trevor J.),村上, 陽一郎,平川, 秀幸,:筑摩書房, 2020

参考書

授業内で適宜紹介します。

備考

授業への積極的なコミットメントが求められます。

連絡先(メールアドレス)

fujii.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週月曜日 12:00—13:00(管理棟 2 階)

時間割番号	004660				
科目名	教養基礎セミナー(科学技術の不確実性について考える)後半 2 講 藤井(達)			科目 ID	
担当教員	藤井　達夫[FUJII Tatsuo]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1		
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:水曜 2 講(後半)

対象学科:　全学科

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表 1-2)社会制度や仕組みについての基本を理解する

別表 1-3)人間の歴史的営みを理解する

別表 1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる

授業の目的、概要等

科学技術社会論の古典を読むことで、科学技術の社会的な意味や科学技術の不確実性について理解し、自らの意見を涵養する。

授業の到達目標

・一冊のテキストを読み切ることができる。

・読んだ内容を分かりやすくプレゼンテーションでき、ディスカッションの論題を提起できる。

・他の履修生の議論を傾聴し、適切な応答ができる。

・科学技術の社会的な意味や科学技術の不確実性について考え、意見を表明できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	11/13	10:45-12:25		イントロダクション	・授業の進め方の説明　・科学技術社会論についての説明	藤井　達夫	到達目標:授業の進め方について理解する　学習方法:講義とディスカッション
3-4	11/20	10:45-12:25		「序論　技術のゴーレム」を読む	テキストの輪読		到達目標:当該範囲の内容について、ディスカッションを通して理解を深めることができる。当該範囲の内容について、意見を述べられる。学習方法:プレゼンテーションとディスカッション
5-6	11/27	10:45-12:25		「1 章　鮮やかな撃墜？湾岸戦争におけるパトリオット・ミサイルの役割」を読む①	テキストの輪読		到達目標:当該範囲の内容について、ディスカッションを通して理解を深めることができる。当該範囲の内容について、意見を述べられる。

							学習方法:プレゼンテーションとディスカッション
7-8	12/4	10:45-12:25		「1 章 鮮やかな撃墜？湾岸戦争におけるパトリオット・ミサイルの役割」を読む②	テキストの輪読		到達目標:当該範囲の内容について、ディスカッションを通して理解を深めることができる。当該範囲の内容について、意見を述べられる。 学習方法:プレゼンテーションとディスカッション
9-10	12/11	10:45-12:25		「2 章 裸にされた打ち上げ チャレンジャー号爆発の責任を帰すこと」を読む①	テキストの輪読		到達目標:当該範囲の内容について、ディスカッションを通して理解を深めることができる。当該範囲の内容について、意見を述べられる。 学習方法:プレゼンテーションとディスカッション
11-12	12/18	10:45-12:25		「2 章 裸にされた打ち上げ チャレンジャー号爆発の責任を帰すこと」を読む②	テキストの輪読		到達目標:当該範囲の内容について、ディスカッションを通して理解を深めることができる。当該範囲の内容について、意見を述べられる。 学習方法:プレゼンテーションとディスカッション
13-14	1/8	10:45-12:25		「6 章 子羊の科学 チェルノブイリとカンブリア地方の牧羊農夫たち」を読む	テキストの輪読		到達目標:当該範囲の内容について、ディスカッションを通して理解を深めることができる。当該範囲の内容について、意見を述べられる。 学習方法:プレゼンテーションとディスカッション
授業方法							

この授業はセミナー形式で行われます。今年度は、H.コリンズ/T.ピンチ『解放されたゴーレム：科学技術の不確実性について』を輪読します。履修生のプレゼンテーションとディスカッションによって授業は進められます。

授業内容

授業細目を参照。

成績評価の方法

授業内でのプレゼンテーション 60%＋授業への参加度 40%

再評価：有（レポート）

成績評価の基準

到達目標の達成度合いによる。

準備学習等についての具体的な指示

・テキストの指定された範囲を読んで授業に参加すること。

・プレゼンテーションを準備すること。

試験の受験資格

授業回数に対して、2/3 以上の出席があること。

教科書

解放されたゴーレム ： 科学技術の不確実性について／ハリー・コリンズ, トレヴァー・ピンチ著 ； 村上陽一郎, 平川秀幸訳Collins, H. M. (Harry M.),Pinch, T. J. (Trevor J.),村上, 陽一郎,平川, 秀幸,：筑摩書房, 2020

参考書

授業内で適宜紹介します。

履修上の注意事項

授業への積極的なコミットメントが求められます。

連絡先（メールアドレス）

fujii.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

毎週月曜日 12:00―13:00（管理棟 2 階）

時間割番号	004661			
科目名	教養基礎セミナー(科学と疑似科学の境界)前半 1 講　奈良		科目 ID	
担当教員	奈良　雅之[NARA MASAYUKI]			
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

・曜日・時間:水曜1講

・対象学科:医学科・歯学科

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

1-2)社会制度や仕組みについて基本を理解する

1-10) 現代社会における科学の責任を意識できるようになる

4-2) 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける

授業の目的、概要等

巷には「マイナスイオン」、「パワーストーン」、「活性水素水」「ホメオパシー」など科学的な根拠がないもの、曖昧なもので溢れています。大学生の科学的な知識があれば、このようなニセ科学(疑似科学)に属するものには絶対だまされるはずはないと過信しがちですが、科学とニセ科学の間に明確な境界線があるわけではなく、白黒がはっきりつかないことがしばしばです。この授業では、社会問題としてインパクトの強かった疑似科学のトピックをいくつか選び、科学と疑似科学のグレーゾーンについて理解を深めます。受講者にはできるだけ授業に参加できるように、グループ討論、発表を行います。

授業の到達目標

1)授業の関係したテーマを見つけて、そのテーマの基づいて理解を深める。

レポートとしてまとめられることが、GPA における「B」に相当する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	9/18	08:50-10:30		奈良　雅之
3-4	9/25	08:50-10:30		奈良　雅之
5-6	10/2	08:50-10:30		奈良　雅之
7-8	10/9	08:50-10:30		奈良　雅之
9-10	10/16	08:50-10:30		奈良　雅之
11-12	10/23	08:50-10:30		奈良　雅之
13-14	10/30	08:50-10:30		奈良　雅之
15-16	11/6	08:50-10:30		奈良　雅之

授業方法

概要については講義形式で実施するが、グループ活動で話し合ったり、文献や指定課題について事前に調べてディスカッションするなど、アクティブラーニングを取り入れます。授業の終盤では、発表会を行います。

授業内容

社会問題としてインパクトの強かった疑似科学のトピックをいくつか選び、科学と疑似科学のグレーゾーンについて理解を深めます。科学的な側面から基礎事項を確認するとともに、文化、制度の面からも考えていきます。

成績評価の方法

評価:試験0%・レポート80%

その他20%(授業への参加度・授業中の回答状況)

再評価:有

授業で習得したことをレポートにまとめることを重視します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

予習:配付資料、関連資料に目を通してください。

復習:興味のある項目について、文献を調べてください。

試験の受験資格

・定期試験・再試験の受験資格：原則3分の2以上出席
（レポートでもって、定期試験・再試験の代替とする。）

参考書

嘘と絶望の生命科学／榎木英介 著,：文藝春秋, 2014
メディア・バイアス あやしい健康情報とニセ科学／松永和紀 著,：名古屋市鶴舞中央図書館点字文庫, 2010
科学と人間の不協和音／池内了 [著],：角川書店, 2012
活性酸素／高柳 輝夫 編,大坂 武男 編,大坂 武男 [ほか]共著,日本化学会 監修,：丸善
博士漂流時代 ：「余った博士」はどうなるか?／榎木英介 [著],：ディスカヴァー・トゥエンティワン, 2010
水素水とサビない身体／太田成男 著,：小学館, 2013
疑似科学入門／池内 了 著,：岩波書店
なぜ疑似科学が社会を動かすのか ： ヒトはあやしげな理論に騙されたがる／石川幹人著,石川, 幹人,：PHP 研究所, 2016

連絡先（メールアドレス）

奈良 雅之:nara.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

奈良 雅之:毎週水曜日 PM.0:00–PM.2:00(ただし、第 1 水曜日（教授会開催日）は PM.1:00 まで), 毎週木曜日 PM.0:20–PM.1:20 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	004662				
科目名	教養基礎セミナー(科学と疑似科学の境界)前半 2 講　奈良			**科目 ID**	
担当教員	奈良　雅之[NARA MASAYUKI]				
開講時期	2024 年度後期	**対象年次**	1		
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間:水曜 2 講

・対象学科:医学科・歯学科

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

1-2)社会制度や仕組みについて基本を理解する

1-10) 現代社会における科学の責任を意識できるようになる

4-2) 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける

授業の目的、概要等

巷には「マイナスイオン」、「パワーストーン」、「活性水素水」「ホメオパシー」など科学的な根拠がないもの、曖昧なもので溢れています。大学生の科学的な知識があれば、このようなニセ科学(疑似科学)に属するものには絶対だまされるはずはないと過信しがちですが、科学とニセ科学の間に明確な境界線があるわけではなく、白黒がはっきりつかないことがしばしばです。この授業では、社会問題としてインパクトの強かった疑似科学のトピックをいくつか選び、科学と疑似科学のグレーゾーンについて理解を深めます。受講者にはできるだけ授業に参加できるように、発言、発表する機会を設けたいと思います。

授業の到達目標

授業の関係したテーマを見つけて、そのテーマの基づいて理解を深める。

2000 字以上のレポートとしてまとめられることが、GPA における「B」に相当する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	9/18	10:45-12:25		奈良　雅之
3-4	9/25	10:45-12:25		奈良　雅之
5-6	10/2	10:45-12:25		奈良　雅之
7-8	10/9	10:45-12:25		奈良　雅之
9-10	10/16	10:45-12:25		奈良　雅之
11-12	10/23	10:45-12:25		奈良　雅之
13-14	10/30	10:45-12:25		奈良　雅之
15-16	11/6	10:45-12:25		奈良　雅之

授業方法

講義形式を予定していますが、履修人数が少ない場合は、希望に応じて、セミナー形式に変更することができます。履修人数が多い場合にも、文献や指定課題について事前に調べてディスカッションするなど、アクティブラーニングを取り入れます。授業の終盤では、発表会を行います。

授業内容

社会問題としてインパクトの強かった疑似科学のトピックをいくつか選び、科学と疑似科学のグレーゾーンについて理解を深めます。科学的な側面から基礎事項を確認するとともに、文化、制度の面からも考えていきます。

成績評価の方法

評価:試験0%・レポート80%

　その他20%(授業への参加度・授業中の回答状況)

再評価:有

授業で習得したことをレポートにまとめることを重視します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

予習:配付資料、関連資料に目を通してください。

復習:興味のある項目について、文献を調べてください。

試験の受験資格

・定期試験・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席
（レポートでもって、定期試験・再試験の代替とする。）

参考書

嘘と絶望の生命科学／榎木英介 著,:文藝春秋, 2014
メディア・バイアス あやしい健康情報とニセ科学／松永和紀 著,:名古屋市鶴舞中央図書館点字文庫, 2010
科学と人間の不協和音／池内了 [著],:角川書店, 2012
活性酸素／高柳 輝夫 編,大坂 武男 編,大坂 武男 [ほか]共著,日本化学会 監修,:丸善
博士漂流時代 :「余った博士」はどうなるか?／榎木英介 [著],:ディスカヴァー・トゥエンティワン, 2010
水素水とサビない身体／太田成男 著,:小学館, 2013
疑似科学入門／池内 了 著,:岩波書店
なぜ疑似科学が社会を動かすのか : ヒトはあやしげな理論に騙されたがる／石川幹人著,石川, 幹人,:PHP 研究所, 2016

連絡先(メールアドレス)

奈良 雅之:nara.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

奈良 雅之:毎週水曜日 PM.0:00–PM.2:00(ただし、第 1 水曜日(教授会開催日)は PM.1:00 まで), 毎週木曜日 PM.0:20–PM.1:20 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	004663				
科目名	教養基礎セミナー(生命科学の光と影)後半 1 講　奈良			**科目 ID**	
担当教員	奈良　雅之[NARA MASAYUKI]				
開講時期	2024 年度後期	**対象年次**	1		
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間:水曜1講

・対象学科:医学科・歯学科

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

1-3)人間の歴史的営みを理解する。

1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる

2-1)自然現象を科学的に理解するための方法論を知る

4-2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける

授業の目的、概要等

我々の生存を支えている生命現象はきわめて複雑で、それにはタンパク質、糖質、脂質、核酸などの多種類の物質が関わっています。それらの物質の中で生命現象の直接的な担い手であるタンパク質に注目が集まっています。21世紀はタンパク質の時代ともてはやされて、この10年間で大型のプロジェクトが活発に推進されました。この授業では生命科学の柱の1つであるタンパク質研究に焦点を当てて、X線、核磁気共鳴(NMR)、赤外線という電磁波の活用法を学びます。これらの光を活用するために、フーリエ変換という数学的な手法について知り、生命科学の「光と影」について理解を深めます。

授業の到達目標

授業に関するテーマを見つけて、そのテーマについて理解を深める。

レポートとしてまとめられることが、GPA における「B」に相当する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	11/13	08:50-10:30		奈良　雅之
3-4	11/20	08:50-10:30		奈良　雅之
5-6	11/27	08:50-10:30		奈良　雅之
7-8	12/4	08:50-10:30		奈良　雅之
9-10	12/11	08:50-10:30		奈良　雅之
11-12	12/18	08:50-10:30		奈良　雅之
13-14	1/8	08:50-10:30		奈良　雅之

授業方法

講義形式を予定していますが、履修人数が少ない場合は、希望に応じて、セミナー形式に変更することができます。履修人数が多い場合にも、文献や指定課題について事前に調べてディスカッションするなど、アクティブラーニングを取り入れます。

授業内容

　21世紀はタンパク質の時代ともてはやされて、この18年間で大型のプロジェクトが活発に推進されましたが、その光と影に迫ってみたいと考えます。科学的な知識として、タンパク質構造解析の概略を勉強しますが、実際にこの研究に携わったポスドクの問題など、社会的な視点からも理解を深めます。

成績評価の方法

評価:試験0%・レポート 80%

その他(授業への参加度 20%)

再評価:有

授業で習得したことをレポートにまとめることを重視します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

予習:配付資料に目を通してください。
復習:興味のあるテーマを見つけたら、それに関する文献や本を調べてください。

試験の受験資格

・定期試験・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席
（レポートでもって、定期試験・再試験の代替とする。）

参考書

タンパク質の生命科学 : ポスト・ゲノム時代の主役／池内俊彦 著,:中央公論新社, 2001
ポストゲノム時代のタンパク質科学 : 構造・機能・ゲノミクス／Arthur M.Lesk 著,高木淳一 訳.:化学同人, 2007
入門構造生物学 : 放射光 X 線と中性子で最新の生命現象を読み解く／高エネルギー加速器研究機構構造生物学研究センター, 加藤龍一 編.:共立出版, 2010
タンパク質の構造と機能 : カラー図説／グレゴリー A. ペツコ／著,ダグマール リンゲ／著,横山 茂之／監訳,宮島 郁子／訳.:メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2005

連絡先(メールアドレス)

奈良 雅之:nara.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

奈良 雅之:毎週水曜日 PM.0:00–PM.2:00(ただし、第 1 水曜日(教授会開催日)は PM.1:00 まで), 毎週木曜日 PM.0:20–PM.1:20 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	004664				
科目名	教養基礎セミナー(生命科学の光と影)後半 2 講　奈良			科目 ID	
担当教員	奈良　雅之[NARA MASAYUKI]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1		
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間:木曜2講

・対象学科:医学科・歯学科

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

1-3)人間の歴史的営みを理解する。

1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる

2-1)自然現象を科学的に理解するための方法論を知る

4-2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける

授業の目的、概要等

我々の生存を支えている生命現象はきわめて複雑で、それにはタンパク質、糖質、脂質、核酸などの多種類の物質が関わっています。それらの物質の中で生命現象の直接的な担い手であるタンパク質に注目が集まっています。21世紀はタンパク質の時代ともてはやされて、この10年間で大型のプロジェクトが活発に推進されました。この授業では生命科学の柱の1つであるタンパク質研究に焦点を当てて、X線、核磁気共鳴(NMR)、赤外線という電磁波の活用法を学びます。これらの光を活用するために、フーリエ変換という数学的な手法について知り、生命科学の「光と影」について理解を深めます。

授業の到達目標

授業に関するテーマを見つけて、そのテーマについて理解を深める。

2000 字以上のレポートとしてまとめられることが、GPA における「B」に相当する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	11/13	10:45-12:25		奈良　雅之
3-4	11/20	10:45-12:25		奈良　雅之
5-6	11/27	10:45-12:25		奈良　雅之
7-8	12/4	10:45-12:25		奈良　雅之
9-10	12/11	10:45-12:25		奈良　雅之
11-12	12/18	10:45-12:25		奈良　雅之
13-14	1/8	10:45-12:25		奈良　雅之

授業方法

講義形式を予定していますが、履修人数が少ない場合は、希望に応じて、セミナー形式に変更することができます。履修人数が多い場合にも、文献や指定課題について事前に調べてディスカッションするなど、アクティブラーニングを取り入れます。

授業内容

21世紀はタンパク質の時代ともてはやされて、この20年間で大型のプロジェクトが活発に推進されましたが、その光と影に迫ってみたいと考えます。科学的な知識として、タンパク質構造解析の概略を勉強しますが、実際にこの研究に携わったポスドクの問題など、社会的な視点からも理解を深めます。

成績評価の方法

評価:試験0%・レポート 80%

その他(授業への参加度 20%)

再評価:有

授業で習得したことをレポートにまとめることを重視します。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

予習:配付資料に目を通してください。

復習:興味のあるテーマを見つけたら、それに関する文献や本を調べてください。

試験の受験資格

・定期試験・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席

（レポートでもって、定期試験・再試験の代替とする。）

参考書

タンパク質の生命科学 : ポスト・ゲノム時代の主役／池内俊彦 著,:中央公論新社, 2001

ポストゲノム時代のタンパク質科学 : 構造・機能・ゲノミクス／Arthur M.Lesk 著,高木淳一 訳,:化学同人, 2007

入門構造生物学 : 放射光 X 線と中性子で最新の生命現象を読み解く／高エネルギー加速器研究機構構造生物学研究センター, 加藤龍一 編,:共立出版, 2010

タンパク質の構造と機能 : カラー図説／グレゴリー A. ペツコ／著,ダグマール リンゲ／著,横山 茂之／監訳,宮島 郁子／訳,:メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2005

連絡先(メールアドレス)

奈良 雅之:nara.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

奈良 雅之:毎週水曜日 PM.0:00–PM.2:00(ただし、第 1 水曜日(教授会開催日)は PM.1:00 まで), 毎週木曜日 PM.0:20–PM.1:20 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	004665				
科目名	教養基礎セミナー(医歯系の物理)前半 2 講　檜枝			**科目 ID**	
担当教員	檜枝　光憲[HIEDA MITSUNORI]				
開講時期	2024 年度後期	**対象年次**	1		
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:木曜2講

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表2－1)別表2－2)別表2－4)別表4－2)

授業の目的、概要等

医療は物理学と大いに関係しています。例えば、人体の動きや歯の矯正治療は力学が関係しており、医療でお馴染みの X 線、MRI、レーザーなど現代医療技術は物理学者によって発見されました。本授業はセミナー形式で進め、医歯学に関係した物理について理解を深めていきます。

授業の到達目標

前期に学んだ物理を基礎に、セミナー形式で医歯学に関係した物理を習得する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	9/18	10:45-12:25		檜枝 光憲
3-4	9/25	10:45-12:25		檜枝 光憲
5-6	10/2	10:45-12:25		檜枝 光憲
7-8	10/9	10:45-12:25		檜枝 光憲
9-10	10/16	10:45-12:25		檜枝 光憲
11-12	10/23	10:45-12:25		檜枝 光憲
13-14	10/30	10:45-12:25		檜枝 光憲
15-16	11/6	10:45-12:25		檜枝 光憲

授業方法

セミナー

授業内容

1. 医歯系の物理セミナー1:力学
2. 医歯系の物理セミナー2:流体
3. 医歯系の物理セミナー3:熱
4. 医歯系の物理セミナー4:音
5. 医歯系の物理セミナー5:光
6. 医歯系の物理セミナー6:磁気
7. 医歯系の物理セミナー7:放射線
8. まとめ

成績評価の方法

評価 : レポート 40 %
　　授業内でのプレゼン 40%
　　その他(授業の参加度) 20%

再評価: 有

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

事前に資料や文献を読みプレゼンテーションの準備をすること。

試験の受験資格

試験は実施しないが、原則 2/3 以上の出席が必要

参考書

生物学と医学のための物理学／Paul Davidovits 著,曽我部正博 監訳,吉村建二郎 編集協力,:共立出版, 2015

物理学入門から医用物理へ : 超音波、磁気共鳴、X 線理解のために／本間康浩 著,:ブイツーソリューション, 2013

医療系のための物理／佐藤幸一, 藤城敏幸 著,:東京教学社, 2013

ライフサイエンス物理学／Morton M.Sternheim, Joseph W.Kane [著] ; 石井千穎監訳,Sternheim, Morton M.,Kane, Joseph W.,石井, 千穎,:広川書店, 1991

履修上の注意事項

原則 2/3 以上の出席が必要。 出欠管理システムより、教員自身が取る出欠を優先させる。

連絡先(メールアドレス)

檜枝 光憲:hieda.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

檜枝 光憲:毎週水曜日 12:30～13:00 ヒポ 3F 教員研究室 3

時間割番号	004666				
科目名	教養基礎セミナー(人体・医療の物理)後半 2 講　檜枝			**科目 ID**	
担当教員	檜枝　光憲[HIEDA MITSUNORI]				
開講時期	2024 年度後期	**対象年次**	1		
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:木曜2講

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表2－1)別表2－2)別表2－4)

別表4－2)

授業の目的、概要等

生命も含め物質現象は物理学の原理と大いに関係しています。例えば人体の動きや歯の矯正治療は力学、血流の流れは流体力学、また体内に取り込み消費するエネルギーは熱力学の原理に従っています。また、X 線、MRI、重粒子線治療など多くの現代医療測定技術は物理学の成果です。本授業はセミナー形式で進め、人体や医歯学に関係した物理を学んでいきます。

授業の到達目標

前期に学んだ物理を基礎に、セミナー形式で人体・医療に関係した物理を習得する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	11/13	10:45-12:25		檜枝 光憲
3-4	11/20	10:45-12:25		檜枝 光憲
5-6	11/27	10:45-12:25		檜枝 光憲
7-8	12/4	10:45-12:25		檜枝 光憲
9-10	12/11	10:45-12:25		檜枝 光憲
11-12	12/18	10:45-12:25		檜枝 光憲
13-14	1/8	10:45-12:25		檜枝 光憲

授業方法

セミナー

授業内容

1. 人体・医療の物理セミナー1:力学
2. 人体・医療の物理セミナー2:流体
3. 人体・医療の物理セミナー3:熱
4. 人体・医療の物理セミナー4:音
5. 人体・医療の物理セミナー5:光
6. 人体・医療の物理セミナー6:磁気
7. 人体・医療の物理セミナー7:放射線

成績評価の方法

評価 : レポート 40 %

授業内でのプレゼン 40%

その他(授業の参加度) 20%

再評価:有

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

事前に資料や文献を調べプレゼン等の準備をすること。

試験の受験資格

試験は実施しないが、原則 2/3 以上の出席が必要

参考書

生物学と医学のための物理学／Paul Davidovits 著,曽我部正博 監訳,吉村建二郎 編集協力,:共立出版, 2015

物理学入門から医用物理へ : 超音波、磁気共鳴、X 線理解のために／本間康浩 著,:ブイツーソリューション, 2013
医療系のための物理／佐藤幸一, 藤城敏幸 著,:東京教学社, 2013
ライフサイエンス物理学／Morton M.Sternheim, Joseph W.Kane [著] ; 石井千穎監訳,Sternheim, Morton M.,Kane, Joseph W.,石井, 千穎,:広川書店, 1991

履修上の注意事項

原則 2/3 以上の出席が必要。 出欠管理システムより、教員自身が取る出欠を優先させる。

連絡先(メールアドレス)

檜枝 光憲:hieda.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

檜枝 光憲:毎週水曜日 12:30～13:00 ヒポ 3F 教員研究室 3

時間割番号	004667				
科目名	教養基礎セミナー(振動と波動)前半 1 講　越野			**科目 ID**	
担当教員	越野　和樹[KOSHINO KAZUKI]				
開講時期	2024 年度後期	**対象年次**	1		
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:水曜　1 講

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)

別表2－1)

別表4－2)

授業の目的、概要等

振動および波動は，振り子の運動や LC 回路の電気振動に始まり，音波や地震，更には電磁波など，日常生活にも見られる普遍的な現象です。本講義では，これらの現象が，1年次に学んだ力学や電磁気学の法則を適用することにより数学的に導出することを学びます.

物理学では、これまでに積み重ねられてきた知識は、抽象的な「法則」としてまとめられており、教科書や講義ではそれらの法則を中心に学びます。一方、自分自身で実際に手を動かして、これらの抽象的法則を様々な具体的対象に適用してみることにより、物理学に対する理解は格段に深まります。本科目では、講義中に演習問題を用意しますから、講義の場でそれらを解き、講義時間のうちに内容を理解することを目指して下さい。

授業の到達目標

振動や波動の基礎事項を理解し、その現実系への適用技法に熟達すること。具体的には,

- 複数自由度の振動の解析方法を知る.
- 摩擦や外力の下での振動現象を予言できるようになる.
- 波動の数学的記述(波動方程式)を理解する.

GPA における「B」(本試験合格レベル)の条件は，演習を 7 割程度解答できることとする.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	9/18	08:50-10:30		越野　和樹
3-4	9/25	08:50-10:30		越野　和樹
5-6	10/2	08:50-10:30		越野　和樹
7-8	10/9	08:50-10:30		越野　和樹
9-10	10/16	08:50-10:30		越野　和樹
11-12	10/23	08:50-10:30		越野　和樹
13-14	10/30	08:50-10:30		越野　和樹
15-16	11/6	08:50-10:30		越野　和樹

授業方法

講義およびアクティブラーニング(演習，講義内容要約)

授業内容

授業スケジュール参照

成績評価の方法

評価:レポート(約 80%)授業への参加度(出欠状況やアンケート回答内容，約 20%)

再評価:上記評価が6割未満の者に対して再レポート課題を課す

授業内容の理解度を測るために演習を行い，レポートおよび授業への参加度で評価を行う.

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

webclass 上の講義資料をあらかじめダウンロードし，概要を把握しておくこと．資料は印刷しておくことを前提とする．

試験の受験資格

2/3 以上，講義に出席していること．出欠は，教室での点呼および webclass アンケートへの回答により確認する．

参考書

振動・波動／小形正男著,小形，正男,:裳華房，1999

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より，教員がとる出欠を優先させる．

備考

webclass 内に掲示する

連絡先（メールアドレス）

越野　和樹:ikuzak.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

越野　和樹:毎週火曜日 12:30―13:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	004668				
科目名	教養基礎セミナー(波動と振動)後半 1 講　越野			**科目 ID**	
担当教員	越野　和樹[KOSHINO KAZUKI]				
開講時期	2024 年度後期	**対象年次**	1		
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:水曜　1 講

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)

別表2－1)

別表4－2)

授業の目的、概要等

振動および波動は，振り子の運動や LC 回路の電気振動に始まり，音波や地震，更には電磁波など，日常生活にも見られる普遍的な現象です。本講義では，これらの現象が，1年次に学んだ力学や電磁気学の法則を適用することにより数学的に導出することを学びます.

物理学では、これまでに積み重ねられてきた知識は、抽象的な「法則」としてまとめられており、教科書や講義ではそれらの法則を中心に学びます。一方、自分自身で実際に手を動かして、これらの抽象的法則を様々な具体的対象に適用してみることにより、物理学に対する理解は格段に深まります。本科目では、講義中に演習問題を用意しますから、講義の場でそれらを解き、講義時間のうちに内容を理解することを目指して下さい。

授業の到達目標

振動や波動の基礎事項を理解し、その現実系への適用技法に熟達すること。具体的には,

- 複数自由度の振動の解析方法を知る.
- 摩擦や外力の下での振動現象を予言できるようになる.
- 波動の数学的記述(波動方程式)を理解する.

GPA における「B」(本試験合格レベル)の条件は，演習を 7 割程度解答できることとする.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	11/13	08:50-10:30		越野　和樹
3-4	11/20	08:50-10:30		越野　和樹
5-6	11/27	08:50-10:30		越野　和樹
7-8	12/4	08:50-10:30		越野　和樹
9-10	12/11	08:50-10:30		越野　和樹
11-12	12/18	08:50-10:30		越野　和樹
13-14	1/8	08:50-10:30		越野　和樹

授業方法

講義およびアクティブラーニング(演習，講義内容要約)

授業内容

授業スケジュール参照

成績評価の方法

評価:レポート(約 80%)授業への参加度(出欠状況やアンケート回答内容，約 20%)

再評価:上記評価が6割未満の者に対して再レポート課題を課す

授業内容の理解度を測るために演習を行い，レポートおよび授業への参加度で評価を行う.

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

webclass 上の講義資料をあらかじめダウンロードし，概要を把握しておくこと．資料は印刷しておくことを前提とする．

試験の受験資格

2/3 以上，講義に出席していること．出欠は，教室での点呼および webclass アンケートへの回答により確認する．

参考書

振動・波動／小形正男著,小形，正男,:裳華房，1999

履修上の注意事項

出欠管理システムの記録より，教員がとる出欠を優先させる．

備考

webclass 内に掲示する

連絡先（メールアドレス）

越野　和樹:ikuzak.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

越野　和樹:毎週火曜日 12:30―13:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	004669				
科目名	教養基礎セミナー(生活の中の化学)前半 1 講 勝又			科目 ID	
担当教員	勝又 敏行[KATSUMATA TOSHIYUKI]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1		
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:水曜日1講(後期前半)

募集人数:8名

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表2−1)自然現象を探求するための手法を知る

別表2−2)自然現象を探求するための手法を知る

別表2−4)自己問題提起・解決型の学習方法を身につける

授業の目的、概要等

自然科学実験や科学基礎実験の中の化学実験では、金属イオンの分析や容量分析を行っている。これらの実験は教科書の中の説明をするだけのものではない。今までの知識の積み重ねで得られたものをまとめたもので、社会の中の様々な分野、場面で応用され利用されている。本セミナーでは化学実験の中で使われている試料や試薬、使われている化学的な手法が現代社会の中でどこでどのように関連しているのかを調べ、化学と社会のつながりを理解する。

授業の到達目標

化学と社会とのつながりについて調べ、グループでのディスカッションをで自分の意見を発言できる。

調べたことをまとめてプレゼンテーションできる。

GPA における「B」の条件は、上記到達目標を概ね達成できたこととする。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1−2	9/18	08:50−10:30		グループディスカッション1	課題について問題抽出を行う。	勝又 敏行	グループでのディスカッション、問題抽出ができる。アクティブラーニング
3−4	9/25	08:50−10:30		グループディスカッション2	抽出した問題点について話し合う。	勝又 敏行	ディスカッションができ、その内容をまとめられる。アクティブラーニング
5−6	10/2	08:50−10:30		グループディスカッション3	抽出した問題点について話し合う。	勝又 敏行	ディスカッションができ、その内容をまとめられる。アクティブラーニング
7−8	10/9	08:50−10:30		プレゼンテーション 1	プレゼンテーションを行う。	勝又 敏行	議論した内容をプレゼンテーションできる。アクティブラーニング
9−10	10/16	08:50−10:30		グループディスカッション4	テーマを自分で設定する	勝又 敏行	自らテーマを設定できる。アクティブラーニング

11-12	10/23	08:50-10:30		グループディスカッション5	テーマについて問題抽出を行う。	勝又 敏行	グループでのディスカッション、問題抽出ができる。アクティブラーニング
13-14	10/30	08:50-10:30		グループディスカッション6	抽出した問題点について話し合う。	勝又 敏行	ディスカッションができ、その内容をまとめられる。アクティブラーニング
15-16	11/6	08:50-10:30		プレゼンテーション2	プレゼンテーションを行う。	勝又 敏行	議論した内容をプレゼンテーションできる。アクティブラーニング

授業方法

課題に対してグループディスカッションを行う。
そのディスカッションの内容を踏まえ、まとめてプレゼンテーションを行う。
アクティブラーニング中心のセミナーである。

授業内容

1. 化学実験の内容の分析
2. 実験の内容が生活、社会でどのように使われているかのディスカッション(アクティブラーニング)
3. 各自興味のあるテーマでのプレゼンテーション(アクティブラーニング)
4. 現代社会における科学の役割についてのディスカッション(アクティブラーニング)

成績評価の方法

以下の通りとする。
評価:試験 0%、レポート 50%、プレゼンテーションやディスカッションなど 50%
再評価 有(レポート再提出)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

化学実験で使われているか試料、手法などがどのように使われているかを、それをまとめて議論、発表できるようにすること。

参考書

化学実験テキスト(東京医科歯科大学)

連絡先(メールアドレス)

勝又 敏行katsumata.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

勝又 敏行:毎週金曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 2 階化学実験準備室

時間割番号	004670				
科目名	教養基礎セミナー(化学実験と生活)後半1講　勝又			科目ID	
担当教員	勝又　敏行[KATSUMATA TOSHIYUKI]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1		
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:水曜日1講(後期後半)

募集人数:8名

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表2−1)自然現象を探求するための手法を知る

別表2−2)自然現象を探求するための手法を知る

別表2−4)自己問題提起・解決型の学習方法を身につける

授業の目的、概要等

自然科学実験や科学基礎実験の中の化学実験では、金属イオンの分析や容量分析を行っている。これらの実験は教科書の中の説明をするだけのものではない。今までの知識の積み重ねで得られたものをまとめたもので、社会の中の様々な分野、場面で応用され利用されている。本セミナーでは化学実験の中で使われている試料や試薬、使われている化学的な手法が現代社会の中でどこでどのように関連しているのかを調べ、化学と社会のつながりを理解する。

授業の到達目標

化学と社会とのつながりについて調べ、グループでのディスカッションをで自分の意見を発言できる。

調べたことをまとめてプレゼンテーションできる。

GPA における「B」の条件は、上記到達目標を概ね達成できたこととする。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1−2	11/13	08:50−10:30		ディスカッション1	課題について問題抽出を行う。	勝又　敏行	グループでのディスカッション、問題抽出ができる。アクティブラーニング
3−4	11/20	08:50−10:30		ディスカッション2	抽出した問題点について話し合う。	勝又　敏行	ディスカッションができ、その内容をまとめられる。アクティブラーニング
5−6	11/27	08:50−10:30		プレゼンテーション1	プレゼンテーションを行う。	勝又　敏行	議論した内容をプレゼンテーションできる。アクティブラーニング
7−8	12/4	08:50−10:30		ディスカッション3	テーマを自分で設定する	勝又　敏行	グループでのディスカッション、問題抽出ができる。アクティブラーニング
9−10	12/11	08:50−10:30		ディスカッション4	抽出した問題点について話し合う。	勝又　敏行	ディスカッションができ、その内容をまとめられる。

							アクティブラーニング
11-12	12/18	08:50-10:30		ディスカッション5	抽出した問題点について話し合う。	勝又 敏行	ディスカッションができ、その内容をまとめられる。アクティブラーニング
13-14	1/8	08:50-10:30		プレゼンテーション2	プレゼンテーションを行う。	勝又 敏行	議論した内容をプレゼンテーションできる。アクティブラーニング

授業方法

課題に対してグループディスカッションを行う。
そのディスカッションの内容を踏まえ、まとめてプレゼンテーションを行う。
アクティブラーニング中心のセミナーである。

授業内容

1. 化学実験の内容の分析
2. 実験の内容が生活、社会でどのように使われているかのディスカッション(アクティブラーニング)
3. 各自興味のあるテーマでのプレゼンテーション(アクティブラーニング)
4. 現代社会における科学の役割についてのディスカッション(アクティブラーニング)

成績評価の方法

以下の通りとする。
評価:試験 0%、レポート 50%、プレゼンテーションやディスカッションなど 50%
再評価 有(レポート再提出)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

化学実験で使われているか試料、手法などがどのように使われているかを、それをまとめて議論、発表できるようにすること。

参考書

化学実験テキスト(東京医科歯科大学)

連絡先(メールアドレス)

勝又 敏行:katsumata.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

勝又 敏行:毎週金曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 2 階化学実験準備室

時間割番号	004671				
科目名	教養基礎セミナー(食の科学)前半 2 講 澤野			科目 ID	
担当教員	澤野 頼子[SAWANO YORIKO]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1		
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:水曜日・2 講

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表1－3)人間の歴史的営みを理解する

別表2－1)自然現象を科学的に探究するための方法論を知る。

別表2－4)自己問題提起・解決型の学習方法を身につける

授業の目的、概要等

食は私たちの健康や生命を維持するために欠かすことのできない大切なものである。人間にとって食とは、身体の形成やエネルギー供給源として働く「栄養素」を与えるだけのものではない。「おいしさ」や「安全性」を兼ね備え、健康の維持や疾病の予防に有効な「機能性(生体調節機能)」をもたらすものでもある。そして、「食生活」、「食文化」という言葉が表すように、食は人類の進化の歴史の中で、生活環境や文化と密接に関連し、変遷を遂げてきた。一方で、近年、地球環境の変動等によって食糧に関わる諸問題が顕在化している。本授業では、食の文化的、歴史的、および科学的側面や諸問題について、PBL および課題発表によって理解を深めることを目的とする。

授業の到達目標

1)講義、PBL・課題発表により食を文化的、歴史的、および科学的側面からとらえ、自分の考えをレポートにまとめる。

GPA における「B」(本試験合格レベル)の条件は、上記到達目標を概ね達成できたこととする。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	9/18	10:45-12:25		ガイダンス、講義	澤野 頼子	【到達目標】1)【学習方法】講義
3-4	9/25	10:45-12:25		PBL(1)	澤野 頼子	【到達目標】1)【学習方法】PBL、グループ毎の活動報告提出
5-6	10/2	10:45-12:25		PBL(2)	澤野 頼子	【到達目標】1)【学習方法】PBL、グループ毎の活動報告提出
7-8	10/9	10:45-12:25		PBL(3)	澤野 頼子	【到達目標】1)【学習方法】PBL、グループ毎の活動報告提出
9-10	10/16	10:45-12:25		PBL(4)	澤野 頼子	【到達目標】1)【学習方法】PBL、グループ毎の活動報告提出
11-12	10/23	10:45-12:25		リハーサル	澤野 頼子	【到達目標】1)【学習方法】PBL、グループ毎の活動報告提出
13-14	10/30	10:45-12:25		発表会	澤野 頼子	【到達目標】1)【学

						習方法】課題発表、リアクションペーパー提出	

授業方法

講義およびアクティブラーニング(PBL、課題発表)による

授業内容

食の文化的、歴史的、および科学的側面や諸問題について、講義、PBL・課題発表を通して学ぶ。

成績評価の方法

評価 : 試験 0% ・ レポート 20% ・ 授業への参加度および PBL・課題発表 80%

再評価: 有

授業時の取り組み状況(PBL での活動状況、課題発表)を重視し、それに関連したレポートとともに評価を行う。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

講義資料(WebClass に掲載)に目を通しておく。

食に関する新聞記事、ニュース、インターネット、書籍、論文等から情報収集を行い、自分なりの考えをまとめる。

試験の受験資格

原則3分の2以上出席

参考書

食品の科学／上野川修一, 田之倉優 編,:東京化学同人, 2005

食品学 : 食品成分と機能性 第2版／久保田紀久枝, 森光康次郎編,久保田, 紀久枝,森光, 康次郎,:東京化学同人, 2021

ニューフードサイエンス／鮫島邦彦, 高橋史生 編著,鮫島, 邦彦, 1938-,高橋, 史生,:三共出版, 2005

健康と食生活／吉田勉 編著,吉田, 勉, 1927-,:学文社, 2016

パソコンで学ぶ食品化学 : 目で見る食品成分とその変化／高野克己, 渡部俊弘編著,高野, 克己,渡部, 俊弘,:三共出版, 2005

健康と調理のサイエンス : 調理科学と健康の接点／大越ひろ, 品川弘子 編著,渡辺敦子, 大須賀彰子, 藤井恵子, 高橋智子, 飯田文子 著,:学文社, 2017

SDGs 時代の食・環境問題入門／吉積巳貴、島田幸司、天野耕二、吉川直樹,吉積巳貴、島田幸司、天野耕二、吉川直樹,:昭和堂, 2021

食科学入門 : 食の総合的理解のために／朝倉敏夫, 井澤裕司, 新村猛, 和田有史 編:昭和堂, 2018

図解よくわかるフードテック入門／三輪, 泰史,三輪泰史 編著:日刊工業新聞社, 2022

持続可能性と環境・食・農／廣政, 幸生,廣政幸生 編著:日本経済評論社, 2022

連絡先(メールアドレス)

澤野 頼子:sawano.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

澤野 頼子:毎週金曜日 PM.0:30-PM.1:20 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	004672				
科目名	教養基礎セミナー(食の科学)後半 2 講 澤野			科目 ID	
担当教員	澤野 頼子[SAWANO YORIKO]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1		
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:水曜日・2 講

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表1－3)人間の歴史的営みを理解する

別表2－1)自然現象を科学的に探究するための方法論を知る。

別表2－4)自己問題提起・解決型の学習方法を身につける

授業の目的、概要等

食は私たちの健康や生命を維持するために欠かすことのできない大切なものである。人間にとって食とは、身体の形成やエネルギー供給源として働く「栄養素」を与えるだけのものではない。「おいしさ」や「安全性」を兼ね備え、健康の維持や疾病の予防に有効な「機能性(生体調節機能)」をもたらすものでもある。そして、「食生活」、「食文化」という言葉が表すように、食は人類の進化の歴史の中で、生活環境や文化と密接に関連し、変遷を遂げてきた。一方で、近年、地球環境の変動等によって食糧に関わる諸問題が顕在化している。本授業では、食の文化的、歴史的、および科学的側面や諸問題について、PBL および課題発表によって理解を深めることを目的とする。

授業の到達目標

1)講義、PBL・課題発表により食を文化的、歴史的、および科学的側面からとらえ、自分の考えをレポートにまとめる。

GPA における「B」(本試験合格レベル)の条件は、上記到達目標を概ね達成できたこととする。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	11/13	10:45-12:25	遠隔授業(同期型)	ガイダンス、講義	澤野 頼子	【到達目標】1)【学習方法】講義
3-4	11/20	10:45-12:25	遠隔授業(同期型)	PBL(1)	澤野 頼子	【到達目標】1)【学習方法】PBL、グループ毎の活動報告提出
5-6	11/27	10:45-12:25	遠隔授業(同期型)	PBL(2)	澤野 頼子	【到達目標】1)【学習方法】PBL、グループ毎の活動報告提出
7-8	12/4	10:45-12:25	遠隔授業(同期型)	PBL(3)	澤野 頼子	【到達目標】1)【学習方法】PBL、グループ毎の活動報告提出
9-10	12/11	10:45-12:25	遠隔授業(同期型)	PBL(4)	澤野 頼子	【到達目標】1)【学習方法】PBL、グループ毎の活動報告提出
11-12	12/18	10:45-12:25	遠隔授業(同期型)	リハーサル	澤野 頼子	【到達目標】1)【学習方法】PBL、グループ毎の活動報告提出
13-14	1/8	10:45-12:25	遠隔授業(同期型)	発表会	澤野 頼子	【到達目標】1)【学習方法】課題発表、リアクションペーパー提出

授業方法

講義およびアクティブラーニング(PBL、課題発表)による

授業内容

食の文化的、歴史的、および科学的側面や諸問題について、講義、PBL・課題発表を通して学ぶ。

成績評価の方法

評価 : 試験 0% ・ レポート 20% ・ 授業への参加度および PBL・課題発表 80%

再評価: 有

授業時の取り組み状況(PBL での活動状況、課題発表)を重視し、それに関連したレポートとともに評価を行う。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

講義資料(WebClass に掲載)に目を通しておく。
食に関する新聞記事、ニュース、インターネット、書籍、論文等から情報収集を行い、自分なりの考えをまとめる。

試験の受験資格

原則3分の2以上出席

参考書

食品の科学／上野川修一, 田之倉優 編,:東京化学同人, 2005
食品学 : 食品成分と機能性 第2版／久保田紀久枝, 森光康次郎編,久保田, 紀久枝,森光, 康次郎,:東京化学同人, 2021
ニューフードサイエンス／鮫島邦彦, 高橋史生 編著,鮫島, 邦彦, 1938–,高橋, 史生,:三共出版, 2005
健康と食生活／吉田勉 編著,吉田, 勉, 1927–,:学文社, 2016
パソコンで学ぶ食品化学 : 目で見る食品成分とその変化／高野克己, 渡部俊弘編著,高野, 克己,渡部, 俊弘,:三共出版, 2005
健康と調理のサイエンス : 調理科学と健康の接点／大越ひろ, 品川弘子 編著,渡辺敦子, 大須賀彰子, 藤井恵子, 高橋智子, 飯田文子 著,:学文社, 2017
SDGs 時代の食・環境問題入門／吉積巳貴、島田幸司、天野耕二、吉川直樹,吉積巳貴、島田幸司、天野耕二、吉川直樹,:昭和堂, 2021
食科学入門 : 食の総合的理解のために／朝倉敏夫, 井澤裕司, 新村猛, 和田有史 編:昭和堂, 2018
図解よくわかるフードテック入門／三輪, 泰史,三輪泰史 編著:日刊工業新聞社, 2022
持続可能性と環境・食・農／廣政, 幸生,廣政幸生 編著:日本経済評論社, 2022

連絡先(メールアドレス)

澤野 頼子:sawano.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

澤野 頼子:毎週金曜日 PM.0:30–PM.1:20 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	004673				
科目名	教養基礎セミナー(生命現象の制御機構)前半 1 講 伊藤			**科目 ID**	
担当教員	伊藤 正則[ITO MASANORI]				
開講時期	2024 年度後期	**対象年次**	1		
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:水曜 1 講

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)

2－2)自然現象を探究するための手法を知る。

2－4)自己問題提起・解決型の学習方法を身につける。

4－3)自然現象を探究するための基本的な手法を身につける。

主な講義場所

後日連絡する。

授業の目的、概要等

医療の基盤となる生命科学の理解を深める。各自が、興味ある生命現象を対象にして、この発現制御メカニズムを発表する。その際、疑問点の提出から、既存の知識を根拠にして論理的に説明することを重視する。

授業の到達目標

1)生命現象の発現制御メカニズムを理解し、説明することができる。

2)疑問点を抽出し、既存の知識を根拠にして論理的に説明することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	9/18	08:50-10:30		伊藤 正則
3-4	9/25	08:50-10:30		伊藤 正則
5-6	10/2	08:50-10:30		伊藤 正則
7-8	10/9	08:50-10:30		伊藤 正則
9-10	10/16	08:50-10:30		伊藤 正則
11-12	10/23	08:50-10:30		伊藤 正則
13-14	10/30	08:50-10:30		伊藤 正則
15-16	11/6	08:50-10:30		伊藤 正則

授業方法

それぞれの学生が興味ある生命現象を選び、この発現制御メカニズムを既存の知識を根拠にして論理的に説明することを試みる。

授業内容

第 1 回 ガイダンス:文献を検索する方法を学ぶ。

第 2、3 回 発表テーマを選ぶ。発表用 PowerPoint file を作成する。

第 4 回 中間発表、質疑応答

第 5 回、6 回 発表用 PowerPoint file を完成させる。

第 7、8 回 発表会、質疑応答

成績評価の方法

発表内容・発表での質疑応答 100%

準備学習等についての具体的な指示

予め情報検索し、発表用 PowerPoint file をつくる。

試験の受験資格

全出席すること。公欠の場合はオンラインでの補講を受けること。、

参考書

必要に応じて紹介する。

連絡先(メールアドレス)

伊藤 正則:itohmt.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

伊藤　正則:毎週月曜日　AM.10:00-PM.2:00　ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室

時間割番号	004674			
科目名	教養基礎セミナー(医療の基盤となる生物学)後半 1 講 伊藤		科目 ID	
担当教員	伊藤 正則[ITO MASANORI]			
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

・曜日・時間:水曜 1 講

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)

2－2)自然現象を探究するための手法を知る。

2－4)自己問題提起・解決型の学習方法を身につける。

4－3)自然現象を探究するための基本的な手法を身につける。

主な講義場所

後日連絡する。

授業の目的、概要等

生物学の理解を深め、生物学の知識が医療において活用されていることを理解する。各自が、興味ある生命現象を対象にして、この発現制御メカニズムを発表する。その際、疑問点の提出から、既存の知識を根拠にして論理的に説明することを重視する。

授業の到達目標

1)生命現象の発現制御メカニズムを理解し、説明することができる。

2)疑問点を抽出し、既存の知識を根拠にして論理的に説明することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	11/13	08:50-10:30		伊藤 正則
3-4	11/20	08:50-10:30		伊藤 正則
5-6	11/27	08:50-10:30		伊藤 正則
7-8	12/4	08:50-10:30		伊藤 正則
9-10	12/11	08:50-10:30		伊藤 正則
11-12	12/18	08:50-10:30		伊藤 正則
13-14	1/8	08:50-10:30		伊藤 正則

授業方法

それぞれの学生が興味ある生命現象を選び、この発現制御メカニズムを既存の知識を根拠にして論理的に説明することを試みる。

授業内容

第 1 回 ガイダンス:文献を検索する方法を学ぶ。

第 2、3 回 発表テーマを選ぶ。発表用 PowerPoint file を作成する。

第 4 回 中間発表、質疑応答

第 5 回、6 回 発表用 PowerPoint file を完成させる。

第 7、8 回 発表会、質疑応答

成績評価の方法

発表内容・発表での質疑応答 100%

準備学習等についての具体的な指示

予め情報検索し、発表用 PowerPoint file をつくる。

試験の受験資格

全出席すること。公欠した場合はオンラインでの補講を受けること。

参考書
その都度、紹介する。
連絡先（メールアドレス）
伊藤　正則:itohmt.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー
伊藤　正則:毎週月曜日　AM.10:00–PM.2：00　ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室

時間割番号	004675				
科目名	教養基礎セミナー(生物由来の薬と毒)前半 2 講 松本			**科目 ID**	
担当教員	松本 幸久[MATSUMOTO YUKIHISA]				
開講時期	2024 年度後期	**対象年次**	1		
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間:水曜 2 講

・対象学科:全学科

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表 1-3)人間の歴史的営みを理解する。

別表 2-1)自然現象を科学的に探究するための方法論を知る。

別表 2-5)自らテーマを見つけて、調べ、発展させ、論文にまとめる能力を養う。

別表 3-2)自らの考えを的確に伝えるための基本的な文章表現能力を身につける。

別表 4-4)情報についての基本技能を身につける。

授業の目的、概要等

私たちの身の回りには、人体にとって害になる物質(毒)を持つ生物がたくさん存在する。この授業では、特に生物由来の毒(toxin)に注目し、毒に関する基本的な知識と身の回りにいる「毒を持つ生物」について知り、さらに毒を摂取してから症状が起こるまでのメカニズムを器官、細胞、分子レベルで理解することを目的とする。また、基本的な知識を活用して論理的に考え、その考えを解り易く説明する技術を向上させることを目指す。講義、PBL・課題発表により、生物毒を科学的、文化的な側面からとらえ、レポートにまとめる。また授業内で国府台キャンパスを散策し、大学校内に自生している毒草・薬草を実際に観察してみる。

授業の到達目標

1)生物が持っている毒の種類とその機能を説明することができる。

2)毒を産生する器官、生物がその毒を持つことの生態学的な意義、その毒の文化的な側面などを説明することができる。

3)毒を摂取した生体における症状を説明し、さらに生体の構造・機能と関連させて、毒の作用機序を分子レベルで説明することができる。

4)知識を活用して論理的に考え、その考えを解り易く説明することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	9/18	10:45-12:25		松本 幸久
3-4	9/25	10:45-12:25		松本 幸久
5-6	10/2	10:45-12:25		松本 幸久
7-8	10/9	10:45-12:25		松本 幸久
9-10	10/16	10:45-12:25		松本 幸久
11-12	10/23	10:45-12:25		松本 幸久
13-14	10/30	10:45-12:25		松本 幸久
15-16	11/6	10:45-12:25		松本 幸久

授業方法

基本的にセミナー形式で行う。得た知識を論理的にまとめ、発表を通じてわかりやすく説明する。アクティブラーニングとして、疑問点を抽出する能力を向上させるために、毎回、他の人の発表に対して質問をしたり、コメントシートに疑問点などを記述して提出したりする。必要であれば、その場でインターネットにより情報検索を行う。

成績評価の方法

評価:試験 0%・レポート 70%・授業への参加度 30%

再評価:有

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習等についての具体的な指示

予習では予め講義資料(WebClass に掲載)に目を通しておくこと。復習では授業で扱った事項や発表で出た質問について、参考書やインターネット等により知識の拡充・整理を行い、自分なりの考えをまとめる。

試験の受験資格

2/3 以上出席し、個人発表をしたものにレポートを提出することができる資格を与える。

教科書

必要に応じて参考資料を配布する。

参考書

天然の毒 : 毒草・毒虫・毒魚／山崎幹夫, 中嶋暉躬, 伏谷伸宏著,山崎, 幹夫,中嶋, 暉躬,伏谷, 伸宏,講談社サイエンティフィク,:講談社, 1985

毒物雑学事典 : ヘビ毒から発ガン物質まで／大木幸介 著,大木／幸介,:講談社

毒の科学 : 毒と人間のかかわり : 毒はどのように利用され解明されてきたのか、文化的・歴史的にアプローチする／船山信次著,船山, 信次,:ナツメ社, 2013

連絡先(メールアドレス)

松本 幸久:yukihisa.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

松本 幸久:毎週月曜日 PM.4:30-6:00 ヒポクラテスホール 3 階生物教員実験室

時間割番号	004676				
科目名	教養基礎セミナー(バイオミメティクスの世界)後半 2 講 松本			**科目 ID**	
担当教員	松本 幸久[MATSUMOTO YUKIHISA]				
開講時期	2024 年度後期	**対象年次**	1		
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間:水曜 2 講

・対象学科:全学科

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表 1-3)人間の歴史的営みを理解する。

別表 2-1)自然現象を科学的に探究するための方法論を知る。

別表 2-5)自らテーマを見つけて、調べ、発展させ、論文にまとめる能力を養う。

別表 3-2)自らの考えを的確に伝えるための基本的な文章表現能力を身につける。

別表 4-4)情報についての基本技能を身につける。

授業の目的、概要等

バイオミメティクス(biomimetics)とは、「規範となる生物の構造・機能や生産過程を解析し、そこから着想を得て新しい技術の開発や物造りに技術転移するもの」の意味で、生物そのものを利用するバイオテクノロジー(biotechnology)と区別されている。この授業では、すでに実用化されているバイオミメティクスの技術を例に挙げ、規範となる生物の特徴ある構造や機能について詳しく調べ、技術開発の背景にある物理・化学の法則を理解することを目的とする。また、基本的な知識を活用して論理的に考え、その考えを解り易く説明する技術を向上させることを目指す。講義、PBL・課題発表により、バイオミメティクスの技術を科学的、文化的側面からとらえ、レポートにまとめる。さらにバイオミメティクスの活用法として、身近な課題に対して解決策となる生物を探し、その規範となる特性のメカニズムを調べ、技術転用への可能性を模索することにも挑戦する。

授業の到達目標

1)バイオミメティクスの技術の実例を挙げ、規範となる生物の構造や機能について説明できる。

2)バイオミメティクスの技術の背景にある物理・化学の法則を説明できる。

3)知識を活用して論理的に考え、その考えを解り易く説明することができる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	11/13	10:45-12:25		松本 幸久
3-4	11/20	10:45-12:25		松本 幸久
5-6	11/27	10:45-12:25		松本 幸久
7-8	12/4	10:45-12:25		松本 幸久
9-10	12/11	10:45-12:25		松本 幸久
11-12	12/18	10:45-12:25		松本 幸久
13-14	1/8	10:45-12:25		松本 幸久

授業方法

基本的にセミナー形式で行う。得た知識を論理的にまとめ、発表を通じてわかりやすく説明する。アクティブラーニングとして、疑問点を抽出する能力を向上させるために、毎回、他の人の発表に対して質問をしたり、コメントシートに疑問点などを記述して提出したりする。必要であれば、その場でインターネットにより情報検索を行う。

成績評価の方法

評価:試験 0%・レポート 70%・授業への参加度 30%

再評価:有

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習等についての具体的な指示

予習では予め講義資料(WebClass に掲載)に目を通しておくこと。復習では授業で扱った事項や発表で出た質問について、参考書やインターネット等により知識の拡充・整理を行い、自分なりの考えをまとめる。

試験の受験資格

2/3 以上出席し、個人発表をしたものにレポートを提出することができる資格を与える。

教科書

必要に応じて参考資料を配布する。

参考書

バイオミメティックスハンドブック／バイオミメティックスハンドブック編集委員会 [編],バイオミメティックスハンドブック編集委員会,長田, 義仁(1943-),:エヌ・ティー・エス, 2000-09

昆虫ミメティックス : 昆虫の設計に学ぶ／下澤楯夫, 針山孝彦監修,下澤, 楯夫,針山, 孝彦,:エヌ・ティー・エス, 2008

連絡先(メールアドレス)

松本　幸久:yukihisa.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

松本　幸久:毎週月曜日　PM.4:30-6:00　ヒポクラテスホール 3 階生物教員実験室

時間割番号	004677			
科目名	教養基礎セミナー(生命科学における数理モデリング技法)前半 1講 中林		科目ID	
担当教員	中林 潤[NAKABAYASHI Junn]			
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表 2−1)

主な講義場所

対面授業を基本とするが、必要に応じて同期型遠隔授業やオンデマンド講義を行う

授業の目的、概要等

様々な現象を数式で記述した数理モデルを作成し、モデルを解析することで、元の現象について理論的に考察することが出来るようになり、より理解を深めるのに役立てることが出来る。このような数理モデルによる現象の解析が出来るようになるため、既存の数理モデルに関する知識を見つけ、モデルの構築と解析のための基礎理論を理解する。

授業の到達目標

自分で選んだ現象を数理モデル化し、解析することによって元の現象に関する洞察を得られるようになる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1−2	9/18	08:50−10:30		中林 潤
3−4	9/25	08:50−10:30		中林 潤
5−6	10/2	08:50−10:30		中林 潤
7−8	10/9	08:50−10:30		中林 潤
9−10	10/16	08:50−10:30		中林 潤
11−12	10/23	08:50−10:30		中林 潤
13−14	10/30	08:50−10:30		中林 潤
15−16	11/6	08:50−10:30		中林 潤

授業方法

対面授業を基本とするが、必要に応じて同期型遠隔授業やオンデマンド講義を行う。

授業内容

授業の前半は講義、教科書の輪読を行い、後半はグループワークを行う。

成績評価の方法

出席の状況、授業への参加姿勢、レポートの成績などを勘案して総合的に評価する。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による

準備学習等についての具体的な指示

講義でグループワークに必要な作業を割り振るので、次の授業までに準備をしておくこと。

試験の受験資格

講義全体の 2/3 以上の出席

連絡先(メールアドレス)

中林 潤:nakab.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

中林 潤:月曜〜金曜

A.M.10:00 − P.M. 05:00

国府台キャンパス 4 階 教官研究室―9

時間割番号	004678			
科目名	教養基礎セミナー(様々な生命現象を記述する数理モデル技法)後半1講 中林		科目ID	
担当教員	中林 潤[NAKABAYASHI Junn]			
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表 2ー1)

主な講義場所

国府台キャンパス

講義室

授業の目的、概要等

様々な現象を数式で記述した数理モデルを構築し、モデルの数理的解析から元の現象を論理的に考察し、理解を深めることが出来る。このような数理モデルを構築するのに必要となる、既存のモデルに関する知識と、モデルの構築と解析の基本的理論について学習する。

授業の到達目標

現象を選別して数理モデルを構築することが出来る。モデルを数理的に解析し、元の現象に関する洞察を得る。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	11/13	08:50-10:30		中林 潤
3-4	11/20	08:50-10:30		中林 潤
5-6	11/27	08:50-10:30		中林 潤
7-8	12/4	08:50-10:30		中林 潤
9-10	12/11	08:50-10:30		中林 潤
11-12	12/18	08:50-10:30		中林 潤
13-14	1/8	08:50-10:30		中林 潤

授業方法

講義と教科書の輪読、少人数グループでの討論

授業内容

前半は対面授業、教科書の輪読を行い、後半はグループワーク。

成績評価の方法

出席の状況、授業への参加態度、レポートの成績を勘案して、総合的に評価する。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表 2」による.

準備学習等についての具体的な指示

グループワークで必要な作業を各自割り振るので、次の授業までに準備しておくこと。

試験の受験資格

講義全体の 2/3 以上の出席

連絡先(メールアドレス)

中林 潤:nakab.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

中林 潤:月曜～金曜

A.M.10:00 – P.M. 05:00

国府台キャンパス 4 階 教官研究室―9

時間割番号	004679				
科目名	教養基礎セミナー(離散構造 I)前半 2 講 徳永			**科目 ID**	
担当教員	徳永 伸一[TOKUNAGA SHINICHI]				
開講時期	2024 年度後期	**対象年次**	1		
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:水曜 第 2 講
対象学科・専攻:医学科・歯学科

コンピテンシー:
2−1)自然現象を科学的に探求するための方法論を知る
2−4)自己問題提起・解決型の学習方法を身につける
2−5)自らテーマを見つけて、調べ、発展させ、論文にまとめる能力を養う
4−2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける
4−5)科学文献を読み、学会発表ができる英語力を身につける

授業の目的、概要等

このセミナーで扱うのは、たとえば以下のような問題です:

「m×nの長方形が単位正方形を4つ張り合わせたL字型のタイルで隙間無く敷き詰められるための、mとnの 必要十分条件を求めよ」
「3×4 の長方形の中に 6 つの点があるとき、それら 6 点のうち距離√5 以下の 2 点が存在することを示せ」
「6 人が参加したパーティにおいて、互いに知り合いである 3 人か、または互いに 2 知り合いでない 3 人のいずれかが存在することを示せ」

「離散」とは「連続」と対立する概念です。主として有限で離散的な世界の現象を解析する数学を「離散数学」といい、離散数学が扱う対象を総称して「離散構造」と呼びます。本セミナーでは離散構造に関する書籍を1つ取り上げ、輪読形式のセミナーを行います。扱われる命題の大部分は直観的に理解可能で高度な知識や数式を必要としませんが、その分、論理を正確に理解し言葉で的確に説明する能力が重視されます。

本年度は
V. Boltyanski & A. Soifer 著「Geometric Etude in Combinatorial Mathematics」
(「組合せ数学における幾何的なエチュード」)
の適当な Chapter を選んで読むことにします。
(ただし他に適当な教材があれば受講者の希望も勘案して変更する可能性あり)

本書の英文は極めて平易であり、扱われる問題も直感的に理解しやすいものであるため、高度な読解力や数学および数学専門用語の知識は必要としません(その都度調べれば充分対応可能)。結果的に、英文を「論理的に読む」ための教材として非常に適しており、医療系の英語論文を読む際にも大いに役立つと思われます。なお、冒頭の問題は本書の例題・演習問題から選びました。

授業の到達目標

英語で書かれた数学の平易なテキストを論理的に解読し、理解したことを整理して解説できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1−2	9/18	10:45−12:25		徳永 伸一
3−4	9/25	10:45−12:25		徳永 伸一
5−6	10/2	10:45−12:25		徳永 伸一
7−8	10/9	10:45−12:25		徳永 伸一
9−10	10/16	10:45−12:25		徳永 伸一
11−12	10/23	10:45−12:25		徳永 伸一

13-14	10/30	10:45-12:25		徳永 伸一
15-16	11/6	10:45-12:25		徳永 伸一

授業方法

輪読によるセミナー形式。

授業内容

毎回1～2名の発表者に、各自の担当範囲(概ね1セクションの半分程度)を解説してもらいます。
また発表者には担当範囲の全訳およびそれを補足するレジュメの提出を義務付けます。

成績評価の方法

発表・レジュメの内容や授業参加への積極性を総合的に評価します。

成績評価の基準

到達目標をある程度達成したと見なせること。

準備学習等についての具体的な指示

テキストを事前に読み、未知の英単語・概念等を調べて、内容を把握しておくこと。

参考書

やさしい幾何学問題ゼミナール／ピーター・フランクル, 前原濶 著,:共立出版, 1992
入門組合せ論／ラスロウ・ロバース 他著,秋山仁, ピーター・フランクル 翻案,:共立出版, 1985
ポール・エルデス:離散数学の魅力 : 伝説の講義／Chvátal, Vašek, 1946-,秋山, 仁, 1946-,小舘, 崇子, 1968-,酒井, 利訓,徳永, 伸一,松井, 泰子,VAŠEK CHVÁTAL 著,秋山仁 監訳,小舘崇子, 酒井利訓, 徳永伸一, 松井泰子 訳:近代科学社, 2023.8

他科目との関連

前期の「数学Ⅱ(β)」と関連する問題を一部扱います。

参照ホームページ

出版社によるテキストの紹介ページ:
https://link.springer.com/book/10.1007/978-0-387-75470-3
(前書きや各節の冒頭2ページ程度が閲覧できます)

連絡先(メールアドレス)

徳永 伸一:tokunaga.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

徳永 伸一:前期:
火曜 12:30-13:20(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

後期:
木曜 12:30-13:20(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

＊いずれも計算機実習室で授業がある日なので、そちらにいることが多いです。
上記以外の時間帯でも、事前にＥメールで連絡をもらえれば可能な限り対応します。

時間割番号	004680				
科目名	教養基礎セミナー(離散構造 II)後半 2 講　徳永			科目 ID	
担当教員	徳永　伸一[TOKUNAGA SHINICHI]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1		
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:水曜 第 2 講

対象学科・専攻:医学科・歯学科

コンピテンシー:

2–4)自己問題提起・解決型の学習方法を身につける

2–5)自らテーマを見つけて、調べ、発展させ、論文にまとめる能力を養う

4–2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける

4–5)科学文献を読み、学会発表ができる英語力を身につける

授業の目的、概要等

MIT(マサチューセッツ工科大学) OpenCourseWare としてインターネット上に公開されている教材:

6.042J | Fall 2010 | Undergraduate

Mathematics For Computer Science

https://ocw.mit.edu/courses/6-042j-mathematics-for-computer-science-fall-2010/

を利用して、セミナーを行います。

上記コースでは講義ビデオも公開されていますので、その内容を日本語化し、解説してもらうイメージです。

※学部生向けの基礎的な講義なので、想定されている受講者のレベルは日本の大学の理系の 1 年生とほぼ同じで、高度な数学の知識は不要です。

※ビデオには字幕が出ますので、英語リスニングに自信がなくても大丈夫です。

授業の到達目標

英語による数学講義の内容を理解し、整理してわかりやすく解説できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1–2	11/13	10:45–12:25		徳永　伸一
3–4	11/20	10:45–12:25		徳永　伸一
5–6	11/27	10:45–12:25		徳永　伸一
7–8	12/4	10:45–12:25		徳永　伸一
9–10	12/11	10:45–12:25		徳永　伸一
11–12	12/18	10:45–12:25		徳永　伸一
13–14	1/8	10:45–12:25		徳永　伸一

授業方法

毎回1～2名の発表者に、各自の担当範囲(概ね1回分の MIT 講義の半分程度)を解説してもらう形でセミナーを行います。

発表者には担当範囲の教材の和訳を含むレジュメの提出を義務付けます。

授業内容

題材として利用する Lecture の候補は以下の通りです。

Lecture 1: Introduction and Proofs

Lecture 2: Induction

Lecture 6: Graph Theory and Coloring

Lecture 7: Matching Problems

Lecture 8: Graph Theory II: Minimum Spanning Trees

Lecture 9: Communication Networks

Lecture 10: Graph Theory III

（履修者の希望によって適宜追加します）

成績評価の方法

発表・レジュメの内容や授業参加への積極性を総合的に評価します。

成績評価の基準

到達目標をある程度達成したと見なせること。

準備学習等についての具体的な指示

講義ビデオを視聴し、未知の英単語・概念等を調べて、内容を把握しておくこと。

参考書

やさしい幾何学問題ゼミナール／ピーター・フランクル, 前原潤 著,:共立出版, 1992

入門組合せ論／ラスロウ・ロバース 他著,秋山仁, ピーター・フランクル 翻案,:共立出版, 1985

ポール・エルデス:離散数学の魅力 : 伝説の講義／Chvátal, Vašek, 1946−,秋山, 仁, 1946−,小舘, 崇子, 1968−,酒井, 利訓,徳永, 伸一,松井, 泰子,VAŠEK CHVÁTAL 著,秋山仁 監訳,小舘崇子, 酒井利訓, 徳永伸一, 松井泰子 訳:近代科学社, 2023.8

他科目との関連

数学Ⅱβで扱う内容(グラフ理論)と一部重複する可能性があります。

参照ホームページ

MIT OpenCourseWare

6.042J | Fall 2010 | Undergraduate

Mathematics For Computer Science

https://ocw.mit.edu/courses/6-042j-mathematics-for-computer-science-fall-2010/

連絡先(メールアドレス)

徳永 伸一:tokunaga.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

徳永 伸一:前期:

火曜 12:30−13:20(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

後期:

木曜 12:30−13:20(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

＊いずれも計算機実習室で授業がある日なので、そちらにいることが多いです。

上記以外の時間帯でも、事前にＥメールで連絡をもらえれば可能な限り対応します。

時間割番号	004681				
科目名	教養基礎セミナー(映像メディア構成分析)前半 1 講 辻			科目 ID	
担当教員	辻 泰明[TSUJI Yasuaki]				
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1		
実務経験のある教員による授業					

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

1-2)社会制度や仕組みについての基本を理解する

1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る

2-3)言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法論を知る

授業の目的、概要等

デジタル化の進展とインターネットの普及によって、あらゆる局面で動画が用いられるようになり、医療においても、映像メディアの重要性は、ますます高まっています。このセミナーは、発展しつつある映像メディアと、そのコンテンツがどのように構成されているのかを実例を通して分析することにより、医療における映像メディアの現状を理解することを目的とします。

授業の到達目標

映像メディアによる情報伝播の特性や映像コンテンツの構成について、実際の映像に則して説明できる。

なお、本授業では、GPA における「B」評価を得るためには、上記の到達目標を達成した上で、

・授業内で課される課題や発表等について、期限内に所定の形式で提出または実施する。

・授業内でのディスカッション等に参加し、自分の見解を述べる。

という二つの条件を充足することが必要です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	9/18	08:50-10:30		第 1 回 ガイダンス 医療における映像メディアの意義	医療における映像コンテンツの活用 ／映像コンテンツによる社会とのつながり ／映像コンテンツを視聴する時の二つの観点	辻 泰明	医療における映像メディアの意義について説明できる。
3-4	9/25	08:50-10:30		第 2 回 実例研究	医療における映像メディアについて分析をプレゼンテーション ／プレゼンテーションを元にディスカッション	辻 泰明	医療における映像メディアについて分析し、見解を述べることができる。
5-6	10/2	08:50-10:30		第 3 回 映像コンテンツの構成と類別	映像コンテンツの三幕構成 ／各幕の機能 ／構成による映像コンテンツの類別	辻 泰明	映像コンテンツの構成と類別について説明できる。
7-8	10/9	08:50-10:30		第 4 回 実例研究	映像コンテンツの構成と類型について分析をプレゼンテーション ／プレゼンテーションを元にディスカッション	辻 泰明	映像コンテンツの構成と類型について分析し、見解を述べることができる。
9-10	10/16	08:50-10:30		第 5 回 映像コンテンツの文法とフェイク	フェイク動画分析の方法 ／ファクト・チェック ／映像コンテンツの文法とリテラシーの活用	辻 泰明	映像コンテンツの文法とフェイクについて説明できる。
11-12	10/23	08:50-10:30		第 6 回 実例研究	映像コンテンツの文法とフェイクについて分析をプレゼンテーション ／プレゼンテーションを元にディ	辻 泰明	映像コンテンツの文法とフェイクについて分析し、見

					スカッション		解を述べることができる。
13-14	10/30	08:50-10:30		第7回 映像コンテンツの編成と動線	ウェブ解析の手法 ／編成のストラテジー ／配信サイトの動線分析	辻 泰明	映像コンテンツの編成と動線について説明できる。
15-16	11/6	08:50-10:30		第8回 総括 医療関連映像の構成分析手法と活用の仕方	医療関連映像の構成分析手法と活用の仕方について分析をプレゼンテーション ／プレゼンテーションを元にディスカッション	辻 泰明	医療関連映像の構成分析手法と活用の仕方について分析し、見解を述べることができる。

授業方法

この授業は、アクティブラーニングによるセミナー形式で行います。講師が解説した内容に基づいて、実際の現象を調べた結果について発表をしていただきます。

授業内容

第1回 ガイダンス 医療における映像メディアの意義
第2回 実例研究
第3回 映像コンテンツの構成と類別
第4回 実例研究
第5回 映像コンテンツの文法とフェイク
第6回 実例研究
第7回 映像コンテンツの編成と動線
第8回 総括 医療関連映像の構成分析手法と活用の仕方

成績評価の基準

評価 : レポート 40% ・ その他(プレゼンテーション) 60%

準備学習等についての具体的な指示

予習では、資料や動画を予めインターネット等で閲覧したり視聴したりしておいてください。

参考書

映像メディア論 : 映画からテレビへ、そして、インターネットへ／辻 泰明:和泉書院, 2016.9
インターネット動画メディア論 : 映像コミュニケーション革命の現状分析／辻 泰明:大学教育出版, 2019.10

履修上の注意事項

三分の二以上の出席が必要です。 出欠管理システムよりも、教員自身が取る出欠を優先します。

連絡先(メールアドレス)

辻 泰明:tsuji.yasuaki@tmd.ac.jp

オフィスアワー

辻 泰明:前期:金 14:30～15:00 後期:水 12:30～13:00
管理研究棟2階

時間割番号	004682				
科目名	教養基礎セミナー(映像メディア構成分析)前半 2 講 辻			**科目 ID**	
担当教員	辻 泰明[TSUJI Yasuaki]				
開講時期	2024 年度後期	**対象年次**	1		
実務経験のある教員による授業					

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

1-2)社会制度や仕組みについての基本を理解する

1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る

2-3)言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法論を知る

授業の目的、概要等

デジタル化の進展とインターネットの普及によって、あらゆる局面で動画が用いられるようになり、医療においても、映像メディアの重要性は、ますます高まっています。このセミナーは、発展しつつある映像メディアと、そのコンテンツがどのように構成されているのかを実例を通して分析することにより、医療における映像メディアの現状を理解することを目的とします。

授業の到達目標

映像メディアによる情報伝播の特性や映像コンテンツの構成について、実際の映像に則して説明できる。

なお、本授業では、GPA における「B」評価を得るためには、上記の到達目標を達成した上で、

・授業内で課される課題や発表等について、期限内に所定の形式で提出または実施する。

・授業内でのディスカッション等に参加し、自分の見解を述べる。

という二つの条件を充足することが必要です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	9/18	10:45-12:25		第 1 回 ガイダンス 医療における映像メディアの意義	医療における映像コンテンツの活用 /映像コンテンツによる社会とのつながり /映像コンテンツを視聴する時の二つの観点	辻 泰明	医療における映像メディアの意義について説明できる。
3-4	9/25	10:45-12:25		第 2 回 実例研究	医療における映像メディアについて分析をプレゼンテーション /プレゼンテーションを元にディスカッション	辻 泰明	医療における映像メディアについて分析し、見解を述べることができる。
5-6	10/2	10:45-12:25		第 3 回 映像コンテンツの構成と類別	映像コンテンツの三幕構成 /各幕の機能 /構成による映像コンテンツの類別	辻 泰明	映像コンテンツの構成と類別について説明できる。
7-8	10/9	10:45-12:25		第 4 回 実例研究	映像コンテンツの構成と類型について分析をプレゼンテーション /プレゼンテーションを元にディスカッション	辻 泰明	映像コンテンツの構成と類型について分析し、見解を述べることができる。
9-10	10/16	10:45-12:25		第 5 回 映像コンテンツの文法とフェイク	フェイク動画分析の方法 /ファクト・チェック /映像コンテンツの文法とリテラシーの活用	辻 泰明	映像コンテンツの文法とフェイクについて説明できる。
11-12	10/23	10:45-12:25		第 6 回 実例研究	映像コンテンツの文法とフェイクについて分析をプレゼンテーション /プレゼンテーションを元にディ	辻 泰明	映像コンテンツの文法とフェイクについて分析し、見

					スカッション		解を述べることができる。
13-14	10/30	10:45-12:25		第7回 映像コンテンツの編成と動線	ウェブ解析の手法 ／編成のストラテジー ／配信サイトの動線分析	辻 泰明	映像コンテンツの編成と動線について説明できる。
15-16	11/6	10:45-12:25		第8回 総括 医療関連映像の構成分析手法と活用の仕方	医療関連映像の構成分析手法と活用の仕方について分析をプレゼンテーション ／プレゼンテーションを元にディスカッション	辻 泰明	医療関連映像の構成分析手法と活用の仕方について分析し、見解を述べることができる。

授業方法

この授業は、アクティブラーニングによるセミナー形式で行います。講師が解説した内容に基づいて、実際の現象を調べた結果について発表をしていただきます。

授業内容

第1回 ガイダンス 医療における映像メディアの意義
第2回 実例研究
第3回 映像コンテンツの構成と類別
第4回 実例研究
第5回 映像コンテンツの文法とフェイク
第6回 実例研究
第7回 映像コンテンツの編成と動線
第8回 総括 医療関連映像の構成分析手法と活用の仕方

成績評価の基準

評価 : レポート 40% ・ その他(プレゼンテーション) 60%

準備学習等についての具体的な指示

予習では、資料や動画を予めインターネット等で閲覧したり視聴したりしておいてください。

参考書

映像メディア論 : 映画からテレビへ、そして、インターネットへ／辻 泰明:和泉書院, 2016.9
インターネット動画メディア論 : 映像コミュニケーション革命の現状分析／辻 泰明:大学教育出版, 2019.10

履修上の注意事項

三分の二以上の出席が必要です。 出欠管理システムよりも、教員自身が取る出欠を優先します。

連絡先(メールアドレス)

辻 泰明:tsuji.yasuaki@tmd.ac.jp

オフィスアワー

辻 泰明:前期:金 14:30～15:00 後期:水 12:30～13:00
管理研究棟2階

時間割番号	004683				
科目名	教養基礎セミナー(インターネット動画リテラシー)後半1講 辻			**科目ID**	
担当教員	辻 泰明[TSUJI Yasuaki]				
開講時期	2024 年度後期	**対象年次**	1		
実務経験のある教員による授業					

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

1-2)社会制度や仕組みについての基本を理解する

1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る

2-3)言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法論を知る

授業の目的、概要等

新たなメディアとしてのインターネット動画の台頭に伴い、氾濫する情報を的確に受容することが求められるようになっています。それは医療に関する情報に関しても例外ではありません。このセミナーは、動画の構造や真贋を読み解く方法を実例によって学ぶことにより、インターネット動画に関するリテラシーを身につけます。

授業の到達目標

インターネット上で流布されている動画などの情報について、その意義、構造、真贋を的確に判断できる。

なお、本授業では、GPA における「B」評価を得るためには、上記の到達目標を達成した上で、

・授業内で課される課題や発表等について、期限内に所定の形式で提出または実施する。

・授業内でのディスカッション等に参加し、自分の見解を述べる。

という二つの条件を充足することが必要です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	11/13	08:50-10:30		第1回 ガイダンス 医療におけるインターネット動画の意義	医療におけるインターネット動画の活用 ／インターネット動画による社会とのつながり ／インターネット動画を視聴する時の二つの観点	辻 泰明	医療におけるインターネット動画の意義について説明できる。
3-4	11/20	08:50-10:30		第2回 実例研究	医療におけるインターネット動画について実例をプレゼンテーション ／プレゼンテーションを元にディスカッション	辻 泰明	医療におけるインターネット動画について分析し、見解を述べることができる。
5-6	11/27	08:50-10:30		第3回 インターネット動画の構造	インターネット動画の構造と各部の機能	辻 泰明	インターネット動画の構造について説明できる。
7-8	12/4	08:50-10:30		第4回 実例研究	インターネット動画の構造について実例をプレゼンテーション ／プレゼンテーションを元にディスカッション	辻 泰明	インターネット動画の構造について分析し、見解を述べることができる。
9-10	12/11	08:50-10:30		第5回 インターネット動画の真贋	フェイク動画の見分け方	辻 泰明	フェイク動画について動画のリテラシーに基づいて説明できる。
11-12	12/18	08:50-10:30		第6回 実例研究	フェイク動画について実例をプレゼンテーション ／プレゼンテー	辻 泰明	フェイク動画について、動画リテラ

					ションを元にディスカッション		シーに基づいて的確に分析し、見解を述べることができる。
13-14	1/8	08:50-10:30		第７回 総括 医療関連インターネット動画のリテラシー	医療関連インターネット動画のリテラシーについて実例をプレゼンテーション ／プレゼンテーションを元にディスカッション	辻 泰明	医療関連インターネット動画のリテラシーについて分析し、見解を述べることができる。

授業方法

この授業は、アクティブラーニングによるセミナー形式で行います。講師が解説した内容に基づいて、実際の現象を調べた結果について発表をしていただきます。

授業内容

第１回 ガイダンス 医療におけるインターネット動画の意義
第２回 実例研究
第３回 インターネット動画の構造
第４回 実例研究
第５回 インターネット動画の真贋
第６回 実例研究
第７回 総括 医療関連インターネット動画のリテラシー

成績評価の基準

評価 ： レポート 40% ・ その他(プレゼンテーション) 60%

準備学習等についての具体的な指示

予習では、指定された資料や動画を予めインターネット等で閲覧したり視聴したりしておいてください。

参考書

映像メディア論 ： 映画からテレビへ、そして、インターネットへ／辻 泰明:和泉書院, 2016.9
インターネット動画メディア論 ： 映像コミュニケーション革命の現状分析／辻 泰明:大学教育出版, 2019.10

備考

三分の二以上の出席が必要です。 出欠管理システムよりも、教員自身が取る出欠を優先します。

連絡先(メールアドレス)

辻 泰明:tsuji.yasuaki@tmd.ac.jp

オフィスアワー

辻 泰明:前期:金 14:30～15:00 後期:水 12:30～13:00
管理研究棟２階

時間割番号	004684				
科目名	教養基礎セミナー(インターネット動画リテラシー)後半 2 講 辻			**科目 ID**	
担当教員	辻 泰明[TSUJI Yasuaki]				
開講時期	2024 年度後期	**対象年次**	1		
実務経験のある教員による授業					

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

1-2)社会制度や仕組みについての基本を理解する

1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る

2-3)言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法論を知る

授業の目的、概要等

新たなメディアとしてのインターネット動画の台頭に伴い、氾濫する情報を的確に受容することが求められるようになっています。それは医療に関する情報に関しても例外ではありません。このセミナーは、動画の構造や真贋を読み解く方法を実例によって学ぶことにより、インターネット動画に関するリテラシーを身につけます。

授業の到達目標

インターネット上で流布されている動画などの情報について、その意義、構造、真贋を的確に判断できる。

なお、本授業では、GPA における「B」評価を得るためには、上記の到達目標を達成した上で、

・授業内で課される課題や発表等について、期限内に所定の形式で提出または実施する。

・授業内でのディスカッション等に参加し、自分の見解を述べる。

という二つの条件を充足することが必要です。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	到達目標・学習方法・その他
1-2	11/13	10:45-12:25		第 1 回 ガイダンス 医療におけるインターネット動画の意義	医療におけるインターネット動画の活用 ／インターネット動画による社会とのつながり ／インターネット動画を視聴する時の二つの観点	辻 泰明	医療におけるインターネット動画の意義について説明できる。
3-4	11/20	10:45-12:25		第 2 回 実例研究	医療におけるインターネット動画について実例をプレゼンテーション ／プレゼンテーションを元にディスカッション	辻 泰明	医療におけるインターネット動画について分析し、見解を述べることができる。
5-6	11/27	10:45-12:25		第 3 回 インターネット動画の構造	インターネット動画の構造と各部の機能	辻 泰明	インターネット動画の構造について説明できる。
7-8	12/4	10:45-12:25		第 4 回 実例研究	インターネット動画の構造について実例をプレゼンテーション ／プレゼンテーションを元にディスカッション	辻 泰明	インターネット動画の構造について分析し、見解を述べることができる。
9-10	12/11	10:45-12:25		第 5 回 インターネット動画の真贋	フェイク動画の見分け方	辻 泰明	フェイク動画について動画のリテラシーに基づいて説明できる。
11-12	12/18	10:45-12:25		第 6 回 実例研究	フェイク動画について実例をプレ	辻 泰明	フェイク動画につ

					ゼンテーション　／プレゼンテーションを元にディスカッション		いて、動画リテラシーに基づいて的確に分析し、見解を述べることができる。
13-14	1/8	10:45-12:25		第７回　総括　医療関連インターネット動画のリテラシー	医療関連インターネット動画のリテラシーについて実例をプレゼンテーション　／プレゼンテーションを元にディスカッション	辻　泰明	医療関連インターネット動画のリテラシーについて分析し、見解を述べることができる。

授業方法

この授業は、アクティブラーニングによるセミナー形式で行います。講師が解説した内容に基づいて、実際の現象を調べた結果について発表をしていただきます。

授業内容

第１回　ガイダンス　医療におけるインターネット動画の意義
第２回　実例研究
第３回　インターネット動画の構造
第４回　実例研究
第５回　インターネット動画の真贋
第６回　実例研究
第７回　総括　医療関連インターネット動画のリテラシー

成績評価の基準

評価　：　レポート　40%　・　その他(プレゼンテーション)　60%

準備学習等についての具体的な指示

予習では、指定された資料や動画を予めインターネット等で閲覧したり視聴したりしておいてください。

参考書

映像メディア論：映画からテレビへ、そして、インターネットへ／辻　泰明:和泉書院, 2016.9
インターネット動画メディア論：映像コミュニケーション革命の現状分析／辻　泰明:大学教育出版, 2019.10

履修上の注意事項

三分の二以上の出席が必要です。 出欠管理システムよりも、教員自身が取る出欠を優先します。

連絡先(メールアドレス)

辻　泰明:tsuji.yasuaki@tmd.ac.jp

オフィスアワー

辻　泰明:前期:金　14:30～15:00　後期:水　12:30～13:00
管理研究棟２階

時間割番号	004685			
科目名	教養基礎セミナー(生命現象をとらえるための数理解析学)前半 1 講 中山		科目ID	
担当教員	中山 まどか[NAKAYAMA Madoka]			
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):2-1, 2-2, 2-3

授業の目的、概要等

微分方程式の基礎など、生命現象をとらえるための数学的基礎を習得する

授業の到達目標

1) 基礎的な微分方程式が理解できる
2) 数理モデルの導出が理解できる
3) 数理モデルの解析手法を会得する
4) 数理モデルの応用が理解できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	9/18	08:50-10:30		中山 まどか
3-4	9/25	08:50-10:30		中山 まどか
5-6	10/2	08:50-10:30		中山 まどか
7-8	10/9	08:50-10:30		中山 まどか
9-10	10/16	08:50-10:30		中山 まどか
11-12	10/23	08:50-10:30		中山 まどか
13-14	10/30	08:50-10:30		中山 まどか
15-16	11/6	08:50-10:30		中山 まどか

授業方法

少人数によるセミナー形式

授業内容

微分方程式の基礎、数理モデルの導出方法、数理モデルの解析手法、数値計算手法など、順を追って学習する。ただし、受講者の関心によってその比重は柔軟に変更する。

成績評価の方法

評価 : 試験 0% ・ レポート 50% ・ その他(出席・発表・議論) 50%
再評価: 有(再提出レポート等)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

授業内容はしっかり復習し、自身の発表に際しては準備を行うこと

参考書

笠原 晧司「微分方程式の基礎」(1982 年)
デヴィッド・バージェス モラグ・ボリー、垣田 高夫 (翻訳)、大町 比佐栄 (翻訳)「微分方程式で数学モデルを作ろう」(1990 年)

備考 オフィスアワー:水　12:30～13:00 その他の時間も事前に連絡を頂ければ随時対応します
連絡先(メールアドレス) 中山　まどか:nakayama.madoka@tmd.ac.jp
オフィスアワー 中山　まどか:前期:火　12:20～13:00 後期:木　12:20～13:00 質問等随時メールで受け付けています。

時間割番号	004686			
科目名	教養基礎セミナー(生命現象をとらえるための数理解析学)前半 2講 中山		科目ID	
担当教員	中山 まどか[NAKAYAMA Madoka]			
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):2-1, 2-2, 2-3

授業の目的、概要等

微分方程式の基礎など、生命現象をとらえるための数学的基礎を習得する

授業の到達目標

1) 基礎的な微分方程式が理解できる
2) 数理モデルの導出が理解できる
3) 数理モデルの解析手法を会得する
4) 数理モデルの応用が理解できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	9/18	10:45-12:25		中山 まどか
3-4	9/25	10:45-12:25		中山 まどか
5-6	10/2	10:45-12:25		中山 まどか
7-8	10/9	10:45-12:25		中山 まどか
9-10	10/16	10:45-12:25		中山 まどか
11-12	10/23	10:45-12:25		中山 まどか
13-14	10/30	10:45-12:25		中山 まどか
15-16	11/6	10:45-12:25		中山 まどか

授業方法

少人数によるセミナー形式

授業内容

微分方程式の基礎、数理モデルの導出方法、数理モデルの解析手法、数値計算手法など、順を追って学習する。ただし、受講者の関心によってその比重は柔軟に変更する。

成績評価の方法

評価 : 試験 0% ・ レポート 50% ・ その他(出席・発表・議論) 50%
再評価: 有(再提出レポート等)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

授業内容はしっかり復習し、自身の発表に際しては準備を行うこと

参考書

笠原 晧司「微分方程式の基礎」(1982 年)
デヴィッド・バージェス モラグ・ボリー、垣田 高夫 (翻訳)、大町 比佐栄 (翻訳)「微分方程式で数学モデルを作ろう」(1990 年)

備考 オフィスアワー:水曜 12:30-13:30 その他の時間も事前に連絡を頂ければ随時対応します
連絡先(メールアドレス) 中山　まどか:nakayama.madoka@tmd.ac.jp
オフィスアワー 中山　まどか:前期:火　12:20～13:00 後期:木　12:20～13:00 質問等随時メールで受け付けています。

時間割番号	004687			
科目名	教養基礎セミナー(生物学と社会科学の現象数理解析)後半 1 講 中山		**科目ID**	
担当教員	中山 まどか[NAKAYAMA Madoka]			
開講時期	2024 年度後期	**対象年次**	1	
実務経験のある教員による授業				

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):2-1, 2-2, 2-3

授業の目的、概要等

生命現象を数理モデルによって記述し、数理解析を行う

授業の到達目標

1) 生命現象を数理モデルで記述できる

2) 自ら目的を設定し、数理解析を行うことができる

3) 数理解析結果に基づき、生命現象について議論できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	11/13	08:50-10:30		中山 まどか
3-4	11/20	08:50-10:30		中山 まどか
5-6	11/27	08:50-10:30		中山 まどか
7-8	12/4	08:50-10:30		中山 まどか
9-10	12/11	08:50-10:30		中山 まどか
11-12	12/18	08:50-10:30		中山 まどか
13-14	1/8	08:50-10:30		中山 まどか

授業方法

少人数によるセミナー形式

授業内容

参考書の輪読等を通じて、各自で関心のある生命現象を見つけ、数理モデルで記述する。各自の興味あるいは社会的優先度にしたがって目的を設定し、数理解析を行う。得られた数理解析の結果に基づいて、設定した目的の周辺を議論する。

成績評価の方法

評価 : 試験 0% ・ レポート 50% ・ その他(出席・発表・議論) 50%

再評価: 有(再提出レポート等)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

授業内容はしっかり復習し、自身の発表に際しては準備を行うこと

参考書

キーナー「数理生理学(上・下)」(2005 年)

備考

オフィスアワー:水曜 12:30-13:30

その他の時間も事前に連絡を頂ければ随時対応します

連絡先（メールアドレス） 中山　まどか:nakayama.madoka@tmd.ac.jp
オフィスアワー 中山　まどか:前期:火　12:20～13:00 後期:木　12:20～13:00 質問等随時メールで受け付けています。

時間割番号	004688			
科目名	教養基礎セミナー(生物学と社会科学の現象数理解析)後半 2 講 中山		**科目ID**	
担当教員	中山 まどか[NAKAYAMA Madoka]			
開講時期	2024 年度後期	**対象年次**	1	
実務経験のある教員による授業				

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):2-1, 2-2, 2-3

授業の目的、概要等

生命現象を数理モデルによって記述し、数理解析を行う

授業の到達目標

1) 生命現象を数理モデルで記述できる

2) 自ら目的を設定し、数理解析を行うことができる

3) 数理解析結果に基づき、生命現象について議論できる

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	11/13	10:45-12:25		中山 まどか
3-4	11/20	10:45-12:25		中山 まどか
5-6	11/27	10:45-12:25		中山 まどか
7-8	12/4	10:45-12:25		中山 まどか
9-10	12/11	10:45-12:25		中山 まどか
11-12	12/18	10:45-12:25		中山 まどか
13-14	1/8	10:45-12:25		中山 まどか

授業方法

少人数によるセミナー形式

授業内容

参考書の輪読等を通じて、各自で関心のある生命現象を見つけ、数理モデルで記述する。各自の興味あるいは社会的優先度にしたがって目的を設定し、数理解析を行う。得られた数理解析の結果に基づいて、設定した目的の周辺を議論する。

成績評価の方法

評価 : 試験 0% ・ レポート 50% ・ その他(出席・発表・議論) 50%

再評価: 有(再提出レポート等)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

授業内容はしっかり復習し、自身の発表に際しては準備を行うこと

参考書

キーナー「数理生理学(上・下)」(2005 年)

備考

オフィスアワー:水曜 12:30-13:30

その他の時間も事前に連絡を頂ければ随時対応します

連絡先(メールアドレス)
中山 まどか:nakayama.madoka@tmd.ac.jp
オフィスアワー
中山 まどか:前期:火 12:20～13:00
後期:木 12:20～13:00
質問等随時メールで受け付けています。

時間割番号	004689			
科目名	教養基礎セミナー(社会活動としての科学 – 生命科学研究の実際)前半1講 栗田		**科目ID**	
担当教員	栗田 武[KURITA TAKESHI]			
開講時期	2024 年度後期	**対象年次**	1	
実務経験のある教員による授業				

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

1-2 社会制度や仕組みについての基本を理解する。

1-10 現代社会における科学の責任を意識できるようになる。

2-1 自然現象を科学的に探求するための方法論を知る。

2-3 言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法論を知る

4-2 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける

授業の目的、概要等

法則的で体系的な知識を追求する活動としての「科学」は、人々の幸福に寄与する目的で公的な支援を受けています。しかし、科学に従事する人々の活動の実態は一体どのようなものなのでしょうか。それは公共の期待に適ったものでしょうか。また、科学の成果は社会規範や世論の形成にどのような影響を与えているのでしょうか。例えば「ジェンダー」「人種」といった社会的概念に対して、科学的知見はどのように反映されているのでしょうか。

この授業では、担当教員の長年にわたる北米での研究経験を交え、生命科学研究の実態を解説します。履修者は提示されたデータを基に議論することで、批判的思考や論理的思考を駆使してデータを読み解く重要性について学び、社会における科学の役割や影響を深く理解します。

授業の到達目標

1. 科学リテラシーを高める。
2. 科学と社会的の関わりに関する考察を深める。
3. 自ら積極的に情報を集める学習態度を身につける。
4. 批判的に思考し、討論を通して知識を深める方法を体験する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	9/18	08:50-10:30		栗田 武
3-4	9/25	08:50-10:30		栗田 武
5-6	10/2	08:50-10:30		栗田 武
7-8	10/9	08:50-10:30		栗田 武
9-10	10/16	08:50-10:30		栗田 武
11-12	10/23	08:50-10:30		栗田 武
13-14	10/30	08:50-10:30		栗田 武
15-16	11/6	08:50-10:30		栗田 武

授業方法

担当教員のプレゼンテーションをもとに、参加者全員で討論を行います。最後の授業では課題発表会が行われ、各自が学習した課題をスライドにまとめ、口頭で発表します。

授業内容

社会情勢を反映したテーマを、生命科学の視点から論じます。例えば 2023 年には、6 月にハーバード大学とノースカロライナ大学に対し、入学選抜において人種を考慮することを禁じる判決が出されたこと(Students for Fair Admissions v. Harvard, 600 U.S. 181)を受け、「人種の生物学」を 2 回(4コマ)の授業で取り上げました。

取り扱う可能性があるテーマ:アメリカの大学の実情、科学者は何を目指すのか、人種の生物学、科学における再現性の危機、COVID-19 はどこから来たのか

成績評価の方法

評価:毎回の授業で、出席及び発言回数・内容(参加度)を評価します。課題発表は、情報源の質・量、内容の正確さ、論理性、明瞭性、発表態度、他の参加者への質問、を評価します。出席停止(体調不良)等で課題発表に参加できない場合は、課題をレポートにまとめて提出してください。

配点: 出欠 24%、参加度(発言回数・内容) 32%、課題発表 44%

再評価:有

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

毎回、次の授業でのディスカッションに備えるための調査課題を出します。できる限り多くの情報源を参照し、参考資料としてまとめてディスカッションに活用してください。その際、必ず英語の情報源も調査に含めてください。また、「調べたらそれで終わり」にせず、内容を深く理解し、積極的にディスカッションに参加できるように準備してください。毎回の授業で、「課題の理解度」「準備の度合い」を評価し、成績に反映させます。

参考書

適宜紹介します。

連絡先(メールアドレス)

栗田 武:kurita.takeshi@tmd.ac.jp

オフィスアワー

栗田 武:毎週水曜日 PM.1:30-PM. 5:00 ヒポクラテスホール (校舎棟) 4 階 教官研究室-2

時間割番号	004690			
科目名	教養基礎セミナー(社会活動としての科学 – 生命科学研究の実際)前半 2 講 栗田		科目 ID	
担当教員	栗田 武[KURITA TAKESHI]			
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

1-2 社会制度や仕組みについての基本を理解する。

1-10 現代社会における科学の責任を意識できるようになる。

2-1 自然現象を科学的に探求するための方法論を知る。

2-3 言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法論を知る

4-2 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける

授業の目的、概要等

法則的で体系的な知識を追求する活動としての「科学」は、人々の幸福に寄与する目的で公的な支援を受けています。しかし、科学に従事する人々の活動の実態は一体どのようなものなのでしょうか。それは公共の期待に適ったものでしょうか。また、科学の成果は社会規範や世論の形成にどのような影響を与えているのでしょうか。例えば「ジェンダー」「人種」といった社会的概念に対して、科学的知見はどのように反映されているのでしょうか。

この授業では、担当教員の長年にわたる北米での研究経験を交え、生命科学研究の実態を解説します。履修者は提示されたデータを基に議論することで、批判的思考や論理的思考を駆使してデータを読み解く重要性について学び、社会における科学の役割や影響を深く理解します。

授業の到達目標

1. 科学リテラシーを高める。
2. 科学と社会的の関わりに関する考察を深める。
3. 自ら積極的に情報を集める学習態度を身につける。
4. 批判的に思考し、討論を通して知識を深める方法を体験する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	9/18	10:45-12:25		栗田 武
3-4	9/25	10:45-12:25		栗田 武
5-6	10/2	10:45-12:25		栗田 武
7-8	10/9	10:45-12:25		栗田 武
9-10	10/16	10:45-12:25		栗田 武
11-12	10/23	10:45-12:25		栗田 武
13-14	10/30	10:45-12:25		栗田 武
15-16	11/6	10:45-12:25		栗田 武

授業方法

担当教員のプレゼンテーションをもとに、参加者全員で討論を行います。最後の授業では課題発表会が行われ、各自が学習した課題をスライドにまとめ、口頭で発表します。

授業内容

社会情勢を反映したテーマを、生命科学の視点から論じます。例えば 2023 年には、6 月にハーバード大学とノースカロライナ大学に対し、入学選抜において人種を考慮することを禁じる判決が出されたこと(Students for Fair Admissions v. Harvard, 600 U.S. 181)を受け、「人種の生物学」を 2 回(4コマ)の授業で取り上げました。

取り扱う可能性があるテーマ:アメリカの大学の実情、科学者は何を目指すのか、人種の生物学、科学における再現性の危機、COVID-19 はどこから来たのか

成績評価の方法

評価:毎回の授業で、出席及び発言回数・内容(参加度)を評価します。課題発表は、情報源の質・量、内容の正確さ、論理性、明瞭性、発表態度、他の参加者への質問、を評価します。出席停止(体調不良)等で課題発表に参加できない場合は、課題をレポートにまとめて提出してください。

配点: 出欠 24%、参加度(発言回数・内容) 32%、課題発表 44%

再評価:有

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

毎回、次の授業でのディスカッションに備えるための調査課題を出します。できる限り多くの情報源を参照し、参考資料としてまとめてディスカッションに活用してください。その際、必ず英語の情報源も調査に含めてください。また、「調べたらそれで終わり」にせず、内容を深く理解し、積極的にディスカッションに参加できるように準備してください。毎回の授業で、「課題の理解度」「準備の度合い」を評価し、成績に反映させます。

参考書

適宜紹介します。

連絡先(メールアドレス)

栗田 武:kurita.takeshi@tmd.ac.jp

オフィスアワー

栗田 武:毎週水曜日 PM.1:30-PM. 5:00 ヒポクラテスホール (校舎棟) 4 階 教官研究室-2

時間割番号	004691			
科目名	教養基礎セミナー(科学的な正しさとは何か － 生命医科学研究の事例から考える)後半1講 栗田		科目ID	
担当教員	栗田 武[KURITA TAKESHI]			
開講時期	2024 年度後期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

1−2 社会制度や仕組みについての基本を理解する

1−10 現代社会における科学の責任を意識できるようになる

2−1 自然現象を科学的に探求するための方法論を知る

4−2 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける

授業の目的、概要等

誰もが一度は、「科学的に証明されている」「科学的根拠をもつ」といったフレーズを耳にしたことがあるでしょう。その際、「どのような科学的証拠があるのだろう？」と考えたことはあるでしょうか。その「科学的正当性」は、学会や科学者個人の声明に基づいたものかもしれません。しかし、そもそもその科学者の主張はどれほど「公平で客観的」なのでしょうか。

この授業では、担当教員の長年にわたる北米での研究経験を交え、科学における「正しさ」の実態を解説します。履修者は教員と共に議論することで、科学リテラシーと批判的・論理的思考力の向上を目指します。

授業の到達目標

1. 批判的思考方法を学ぶ。
2. 科学リテラシーを高める。
3. 「科学的である」とはどういうことか、考察を深める。
4. 討論を通して、知識を深める方法を体験する。
5. 論点を整理し、主張を明確に伝える方法を身につける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1−2	11/13	08:50−10:30		栗田 武
3−4	11/20	08:50−10:30		栗田 武
5−6	11/27	08:50−10:30		栗田 武
7−8	12/4	08:50−10:30		栗田 武
9−10	12/11	08:50−10:30		栗田 武
11−12	12/18	08:50−10:30		栗田 武
13−14	1/8	08:50−10:30		栗田 武

授業方法

担当教員のプレゼンテーションをもとに、参加者全員で討論を行います。最後の授業では課題発表会が行われ、各自が学習した課題をスライドにまとめ、口頭で発表します。

授業内容

社会に関わる重要なテーマ、特に進行中の問題を、生命科学の視点から論じます。2023 年度は、6 月の「性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律」成立と、10 月の「『心は女性』と主張する生物学的男性が女性浴場に侵入した事件」の報道を受け、複数回にわたり「性とジェンダー」をテーマとして取り上げました。

授業で取り扱う可能性があるテーマ:大学教授になる方法、放射線とモンスター、個体発生と疾病、二重盲検法の意義、新型コロナ感染症の起源

成績評価の方法

評価:毎回の授業で、出席及び発言回数・内容(参加度)を評価します。課題発表は、情報源の質・量、内容の正確さ、論理性、明瞭性、発表態度、他の参加者への質問、を評価します。出席停止(体調不良)等で課題発表に参加できない場合は、課題をレポートにまとめて提出してください。

配点: 出欠 21%、参加度(発言回数・内容) 28%、課題発表 51%
再評価:有

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

毎回、次の授業でのディスカッションに備えるための調査課題を出します。できる限り多くの情報源を参照し、参考資料としてまとめてディスカッションに活用してください。その際、必ず英語の情報源も調査に含めてください。また、「調べたらそれで終わり」にせず、内容を深く理解し、積極的にディスカッションに参加できるように準備してください。毎回の授業で、「課題の理解度」「準備の度合い」を評価し、成績に反映させます。

参考書

適宜、指定します。

履修上の注意事項

単位取得には3 分の2以上の出席が必要です。

連絡先(メールアドレス)

栗田 武:kurita.takeshi@tmd.ac.jp

オフィスアワー

栗田 武:毎週水曜日 PM.1:30-PM.5:00 ヒポクラテスホール (校舎棟) 4 階 教官研究室-2

時間割番号	004692				
科目名	教養基礎セミナー(科学的な正しさとは何か － 生命医科学研究の事例から考える)後半 2 講　栗田			**科目 ID**	
担当教員	栗田　武[KURITA TAKESHI]				
開講時期	2024 年度後期	**対象年次**	1		
実務経験のある教員による授業					

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

1−2 社会制度や仕組みについての基本を理解する

1−10 現代社会における科学の責任を意識できるようになる

2−1 自然現象を科学的に探求するための方法論を知る

4−2 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける

授業の目的、概要等

誰もが一度は、「科学的に証明されている」「科学的根拠をもつ」といったフレーズを耳にしたことがあるでしょう。その際、「どのような科学的証拠があるのだろう？」と考えたことはあるでしょうか。その「科学的正当性」は、学会や科学者個人の声明に基づいたものかもしれません。しかし、そもそもその科学者の主張はどれほど「公平で客観的」なのでしょうか。

この授業では、担当教員の長年にわたる北米での研究経験を交え、科学における「正しさ」の実態を解説します。履修者は教員と共に議論することで、科学リテラシーと批判的・論理的思考力の向上を目指します。

授業の到達目標

1. 批判的思考方法を学ぶ。
2. 科学リテラシーを高める。
3. 「科学的である」とはどういうことか、考察を深める。
4. 討論を通して、知識を深める方法を体験する。
5. 論点を整理し、主張を明確に伝える方法を身につける。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1−2	11/13	10:45−12:25		栗田 武
3−4	11/20	10:45−12:25		栗田 武
5−6	11/27	10:45−12:25		栗田 武
7−8	12/4	10:45−12:25		栗田 武
9−10	12/11	10:45−12:25		栗田 武
11−12	12/18	10:45−12:25		栗田 武
13−14	1/8	10:45−12:25		栗田 武

授業方法

担当教員のプレゼンテーションをもとに、参加者全員で討論を行います。最後の授業では課題発表会が行われ、各自が学習した課題をスライドにまとめ、口頭で発表します。

授業内容

社会に関わる重要なテーマ、特に進行中の問題を、生命科学の視点から論じます。2023 年度は、6 月の「性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律」成立と、10 月の「『心は女性』と主張する生物学的男性が女性浴場に侵入した事件」の報道を受け、複数回にわたり「性とジェンダー」をテーマとして取り上げました。

授業で取り扱う可能性があるテーマ:大学教授になる方法、放射線とモンスター、個体発生と疾病、二重盲検法の意義、新型コロナ感染症の起源

成績評価の方法

評価:毎回の授業で、出席及び発言回数・内容(参加度)を評価します。課題発表は、情報源の質・量、内容の正確さ、論理性、明瞭性、発表態度、他の参加者への質問、を評価します。出席停止(体調不良)等で課題発表に参加できない場合は、課題をレポートにまとめて提出してください。

配点: 出欠 21%、参加度(発言回数・内容) 28%、課題発表 51%
再評価:有

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

毎回、次の授業でのディスカッションに備えるための調査課題を出します。できる限り多くの情報源を参照し、参考資料としてまとめてディスカッションに活用してください。その際、必ず英語の情報源も調査に含めてください。また、「調べたらそれで終わり」にせず、内容を深く理解し、積極的にディスカッションに参加できるように準備してください。毎回の授業で、「課題の理解度」「準備の度合い」を評価し、成績に反映させます。

参考書

適宜、指定します。

履修上の注意事項

単位取得には3 分の2以上の出席が必要です。

連絡先(メールアドレス)

栗田 武:kurita.takeshi@tmd.ac.jp

オフィスアワー

栗田 武:毎週水曜日 PM.1:30-PM.5:00 ヒポクラテスホール (校舎棟) 4 階 教官研究室-2

時間割番号	00500				
科目名	グローバル教養総合講座			**科目ID**	
担当教員	檜枝 光憲, 伊藤 正則, 奈良 雅之, 中林 潤, 藤井 達夫, 猪熊 恵子, 勝又 敏行, 松本 幸久, BAO MIN, 澤野 頼子, 徳永 伸一, PATRICK FOSS, 越野 和樹, 畔柳 和代, 辻 泰明, 栗田 武, 中山 まどか, 藤井 俊吾[HIEDA MITSUNORI, ITO MASANORI, NARA MASAYUKI, NAKABAYASHI Junn, FUJII Tatsuo, INOKUMA KEIKO, KATSUMATA TOSHIYUKI, MATSUMOTO YUKIHISA, BAO Min, SAWANO YORIKO, TOKUNAGA SHINICHI, PATRICK FOSS, KOSHINO KAZUKI, KUROYANAGI KAZUYO, TSUJI Yasuaki, KURITA TAKESHI, NAKAYAMA Madoka, FUJII Shunngo]				
開講時期	2024 年度前期	**対象年次**	1	**単位数**	1.5
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間：月曜3・4・5講

・対象学科・専攻：全学科

・科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）：

1－10）現代社会における科学の責任を意識できるようになる。

2－4）自己問題提起・解決型の学習方法を身につける。

3－2）自らの考えを的確に伝えるための基本的な文章表現能力を身につける

3－3）チームの中で、自己の役割を果たす能力を身につける。

4－4）情報についての基本技能を身につける

授業の目的、概要等

東京医科歯科大学は「知と癒しの匠を創造し、人々の幸福に貢献する」をミッションに掲げ、①幅広い教養と豊かな感性を備えた人間性の涵養、②自己問題提起、自己問題解決型の創造力豊かな人間の養成、③国際感覚と国際競争力に優れる人材の養成、を教育理念としています。これらの理念実現のための第一歩として、入学直後の1年生全員（約280名）に、グローバル教養総合講座と呼ばれるアクティブラーニングを実践しています。学科を横断した8名程度の小グループを編成し、グローバルな大テーマに沿って各グループが独自の課題を設定し、グループ内外での議論を通した頭脳循環により問題解決を目指します。そして最終発表会にて、成果をスライドにまとめ発表します。本授業により、教えられたことを暗記するだけの学びからモード転換を図り、自ら主体的に学びつつ幅広い視野を獲得し、「答えのない難問」に対応するための総合知を養ってください。

本授業の目的は以下の通りです。

（1）人文社会科学から自然科学までの学問領域を横断して、地球規模の問題に関する共通のテーマを深く考察する機会を持つことによって、自発的な学びの態度と幅広い視野を身につける。

（2）すべての学生が共に学ぶ教養部の特性を活かし、学科の枠を超えた相互理解を育むことを通じて、将来のチーム医療の基盤となるグループ学習、グループディスカッションを初年次より体験する。

（3）学問を身につける上で基礎的な技能となる、コミュニケーション、情報活用、プレゼンテーションの能力の向上を図る。

授業の到達目標

大学での学習に必要な討論、情報活用、プレゼンテーションに関する基本的なスキルを身に付ける。

以下の2点を満たすことが、B評価（70点以上）の必要条件として要求される。

1. 授業内で課される課題について、原則としてすべて、期限内に所定の形式で提出すること。
2. テーマに関する調査、ディスカッション、プレゼンテーションへの準備など、グループでの活動に主体的に取り組むこと。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-4	5/13	13:30-17:05		外部講師による基調講演、ガイダンス	基調講演および留学生パネルディスカッション	PATRICK FOSS, 中林 潤, 栗田 武, 奈良 雅之, 畔柳 和代, 伊藤 正

						則, 藤井 達夫, BAO MIN, 檜枝 光憲, 澤野 頼子, 徳永 伸一, 猪熊 恵子, 松本 幸久, 越野 和樹, 中山 まどか, 勝又 敏行, 辻 泰明
5-8	5/20	13:30-17:05		講義1＋基礎ゼミ1	議論技法に関わる講義および基礎ゼミ1	PATRICK FOSS, 中林 潤, 栗田 武, 奈良 雅之, 畔柳 和代, 伊藤 正則, 藤井 達夫, BAO MIN, 檜枝 光憲, 澤野 頼子, 徳永 伸一, 猪熊 恵子, 松本 幸久, 越野 和樹, 中山 まどか, 勝又 敏行, 辻 泰明
9-11	5/27	13:30-16:10		講義2＋基礎ゼミ2	情報活用に関わる講義および基礎ゼミ2	PATRICK FOSS, 中林 潤, 栗田 武, 奈良 雅之, 畔柳 和代, 伊藤 正則, 藤井 達夫, BAO MIN, 檜枝 光憲, 澤野 頼子, 徳永 伸一, 猪熊 恵子, 松本 幸久, 越野 和樹, 中山 まどか, 勝又 敏行, 辻 泰明
12-14	6/3	13:30-16:10		講義3＋基礎ゼミ3	プレゼンに関わる講義および基礎ゼミ3	PATRICK FOSS, 中林 潤, 栗田 武, 奈良 雅之, 畔柳 和代, 伊藤 正則, 藤井 達夫, BAO MIN, 檜枝 光憲, 澤野 頼子, 徳永 伸一, 猪熊 恵子, 松本 幸久, 越野 和樹, 中山 まどか, 勝又 敏行, 辻 泰明
15-17	6/10	13:30-16:10		基礎ゼミ4	基礎ゼミ4	PATRICK FOSS, 中林 潤, 栗田 武, 奈良 雅之, 畔柳 和代, 伊藤 正則, 藤井 達夫, BAO MIN, 檜枝 光憲, 澤野 頼子, 徳永 伸一, 猪熊 恵子, 松本 幸久, 越野 和樹, 中山 まどか, 勝又 敏行, 辻 泰明
18-20	6/17	13:30-16:10		基礎ゼミ5＋リハーサル	基礎ゼミ5および最終発表会リハーサル	PATRICK FOSS, 中林 潤, 栗田 武, 奈良 雅之, 畔柳 和代, 伊藤 正則, 藤井 達夫, BAO MIN, 檜枝 光憲, 澤野 頼子, 徳永 伸一, 猪熊 恵子, 松本 幸久, 越野 和樹, 中山 まどか, 勝又 敏行, 辻 泰明
21-24	7/1	13:30-17:05		最終発表会	最終発表会	PATRICK FOSS, 中林 潤, 栗田 武, 奈良 雅之, 畔柳 和代, 伊藤 正則, 藤井 達夫, BAO MIN, 檜枝 光憲, 澤野 頼子, 徳永 伸一, 猪熊 恵子, 松本 幸久, 越野 和樹, 中山 まどか, 勝又 敏行, 辻 泰明

授業方法

講義とセミナー形式を基本とし、発表も課す。

教養部ガイダンスや第1回目の授業日(5 月 13 日)に、詳細な説明を行う。

授業内容

本授業は(1)基礎ゼミ、(2)講義(議論技法、情報活用、プレゼン等)の2つで構成される。これらは、対象学生全員を8名程度のグループに分けて、並行して進められる。

(1)基礎ゼミでは、指定された読み物と初回の基調講演を参考にして、班ごとに大きなテーマに沿って課題を見つけ、問題を抽出し、情

報収集と討論を行い、最終回(発表会)で班の考えを述べる。教養部教員がチュータとして参加する。

(2)講義では、基礎ゼミを進める上で必要となる議論技法、情報活用法、プレゼンテーション法等について教授する。

「基礎ゼミ」内の主なイベント予定は下記のとおり。一部変更の可能性があるので、開講後もウェブクラスでの通知に注意すること。

5 月 13 日(月) 外部講師による基調講演、ガイダンス
6 月 17 日(月) 最終発表会前リハーサル
7 月 1 日(月) 最終発表会

成績評価の方法

評価:その他 100%
出席状況や課題への取り組み方、授業への参加態度などをもとに総合的に評価する。
再評価: 無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習等についての具体的な指示

基礎ゼミ指定資料の有無および詳細については、4 月段階で適宜ウェブクラスを通じて周知する予定である。

教科書

基礎ゼミ指定資料の有無および詳細については、4 月段階で適宜ウェブクラスを通じて周知する予定である。

参考書

時間割番号	00510				
科目名	情報科学			**科目ID**	
担当教員	徳永 伸一, 髙橋 大樹, 水島 涼[TOKUNAGA SHINICHI, TAKAHASHI Daiki, MIZUSHIMA Ryou]				
開講時期	2024 年度前期	**対象年次**	1	**単位数**	1
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:火曜 3、4 講

対象学科・専攻:保健衛生学科・口腔保健学科

コンピテンシー:

4–2) 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける

4–3) 自然現象を探求するための基本的手法を身につける

4–4) 情報についての基本技能を身につける

主な講義場所

計算機実習室

授業の目的、概要等

情報科学技術に関する知識と, 情報処理能力, 論理的思考力を養成するために、以下の項目について学ぶ。

(1)情報処理:電子情報を活用するための基本的な技術。

(2)プログラミング:論理的な思考法およびコンピュータを用いた計算法、アルゴリズムの基礎。

授業の到達目標

(1)情報処理:E メール、テキストエディタ、タイピング等の基本的な知識および技術を習得する。

(2)プログラミング:Python を用いて数列の計算、順列・組合せの計算、スロットマシン、数当てゲーム、三角関数を用いた図形の描画など、基本的なプログラムを作成できる。またそれらのプログラムを解読して実行結果を予測できる。

授業方法

パソコンを用いた実習を中心とする。

授業内容

第 1 回:E メール(Web メール)・LMS 利用法、パソコン・インターネットの基礎

第 2 回:キーボード操作とタイピング

第 3 回:日本語入力・テキストエディタ演習

第 4 回:Python 概要と環境構築

第 5 回:Python プログラムの入力と実行、変数と演算、代入

第 6 回:Python 制御構造1(for 文、while 文等)

第 7 回:Python 制御構造2(if 文、関数等)

第 8 回:Python グラフィクス1

第 9 回:Python グラフィクス2

第 10 回:Python 応用演習

成績評価の方法

分野ごとに以下の通り評価し、得点を合計する。ただし原則として毎回授業に出席し、指示されたすべての課題を提出し合格すること、筆記試験で一定(6割を目安とする)以上得点すること、およびタイピング試験で指定された合格基準をクリアすることを必須とする。

(1)プログラミング: 課題提出および学期末の試験による(約 70%)

(2)情報処理: タイピング試験、課題提出および試験による(約 30%)

なお本科目の再評価は、後期に実施する再試験により行う。

【再評価について】

プログラミング試験、タイピング試験、および指定された課題のうち、1つでも不合格となった学生は再評価の対象となる。また試験および課題の不合格者に対しては、後期に再試験を行う他、再評価の一環として演習やレポートを課すことがある。

なお再評価の上限は 70 点とする。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習等についての具体的な指示

高校までの数学、特に二進法、多項式、三角関数、順列・組合せ等の基本的な知識を前提として行うので、事前に復習しておくこと。
また、授業は段階的に進むので、各回の授業で疑問点を残さないように、質問と復習をしっかり行うこと。

試験の受験資格

原則としてすべての授業に出席し、指定された課題をすべて提出すること。
（やむを得ぬ事情で欠席する場合は、E メールにより連絡し指示を仰ぐこと）

教科書

Web 上の教材を利用する。

他科目との関連

Python によるプログラミングは後期の「医療と AI・データサイエンス」で扱われる応用的なプログラミングの基礎となります。

履修上の注意事項

実習を中心として段階的に授業を行うので、欠席は履修上の大きな障害となります。やむを得ぬ事情で欠席する場合、必ず E メールにより連絡し、指示を仰ぐこと。

参照ホームページ

情報処理テキスト：http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/tokunaga/infolit_text.htm

連絡先（メールアドレス）

徳永　伸一:tokunaga.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

徳永　伸一:前期:
火曜 12:30–13:20（ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室）

後期:
木曜 12:30–13:20（ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室）

＊いずれも計算機実習室で授業がある日なので、そちらにいることが多いです。
上記以外の時間帯でも、事前に E メールで連絡をもらえれば可能な限り対応します。

時間割番号	005101				
科目名	情報科学(α)			科目ID	
担当教員	徳永 伸一, 髙橋 大樹, 水島 涼[TOKUNAGA SHINICHI, TAKAHASHI Daiki, MIZUSHIMA Ryou]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1		
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:火曜第 4 講(7-8 限)

対象学科・専攻:保健衛生学科・口腔保健学科

コンピテンシー:

4−2) 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける

4−3) 自然現象を探求するための基本的手法を身につける

4−4) 情報についての基本技能を身につける

主な講義場所

計算機実習室

授業の目的、概要等

情報科学技術に関する知識と, 情報処理能力, 論理的思考力を養成するために、以下の項目について学ぶ。

(1)情報処理:電子情報を活用するための基本的な技術。

(2)プログラミング:論理的な思考法およびコンピュータを用いた計算法、アルゴリズムの基礎。

授業の到達目標

(1)情報処理:E メール、テキストエディタ、タイピング等の基本的な知識および技術を習得する。

(2)プログラミング:Python を用いて数列の計算、順列・組合せの計算、スロットマシン、数当てゲーム、三角関数を用いた図形の描画など、基本的なプログラムを作成できる。またそれらのプログラムを解読して実行結果を予測できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	4/23	15:25-17:05	計算機実習室	徳永 伸一
3-4	4/30	15:25-17:05	計算機実習室	徳永 伸一
5-6	5/7	15:25-17:05	計算機実習室	徳永 伸一
7-8	5/14	15:25-17:05	計算機実習室	徳永 伸一
9-10	5/21	15:25-17:05	計算機実習室	徳永 伸一
11-12	5/28	15:25-17:05	計算機実習室	徳永 伸一
13-14	6/4	15:25-17:05	計算機実習室	徳永 伸一
15-16	6/11	15:25-17:05	計算機実習室	徳永 伸一
17-18	6/18	15:25-17:05	計算機実習室	徳永 伸一
19-20	6/25	15:25-17:05	計算機実習室	徳永 伸一

授業方法

パソコンを用いた実習を中心とする。

授業内容

第 1 回:E メール(Web メール)・LMS 利用法、パソコン・インターネットの基礎

第 2 回:キーボード操作とタイピング

第 3 回:日本語入力・テキストエディタ演習

第 4 回:Python 概要と環境構築

第 5 回:Python プログラムの入力と実行、変数と演算、代入

第 6 回:Python 制御構造1(for 文、while 文等)

第 7 回:Python 制御構造2(if 文、関数等)

第 8 回:Python グラフィクス1

第 9 回:Python グラフィクス2
第 10 回:Python 応用演習

成績評価の方法

分野ごとに以下の通り評価し、得点を合計する。ただし原則として毎回授業に出席し、指示されたすべての課題を提出し合格すること、筆記試験で一定(6割を目安とする)以上得点すること、およびタイピング試験で指定された合格基準をクリアすることを必須とする。
(1)プログラミング: 課題提出および学期末の試験による(約 70%)
(2)情報処理: タイピング試験、課題提出および試験による(約 30%)
なお本科目の再評価は、後期に実施する再試験により行う。

【再評価について】
プログラミング試験、タイピング試験、および指定された課題のうち、1つでも不合格となった学生は再評価の対象となる。また試験および課題の不合格者に対しては、後期に再試験を行う他、再評価の一環として演習やレポートを課すことがある。
なお再評価の上限は 70 点とする。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習等についての具体的な指示

高校までの数学、特に二進法、多項式、三角関数、順列・組合せ等の基本的な知識を前提として行うので、事前に復習しておくこと。
また、授業は段階的に進むので、各回の授業で疑問点を残さないように、質問と復習をしっかり行うこと。

試験の受験資格

原則としてすべての授業に出席し、指定された課題をすべて提出すること。
(やむを得ぬ事情で欠席する場合は、E メールにより連絡し指示を仰ぐこと)

教科書

Web 上の教材を利用する。

他科目との関連

Python によるプログラミングは後期の「医療と AI・データサイエンス」で扱われる応用的なプログラミングの基礎となります。

履修上の注意事項

実習を中心として段階的に授業を行うので、欠席は履修上の大きな障害となります。やむを得ぬ事情で欠席する場合、必ず E メールにより連絡し、指示を仰ぐこと。

参照ホームページ

情報処理テキスト:http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/tokunaga/infolit_text.htm

連絡先(メールアドレス)

徳永 伸一:tokunaga.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

徳永 伸一:前期:
火曜 12:30-13:20(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

後期:
木曜 12:30-13:20(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

＊いずれも計算機実習室で授業がある日なので、そちらにいることが多いです。
上記以外の時間帯でも、事前に E メールで連絡をもらえれば可能な限り対応します。

時間割番号	005102				
科目名	情報科学(β)			科目ID	
担当教員	徳永 伸一, 髙橋 大樹, 水島 涼[TOKUNAGA SHINICHI, TAKAHASHI Daiki, MIZUSHIMA Ryou]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1		
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:第 3 講(5-6 限)

対象学科・専攻:保健衛生学科・口腔保健学科

コンピテンシー:

4-2) 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける

4-3) 自然現象を探求するための基本的手法を身につける

4-4) 情報についての基本技能を身につける

主な講義場所

計算機実習室

授業の目的、概要等

情報科学技術に関する知識と, 情報処理能力, 論理的思考力を養成するために、以下の項目について学ぶ。

(1)情報処理:電子情報を活用するための基本的な技術。

(2)プログラミング:論理的な思考法およびコンピュータを用いた計算法、アルゴリズムの基礎。

授業の到達目標

(1)情報処理:E メール、テキストエディタ、タイピング等の基本的な知識および技術を習得する。

(2)プログラミング:Python を用いて数列の計算、順列・組合せの計算、スロットマシン、数当てゲーム、三角関数を用いた図形の描画など、基本的なプログラムを作成できる。またそれらのプログラムを解読して実行結果を予測できる。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	4/23	13:30-15:10	計算機実習室	徳永 伸一
3-4	4/30	13:30-15:10	計算機実習室	徳永 伸一
5-6	5/7	13:30-15:10	計算機実習室	徳永 伸一
7-8	5/14	13:30-15:10	計算機実習室	徳永 伸一
9-10	5/21	13:30-15:10	計算機実習室	徳永 伸一
11-12	5/28	13:30-15:10	計算機実習室	徳永 伸一
13-14	6/4	13:30-15:10	計算機実習室	徳永 伸一
15-16	6/11	13:30-15:10	計算機実習室	徳永 伸一
17-18	6/18	13:30-15:10	計算機実習室	徳永 伸一
19-20	6/25	13:30-15:10	計算機実習室	徳永 伸一

授業方法

パソコンを用いた実習を中心とする。

授業内容

第 1 回:E メール(Web メール)・LMS 利用法、パソコン・インターネットの基礎

第 2 回:キーボード操作とタイピング

第 3 回:日本語入力・テキストエディタ演習

第 4 回:Python 概要と環境構築

第 5 回:Python プログラムの入力と実行、変数と演算、代入

第 6 回:Python 制御構造1(for 文、while 文等)

第 7 回:Python 制御構造2(if 文、関数等)

第 8 回:Python グラフィクス1

第 9 回:Python グラフィクス2
第 10 回:Python 応用演習

成績評価の方法

分野ごとに以下の通り評価し、得点を合計する。ただし原則として毎回授業に出席し、指示されたすべての課題を提出し合格すること、筆記試験で一定(6割を目安とする)以上得点すること、およびタイピング試験で指定された合格基準をクリアすることを必須とする。
(1)プログラミング: 課題提出および学期末の試験による(約 70%)
(2)情報処理: タイピング試験、課題提出および試験による(約 30%)
なお本科目の再評価は、後期に実施する再試験により行う。

【再評価について】
プログラミング試験、タイピング試験、および指定された課題のうち、1つでも不合格となった学生は再評価の対象となる。また試験および課題の不合格者に対しては、後期に再試験を行う他、再評価の一環として演習やレポートを課すことがある。
なお再評価の上限は 70 点とする。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習等についての具体的な指示

高校までの数学、特に二進法、多項式、三角関数、順列・組合せ等の基本的な知識を前提として行うので、事前に復習しておくこと。
また、授業は段階的に進むので、各回の授業で疑問点を残さないように、質問と復習をしっかり行うこと。

試験の受験資格

原則としてすべての授業に出席し、指定された課題をすべて提出すること。
(やむを得ぬ事情で欠席する場合は、E メールにより連絡し指示を仰ぐこと)

教科書

Web 上の教材を利用する。

他科目との関連

Python によるプログラミングは後期の「医療と AI・データサイエンス」で扱われる応用的なプログラミングの基礎となります。

履修上の注意事項

実習を中心として段階的に授業を行うので、欠席は履修上の大きな障害となります。やむを得ぬ事情で欠席する場合、必ず E メールにより連絡し、指示を仰ぐこと。

参照ホームページ

情報処理テキスト:http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/tokunaga/infolit_text.htm

連絡先(メールアドレス)

徳永 伸一:tokunaga.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

徳永 伸一:前期:
火曜 12:30-13:20(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

後期:
木曜 12:30-13:20(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

＊いずれも計算機実習室で授業がある日なので、そちらにいることが多いです。
上記以外の時間帯でも、事前に E メールで連絡をもらえれば可能な限り対応します。

時間割番号	00520				
科目名	情報処理			科目ID	
担当教員	徳永 伸一, 髙橋 大樹, 水島 涼, 小谷 崇文[TOKUNAGA SHINICHI, TAKAHASHI Daiki, MIZUSHIMA Ryou, KOTANI Takafumi]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:月曜 1-2 限(歯学科)、3-4 限(医学科)
対象学科・専攻:医学科および歯学科

コンピテンシー:
4-2) 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける
4-3) 自然現象を探求するための基本的手法を身につける
4-4) 情報についての基本技能を身につける

主な講義場所

8 番教室および 9 番教室

授業の目的、概要等

医療情報教育や情報科学教育の基礎となるコンピュータ・リテラシーを学ぶ。
単に使用法を覚えるだけでなく、パソコンやインターネットのおおまかな仕組みを理解し、応用力を身につけることを目指す。

授業の到達目標

・E メール、テキストエディタ、タイピング等の基本的な技術を習得する。
・表計算ソフト(Excel)によるデータ処理の基礎を習得する。
・プログラミング言語(Python)の概要と基本的な利用法を習得する。
・セキュリティや著作権に配慮したパソコン、インターネットの使用法を習得する。

授業内容

第 1 回:E メール(Web メール)・LMS 利用法、パソコン・インターネットの基礎
第 2 回:キーボード操作とタイピング
第 3 回:日本語入力・テキストエディタ演習
第 4 回 Excel 基礎
第 5 回 Excel 演習(1)
第 6 回 Excel 演習(2)
第 7 回 Excel 演習(3)
第 8 回 Python 導入1
第 9 回 Python 導入2
第 10 回 総合演習

成績評価の方法

出席および提出課題, タイピング試験による。実習の比重が高いので、出席は特に重視する。
習熟度や達成度に応じて一部出席を免除することもあるが、原則として、毎回出席の上、すべての課題を規定通り提出して合格し、かつタイピング試験にて合格基準をクリアすることを、単位取得のための必須条件とする。
★やむを得ぬ事情で欠席した場合はただちに担当教員に連絡し、指示を仰ぐこと。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習等についての具体的な指示

パソコンに触れる機会を日常的に持ち、操作に慣れること。特に、タイピング練習を日常的に行うこと。

教科書

Web 上の教材を利用する。

履修上の注意事項

授業はパソコンを用いた実習を伴って段階的に行うため、欠席は履修上の大きな障害となります。やむを得ぬ事情で欠席する場合、必ず E メールにより連絡し、指示を仰ぐこと。

参照ホームページ

情報処理テキスト:http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/tokunaga/infolit_text.htm

連絡先(メールアドレス)

徳永　伸一:tokunaga.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

徳永　伸一:前期:

火曜 12:30-13:20(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

後期:

木曜 12:30-13:20(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

＊いずれも計算機実習室で授業がある日なので、そちらにいることが多いです。
上記以外の時間帯でも、事前に E メールで連絡をもらえれば可能な限り対応します。

時間割番号	005201			
科目名	情報処理 D		科目 ID	
担当教員	徳永 伸一, 髙橋 大樹, 水島 涼[TOKUNAGA SHINICHI, TAKAHASHI Daiki, MIZUSHIMA Ryou]			
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1	
実務経験のある教員による授業				

曜日・時間:月曜第 1 講(1-2 限)

対象学科・専攻:歯学科

コンピテンシー:

4−2) 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける

4−3) 自然現象を探求するための基本的手法を身につける

4−4) 情報についての基本技能を身につける

主な講義場所

8 番教室および 9 番教室

授業の目的、概要等

医療情報教育や情報科学教育の基礎となるコンピュータ・リテラシーを学ぶ。

単に使用法を覚えるだけでなく、パソコンやインターネットのおおまかな仕組みを理解し、応用力を身につけることを目指す。

授業の到達目標

・E メール、テキストエディタ、タイピング等の基本的な技術を習得する。

・表計算ソフト(Excel)によるデータ処理の基礎を習得する。

・プログラミング言語(Python)の概要と基本的な利用法を習得する。

・セキュリティや著作権に配慮したパソコン、インターネットの使用法を習得する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	4/15	08:50-10:30	8 番教室, 9 番教室	徳永 伸一
3-4	4/22	08:50-10:30	8 番教室, 9 番教室	徳永 伸一
5-6	5/13	08:50-10:30	8 番教室, 9 番教室	徳永 伸一
7-8	5/20	08:50-10:30	8 番教室, 9 番教室	徳永 伸一
9-10	5/27	08:50-10:30	8 番教室, 9 番教室	徳永 伸一
11-12	6/3	08:50-10:30	8 番教室, 9 番教室	徳永 伸一
13-14	6/10	08:50-10:30	8 番教室, 9 番教室	徳永 伸一
15-16	6/17	08:50-10:30	8 番教室, 9 番教室	徳永 伸一

授業内容

第 1 回:E メール(Web メール)・LMS 利用法、パソコン・インターネットの基礎

第 2 回:キーボード操作とタイピング

第 3 回:日本語入力・テキストエディタ演習
第 4 回 Excel 基礎
第 5 回 Excel 演習(1)
第 6 回 Excel 演習(2)
第 7 回 Excel 演習(3)
第 8 回 Python 導入1
第 9 回 Python 導入2
第 10 回 総合演習

成績評価の方法

出席および提出課題, タイピング試験による。実習の比重が高いので、出席は特に重視する。
習熟度や達成度に応じて一部出席を免除することもあるが、原則として、毎回出席の上、すべての課題を規定通り提出して合格し、かつタイピング試験にて合格基準をクリアすることを、単位取得のための必須条件とする。
★やむを得ぬ事情で欠席した場合はただちに担当教員に連絡し、指示を仰ぐこと。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習等についての具体的な指示

パソコンに触れる機会を日常的に持ち、操作に慣れること。特に、タイピング練習を日常的に行うこと。

教科書

Web 上の教材を利用する。

履修上の注意事項

授業はパソコンを用いた実習を伴って段階的に行うため、欠席は履修上の大きな障害となります。やむを得ぬ事情で欠席する場合、必ず E メールにより連絡し、指示を仰ぐこと。

参照ホームページ

情報処理テキスト:http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/tokunaga/infolit_text.htm

連絡先(メールアドレス)

徳永 伸一:tokunaga.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

徳永 伸一:前期:
火曜 12:30-13:20(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

後期:
木曜 12:30-13:20(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

＊いずれも計算機実習室で授業がある日なので、そちらにいることが多いです。
上記以外の時間帯でも、事前に E メールで連絡をもらえれば可能な限り対応します。

時間割番号	005202				
科目名	情報処理 M			**科目 ID**	
担当教員	徳永　伸一, 髙橋　大樹, 水島　涼, 小谷　崇文[TOKUNAGA SHINICHI, TAKAHASHI Daiki, MIZUSHIMA Ryou, KOTANI Takafumi]				
開講時期	2024 年度前期	**対象年次**	1		
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間: 月曜第 2 講(3-4 限)

対象学科・専攻: 医学科

コンピテンシー:

4−2) 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける

4−3) 自然現象を探求するための基本的手法を身につける

4−4) 情報についての基本技能を身につける

主な講義場所

8 番教室および 9 番教室

授業の目的、概要等

医療情報教育や情報科学教育の基礎となるコンピュータ・リテラシーを学ぶ。

単に使用法を覚えるだけでなく、パソコンやインターネットのおおまかな仕組みを理解し、応用力を身につけることを目指す。

授業の到達目標

・E メール、テキストエディタ、タイピング等の基本的な技術を習得する。

・表計算ソフト(Excel)によるデータ処理の基礎を習得する。

・プログラミング言語(Python)の概要と基本的な利用法を習得する。

・セキュリティや著作権に配慮したパソコン、インターネットの使用法を習得する。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1-2	4/15	10:45-12:25	8 番教室, 9 番教室	徳永　伸一
3-4	4/22	10:45-12:25	8 番教室, 9 番教室	徳永　伸一
5-6	5/13	10:45-12:25	8 番教室, 9 番教室	徳永　伸一
7-8	5/20	10:45-12:25	8 番教室, 9 番教室	徳永　伸一
9-10	5/27	10:45-12:25	8 番教室, 9 番教室	徳永　伸一
11-12	6/3	10:45-12:25	8 番教室, 9 番教室	徳永　伸一
13-14	6/10	10:45-12:25	8 番教室, 9 番教室	徳永　伸一
15-16	6/17	10:45-12:25	8 番教室, 9 番教室	徳永　伸一
17-18	6/24	10:45-12:25	8 番教室, 9 番教室	徳永　伸一

19-20	7/1	10:45-12:25	8 番教室, 9 番教室	徳永 伸一	

授業内容

第 1 回:E メール(Web メール)・LMS 利用法、パソコン・インターネットの基礎
第 2 回:キーボード操作とタイピング
第 3 回:日本語入力・テキストエディタ演習
第 4 回 Excel 基礎
第 5 回 Excel 演習(1)
第 6 回 Excel 演習(2)
第 7 回 Excel 演習(3)
第 8 回 Python 導入1
第 9 回 Python 導入2
第 10 回 総合演習

成績評価の方法

出席および提出課題, タイピング試験による。実習の比重が高いので、出席は特に重視する。
習熟度や達成度に応じて一部出席を免除することもあるが、原則として、毎回出席の上、すべての課題を規定通り提出して合格し、かつタイピング試験にて合格基準をクリアすることを、単位取得のための必須条件とする。
★やむを得ぬ事情で欠席した場合はただちに担当教員に連絡し、指示を仰ぐこと。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習等についての具体的な指示

パソコンに触れる機会を日常的に持ち、操作に慣れること。特に、タイピング練習を日常的に行うこと。

教科書

Web 上の教材を利用する。

履修上の注意事項

授業はパソコンを用いた実習を伴って段階的に行うため、欠席は履修上の大きな障害となります。やむを得ぬ事情で欠席する場合、必ず E メールにより連絡し、指示を仰ぐこと。

参照ホームページ

情報処理テキスト:http://www.tmd.ac.jp/artsci/math/lec/tokunaga/infolit_text.htm

連絡先(メールアドレス)

徳永 伸一:tokunaga.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

徳永 伸一:前期:
火曜 12:30-13:20(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

後期:
木曜 12:30-13:20(ヒポ 4F 徳永研究室またはヒポ 2F 計算機実習室)

＊いずれも計算機実習室で授業がある日なので、そちらにいることが多いです。
上記以外の時間帯でも、事前に E メールで連絡をもらえれば可能な限り対応します。

時間割番号	000057				
科目名	化学(一般化学)D			科目ID	LA-114702-Z
担当教員	澤野 頼子, 奈良 雅之[SAWANO YORIKO, NARA MASAYUKI]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1		
実務経験のある教員による授業					

・曜日・時間:月曜 2 講(前期全週)、1 講(第 11～15 週)

・対象学科:歯学科

・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)

別表 2-1)自然現象を科学的に探究するための方法論を知る

別表 4-2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける

主な講義場所

7 番教室

授業の目的、概要等

分子生物学、生物物理学の発展により、生命現象を物理、化学的な視点、考え方で理解できるようになりました。歯学の分野においても病気や治療法を分子レベルで捉えられるようになり、その知識は膨大になりつつあります。歯学の道を選んだ皆さんは、物理、化学の基礎をしっかり身につけていないと、生命現象を分子レベルで理解できないばかりか、歯学の先端的な研究からも取り残されてしまうことになるでしょう。本科目では、大学の一般教養課程で当然学んでおくべき「化学(物理化学＆有機化学)」を学習します。

授業の到達目標

1)授業で扱った範囲に関連した「最新臨床検査学講座　化学」「基礎講座　有機化学」「化学熱力学」等の各章を理解し、かつその演習問題に取り組むことができる。

授業に関連した演習問題で7割理解できるレベルが GPA における「B」に相当する。

授業方法

講義形式で授業を行うが、適宜、アクティブラーニング(課題演習や答案の発表など)を取り入れる。

授業内容

「原子・分子の構造論」を取り上げることにより、ミクロ系のものの見方を学び、続いて「自然科学実験(化学実験)」の内容を理論的に理解できるように「酸塩基平衡」を取り上げる。また、「化学熱力学(熱力学の原理)」を取り上げることにより、マクロ系のものの見方を学ぶ。さらに、複雑な生命現象(生体内反応)の原理を理解するために「有機化学」を取り上げ、有機化合物の基本的な構造・性質・反応性に関して学ぶ。

成績評価の方法

評価:試験(期末試験)　100%　・レポート　0%

その他(出席シートの小テスト、コメント等を評価に加味することがある。)

再評価:有(再評価方法　再試験)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則　別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

予習:指定された教科書、配布資料(WebClass に掲載)等で該当する箇所に目を通しておく。

復習:講義に関係した演習問題を解いて、理解していることを確認する。

試験の受験資格

試験・再試験の受験資格:3分の2以上出席

教科書

最新臨床検査学講座　化学／奈良雅之,:医歯薬出版, 2020

化学熱力学／原田義也著,:裳華房, 2012

基礎講座有機化学／松島芳隆, 渡邊総一郎, 古荘義雄著,松島, 芳隆,渡邊, 総一郎,古荘, 義雄,:化学同人, 2022

参考書

一般化学／Jerome L.Rosenberg, Lawrence M.Epstein 共著,一国雅巳 訳,:オーム社, 1995

系統看護学講座 化学／奈良, 雅之,:医学書院, 2018

ボルハルト・ショアー現代有機化学(上)／ボルハルト, ショアー [著],村橋俊一 訳者代表,:化学同人, 2019

ボルハルト・ショアー現代有機化学(下)／ボルハルト, ショアー [著],村橋俊一 訳者代表,:化学同人, 2020

ウォーレン有機化学(上)／J.CLAYDEN, N.GREEVES, S.WARREN 著,野依良治, 奥山格, 柴崎正勝, 檜山爲次郎 監訳,:東京化学同人, 2015

化学熱力学／原田義也 著,:裳華房, 2002

マクマリー一般化学(上)／JOHN McMURRY, ROBERT C.FAY 著,荻野博, 山本学, 大野公一 訳,:東京化学同人, 2010

他科目との関連

「酸塩基平衡」では「自然科学実験(化学実験)」の基礎となる理論を取り扱う。

履修上の注意事項

出席が3分の2以上を満たさないと、期末試験の受験資格がなくなります。

備考

キーワード:分析化学、化学実験学、化学熱力学、有機化学

連絡先(メールアドレス)

澤野 頼子:sawano.las@tmd.ac.jp

奈良 雅之:nara.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

澤野 頼子:毎週金曜日 PM.0:30–PM.1:20 ヒポクラテス 4 階

奈良 雅之:毎週水曜日 PM.0:00–PM.2:00(ただし、第 1 水曜日(教授会開催日)は PM.1:00 まで), 毎週木曜日 PM.0:20–PM.1:20 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000239				
科目名	化学実験			科目ID	LA-115900-Z
担当教員	勝又 敏行, 奈良 雅之, 澤野 頼子[KATSUMATA TOSHIYUKI, NARA MASAYUKI, SAWANO YORIKO]				
開講時期	2024 年度前期	対象年次	1	単位数	1
実務経験のある教員による授業					

曜日・時間:火曜日・3～4 講 対象学生は指定された 1～3 組に分かれて化学実験、生物学実験、物理学実験を交代で行う。

対象学科:医学科、歯学科

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

2－1)自然現象を科学的に探求するための方法論を知る

2－2)自然現象を探求するための手法を知る

4－2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける

4－3)自然現象を探求するための基本的手法を身につける

授業の目的、概要等

無機定性分析および容量分析を主な実験テーマとして基本操作を学び、実験に対する基本的な態度を身につける。1人 1 セットずつ実験器具が配布されることにより、各自が責任をもって実験に取り組む。危険な物質(硫化水素など)の扱い方、一次記録の取り方、報告の書き方などを習得する。さらに、各自が興味を持ったテーマを見つけだし、そのテーマに関する実験に取り組む(考察実験)。

授業の到達目標

1)一次記録をきちんと取り、それを実験報告としてまとめることができる。さらに自分で実験テーマを見つけて、計画・実施することができる。

以上の目標を 70%達成することが、GPA における「B」に相当する。

授業方法

実習および講義による

授業内容

1. 化学実験総論／席決め／実験準備と講義(一次記録の取り方、レポートの書き方、安全対策等)
2. 無機金属イオンの分析(硫化水素法) その1(1－5族混合未知試料の分析)
3. 無機金属イオンの分析(硫化水素法) その2(1－5族混合未知試料の分析)
4. 容量分析 中和滴定の練習(食酢中の酸の定量)／誤差の取り扱い方
5. 容量分析 キレート滴定 牛乳、水道水中のカルシウムイオンの定量

成績評価の方法

実験のため、実験中の取り組み、記録の取り方など重視し以下の通りとする。

実験ノート(一次記録および報告)60%、

実験中の取り組み(面接、テストなどを含む)40%

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習等についての具体的な指示

予習をして実験の内容をあらかじめ把握しておくこと。実験後はレポートを作成し、考察を行うこと。

教科書

「化学実験」(東京医科歯科大学教養部化学教室編)

参考書

最新臨床検査学講座 化学／奈良雅之:医歯薬出版, 2020

高木誠司著:定性分析化学中巻 イオン反応編、南江堂

高木誠司著:定量分析の実験と計算、共立出版

柴田村治著:無機クロマトグラフ法とイオン交換分離、 共立出版

D.T.Plummer 著:廣海他訳、実験で学ぶ生化学、化学同人

履修上の注意事項

自然科学実験の単位取得は、生物学実験、化学実験、物理学実験のそれぞれで合格していることが必要である。

連絡先(メールアドレス)

勝又　敏行:katsumata.las@tmd.ac.jp

澤野　頼子:sawano.las@tmd.ac.jp

奈良　雅之:nara.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

勝又　敏行:毎週金曜日 12:00–13:00 ヒポクラテス 2 階化学実験準備室

澤野　頼子:毎週金曜日 PM.0:30–PM.1:20 ヒポクラテス 4 階

奈良　雅之:毎週水曜日 PM.0:00–PM.2:00(ただし、第 1 水曜日(教授会開催日)は PM.1:00 まで), 毎週木曜日 PM.0:20–PM.1:20　ヒポクラテス 4 階